

賃金の標準ヲ決メル上ニ於キマシテハ、例ヘバ地域ニ依ツテ分チ、業種ニ依ツテ分ツト云フコトヲ致サナケレバナラヌ實情ニアリノデアリマシテ、將來ニ於テモ其ノ間ノ均衡ヲ如何ナル程度ニ保テバ宜イカト云フコトノ考究ヲ致ス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、例ヘバ地域ニ付キマシテモ、現ニ決メテアリマス初給賃金ヲ當初定メタ際ニハ、大キク分チマシレバ、全國ヲ四ツノ「ブロック」ニ分ケテ決メタノデアリマスガ、勞務ノ移動ト賃金ノ規制ト云フヤウナ各般ノ影響カラ致シマシテ、其ノ後改訂ヲ致シマシタ際ニハ、三ツノ「ブロック」ニ分ケレバ済ムト云フヤウニ、大體接近ヲ致シテ來ル傾向ガゴザイマス、併シハ業種ニ依リマスト、中々サウ簡單ニモ參リマセズ、自然今御話ノヤウナ點ヲ賃金ノミニ依ツテ解決スルコト云フコトハ、是ハ中々困難ナルト存ジマスケレドモ賃金統制令ニ依ル適正標準ヲ決メル場合ニハ、地域並ニ業種間ニ於ケル均衡ト云フコトヲ十分ニ考慮シテ取進メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 今研究シテリ考慮シタリシテ居ル内ニ、世ノ中ガ段々進んで行キマシテ、取返シノ付カヌ所ニ行ツテシマフノデス、是ハ先刻私ガ申シマシタ勞務需給計畫ト共ニ、先程企業院長ノ仰セラレマシタ重大決意ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、ドウシテモ需給關係ノ上ニ於テ必然的ニ起ル問題デス、之ヲ此ノ儘ニシテ研究シタリ調査シタリシテ居ル内ニ、一年二年過ギテシマフコト云フコトニナラナラ、今年ノ耕作者ノ減ルコトハ大變ナ數字ダラウト思ヒマス、ソレハモウ現ニ私ノ村デ二十數戸引越シテシマヒマシタ、ソレハ引合

ハスカラデス、是ハ嶺山ニ行ケバヨリ以上ノ給料ヲ呉レルカラデス、農村デ勤クノト坑ノ内ニ入ルノトデハ優遇サレ度ガ違フ、餘リニ懸隔ガ甚ダシイ、此處ノ所ヲ、何か緊急ノ方法デ以テ此ノ難農ヲ防止スルヤウナ賃金制ヲ布カナケレバ、石炭ヲ掘ツテモ食糧ガナケレバ戰ニナリマセズ、此處ヲモウ少シハツキリシタ考ヘテ聴キタイト思フノデアリマス

○兒玉政府委員 賃金制度トシテ、地域、業種ニ依ル區別ガ存在スルコトハ已ムヲ得ナイ事情ガアルト云フコトハ先程申上ゲタノデアリマスガ、只今御示シ、他ニ職ヲ求メテ農村ヲ離レテ行クト云フコトヲ賃金デ解決スル、言換ヘレバ一面ニハ嶺山等ノ賃金生活ノ方面ガアリ、之ニ移ル爲ニ農業經營ヲ拋棄スルト云フ、農業經營ト賃金生活ノ間ノ均衡ト言ヒマスガ、按配ヲ致スト云フコトヲ賃金制度ガ解決スルコト云フコトハ、私ハ非常ニ困難ガアルノチヤナイカト考ヘルノデアリマス、他ニ農業ヲ育成シテ行ク方策ヲ十分ニ講ズルコトニ致サナケレバ、中々是ハ解決ガ困難デハナイカト思ヒマス、私共ノ領域ニ於キマシテハ、現在決メラレテ居ルモノハ、ストップサレテ居リマスカラ、是ガ範圍ニ動クコトハナイノデアリマスガ、「ストップ」ニ致シテ置タコトハ宜シクナイ、ソコデ實ハモウ大抵今頃ハ適正標準モ出來ル豫定デ進んで居ツタノデアリマスガ、多少遅レテ居ル點ハ申譯ナイト考ヘテ居リマスケレドモ、サウ何時マデモ放任致シテ置タコト云フ積リデハゴザイマセズ、何レ近イ内ニ各業種ノ適正賃金ヲ決メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 今合理農業、或ハ農村ノ農業精神ヲ揚テ付テハ、凡ニ至レリ盡セリノコトヲヤウテ居ル、所ガ全國ハ行届分ケラレテ居リマスカラ、大體考ヘハ行届イテ居ルデアリマセウガ、北海道ノ亞寒地帯ノ農業收入ト、ソレカラ北海道ノ炭、其ノ他嶺山關係、工場關係ノ方ガ御拂ヒニナル賃金ト云フモノハ、極端カラ極端デアリマス、内地ノ方ハ重工業モ餘リ高クアリマセズ、又農業モ温帯農業デスカラ非常ニ收入ノ差ガ良イ、所ガ向フハ内地ノヤウナ石炭ヲ掘ツテ居ルノデハナイ、八尺、十尺、二十尺モアル層ヲ掘ツテ居ル、隨テ「コスト」ガ安タ上ル、ダカラ賃金ヲ多ク出セル、今度ハ逆ニ亞寒地帯ノ收入ハドウカト云フト、非常ニソレハ低利ナモノデアリ、ダカラ今ノ内地ニ居ツテ永年先祖傳來ノ土地ヲ耕シテ居ル者ト、一攫千金ヲ夢ミテ向フニ行ツテ開拓ニ從事シタ者トハ同ジニ見ラレナイ、ソコヲ今度御考ヘニナル時ニハ十分ニ考慮シテ戴キタイト云フノデアリマシテ、反面ニハ今合理農業、農業精神ノ昂揚ニ付テ、色々ナコトニ依ツテ動カサナイヤウニシナケレバナラヌ、難農サセナイヤウニシナケレバナラヌト仰セラレタガ、ソレト反對ニモウ一ツ先刻小畑次長ガ申サレマシタ能率ノ増進ト精神ノ昂揚ト云フコト、是ハ私共今マデノ自分ノ體験上サウ思フ、然ラバ厚生省御執リニナツテイラツシナル所ノ今日ノ勤勞大業ノ精神運動、勤勞大業ニ國家目的ヲ認識セシメテ、所謂職權奉公ヲ完全ニ達成セシムル、所謂一ツノ「ナット」ヲ作りマシテ、其ノ仕事ヲ通シテ國家ニ御奉公スルコト云フ本當ノ精神マデ行カナケレバ、是ハ本當ノモノデハナ

イ、ソレガ出來テ居ルカト云フト、パンフレット」モ出シタ、「ポスト」モ出シタ、講演モヤツタト云ハレドセウ、ソレデハ出來ナイ、然ラバ此ノ勤勞大業ハ何ニ依ツテ指導サレテ居ルカト云フト、是ハ結局事業主ノ代人デアル、所々ニ依ツテ名前ハ違ヒマスガ、軍隊ニ於ケル分隊長ノヤウナモノデアル、所謂職名ニ依ツテ其ノ統制者ハ違フガ、大體小頭ト云フ言葉ヲ多く用ヒテ居ル、小頭ガ指導シテ仕事ヲシテ居ル、其ノ指導者デアアル小頭自體ハ事業主ノ代人デアリ、利潤追求ノ爲ニ指導シテ居ル、能率増進或ハ生産ノ高メル上ニ利潤追求ノ觀念デ以テヤルコトハ、結果ニ於テハ同じ數量ガ上ルデセウガソレデハ本當ノ國家目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ドウシテモ自分ノ職ヲ通シテ忠誠ヲ全ウスルノダト云フ氣持ヲ第一線ニ働イテ居ル所ノ産業ノ兵隊サンニ起サシメタルト云フコトハ中隊長ガ完全ナモノデナケレバ起ルモノデナイ、ソレデ茲ニ私ハ厚生省ニ要求シタイコトハ、此ノ勤勞大業ノ指導者デアアル所謂小頭ト申シマスガ、人夫頭ト申シマスカ、或ハ職工長ト申シマスガ、此ノ指導者トシテ完全ニ國家目的ヲ把握セル所ノ者ヲ養成スル養成所ヲ作ツテ居ラレルカドウカ、之ヲ作ツテサウシテ其ノ人ヲ通シテ此ノ勤勞大業ノ精神ヲ昂揚シナケレバ斷じて國家目的ヲ第一線ノ兵隊ニ至ルマデ及ボスコトハ出來ナイト思ヒマスガ、之ニ對シテドウ云フ御意見デゴザイマスカ

○兒玉政府委員 先程來御話ノアリマスル農村ノ努力ガ離村スルコトヲ防止スルコト云フ點ニ於キマシテハ他ノ農村對策ト共ニ各般ノ施設ヲ講ズベキコトハ申サマデモナイト存ジマス、實ハ先程來御話ニナツテ居リ

マシタ勞務員計畫ノ上ニ於キマシテモ、一番大キキ給源トシテ從來漁ラレマシタモノハ農村ノ子弟ノデアリマス、其ノ爲ニ農村ノ經營ト云フモノガ困難ニナツテ行クカラ致シマシテ、各町村ニ勞務員協議會ト云フモノヲ設ケサセマシテ、農村ニ必要ナル努力ヲ確保シテ餘力ヲ出サセルト云フヤウナ手筈ヲ決メテヤウテ居ルノデアリマス、或ハ人ヲ求メルニ急ニシテ是ガ十分ニ效果ヲ奏シテ居ラヌト云フコトガアツテハ甚ダ遺憾ニ存ジマスガ、其ノ勞務員ノ仕事ノ上カラ致シマスル農村ノ努力ヲ確保ト云フコトニ付テハ、將來ニ於テモ十分注意致シタイト考ヘテ居リマス、次ニ御話ノ勞務員ガ職權奉公ノ念ヲ堅持シ之ヲ指導スル人ヲ作り上ゲテ行カナケレバ其ノ效果ヲ得ナイデハナイカト云フ點ハ洵ニ御尤モノコトト私共同感ニ考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ事情ガサウ云フ精神教育ノ問題デアリマスカラ、口ニ申シ紙ニ書キマシテ直チニ其ノ效果ガ現ハレルト云フモノデゴザイマセズ關係上、今直チニ斯ノ如キ實績ナリト誇リ氣ニ申上ゲルコトノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ジマスケレドモ、一昨年來産業報國會ト云フモノヲ作り、産業報國會ノ昂揚ト云フコトニ努メ來ツタ理由モ甚ニアルノデアリマス、最近中央組織ト云フモノヲ整備致シツツアルノデアリマシテ、是ガ出來マシタ際ニ於テ所謂産業報國會ノ養成ト云フコトハ最重要ノ仕事ノ一ツト考ヘテ、是ガ養成ノ施設ヲ作り、指導者ノ訓練ヲ致シタイト思ヒマシテ、國庫ノ補助ノ上ニ於テモ來年度ニ於テ考慮致シテ、其ノ計畫ヲ進メテ居ル

○松浦(周)委員 是ガ效果ヲ舉ゲルコトニ付キマシテ十分努力ヲ致シタイト思ヒマス、急ノコトデスカラ、成程サウ云フ風ニ行カナケレバナリマスマイ、今ノ産業報國會カ來ラマシテ、私共ノ工場ニモソレヲ併ヘテ、前ノ厚生大臣ガ札幌ニ十二月ニオイデニナリマシテ、聯合會ヲ御開キニナツタケレドモ、アンナコトデ一體今ノ御話ノ目的ヲ把握セラルト云フコトハ唯工場ノ經營者トカ、會社ノ上役トカガ集マツテ色々言ツテモ駄目デアル、本當ハ先程言ツタヤウニ指導者ヲ養成シテ、ソレガ指導者シテ家目的ヲ把握サシテ、ソレガ指導者シテ行カナケレバ出來ルモノデハナイ、勿論外廓團體トシテハ御話ノヤウナコトヲ總括的ニナルコトモ必要デアリマセウ、併シ第一線ノ部長長トカハ完全ニ教育シナケレバイヤナイ、ソレデ少シ位ノ補助金ヲ御出シニナツタヤウデアリマスケレドモ、是ハモウ少シ積極的ニ心ヲ用ヒナケレバナラヌト思ヒマス、更ニ積極的ニオヤリニナル考ヘハゴザイマスマイカ

○持永政府委員 只今ノ御話ニ對シテ御答ヘ申上ゲマスガ、私共考ヘモ申上ゲタイト思ヒマス、第一線ニ立ツテ居リマス勞務員ニ對シテ、モウ少シ大キキ國家の見地カラ生産擴充ニ協力セシメバナラヌ、ソレカハ強イ指導力ヲ持ツテ之ニ臨マネバナラヌト云フコトハ全ク御同意デアリマス、ソコデ先程カラ御質問ノアリマシタ指導者ノ御

話デアリマスガ、私共ノ考ヘトシマシテハ、ヤハリ是ハ企業全體トシテノ關係モアリマスノデ、其ノ會社其ノ工場ニ於ケル責任者ガ先づ第一ニ指導ノ地位ニ立チ、十分ナル指導ヲ與ヘルコトガ最モ肝要チヤナイカト思ヒマス、勿論其ノ下ニ或ハ職長トシテ實際ニ指導ニ當ル者、是モ勿論必要デアリマスカ、寧ろ其ノ企業全體ノ責任ノ地位ニ立ツ所ノ社長トカ工場長ト云フ者ガ自ラ率先シテ指導ノ地位ニ立ツ十分ナル指導ヲ與ヘルコトガ最モ肝要チヤナイカ、先般出來マシタ勤勞新體制ノ考ヘモ、又ソレニ準ジテ作りマシタ産業報國會ノ精神モサウ云フノ例ヲ引タノハ甚ダ失禮デアリマスカ「ドイ」ツノ勞務統制法ニ於キマシテハ、其ノ一番重要ニ企業經營者ガ全體ノ指導ノ任ニ立ツト云フコトヲハツキリ規定ヲ致シテ居リマス、其ノ趣旨ハ全ク御話ノ趣旨ト同ジヤウニ第一線ニアル勞務員ニ對シテ十分ナル指導力ヲ與ヘ、大キキ見地カラ生産擴充ニ協力セシメバナラヌ、全ク其ノ爲ニ出來テ居ルト思ヒマスガ、吾々ノ考ヘ方モサウ云フ考ヘデ進んで居リマス、尙ホ先程次官カラ申上ゲマシタヤウニ途中ニ於ケル職長トカ、ソレ等ノ指導者ノ養成ハ是マデモナツテ居リマスガ、今後ニ於キマシテモ、十分力ヲ注ギタイト存ジマス

○松浦(周)委員 其ノ御精神ハ能ク分リマス、所ガ是ハ私共ノ考ヘカモ知レマセズガ、人間ノ思想ハ年輪ニ依ツテ大分支配サレルノデス、マア會社デ言フナラバ、社長級ノ人間、或ハ部長級ノ人間、ソレカラ課長級ノ人間、更ニ其ノ下ノ人、サウ云フ層層ニ於テ考ヘ方ガ違フノデス、サウスルト

○松浦(周)委員 國家ノ向ハウト云フ所ヲ此ノ上ノ方ノ人ガ本當ニ把握シテ呉レルダラマセウ、ソレハサウ云フ人バカリモナイデアリマセウ、サウ云フ極端ニ考ヘ方ヲ持ツコトモイケナイカモ知レマセズ、併シ本當ニナルノナラ、ヤハリ課長級以下ノ者ヲ本當ニ叩キ伸バシテ行カナケレバナラヌ、勿論指導者原理ニ依ツテ動カナケレバナリマセウガ、實際ノ理念ハドウナツテ居ルカ分リマセウカ、私ノ體験上申シマス、實際ニ仕事ヲヤウテ見ルト、モウ六十、七十ニナツタ人ハ、ドウシテモ退屈ノ現在主義デス、一歩進んで行カウト云フ考ヘハナイ、ソレカラ五十代ノ人ニハ堅實性ノアル積極味ハアリマスケレドモ、是モ從來ノ行キ方ト變ツタ行キ方デアリカト云フ氣持ハナラヌ、ソレハ中ニハ澤山アリマスケレドモ、大體統計ヲ取ツテ見ラナラバ、八十人マデハサウデス、サウスルト今國家ガ進マウト云フ所トハ、大分食違ヒガアルノデス、私ハ兩様ニサレルト宜イト思フ、御話ノヤウニ綜合的ニ上カラヤルコトモ必要ダ、同時ニ第一線ヲ養成コトガ必要デアアル、第一線ト申シマシテモ職工全部デハナイ、一ツノ工場ニ一人トカ二人トカノ指導者ヲ養成スル、ソレヲ養成スルニハ、工場經營ニ對スル一ツノ傳統モアリマス、或ハ一ツノ事業ニ對スル色々ナ風習ガアリマス、ソレヲ採り入レナケレバナラヌ、併シ一人ハ二人ノ者ヲ別ニ教育スルコトハ出來マセウカ、或ル同ジ事業、例ヘバ鐵鋼事業ナラ鐵鋼事業、木材事業ナラ木材事業、纖維工業ナラ纖維工業ト云フ風ニ、同じ企業ノモノヲ集メテ、先ツソレニ技術ト並行スルダケノ精神力ヲ持タセ

ル、サウシテ綜合的ニ行クノデナケレバ、



技術ダケニ偏シタ事業ハ必ズ潰レマス、技術ト精神ガ並行シテ居ナケレバイカス、其處ニ日本ノ國家ノ要求スル所ガアルノデハナイカ、ソレガ日本ノ國ヲ富マセル、日本ノ國ヲ強クニスル所ノ、戰士ニ魂ヲ入レル方法ダト思フ、斯ウ私ハ常ニ考ヘテ居リマス、御質問申上ゲタノデアリマスガ、是ハ御話ノヤウナコトモ必要デゴザイマセウ、併シ兩様ニヤル必要ハゴザイマスマイカ

○兒五政府委員 只今ノ御意見ハ全ク御同感デアリマス、只今マデ産業報國運動ニ付テノ理念、或ハ指導力ノ養成ノ問題ヲ御話申上ゲテ居ツタノデアリマスガ、今御示シノ方面ニ付テ現ニ行ツテ居リマスモノハ、中堅職工ノ養成ト云フコトニ付テハ、是ハ各事業主ニ養成ヲ命ジテ助成シテ行ツテ居リマス、一寸數字ハ申上ゲ兼ネマスガ、相當多數ノモノヲ行ツテ居リマス、此ノ外ニ或ル特殊ノ業態ニ付キマシテハ、幹部工ノ養成ナドハ、今申上ゲタヤウニ直接國デ行ツテ居リマス、全國ニ四箇所バカリ設ケテ居リマス、是等ノ施設ハ只今御示シノヤウニ、第一線ニ居ル者自身ノ技術ト精神ノ教養ト云フコトヲ、目指シテ行ツテ居ル次第デアリマスガ、將來一層ノ努力ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス

○西村委員長 今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、午後六時十四分散會

昭和十六年二月二十六日印刷

昭和十六年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第二類 第一號)

第七十六回帝國議會 院 決算委員會議錄(速記)第十七回

(二五七)

會 議  
昭和十六年二月二十七日(木曜日)午前十時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村 茂生君

理事 小見山七十五郎君 理事 福田次郎君

理事 鹽川 正藏君 理事 森下 國雄君

理事 高橋 義次君

淺井 茂猪君 伊東 岩男君

今井 新造君 小山 亮君

池田七郎兵衛君 石坂 繁君

江原 三郎君 大島 寅吉君

河合 義一君 清水徳太郎君

田代 正治君 瀧澤 七郎君

濱地 文平君 眞鍋 勝君

松浦周太郎君 山川頼三郎君

山元龜次郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務書記官 武内時之助君

内務書記官 三好 重夫君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏書記官 日下部 滋君

警備省財局理事 入江 昂君

司法次官 三宅正太郎君

司法書記官 石田 壽君

文部書記官 柴沼 直君

農林書記官 岡本 直人君

逓信省經理局長 山田 良秀君

鐵道省經理局長 平山 孝君

拓務書記官 中野 勝次君

厚生書記官 生悦住求馬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算

昭和十四年度國有財産増減總計算書

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、午前八大臣ノ都合ガ付キマセスカラ、是ニテ休憩致シマシテ午後二時ニ開會致シマス

午後二時二十分休憩

午後二時十四分開議

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、今後ノ本委員會ノ進行ノコトニ付キマシテ、委員各位ニ御協議申上ゲタイト思ヒマス、手許ニ持ツテ居リマス案ハ斯ウ云フノデゴザイマス、三月ノ十九、二十日總會ヲ繼續致シマシテ、其ノ後分科會、大藏省ニ關スル小委員會、ソレカラ最後ノ總會、之ヲ二十四日マデニ済マセタイト思ヒマス、其ノ二十一日カラ二十四日マデノコトニ付キマシテハ此ノ進行ノ狀況ニ依ツテ適當ニ委員長ニ於テ處置シタイト思ヒマスガ、三月十九日、二十日ハ總會ヲ開クト云フコトニシタイト思ヒマス、御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○西村委員長 左様ニ決定致シマス——是ヨリ司法省ニ關スル質疑ヲ進行致シマス——瀧澤君

○瀧澤委員 私人御尋ね致シタイトコトハ、先般日本發送電株式會社法改正法律案ノ委員會ヲ私モ傍聴致シタノデアリマスガ、其ノ速記録ヲ後見マシテ、其ノ質疑應答

ノ中デ一寸附ニ落チヌコトガアリマスカラ、其ノ點ダケ簡單ニ御尋ね致スノデアリマス、當時小山委員カラノ發言ト致シマシテ、發送電方權太其ノ他ノ石炭ノ山ヲ買收スルニ付テ、大官並ニ前閣僚ノ間ニ於テ疑惑ノ念ヲ抱カレル方ガ澤山アル、之ヲ明カニシタイト云フノガ趣旨デアツタヤウデアリマス、ソコデ三宅政府委員ハ小山君ノ質問ニ對シマシテ「今日マデノ調査ニ於キマシテ、只今御話ニナリマシタヤウナ大官トカ、前閣僚トカ、サウ云フヤウナ人々ニ對シテ疑惑ヲ持チ、或ハ嫌疑ヲ掛ケルト云フヤウナ事實ハ、今日マデノ所發見シテ居ラナイノデアリマス」更ニ其ノ次ノ御答(ハ)「只今御尋ねデナリマシタ方々ニ付キマシテハ、今日マデ何等疑惑ヲ掛ケタコトハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス」斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、其ノ次ニ更ニ小山委員ヨリ「只今名前ヲ舉ゲマシタ人々ハ或ハ御取調ニナツタコトガ一回デモゴザイマスカドウカ、伺ヒタイト云フ間ニ對シテ其ノ點ハ調査ノコトニナリマスガ、前ニ私ガ御答ヘテ致シマシタコトデ、御尋ね願ヘレバ結構デアリマス」斯ウナツテ居リマス、ソレダケナラバ丁度前ノ御答ヘト一致致シマスカレドモ、更ニ小山委員ノ質問ニ對シテ三宅政府委員ハ「其ノ點ハ一寸調査ノ秘密ニ屬シマシテ、此ノ際ニ申上ゲ兼ネマスガ、何レ事態ガ明白ニナリマシテ、御尋ねニナル時期ガアラウト思ヒマス」斯ウ云フ風ニナツテ居ルモノデスカラ、前ノ御答ヘト此ノ御答ヘ

ト比ベルト一致シナイヤウニ思ヒマスガ、ドナラヲ伺ツテ置ケバ宜シイノデスカ

○三宅政府委員 先般發送電ノ委員會ニ於キマシテ、私ノ申上ゲマシタコトハ、只今御讀ミ上ゲニナリマシタノニ相違ゴザイマセス、私ハ別ニ何等前後ニ考ヘテ變ヘテ申上ゲタノデハナイノデアリマシテ、唯段々御話ガ精密ニナツテ参リマシテ、調査中ノ事項ニ觸レテ参リマシタカラ、ソレデ話ヲ打切ル意味デ申上ゲタノデ、決シテ前申上ゲタコトト矛盾シタ發言ヲシタ譯デハゴザイマセス、デアリマスカラ初メニ於テ疑惑ヲ掛ケタコトナシト言ヒ、又隨テ疑惑ヲ掛ケタモノガナケレバ是ハ常識上取調ル管モナシ、又今後ドウ云フコトガ起ルカハ別トシマシテ、今日マデノ所ト致シマシテハソレ以上申上ゲルコトハナイノデ、唯今少シク調査ノ内容ニ入ツテ御質問ガゴザイマスト結局困ルカラ外側ダケノ御話ヲ申上ゲタノデアリマス、要スルニ關係ノナイモノハ何處マデモ關係ガナイノデアリマスカラ、關係ガナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデ御尋ね願ヘレバ結構デアリマスガ、尙ホ御質問ガゴザイマセレバ更ニ御答ヘ申上ゲマス

○瀧澤委員 事件ノ内容ハ私能ク分リマセマスガ、如何ナル形式デアツテモ、茲ニ讀上ゲラレタ人達ハサウ云フコトヲ司法當局カラ聽カレタコトガナイト云フ意味ニ解シテ宜シウゴザイマスカ

○三宅政府委員 其ノ通りデアリマス、全







今マデ缺ケテ居リハシナイカ、所謂親ノ金  
デ大學ヲ出テ、サウシテ法律ヲ學ンデ直チ  
ニ實社會ニ出ラレテ、其ノ結果多クハ今ノ  
自由經濟社會ノ途ニ於ケル物質關係カラ  
來ル犯罪ヲ、單ナル在來ノ法律觀念ガ  
捉ハレ過ギテ裁判スル結果、却テ其ノ判斷  
ガ出來ナイ、斯ウ云フコトノ非難ハ社會一  
般ニ相當ニアルデアリマス、會テハ所謂  
一厘事件ト云ヒマシテ、一百姓ガ自分ノ作  
ツタ煙草ヲ吸ウタト云ウテ、是ガ事實法違  
反ナリトシテ、遂ニ一厘事件ガ大審院マデ  
行ツタ、法律ガ遊戯化シタト云フツノ話  
題ニナツテ居ルコトモアルデアリマス、  
斯ウ云フヤウニ、法律ガ餘リ遊戯化サレ  
ガ如キ觀念ガアルトスルナラバ、所謂  
天皇ノ名ニ依ル司法權ノ權威ニ關スルコト  
デアリマスカラ、モット國體意識ヲ、法律ノ  
適用ト云フ問題ニ對シテ、今日ノ裁判官諸  
公ニ一段ノ精神的ナ、此ノ時代のナ氣持ヲ  
與ヘラレルト云フ御氣持ハナイデセウカド  
ウカ、此ノ一點ヲ前以テ御尋ネ致シマス  
○三宅政府委員 裁判官或ハ檢察官ガ仕事  
ヲ致シマスノニ形式ニ流レルト云フヤウニ  
フ嫌ヒノアルコトハ私モ完全ニ承認致シマ  
ス、ドウモハ私ノ考ヘデハ、一ツハ餘リ  
ニ法律ガ多過ギテ——手續ノ法律ガ多過ギ  
テ、其ノ法律ニ依リサヘスレバ、ソレデ宜  
イノダト云フヤウナ氣持ヲ、實際ノ執行ヲ  
致シマス者ニ與ヘルト云フコトガ非常ニ困  
ルコトト思フ

愛宕ノ神様ニ祈誓シテ、若シ自分ノ裁判ニ  
私ガアツクテ直チニ命ヲ召サレ給ヘト云フ  
コトヲ祈ツテ、サウシテ法廷ニ出タト云フ  
コトガアリマス、是等ノ話ヲ私ハ能ク裁判  
官ノ方ニ御話スルデアリマスガ、サウ云  
フ氣持ニナラナイデ、餘リ法律ガ多イカラ  
法律ニサヘ依レバ宜シト云フヤウナ考ヘ  
ガアル爲ニ、唯安易ナ裁判ニ墮スルト云  
フコトガ弊デアリマス、是ハ一ツハ是マ  
デノ謂ハバ外國カラ模倣シテ來タ裁判ノ  
ヤリ方ノ一ツノ弊ダト思ツテ居リマス、  
寧ろ是ハ今御話ノヤウナ昔ノ精神ニ立返ツ  
テ、自分デ自分ヲ正シウスルト云フコトカ  
ラ出發スルト云フコトガ裁判官トシテ、正  
シイ途デアラシ、又是ガ 天皇ノ名ニ於テ  
ナスベキ裁判ノ本當ノ途ダト斯ウ思フノデ  
アリマス、ソレデアリマスノデ實ハ寧ろ裁  
判官ニ對シテハ、法律ノ些末ノコトニ拘泥ス  
ルト云フヨリハ、精神ヲ重シコト云フコト  
ヲ説イテ居リマスガ、何分ニモ御承知ノ通  
リ、小サイ時分カラ今日ノ此ノ教育ヲ受ケ  
テ來テ居リマス、昔ノ克己のナ精神ニ立返  
ノ考ヘラ變ヘテ、昔ノ克己のナ精神ニ立返  
ト云フ組織ニ各判檢事ヲ入レマシテ、此處  
デ其ノ精神ノ鍛錬ト云フコトヲ主トシテヤ  
ツテ居リマス、是ハ一ツノ若シ御氣持ガゴ  
イマスレバ色々御教示ヲ受ケタイト思ヒマ  
スガ、此ノ點ニ付テハ出來ルダケノ方策ヲ  
盡シテ、精神ノ鍛錬ヲ致シテ居リマスカラ、  
今後段々ニ此ノコトハ良クナツテ參リマシ  
テ、法律萬能、法律ニ依リサヘスレバト云  
フ精神ノナイヤリ方ヲヤルト云フコトヲ、  
段々ニ其ノ仕事ヲスル人自身ガ嫌ツテ來ル

ヤウナ傾向ニナツテ行クト、斯ウ私ハ信ジ  
テ居リマス、ドウカ今後ノ情勢ヲ能ク御覽  
下サルコトヲ希望致シマス  
○山元委員 能ク分リマシタ、私ノ考トシ  
マシテハ、國家ノ目的ハ國家ノ安寧秩序  
ヲ維持スル、領土ヲ保全スルト云フコトガ  
過去ノ國家ノ、國民幸福ノ二大要素ノ如ク  
考ヘラレテ居リマシタガ、併シ唯國內ノ安  
寧ヲ維持スルカ領土ヲ保全スルトカ云フ  
コト以上ニ民族ノ世界ノ幸福ヲ圖ルヨリモ  
ガ今後ノ國家及ビ國民ノ幸福ヲ圖ルヨリ  
以上ノモノデアリ、隨テ此ノ點ニ付テハ近  
來新興國家ハ民族ノ理想ヲ提ガテ居ル、  
日本モ是ガナイトハ言ヒマセウガ、ソレハ  
民族ノ理想ノ達成ト云フコトガ名實共  
ニナラナケレバナラヌ時代ニ入ツテ居ル、  
サウ云フ時代ニハ國內ノ安寧秩序ハ無論必  
要デアリマスケレドモ、併シ安寧秩序ト云  
フモノガ勢ヒ所謂法治萬能、或ハ法律萬能  
ト云フコトニ陥リ易ク思ハレルカモ知レマ  
セスガ、私ハサウハ思ツテ居ラナイ一人デ  
アリマス、ナゼカトナレバ、ソレハ「アジヤ」  
ノ秩序ヲ作ルヤウニ、日本國內ノ秩序モ今  
後ハ新秩序ヲ作ラナケレバナラヌ、隨テ舊  
體制カラ新シイ體制ニ進ムト、ソコニ否デ  
モ應デモ或ル程度ノ相剋ヲ免レナイト思フ、  
其ノ相剋ノ内容ハ政治的ナ犯罪ガ勢ヒ多カ  
ラウト思ヒマスガ、此ノ點ハ國家ガ新秩序  
ヲ建設スル上ニ於テハ如何ナル嚴罰主義ヲ  
執ラウトモ、是ハ已ムヲ得マセウ、併シ經  
濟違反ニ關スル犯罪ト云フモノハ、是非  
常ナ同種ヲ以テ迎ヘナクテハナラヌ、ト云  
フノハ自由經濟ノ發展過程ニ於テ處罰主義  
ニ依ツテ國ノ安寧ヲ維持シヨウト云フコト

ニノミ重點ヲ置イタ、私ハ犯罪ノ多クハ其  
ノ性格ノ缺陷、或ハ本能性トカ云フコトカ  
ラモ來ルデセウケレドモ、ヤハリ經濟生活  
ノ缺點カラ來ル犯罪ガ大半デアリ、然ルニ  
自由經濟社會ニ於テハ、其ノ原因ヲ改善シ  
テ、國民ノ生活保障、職業保障ト云フコトニ  
極メテ冷淡ナル態度ヲ執ツテ、唯刑罰一點張  
リデアル、是ガ過去ノ自由經濟社會ニ於ケ  
ル缺陷デアリ、其ノ法律萬能ノ結果、社會  
道徳ノ觀念ハドウデモ宜シ——ドウデモ  
宜シトハ思ツテ居ナイケレドモ、多クハ  
法網ヲ潛リ、法律ノ裏ヲ潛ツテ、例ヘバ大キ  
ナ財閥ガ辯護士ヤ計理士ヲ雇ツテ脱稅ヲス  
ル、是ハ道義ノ觀念カラ言ヘバ處刑スベキ  
デアラウケレドモ、法律ニ於テハ酒々ト免レ  
テ居ル、所謂法律ト道義ノ生活ガ併行サレ  
タ時代ニ於テハ、法律ガ非常ニ活キテ居ル、  
所ガ社會道義ノ觀念ガ無視サレマシテ、法律  
萬能ト云フコトニナルト、其ノ裏ヲ潛ラウ  
ト云フ考ヘ方、其ノ事實ガ十ノ中三ツモ四  
ツモ殖エテ來ル、斯クナル社會ノ道義ノ  
觀念ト云フモノハ、法律萬能ニ依ツテ壞サレ  
テ來ル、斯様ナ要ヒガ社會ガ逼迫スレバ  
程多クナル傾向ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、人  
生ニ法律ヲ當嵌メルモノナラバ宜シウゴ  
ザイマスガ、法律ニ人生ヲ一々當嵌メルト  
云フ在來ノ觀念デハ到底社會ノ秩序ハ維持  
出來ナイ、例ヘバ支那ノヤウナ國ハ、敵國デ  
アリマスカラ餘リ好イ例デアリマスガ、殆ド  
裁判ノ權威トカ法律ニ頼ルト云フ氣持ハ薄  
イ、裁判ニ頼ラナイデ、社會生活ニ於テハ  
面子ヲ重ズル、支那人ノ面子ト云フコト  
ハ、社會道義生活ノ一面デアルト思フ、サ  
ウ云フ氣持ガ非常ニ強イ、現ニ私ガ滿洲ニ

參リマシタ時ニ營口デアリマシタカ、張學  
良ノ治下ニ於テ何十萬圓ト云フ金ヲ澤山ノ  
者ニ五千圓トカ一万圓宛トカ貸シテ居ル、  
ソレガ一ツモ擔保ヲ取ツテ居ナイ、唯保證人  
ヲ一人立テルダケデアリ、ソレヲ事變後ニ見  
マシテ、私ハ支那人ニ聽キマシタ、一體支那ノ  
ヤウナ裁判モナケレバ何モナイ所、擔保モ  
取ラズニ保證人一人立テテ金ヲ貸シテ、取  
ルノカ取レヌノカト云フト、取レルカラ貸  
スノダ、保證人ニ對スル面子ヲ重ズルカラ  
拂ハナイト云フコトハナイ、面子ダケデ社  
會生活ヲ維持シテ居ルノハ支那バカリヂヤ  
ナイ、日本ニ於テモ徳川時代、其ノ以前カ  
ラ以前カラ社會道義ノ觀念ニ依ツテ社會ガ  
維持サレテ、法ハ三章ヲ以テ足レリト云フ  
時代ガアツタノデアリ、況ンヤ日本ノ君民  
一致ノ、天皇民族ノ一體ノ日本ノ姿ハ、法  
律ガナケレバ道義生活ニ依ツテ維持サレ  
ト云フコトニ持ツテ行カナケレバナラヌ、之  
ニハ無論今日ノ法律ト云フダケデナクテ、  
社會經濟機構或ハ教育ト云フモノト不可分  
ノ關係ヲ持ツテ居ルコト當然デアリマスガ、  
一例ヲ申上テマスト只今三宅次官カラ板倉  
勝重ノオ話ガアリマシタガ、ソレハ私モ嘗テ  
聞イテ居リマス、徳川家康ガ所謂徳政ト云  
フモノヲ出シマシタ、サウスルト越後デ或  
ル侍ガ旅館ニ宿ツテ刀ヲ旅館ノ主人ニ預ケ  
テ置イタ、所ガ旅館ノ主人ハ徳政ニナツ  
タカラ、借リタモノハ返サスデモ宜イト言  
フノデ刀ヲ返サナイ、侍ハ憤慨致シマシテ、  
之ヲ奉行所ニ訴ヘタ、所ガ徳政ガカラ刀ヲ  
返シ必要ガナイト云フ判決ヲサレタ、ソコ  
デ遂ニ徳川家康ノ御判定ヲ仰グ爲ニ最上級  
ノ裁判ニマデ行ツタ、流石ノ家康モ迷ツテ  
シマツテ、板倉勝重ヲ呼バレタ、勝重ハ直

今日ノ御用件ハ刀ノ一件デアリマセウト  
言ツタサウデアリ、自分ハ借リタモノハ返サ  
スデ宜イト云フ徳政ヲ出シタ爲ニ此ノ問題  
デ惱ムデ居ル、オ前ハドウ思フ、其ノ話ハ簡  
單デアリ、借リタモノハ返サスデ宜シト云  
フ徳政ヲ出シテ居ラレル以上刀ハ侍ニ返サ  
スデ宜シイ、ソレガサウ簡單ニ行クナラバオ  
前ニ聽ク必要ガナイ、刀ハ返サンデ宜イガ、  
併シ宿屋ハ侍ノモノデアルト云ハレテ、結  
局主人ハ宿屋ヲ取ラシテハイケナイト云フ  
ノデ、侍ニ刀ヲ返シ、刀ハ元ノ鞘ニ納ツタ  
ト云フ文獻ヲ見マシタガ、要スルニ裁判ハ  
是デアラウト思ヒマス、或ハ「セ」エクスビ  
アノ「ベ」ニスノ商人ノ中デモ、金ヲ返ヘサ  
スカラト云フノ内ヲ切ラウトス、サウス  
ルト血ヲ流シテハナラヌト云フ裁判ヲサレ  
マシテ、此ノ強懸ナ「ユ」グナノ人モ其ノ判決  
ニハ參ツテシマフノデアリマスガ、複雑ナ  
ル人生ト法律ノ關係ガ益ニ織込マレテ居ル  
ト思ヒマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、  
此ノ意味ニ於テ人生ノ複雑ナル體驗ヲ味ツ  
タ辯護士ヲ裁判官ノ中ニ入レルト云フコト  
ガドウシテモ必要デアリ、是ハ唯法律ノ表  
面ニ現レタ文字其ノモノニ複雜ナル人生ヲ  
當嵌メヨウト云フ觀念ニ對スル新シイ倫理  
上ノ新體制ダト確信シテ居リマスガ、將來  
此ノ裁判官ニ辯護士ヲ採ラレルト云フ意向  
ヲ更ニ持ツテ居ラレルカドウカ、又今マデ  
裁判官デナカツタ辯護士一般ニ對シテ、ド  
ウ云フ觀念ヲ持ツテ居ラレルカ、此ノ點ヲ  
御尋ネシタ

○三宅政府委員 判檢事ガ經驗ガナイ爲  
ニ、兎角社會ト調和性ノナイ判斷ヲ下シ易  
イト云フ御言葉デアリマスガ、洵ニ其ノ點  
モ御尤モト思ヒマス、デアリマスカラ出來  
ルダケ社會上ノ經驗ヲ持ツタ方ヲ判檢事ニ致  
シタイノデアリマス、私共モ實ハナリ立テノ時  
分ニ、裁判ハ四十二ナラナケレバ本當ノ裁判  
ハ出來ナイノダト、ヨク先輩カラ言ハレタモ  
デアリマス、自分ガ四十二ナツテ見テ、成程  
ト思フノデアリマスガ、四十二ナリマセウ内ハ  
中々サウ承認シナイモノデアリマス、併シ兎ニ  
角私共深ク其ノ點ハ感ジテ居リマス、ソコデ  
辯護士ノ方デ判檢事ニナリタイト思召サレ  
ル方ハ、御承知ノ通り採ツテ居リマス、唯中々  
私達ノ方デ是非來テ裁キタイト思フヤウナ  
經驗ノ豐富ナ方ガ御希望ニナラナイコトヲ  
非常ニ遺憾ト致シテ居リマス、併シ今後ト  
雖モ司法省ハ判檢事ハ何時デモ要ルノデア  
リマスカラ、本當ニ吾々ガ判檢事トシテ尊  
敬スルニ足ルヤウナ辯護士ノ方ガ御希望下  
サレバ喜ンデ御迎ヘヨスルノデアリマス、  
唯是マデ判檢事ニナツタ辯護士ノ成績ハド  
ウカト云フコトヲ申サレマスト、實ハ其ノ  
點ハ毀譽半バシテ居ルコトヲ、確信ナガラ  
申上テネバナラヌノデアリマス、ト申シガラ  
スノハ司法省デ急イデ多數ノ人ヲ補充シナ  
ケレバナラヌ狀況デアリマシタ爲ニ、實ハ  
進ンデコチヲノ方ヘ御迎ヘヨシタヤウナ譯  
デアリマスガ、其ノ中ニハ辯護士トシテノ  
御經驗モ餘リ十分デナカツタ方モ入ツテ居  
リマシタ爲ニ、ソレ等ノ方々ニ依ツテ、兎角  
辯護士カラナラナレバ判檢事ノ惡口ガ世上ニ  
漏レテ居リマスケレドモ、併シ其ノ中デ本  
當ニ經驗ノアル方ノナツタ仕事ハ、ヤハ  
リ吾々トシテ大ニ尊敬スルニ足ルノデア  
リマシテ、要ハ今後本當ニ吾々ノ同僚トシ  
テ尊敬スルヤウナ人ヲ斡衛シテ、出來ルダ  
ケコチヲノ方ヘ御迎ヘシタイ、其ノ斡衛ニ  
付テ意ヲ用ヒテ行キタイト云フコトヲ考ヘ

テ居ルノデアリマス、今後トモ辯護士ヲ採  
リマスコトニ付テハ、決シテ從來ノ方針ヲ  
變ヘル積リハナイノデアリマス  
○山元委員 辯護士ノ中カラ適當ナ人ヲ採  
ルコトノ中々困難デアルト云フコトハ御尤  
モト思ヒマスガ、所謂自由經濟社會ガ統制  
經濟社會ニナリマス、辯護士ノ事務關係  
モ自然ト減ツテ、勢ヒサウ云フ人々ガ司法官  
ヲ望ムト云フ傾向ハ可ナリアルト思ヒマス  
カラ、今後ハ優秀ナル人物モ可ナリ採用サ  
レルト期待シテ居リマスガ、出來ルダケ其  
ノ希望ヲ達成サレンコトヲ御願ヒシテ置キ  
マス  
ソレカラ最近經濟社會ノ變動ニ應ジマシ  
テ、過去ノ營利經濟ニ育ツタ者ハ、道徳觀  
念ヲ一週ニ一晚ノ内ニ變ヘルト云フコトハ  
中々困難ト見エマシテ、道義愛國心カラ言  
ヒマス、怪シカラサト云ヒタイノデアリ  
マスケレドモ、ヤハリ所謂上層社會或ハ「イ  
ンテリ」トハ遠ヒマシテ、一般ノ大衆ト云  
フモノハ、モウ自分ノ家族ヲ養フト云フコ  
トニ、朝カラ晩マデ心ヲ奪ハツテ居ル、其  
ノ結果生キントスル爲ニハウイ買溜ヲスル、  
或ハ開相場ヲスルト云フ者ガ可ナリ多イノ  
デアリマス、去年ダケデモ八十萬ガ檢舉サ  
レタト云フコトヲ、數字ハ發表サレマセウ  
ガ、何カサウ云フコトヲ聞イテ居リマス、  
假ニ八十萬或ハ百萬ト云フヤウナ者ガ檢舉  
サレタトスレバ、正味日本人ノ人口ハ六千  
五百萬デアリマスカラ、女ヲ引キマスト約三  
千二百萬ガ男デアリ、ソレカラ子供ト年  
寄ノ男ヲ引クト正味千五百萬程度ガ本當ノ  
働キ盛りデアルト思ヒマス、サウ云フ者ノ  
中カラ百万人モ開相場檢舉サレル、是ハ  
非常ニ數カハシイ現象デアリマシテ、無論



此ノ原因ハ今日ノ經濟社會其ノモノニ歸スベキコトモ多カラウト思ヒマス、又日本ノ統制經濟ガ事變前ニ、モット計畫的ニ、モット統制的ニ、モット國民ノ協力ヲ得テ行ハレタラバ、斯ウ云フ缺點ハナカウツカモ知レマセスガ、併シ今日ハソレヲ論ズベキ時代デアリマセスカラ、私ハ其ノ點ハ觸レマセスガ、唯サウ云フコトヲ懲デヤツク者モ居リマセウシ、サウデナクテ在來ノ營利經濟ノ觀念カラ出發シテヤツク者モ居リマセウガ、所謂買溜、例ハバ羅紗トカ綿布トカ其ノ他綿絲トカ云フヤウナモノヲ買溜シテ者ガ澤山アル、恐ラク何千万ヲ飛越エテ居ルカモ知レマセスガ、サウ云フ者モ裏ニ潜ツテ買溜引ヲストル一生ヲ葬ラレル、表ニ出ス買溜引ヲストル一生ヲ葬ラレル、商工省ニ於テハ此ノ三月一日カラ一齊調査ヲサレテ出ス買溜引ガ所ガ一面ニ於テハ表面ニ出ス買溜引ヲストルカカウツナイノカ、ソレガハツキリシナイ、商工省ニ於テモ買溜引ヲストルカカウツナイ、ソレハ司法權ノ權内デアラノダカラ、自分ハ知ラヌト云フ態度ヲ執ツテ居ル、其ノ結果名古屋ニ於テハ船ニ物ヲ積ンデ沈没サセテ之ヲ棄テト云フ者モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、要スルニ其ノ心理狀態ハ何千万ノ買溜引ヲ共通ノ心持デアリマス、斯ウ云フ者ニ付テハ、國家ガ物ヲ要求シテ居ル時デアリマスカラ其ノ動機ノミ、或ハ結果ノミヲ責メ上ゲナイデ、出來ルダケ之ヲ國家ノ有用ナモノニ使フ、ソレニハヤハリ司法權ガ或ル一定期間ハ寬大ニ處置ヲ執ル、例ハバ二箇月ナラ二箇月、或ハ三箇月ナラ三箇月以内ニサウ云フ買溜引ヲ出シテ、サウシテ商工省ノ公平ナル取

引ニ依ツテサレラナラバ敢テ罰シナイト云フヤウナ寬大ニ立場ヲ執ラレタラバ、此ノ者ハ安心シマシテ、却テサウ云フ買溜引タモノモ出サレル、其ノ結果ハ本人ノ爲ニモ、又司法權ノ爲ニモ、國家ノ爲ニモ有用ト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ

○三宅政府委員 此ノ所謂買溜引ヲ出サセルト云フコトニ付テハ、政府モ非常ニ關心ヲ持ツテ居リマシテ、此ノコトニ付テハ、モウ昨年ト申シマスヨリモ一昨年以來色々頭ヲ悩マシテ居ルデアリマス、司法省モ私ガ次官ニナリマス前カラ、既ニ商工省ト色々其ノ間ニ交渉致シテ居リマス、決シテ司法省ハ此ノ點ニ付テ商工省ノ仕事ヲ阻害スルヤウナコトヲ申シタコトハナイノデアリマス、唯商工省ノ方デ色々、例ハバ退職品ガ一體ノ位アルカ、或ハ退職品ト稱スルモノハ一體ドウ云フ種類ノモノカト云フコトノ御調査、又物ノ緊迫サト云フヤウナコトヲ色々考ヘラレテ、吾々ノ方トノ間ニ交渉ガ延ビ、ニナツテ居リマシタガ、昨年末カラ其ノコトニ付テ商工省ノ方針モ段々確定致シテ參リマシテ、退職品ヲ出サセル方法ニ付テ具體的ナ色々考慮ヲ拂ツテ居ラレヤウデアリマス、ソレニ付キマシテ司法省ノ方モ打合セテ居リマス、ソコ司法省トシテモツト退職品ヲ出サセルト云フコトハ、現在ノ國家ノ爲ニハ洵ニ是ハ必要缺タベカラザルコトデアリマス、是ハ非共出サセタイ、出サセルトハ、出スナラバ直々縛ルゾト云フコトデハ、出ス人ガナイコトハ、ハ御言葉ノ通りデアリマス、併シナガラサウカト云ツテ、モウ是ハ全然處罰シナイト云フコトヲ

申スコトハ、法ノ權威ニモ係ハリマス、又將來ノ違反者ニ對スル示シモ付カナイコトニナリマス、處罰スルシナイト云フコトハハツキリト何等カノ形式デ宣言スルコトモ、是ハ相當考慮サルコトナシデアリマス、唯併シ私共ノ考ヘテ居リマスコトハ、斯ウ云フ情狀ハ檢舉ト云フ場合ニ十分考慮シナケレバナラヌコトハ、是ハモウ固ヨリノ話デアリマス、只今御言葉ニアツク八十万カラノ檢舉者ガアルト仰シヤイマシタガ、併シナガラソレハ唯調ベラレタ人ガ相當ノ多數ニ上ツテ居ルト云フコトデアリマシテ、實際ノ處罰ヲ受ケテ者ハ、其ノ中ノ十分ノ一以下デアリマス、又本當ニ檢事局ノ取調ヲ受ケテ者デモ、現在デハ起訴セラレル人ヨリモ、不起訴ニナル人ノ方ガ多イノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアサウ云フコトガ生ズルカト云ヘバ、即チ情狀ヲ能ク斟酌シテ、起訴スベキモノデナイト認メテ、起訴ヲ猶豫スルト云フコトニナル譯デアリマス、其ノ起訴、不起訴ヲ決スル場合ニ於テハ、右ノ事情ハ十分ニ考慮致シマス、唯實際ニ於テ考慮スルト云フコトニ役立タナイト考ヘマス、何等カノ一般ノ人ヲ安心サセル方法ヲソコニ講ジナケレバナラヌデアリマス、之ニ付テハ色々考慮致シテ居リマスガ、マダ具體的ニ斯ウスルト云フ所マデハ、商工省トノ間ノ打合セガ付イテ居リマセス、今此處申上ゲルハ一寸時期ガ早イカト思フデアリマス、唯ナゼサウ云フ風ナコトカト云フコトヲ申上ゲマス、退職品ヲ居ル品物デモ、ソレヲ出シタカラト云フテ皆犯罪ニナルノデアリナイノデアリマス、犯罪ニナルモノモアレ

バ、犯罪ニナラヌモノモアルノデアリマス、ソコ犯罪ニナルモノガ凡ソドノ位ノ割合ニナルカ、犯罪ニナラヌモノハドノ位ノ割合ニナルカト云フコトニ付テモ相當考ヘマシテ、其ノ上デ處置ヲ致シタイ、是等ノコトニ付テノ交渉ハ目下商工省ト進メテ居リマス、何等カノ形式ニ於テ只今ノ御質問ニ御答ヘスルヤウナ事態ガ發生スルコトト御承知願ヒタイノデアリマス

○山元委員 能ク分リマシタガ、唯可ナリ退職品ヲ居ルト云フ話ヲ聞イテ居リマスカラ、二月ナラ二月以内デ之ヲ出シタラバ免ズルト云フコトガハツキリシナイト、其ノ罰スルカ罰シナイカト云フコトガ、司法權ノ自由圈内ニアルト云フコトニナルト、或ル程度不安ヲ抱ク、開相場ガ怪シカラヌト云フコトハ、モウ國民一般ニ愛國心ト共ニ非常ニ擴マツテ居ル、今後モナシ、過去ニ於テモナイデセウケレドモ、折角物ヲ其處ニ溜メテ居ル、買ツタ物ガアル以上、之ヲドウスルカト云フコトハ、開相場トカ何トカ云フ問題デハナクテ、之ヲ捨捨テシマフカ、出サヌヤウニスルカ、サウデナケレバ公道相場デナケレバ出サレヌト云フ、此ノ三ツヨリシカアリマセス、併シ退職品ヲ居ル品物ニ付テハ、ドウスルカト云ヘバ、國家ガ涙ヲ以テ、或ル一定期間内ニ於テ出セバ處罰シナイト云フコトニナル以前ハ、安心シテ出ス方法ハナカラウト思ヒマス、其ノ點ハ商工省トモ御協議ヒマシテ、國家ノ爲ニ實ヲ取ルト云フ御考ヘヲ以テ之ニ對處サレヌコトヲ、希望シテ申述ベテ置キマス

ソレカラ最後ニ、看守ガ非常ニ安イ月給デ事務的ニハ非常ニ劇務ニ從ツテ居ラレ

而モ一般巡査ハ新聞ニモ載ルシ、或ル程度世間的ニモ重シクテ居リマスガ、看守ハ經濟生活ニ於キマシテモ、時間的ニモ、劇務的ニモ、惠マレナイ状態ニ置カレテ居ル、世間トモ非常ニ無交渉ノ状態デアル、是ハ全ク司法權ノ内部ノ問題デアリマスカラ、世間ノ空氣ニ餘リ觸レテ居リマセス、デスカラ斯ウ云フ劇務カラ、何トカ方法ヲ講ジテ、モウ少シ餘裕ヲ持ツヤウニ、物質的ニモ惠マレヤウニ、此ノ待遇ノ改善ニ對シテハ、私自ラ相當ノコトヲ聞イテ居リマス、カ、將來何トカ改善スル方法ヲ御考慮サレタイ、其ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒマス

○三宅政府委員 看守ト云フ洵ニ下級ナ、而モ今御言葉ノヤウナ、實際人ノ目ニ付カナイ所デ非常ニ苦勞ノ多イ生活ヲ送ツテ居リマス人達ニ對シテ、特ニ御考慮ノ御言葉ヲ戴キマシタコトハ、洵ニ有難ク存ジマス、全ク是ハ御言葉ガアルカラ言フノデナクテ、常ニ私共ノ本當ニ憐ミシテ居ル所ナノデアリマス、實ハ待遇ガ非薄デアリマス爲ニ、看守ヲ辭メル人ガ非常ニ多クアリマシテ、是ガ補充ニ非常ニ困ツテ居リマス、サラバト云ツテ、刑務所ニ居ル人達ヲ看守ナシテ置ク譯ニ行キマセス、ドウ云フ風ニシテ宜イカト云フコトニ非常ニ苦慮致シテ居リマス、甚ダ申上ゲ兼ネルコトデアリマスガ、看守ノ經驗ガナイ爲ニ、刑務所ノ秩序等十分ニ行カナイト云フコトマデモ、私共ハ非常ニ憂慮シテ居ルノデアリマス、ヤハリ看守ノ待遇ヲ國家ガモツト裕カニシテ戴キタイ、此ノ事ニ付キマシテハ、最近ニ於テ小學校ノ教員ノ増俸ト云フコトモアリマシタシ、司法大臣ニ於キマシテモ、

財政當局ト更ニ其ノ點ニ付テ御交渉ニナツテ居リマス、大藏當局モ看守ノ地位ノ慘メナコトニ付テハ能ク諒解シテ戴イテ居ルデアリマスガ、斯ウ云フ戰時財政ノ際デアリマシテ、多額ノ金ヲ割イテ戴クコトガ出來ナイコトハ遺憾デアリマス、併シ其ノ點ニ付テ大藏省ノ非常ニ好意アル御同情ニハ期待シテ居ルノデアリマス、恐ラク此ノ期待ハ私共莫切ラレナイと思ツテ居リマス、今少シ今後ノ推移ヲ見テ戴キタイト思ヒマス、ソレダケデ唯大藏省バカリニ御願ヒシテ置イタノデハ足りマセス、私達ト致シマシテハ先ツ看守ノ地位ヲモシガナケレバナラナイと思ヒマシテ、副看守長ト云フヤウナ新シイ地位ヲ作リマシテ、看守ノ中デモ良イ人ガ上レルヤウニ、隨テ又多少ナリトモ待遇ガ良クナリマスヤウニシテ、士氣ヲ鼓舞スルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、尙ホ實與トカ或ハ家族手當トカ云フヤウナ問題ニ付テモ、是ハ最低ノ役人ナシデアリマス、出來ルダケ機會アル毎ニ其ノ均等ヲ求メテ居リマス、勿論斯ウ云フ時勢デアリマシテ、御氣ノ毒デアリマスケレドモ、幾ラカツツ改善サレツツアルト、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、マダ不十分デアリマスガ、將來十分ニ努力致シマシテ、御希望ノヤウナコトニ致シタイト存ジテ居リマス

○山元委員 是デ宜シウゴザイマス

○西村委員長 福田君

○福田(關)委員 私人司法省ノ部内ノ刷新ニ付テ簡單ニ御問ヒシタイノデアリマス、近來官吏制度ノ改革、官廳事務ノ刷新ト云フコトガ新體制ト共ニ叫バレテ居ルノデアリマスガ、司法省部内ノ刷新ニ付テ如何御考

(ハニナツテ居ルノデゴザイマス、如何デアリマスカ承リタイ、ドウモ私共ノ感ズル所デハ司法省部内ノ舊態依然トシテ何等變革サレタヤウナ所モナイ、民事訴訟、或ハ刑事事件、若シハ檢事ノ取締方法、豫審制事ノ取調等隨分非難ヲ永年致シマシタ點ガドウモ改革ガ出來テ居ラナイ、民間ニ向ツテハ國民ノ再組織、其ノ他色々時勢ニ必要ナル法律ガ先程モ仰セニナリマシタヤウニ濫發サレマスケレドモ、ドウモ官廳方面ニ新體制確立ニ付キマシテハ或ハ官吏及ビ判檢事ノ——何ト申シマスカ綱紀的ノ方面ニ於キマシテモ一向ニ御改革ノ跡ガ見えヌヤウニ思フデアリマス、私共マダ知ラナイ點ガアルカモ知レマセスガ、是ハ一ツ至急ニ御考ヘラレバハナケレバナラヌ點デハナイカ、ソレガ爲メ國民ノ受ケマスル物質的精神的ノ損害ト云フモノハ相當莫大ナモノガアルノデアリマスガ、司法省デハ遲延ナガラニモサウ云フ方面ニ付テハ何カ劃期的ノ一ツノ御計畫デモアルノデゴザイマセウカ

○三宅政府委員 司法部内ノ刷新ト云フ御言葉ノ中ニハ、司法部ノ事務ノ執リ方ノ刷新ト又其ノ執リ方ノ刷新ト兩面ガアルト思フデアリマス、先ツ司法部内ノ事務ヲ執リ方ノ刷新ニ付テコトヲ申上ゲマス、司法部ノ執務ノ方法ハ事ガ人権ニ影響致シマス、法律ヲ以テ其ノ取扱ヒ方ヲ嚴重ニ規定シテアリマス、サウシテ又其ノ法律ニ依ツテ慎重ノ上ニモ慎重ニト云フコトヲ目的トシテ法律ガ出來テ居リマス、其ノ關係上法律ヲ直シマセヌト執務ノ方法ニ付テハ改革ト云フコトガナシ得ラレナイノデアリマス、ソレデアリマス、此ノ法

律ヲ先ツ變ヘル、即チ今御言葉ノ中ニアリマシタヤウニ民事刑事ノ訴訟手續ガ舊態依然トシテ相變ラズデハナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハヤハリ新體制ト申上ゲルノデアリマセスガ、時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、舊來ノ弊害ヲ除去シテ、新シイ完全ナ制度ニ向ツテ進んで行クト云フコトハ當然シナケレバナラヌコトデアリマス、ソレニ付キマシテ刑事訴訟、民事訴訟ノヤリ方ノ改善ト云フコトニ付テハ、目下司法省デ熱心ニ研究ヲ致シテ居リマス、實ハ早レバ此ノ議會ニモ提出致シタイと思ヒマシタケレドモ、此ノ民事、刑事ノ訴訟手續革新ト云フコトハサウ簡單ナコトデアリマセヌシ、又人權ニ重大影響モアリマシテ、出來得マスナラバ、此ノ次ノ議會ニハ民事刑事ノ訴訟法ヲ改正ヲ提案致シタイと思ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ先程モ山元委員カラノ御言葉ガアリマシタヤウニ、唯訴訟法ガ變ツタカラト云ツテ訴訟ガ良クナルトハ思ヒマセス、之ヲ動かスモノガ本當ニ訴訟又ハ國家ノ重キニ任ズル心ガナクテハ、如何ニ訴訟法ヲ改正シテモ皆ク行カナイノハ當然デアリマス、良キ人物ヲ採用シ、其ノ良キ人物ヲ陶冶スルコトガ必要デアル、之ニ付キマシテハ、自慢デハゴザイマセスケレドモ、官吏ノ所謂再教育ト云フコトノ先鞭ヲ付ケマシタノハ司法省デアリマス、本年ニナリマシテ總力戰研究所ト云フモノガ出來タリ或ハ方々ニ鍊成道場ガ造ラレマシタガ、既ニ司法省ニ於キマシテハ、鹽野司法大臣ノ時代ニ司法研究所ト云フモノガ設立サレマシテ、其處ニ於テ若イ判檢事更ニ相當ノ年職務ヲ執ツタ判檢事







際ノ日本ノ戰時經濟ノ實情ヲ吞込マセマス  
シ、又檢舉ノ方針ナリ或ハ檢舉後ノ取扱ニ  
付テノ嚴密ナル打合せヲ致シマシタノデ、  
今日ハ昔日トハ大變違フタ態勢ヲ整ヘテ居  
ルト思フノデアリマス、尙ホ私共ハ之ニ滿  
足シテ居ル譯デハゴザイマセヌノデ、今後  
ハモット會同ヲ密接ニ致シマシテ、モット  
屢、會同シテ、殆ド中央ト地方トノ間ニ斷  
ナク事務ノ打合せノ出來ルヤウニ致ス考ヘ  
デアリマス、尙ホ是ハ内務大臣カラモ司法  
大臣カラモ御答辯ガアツタコトデアリマス  
ガ、現ニ警察ニ相談部ヲ設ケマシテ、經濟  
ニ付テノ相談ヲ人民カラ受ケルコトニシマ  
シタ、之ニ付キマシテハ、檢事モ常ニ其ノ  
相談所ノ仕事ニ付テハ、打合せニ參畫致  
シマシテ、民衆ニ經濟上ノ事犯ヲ起サセテ  
イヤウニ、豫メ之ヲ防グ方法ヲ緊密ニ執ル  
積リデアリマスシ、又現ニ執ツテ居ルノデ  
アリマス、是ガ巧ク行キマスト追々ニ民衆  
ノ經濟事犯ニ對スル認識モ深マツテ參リマ  
スルカラ、斯ウ云フ經濟事犯ニ付テ不幸ナ  
トヲ取扱ヒマス警察官、判檢事モソレソレ  
段々ニ民衆ノ事情ガ能ク分ツテ參リマスカ  
ラ、自然ニ實績ガ擧ツテ來ルト思フノデア  
リマス、是ハ決シテ政府委員ニ能ク言ハレ  
マス、此ノ場限リノコトヲ申上ゲマスノデ  
ハアリマセヌ、相談所ハモウ既ニ看板ヲ掲  
ゲテ居リマス、サウシテ檢事モソレニ參畫  
スルコトニ付テハ指令ヲ出シテ居リマスノ  
デ、何レモ其ノ點ハツキリト福田委員ノ御  
目ニ止マルコトト思ヒマスノデ、是ハ其ノ  
場限リト御考ヘニナラナイヤウニ願ヒマス  
尙ホ檢事局方獨立シナイデドウモ權力ガ  
ナイト云フ御見解ニ付テハ、洵ニ是ハ卓見

デ、私モ實ハ非常ニ驚イテ居ルノデアリマ  
ス、洵ニ檢事局ノ陣容ト云フモノガ十分ニ  
完備シテ居ルト云フナリ爲ニ、凡ニルコト  
ニ付テ司法警察官ヲ自分ノ手足ノ如クニ動  
カセルト云フダケノ體制ヲ持ツテ居ラズト  
云フコトニ付テハ非常ニ私共モ遺憾ニ存ジテ  
居リマス、是ハ一ツハ檢事其ノ人ノ教養ナ  
リ又識見ナリニモ依ルコトデアリマス、是  
等ニ付キマシテハ十分ニ氣ヲ付ケタイト思  
ヒマス、檢事局ノ獨立ト云フコトハドウ云  
フ御趣旨デアツタカ一寸私共トシテ了解致  
シマセヌ所デスガ、恐ラク是ハ檢事局ガ司  
法警察官ヲ頼ラズニ仕事ヲスル、即チ專屬  
ノ司法警察官ヲ持ツガ宜シイ、斯ウ云フ御  
意見ダト思ヒマス、此ノ點ニ付テハ御承知  
ノ通り非常ニ沿革ガアリマシテ、檢事局ニ  
直屬ノ司法警察官ヲ持ツコトガ宜イト云フ  
意見モ屢、唱ヘラレ、ソレニ付テノ研究モ致  
シマシタ、併シ私ノ多年司法部ニ關係致シ  
マシタ経験カラ申シマス、現在ノ事情カ  
ラ申シマス、理論カラ申シマスナラバ檢  
事局ニ直屬ノ司法警察官ガアルコトハ洵ニ  
結構デアリマス、又ソレガ理想デアリマス、  
併シナガラ何モ金ノコトヲ申スノデアアリ  
マセヌガ、現在ノ日本ノ機構ニ於テ突如ト  
シテ專屬ノ司法警察官ヲ置クト云フコトハ、  
是ハ寧ろ弊害ノ方ガ多イノデアリマス、少  
クトモ私トシテハ此ノ案ニハ贊成致シマセ  
ヌ、寧ろ是ハ檢事局ト警察官ト、共ニ國家ノ  
官廳デアリ、陛下ノ仕事ヲ執ツテ居ルモノ  
デアリマスカラ、オ互ニ相協力スルノハ此  
ノ戰時ニ於テ當然ノコトデアリマス、オ  
互ヒニ自分ノ繩張りニ依ツテ争フコト云フ  
トハ、此ノ時代ニアルマジキコトデアリマ  
スノデ、此ノ點ヲ十分ニ強ク一般ニ體得致

シマスレバ、自ラ其ノ點ニ付テノ疏通ガ得  
レラルト思ヒマス、サウシテ私ハ此ノ點ハ、  
非常ニ大言ノヤウデアリマスガ、過去二三  
年ノ間ノ檢察陣ノ實績ト云フモノヲ本當ニ  
能ク同情ヲ持ツテ御覽下サイマスナラバ、  
勿論ソレハ全部ガ良イト申ス譯デア  
リマセヌケレドモ、相當ニ自肅自戒シ、  
進歩ニ向ツテ進ミツアルコトハ私ハ認メ  
テ置ケルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付  
テハ私共ガ唯徒ラニサウ云フコトヲ申  
スダケハ十分デアゴザイマセヌガ、實ハ  
私共ノ誠意ト熱意トヲ買ツテ戴キマシテ、  
更ニモウ二年ノ年月ヲ藉シテ戴キマシテ  
バ、只今福田委員カラ御叱リヲ受ケタヤウ  
ナコトハ、少クモ其ノ大部分ハ自然ナクナ  
ルダラト云フコトヲ私ハ自分定期シテ居ル  
ノデアリマス、私ハ御承知ノ通り多年判事  
トシテ仕事ヲ致シテ居リマシテ、司法事務  
ノ取扱ニ付テハ、其ノ長所モ短所モ相當ニ研  
究シ承知シテ居ル積リデアリマス、併シナ  
ガラ短所ト雖モサウ一朝一夕ニ忽チ綺麗ニ  
ナルト云フコトハゴザイマセヌ、私モ此ノ  
職ニ就キマシタ以上ハ、實ハ一生懸命ニナ  
ツテ、兎ニ角少クモ過去ニ於テ私ガ是ハ  
イケナイト思ツタコトハ、私ガ此ノ職ニ居  
リマス限リ、是非是正スルコトニ、少クモ  
私ノ全力ヲ擧ゲテ致シテ居ル積リデアリマ  
ス、甚ダ微力デアリマシテ、御期待ニ副ヒ  
テ居リマス、ドウカ此處ダケノコトト思召  
シニナラズニ、今後福田委員ヨリ司法省  
ニオイデ下サイマシテ、私共ノヤルコトガイ  
ケナケレバビシク御叱リ下サイマシテ、  
ドウカ御指示ヲ戴キタイト思フノデアリマ

最後ニ判檢事ノ責任觀念ノ乏シイコト、  
是ハ洵ニ私共痛イ所デアリマシテ、判檢事  
ノ責任觀念ト云フモノハ、私ハ足りナイノ  
デハナイト思ヒマスガ、少クトモ表面ニ  
現ハレテ居リマセヌ、判檢事ガ本當ニ自分  
ノ仕事ニ付テ、完全ニ責任ヲ執ツタト云フ  
印象ヲ一般ノ人ガ受ケ得ナイヤウナ仕組  
ナツテ居ルノデゴザイマス、是ハ甚ダ遺憾  
デアリマス、又是デハイケナイコトハ福田  
委員ノ御示ナル通りデアリマス、是ハ相當  
昨年來唱ヘテ居リマシテ、現ニ其ノ責任ニ  
付テハ實例ヲ申上ゲテモ宜イト思ヒマス、  
昨年ノ暮ノ官報ヲ御覽ニナリマス、ソレ  
ニハ東京地方裁判所ノ檢事正ト、東京區裁  
判所ノ上席檢事トガ相違シテ罰俸ヲ受ケテ  
居リマス、一人ハ月俸十分ノ一、今一人ハ  
二箇月俸十分ノ一ノ罰俸ヲ受ケテ居リマ  
ス、是ハ文官高等懲戒委員ノ決定ヲ受ケテ、  
サウ云フ普通ノ判事トシテハ相當ノ重イ刑  
ヲ受ケテ居リマス、ソレハ其ノ二人ガ自分  
ノナシタ行爲ニ付テ責任ヲ負ツテ居ルノデ  
ハアリマセヌ、其ノ部下ノ或ル檢事ガ、其  
ノ事務ヲ執リマス間ニ、横領若シクハ詐欺  
ニ類スル行爲ヲシタコトニ對スル監督ノ責  
任ヲ負ウタノデアリマシテ、其ノ責任ハハ  
ツキリト官報ノ上ニ載ツテ居ルノデアリマ  
ス、是ハ從來ト致シマシテハ、斯ウ云フ場  
合ニ於テ是程ノ責任ヲ執ルコトハナカツタ  
ノデアリマスガ、之ヲ機會ト致シマシテ、  
今後ハ苟クモ責任ノアル者ハ、其ノ責任ヲ明  
確ニスルコトヲ端緒ヲ開キマシテ、  
ソレデ只今仰セニナルヤウナ重大ナ仕事ヲ  
致シテ居ル者ノ責任ヲハツキリサセヨウト  
思フノデアリマス、尙ホソレニ付テ此ノ機  
會ニ於テ申上ゲマスガ、近キ機會ニ監察制

度ヲ設ケマシテ、檢事ノ非違ニ對シテハ其  
ノ監察官ヲ以テ其ノ責任ヲ問フ、苟クモ疑  
ヒノアル事件、例ヘバ民衆カラ怨嗟ノ聲ヲ  
放ケラレタヤウナ事件ニ付キ、或ハ事件ノ結  
果ガ良好デナカツタ事件ニ付テハ、監察  
官ガ其ノ獨自ノ立場カラ其ノ仕事ノ結果ヲ  
調ベマシテ、其ノ結果ヲ監察委員會ニ報告  
致シマシテ、其ノ委員會ノ判斷ニ基イテ、  
司法大臣ガ處置ヲ執ル、斯ウ云フ仕組ヲ立  
テテ居リマス、是ガ出來マスレバ先程御話  
ニナリマシタヤウナ人民ガ官憲カライデメ  
ラレテモ懲フル所ガナイ、官憲ハ官憲デ皆  
オ互ヒ同土同ジ穴ノ猪デアツテ、結局自分  
ノ仲間ノ惡イコトハ惡イトシナイト云フヤ  
ウナ御言葉デアリマシタケレドモ、監察官  
ハ全然別個ノ立場カラ監察ノ行動ヲ致シマ  
スカラ、ソレニ依ツテソレハ明カニナルト  
云フコトヲ信ジテ居リマス、是ハ私ハ多年  
斯ウ云フコトガナケレバイケナイト云フコ  
トヲ主張シテ居ツタノデアリマシテ、丁度  
今回治安維持法ガ施行サレマス、之ニ伴  
ツテ此ノ仕事ヲ始メマシテ、サウシテ之ニ  
依ツテ本當ノ正シイ責任ヲ執ラセルト云フ  
コトニ致シタイト思フノデアリマス、ドウ  
カ私共ノ熱意ノアル所ヲ御酌取リ願ヒタイ  
ト切ニ御願ヒ致ス次第デアリマス

○福田(關)委員 三宅次官ノ司法省部内ノ  
凡ニル部門ノ御改革ニ付テノ非常ナル御誠  
意ト、御熱心ナル御意見ヲ聽キマシテ、私  
共ハ意ヲ強ク致スノデアリマス、ドウカ何  
處ノ省デモ首腦部ノ方ハ、本當ヲ申シマス  
ト、サウ云フ方ハ五年モ六年モ長ク居ツテ  
戴キタイノデアリマスガ、色々ナ事情デ早  
ク御送りニナルガ、サウ云フ御理想ヲ御持  
チニナル方ガ他ニ榮轉其ノ他轉勤ヲ致シマ

ス際ニハ、今後ハ其ノ御理想ヲ後任者ニ繼  
承サレテ御實行ヲ願ヒタイト思フノデアリ  
マス

只今責任問題ニ付テ監察官ヲ御設置相成  
ルト云フコトモ、是亦大變意ヲ強クスルノデ  
アリマス、併シ監察官ハ人民ノ方カラ申シ  
マス、監察官制度ガ出來テ、徒ラニ又人  
民ノ方ノ監察バカリヤツテ居ツテ、眞ノ判  
檢事ノ御行動ニ對スル監察ガ薄イノデハナ  
イカト思ハレナイヤウニ十分御願ヒ致シタ  
イノデアリマス、今東京地方裁判所ニ於ケ  
ル責任ヲ問ハレタト云フ話ハ、私モ承知致  
シテ居リマス、私ハ事實ニ於テドノ裁判カ  
ラ見テモ不當ノ檢舉デアリ、何處ヲ見テモ  
罰スベキ何モノモナイニ人民ヲ數日間、  
數箇月間未決ニ置クト云フコトハ、餘程ノ  
作意ガアリ、或ハ惡意ノ過失デアリマセヌ  
デモ、其ノ結果カラ見マスト社會ニ及ボス  
害毒ハ相當大ナルモノガアルノデアリマス  
カラ、今後ノ判檢事ノ責任ト云フモノハ、  
判事ノ方デ裁判ナサルト云フモノハ、私ハ追責  
スルコトハ相當困難デアラウト思ヒマス  
ガ、檢事ニ於テハ出來ルダラウト思フノデ  
アリマス、判事ニ於テモ左遷其ノ他ガ出來  
ルノデアリマス、サウ云フヤウナ餘リ非常  
明カニナツタモノヲ、無理矢理檢舉シタト  
云フヤウナコトニ付テハ、出來ルダケ網紀  
肅正ノ上ニ於テソレ等ノ者ニ對シテ御執  
或ハ減俸其ノ他出來ル限リノ方法ヲ御執  
ニナルト云フコトガ、今次官ノ仰セニナツ  
タヤウナ御趣旨ガ徹底スル所以ダト思フノ  
デアリマス、左様ニ願ヒタイ、ソレカラ只  
今司法省ヲ御叱リ云々ト云フ御言葉ガアリ

マシタガ、私ハソノ意味デ申シタノデハ  
アリマセヌ、本員ハ唯國民代表トシテ永年  
ニ互ル事實ニ付テ茲ニ申上ゲルノデアリマ  
スカラ、左様ニ御考ヘテ願ヒタイノデアリ  
マス、尙ホ先程裁判所ニ於テ横領費消等ガ  
アツテモ檢舉シナイト云フ仰セガアツタ  
言ハレル、私ハ檢舉シナイトハ言ハナイガ、  
檢舉シナイトモ言ハセウ、例ヘバ今年度  
御徴收ニ相成リマシタ罰金、追徴金ト云フ  
モノハ——私ハ決算ノコトニ付テハ色々研  
究シテ、憲法上或ハ會計法上カラ考察致シ  
マシテ、大藏大臣等ニ對シマシテハ毎年苦  
言ヲ呈シテ居ルノデアリマスガ、日本ノ歳  
出歳入ト云フモノハ如何ナルモノデア  
ルカ、今年度中ニ歳入ニナツタモノハ八八  
今年度ニ國庫ニ之ヲ納ムベキモノデゴザイ  
マス、ソレヲ三年、四年、五年、六年、七  
年、長崎地方裁判所ノ如キハ七年間繼續シ  
テ横領費消シテ居リマス、又金澤地方裁判  
所等ニ於テ、或ハ東京——一寸今書イタモ  
ノガアリマセヌカラ記憶致シマセヌガ、控  
訴院デアツタト思ヒマスガ、是モ少クトモ  
五年間ナツテ居リマス、今年徴收シタ罰金、  
追徴金ハ、其ノ年度ニ於テ國庫ニ納マルベ  
キモノガ、三年モ五年モ七年モ八年モ納メ  
ズニ消費サレテモ分ラズト云フ所ヲ見マス  
ルトハムラ得ズ分ツテ檢舉シタト云フ  
モノハ、其ノ間ガ不檢舉デアル、斯ウ云フヤ  
ウナモノノデアリマス、尙又今年度決算ニ  
現ハレマシタ所ヲ見マシテモ、是ト等シイ  
モノガアルノデ横領裁判所ニ於キマシテハ歳  
入ニ編入スベキモノ五千餘圓ト云フモノガ  
アリマスガ、是等ノモノハ昭和十一年ノ五  
月カラ十四年ノ六月ノ間ニ互リ行ハレテ居  
リマス、其ノ間ニ檢事局ノ者ガ繼續シテ横

領費消シマシテモ、毎年之ヲ檢査ナサルナ  
ラバ、其ノ年々擧ガナケレバナラヌ、ソ  
レガ十一年カラ十四年ノ六月マデデアリマ  
ス、約四年間、其ノ間國家ニ納ムベキモ  
ノヲ納メズシテ、之ヲ横領費消シテ居ルノ  
デアリマス、其ノ間ニ檢舉シタコトヲ云  
フコトハ、私ノ申上ゲマシタコトヲ檢舉  
ナイト云フコトニ御取リニナツテモ差支ナ  
イト思フ、又和歌山縣ノ新宮裁判所ノ檢事  
局ニ於キマスノモ、十三年カラ十四年ノ二  
月、約一年間ニ之ヲヤツテ居リマス、私ガ  
一昨年モ昨年モ申上ゲタ事實ハ、司法大臣  
モ御認メニナリマシタ、今後ハ網紀ノ肅正  
ヲ期シテ左様ナコトハナイヤウニスルト仰  
セニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ八  
年間繼續シテヤツテ居リマス、マルデ國  
家ノ歳入ト云フモノハ誠苦茶デナイカト  
申上ゲル、左様ナ事實ガ澤山ゴザイマシ  
テ、一々申上ゲル時間ガゴザイマセヌカ  
ラ、總括ノ例トシテ申上ゲタイマセヌカ  
ス、何處其處ノ裁判所デドウト云フコトハ  
申上ゲナカツタノデアリマスガ、サウ云フ  
事實ガアレバト云フ仰セデゴザイマスノ  
デ、已ムラ得ズ申上ゲタノデ、是ハ一體分  
科會ニ於テヤルベキモノデゴザイマスガ、  
左様ナ事實ガ澤山アルノデアリマス、ソレ  
ガ六年モ七年モ國家ノ歳入トナルベキモノ  
ガ、歳入ニナラズシテ横領費消サレテ居ル、  
而モソレガ檢事局内デアル、斯ウナレバ國  
民ハ中々承知シナイ、隨テ今年度ノモノハ  
今年檢舉ガ出來ナカツタバカリデナク、ソ  
レガ七年、八年モ分ラナカツタト云フノ  
ハ、是ハ不檢舉主義デハナイカ、斯ウ云フ  
ヤウニ私ハ申上ゲルコトモ無理デナイノデ  
ハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ檢察

第二類第一號 決算委員會議錄 第十七回 昭和十六年二月二十七日

二九一



○其ノ買収ヲスルニ付テ是非頼ム其ノ判  
ヲ控スト捺サザルトニ依ツテソレガ決マル  
ソレヲ捺シタ爲ニ數十萬圓ノ賄賂ヲ取ツタ官  
吏ガアル、其ノ時ニ警視廳ガ是非ヲ檢  
シテ、何處マデモヤラネバナラヌト云フ  
ノデ、一生懸命ヲラレタガ、遂ニ檢察當  
局ノ幹部ニ依ツテ、是ガ不檢察トナツタ  
事實ハ、歴然トシテ集ツテ居ル、サウ云  
フ實例ハ申上ゲルマデモナク澤山アル、  
ソコデ捜査機關ト檢察當局トノ對立トナ  
ル、サウ云フコトデナクシテ、初メカラ  
檢事ガ斯ウ云フ認識ヲシテ、是ハ大官デ  
ラウガ何デアラウガ、細紀點正ノ爲ニヤ  
付ケテシマフ、ソレガケコトガアリマ  
スナラバ、警視廳モ之ニ依ツテ殆ド手足  
如クニ働イテ、總テモノヲ檢察シテ來ル  
ト云フコトニナル、ソコデ檢察當局ト警視  
廳トガ對立シテ居ルコト云フ事實モアリ  
マ、ソレデ結局ドウカト云フト是ハ有耶無  
耶ニ終ツタ、小サイモノハドシ、檢察シ  
テ、問フベカラザル者ガ問ハレテ、圍圍  
中ニ非常ナ苦シミヲ與ヘルケレドモ、大キ  
ナモノハ皆存存ノ魚ヲ遊シテ居ル、斯様ナ  
コトデハドウナルカ、今本當ニ申上ゲマス  
レバ現内閣ニモ及ビマス重大事件デアル、  
左様ナコトガ實際ニ於テハ現在ノ檢察當局  
ト云フモノノ現狀デハ、到底是ハイカス、  
斯ウ云フ點カラ私ハ申上ゲルノデアリマシ  
テ、唯自分ノ個人ノ感シカラダケ申上ゲル  
ノデハナイコトヲ一ツ御考ヘテ願ヒタイ  
デアリマス、ソレカラ大體今次官ガ、洵ニ  
私共ト御同感デアルト御熱意ノアル所ヲ御  
披瀝下サイマシタノデ、益々國民ハ意ヲ  
強ウスルコトガ出來、又檢察廳及ビ裁判所  
ニ向ヒマシテ、滿幅ノ信賴ヲ寄セルコトガ

昭和十六年二月二十七日印刷

昭和十六年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

出來ルヤウニナランコトヲ切ニ私ハ祈ル  
ノデアリマス、又次官及ビ一般ノ方々モ之  
ニ渾身ノ御努力ヲ御願ヒ致シマシテ、國民  
ガ斯ウ云フコトヲ申サナケレバナラヌト云  
フ此ノ原因ノ全滅致シマスヤウニ、一ツ御  
配慮ヲ願ヒタイ、其ノ次ハ序ニ御伺ヒテ致  
シマスガ、樺太ノ炭礦買収ニ付テ、發送電  
カラ賣リマシテ炭礦ガアル、之ニ對シテ現  
在或ル裁判所ニ檢察サレテ居リマス者ガア  
ルガ、是ハ如何ナル理由デアリマスカ、或  
ハ幾人ヲ御檢察ニナツテ居リマスカ、之ヲ  
御伺ヒタイデアリマス、ソレカラ其ノ以  
前、政黨本部ヲ襲撃致シマシタ者ガ、是ハ  
檢事局ヲ御調ベニナリマシタ結果ガ、驚ク  
ベキ自白ヲシテ居ル管デアリマス、是等ノ  
者ハ何處カラ見マシテモ家宅侵入罪デア  
リ、同時ニ器物ノ破壊デアリマスカラ、刑  
法ノ條章ニ依ツテ處分シナケレバナラヌ者  
デアルガ、是亦大ナル政治上ノ威力ニ依ツ  
テ、遂ニ不檢察ニナツタコト云フデアリマ  
ス、其ノ調査ハ檢事局内ニ止ツテ居リマス  
ガ、之ヲ御發表願ヒテモ差支ヘナイノデア  
リマス、其ノ所謂政黨本部ヲ襲撃致シマシ  
タ者ガ、其ノ金ハ誰カラ出カト云フテ居  
ル、ソレ等今日ノ革新政黨ノ實際ト云フ  
モノト相合シテ見マスと思ヒ半バニ過ダ  
モノガ其處ニ出テ來ルノデアリマス、左様ナ  
暗黒面ヲ——司法省ハ一ツ公平ナル道ニ立  
タレナケレバナラヌカラ、其ノ點ニ於テモ  
檢察廳ノ獨立ト云フモノガ私ハ必要ニナツ  
テ來ルト思フデアリマス、先ツ以上ノ點  
ニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイ  
マス、ソレカラ今裁判所ノ權限消滅云々ト  
云フコトヲ申上ゲマシタガ、尙ホ實例ト致  
シマシテ相當ゴザイマスカラ、事實ハ幾ラ

デモ申上ゲルコトガ出來マス  
○三宅政府委員 樺太ノ炭礦ノ買収ニ付キ  
マシテ何人檢察サレタカト云フコトニ付テ  
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ是ハ今檢査  
中デゴザイマスノデ、其ノ内容ヲ申上ゲル  
自由ヲ持チマスカラ、殘念ナガ申上ゲ  
ラレマス、ソレカラ政黨本部ノ襲撃ハ私  
ノ考ヘデハ不起訴ニナツタと思ヒマス、ソ  
レカラ其ノ不起訴ノ内容ニ付テモ是亦發表  
出來ナイノガ原則ニナツテ居リマスノデ、  
今日此處デソレヲ申上ゲルコトハ出來マセ  
ヌ、實ハ私モ其ノ記録ヲ見テ居リマス、  
デ、話セト云ハレテモ存ジテ居リマス、  
御諒承ヲ願ヒマス

午後四時十四分散會

第二類 第一號

第七十六回帝國議會 決算委員會議錄(速記)第十八回

(1111)

會 議  
昭和十六年二月二十八日(金曜日)午前十時  
三十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村茂生君

理事會木 重貴君 理事高見 之通君

理事高橋義次君 理事小見山七十五郎君

理事紅露 昭君 理事鹽川 正藏君

理事福田關次郎君

今井 新造君 池田七郎兵衛君

池本甚四郎君 石坂 繁君

若瀨 亮君 小笠原八十美君

大内竹之助君 大島 寅吉君

大野 一造君 河合 義一君

木村 淺七君 駒井 重次君

田代 正治君 瀧澤 七郎君

濱地 文平君 眞鍋 勝君

松浦周太郎君 松本治一郎君

山元龜次郎君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 橋田 邦彦君

出席政府委員左ノ如シ

外務書記官 武内時之助君

內務書記官 三好 重夫君

大藏書記官 梅北 末初君

大藏書記官 日下部 滋君

營繕管理局長 入江 昂君

司法書記官 石田 壽君

文部省實業事務局局長 關口 勳君

文部省社會教育局長 齋藤 彌三君

文部書記官 柴沼 直君

農林書記官 岡本 直人君  
逓信省經理局長 山田 良秀君  
鐵道省經理局長 平山 孝君  
拓務書記官 中野 勝次君  
厚生書記官 生住佳求馬君  
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ  
議員 土屋清三郎君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十四年度歲入歳出總決算、昭和十四  
年度各特別會計歳入歳出決算

昭和十四年度國有財産増減總計算書

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、文部

大臣ガ御見エニナリマシタカラ文部省ニ關

スル質疑ヲ願ヒマス——松本君

○松本(急)委員 文部大臣ニ御伺ヒ致シマ

ス、今次ノ支那事變ノ爲ニ應召出征者ノ遺家

族、又ハ殊ニ最近中小商工業者ハ所謂經濟新

體制トカ經濟統制云々ノ下ニ、商フニ物ナ

ク、仕事ヲスルノニ資材ガナク、掛壁バカリノ

轉失業線上ニ放リ出サレテ、收入ハ極度ニ

減少シ、甚シキ者ニ至リマス杜絶ノ狀態

ニアルノデアリマス、生活不安ハ増大シ、

生活ガ苦シクナルニ連レテ、家族ノ教育ノ

上ニ由々シキ問題ガ今生ジテ居ルノデアリ

マス、ソレ等ノ子弟中等教育、專門學校、

大學等ノ教育ヲ受ケテ居ル者ガ多數アルノ

デアリマスガ、ソレ等子弟ノ中ニ中途ニシ

テ、而モ卒業間際ニナリマシテ廢學シナケ

レバナラナイ問題ガ起ツテ居ルノデアリマ

ス、現ニ私ガ直接相談ヲ受ケテ居ルモノデ

モ數々アルノデアリマスガ、是ハ國家ガ今

日不足ヲ致シテ居リマス人的資源ノ活用ト

云フ上カラ見マシテモ、洵ニ遺憾至極ノコ

トト思フデアリマス、大臣ハ是等ノコト

ニ付テ何カ御氣付キニナリ、之ニ對スル對

策デモ御立テニナツテ居ラレカ、ソレヲ

御伺ヒ致シマス

○橋田國務大臣 轉失業其ノ他ニ依ル學校

中途退學者ガドウ位出テ居ルカト云フコト

ノ調査ハ實ハマダヤツテ居リマセヌ、恐ラ

クサウ云フ事情ハ將來相當多クナルコトト

思ヒマス、サウ云フ方面ニ於キマシテ洵ニ

優秀ナル學生等ガ中途退學ヲシナケレバナ

ラヌト云フヤウナ事態ガ體サレルヤウナコ

トガ餘リ甚シクナリマシテ、個人ノ救済ト

云フヤウナコトデ濟マナイ、サウ云フヤウ

ナ事情ガ起キテ參リマスレバ、是ハ必ズ政府

ノ方デモ十分ニ考慮シナケレバナラヌト存

デアリマス、今日ニ於テハ國家ハ人的資源  
ヲ組織的ニ有效ニ活用スルコト云フ立場カラ、  
此ノ爲ニ中途退學ヲスルヤウナ者ニ對シ  
テハ、ソレヲ存續セシメテ有用ナ人材トナ  
スヤウニシナケレバナラヌ義務ガ國家ニア  
ルト思フデアリマス、從來モ育英ニ對スル  
公私ノ機關等色々アリマシタケレドモ、今  
日ノ此ノ場合ニナリマシタ時ニハソレヲ滿  
足サズダケノモノガナイノデアリマス、事業經  
營ノ困難化ニ連レマシテ、益々ソレガ増大ス  
ルト考ヘラレルノデアリマス、況ンヤ國家ノ根  
本ヲ成スベキ大切ナ人材ヲ養成スル教育ガ  
恩惠的ナ救済施設トシテ、社會事業的ナ形態  
ニ依ツテナスベキモノデハナイト私ハ考ヘ  
ルノデアリマス、從來ノ社會觀念ニ依リマス、  
學問スル者ハ個人ガ出世スル、個人ガ偉クナ  
レバ宜イト云フ風ニ考ヘラレテ來タノデアリ  
マス、今日ノ時代ハ最早ハ斷ジテサウ云フ時代  
デハナイ、總テガ國家ノ爲メデアリ、國家總力  
ノ増強ノ爲ニサナケレバナラヌノデアリマス、  
隨テ學徒ヲ見ルコトモ國家ノ人的資源トシ  
テ見ナケレバナラヌト思フデアリマス、  
昔ノ聖賢ハ一年ノ計ヲナス者ハ米ヲ作レ、  
十年ノ計ヲ立テントスル者ハ木ヲ植エヨ、  
而シテ百年ノ計ヲナサントスル者ハ人ヲ作  
レト教ヘテ居ルノデアリマス、人的資源ノ  
大切ナコトハ斯クノ如クデアリマシテ、而  
モ現下ノ如ク事業關係ノ爲ニ中途ニシテ學  
校ヲ止サナケレバナラヌ、サウ云フ家庭ノ  
人達ノ方ガ寧ろ裕福ナ家庭ノ温室ニ育ツタ  
人達ヨリモ國家ノ爲ニ役立ツテ居ルノデア



リマス、有能且ツ有爲ナ人ガ多イノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、私ハ政府ニ於テ人の資源ヲ組織的且ツ積極的ニ有効ニ育成且ツ活用スルコトヲ見地カラ致シマシテ、國家ノ責任ニ於テ就學資金ヲ出シテ、成績優秀身體強健デアツテ將來大イニ有望ナル者ニ對シマシテハ最後マデ修學方出來ルヤウニシテ戴キタイ、又サウスルコトガ國家ノ義務ダト考ヘルノデアリマス、其ノ方法ト致シマシテハ假稱デアリマスガ、獎學資金金庫ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ、一定ノ資格ト條件ノ下ニ一定ノ金ヲ無利子デ貸付ケル、其ノ償還期間モ比較的ニ年限ヲ長ク致シマシテ、場合ニ依ツテハ免除スルコトヲヤウナコトニシテ戴キタイ方方宜イト思フノデアリマス、尙ホ理想ト致シマシテハ最低ノ國民生活ヲ保障スルコトヲ建前ニ於キマシテ、醫療ト教育ハ全部國費ヲ以テスベキモノダト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、併シソレニ至ルマデノ段階ト致シマシテ、差當リ少クモ今申上ゲタ方法デモ講ジテ貫ヒタイト斯ウ考ヘルノデアリマス、今日國家ハ高度國防國家充實ヲ緊急ノ要務ト致シテ居リマス、各般ニ互リ國家總力ヲ急遽ニ補填シ且ツ積極的ニ擴充スルコトハ、申スマデモナク國防ヲ左右スル最モ大切ナコトデアリマス、國家ガ物産増産ニ鑑ミ獎勵金、助成金、補助金等ノ名ニ依ツテ巨億ノ金ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、是モヤハリ國ノ力ヲ増強スルコトヲ意味ニ外ナラスノデアリマス、國家總力増強ノ爲ニハ制度組織等ノ改革モ勿論必要デアリマセウガ、最モ國家ノ基礎トナルベキモノハ人の資源デアリマス、科學日本モ道義日本モ要ハ人ノ問題ニ懸ツテ居リマス、以上國家

ノ人の資源培養ノ一方法トシテ、獎學資金金庫設置ニ對スル橋田文部大臣ノ政治スル心ヲ御伺ヒシタイノデアリマス  
○橋田國務大臣 只今育英ノ問題並ニ秀才教育等ノ問題ニ付テ御高説ヲ拜聴致シマシタガ、全同感デゴザイマス、ドイトツ等ニ於キマシテモ最近ニ於テ殊ニ秀才教育ト云フコトニ非常ニ力ヲ用ヒテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ何モ「ドイトツ」ノ眞似ヲスル意味デアリマセウガ、今御話ノ通りノ趣旨カラシテ、我が國ニ於テモ十分ニ考慮シナケレバナラスデアラウト今考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ方法ニ付キマシテハ、又篤ト考慮致シマシテ適當ニ善處シタイト存ジマス  
○松本(治)委員 今度ハ國民融和ニ對スルコトニ付テ御尋ね致シマス、文部省ニ於テハ國民融和ニ對スル問題ニ付テ色々御世話ヲサレテ居ルヤウデアリマス、私ガ御尋ね致シタイノハ融和ニ對スル教育施設改善費トシテ一萬圓ノ豫算ガ計上サレテ居リマス、然レニ關係地區ノ所在ハ四十二府縣三千數百町村ニ及ンデ居リマス、果シテ是等ニ對シテ此ノ僅少ナル一萬圓ノ豫算ヲ以テ何ガ出來ルデアリマセウカ、又一ツハ何故全國各學校ニ於テ融和ニ對スル教育施設出來ナイノハ融和ニ對スル如ク普通ノ實施出來ナイノハ融和ニ對スル教育方針ノモノノ缺陷デアリ、其ノ誤謬ニ原因スルモノデハナイカ、之ヲ御尋ねスル、形ニ於テ取扱フコトハ、如ク特殊教育ノ性質ヲ深メルガ如ク逆作用ニナルト思ヒマスガ、之ヲ根本的ニ再檢討ナル御意思ガアルカドウカ、此ノ三ツヲ御尋ね致シマス

○橋田國務大臣 融和教育ト云フコトハ我が國ニ於キマシテ一見些細ナル如クニ世人ハ見テ居ルカモ知リマセウガ、是ハ洵ニ刻下重大ナ事柄デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ又其ノ方面ニ從來教育方面ニ携ツテ居ル人ガ如何ニ努力ヲ拂ツテ居ルカト云フコトヲ時々聞承致シマシタリ、或ハ目ノアタリソレ等ノ人々ニ會ヒマシテ、實ニ涙ダシイ程ニソレ等ノ人々ガ誠意ヲ以テ當ツテ居ルコトヲ知リマシテ、私ハ心ヲ慰メテ居ルノデアリマスガ、由來因襲ノ久シキニ互ツテ居リ、洵ニ外カラ見マシテ些々タル感情的ナ事ダト思ハレマスコトガ非常ニ深イモノトナツテ民心ノ動キヲ致シテ居ルコトハ甚ダ遺憾ニハ存ジマスケレドモ、一朝ニシテ取去リ難イモノガアルト云フコトヲ又一層考ヘテ置カナケレバナラスノデアリマス、デアリマスガ故ニ一體今御話ニナリマシタヤウナ、特殊的教育ヲ是ハ特殊デアラウト云フコトヲ外然トシテハハ特種デアラウト云フコトヲ外ニ現ハスヤウナコトハ成ベク避ケナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ融和ト云フ文字ハ非常ニ有難イ言葉デアリマシテ、是ハ吾々ガオ五ニ唯些々タル感情ニ依ツテ内ニ爭ヒラシテ居ツテハイケナイノダ、和ヤカナル氣持ニ於テ等シク陛下ノ赤子トシテ心カラ結ビ合ハナケレバナラナイト云フ趣旨ヲ徹底セシメル爲ニハ此ノ言葉ハ非常ニ結構ナ言葉デアリマスガ、併シ先程申シマシタ通り從來ノ長イ傳統ニ由ル因襲的ノモノノ打破ト云フコトガマダ明治御維新以來相當年數ハ經ツテ居リマスケレドモ、十分ニ打破サレテ居ナイ所ノ問題ノ惱ミガアルノダト思フノデアリ

マス、是ハ無論文部當局ニ於キマシテモ非常ニ關心ヲ拂フベキコトデアリ、殊ニ私ト致シマシテハ多大ノ關心ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、其ノ教育ノ組織、方針等ニ付キマシテモ、篤ト考慮致シマシテ、出來ルケ目ノ達成スルヤウニ善處致シタイト考ヘテ居リマス  
○松本(治)委員 御親切ナル御答辯ヲ下サシマシテ有難ウゴザイマス、マダ少シ御尋ねシタイコトモアリマスガ、後日ノコトニ譲リマス、私ノ二十年ノ運動ノ經驗、五十年ノ私ノ實際受ケテ體験、是等ノコトニ付テ後日ニツクリマス、其ノ機會ヲ與ヘテ貴方ヨウ今日御願ヒシテ置キマス、私ノ質問ハ之ヲ以テ終リマス  
○西村委員長 田代君  
○田代委員 私ハ商船教育ノコトニ付テ一寸大臣ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、御承知ノ如ク商船教育、船員ノ養成ト云フコトニ付テハ、目下ノ國ノ情勢上其ノ必要ヲ感ズルコトハ自明ノ理デアリマス、ソコデ昨年議會ヲ通過致シマシテ、岡山、愛媛、徳島ノ三普通商船學校ノ地方費支辨ノモノヲ官立ニ移管サレタノデアリマス、岡山、愛媛、徳島ハ御承知ノ如ク皆瀬戸内海ノ沿岸戸内海ノヤウナ狭イ所ニミ二三校ノ商船學校ヲ密集サセテ設置スルノ要アリヤト云フコトヲ御質問申上ゲマシタケレドモ、ソレニ付キマシテハ設置ノ必要ナル所以ノ明確ナル御答辯ガアリマセウデシタ、唯在來アルモノノ今度官立ニスルト云フ所ニ一ツノ理由ヲ持ツセテアツタノデ、私共モ其ノ理由ナラバト云フテ、サウ突込ミマセウデシ

タケレドモ、根本的ニ私共ハ今デモ何ガ故ニ此ノ狭イ所ニ三ツモ官立ノ商船學校ヲ並バセテ置ク必要アリヤ、東北、北海道ニハ一ツモアリマセウ、何故東北、北海道ノ方ニ一ツモ設ケナイノデアリカ、三ツモ同ジヤウナ狭イ所ニ並べ代リニ、其ノ三ツノ中ノ一ツデモ、何ニモナイ東北、北海道ニ拵ヘタ方宜イノデヤナイカ、斯ウ力説シタノデアリマス、當時尤モデアラト云フ御答辯デアリマシタ、其ノ後成績ヲ聽イテ見マスト、三校ノ入學率ハ非常ニ悪イ、吾々ガ心配シタ通りデス、是ハ前文部大臣ノ御責任トモ思ハレマスケレドモ、現大臣ノ之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイノデス、御所見ト云フノハ、詰リ成績ノ悪イ學校ヲ此ノ儘維持スル意思アリヤ、モウ一ツハ私ガ力説スル所ノ東北、北海道ニ一ツ設置スルノ必要ヲ認メザルヤト云フコトデアリマス

○橋田國務大臣 商船學校ガ官立ニ移管サレマシタ當時ノ事情其ノ他ニ付テ明ラサマニ申上ゲマスト、詳シク私ハ存ジマセウケレドモ、何レ其ノ點ニ付テハ能ク取調ベタイト思ヒマスガ、今ノ御質問ノ趣旨ハ洵ニ同感デゴザイマス、同ジヤウナ種類ノ學校ヲ狭イ場所ニ集中シテ置クト云フコト自體ガ既ニ教育ノ上カラモ、文化ノ普及ト云フ點カラ申シマシテモ、考ヘナケレバナラス點ト存スルノデアリマス、殊ニソレニ依ツテ學校ノ成績ガ學ヲナイト云フコトガアリマシテハ、考究シナケレバナラス問題ト存ズルノデアリマス、又學校ノ性質ニ鑑ミマシテ、適當ノ場所ニ設置スルコトヲ云フコトニ必要ナコトモ亦十分ニ了承致シマス、十分ニ事情ヲ調査シマシタ上ニ篤ト御高見ノアル所ヲ考究致シタイト存ジマス

○田代委員 此ノ入學率ノ成績ノ悪イト云フコトハ事實デアリマス、又東北、北海道ノ方ニ一ツモアリマセウノデ、御承知ノヤウニ小樽ニ臨時船員養成所ヲ急遽ニ設置サレマシタガ、其ノ方ハ成績ガ良イ、併シアレバ六箇月、十箇月ノ教育ニシマセウデ、ヤハリ三年間ノ教育ニシタ方宜イト思フ、御承知ノ通り、航海ハ相當基礎知識ノ用意ノアル者デアリマセウ、六箇月十箇月ノ航海法ヲ學シタ所デ用ヲ足スモノデハナイト思ハレマス、私モ海ノ方ノ學校ヲ出タノデ其ノコトハ分ツテ居リマスガ、東北、北海道ニ是非設置シテ與レト云フ請願モ毎年出マス、又昨年ノ議會ニ於キマシテ海軍ノ方ノ御答辯モ、御尤モナ話デアラト云フ話デアツタノデアリマス、サウシテ其ノ一方三校ノ入學率ガ悪イ、是ハ何人ガ考ヘテモ尤モナ譯デアラ、狭イ所ニ三ツモ並べテハ無論サウナルデアラウトハ何人モ言ハレルコトデアリマスカラ、私共ノ考ヘハ英斷的ニ御處置ニ相ナラレマシテ、三ツノ中之一ツニ減ズルカニツニ減ズルカニ致シマシテ、其ノ一ツヲ東北、北海道ノ何ニモナク、熱望シテ已マザル所ニ設ケルコトガ、私ハ當り得テ便宜ノ御處置デアラウト思ヒマス、今ノ大臣ノ御答辯ニ依リマスト大變ニ私ハ樂シミニシテ待ツテ居テモ宜イヤウナ氣持ニナツタノデアリマスガ、サウデゴザイマス

○橋田國務大臣 今私此ノ次ニ樂シミヲ差上ゲマスト云フコトヲ御返答申上ゲルマデニハ事情ヲ諒承致シマセウ點モアリマス、直チニ御返答申上ゲ兼ネマスケレドモ、篤ト考慮致シマシテ、善處致シタイト云フ心構ダケハ持ツテ居ルコトヲ申上ゲ

○田代委員 世上傳フル所ニ依リマスト、函館ノ高等水産學校ニ遠洋漁業科ガ出來タ、遠洋漁業科ガ出來レバ商船教育ハソレニ任シテ置イテ宜イデヤナイカ、サウ云フ話ヲ行ツテ居ル人ガアルサウデアリマスガ、御承知ノ如ク漁業ト云フコトト航海ト云フコトハ違ヒマス、漁業ノ航海法ハ、詰リ岩礁ノ傍マデ行ク、サウ云フ所ニハ魚ガ居リマスカラ、航海法ニハ學バナイヤウナ所ニ行タカ、所ガ商船教育ノ航海法ハ、詰リ大團航法ト云フヤウナ航路以外ニ船ヲ廻スニ云フコトヲ學ビマセウ、ダカラ全然素質ニ於テ違ヒマスカラ、其ノ點誤解ノナイヤウデアリマスカラ、サウ云フ話ガ行ハレマシタラ、私ノ言フコトヲ頭ニ置イテ下サイ

○田代委員 世上傳フル所ニ依リマスト、函館ノ高等水産學校ニ遠洋漁業科ガ出來タ、遠洋漁業科ガ出來レバ商船教育ハソレニ任シテ置イテ宜イデヤナイカ、サウ云フ話ヲ行ツテ居ル人ガアルサウデアリマスガ、御承知ノ如ク漁業ト云フコトト航海ト云フコトハ違ヒマス、漁業ノ航海法ハ、詰リ岩礁ノ傍マデ行ク、サウ云フ所ニハ魚ガ居リマスカラ、航海法ニハ學バナイヤウナ所ニ行タカ、所ガ商船教育ノ航海法ハ、詰リ大團航法ト云フヤウナ航路以外ニ船ヲ廻スニ云フコトヲ學ビマセウ、ダカラ全然素質ニ於テ違ヒマスカラ、其ノ點誤解ノナイヤウデアリマスカラ、サウ云フ話ガ行ハレマシタラ、私ノ言フコトヲ頭ニ置イテ下サイ

ソレカラ第二ニ平素私ノ考ヘテ居ル所ヲ一寸御聴キシタイノデアリマスガ、近年非常ニ古典ノ研究ガ盛ンニナツテ來タ、日本精神ヲ發揮スル爲ニ古典ノ研究ヲ盛ンナラシムルコトニハ私異論ハアリマセウ、寧ロ却テ雄大ナル思想ヲ包蔵シテ居ル古ノ日本文學ヲ研究スルコトヲ云フコトハ、是ハ甚ダ心持ツテ狭クナツテ居ル現在國民ニ對シテ、廣クシテ心持ツテ居ルコトヲ云フ目的ノ爲ニ大變宜シイコトダラウト思ヒマス、併シ私ガ不思議ニ思ヒマス、ハ、源氏物語ハ要スルニ光源氏ノ戀愛物語デアラ、萬葉ノ中ニハ、例ハバ私ガ一寸頭ニ記憶シテ居ル歌ノ一ツヲ舉ゲマスト、「生ケル者途ニモ死スルモノニアレバ、今アルホドハ樂シクアラメ」是ノ意味ハ、ドウセ人間ト云フモノハ何時カハ死ンデシマフ、ダカラ今日ヲ樂シク暮

セバ宜イデヤナイカト云フ意味ニ、私ハ能ク分リマセウケレドモ、サウ取レマス、光源氏ノ戀物語デアラ源氏物語、萬葉ノ中ニハ今申上ゲマシタヤウナ一方カラ言ヘバ種般ノ氣分ガアルカトモ解釋スベキ所ノ事情ガ載セテアル、併シ今申上ゲマシタ通り私共ハソレヲ受容レダケノ廣クシテ心持テ行タト云フコトハ偉大ナル國民ノ素養デアライカト思ヒマス、併シ又現代ノ思潮カラ申シマスト、何トナクソコニ之ヲモ取調ラネバナラス、取締ツタ方宜イデヤナイカト云ツタヤウナ持方政府内ニモアルダラウト思ヒマス、是等ニ關スル極メテ公平ナ、妥當ナ、頼リノアルヤウナ文部大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、現代ノ國難ヲ切抜ケル爲ニハ何デモ被デモサウ云フ遊戯的ノ文字ヲ抹殺シテシマツテ、例ハバ「ドイトツ」ガ「ナチス」ノ思想ニ背馳シテ居ル所ノ色々ナ書物ヲ燒イテシマツタ、アノ立派ナ本當ニ何處マデモ將來ノ人間ノ爲ニナル所ノ書物マデ皆燒イテシマツタト云フヤウナ心持ガ、ヤハリ今ノ日本ニアルモノデセウカ、アルトスレバサウシテ又ソレヲ是トスレバ今ノヤウナ源氏物語ト云、枕草紙、萬葉集ト云フヤウナモノモ何トカ之ヲ取締ラナケレバイケナイノデアリマスガ、併シ私ハ反對デス、ソレ等ニ付テ私ハ平生チダグノ極メテ心許ナイ心持ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ私ノミナラス一般ノ心アル人モ同様デアラウト思ヒマス、是等ニ對シテ相當指導的ニ文部當局ガ何トカ指圖シテ下サレバ安心シテ古典ノ研究モ出來ルノデアラウト思ヒマス、ヤハリ吾々日本國民ハ相當偉大ナル國民デアラ、ソナニ



ウナ心持ニモナルノグラウト思ヒマス、其ノ結果ナリ文化ノ發展ニモ資スル所ガ大デアラウト思ヒマス、其ノ點文部大臣ヨリ御聴カセ願ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 御話ノ問題ハ非常ニ「デ」マシテ、斯クスレバ宜シ、サウシテハイカスト云フ判然トシタ方針ヲ立テテスルト云フ譯ニハ行カナイ程ニ複雑微妙ナモノトダト考ヘマス、併シナガラ教育ト云フ場面ニ於テハ極ク遠觀的ニ見マシテ我が國獨特ノ他國ニナイ非常ナ點ハシキモノトシテ、外國人ナドガ讚歎スルモノデアツテモ一應ハ姑ク見セテハナラナイト云フモノモアル筈ダト存ズルデアリマス、併シナガラ其ノヤウナモノガ我が國ニアルコトヲ知ラナイト云フコトデハ又日本文化ト云フモノヲ能ク理解スルコトニハナラナイデアリマス、或ハ示シ或ハ秘シテ置クト云フヤウナ工作ガ、教育ノ課程ノ上ニ於テハ行ハレナケレバナラナイト思フデアリマス、而シテ又國民全數ガ同程度ノ教養サヲ得テ居ルモノナラバ、一律ナ方針ヲ示シテスルベシト云フコトヲ示スコトモ出来ルカト存ジマスケレドモ、各ゾレゾレ「教養」若アル者ニ對シテ例ヘバ今仰セテ源氏物語ハ日本文化ノ粹デアアル、之ヲ知ラナイ者ハ日本人デナイト云フヤウナコトヲ言ヒマス、源氏物語ヲ皆ガ精ク、ソレヘソレデ結構デアリマスガ、併シ其ノ際ニガ日本ノ立派ナ文化ノ粹デアアルト云フノナラバ、ソレト同ジコトヲヤレバ吾々日本人ガ文化人トシテ行ケルノゴト云フ誤解ヲ生ズル者ガナイデハナイト思フデアリマス、其ノ點ハヤハリ國

民トシテ能ク凡ユルモノヲ容レナガラ、而モ日本國民トシテノ立場ヲ失ハナイ、又其ノ時々ノ社會ノ情勢、國勢ニ相應シテ如何ニ進マナケレバナラナイカト云フ事柄ニ付テノ判斷ガ十分ニ出来ルダケノ教養ヲ片方ニ持テセナケレバナラナイト云フヤウニ考ヘルノデゴザイマシテ、無論徒ラニ唯抽象的ニ考ヘテ、今ノ國策ノ線ニ沿ハナイデハナカ、是ハ抹殺シロト云フヤウナコトデ、既ニアルモノヲ抹殺スルト云フ程ニ吾々ハ狹量デアツテハナラナイコトハ御同感デゴザイマス、「ドイツ」ガ「ナチス」政府ニナリマシテカラ「ナチス」ニ反對ノモノヲ總テ燒イテシマツタトカ、秦ノ始皇帝ガ昔ヤウツヤウナ政治的ノ意味ヲ吾々ハ持ツテ居ナイト思フデアリマス、寧ロソレヲ適當ニ利用スルコトニ於テ、吾々ノ祖先ガ如何ニ豊カナル心構ヘヲ持ツテ居ツタカト云フコトヲ知ラセル材料ニスルヤウナ方向ヘ利用スベキ點モ多クアルカト思フデアリマス、唯徒ラニ之ヲ抹殺シ影ヲ没セシメルト云フコトダケガ宜イノデモナク、サレバト云フテ何處マデモ之ヲ擧ゲテ是非トモハ讀マナケレバナラヌモノト云フヤウナ意味ニ皆ノ者ニ推獎スルコト云フヤウナ方法モ餘リ極端ニ過ギルカト思フデアリマス、此ノ點ハ是等ノモノヲ研究スル人ノ心構ヘ、又ソレヲ取扱フ人ノ心構ヘ、受入レントスル人ノ心構ヘナドガ十分ニ間違ハナイ方向ヘ向ツテ居ルト云フ事柄ヲ前提トシテ問題ガ解決サレルモノトダト思フデアリマス、唯徒ラニ度々申シマス通り全然之ヲ止メサセナケレバイカストカ、或ハソレヲ研究スルコトモイカスト云フヤウナ事柄ハ今考ヘテ居リマセス、併シナガラ色々此ノ國情ノ逼迫

シテ居ル時、或ハ又教育ガ十分ニ我國ニ徹底シテ居ナイト云フ時ニハソレヲ取扱フ人ガ十分ニ注意シナケレバナラヌト云フコトヲ、取扱フ人自身ニ考ヘテ貴ヒタイト云フヤウナ氣持モ一面ニ持ツテ居ルデアリマス、唯一片ノ型ノ如クステスベシト云フヤウナ簡單ナ事柄ニ依ツテ解決ヲ見ヨウトシテモソレハ少シ無理カト存ジテ居リマス

○西村委員長 濱地君 濱地委員 私人極ク簡單ニ聴イテ置キタイコトガ、二項アルデアリマス、私ノ東京ノ家ノ近所ニ質屋ガアルノデスガ、大學校ノ學生ガチヨイ／＼ト入質ヲスルノデス、私ハ其ノ狀況ヲ見マシテ田舎ニ居ル其ノ學生ノ兩親ノ心情ヲ忖度スルト、一擲ノ涙ナキ能ハザルコトガアルデアリマス、其ノ入質スル學生ノ動機ヲ考ヘマス、如何ナル觀點カラ見マシテモ良イコトハ一ツモナイデアリマス、總テ惡イト思フデアリマス、是等ガ惡ノ道ニ轉落スル第一歩デナカラウカト思フデアリマス、必ズシモ學生ガ墮落シテ質屋ヘ通フト云フノデハナク、面白半分ニ通フ學生モアルノデスガ、ソレガモウ既ニ惡ノ道ニ通ジテ居ル證據デアルト思フデアリマス、非常ニ危險ナ道程ヲ辿ツテ居ルモノト思フテ、故郷ニ居ル兩親ニ對シテ洵ニオ氣毒ノヤウナ氣ガスルデアリマス、私ハ質屋ニ行ツテ、アナタノ店ハ學生ノ質ヲ取ルノデスカ、又法律上學生ノ質ヲ取ルト云フコトヲ止メラレテ居ナイノデスカト言ツタラ、質屋ノ主人ハ取リマス云フ返事デアリマス、之ニ對シテ文相ハドウ云フ風ナ考ヘテ持ツテ居ラレカ、何トカ良キ方法ヲ御考ヘ下サル譯ニ行カナイモノデアラウカ、御意見ヲ承ツテ置キタイデアリマス

シテモ荒療治ヲスル必要ガアルト思フデアリマス、荒療治ハ何ゾヤ、私ヲシテ言ハシムレバ荒行事デアル、詰リ皇國ノ本體ニ目覺ムル荒行事ヲスルデアラウテ、ソレハ神代ノ昔カラ日本民族ニ課セラレタ科目デアル、是ガ御承知ノ通り腹デアルト私ハ思フデアリマス、此ノ腹ヲ日本國民タル者ハドウシテモシナケレバ、本當ニ國民性ヲ喚起スルコトガ出来ナイト私ハ思フデアリマス、日本國民デアラナラバ、又神代ノ子孫デアラナラバ、ドウシテモ腹ヲシナケレバ、神ノ子ニナルコトハ出来ナイデアリマス、日本國民性ヲ喚起スルコトガ出来ナイデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ大學ヲ卒業スル直前少クモ二週間カ三週間、神城ニ於テ其ノ方面ノ修養ト云ヒマスガ、行ト言ヒマスガ、腹ノ講習ヲヤツテ初メテ日本精神ヲ體得スル、サウシテ行ツタ形式ダケデモサセテ、卒業證書ヲ渡シタナラバドウカト云フ質問昨午文部省政務次官鶴見氏ニ致シマシタガ、濱地君ノ御意見御尤モデアリマスと言ツタダケニ向要領ヲ得ナカツタ、斯ウ云フコトハ、本當ニ宜イト思フテ下サルナラバ、直チニ何等カノ實行方法ヲ執ラレバ管デアリマスガ一向サウ云フ御考ヘハナイヤウデアリマス、尤モ獎勵程度ノコトハヤウテ居ルヤウデアリマスガ、本當ニ規則的マデニ發展シテ居ナイヤウニ思フデアリマス、此ノ私ノ意見ニ對シテ大臣ノ御所見ハドウ云フモノデアリマセウカ承ツテ置キタイ、以上三點デアリマス

○田代委員 能ク分リマシタ、結局ハ國民ヲシテ教養アラシメナケレバイカナイト云フ結論ニ到達スルト云フコトハ私等モ同感デアリマス、日本ノ國民ハ如何ニ表面的ニ類廢ノ氣分ガ滲ツテ居ル時デモ、其ノ奥ニハ是等ニ迷ハサレナイ強イ國民精神ガアルデアリマス、詰リ是ガ日本精神デアリマス、英米ノ自由主義ノ思想或ハ「ドイツ」ガ「ナチス」ノ思想、是等ヲ渾然ト採入レタ其ノ上ニ又勝レタ點ヲ見出サレル所モアルダラウト思ヒマス、何ガ故ニ其ノ勝レタ國民性ヲ顯現スルニ何人モ努力ヲセザルカト云フコトハ、私等ノ平素考ヘテ實ニ悲シミトスル所デアリマス、現下ノ斯ウ云フ情勢ニ當リマシテモ、決シテサウセセコマシイ彈壓ヲ加ヘナクテモ、日本ノ國民性ハソレニ依ツテ破壊サレルヤウナモノデアナイト云フコトヲモツト明カニ、強ク之ヲ表現致シマスレバ、延イテハ支那ニ對シマシテモ亦各國ニ對シマシテモ、日本ノ國民性ヲ理解スル點ニ於テ非常ニ役立つダラウト思ヒマス、要スルニ是等ノ點ハ寧ろ文部省ヨリ御努力如何ニ依ツテ、其ノ成績ヲ現ハスコトガ出来ルダラウト私ハ平素考ヘテ居リマス、セセコマシイコトヲヤルカラ外交ガ「マニ」行クト云フコトニ相成ルト思フデアリマス、日本ノ立

次ニ大學ニ於ケル日本精神ノ教育ト云フ問題、洵ニ御同感デゴザイマス、此ノ事變始マリマシテ以來甚ダ徐々デアツテ遺憾デハゴザイマスガ、併シ幸ヒニ或ル程度マデ從來ノ方向ト異ナラフ方向ヘ學生ノ動向ガ進ミツツアルコトハ、是亦事實デゴザイマシテ、出来ルダケ早ク正シキ動向ヘ空般ガ向フヤウニ教學ノ刷新ヲ致サナケレバナラナイト存ズルノデゴザイマス、其ノ際ニ仰セテ通り行ト云フ實踐的面ニ於テ團體精神ヲ把握セシメルト云フコトガ洵ニ重大ナコトデアルト存ズルデアリマス、其ノ一ツノ方法ト云フテハ、御趣旨ト少シク違フカモ知レヌケレドモ、腹ト云フモノハ非常ニ有效ナモノデアルト云フコトモ承知致シテ居リマス、唯併シ從來真ニ日本の目覺メタ先人ナドヲ見マシテモ、必ズシモ腹デアラウテ、他ノ行ニ依ツテモ、本當ニ日本精神ヲ獲得シテ居ル人モ相當アルト存ズルノデゴザイマシテ、其ノヤウナ點ハ其ノ人々ノ機縁、其ノ人々ノ性行、其ノ人々ノ置カレテ居ル環境等ニ順應シテ、適當ニ行スルコトヲヤラセルト云フ方向ヘ向ツタ方ガ適當デハナイカト存ジテ居ルデアリマス、一律ニ總テ環ノ者ヲ腹シテナケレバ卒業サセナイト云フヤウナコトニシナケレバナラヌト云フ所マデハ考ヘテ居マセヌケレドモ、腹ナドハ行トシテ古來傳ハツテ居ルモノトシテ、殊ニ日本の意味ノアルト云フコトハ御趣旨ノ通りダト思ヒマス、要スルニ唯團體ノ本義ヲ知ラシメルト云フノヲ、言葉ノ上デナク實踐の方面ニ於テ體得セシメルト云フ事柄ガ目下教學刷新ノ重要ナル部面デアルト云フコトダケヲ此處デ申上テ置キタイト思ヒマス

ソレカラ先般決算委員會或ル政府委員ニ承ツタデアリマスガ、帝國大學、又他ノ私立大學ニ於ケル所ノ三大節ノ御眞影奉拜式ハ、私ハ最近マデ之ヲ行ツテ居ナカツタヤウニ思フデアリマス、政府委員ニ聴キマシタノデ、餘リ詳シク聴カナカツタデアリマス、行ツテ居ルデアリマシタラ何時頃カラ行フヤウニニナツタデアリマスガ、昔ハ行ツテ居ナカツタヤウニ思フテ居ルデアリマス、ソレカラ今行ツテ居ルデアアツタラバ、學生ノ參列スルノハ絕對的デアアルカ、任意デアアルカ、又實際ノ參列數、實際ノ狀況ハドウデアアルカ、承ツテ置キタイデアリマス

シテモ荒療治ヲスル必要ガアルト思フデアリマス、荒療治ハ何ゾヤ、私ヲシテ言ハシムレバ荒行事デアル、詰リ皇國ノ本體ニ目覺ムル荒行事ヲスルデアラウテ、ソレハ神代ノ昔カラ日本民族ニ課セラレタ科目デアル、是ガ御承知ノ通り腹デアルト私ハ思フデアリマス、此ノ腹ヲ日本國民タル者ハドウシテモシナケレバ、本當ニ國民性ヲ喚起スルコトガ出来ナイト私ハ思フデアリマス、日本國民デアラナラバ、又神代ノ子孫デアラナラバ、ドウシテモ腹ヲシナケレバ、神ノ子ニナルコトハ出来ナイデアリマス、日本國民性ヲ喚起スルコトガ出来ナイデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ大學ヲ卒業スル直前少クモ二週間カ三週間、神城ニ於テ其ノ方面ノ修養ト云ヒマスガ、行ト言ヒマスガ、腹ノ講習ヲヤツテ初メテ日本精神ヲ體得スル、サウシテ行ツタ形式ダケデモサセテ、卒業證書ヲ渡シタナラバドウカト云フ質問昨午文部省政務次官鶴見氏ニ致シマシタガ、濱地君ノ御意見御尤モデアリマスと言ツタダケニ向要領ヲ得ナカツタ、斯ウ云フコトハ、本當ニ宜イト思フテ下サルナラバ、直チニ何等カノ實行方法ヲ執ラレバ管デアリマスガ一向サウ云フ御考ヘハナイヤウデアリマス、尤モ獎勵程度ノコトハヤウテ居ルヤウデアリマスガ、本當ニ規則的マデニ發展シテ居ナイヤウニ思フデアリマス、此ノ私ノ意見ニ對シテ大臣ノ御所見ハドウ云フモノデアリマセウカ承ツテ置キタイ、以上三點デアリマス

○橋田國務大臣 大學生ノ質屋通ヒト云フコトハ隨分古カラヤウツテ居ルコトデアリマシテ、善ク利用シテ居ツタ人モアリマス

次ニ大學ニ於ケル日本精神ノ教育ト云フ問題、洵ニ御同感デゴザイマス、此ノ事變始マリマシテ以來甚ダ徐々デアツテ遺憾デハゴザイマスガ、併シ幸ヒニ或ル程度マデ從來ノ方向ト異ナラフ方向ヘ學生ノ動向ガ進ミツツアルコトハ、是亦事實デゴザイマシテ、出来ルダケ早ク正シキ動向ヘ空般ガ向フヤウニ教學ノ刷新ヲ致サナケレバナラナイト存ズルノデゴザイマス、其ノ際ニ仰セテ通り行ト云フ實踐的面ニ於テ團體精神ヲ把握セシメルト云フコトガ洵ニ重大ナコトデアルト存ズルデアリマス、其ノ一ツノ方法ト云フテハ、御趣旨ト少シク違フカモ知レヌケレドモ、腹ト云フモノハ非常ニ有效ナモノデアルト云フコトモ承知致シテ居リマス、唯併シ從來真ニ日本の目覺メタ先人ナドヲ見マシテモ、必ズシモ腹デアラウテ、他ノ行ニ依ツテモ、本當ニ日本精神ヲ獲得シテ居ル人モ相當アルト存ズルノデゴザイマシテ、其ノヤウナ點ハ其ノ人々ノ機縁、其ノ人々ノ性行、其ノ人々ノ置カレテ居ル環境等ニ順應シテ、適當ニ行スルコトヲヤラセルト云フ方向ヘ向ツタ方ガ適當デハナイカト存ジテ居ルデアリマス、一律ニ總テ環ノ者ヲ腹シテナケレバ卒業サセナイト云フヤウナコトニシナケレバナラヌト云フ所マデハ考ヘテ居マセヌケレドモ、腹ナドハ行トシテ古來傳ハツテ居ルモノトシテ、殊ニ日本の意味ノアルト云フコトハ御趣旨ノ通りダト思ヒマス、要スルニ唯團體ノ本義ヲ知ラシメルト云フノヲ、言葉ノ上デナク實踐の方面ニ於テ體得セシメルト云フ事柄ガ目下教學刷新ノ重要ナル部面デアルト云フコトダケヲ此處デ申上テ置キタイト思ヒマス

第二類第一號 決算委員會議錄 第十八回 昭和十六年二月二十八日



○西村委員長 福田君

○福田(關)委員 私ハ二三ノ點ニ付テ御伺ヒシタイノデアリマス、第一ハ、是ハ何レ分科其ノ他御伺ヒ致シマスガ、各大學或ハ大學病...

○橋田國務大臣 大學病院ノ豫算執行等ニ付テ不穩當ノヤウナ事柄モ、御説ノ通り十...

タル豫算ノ範圍デ之ヲ購入シヨウトシマスト、今日デハ絕對ニ買ヘナイ、京都大學ニ...

○福田(關)委員 ドウカ其ノ點ヲ十分一ツ御研究願ヒタイ、今ノ科學研究ニ必要ナル資...

材デアリマスガ、研究ノ間ニ合ハスト云フ位ノ仰セデアリマスケレドモ、事實ハ中々...

○福田(關)委員 ドウカ其ノ點ヲ十分一ツ御研究願ヒタイ、今ノ科學研究ニ必要ナル資...

材デアリマスガ、研究ノ間ニ合ハスト云フ位ノ仰セデアリマスケレドモ、事實ハ中々...

ツテ居ルト事實ハナイ、サウ云フモノハ改メテ買フ場合ニ豫算計上ノ上ニ非常ナ不便...

餘リ難解ノ辭ガナイト云フ傾向ニアルヤウナコトハナイカト思フ、然レドモ明治...

カラ、私共ハ非常ニ意ヲ強ウスルデアリマスガ、此ノ點ハ餘程御考ヘテ願ハナケレバ...

アリマスガ、其處ヲ離レテ他ニ出マスト、今度ハ家庭ノ混亂シテ思想ニ支配サレル、...











會カニ於テ決議サレタカト云フ其ノ理由ヲ私詳シテ承知致シマセヌカラ、私個人ノ考ヘハ考ヘト致シマシテ、其ノ理由ヲ十分ニ拜承シテカラデナケレバ、法律案トシテノ問題ハ別個ノ問題ニナリマスケレドモ、併シ私個人トシテノ立場カラ申シマセヌカラバ、アノヤウナコトガアツテハナラナイト云フコトハモウ固ク信ジテ居ル一人デゴザイマス、將來法律案トシテ出来マス時ニ、ドウ云フ形式ニ於テ私ノ意見ガ求メラレルカ存ジマセヌケレドモ、若シ意見ガ求メラレマシタ時ニハ、私ハ私ノ固イ信念ヲ十分ニ披瀝スル積リデ居リマス

○西村委員長 午前ハ是ニテ休憩致シマス、午後ハ二時半ニ開會致シマシテ司法省關係ニ付テ進メタイト思ヒマス、内務大臣ハ先達テ來度々催促致シマスガ、色々ナ御集ヒデ出ラレマセヌカラ、御含ミマデニ申上ゲテ置キマスガ、來月十九日ノ總會ニハ是非出テ戴クヤウニ委員長カラ御願ヒスル積リデ居リマスカラ、委員諸君ニモ御含ミ置キヲ願ヒタク存ジマス

午後零時二十五分休憩

午後二時三十分開議

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、午後ハ司法省所管ヲヤル積リデアリマシタガ、兩院協議會ノ要件ノ爲ニ、司法當局ノ出席ガ不可能ニナリマシタカラ、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時三十一分散會

昭和十六年二月二十八日印刷

昭和十六年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第一號

第七十六回帝國議會 決算委員會議錄(速記)第十九回

會 議  
昭和十六年三月二十日(木曜日)午後二時十六分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 西村 茂生君
- 理事高見 之通君 理事福田關次郎君
- 理事鹽川 正藏君 理事森下 國雄君
- 理事高橋 義次君
- 伊東 岩男君 今井 新造君
- 小山 亮君 岩瀬 亮君
- 大内竹之助君 河合 義一君
- 駒井 重次君 清水徳太郎君
- 田代 正治君 瀧澤 七郎君
- 津倉 龜作君 玉野 知義君
- 中村 梅吉君 濱地 文平君
- 眞鍋 勝君 生田 和平君
- 松浦周太郎君 松本治一郎君
- 村瀬 武男君 淺沼稻次郎君
- 山元龜次郎君

三月十九日委員加藤鐵造君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十日淺沼稻次郎君當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

内務大臣 男爵平沼騏一郎君

出席政府委員左ノ如シ

- 外務書記官 武内時之助君
- 内務次官 萱場 軍藏君
- 内務省地方局長 留岡 幸男君
- 内務省警保局長 橋本 清吉君
- 内務省土木局長 成田 一郎君
- 内務省計畫局長 藤岡 長敏君
- 内務書記官 三好 重夫君

神祇院副總裁 飯沼 一省君

大藏書記官 梅北 末初君

大藏書記官 日下部 滋君

司法書記官 石田 壽君

文部書記官 柴沼 直君

農林書記官 岡本 直人君

商工次官 小島 新一君

商工省振興部長 堀 義臣君

商工書記官 末永 術君

逓信省經理局長 山田 良秀君

鐵道省經理局長 平山 孝君

拓務書記官 中野 勝次君

厚生書記官 生悅住求馬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算

昭和十四年度國有財産増減總計算書

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、内務大臣ノ出席ヲ要求セラレテ居リマスル委員先ニ今井君ノ發言ヲ許シマス——今井君

○今井(新委員) 今日マデ議會ニ於キマシテ言論ノ取締ニ付テハ或ル程度徹底シタ質問應答ガアツタノデゴザイマスガ、斯ウ云フ非常ノ時局ニ於テハ政府トシテハ苟モ國論ノ統一ヲ索リ、國民ニ不安ノ念ヲ與フルガ如キ言論ニ對シテハ徹底的ニ取締ヲ願ハナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、從來、動トモ致シマス、臨席ノ警察官ノ中ニ、人ノ演説ヲ聽イテ居リマシテ、其ノ演説ヲ批判シ判斷スル能力ニ於テ甚ダシク欠缺ケテ

居ルヤウナ人ガアルノデハナイカト考ヘラ

ルル事例ガアリマス、先般豫算總會ニ於テ今日ニ至ツテモ尙且ツ三國同盟ニ對シテ異論ヲ唱ヘルヤウナ説ヲ爲ス者ガアルガ、斯ウ云フ者ニ對シテ當局ハドウ云フヤウナ態度ヲ取ルルカ、斯ウ云フ質問ニ對シテ内務大臣ハ、若シサウ云フ言論ガアツタ場合ニハ之ニ對シテハ斷然取締ルト御言明ガアツタノデアリマスガ、勿論ハ當然ノコトト思ヒマスガ、私共今日マデ隨分非常時下ニ於テ爲スベカラザルヤウナ言論ヲ志ニ致シテ居ル者アル事實ヲ聞イテ居ルノデアリマス、ツイ先日モ耳ニ致シタコトデアリマスガ、例ヘバ「アメリカト日本ノ關係ナドニ付キマシテモ、アメリカト戰フコトハ日本ノ損デアルトカ、アメリカト戰フコトハ日本ノ益ニナリヤウナ敗戦主義的ノ時局ヲ辨ゼザル、愚カクナ言論ヲ致シテ居ル者ガアル、又其ノ反面ニ於テ大政翼賛會ノコトニ付キマシテモ、大政翼賛會ト云フヤウナモノハ、要スルニ公事結社デ、アア云フモノハ衛生組合ト同ジヤウナモノダト、非常ニ翼賛會ヲ誹謗致シマシテ、大政翼賛會ハ結局何等ノ政治的ナカハナイモノデアル、頼ムニ足ラヌモノデア

ル、斯ウ云フヤウナ説ヲ公々然トナシテ居ル者ガアルコトモ耳ニ致シマシタ、近衛首相ハ大政翼賛會ノ此ノ舉國的一體ノ運動ナクシテハ國民ノ再組織ガ出来ナイ、延イテハ高度國防國家ノ建設モ出来ナイト云ハレ、政府モ民間モ協力シテ非常ニ熱意ヲ以テ全國民ニ對シテ翼賛運動ヲ徹底致サウト、努

メテ居ル、此ノ際、大政翼賛會ハ衛生組合ト等シヤウナモノデアルト、大政翼賛會ヲ誹謗シテ、斯様ナ無力無意義ノ運動ハ要スルニ國家ノ爲ニナラヌモノダト云フヤウナコトヲ、現ニ言ヒ纏ラシテ居ル者ガアル、斯ウ云フ言説ヲ此ノ地位ニ致シマス、折角盛リ上ツテ來タ此ノ運動モ有終ノ美ヲ齎サナイノミナラズ、國民精神ニ動搖ト混亂ヲ招ク結果ニナルノデハナイカト云フコトヲ私ハ憂ヘザルヲ得マセヌ、又ツイ先日聞イタコトデアアルガ近衛内閣ノ次ハ平沼サンガ總理大臣ニナルト云フヤウナコトヲ、早クモ政局ニ不安ヲ與ヘルガ如キコトヲ專ラ演説シテ居ル者ガアル、近衛首相、捨身ノ御奉公ヲ議會ヲ通シテ國民ニ誓ヒ、國民又之ヲ熱望セル今日ノ場合早クモ近衛内閣ガ倒レテ、次ニ誰人デアラウトモ、誰ガ内閣總理大臣ニナルト云フヤウナコトヲ公々然ト演説ナド斷ジテ致スベキ時デナイト私ハ信ジマス、サウ云フ言説ガ非常ニ民心ニ不安ヲ與ヘル、國家ノ爲ニ害毒ヲ流スニモ拘ラス、サウ云フヤウナ話ヲ平氣デ警察官ガ聽イテ居ル、後ニナツテハ問題ニスルケレドモ、其ノ時ニハ何等ノ注意モ與ヘナイ、言論ノ取締ハ斯ウ云フコトデアナルマイト考ヘテ居リマスガ、ドウ云フ御方針デ政府ハ言論ノ取締ニ臨マレテ居リマスカ、又臨

席ノ警察官ナドニ對シテ、ドウ云フヤウナ御指示ヲ與ヘテ居ラレマスカ、又今後ドウ云フヤウニ警察官ノ教育ヲナナル御考ヘデアリマスカ、一應承リタイト思ヒマス



○平沼國務大臣 御答ヲ致シマス、言論ノ取締ニ付キマシテハ、是マデ十分注意ハ加ヘテ居リマス、只今御引例ニナリマシタウナ事項、是ガ國家ノ目的ニ反シ、又安寧秩序ニ害アリマスルモノハ、之ニ對シテ強ク臨ミマシテ、十分ナル取締ヲ加ヘル積リデアリマス、サリナガラ是等ノ事柄ハ監ノ警察官ニ於キマシテ、注意スベキモノハ注意シ、又之ニ對シテ處分ヲスベキモノデアリマス、之ニ付テノ手心モ種々アルコトデアリマス、餘リニ取締ヲ嚴ニスル爲ニ、言論ノ自由ヲ壓迫スルヤウナコトガアリテモナリマセス、其ノ邊ハ緩急宜シキヲ得ルヤウニ、一般ノ取締ノ任ニ當リマスル官吏ニ對シマシテ、平素訓示ヲ致シテ居リマス、又特別ノ場合ニ臨ミマシテ過チガアリマスレバ、之ニ對シテモ戒飭ヲ加ヘル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○今井(新)委員 御考ヘノアル所ハ了承致シマシタ、言論ヲ尊重スルコトハ他クマデ當然ノコトデアリマシテ、假ニモ正當ナル言論ヲ壓迫スルト云フヤウナコトガアリテモ、唯私共ノ憂フルノハ、眞ニ一億一體トナツテ此ノ國難ヲ突破シナケレバナラナイ、斯ウ云フ際ニ假ニモ國論ノ分裂ヲ來スヤウナ、國家ニ害ヲ與ヘルヤウナ言説ニ對シテハ、又國民ニ不安ヲ與ヘルヤウナ言説ニ對シテハ、假借ナク御取締ヲ願ヒタリ、斯ウ云フコトヲ私ハ要求致シテ居ルコトデアリマス

スト云フコト、是モ論ズルマデモナイノデアリマスガ、從來動トモスルト法律ト云フモノガ、弱者ニ對シテハドシ／＼嚴格ニ厲行サレル、併シ非常ニ權力ノアル者、力ノアル者、高位高官ニ對シテハ法律モ其ノ威力ヲ發揮スルコトガ出來ナカウタ、難魚ハ網ニ引掛ルケレドモ、吞舟ノ魚ハ多クハ逃レルヤウナ事例ガ多クアツタ、斯ウ云フヤウナコトニ對シテ法ノ尊嚴神聖ニ對シテ、國民ノ間ニ之ニ對シテ相當ノ不安不信任ノ聲ガアツタコトハ事實ヲラウト考ヘテ居リマス、ソコデ先般モ治安維持法ノ改正案ヲ御提出ニナリマシタ時ニモ十分論議サレマシタ如ク我ガ國ニ於キマシテハ、苟モ國體ノ尊嚴ヲ傷ツケ、國體ノ變革ヲ圖ルガ如キ、行動及ビ思想、私有財産ノ否定ヲ圖ル思想及ビ犯罪ニ對シテハ、飽クマデ徹底的ニ取締ラナケレバナラス、又嚴格ニ法ヲ厲行シナケレバナラスト云フコトハ固ヨリデアリマスガ、私ハ平沼内相モ御記憶ガアルダラウト思ヒマスガ、アナタガ總理大臣ナサツテ居ツタ時ニ、其ノ時ノ司法大臣ニ御尋ね致シマシテ、アナタモ慥カ隣リニオイデニナツタコトデアリマスカラ、御記憶ガアルデアリマセウガ、苟モ國體ノ尊嚴ヲ傷ツケルヤウナ淫僻邪教ニ對シテハ徹底的ニ之ヲ擊滅シナケレバナラナイト云フ自分ノ信念カラ、天理教ノ取締ニ付テ當時御尋ね致シタコトガアツタノデアリマス、然ルニ毎年々々、今年デ四年ニナリマス、四年間天理教ニ對スル當局ノ御處置ニ付テ實問ヲ繰返シテ參ツタノデアリマスルガ、今日ニ至ルマデ私ノ御尋ねスル天理教ノ問題ニ付テハ當局ハ未ダ一回モ御取締ガナイ、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、平沼内

相ニ對シテハ天理教ノ大罪ヲ告訴シタ關係者カラ今日マデ幾度モ、アナタノ總理大臣ノ時代、ソレ以前カラアナタニ懇ヘテ居ツタ者ガアルノデアリマスカラ、十分御承知ノコトヲ私ハ思ヒマス、私ハ天理教ノ大逆、不敬ト云フコトヲ情ヲ知りナガラ若シ之ヲ此フヤウナ者ガアリマスルナラバ、其ノ底フ者モ同罪デアラウト思フ、大逆、不敬、詐欺、恐喝、私有財産否認、共産黨行ト云フヤウナコトヲ現ニヤツテ居ル宗教ナコトガ若シアリトスルナラバ、私ハ取締ヲナイ役人モ同罪ニモ等シキ重大ナル責任ガ生ズラウト思ヒマスガ、一體此ノ天理教ニ對シテ、是ガ果シテ我ガ國體ニ即スル善良ナル宗教デアラカドウカ、内務大臣ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレハ、アナタガ現在内務大臣デアラカラ、其ノ監督官廳トシテノ取締ノ任ニ在ル長官デアルト云フ點カラモ御尋ね致スノデアリマスルガ、特ニ私ガ此ノコトヲアナタニ申上ゲタイノハ、既ニ御尋ねモ入ツテ居ルト思ヒマスガ、天理教ハ何處ト云フ財産ヲ持ツテ居ル、全國四、五百万ノ信徒カラ一年ニ搾取スル金ガ一億ニ達シテ居ル、サウシテ自己ノ罪惡ヲ隠蔽スル爲ニ此ノ金ヲ國家ノ中樞機關ニ對シテバラ撒イテ居ル、賄賂ヲ送ツテ、之ヲ以テ凡ニル方面ニ自己ノ罪惡ヲ隠蔽スベク運動シテ居ル、斯ウ云フコトガ公然ト發表サレテ居ル、私ハ國家ノ威信ノ爲ニモ、法ノ尊嚴ノ爲ニモ、此ノ一事カラシテ當局トシテハ斷乎トシテ天理教ニ對シテハ御取締ヲ進メナケレバナラナイ責任ト義務ガオアリニナルダラウト思ヒ

マス、天理教カラ誰ガ金ヲ取ツテ居ルカ、今日マデ高位高官ト云フコトヲ私伺ツテ居リマスガ、平沼サンハ實ツテ居ラヌト云フコトヲ聞イテ居ル、アナタハ清廉潔白デ天理教カラ一錢一厘ノ金モ受ケテ居ラヌト云フコトヲ承リマシタ、當然ノコトハ言ヒナガラ、私ハ其ノ點ニ於テアナタヲ尊敬致シテ居リマス、少クトモ是ハ昨日ヤ今日起ツタ問題デハナイノデアリマスルカラ、行政監督廳ノ長トシテ、之ニ對シテドウ云フ御考ヘデ臨マレカ、一體天理教其ノモノヲ國家ノ爲ニ存在サセルコトガ宜シイ宗教ト御考ヘニナツテ居ルカドウカ、若シ内務大臣ガ深いコトヲ御存ジナイト仰シヤルナラバ、知ラヌト仰シヤルナラバ、私ノ知り得タ教義ノ内容、私有財産沒收ニ等シイ信徒カラ搾取スル方法、斯ウ云フコトニ付テモ御話申上ゲタイト思フノデアリマス、先ヅ其ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

カラザルコトト考ヘテ居リマス、要スルニ天理教其ノモノニ對スル取締ハ、文部當局ニ於キマシテ十分ノ講ジテ居ル管デアリマス、又治安ノ點ニ付テ懸念スベキコトガアリマスレバ、内務當局ニ於キマシテ嚴重ナル取締ヲ加ヘル積リデアリマス

○今井(新)委員 今日マデ御取締ノコトガアルデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○平沼國務大臣 是ハ監督官廳ノ文部省ニ於キマシテ、絶エズ天理教ノミナラス總テノ宗教ノ宗派ニ對シマシテ取締ヲ致シテ居ル管デアリマス

○今井(新)委員 天理教ニ對シテ監督官廳ノ文部省ガ取締ベテ居ル、是ハ私モ存ジテ居リマス、併シ是ハ文部大臣、司法大臣ニモ當然關係致シタコトデアリマスルカラ、機會ガアリマシタラ尙ホ文部、司法ノ當局ニ御尋ね致シテ見タイト思フテ居リマスガ、併シ直接ノ監督官廳ガ文部省デアリマシテモ、只今大臣ノ御述ベニナリマシタ通り、内務省トシテモ、例ヘバ「ヒトノミチ」デアルトカ大本教デアルトカ云フヤウナ淫僻邪教ニ對シテハ、會テ斷乎タル行政處分ニ附サレタコトガアルノデアリマス、私共ノ見ル所デハ、天理教ノ罪惡ト云フモノハ「ヒトノミチ」大本教ノ如キ比デナイ、ヨリ以上今日マデ罪惡ヲ犯シテ居ル、斯ウ云フヤウニ私共信ジテ居リマス、吾々専門ノ知識ナキ者サヘ、サウ云フヤウナ考ヘテ天理教ニ對シテ持ツテ居ルノデアリマスルカラ、行政上其ノ監督ノ任ニ在ル内務當局ト致サレテハ、當然多年問題ニナツテ居ル天理教ノ内容ト云フモノニ對シテ、今日マデ御研究ナサツテ居ラレタコトト私ハ信ジマス、眞ニ御

研究ナサツタトスルナラバ、ソレガ果シテ治安上差支ナイ宗教デアラカナイカト云フコトハ、是ハ直チニ分明スルデアラウト考ヘテ居リマス、サウ云フ觀點カラ私ハ文部、司法ノコトハ別ト致シマシテ、行政監督ノ任ニ在ル内務省トシテ、今日マデ天理教ニ對シテ御調査ヲサツタコトガアルカ、天理教ノ責任者ヲ御取締ベニナツタコトガアルカ、此ノ點ニ付テ御尋ね致シマス

○平沼國務大臣 宗教ノ内容ニ付キマシテハ監督官廳ノ取締ニ信賴ヲ致シテ居リマス、又是ガ犯罪ナルトカ或ハ治安ヲ害スルトガ云フ事實ガ現ハレマシタラバ、直接内務當局、司法當局ニ於テ之ニ對シテ處分ヲ致スベキ筋合ノモノト考ヘテ居リマス、是マデ内務省ニ於キマシテ、最近ニ於キマシテハ其ノ當事者ヲ呼出シテ取締ベタト云フヤウナコトハゴザイマセス

○今井(新)委員 丁度警察局長ガ御見エデゴザイマスカラ御尋ね致シマス、警察局長ノ今日マデ御承知ノ範圍ニ於テ、私ノ今大臣ニ御尋ね申上ゲタコトニ付テハ、是ハ餘リ儀式張ツテ質問ダカ答辯ダカ云ツタヤウナサウ云フコトデナク、私ハ國家ノ爲ニ眞ニ此ノコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ當局ニ於カレマシテモザツクバラシ、肚アリツタケノコトヲ仰シヤツテ裁キタイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○西村委員長 福田君

○福田委員長 實ハ内務大臣ノ御出席ハ屢、御要求申上ゲタノデアリマスガ、オイデガ中々出來ナイデ今日ニ至ツテ居リマス、昭和十四年度ノ決算ハ平沼内閣ノ時ノ決算、審議デゴザイマスカラ、内務大臣ハ御多用デゴザイマシテモ、努メテ責任ヲ明カニナサレマスル上ニ於テ御出席ヲ仰イダ次第デゴザイマスカ、今日初メテ御出席ヲ願ツタヤウナ譯デアリマス、内務行政ノ全般及ビ其ノ當時ノ内閣各省ノ實績ヲ調査致シマスルト、法律勸令違反及ビ不正事件ハ相當ニ多數ニ上ツテ居リマス、是等ヲ吾々委員會ト致シマシテハ常ニ絶滅ヲ期シテ居ルノデアリマスルガ、年々豫算ノ金額ガ増額致シマスルト共ニ相當ニ是ガ又増加スルノ傾向モアリマス、併シ一面又改メツタモノモアリマスルガ、是等ニ對シマシテ内閣ハ毎年斯ウ云フコトヲ繰返サレマシテモ致シ方ハナイト云フ御考ヘナンデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマシテ、我ガ委員會ニ於キマシテ今後ノ態度モ決シナケレバナラナイト思フノデアリマス、一ツ御注意ヲ願ヒタイノハ、近來ノ議會ニ於キマシテハ是等ニ對スル糾弾ノ力ガ餘程薄イノデアリマス、或ハ陸軍ノ歳出ニ於キマシテモ相當非難スベキモノガアル、顧ミマスルト明治三十三年ニハ旭川ノ兵營ニ對シテ八萬圓ノ豫備費ヲ以テ之ニ充當シタト云フダケデ貴族院デハ上奏案ヲ出サントシタ所ノ時代ノアルコトハ歴史ニ依ツテ明カデアリマス、近時

議會ガ政府ニ對シマスル眞ノ權能ヲ緩慢ナラシメテ、凡ニル部門ニ於テ上奏シナケレバナラスヤウナコトニ對シテモシナイ、ソレヲシナイニ乘ジテ政府ノ總テノ行政ガサウ云フ風ニ國民カラ非難ヲ受ケルコトノアリマスコトハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ、此ノ點ヲ内務大臣ハ十分ニ一ツ御考ヘヲ願ヒマシテ、官紀綱紀ノ肅正ニ付テ果シテ斷乎タル御決心ヲ御持チニナツテ居ルノカドウカ、此ノ點ヲ併シテ御伺ヒヲシタイノデアリマス、又アナタノ内閣時代ニ於キマスル總テノ款項ニ付キマシテハ分科其ノ他ニ讓リマシテ改メテ申上ゲル機會ガアリマスルカラ、大臣ニハ此ノ事ハ申上ゲマセス

次ニ御伺ヒシタイノハ内閣ノ責任ト云フモノハ憲法上、天皇ニ對シテ全責任ヲ御負ヒニナルノデアリマスガ、其ノ責任ヲ負フ道ハ憲法及ビ法律ノ上ニ於テ定メラレテアルノデアリマス、近時我ガ國ノ内閣官制、各廳官制、或ハ府縣制、市町村制ト云フ風ニ、國家ノ統治權行使ノ上ニ於キマシテハ全ク遺憾ナキ法制ト云フモノガ完備シテ居リマス、サウシテ日本ハ法治國家デアリマス、法治國家デアリマスルカラ、憲法ニ基準致シマシタケレバナラス、然ルニ過般來カラ現内閣ハ其ノ法律ニ依ラザル所ノ力ガナケレバ事變處理ニ責任ヲ負フコトハ出來ヌト云フヤウナコトモ仰セニナツテ居ルノデアリマスガ、果シテ現内閣ハ憲法及ビ法律ニ依ラズシテ、他ノ方法ニ依ラナケレバドウシテモ此ノ事變處理及ビ此ノ非常時局ニ對處シテ、天皇ニ對スル所ノ國務大臣ノ責任ガ執レヌト仰セニナルノデアリマセウカ、私ハ此ノ點ヲ御伺ヒ致シテ置キタイト思フ、我ガ日本ノ今

第一類第一號 決算委員會議錄 第十九回 昭和十六年三月二十日



日ノ國民ガ、政府ガ色々ナコトハナサレマ  
スルガ、非常時局ニ非常ニ迷フノハ此ノ點  
デアリマス、此ノ點ヲ閉却セラレテ、法ニ  
依據セザルモノニ依ツテ凡ル變體ノ行動ヲ  
ナサル爲メ、國民ハ據ルベキ所ノモノヲ失フ  
ノデアリマス、是等ニ對シテハ内務大臣ハ、  
過般來カラノ御意中ヲ御察申上ゲマス  
相嘗御考慮ナサツテ居ラレルヤウデアリ  
マスガ、此ノ點ニ對シテハ、我が日本  
ハ法治國家デアリガ、憲法ヲ尊重シ、法律  
ニ據ラズシテ其ノ他ノモノノ存在ヲ許シテ、  
或ハ地方自治團體ナリ、或ハ國家ノ政治運  
營ノ上ニ於テ其ノ力ガナケレバ、現内閣ハ  
天皇ニ對シテ全責任ヲ負フコト能ハズト  
御決定ニナツタデアリマスガ、ナツテ居ラ  
スノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リタイ

其ノ次ニハ、先程カラモ一寸アツタヤウ  
デアリマスガ、近時ノ言論取締ニ付テア  
リマス、大阪ノ方面デハ承認必認ト云フ意  
味ヲ講演會ヲ開キマス、之ニ對シテ大阪府  
ハ講演會ヲ中止ヲ命ジテ、又軍人ニ賜ツタ  
五箇條ノ勅諭、是モヤハリ必認ノ講演會  
ヲ閉ク、國民モ此ノ軍人ノ如クニ、オ  
五ヒガ緊張シテ現時局ニ處シナケレバナ  
スト云フ趣意ヲ講演會ヲ開カレタガ、是亦  
中止ヲ命ゼラレテ、或ルモノハ憲兵隊ノ盡  
力ニ依ツテ漸ク講演會ヲ開イタト云フデア  
リマスガ、一體斯ウ云フコトハ何ノ法律ニ  
依ツテナサルノデゴゼイマセウカ、講演會  
ヲ閉クノニ憲法、勅令或ハ御詔勅ヲ必認致  
シマシテ、歴代、天皇ノ大御心ヲ奉體シテ  
現時非常時局ニ對處スベキ國民ノ覺悟ヲ促  
スト云フデアリマス、是ハ政府ガ獎勵シ  
テナサレバナラヌ問題デアルト思フ  
ノデアリマスガ、是等ノ所謂御詔勅ノ御聖

旨ヲ奉體シ、憲法ノ御聖旨ヲ奉體シテ、法  
治國家ノ本源ヲ確立スルト云フコトニ付テ  
壓迫干渉ノヤウナ傾向ガアル、是等ハ内務  
當局ハ御承知デスウ云フコトヲナサツテ居  
ルノデゴゼイマセウカ、丁度王政維新ノ時  
ハ勤皇愛國ヲ唱ヘル所ノ吉田松陰、梅田雲  
濱其ノ他ノ賢達ベキ壓迫ヲシタモノデアリ  
マス、現時ハサウ云フ傾向トハ申シマセ  
ガ、勤モスルトサウ云フ傾向ガアルヤニ國  
民ハ疑ツテ居ルノデアリマス、而モ「コミ  
ンテルン」ノ日本赤化ノ根本第一條ハ何デ  
アリマスガ、君民一體ノ機關タル議會ヲ破  
壞スル、ソレガ根本トナラナケレバナラヌ  
ト云フコトガ「コミンテルン」ノ第一條ノ日  
本赤化ノ根本義デハゴゼイマセウカ、昨日  
ノ新聞ヲ見マス、翼贊會ノ成立ハ議會否  
認デアルト云フコトガ出テ居ルガ、唯一人  
ノシテ内務當局ハ御取消ニナツテ居ラス、  
斯ウ云フコトモ併セテ御認メニナルノデア  
リマスガ、ドウシテモ我が日本ハ現代ノ憲  
法ト諸法律ニ依ツテハ此ノ非常時局ヲ擔當  
出來スト云フコトト相成ルノデゴゼイマス  
カ、是等ヲ併セテ一ツ御答ヘテ願ヘマスレ  
バ國民モ釋然トスル所ガアラウト思ヒマ  
スカラ、平沼内務大臣ノ御答ヲ煩ハシマ  
ス

○平沼國務大臣 前段ノ政府ハ豫算ノ執行  
ノ上ニ於キマシテ或ハ法律ニ違背スル或ハ  
其ノ他ノ點ニ於キマシテ違法ノ點ガアル、  
斯ウ云フコトハ無論内閣ニ於キマシテ責任  
ノアリマスコトデ、斯ウ云フコトハアツテモ  
構ハナイト云フ心底ハ固ヨリゴゼイマセウ  
カニ我ガ國家ノ統治ハ固ヨリ仰セシ  
ク憲法ノ條章ニ違ヒ、又法律ノ定ムル所ニ  
格徹致サナケレバナラヌコトハ是ハ申スマ  
ス

體ノ援ヲナクシテ、天皇御躬ノ重責ヲ全ウ  
出來スト仰セニナル所ヲ見マス、憲法及  
ビ法律以外ノ違法ノモノガナクテハナラ  
ヌト考ヘルノデアリマス、此ノ點ヲ私ハ御  
答ニ致シテ居ルノデアリマス、是等ニ付テ  
豫テ或ル團體ノ如キハ、公事結社ト云フコ  
トデアリマスカラ、大體今ノ平沼内務大臣  
ノ行政ノ範圍ト云フコトニ付テノ意味ハ大  
體了承ハ致シマスケレドモ、ドウ考ヘマシ  
テモ國民ハゴキニ憂念ナキヲ得ナイノデア  
リマス、サウシテ此ノ非常時局ニ國民ノ精  
神ノ攪亂トマデハ行キマセヌシテモ右願  
左願シナケレバナラヌト云フコトデナクテ、  
ソレガ必要ナラバ法律ヲ以テ是等總テノコ  
トヲ總括的ニ御決定ニナルノガ、是ガ非常  
時ヲ乘切ル爲メ國民ノ協力ヲ求メマス所ノ  
最善ノ途ナリト思フノデアリマス、之ニ對  
シマシテモ一度御答ヘテ願フテ見タイト  
思ヒマス、私ハモウ大體是等ノ議論ハ盡キ  
テ居リマスカラ申シマセヌケレドモ、此ノ  
點ガテハドウシテモ國民ノ疑フベキ所ノ餘  
地方相當ニ多イノデアリマスカラ、之ヲ明  
確ニサレテ方國民ノ向フベキ指導精神ト  
致シマシテモ、非常ニ得ル所ガ少クナイト  
思フノデアリマスガ、平沼内務大臣ノ之ニ  
對スル御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマ  
ス

○平沼國務大臣 翼贊會トノ關係ニ於キマ  
シテ是マデ總理大臣ヨリモ、又私ヨリモ、  
豫算委員會等ニ於キマシテ御答ヘテ致シテ  
居リマス、要スルニ其ノ範圍ヲ私ノ申上  
ルコトハ出デナイノデアリマス、大體申  
シマシテバ近衛首相ノ聲明セラレタルコト  
ハ、要スルニ政府ノ政策ハ内閣ニ於キマシ  
テ輔翼ノ責任上ニテ確立スベキモノデゴ  
ザリマス、併シ之ヲ一般ニ徹底セシメル爲  
メ、凡ル方法ヲ用ヒナケレバナラヌト  
デアリマス、即チ翼贊會ニ依リマシテ所謂上  
意下達ノ途ヲ斷ル、是ガ即チ近衛首相ノ言  
明ノ意味デゴゼイマス、左様御承知ヲ願  
ヒマス



大都市ノ吏員ダケガ何ダカ繼子扱ヒニサレ  
 タヤウナ辭ミモ起リマスシ、此ノ際人員ハ  
 少クモ一ヲ以テ十ニ當ル覺悟ヲシテ貴ハナ  
 ケレバナラヌ時機デアリマス、是等ニ對シ  
 マス一ツ内務當局ノ御意向ヲ伺ヒタイ、サ  
 ウ云フ不平等ナコトヲナサレドゴザイマ  
 ヘルノデアリマス、ソレハドウゴザイマ  
 セウカ、而モ今日ハ大抵御承知デゴザイマ  
 セウカ、地方ノ吏員ノ平均給ト云フモノガ  
 實ニ憫レムベキモノデアリマス、ソレハヤ  
 ハリ都市ノ財政ガ困難デアリマスカラ、サ  
 ウナルノデアリマス、而モ例ハバ雇員ト云  
 フヤウナ者ニ對シテモ手當或ハ時局ニ依ル  
 所ノ増俸モシテヤラナケレバナラス、是ハ  
 ヤハリ國家ノ中堅デアリマス、六大都市ダ  
 ケヲ繼子扱ヒ、特殊扱ヒニサレテ、是等ニ  
 對スル御恩典ガ少シモ及バナシ、殊ニ小サ  
 イ町村ノ吏員ニハ是ガ及ブト云フコトハ、  
 一ツノ精神ノ方面カラ云ヒマシテモ非常ニ  
 打撃デゴザイマスシ、同時ニ都市ノ財政經  
 濟ノ上カラ申シマシテモ忍ブコトノ出來ナ  
 イ苦境ニアアルノデゴザイマス、小サイ市町  
 村ニサウ云フ恩典ガアリマスナラバ、ヤハ  
 リ都市ニモ何トカ方法ヲ考ヘテ裁カケレ  
 バナラス、是等ニ對シテ内務大臣ハ公明ニ  
 事ヲサツテ裁ケルノデアリマスカ、何處  
 マデモ公平ニシテ裁ケルノデアリマスカ、  
 六大都市ダケヲ特ニ除外サレト云フコト  
 ニ付キマシテ今後何トカ是ガ解決方法ノ善  
 處方ヲ御願ヒシナケレバナラヌト思ヒマス  
 ガ、内務大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマ  
 ス

○平沼國務大臣 只今御述ベニナリマシタ  
 事情ハ能ク承知シテ居リマス、六大都市  
 ノ吏員ト、他ノ吏員ト取扱ヲ異ニスルヤ否  
 ヤト云フコトハ、只今檢討中デゴザイマス、  
 只今一寸明確ニ御答ヘハ出來マセヌ  
 ○西村委員長 福川君、内務大臣ハ御急ギ  
 ノヤウデスカラ……  
 ○福田委員長 ソレデハ是デ打切ツテ置  
 キマスガ、今ノ御話ノ點ハ大藏省トノ御關  
 係モゴザイマセウカ、ヤハリ國家ノ恩典的  
 ノモノハ平等ニシテ裁キマスヤウニ御願ヒ  
 致シマシテ、ソレカラアトマダ内務省方面  
 ニ相當質問モゴザイマスカラ、局長及ビ次  
 官等ガ出來ルダケ御出席ガ出來マスヤウニ  
 御願ヒラ申上ゲテ、私ノ質問ハ是デ打切リ  
 マス

○西村委員長 小山君ノ質問ハ簡單デスカ  
 ○小山(亮)委員 簡單デスカ  
 ○西村委員長 ソレデハ小山君ニ許シマス  
 ○小山(亮)委員 一點ダケ大臣ニ御伺ヒシ  
 タイノデアリマスガ、先般西尾司令官ガ歸  
 ラレテ、支那事變ノ解決ハ、國民ノ總力ヲ  
 結果シテモウ一押しシテアル、斯ウ云フコト  
 ヲ言ハレマシタ、私ハ其ノ御言葉カラ考ヘ  
 マスノニ、現在ノ日本ノ國情、是ハ私ハ故  
 ラニ申シマセウカ、此ノ狀態ニ於テ國民ノ  
 總力ヲ結果シテ、モウ一押しシテ愛慮ス  
 ラレカドウカト云フコトニ對シテ愛慮ス  
 ルモノデアリマス、現在ノ大政翼賛會ノ改  
 組問題、其ノ他ヲ繞リマシテ、様々ナ論議  
 ガ議會ニ於テ行ハレマシタ、之ニ對スル平  
 沼内務大臣ノ政府ヲ代表シテノ御答辯ヲ拜  
 承致シマス、現在ノ大政翼賛會ト云フモ  
 ノハ、國民精神總動員運動以上ノ強力ナル  
 政治的活動ハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ私共  
 ハ感ズルノデアリマス、隨テ此ノ事變ヲ處  
 理スル爲ニハ、現在ノ大政翼賛會ノ大政翼  
 贊運動ダケデ、果シテ時局ノ難局ヲ乗切ル

コトガ出來ルカドウカト云フコトヲ考ヘザ  
 ルヲ得ナイ、支那ハ御承知ノ通りニ、支那  
 ノ政府ノ外ニ強力ナル國民黨ト云フ所ノ強  
 イ政治力ヲ持つテ居リマス、其ノ政治力ノ  
 背景ガアルガ故ニ、抗戰五箇年ノ間尙未戰  
 ヒテ繼續シ得ルノデアリト思フテ居リマス、  
 又私共ガ常ニ警戒シナケレバナラス所ノ「ソ」  
 聯モ、一國ヲ一黨トナス所ノ共產黨ト云フ  
 強イ政治力ヲ持つテ居リマス、隨テ是等ノ  
 政治力ノ背景ヲ以テ強イ行政力ニ依ツテ國  
 民ノ總力ヲ結果シテ、國際的難局ニ當ル、  
 斯ウ云フ狀況デ、日本ノ周圍ヲ見レバ、悉  
 ク私共ノ日本ノ國內ノ體制ヨリ遙カニ強力  
 ナル體制ヲ取ツテ、日本ノ周圍ニ迫ツテ居  
 ルヤウニ吾々ハ感ズルノデアリマス、隨テ  
 是等ノ諸國ヲ對象トシテ、日本ガ此ノ難局  
 ヲ切抜ケヨウトスルニハ、ドウシテモ國ノ  
 中ニ強イ行政力ヲ外ニ、國民全體ヲ打ツテ  
 一丸トスル機ニ上ルヤウナ強イ政治力ノ背  
 景ガナケレバ、此ノ難局ヲ切抜ケルコトハ  
 出來ナイト私ハ思ヒマス、其ノ政治力ト云  
 フモノハ大政翼賛會ニ許サレテ居リマセヌ  
 以上、他ニ若シ之ニ代ルベキ所ノ強力ナル  
 政黨ノ出現ト云フコトハ、私ハ當然考ヘラ  
 レルコトダラウト思フノデアリマスガ、難  
 局ヲ切抜ケル爲ノ強力ナル政治力ヲ持つタ  
 所ノ政黨ノ出現ト云フコトニ對シテ、内務  
 大臣ハ如何ナル御見解ヲ御持チニナリマス  
 カ、伺ヒタイノデアリマス

○平沼國務大臣 是非非常ナ廣汎ナ問題デ  
 ゴザイマスガ、御述ベニナリマシタ通り、  
 國民ノ總力ヲ以テ今日内外ニ當ラナケレバ  
 ナラスコトハ申スマデモアリマセヌ、是ガ  
 爲ニ政黨ヲ必要トスルヤ否ヤ、或ハ他ニ國  
 民ノ總力ヲ發揮スベキ途アリヤ否ヤ、是ハ

トガ國民ノ疑惑ヲ解キ、人心ヲ安定セシム  
 ル點ニ於テ極メテ重要ナ事柄デアリト思ヒ  
 マスガ、若シ御發表ニナリ得ルコトダゴザ  
 イマシタナラバ、ドウカ此ノ機會ニ十分ニ  
 御發表ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○橋本政府委員 前科四犯ノ單純ナ物取リ  
 デアリマス、絕對ニ背後關係ハアリマセヌ  
 ○淺沼委員 只今内務大臣ハ御退席ニナリ  
 マシタガ、私ハ此ノ際政事結社ノ取締コト  
 トニ關聯シテ、事務當局カラデモ伺ツテ置  
 キタイト思ヒマス、私共近衛内閣成立ノ當  
 初ニ於ケル結社ニ對スル取締ノ方針ヲ見テ  
 居リマス、大體ニ於テ政事結社ニ對シテハ之  
 ヲ漸次解消セシムル方向ニ向ケテ行カウト云  
 フヤウナ方針ニ見受ケラレタノデアリマス、  
 勿論只今大臣ガ答辯セラレマシタ通り、政事  
 結社ハ許可スベキモノデハナクシテ届出主義デ  
 アリマスカラ、其ノ點カラ申シマシタナラバ考  
 ヘモ別デアルカモ知レマセウカ、併シ政治運  
 用ヲヤツテ行ク場合ニ於キマシテ、成ベク  
 解消ノ方向ニ持つテ行カウ、斯ウ云フヤウ  
 ニ私共ニハ見受ケラレタノデアリマス、然  
 ルニ最近ニナリマシテカラ、一旦解消ヲ致  
 シマシタ團體ガ、更ニ政事結社ヲ作ルト云  
 フヤウナ事態ノ出現ヲ見テ居リマス、更ニ  
 加ヘマシテ大政翼賛會ノ改組問題ヲ繞リマ  
 シテ、改組ノ結果如何ニ依リマシテハ、或  
 ハ更ニ政事結社ガ出來ルノデハナカラウカ  
 ト云フヤウナコトヲ私共考ヘルノデアリマ  
 シテ、假ニ若シサウ云フヤウナ傾向ガ現  
 レテ來ルトシマスレバ、凝集シテ行カナケ  
 レバナラス政治力ガ非常ニ分散ヲ致シマシ  
 テ、又復對立的政治活動ガ起ツテ來ルト云  
 フヤウナコトニナリマシテ、只今小山君ノ  
 言ハレマシタ強力ナル政治力ヲ作ラナケレ

バナラスト云フ場合ニ於テ、國家ノ爲ニ執ラ  
 ザル所ト私ハ考ヘルノデアリマスガ、サウ  
 云フ政事結社ニ對スル取締ノ方針ノ如何様  
 ニ考ヘラレテ居ルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト  
 思フノデアリマス

○橋本政府委員 現在ノ問題トシテハ内務  
 大臣ノ御答ヘニナリマシタ通り、非常ニ研  
 究ヲ要スル問題デアリマス、況ヤ改組後ノ  
 狀況云々ニ依リマシテ之ヲ如何ニ取扱フカ  
 ト云フ問題ニ付キマシテハ、今日遺憾ナガ  
 ラ此ノ席ニ於テ明言スルコトハ蓋控ヘタイ  
 ト思ヒマス

○淺沼委員 近衛内閣成立ノ當初ニ於テ、  
 大體政事結社ニ對スル取締、大政翼賛會ノ  
 結成ヲ總ツテ、行政的手段ト云フヨリモ成  
 ベクナラバ自發的ナ解消ノ方向ニ導キタイ  
 ト云フ考ヘ方ガ政府ノ中ニアツタト私共ハ  
 考ヘルノデアリマス、隨テサウ云フヤウナ  
 方針ハ現在ニ於テモ保持サレヨウト考ヘテ  
 居ラレルノカドウカ、唯届出主義デアルカ  
 ラ、結社ヲ作ツテ届出レバ結果ニ付テ取締  
 ルト云フヤウナ御考ヘデアアルカドウカ、此  
 ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス  
 ○橋本政府委員 固ヨリ是等ニ對シマスル  
 根本ノ考ヘ方ハ之ニ對應スル色々ナ情勢ノ  
 變化ニ依ツテ考ヘナケレバナラス問題デア  
 リマス、此ノ點ニ付キマシテハ、内務大臣  
 ノ御答ヘニナリマシタ點以上ニ御答ヘスル  
 コトハ現在難カシイコトト思ヒマス



マ、ヤハリ現實ニ現ハレテ來ル一ツノ傾向ニ對シテドウ云フ態度ヲ政府ガ執ツテ行カト云フコトガ重大ナル問題デアラト思ヒマス、サウ致シマスト假ニ中野正剛君ガ翼賛會ヲ辭メラレマシテ、東方會一ツノ政事結社トシテ出ガアツタ、サウスルト此ノ傾向ハ唯單ニ中野サンガ翼賛會ヲ出タト云フコトニアラズシテ、斯ウ云フ傾向ガ他ニ出來テモ、法律ノ範圍内デアラ場合ニ於テハ已ムヲ得ナイト云フ結果ニナツテ、方々ニ政事結社ガモウ一遍出來テ來ルト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ非常ニ憂ヘルノデアリマス、其ノ結果ハ折角組織サレ、統一サレタ政治活動ガ必要デアラ場合ニ於テ政治力ガ分散サレ、更ニ色々ナ對立的政治運動ガ行ハレテ來ルコトハ是ハ國家ノ爲ニ探ラザル所以デアラト思フ、隨テ現實ニサウ云フ傾向ガ現ハレテ來タ場合、内務當局ハ届出主義ダカラ已ムヲ得ナイト唯獨シテ居ルダケデアラカ、或ハ他ニ何カ積極的ナコトヲ考ヘテ居ルカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○橋本政府委員 要スルニ今後ノ動向ニ微シマシテ適當ナル處置ヲシナケレバナラズト存ジテ居リマス

○淺沼委員 是レ以上伺ツテモドウカト思ヒマスノデ伺ヒマセヌ、唯私希望ヲ申上ゲマスナラバ、大政翼賛會ガ此ノ間ノ内務大臣ノ御答辯ニ依リマシテ精勵ノヤウナモノニナリハシナイカト云フ懸念モアラウト思ヒマスガ、併シ翼賛會ノ出來マシタ一ツノ政治的要求、竝ニ大政翼賛會ノ性格ニ對シマスル所ノ近衛總理ノ答辯、更ニ加ヘテ内務大臣ノ敷衍セル答辯ハ、大政翼賛會ハ高度ノ政治性ヲ持ツト云ハレテ居ルノデアリ

マシテ、ヤハリアレハ政治性ヲ持ツタケレバナラズト私ハ思フノデアリマス、隨テ高度ノ政治性ヲ持ツ大政翼賛會ガ發展途上ニアル場合ニ、之ニ對立スルヤウナ政治團體ガ更ニ生レテ來ルコトハ、折角統一シ掛ツテ居ル所ノ政治力ガ分散スルヤウナ傾向ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマシテ、ドウカ政府當局ニ於キマシテハ、此ノ分散サレントスル政治力ノ傾向ニ對シテ、一ツノ行政的指導ヲ以テ成ベク分散シナイヤウナ方向ニ指導サレシコトヲ私ハ切ニ希望スル次第デアリマス

○今井(新)委員 先程ハ内務大臣ガ御答辯ノヤウデゴザイマシタカラ一先ツ打切りマシタガ、尙ホ警備局長ニ御尋ね致シタイト思ヒマス、天理教ノコトニ付テ深ク關心ヲ拂フ、斯ウアウタハ仰シヤウタト思ヒマスガ、ドウ云フ程度ノ關心デゴザイマセウカ、出來ルダケ其ノ内容ヲ御説明ヒタイト思ヒマス

○橋本政府委員 深キ關心ヲ拂ヒツツアルト申上ゲタノデアリマスガ、其ノ前提ト致シマシテ、安寧秩序保持ノ觀點ヨリ深キ關心ヲ拂ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマスガ、隨ヒマシテ大臣カラモ御答辯ガアリマシタガ、文部省ヨリ色々々警告、戒告ヲセラレタヤウナ結果、如何ニ致義其ノ他ノモノガナツテ居ルカ、又色々々教團ニ關係致シテ居ル主ナル人ノ動靜ハドウカ、一寸是レ以上此ノ席デ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ付キマシテ深ク關心ヲ拂ツテ居ル、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマス

○今井(新)委員 先程モ申シマシタヤウニ私ハ四年モ前カラ毎年此ノ問題ヲ政府ニ御尋ねモシ、政府ノ處置ヲ追ツテ居ルノデアリマス、先刻モ申シマシタヤウニ、國ノ法律ト云フモノハ剛毅者ダケ取締ルノデハナイ、如何ナル權力ヲ持ツタ者デモ、惡イ者ハ斷乎トシテ取締ルノダ、斯ウ云フ事實ヲ政府ガ御示シナラナイト、國民ガ法ニ對スル不信不安ヲ抱クノデアリマス、先刻モ申シタノデアリマスガ、天理教ノ罪ハ斷ジテ許スベカラザルモノデアルト私ハ固ク信ジテ居ル、内務當局トシテ會テ大本教デアルトカ「ヒトノミチ」トカ云フヤウナモノヲ墳滅處分ニ付シタケレドモ、一體此ノ大本教ト「ヒトノミチ」ハドウ云フヤウナ理由デアラ云フ御處分ニナツタノデアラカ、此ノ機會ニ御説明ヒタイト思ヒマス

○橋本政府委員 一寸此ノ席デ其ノ内容ヲ御話スルコトハ仰リタイト存シマス

○今井(新)委員 是ハ秘密會デモ開イテ戴イテ、私徹底的ニ伺ツテ見タイトモ思フノデアリマスガ、要スルニ事ハ國家ノ一番重大ナ事デス、國體ノ變革、私有財産ノ否認、是レ以上ノ罪惡ハナイ、御承知カモ知レマセウカ天理教ノ大逆不道ノコトニ付テハ、モウ十年モ前カラ之ヲ告發シテ居ル愛國ノ士ガ現ニ生キテ居ル、然ルニモ拘ラズ司法當局ハ十年間捨テ置キコトデス、コナ馬鹿ナコトガ法治國ニアルベキコトデスカ、而モ先刻モ申上ゲタヤウニ、天理教ガ不淨ノ財ヲ集メテ、サウシテ國家ノ中樞機關ニ之ヲバラ撒イテ居ルコト云フヤウナコトヲ公然ト發表シテ居ル者ガアル、此ノ一事ダケデモ國家ノ名譽ノ爲ニ、威信ノ爲ニ一日一刻モ捨テ置ケナイ問題デアラウト思フ、然ルニモ拘ラズ告發シテカラ十年間モ天理教ノミ取調ベヌト云フコトハ、私ハ國家ノ威

信ガ何處ニアルカト憂ヘテ居ルノデアリマス、先程内務大臣ハ治安ノ維持ヲ害スルヤウナコトガアレバ、當然内務當局トシテモ取締リマスト云ハレマシタケレドモ、天理教ノ今日マデヤウテ來タコトガ果シテ治安ヲ害シテ居ラスカドウカ、御考ヘハ如何デゴザイマセウカ

○橋本政府委員 安寧秩序ヲ紊ルヤウナコト能ク分ラナイノデス、一體天理教ノ教義其ノモノガ大逆不道デアラ、宗教團體ニ對スル監督官廳ノ文部省ハ勿論、宗教ニ對スル行政處分權ヲ御持チノ内務省トシテ、天理教ノ教義其ノモノヲ今日マデ御研究ニナツテ居ラスト云フコトハアルベキコトデアリ、當然御研究ニナツテ居ルト思フ、御研究ニナツテ居レバ、天理教ノ教義ガ反國體デ、許スベカラザルモノデアルトコトハ既ニ御分リニナツテ居ラデアラウ、サウダトスルナラバ、改善シタテ文部省ハ言ツテ私ハ改心シテ居ラスト思フガ、假令改善シタトシテモ、多年ニ亙ツテ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、國體ヲ無視シタ教義ヲ流布宣傳シタ其ノ罪ハ當然處分シナケレバナラズモノト思ヒマス、ソレカラ内務省デモ既ニ御取調ニナツテ是ハモウ御分リニナツテ居ラデアラウト思ヒマスガ、天理教ニ財産ヲ沒收サレテ路頭ニ迷ツテ居ル者ガ現ニ二十万人位ハアル、一人ノ處ヲ得ザル者アラバ朕ノ罪デアルト仰セラレタ宏大無邊ノ御聖旨ニ對シテモ、天理教ニ財産ヲ沒收サレテ食フ

ニ困ツテ路頭ニ迷ツテ居ル者ガ現ニ二十万人アル、之ヲドウスルカ、教義ガ大逆不道デア、私有財産ヲ否認シ、良民カラ財産ヲ擄取シテ食フ物モナイ窮民ヲ此ノ戰時下ニ於テ二百万人モ出シテ居ル、安寧秩序ヲ紊スルテソレ以上ノ重大ノコトデス、斯ウ云フコトニ對シテドウ云フ御考ヘヲ以テ御臨ミニナルカ、私共眞ニ國家ノ爲ニ眞劍ニ内務當局モ之ニ臨ンデ戴キタイト思フ、山中重太郎ト云フ者ガ愛國ノ至誠止ミ難ク十年前ニ天理教ヲ告發致シマシタ、其ノ山中重太郎ト云フ者ハ今年七十三歳デアラガ其ノ苦節苦闘ノ山中老人ガ天理教ヲ恐喝シタト云フ惡名ヲ以テ陪シ穴ニ落サヤウナコトヲシテ一昨年ノ秋、大阪ヘ引ツ張ツテ行カレタ、大阪ノ何トカ云フ警部ガ此ノ老人ニ、天理教ニ對シテ君ノ告發ヲ取下ゲテ呉レト言ツテ頼ンダ、ト云フコトヲ直接山中氏カラ耳ニシタ、警部ガ天理教ニ對スル告發ヲ取下ゲテ呉レト言フ必要ガ何處ニアルカ、私ハサウ云フ話ヲ聞クト、愈々奇怪ナ問題ダト思フ、併シ是以上申上ゲルト、是ハ色々々御差障リモアリマセウシ、又國家ノ爲ニ申シテモ却テ國家ノ爲ニナラズヤウナコトガアツテハイカスカラ、此ノ質問ハ此ノ程度デ差控ヘマスカラ、内務當局ハドウカ本當ニシツカリ國家ノ爲ニ命懸ケデヤツテ戴キタイ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○福田(關)委員 先程私ガ御伺ヒシ點ニ對スル内務大臣ノ御答辯ハ十分デアリマセヌデシタガ、事務當局カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、最近承諾必認ニ關スル講演會等ニ對スル御干涉ガ甚ダシイ、事實ニ於テ東京、大阪ニ本部ヲ有スルモノガ、サウ云フ國體ヲ明微ニシ、眞ニ大和民族ノ忠誠ヲ擡

マシテ、ヤハリアレハ政治性ヲ持ツタケレバナラズト私ハ思フノデアリマス、隨テ高度ノ政治性ヲ持ツ大政翼賛會ガ發展途上ニアル場合ニ、之ニ對立スルヤウナ政治團體ガ更ニ生レテ來ルコトハ、折角統一シ掛ツテ居ル所ノ政治力ガ分散スルヤウナ傾向ニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマシテ、ドウカ政府當局ニ於キマシテハ、此ノ分散サレントスル政治力ノ傾向ニ對シテ、一ツノ行政的指導ヲ以テ成ベク分散シナイヤウナ方向ニ指導サレシコトヲ私ハ切ニ希望スル次第デアリマス

○今井(新)委員 先程ハ内務大臣ガ御答辯ノヤウデゴザイマシタカラ一先ツ打切りマシタガ、尙ホ警備局長ニ御尋ね致シタイト思ヒマス、天理教ノコトニ付テ深ク關心ヲ拂フ、斯ウアウタハ仰シヤウタト思ヒマスガ、ドウ云フ程度ノ關心デゴザイマセウカ、出來ルダケ其ノ内容ヲ御説明ヒタイト思ヒマス

○橋本政府委員 深キ關心ヲ拂ヒツツアルト申上ゲタノデアリマスガ、其ノ前提ト致シマシテ、安寧秩序保持ノ觀點ヨリ深キ關心ヲ拂ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマスガ、隨ヒマシテ大臣カラモ御答辯ガアリマシタガ、文部省ヨリ色々々警告、戒告ヲセラレタヤウナ結果、如何ニ致義其ノ他ノモノガナツテ居ルカ、又色々々教團ニ關係致シテ居ル主ナル人ノ動靜ハドウカ、一寸是レ以上此ノ席デ申上ゲルノハ如何カト思ヒマスガ、サウ云フ方面ニ付キマシテ深ク關心ヲ拂ツテ居ル、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマス

○今井(新)委員 先程モ申シマシタヤウニ私ハ四年モ前カラ毎年此ノ問題ヲ政府ニ御尋ねモシ、政府ノ處置ヲ追ツテ居ルノデアリマス、先刻モ申シマシタヤウニ、國ノ法律ト云フモノハ剛毅者ダケ取締ルノデハナイ、如何ナル權力ヲ持ツタ者デモ、惡イ者ハ斷乎トシテ取締ルノダ、斯ウ云フ事實ヲ政府ガ御示シナラナイト、國民ガ法ニ對スル不信不安ヲ抱クノデアリマス、先刻モ申シタノデアリマスガ、天理教ノ罪ハ斷ジテ許スベカラザルモノデアルト私ハ固ク信ジテ居ル、内務當局トシテ會テ大本教デアルトカ「ヒトノミチ」トカ云フヤウナモノヲ墳滅處分ニ付シタケレドモ、一體此ノ大本教ト「ヒトノミチ」ハドウ云フヤウナ理由デアラ云フ御處分ニナツタノデアラカ、此ノ機會ニ御説明ヒタイト思ヒマス

○橋本政府委員 一寸此ノ席デ其ノ内容ヲ御話スルコトハ仰リタイト存シマス

○今井(新)委員 是ハ秘密會デモ開イテ戴イテ、私徹底的ニ伺ツテ見タイトモ思フノデアリマスガ、要スルニ事ハ國家ノ一番重大ナ事デス、國體ノ變革、私有財産ノ否認、是レ以上ノ罪惡ハナイ、御承知カモ知レマセウカ天理教ノ大逆不道ノコトニ付テハ、モウ十年モ前カラ之ヲ告發シテ居ル愛國ノ士ガ現ニ生キテ居ル、然ルニモ拘ラズ司法當局ハ十年間捨テ置キコトデス、コナ馬鹿ナコトガ法治國ニアルベキコトデスカ、而モ先刻モ申上ゲタヤウニ、天理教ガ不淨ノ財ヲ集メテ、サウシテ國家ノ中樞機關ニ之ヲバラ撒イテ居ルコト云フヤウナコトヲ公然ト發表シテ居ル者ガアル、此ノ一事ダケデモ國家ノ名譽ノ爲ニ、威信ノ爲ニ一日一刻モ捨テ置ケナイ問題デアラウト思フ、然ルニモ拘ラズ告發シテカラ十年間モ天理教ノミ取調ベヌト云フコトハ、私ハ國家ノ威

等ニ對シマシテハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、伺ヒマス

○橋本政府委員 今ノ年號ヲ否認シタコトニ付テハ司法省ニ告發ガアリマシテ、今取調中デアリマス、内務省ハ法規ニ基テ範圍ニ於テ出來マスル處分、即チ發賣禁止處分ハ致シマシタ

○福田(關)委員 其ノ著書マデ發賣禁止シナケレバ、國家ノ安寧秩序及ビ國體ニ重大ナル影響ヲ及ボストシテ發賣禁止ニナリマシタコトト、其ノ人物ヲ政府ガ御監督ニナツテ居ル所ノ國體ニ於テ重用サレテ居ルト云フコトト、政府ノナサルコトニ非常ナ矛盾ガアリハシマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒマセウカ

○橋本政府委員 是ハ御承知ノ通り大政翼賛會ノ所管ハ内閣ニナツテ居リマスカラ、一寸私カラハ御答辯致シませマス

○福田(關)委員 ドウモ驚キ入ツタコトデアリマス、内閣ノスルコトデアラウガ、何デアラウガ、官制ノ上ニ於テハ内務省ハ治安ノ維持、安寧秩序ノ維持ノ全權ヲ委託サレテ居ルト思フ、然ルニ内閣ノシタコトデアラカラ之ニ手ガ着ケラレヌト云フコトニナルト、日本ニ政府ガ二ツモ三ツモアルコトニナリマスガ、サウ解釋シテ差支ヘアリマセウカ

○橋本政府委員 色々仕事ヲヤル所ガ決マツテ居リマスノデ、其ノ本ニ付テハ、司法省ニ告發ガ出テ居ツテ、司法省ニ於テ取調中デアラ、内務省ハ法規ニ基テ出來ル其ノ本ニ付テノ處分、即チ發賣禁止處分ハ致シマシタ、斯様ニ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ大政翼賛會關係ノ仕事ニナリマス、内閣ノ所管デアリマスカラ、其ノ人事

ンデルニ必要ナ講演會ヲヤラウトスレバ、之ニ御干涉ニナル、ソレニハ如何カ餘程意味ガアラウト思フガ、大阪ニ於ケル事實ニ付テハ、何カ警備局其ノ他内務省カラ御命令ニナツタノデアラカ、ソレトモ地方ノ一存デサウ云フコトヲナサツタノデアリマスカ、其ノ邊ヲ承リタイ、又我が日本ノ國體ヲ明微ニスルト云フコトガ、此ノ非常時局ヲ乘切ル最良ノ方策デアリマス、然ルニ憲法ヲ擁護シ、國體ヲ擁護スルト云フ、サウ云フ一ツノ愛國運動ニ對スル彈壓ノ傾向ノ見エルト云フコトハ、非常ニ重大問題デアラガ、内務當局ハ之ニ對シテ如何様ニ御考ヘニナツテ居リマセウカ

○橋本政府委員 ソンナコトハ命令シテ居リマセウ

○福田(關)委員 ソレハ地方ノ官廳ガヤツタノデアリマセウガ、其ノ地方ノ官廳ガシタコトハ、ヤハリ内務當局ノ責任ニナル管デアラウト思ヒマス

○橋本政府委員 御話ノヤウナコトナラバ、ソナコトヲ止メルト云フノガ一體オカシナコトデ、モツト具體的ニ何カ書イタモノデモ載キマシテ、具體的ニ何カ書イタモノセテ見タイト思ヒマス

○福田(關)委員 私ハ單ニ大阪ノ一例ヲ申上ゲタノデアリマスガ、他ニモサウ云フ例ハアリマス、例ヘバ昨年憲法擁護ノ爲ニ或ル方面ノ有志ガ全國ニ檄ヲ飛ばサレタガ、ソレ等ニ對スル監視及ビ内務省ノ御取締ハ相當ニ嚴重デアラウト云フ、其ノ内容ヲ見マス、國體ヲ擁護シ、國體ヲ明微ニシ、憲法ノ條章ヲ遵奉スルト云フノデアツテ、ソレヲ取締ル原因ハ何處ニアルカ

○橋本政府委員 ソレハ何時頃ノコトデア

○福田(關)委員 ソレハ昨年十月カラ十一月ニ掛ケテ全國ニ向ツテ市町村會議員、府縣會議員ノ全部ニ送付サレタ問題デアリマス、ソレニハ大竹貫一先生モ加ハツテ居リ、頭山滿サンモ加ツテ居リマス、ソレニ對シテ警視廳ハ相當御活躍ニナツテ居ルカラ警備局ガ御承知ニナツテ居ナイ管ハナイ

○橋本政府委員 丁度私ノコチラヘ參ル前ノ問題デアリマスカラ、能ク一ツ事情ヲ調べマシテ、然ルベク善處致シタイト思ヒマセウカ

○福田(關)委員 尙ホ一ツ御伺ヒシマスカ、現政府ハ國體明微、日本建國ノ歴史等ニ付テ、嚴肅ナル御取締ヲシ、是ガ聲譽ヲ演ニ對シマシテハ、相當ナル御覺悟ヲ持ツテオイデニナルコトト了承致シマスカ、今日大政翼賛會ト云フモノハ國費ヲ以テ賄ツテ居ル、サウ致シマスモ憲法ニ何等依據ハアリマセウカレドモ、是ハ政府ノ責任ノ上ニ於テ重大ナル監督權ヲ行使サレナケレバナラズ、其ノ權要部ニアリマス者ガ先程來御話ガアリマシタガ、共產主義ヲ實行シテ居ル、同時ニ又日本ノ二千六百年ノ建國ノ歴史ハ嘘デアラ、日本ノ建國ノ歴史ハ西曆紀元後デアラ、サウシテ我が日本ノ皇室ニ對シマシテ度如シタ著書ヲナシテ、之ヲ外國ニ頒布シ、同時ニ内閣ニモ日本文ヲ以テ頒布シテ居ルト云フ事實ガアリマス、サウ云フ者ガ現在政府ノ監督下ニアル所ノモノノ中ニ蟠踞シテ、兎ニ角是ガ相當ナル勢力ヲ持ツテ居ル、之ニ今ニ手ヲ御着ケニナラヌト云フコトハ、現内閣ハ國體及ビ日本建國ノ歴史ニ對スル御精神ニ國民ガ疑フ所ガアルト云フコトニナルノデアリマスカ、是



ニ付テハ私カラ答辯致シ兼ネル、斯様ニ申上ゲテデアリマス、其ノ點ハ分リマシタ、分リマシタガ、苟且ニモ國家ノ安寧秩序國體冒瀆及ビ日本建國ノ歴史ヲ否認スルガ如キ著書ヲ發賣禁止シナケレバナラズト云フノニ、其ノ人物ハ内閣ノ内ニ關係シテ居ルカラ内務省デハ手ガ付ケラレナイト云フコトデハ、日本ノ法律ト云フモノハ普ク行ハレナイデ、先程來御話ガアリマシタガ、人ニ依ツテ法ヲ二三ニスルコトニナル、内務省ガ左様ナコトデアリマス、昔ノ徳川時代ニ實永寺ニ逃ゲタヤウナモノデ、人殺シデアラウガ、泥棒デアラウガ、國體破壞者デアラウガ、皆助カルト云フコトニナル、是ハ今日法治國家ノ重大問題デアルト思ヒマス、所ガ内閣デシタコトデアルカラ、干渉スルコト能ハズ、安寧秩序ヲ維持スルコト能ハズ、國體ヲ擁護スルコト能ハズト云フコトニナリマス、是ハ大變ナ問題デアリマス、サウ云フヤウニ内務省ノ管轄ニ於キマシテ不徹底ニシテ不見識ナコトデ、ドウシテ全國ノ安寧秩序ヲ維持スルコトガ出來セウカ、私ハ之ヲ非常ニ憂ヘルノデアリマス、ソレデアリマス、内閣デアリマセウガ何デアリマセウガ、法ノ上ニ於テ二三ニスキモノデハナイ、サウ云フモノヲ檢査シナケレバナラズ、其ノ著者ハシタ本ガ安寧秩序ヲ害スルト云フノ、其ノ人物ガ重用サレテ居ル、而モ翼贊會ノ中心ニ居ル、翼贊會ト云フモノガ如何ナル性格ノモノデアラカト云フコトハ之ニ依ツテ立證スルコトガ出來ル、ソレダカラ議會ニ於テ之ヲ純化シテ根本ヨリ改メナケレバナラズト云フ議論ガ起ルノデアリマス、内閣デア

ルカラ法律ノ及ビナイト云フコトハ何タルコトデアリマス、日本ノ法律ガ之ニ及バズト云フコトニナツタナラバ、是ハ何ヲ以テ日本ノ安寧秩序ヲ維持スルコトガ出來ルデアリマセウカ、左様ナコトデハ絕對ニイカスト思フ、ガカラ現在ハ翼贊會ト云フモノニ、サウ云フ者ガ一人デハナイ、數人居ル、而モ皆テハ共產主義ヲ執行ヲ受ケテ居ルモアル、其ノ刑ノ執行ヲ受ケテ居ル者モアル、凡ニル所ニ於テ革新性アル者トシテ見ラレル者ハ、是ハ皆共產主義系統デアルニ思ハレ、ソレヲ内務省ハ内閣ガシタコトデアルカラト云フ、共產主義ヤ、國體ヲ否認シ、皇室ヲ蔑如スル、サウシテ日本建國ノ歴史ヲ否認スルヤウナ者ヲ重用スルト云フコトハ、何タルコトデアリマス、ソレナコトデ此ノ非常時局ヲドウシテ擔當出來マス、斯ウ云フ點ヲ能ク御説明ニ相成ツテ、内務大臣ガ此ノ點ニ付テ御明言ニナツタ通り、之ニ善處シレナカッタナラバ、ドウシテ此ノ非常時局ヲ乘切レルカ、サナキダニ「コミンテルン」ノ運動ト云フモノハ、過般警備局長カラモ御説明ニナツタ通り、非常ナル展開ヲ示シテ、而モ議會制度ヲ破壞シテ、君民一體ノ組織ヲ毀ツト云フコトガ、所謂「コミンテルン」ノ日本赤化ノ第一條デアリマス、ソレヲ現代ニ實行シツツアルモノガ相當アル、昨日ノ新聞デハ議會否認ノ團體トシテ成立シツツアル翼贊會デアラウコト云フコトガアリマシタガ、ソレヲ内閣デハ取締ツテ居ナイ、然ラバ内閣ノ動向ニ「コミンテルン」ノ第一條ガ當嵌マルヤウナ傾向ニ見エラレ、ハナイカ、之ヲ慎レ、而モ本當ニ國ヲ憂ヒ、本當ニ國ヲ愛シ、眞ニ憂世慨國ノ精神ヲ以テ國體ヲ擁護スル

者ニ向ツテ、逆ニ之ヲ取締ラウト云フ傾向ガアル、ソレハ今大阪ニ起ツタ問題デアリマス、非常ナコトデアリマス、ソレデアリマスカラ警備局長トサレマシテ、アナタノ獨自ノ立場カラ、内閣ガ何デアリマセウ、國家ノ爲ニアナタハ大手ヲ振ツテ法ヲ適用サレル地位ニ在ル、安寧秩序ヲ維持スルコトハ何デアリマセウ、内務大臣モ先程仰セラレマシタガ、大官デアラウガ、何デアラウガ、假借スル所ハナイト仰セラレマシタガ、ソレデアレバナラズ、然ルニ内閣ノシタコトデアルカラ、手ガ着ケラレナイ、一方著書ハ發賣禁止シタ、ソレデアレナイ、一面ニ於テハ司法省ガ告發ヲ受ケテ、ソレヲ不行届トシテ取調ベテ居ルト云フコトドウモ矛盾致シマス、ソレデアレハ一國ノ政治ト云フモノハ、運籌ヲ全ウスルコトガ出來ナイト思ヒマス、之ニ對シマシテ、アナタハ職ヲ賭シテモ國體ヲ擁護シ、及ビ安寧秩序ヲ維持スル爲ニツ御努力願ハナケレバナラズト思ヒマス、ソレニ對スル御決心ノ程ヲ承リタイト思ヒマス

○**福田(關)委員** ソレナラバサウ云フ人物ガアルガ、ソレハ内閣ノ方デアアルカラ日本ノ法律モ警備局長ノ手モ及バズト云フコトデアラガ、サウ云フ發賣禁止ヲシナケレバナラズヤウナ人物ヲ日本國民ノ指導機關ニ置ク、是デ我々日本ノ國體ヲドウスルカ、我ガ日本ノ安寧秩序ヲドウスルカ、是ハ御取締ニナラヌト重大ナル惡影響ヲ及ボシ、

○**福田(關)委員** ソレハ先程カラ御話シテ居ルノデアリマス、司法省デ今調ベテ居ルノデ、只今アナタノ仰セニナルヤウナ、法條ヲ適用シテ其人間ニ内務省ガ手ヲ着ケラレシカト云フ、サウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデハゴザイマセウ、大政翼贊會ノ仕事ノ關係ガ内閣ニアルカラト云フコトヲ申上ゲテデアリマシテ、是ハ司法省デ取調ベ中デゴザイマセウ、其ノ結果ニ依リマシテ惡イ所ガアレバ遠慮ナシニ處罰スベキモノ、斯様ニ存ジテ居リマス

○**福田(關)委員** 大體分リマシタ、ドウカ一ツサウ云フ御決心デナラナイト、今大官ヤ内閣ガシタコトデアアルカラ云々ト云フコトガ日本ニハ相當アリマス、犯罪事實ニ於キマシテモ之ヲ曲庇スルモノガ相當アル、今ノ關係中ニモ相當不正不義ヲナシタ者モ居ラルル様デ、之ヲハハリ隠蔽サレテ居ル、

サウ云フコトガアツテハイカス、取捨ガナイヤウニシテ行カケレバナリマセウ、ソレヲ互ヒニ擁護シ合フト云フコトデハ法ノ嚴正ナル所ノ適用ハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ、斯様ナコトガアリマセウヤウニ一ツ嚴肅ニヤツテ裁カケレバナラズ、サウシテ向ホ警備局トサレマシテ、昨年來アナタノ御就任以前デアリマス、レドモ、憲法ヲ擁護シ、國體ヲ擁護スルコトノ運動ニ對スル所ノ警備局ノ干渉其ノ他ニ付キマシテハ改メテ具體的ニ申上ゲテモ宜シイケレドモ、アナタハ御調ベニナツテ御分リニナツテ居ル、假令後カラ御就任ニナツタトシテモ御分リニナツテ居ル、全ク取締ル所ノ道ヲ逆ニナツテ居ル、アナタガ御就任ニナツテ相當改善サレレドゴザイマセウケレドモ、サウ云フコトデハイカスノデス、ソレデアリマス、サウ云フ點ニ於テハ如何處マデモ、我ガ日本ノ國體、假令如何ナル所ノ時局デアリマセウトモ、日本ノ國民組織ト云フモノハ、天皇ノ御下ニ國民ガアリマシテ此ノ間ニ何者ノ介在モ許サレマセウ、サウシテ我ガ日本ノ行クべき道ハ萬世一系ノ、天皇ノ下ニ憲法ヲ遵守スルコトニ依ツテ行クニアラザレバ、我ガ日本ハ如何ナルコトガアリマシテモ斷ジテ圓滿ナル所ノ發達ヲ遂ゲ、此ノ非常時局ヲ乘切ルコトハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ方面ノ御取締ニ付テハ、アナタハ公正ノ御考ヘヨ御持チニナツテ居ラレト思ヒマス、サウ云フ御信賴申上ゲマス、ドウカサウ云フ逆ナ誤ツテ取締、丁度王政維新前ノ徳川ノシタヤウナコトハ斷ジテ之ヲ許サヌヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ此ノ程度デ打切りマス

○**山元委員** 最近治安ノ問題ガアリマシタガ、私モ二三ノ點ニ付テ御尋ね致シタイ、今朝私共ノ所ニ皇道日報ト云フ新聞ガ參ツテ居リマス、之ニ依リマス、國體ニ反逆スル日蓮宗ヲ粉砕シロト云フ題デ、所謂日蓮宗ガ國體違反ノ宗教デアルト云フコトヲ可ナリ明白ニシテ、サウシテ簡潔書シテ敬及ビ國家呪詛ノ内容ヲ羅列シテ居ル、斯ウ云フコトノ事實デアアルカナイカ、私ハ知リマセウ、又私自身ガドノ宗教ニモ關係シテ居リマセウ、極メテ國家ノ大局ノ上カラ公平ナル意見ヲ申上ゲルニ過ギナイノデアリマス、最前今井君ノ天理教ノ問題ガアリマシタノデ、私ハ之ヲ問題ニスル考ヘハナカッタガ、ヤハリ之ニ關係シテ居リマスカラ一言申スノデアリマス、斯ウ云フ新聞紙法ニ依ツテ發行サレタ新聞デアリマスカラ、當然内務次官或ハ警備局長ハ十分御存ジノコトト思ヒマス、今日ハ戰時デアリマシテ、出來得ルガ人人心ノ動搖ヲ防イデ、サウシテ民族ガ一體トナツテ國際間爭ニ入ルト云フコトハ日本國民デアラウト思ヒマス、然ルニ斯ウ云フコトノ問題ガ出ルトスルナラバ、假ニ日蓮ノ信者ト云フモノハ何百万人居ルカ、是ハ私ニハ分リマセウ、又此ノ新聞ヲ讀ンデ居ラレル人ガ何人居ラレルカ、ソレモ分リマセウ、少クとも數百万ノ日蓮信者、或ハ此ノ新聞ノ讀者ヲ通ジテ全國ニ波及スル力ト云フモノハ大ナルモノデアリマス、若シモ斯ウ云フコトガ事實デアルトスルナラバ、所謂治安ノ局ニアル内務當局ハ、司法權ト協力シマシテ嚴密ナル調査ヲサレ、是ガ眞ニ國體乃至國家ノ呪詛ノ宗教デアアルナラバ、是ハ斷

乎トシテ中止シナケレバナラズ、若シモサウデナイトスルナラバ、此ノ新聞ニ向ツテ相當ナル處分ヲスル、私ハ此ノ新聞社ノ社長モ友人デアリマスカラ、必ズシモソレヲ希望スルコト、何ト云フ意味デアリマセウ、斯ウ云フ時局デアリマスカラ、是ガ此處ニ書イテアル通りニ具體的ニ内容ヲ日蓮大聖人御書新抄ト云フモノノ中カラ轉載サレテ見地カラ許サセカシラ、是ガ國體及ビ國家ノ見地カラ許サセカシラ、是モノデアレバ、一應之ヲ發表宣傳セナイ中ニ法的ニ處置付ケル、若シソレデイカストスルナラバ新聞社ニ對シテ斷乎タル處置ヲ執ラレ、之ヲ何レカニシナイト、ドチラデモナイヤウナ新聞社ニ對スル方針モナシ、又日蓮ノ教義ガ國體乃至國家ニ反逆スルカシナイカト云フコトモ調査シナイト云フヤウナ状態デアアルナラバ、人心ハ益々不安ニ陥ツテ遂ニハ是ガ國內攪亂ノ結果ニモナルノデアリマスカラ、此ノ點ハドウ云フ風ニ御處置サレカ、一ツ明白ニ御意見ヲ御發表サレコトヲ御願ヒ致シマス

○**福本政府委員** 其ノ點ハ調査致シマシテ善處致シタイト思ヒマス

○**山元委員** 善處サレルト云フ以上ハ其ノ善處ヲ御持チシテ居リマス、第二ハ、是モ治安ノ問題ト思ヒマス、可ナリ部分的ナ問題デアリマスカレドモ、私ハ世田谷ノ住人デスガ、住民ノ間ニ非常ニ不平ノ聲ガ強イ、新聞紙ニモ發表セラレテ居リマス、玉川水道ノ問題デ、實ハ「ワカモト」ノ大工場ガ玉川ノ水源地ニアツテ、ソレニ火事ガ起リマシテ、其ノ藥品ガ川ニ流レテ、サウシテ何十万ノ住民ノ飲用スル水道ノ中ニ石炭酸ガ放入サレタ、初メ私自身モソレヲ飲

ンデ變ダト思ツタ、思ツテ居ル中ニ隣近所ニモヤハリ同ジ石炭酸ガ流レ込ニテ大騒ギニナツタ、結局ソレガ三日四日モ續イテ居ルヤウナ状態デアル、サウスルト或ハ新聞ノ如キ、是ハ共產黨ガ水道ニ毒ヲ投ジテ、サウシテ國內ヲ攪亂スルノデアルト云フヤウナ報道ヲシタノガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ハ極メテ些細ナコトノヤウデスケレドモ、ヤハリ戰爭中ニ於ケル後ノ不安ト云フモノハ、斯ウ云フ問題カラ非常ニ發生シテ來ルノデアリマスカラ、内務當局トシマシテハ之ニ對シマシテ水源地ノ附近ニ將來スル云フ工場ヲ許サカドウカ、又「ワカモト」ノヤウナ今度ノ失態ニ對シテモ相當ナ取締ノ御處置ヲサレカドウカ、斯ウ云フ點ヲ一寸御聽キシタイノデアリマス

○**福本政府委員** 御話ノ問題ハ一應或ハ厚生省ノ衛生局ノ關係トカ、或ハ其ノ他土木局ノ關係トカ、色々各方面ニ互ツテ居ル存ジマス、御説ノ如ク左様ナ問題ハ私共治安ノ任ニアル者カラ考ヘマシテ極メテ由シキ問題デアラウト存ジテ居リマス、當時警備廳ニ於キマシテ、ソレノ調査ヲ致シマシテ、只今御話ノヤウナ方面ニ向ヒマシテハ嚴重ナル警告ヲ發シタト承知スル次第デアリマス、尙ホ將來ニ於キマシテハ只今御話ニナリマシタル點、ソレノ關係方面ニ篤ト傳ヘマシテ、過チナカラコトヲ期シタイト存ズル次第デアリマス

○**山元委員** 大體分リマシタ、是ハ住民トシテハ極メテ不安デアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ於テハ水道局長乃至ハ工場主ニ對シテ或ル程度ノ嚴罰ニ處シタト云フヤウナ、何等カノ處置ヲ付ケタト云フヤウナ結果ヲ致シ發表シテ、國民ニモ安心サセルト云フ



態度ヲ執ツテ貫ヒタイノデアリマス、是ハ希望トシテ申上ゲマス

○淺沼委員 今ノ水道ノ問題ニ關聯致シマシテ地方計畫局長ガ御見エデスカラ、地方計畫ノコトニ關聯ヲシテ御伺ヒテ置キ...

○藤岡政府委員 連記ヲ止メテ... (連記中止) ○福田(關)委員 モウ一ツ伺ヒマスガ、此ノ方ノ資料ハ獲得ガ出來ルト云フ御自信ガ...

○藤岡政府委員 防毒面ノコトデアリマスガ、防毒面ノ資料ガ十分デアルトハ申上ゲ...

ノ計畫ト云フモノガ分散ヲシテ行ハレルカラ今言ツタヤウナコトガ行ハレテ來ルト思...

○藤岡政府委員 地方計畫ヲ早ク確立シテ確手タル處置ヲ執ラナケレバ現在ノ過大...

○藤岡政府委員 過大都市ノ弊害ヲ除去スル爲ニ凡ル方途ヲ講ゼヨト云フ御註文洵...

○藤岡政府委員 簡易防毒面ニ付テノ御質問思ヒマスガ、併シソレガ整ハナイト致シマシテモ今仰シヤウナ考ヘノ方向...

○藤岡政府委員 連記ヲ止メテ... (連記中止) ○福田(關)委員 最後ニ一點ダケ御伺ヒ致...

○藤岡政府委員 簡易防毒面ニ付テノ御質問思ヒマスガ、併シソレガ整ハナイト致シマシテモ今仰シヤウナ考ヘノ方向...

○藤岡政府委員 簡易防毒面ニ付テノ御質問思ヒマスガ、併シソレガ整ハナイト致シマシテモ今仰シヤウナ考ヘノ方向...

○藤岡政府委員 簡易防毒面ニ付テノ御質問思ヒマスガ、併シソレガ整ハナイト致シマシテモ今仰シヤウナ考ヘノ方向...

人、子供、病人等一時避難セシメテ居リマスヤウナ保護案、ソレカラ爆彈ノ爲ニ怪...



問デアリマス、内務省ニ於キマシテモ御承知ノ如ク防空研究所ニ於キマシテ此ノ方面ノ研究ヲ専門ニシテ居ル者ガアリマス、今市場ニ賣出シテ居リマス規格ニ合ヒマシタヤウナア云フ立派ナモノデナクマデハ進ンデ居リマス、併シ今仰シヤウツヤウニ、モツト簡單ニ瓦斯ガ来タカラ其ノ瓦斯ノ停留シテ居ル所ダケヲ突破シテ逃ゲレバソレ宜イノダト云フ位ノ簡單ナモノデアレバ、其ノ方面ノ研究ヲ進メテ参リマカレバ、或ハ又解決ノ餘地ガアルノデハナカラウカト存ジマス、御説ノアリマシト通リ洵ニ必要ナコトデアリマス、機關ヲ動かシマシテ十分此ノ方面ノ研究ヲ進メマシテ、結論ヲ得マシテ簡易防毒面ノ指導要領トシテ一般國民ニ普及徹底セシメルヤウ指導シテ参リタイト思ヒマス

○福田(關)委員 サウ云フ風ニ是非願ヒタイ、所ガ防毒面製造者カラ、サウ云フ簡易ナ緊急ノ場合ヲ防ギ得ルヤウナモノノ發表ヲ成ベクシテ貰ハヌヤウニト云フ傾向ガアルヤニハ私ハ聞知シテ居ルノデアリマス、ソレデハ一營利會社ノ利益ヲ得セシメル爲ニ萬民ヲ損フ虞モゴザイマスカラ、内務省ハサウ云フコトハ御耳ニナサツテ居ルカドウカ分リマセスガ、サウ云フ傾向ガアルノデアリマス、故ニ其ノ點ヲ十分御考慮ニナリマシテ、サウシテ今私ノ申上ゲタコトモ國民ガ常識的ニ知ツテ居リマスナラバ非常ニ危急ヲ防ギ得ルノデアリマス、ソレ以上ノモノガ内務省デ今後御研究ヲ願ヒマシタラバ出來ルト思ヒマスカラ、ソレ等ノモノヲ一々新聞其ノ他ヲ通ジテ御發表ニナツテ、國民ノ常識トシテ心得ルヤウニ御盡力ヲ願

ツテ置キマシタナラバ萬一ノ場合ニ非常ニ幸福ヲ得ルモノト思ヒマス、其ノ點ヲ一ツ十分御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○西村委員長 松浦君

○松浦(周)委員 簡單ニ二、三御尋ネ致シマス、此ノ前ノ決算委員會ノ時ニ、地方町村財政ノコトニ對シマシテ御尋ネ致シマシタ所、稅制改革後ニ於ケル分與稅制度ニナツテカラ、昭和十三年度ノ財政ト同様ニ財政デアツテ、地方町村ニ於テハ何等感慮スル點ナシトノ御答辯デアツタノデアリマス、今之ニ關聯致シマシテ地方ノ町村ガ其ノ經營難ヨリ何カ財源ガナイカト云フコトヲ研究致シマシタ結果、立木ノ伐採稅ヲ課スル問題ガ相當マシタナツテ參リマシタ、同時ニ惡稅トシテ以前ノ稅制ニ於テモ廢止ニナリマシタ所ノ只今ノ流木稅アルトカ、或ハ流送稅アルトカ、或ハ山林ノ反別割ト云フヤウナモノヲ地方町村カラ復活サセテ貰ヒタイト云フコトヲ内務省ニ相當要求ガアルヤウニ承ツテ居リマス、之ニ對シマシテハ過日來大日本山林會ニ於キマシテモ、或ハ日本林業協會ニ於キマシテモ、或ハ森林警察會ニ於キマシテモ、色々ト議論ガ開ハレテ居リマシテ、各町村カラ相當ニ此ノ要求ガ出テ居ルト云フコトデゴザイマスガ、内務省ト致シマシテハ、ソレニ對シテドウ云フ御考、デゴザイマセウカ、或ハ御許シニナル御考、ガアルカ、或ハ今マデニ許サレタ町村ガアルカドウカ、今後ドウ云フ方針デ之ニ處シテ行カレルカト云フコトヲ、御尋ネシテ置キタイノデアリマス、要ハ只今申上ゲマシタヤウナ反別割デアルトカ、或ハ立木稅アルトカ、或ハ立

木ノ伐採稅アルトカ云フヤウナモノヲ課スル結果、ドウナルカト云フコト、結局市價ノ逆算ニ依ツテ算定スル森林價值ノ減退ニナリマシテ、森林ヲ搾取スル結果ニ外ナラヌノデアリマス、之ニ對シテ如何ナル見解ヲ持ツテ居ラレマスカ、之ヲ此ノ機會ニ御尋ネシテ置キタイノデアリマス

モウ一ツハヤハリ森林ニ關係スル問題デゴザイマスガ只今ノ森林問題ニ付テ一番重要ナ問題デアルノハ、森林行政ノ一貫統制デアリマス、之ニ對シテ私ハ多クノ議論ハ申シマセスガ、次官ノ責任アル御答辯ヲ御伺ヒシテ置キタイノデアリマス、其ノ方法ニ對シマシテハ、此ノ議會デ三十年來ノ歴史ヲ持ツテ居リマス、ココ四、五年ト云フモノハ此ノ問題ノ出ナイ議會ハナイノデアリマス、殊ニ今議會ニ提出セラレマシタ木材ノ統制法案、或ハ林産物ヲ統制スル所ノ法案ト云フヤウナモノガ出タノデアリマスガ、其ノ基本ヲナスベキ森林ガ今日ノヤウニ各省ニ分割所有セラレマシテ、何等其ノ行政ニ統一ガナイヤウナコトデハ、是ハドウシテモ一貫統制ヲ行フコトハ困難デアラウ、又斷斷デ出來ナイト思フ、之ニ對シテ内務省ハドウ云フ考、ヲ持ツテ居ラレルカ、其ノ方法トシテ農林省ノ今マデ主張シテ居リマシタ所ノ、各省ノ所有山林ヲ農林省ニ移管スベシト云フ問題ガアル、是ハ色々ナ關係上各省ノ所管ヲ、直チニ其ノ所有權ヲ移管スルト云フコトハ出來ナイ、サウデアラナラバ、是ハ森林行政ヲ統一スル方法ガ必要デアラウト思フ、所有權ハ各省ニ置イテモ、其ノ行政ヲ統一スルコトガ必要デアラウ、ソレニハ或ハ「ドイツ」ノ如ク森林

廳ヲ設置シテ、サウシテ森林ノミヲ統一シテ行ク方法モアル、或ハ總理大臣ヲ會長ニシテ各省ノ關係次官ヲ委員ニシ、法制的ノ連絡統制機關ヲ設置シテ、之ヲ森林ノ參謀本部トシテ各省ニ命令シテソレヲ行フト云フ方法モゴザイマセウ、要ハ現在ノヤウナ無統制ノ森林行政ノガ爲ニ、結局民有林ガ荒廢致シマシテ、サウシテ治山治水ハ破レ、内務行政ノ今日ノ結果カラ見テ、幾多ノ弊害ガ現ハレテ居ルノデアリマセウ、サウ云フモノヲドウシテモ一ツニ統制シテ行カカレバナラヌト云フコトハ、刻下ノ急務デアラウトデアリマスガ、之ニ對シマシテ次官ハドウ云フ御考、ヲ持ツテ居ラレマスカ、此ノ二點ヲ御尋ネシタイト思ヒマス

○警備政府委員 森林行政ニ付テドウ云フ考、實ハ甚ダ申譯ナイノデアリマスガ、森林行政ニ付テ私ハ深イ蘊蓄ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、唯御話ノ中ニアリマシタ治山、治水ニ付キマシテハ、内務省ト致シマシテ非常ニ關心ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、其ノ具體的ナ行政ノ面ニ現ハレマシタ一例ヲ申上ゲマシレバ、近年來内務省ト致シマシテ治山治水ノ一ツノ働キト致シマシテ、實踐ト致シマシテ砂防ニ付テ非常ニ力ヲ入レテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ森林行政ヲ一貫シテヤルト云フコトハ大キナ圖策ダト思フノデアリマス、是ハ關係各省ガ何レ此ノ問題ヲ扱フニ付キマシテ、能力ヲ協セテ一ツノ圖策ヲ樹ルベキ問題デアラウト思フ次第デアリマス、簡單デアリマスガ、以上ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三好政府委員 立木伐採稅ト山林反別割

デアリマスガ、結論カラ申シマス、山林反別割ハ認メナイ、立木伐採稅ハ認メルコトニ致シマシタ、尤モ御説ノヤウナ弊害ガゴザイマスノデ、一定ノ條件ノ下ニ、一定ノ限度デ、餘リ負擔ノ過重ニナリマセヌヤウニト云フコトデ認メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、現在マデニ既ニ許可シタモノゴザイマス、而シテ是ガ山林ノ價格ニ及ボス影響ト言ヒマスガ、サウ云フ弊害ノ問題ニ付キマシテハ、御心配御尤モダト思フノデアリマス、大日本山林會或ハ山林業者ノ方ト直接懇談シマシタ模様ニ徵シマシテモ、通牒デ示シテ居リマス程度ノモノデアレバ先ツ心配ハアルマイ、左様ナコトデ實際ニ行ツテ居リマスケレドモ、一般ノ非難ト云フモノヲ餘リ聞カナイ狀況デアリマス

○松浦(周)委員 只今ノ稅ノ問題デアリマスガ、今マデ認可サレタ件數ハ何ボデアリマスカ、ソレヲ參考ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、其ノ稅率ハドウ云フ稅率デアツテ、何ヲ基準ニ御課ケニナルカ、ソレカラ弊害ハナイト仰セラレマシケレドモ、結局今日ノ公道相場カラ逆算ニ依ツテ山林ノ價值ハ決マルノデアリマス、山林ノ所有者ノ數ハ、特殊階級ノ人モアリマスガ、大體四百八十五萬アル、農村ノ五百六十萬ニ對シマシテ山林所有者ハ、農村ノ八割ガ山林ヲ持ツテ居ル、是ハ今マデ惡稅トシテ、會テ從來ノ稅法ニ於テモ廢止シタモノデアアル、分與稅制度ニナツテ町村財政ノ心配ハナイト言明サレタ内務當局ガ、御課ケニナルト云フ御心算ヲ御聽キシタイ

明致シマセス、御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラ洵ニ迂迴デゴザイマスガ、手許ニ書類ヲ持ツテ居リマセヌノデハツキリ申上ゲラレマセスガ、實ハ一般的ニ認メマスノハ通牒ヲ出シテ居リマス、ソレニ賦課率ノ限度ヲ示シテ居ルノデアリマス、是ハ數字ハ忘レラシタガ、立木ノ取引價格ヲ基準ニシテ居ルト思ヒマス、ソレカラ過去ニ於キマシテ惡稅トシテ廢止シタト云フ點デゴザイマスガ、補給金制度ガ出來マシタ際ニ、府縣稅ト致シマシテ縣下一般ニ對シテ一律ニ取りマスコトハ適當ナラズト認メテ廢止ヲ致サセタノデアリマスガ、其ノ際ニ町村稅トシテ殘ツテ居リマシタモノハ、廢止致サセマセスデ其ノ儘認メテ居ツタノデ、今回ノ改正ニ於キマシテモ道府縣稅トシテハ認メナイ、但シ市町村稅トシテ必要アルモノハ認メル、斯様ナ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、其ノ間從前ト同ジ考ヘ方デゴザイマス

○松浦(周)委員 其ノ稅率ニ付テ今御分リニナリマセヌケレバ、此ノ次ノ場合ニ一ツ稅率ト、立木ノ價格ト仰シヤイマシタガ、ソレノ標準ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、サウストルコトノ前ニ仰セラレマシタ分與稅制度ノ今日ノ稅制ヲ以テ町村財政ハ窮迫シナイト云フコトハ、御取消シニナツタノデゴザイマスガ

○三好政府委員 昭和十三年度ノ稅收入ヲ割リマシタ町村ハ先ツ殆ドナイ、斯様ナコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、新タナ施設ヲスルト云フ風ニ關係上、財源ガ必要デアリマス場合ハ、獨リ立木伐採稅ニ限リマセヌ、山林附加稅ニ致シマシテモ標準率ヲ超エテ課稅スルコトヲ認メ、或ハ其ノ他適當ナル獨立稅ガアリマスレバ、ソレモ認メルコト

ニ致シタノデアリマス、要ハ地方稅ヲ負擔ノ方面ノミヨリ考ヘマセスデ、市町村自治ノ立場カラモ考ヘマシテ、自治ノ財源モ得ル必要ト、負擔ノ限度、此ノ點ヒカカラ致シマシテ、山林附加稅ナリ或ハ獨立稅ノ新設ナリヲ容認致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三好政府委員 只今ハツキリシタ率ヲ覺

エナイノデアリマスガ、儘カ千分ノ二十五ト云ツタヤウナ賦課率ノ限度デ認メルト云フ風ニシテ居ルト記憶致シテ居リマス、併シ今明月中ニデモ御手許ノ方ヘ其ノ通牒ヲ御覽願フ爲メ御送り申上ゲルコトニ致シマス

○西村委員長 ソレデハ商工當局ガ見エテ

居リマスカラ其ノ方ニ願ヒマス——伊東君

○伊東委員 商工次官ニ對シマシテ商業

報國運動及ビ商業組合中央會ノ問題ニ付テ

御伺ヒシタイト思フノデアリマス、質問ハ

率直端のニ申上ゲマス、理窟ハ申シマセス、

事實問題ヲ提示シテ御尋ネシタイト思ヒマ

ス、尙ホ御尋ネスル中ニ攻撃的ニ互ル點ガ

アルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ此ノ時

局下ニ於ケル商業報國ノ精神運動ニ非常ナ

ル期待ヲ持ツテ居ルノデアリマス、尙ホ又

商業組合中央會ガ商業者ノ參謀本部トシテ

非常ナル活躍ヲ望ンデ居ル立場カラ致シマ

シテ、建設的ノ意味デ或ハ攻撃的ノ言葉ヲ

申上ゲルカモ知レマセヌガ……

(委員退席、高橋委員長代理着席)

少トモ私ノ申上ゲルコトハ二百萬商業者

ノ聽カント欲スル所デアリマスルカラ、ド

ウゾ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデ

アリマス、先ツ商業報國運動ニ付テデアリ

マスガ、長期戰ニ極メテ必要ナコトハ國民

ノ生活安定デアリマス、思想的ニモ、生活

的ニモ注意ヲスベキハ此ノ行ツツタ所ノ中

小商業者ノ問題ダト思ヒマス、其ノ對策ハ

種々アリマスケレドモ、根本問題トシテハ

商業人ノ精神ヲ興デアリ、商業道ノ徹底普

及、斯様ニ存ジマス、即チ商業報國精神ノ

滲透ニ依ツテ初メテ翼贊配給ガ行ハレ、商

業ノ再組織或ハ企業合同モ出來得ルト左様

ニ考ヘマス、精神ノ安定ノナイ所ニ轉業モ、

移民モ所期ノ成果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ

ト考ヘルノデアリマス、商工省ノ商業報國

運動ニ對スル理念、方針ニ付テ先ツ伺ヒタ

イト思フノデアリマス

○小島政府委員 現下ノ内外ノ情勢ニ鑑ミ

マシテ、配給部門ニ於テ重要ナル役割ヲ負

擔スベキ商業者ガ新シイ商人道ノ昂揚ノ爲

ニ自治的ニ進ンデ商業報國運動ヲ起スニ至

リマシタコトハ、商工省ト致シマシテ深ク

其ノ心構ヘニ敬意ヲ表シマシテ、今後トモ

出來得ル限り是ガ運動ノ發展ヲ指導シ、助

成シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 商報、産報、農報運動ハ何レ

モソレソレノ立場カラ極メテ重要ナコトデア

アリマス、隨テ政府ノ補助金等モソレニ厚

薄ガナイ管デアリマス、然ルニ商報運動ノ

補助金ニ限ツテ非常ニ少イノハドウ云フ譯

カ、私共ノ見ル所デハ農村方面ハ收入モ多

クテ、生活モ安定シテ、思想的ニモ極メテ

只今穩健デアリマス、工業方面モ極メテ活

潑デ收入モ非常ニ多イノデ、前途ハサウ悲

觀サレテ居リマセヌ、ソレニ比較致シテ中小

商業者ノ不安定ト來マシタナラバ實ニ豫想



外ノ行詰リテアルノデアリマシテ、隨テ思  
想的ニモ宜クナシ、寧ロ商業者ノ指導ニ重  
點ヲ置クコトガ三ツノ報國運動ノ中デ最モ  
必要ト思フニモ拘ハリマセズ、補助金ナ  
ドガ少イト云フコトノ政府ノ方針ハ、所謂  
商報運動ト云フモノヲ輕視シテ居ルノデア  
リカ、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、  
一體農報、産報、商報ノ各補助金ノ金額等  
ハドウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマシ  
テ、先ヅ此ノ點ヲ御伺ヒ致シタイ

○小島政府委員 只今御尋ネノ所謂商業、  
農業、産業各報國運動ニ關スル政府ノ助成  
ノ内容ニ付テハ別ニ御答ヘ申上ゲマスガ、  
只今御述ベニナリマシテ中ノ商業者ノ指導  
ト云フコトハ、現下ノ戰時經濟進行ノ上ニ  
於キマシテ商業者ノ氣持ヲ安定シ、眞ニ其ノ  
職域ニ依ツテ奉公ノ誠ヲ效スルコトヲ意味ニ  
於テ極メテ重要ナル點アリト云フ御意見デ  
アリマシタガ、此ノ點ニ付テハ私共全ク御  
同感デアリマス、吾々ノ施設ニ於テ今日ニ  
於テ是ガ決シテ十分トハ考ヘテ居リマセズ、  
洵ニ助成ノ金額等ニ於テモ十分デアルト  
考ヘテ居ルノデアリマシタガ、今後此ノ運動  
ヲ促進シテ参リマス上ニ於キマシテ、必要  
ナル助成ニ付テハ出來得ル限リ是ガ擴充強  
化ヲ圖ツテ参ル考ヘデアリマス、左様御諒  
承テ願ヒマス

○伊東委員 三ツノ報國運動中商報ニ關ス  
ル補助金ガ一番少イト云フコトニ付テハ、  
私ハ理由ガアルト思フノデアリマス、ソレ  
ハ第一商工省ノ中ノ商業報國ノ主務課デア  
リマスル商業組合課ガ無力デ不統制デア  
ルト云フコト、同時ニ商報中核體デアリマ  
スル中央會ニ全ク積極性ガナク建設的創造  
性ガナク、燃エルヤウナ情熱ニ缺ケテ居ル

ノデアリマス、此ノ問題ニ付テハ後列中上  
ゲタイト思ヒマスルガ、先ヅ之ニ關聯シテ  
商報運動ノ價金デアリマス、商報運動ノ第一  
線ニアル人達ガ殆ド觀念論者デアアル、只今  
ハ觀念論ノ時代デハナイノデアアル、公益優  
先トカ職域奉公トカ云フコトハモウ耳ニ聒  
ハドウスレバ御答公ガ出來ルカト云フ實際  
問題ヲ業者ハ欲求シテ居ル、第一線ノ指導  
者達ニ信念的ナ體驗的ナ熱意ガナイ、具體  
的ナ事實ヲ以テ業者ヲ心服セシムルヤウナ  
力量ガナイノデアリマス、精神運動ハ先ヅ  
人ヲ得ナケレバナラナイノデアリマスガ、  
現在ノ商業報國運動ノ陣容ハアノ儘デ次官  
ハ十分デ御答デアリマスカ、十分デナ  
イトスルナラバ將來何トカスルト云フ御考  
ヘガアルノデアリマスカ、此ノ點ヲ御伺ヒ  
シタイト思フノデアリマス

○小島政府委員 商業報國運動ノ如キ精神  
的運動ヲ促進シテ参リマス上ニ於テハ、  
人ヲ得テ、熱意ノアル指導者ニ依ツテ具體  
的ニ實際的ノ指導ヲナスコトヲ云フコトガ極メ  
テ必要デアリマスルコトハ、御答ノ通りト  
私共モ考ヘテ居リマス、是ガ構成ニ付テハ  
商工省ト政シマシテモ重大ナル關心ヲ持ツ  
テ居ルコトハ勿論デアリマスルガ、是ガ運  
動ノ開始以來其ノ機構ヲ整備ト云フコトニ  
付テハ、出來得ル限リノ考慮ヲ運シテ参  
リマスデアリマス、今後トモ御指示ノヤウ  
ナ點ハ十分腹中ニ置キマシテ、折角盛リ上  
ツテ参リマス此ノ商業報國運動ヲ促進スル  
上ニ於テ、遺憾ノナイヤウニ指導シテ参  
ル考ヘデアリマス

○伊東委員 然ラバ商報運動ノ中核體ヲ何  
處ニ置カレルノデアリマスカ、只今ノ所デ  
ハ中央會ガ其ノ中核體ノヤウニナツテ居  
リマシテ、商報運動ハ恰モ商業組合中央會ノ  
附帶事業ノヤウナ感ガ致シテ居リマス、而  
シテ此ノ運動ニ必要ナルハ、中央地方ヲ通  
ジテ人デアリマス、此ノ指導者ノ採用、養  
成ニ付テ何等カノ御準備、御用意ガアルノ  
デアリマスルカ、行詰ツタ商業者達ハ此ノ  
苦難時代ヲドウスレバ切實ケ得ルカト云フ  
コトニ付テ、全ク命懸ケデアアルノデアリ  
マス、一體商工省ガ中小商工業者ニ對スル眞  
ノ關心ガアルカヲ疑ハ疑ツテ居リマス、只  
今ノ統制ハ統制ノ爲メノ統制ノ感ガアリ、  
隨テ發生致シマス所ノ凡百ノ組合ノ爲ニ今  
ヨリモ一片ノ物質ガ欲シト云フノガ業者  
ノ欲求デアリマス、指導ノ眼目ハ私ハ此ノ  
點ニ集結シナケレバナラナイ、斯様ニ思ツ  
テ居リマスガ、以上ノ諸點ニ付テ御所感  
ヲ承リタイト思フノデアリマス

○小島政府委員 商業報國運動ヲ強化シテ  
参リマスル上ニ於キマシテ、中央地方ヲ通  
ジテ適當ナル指導者ヲ連カニ養成スルト云  
フコトハ、極メテ重要ナルコトト認メラレ  
マスガ、現ニソレハ十分デアリマス、其  
ノ規模モ必ズシモ大デアリマセズ、指導  
者ノ養成ニ關シマスル施設ヲ報國會ニ於テ  
致シテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス  
ガ、今後は等ノ點ニ付キマシテハ、一層ソ  
レ等ノ施設ガ實效ヲ得ルヤウニ努力致  
ス考ヘデアリマス、而シテ是等ノ指導者ガ  
指導スル心構ヘト致シマシテハ、御答ノヤ  
ウニ具體的ナ實際的ノ問題ニ付テ迷ツテ居  
リマスル商業者ガデアリマスラバ、ソレ等  
ノ者ニ付テ適切ナル指導ヲ轉授、誘掖ヲナ  
スコトガ出來ルヤウニセネバナラヌト考ヘ

テ居リマスノデ、此ノ點ニ關シマスル御話  
ノ點ハ、私共ト雖モ全ク同感ニ考ヘテ居  
ル考デアリマス

○伊東委員 有爲ノ人ガナクテハ商報運動  
ノ效果ヲ舉ゲルコトハ出來得マセズ、所デ  
此ノ運動ノ中核體ハ名前ハ商業報國會中央  
本部ト云フモノガアリマスケレドモ、中央  
會ノ中ニ吸收サレテ居リマシテ、事實ハ商  
業組合中央會ガ此ノ中核體トナツテ居ル  
言ツテモ宜イト私ハ思フノデアリマス、所  
デ此ノ無力ナ中央會ヲ中核體ニスル位デハ  
大キナ運動ハ到底其ノ目的ヲ達スルコトハ  
出來マセズ、只今商業組合中央會ヲ信賴シ  
テ居ル者ハ全ク居リマセズ、又先程カラ申  
上ゲルヤウニ眞ノ指導ハ事實ヲ以テ指導セ  
ネバナラナイ、是ハ獨リ此ノ商報運動バカ  
リデアリマセズ、商工省自體モ甚ダ無力  
デアリマス、今一例ヲ申上ゲマスナラバ、  
商工省ト農林省トノ關係ニ於テハ事務調整  
ヲ大イニヤルト云フ點デ、色々ナル組織、  
人ノ交換等モアルヤウデアリマシタレドモ、  
私共ノ見ル所デハ全ク調整ガ出來テ居ナイ  
ト考ヘテ居リマス、産業組合ガ其ノ本來ノ  
使命デアリマスル生産分野ニ立選ヘルヤウ  
ニ、又商業組合ガ配給ノ分野ニ他ヨリ侵サ  
レルコトナク、其ノ機能ヲ發揮スルト云フ  
施設ガ非常ニ必要デアルト思ツテ居リマス、  
所デ是ハ三月十三日ノ朝日新聞ノ掲載シタ  
記事ヲ見テミマス、全購辦ニ買取會社ヲ  
作ルト云フ報道デアリマシテ、是ハ商業組  
合トシテハ大キナ問題デアリマスルガ、商  
工省トシテハ之ヲドウ云フ工合ニ見テ居  
レマスカ、又是モ極メテ最近ノ例デアリマ  
スルガ、厚生省デ藥品及ビ衛生材料ノ配給  
方針ヲ立テテ居リマスガ其ノ方針ハ商業

ヲテ外部ニ當ラナケレバ、到底現在ノ狀況  
デハ駄目ト考ヘテ居リマス、又是ガ此ノ  
商業報國運動ノ本當ノ精神デアリ、斯様ナ  
コトヲ前提トシテ、商報運動ヲヤツテ行カ  
ナケレバ、駄目ト思フノデアリマスガ、  
次官ノ御意見ハ如何デアリマセウカ

○小島政府委員 商業報國運動ノ促進ヲ圖  
リマス意味ニ於キマシテ

(高橋委員代理退席、委員長着席)  
官民ノ間ニ其ノ理念ト申シマスカ考ヘ方ト  
申シマスカ、其ノ指導方針ニ付テ意見ノ對  
立ガアルト云フヤウナコトデハ、到底其ノ  
所期ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ナイコトハ  
勿論デアリマシテ、今後トモ是等ノ點ニ付  
テハ、十分留意ヲシナケレバナラヌト考ヘ  
テ居リマス、役所内部ノ事務ノ處理ニ付テ  
御注意ガアリマシタガ、左様ナ意見ノ不統  
一ト云フコトハ、萬アルベキ答ハナイト思  
ヒマス、事務處理ノ過程ニ於キマシテハ、  
固ヨリ各其ノ信スル所ニ依ツテ、意見ノ  
交換ヲナスコトハ當然ト思ヒマス、併シテ  
ガラ其ノ省ノ方針ヲ決シマシタ以上ハ、ソ  
レニ基キマシテ、其ノ責任ト熱意ヲ以テ、  
是ガ事務ノ執行ニ當ルコトハ、是亦吾々ノ  
心構ヘトシテ當然デアリマス、尙ホ御注意  
ノ點モアリマシタコトデ、吾々ト致シマシテ  
ハ常ニ心ヲ新テ致シマシテ、商工行政ノ  
遂行ニハ萬遺憾ナキヲ期シテ参ル考ヘデア  
リマス

○伊東委員 只今商工次官ハ商工省内ニハ  
不統一、不統制ハナイト仰シヤイマシタ  
ガ、私ハ例ヲ引イテ申上ゲルナラバ、モウ  
幾十幾百ノ事例ヲ持ツテ居リマス、併シ只  
今次官ヨリ責任アル御答辯ガアリマシタ  
コトデ、ソレヲ信賴致シマシテ、是レ以上ハ追

究致シマセズ、大體商報運動ヲ起ス前ニ、  
商工省ヤ中央會ノ役人達ニ、此ノ商報運動  
ト云フモノヲ打込マナケレバ駄目ト、御本  
元ガ斯様ナガラ付キヤウデハ、ドウニモナ  
ルモノデハナイノデアリマス、ソコデ申上  
ゲマスガ、一體日本ノ思想問題ハ、昔ハ百  
姓ヲ彈壓シテ一揆ガ起ツタ、今日ノ情勢ハ  
農村方面ハ極メテニトリガアリ、思想上ニ  
於テモ穩健デアリマス、左様ナ點カラ考ヘ  
マシテ、今後注意スベキコトハ、私ハ商人  
ニ對スル行政的施設ガト考ヘルノデアリマ  
スガ、此ノ點ニ付テハ多クヲ申シマセズ、  
賢明ナル次官ノ御想像ニ御任セ致シマス、  
次ハ商報運動ニ對スル對象デアリマスガ、  
是ハ商業青年デナクテハナラナイ、青年ヲ  
對象ニシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス  
ガ、其ノ指導方針ハ如何様ニ御考ヘデア  
リマスカ、思フニ方向ヲ見失ツタ所ノ店員達  
ニ、其ノ職能的ノ自覺ヲ與フルニハ、ドウ  
シテモ營利經濟ノ理論ヲ批判シテ、新商人  
タルノ理念ヲ植付ケナケレバナラナイ、是  
ガ商報運動ノ重點デナラナラヌト、私  
ハ平素カラ左様ニ存ジテ居リマスガ、以上  
ノ所見ニ付テ御意見ヲ拜聴シタイトデア  
リマス

○小島政府委員 商業報國運動ノ對象ト致  
シマシテハ、單ニ店主ノミニ限ルベキコト  
デアリコトハ勿論デアリマシテ、其ノ青年  
デアリマス店員ニ向ツテ、眞ニ我が國ノ産  
業經濟進行ノ實情ガ、現實如何ニナツテ居  
ルカ、配給機構ノ使命ハ如何ニ相成リツツ  
アルカト云フコトヲ、十分心カラ其ノ理解  
ヲ得テ、而シテ新シイ商人道ノ顯揚ニ自主  
的ニ邁進致シヤウニ進メテ参ラネバナラヌ  
ト考ヘテ居リマス

組合トハ非常ニ矛盾ガアリマス、斯様ナコ  
トヲ商工省ハ一體默認シテ置イテ宜イノデ  
アリマスカ、又一體斯様ナ場合ニ中央會ノ  
如キハ活躍セネバナラヌノニ、之ヲ馬耳東  
風ニ見逃シテ居ルト云フヤウナコトハ、洵  
ニ言語道斷デアアル、中央會ノ存在ノ如キ吾  
吾ハソレスラ此ノ一、二點ニ付テモ見ルコ  
トガ出來ナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス  
ガ、以上ノ點ニ付テ御意見ヲ、承リタイト  
ト思フノデアリマス

○堀政府委員 全購辦ノ買取會社ノコトハ、  
新聞デ私モ承知致シマシテ、是ガ商業者ノ  
負擔スベキ職域トノ關係ニ付キマシテ、考  
慮ヲ拂ツテ居リマス、其ノ成行ニ付キマシ  
テハ、十分過チナキヲ期シタイト考ヘテ居  
リマス、藥品ノ問題ニ付キマシテハ、御話  
ノ通り極メテ重要ナル問題デゴザイマシテ、  
厚生省ノ方ト只今打合セテ致シマシテ、ソ  
レモ濫リニ商業者ノ分野ガ、侵サレルコト  
ノナイヤウニ、致シタイト考ヘテ居リマス  
○小島政府委員 配給ノ分野ニ於キマスル  
商業者ノ地位ト云フコトニ付キマシテハ、  
先程來段々ト御話ガアリマシタヤウニ、十  
分吾々ハ之ヲ確認シテ参ルト云フコトガ、  
現下ノ諸般ノ情勢上、極メテ必要ナルコトト  
考ヘマス、同時ニ又商業者ハ其ノ企業、組  
織經營ノ内容ニ付テ、之ヲ整理致シテ参リ  
マシテ、配給機構トシテ十分其ノ與ヘラレ  
タル職責ヲ全ウシ得ルヤウニ、指導シテ参  
ラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、而シ  
テ此ノ趣旨ニ於キマシテ、商工省ト致シマ  
シテハ、關係十分連絡ヲ取りマシテ、  
間ニ齟齬ノナイヤウニ、最善ノ努力ヲ  
參ル考ヘテ居リマス

配給部内ニ於ケル商工省、農  
業







之ニ付テハ一昨日豫算會ガアツタヤウデア  
リマス、今日總會ガアルヤウデアアリ  
マシテハ、無御認メニナツタ上デ、總會  
ニ付議シタモノト思ヒマスガ、如何デアリ  
マスカ

○小島政府委員 商工省ニ於キマシテハ、  
中央會ノ豫算ヲ能ク審査ヲ致シマシテ居ル  
ノデアリマス

○伊東委員 御承知デハナイノデアリマス  
カ、御伺ヒテ致シマス

○小島政府委員 私自身ハ、大體振興部ニ  
於テ是等ハ十分審査セラレテ居ルモノト考  
ヘテ居リマス

○伊東委員 振興部長ニ御尋ネ致シマスル  
ガ、旅費ノ二倍増額ハ御承知セララウト思  
テ居リマスガ、御承知デアリマスカ、御伺  
ヒテ致シマス

○堀政府委員 二倍ト仰シタルノハ、或ハ  
總額ニ付テハナイカト思ヒマスガ、旅費  
ヲ増額致シマシタコトハ私承知ヲ致シテ居  
リマス

○伊東委員 總額デハナイノデアリマス、  
ソレハインチキ豫算デアリマス、役員ノ旅  
費日當ヲ上ゲル爲ニ、役員會ハ今度ハ理事  
ノ日當ヲ先キニ上ゲテ居リマス、日當ノ如  
キハ、五圓ヲ十圓ニ致シテ居リマス、ソレ  
カラ役員ノ方ハドウカト言ヒマスルト、日  
當ノ十圓ヲ二十圓ニ致シテ居リマス、宿泊  
料ノ十五圓ヲ三十圓ニ致シテ居リマス、是  
ハ數字ガ間違ッテ居ルカモ知レマセスケレ  
ドモ、私ノ見マシタ數字ハ左様ニ相成ツテ  
居リマス、次官ハ左様ニ此ノ時局下ニ増額  
シテ宜ト御考ヘデセウカ、アナタハ御承  
知デナイト致シマシテモ、アナタノ頭ノ御

知デナイト致シマシテモ、アナタノ頭ノ御

判断テ御答辯願ヒタイト思ヒマス  
○小島政府委員 役員ノ待遇ノ問題ニ付  
キマシテハ、篤ト實情ヲ調ベテ申上ゲルノ  
ガ適當ト考ヘ、是以上ハ追及ヲ致シマセス、  
モウ二、三點御迷惑デアリマスルガ御尋ネシ  
タイト思ヒマス、此ノ中央會ハ却シテ重點  
ヲ置カレレバデアリマスルカ、或ハ小賣商  
ニ重點ヲ置カレレバデアリマスルカ、或ハ財  
閥擁護デアリマスルカ、小賣業者ノ救済デ  
アリマスルカ、資本家、大業者ハ主トシ  
テ商業組合ニ據ツテ居リマス、地方モ主ト  
シテ卸業者ハ商工會議所ガ中心ニ相成ツ  
テ居リマス、小賣業者ノ據點ト言ヒマスナ  
ラバ、私ハハナリ中央會ガト考ヘルノデア  
リマス、中央會ハ系統商業組合ノ結果デア  
リマス、右申上ゲマシタ點ニ對スル御意見  
ヲ承リタイト思フノデアリマス

○小島政府委員 我ガ國ノ經濟組織ノ實情  
ニ鑑ミマシテ、極メテ多數ノ中小ノ業者者  
維持發展ヲ圖ルベキ組織ト致シマシテハ、  
商業組合又其ノ中央會ト云フモノガ最適  
切ナルモノデアリ、中央會ノ諸施設モ亦コ  
コニ思ヒテ致シテ、其ノ運用ヲ圖ルベキモ  
ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 只今次官ハ中央會ガ商業者重  
點主義デアルト云フ御答辯デアリマスケレ  
ドモ、ソレハ事實違ヒマス、其ノ證據ヲ申  
上ゲマスト、役員組織デアリマスガ、十六  
人ノ理事ノ中デ、小賣業者ヲ代表シテ者ハ  
僅カニ四名シカ居ラナイノデアリマス、其  
ノ他ハ殆ド大手筋バカリデアリマス、隨テ  
小賣業者ヲ代表シテ與レナイノデアリマス、  
又ソレガ人情ト考ヘテ居リマスガ、斯様  
ナ點ヲ改革セラレナケレバ、唯議會デ御答辯

ニナツテモ何ニモナラスト思ツテ居リマス、  
尙又府縣ノ支部長デアリマスルガ、是ハ全  
部經濟部長ニナツテ居ルヤウデアリマス、  
是ハサウ云フ御方針ヲ執ツテ御指示ニナツ  
タノデアリマスカ、以前ハ民間カラモ支部  
長ガ出テ居ツタヤウニ思フノデアリマス、  
斯様ナコトニ致シマスルカラ、結局地方マ  
デガ官僚式ニナツテ、困ルノハ業者達バカ  
リダト思フノデアリマスガ、如何デアリマ  
スカ

○小島政府委員 商業組合中央會ノ地方支  
部ノ組織ニ付テハ、決シテ之ヲ特定ノ地位  
ニアル者ニ限ル必要ハナイト思フノデアリ  
マス、要ハ支部長トシテ、十分其ノ地方ノ  
實情ニ即シテ、其ノ職責ヲ圓滑ニ行ヒ得ル  
ヤウナ適材ヲ得ルコトニアルト考ヘテ居リ  
マス

○伊東委員 中央會ノ使命ノ一ツトシテ商  
工省ト能ク協力スル、而モ常ニ民間ノ意  
見ヲシテ、所謂下情上通ノ任務ヲ果シ、サ  
ウシテ本省ノ若イ役人ノ獨善的工作ヲ掣肘  
スル、是ガ私ハ大切ナ任務ト思フノデア  
リマス、商業再編成ニ付テハ、丁度一年掛  
リテ漸ク生活必需品ノ配給機構整備要綱ト  
云フモノヲ、去年ノ十一月二十一日商工次  
官通牒デアリマシタ、地方デハ營  
營トシテ其ノ整備ヲ殆ド完成致シマシテ、  
將ニ實行ニ移ラウトシテ商業組合モ、地方  
ノ役人達モ非常ニ力ンデ居ツタ其ノ判那  
ニ於テ、其ノ矢先ニ丁度二月二十八日付ダ  
ト考ヘマスガ、之ニ對スル、ストッパレ令ヲ  
商工省ハ御出シシナリマシタ、此ノ無方針  
ニ驚イタノガ地方職ノ役人デアリ、商業組  
合デアリマス、一體此ノストッパレ令ヲ御  
出シニナツタ根據ハ何處ニアルノデアリマ  
スカ

○堀政府委員 昨年生活必需品ノ配給機構  
ニ關シマシテ、商工省デ通牒ヲ致シマシテ、  
其ノ時ニ各府縣ニ於キマシテ、ソレノ具  
體ノ計畫ヲ立テテ實行ニ移シテ貰ヒタイ、  
唯其ノ場合ニ於テハ具體的ニ實行スル前ニ、  
商工省ト打合ハセテ貰ヒタイト云フ意味ノ  
コトヲ申シテアツタノデアリマス

○堀政府委員 此ノ機會ニ此  
ノ前ノ答辯ヲ訂正致シマス、此ノ前伊東サ  
ンノ御質問ノ際ニ、イウ何日マデニ其ノ具  
體の方策ヲ回答シロト云フコトガ出テ居ツ  
タデハナイカト云フ御話ガアリマシタ時ニ、  
私ハ斯様ナ通牒ハアリマセスト申上ゲマシ  
タガ、是ハ私ノ考ヘテ違ヒデゴザイマシテ、  
サウ云フ通牒ガ移牒命デアテ居リマシタ、  
是ハ訂正致シテ置キマス、其ノ際ニ具體的  
ニ實行ニ移ス前ニ、十分商工省ト打合ハセ  
ルヤウニト云フ意味ノコトガ通牒デアテ居  
ツタノデアリマス、所ガ段々聞イテ見マス  
ト、地方職ニ依リマシテハ、其ノ通り商工  
省ニ打合ハセテ參ツテ居ルモノモアリマス  
ケレドモ、中ニハソレヲ打合ハセズニ、ドシ  
ドシ進メテ居ル向モアツタノデアリマス、  
斯様ナコトニナリマスト、方針ガ統一ニ  
ナリマシテ、種々故障ヲ生ズル虞ガアリマ  
スノデ、此ノ際無斷デ進メルコトハ待ツテ  
貰ヒタイト云フコトヲ、丁度曩ノ通牒ニ照  
シマシテ地方職ニ申シテアツタ譯デアリマ  
ス、サウシテ之ニ對シマシテ商工省ニ於キ  
マシテ一々検討シテ、其ノ結果ヲ地方職ニ  
回答スルヤウニ只今手管ヲ進メテ居リマ  
ス

○伊東委員 サウ致シマスルト、眞ニ商工  
次官名ヲ以テ御通牒ニナツタ生活必需品配  
給機構ノ整備要綱デアリマスガ、之ヲ御變

更ニナル御積リデアリマスカ、若シ之ヲ變  
更スルト云フヤウナコトニナリマスルナラ  
バ、地方ハ斷然反對デアリマス、一體ノ  
配給機構ノ整備要綱云フモノハ、經濟部  
長會議ニ之ヲ付シテ、更ニ商工課長會議ヲ  
ヤツテ、事務的打合セテ致シマシテ、サウ  
シテアノ要綱ノ通り實施ニ着手シタノデア  
リマス、今ノ御答辯デハハツキリ分リマセ  
スガ、漏レ聞ク所ニ依リマスレバ、一度決  
定致シマシタ各府縣ノ改革案ヲ、根本カラ  
覆シヤウナ通牒ヲ出サレバヤウナ噂ヲ聞イ  
テ居ルノデアリマス、ストッパレ令ノ内容デ  
アリマスルガ、此ノストッパレ令ノ通牒ヲ見  
マスト、何分ノ指示ヲスルマデ此ノ改組ノ  
實施ヲ見合セルヤウニト云フヤウナ意味ノ  
發令デアリマス、然ルニ其ノ後既ニ一箇月  
ニナツテ居リマス、モウ指示サレル内容モ  
ハツキリトシタコトト思フノデアリマスガ  
其ノ内容ハ一縣毎ニ御決定ニナルノデアリ  
マスルカ、アノ指示サレタ要綱ヲ、一縣毎  
ニ商工省デ再調査ヲシテヤルト云フコトニ  
ナリマスナラバ、是ハ大變ナ問題ニナルト  
思ヒマス、生活必需品ガ圓滑ニ配給サレル  
コトニ依ツテ、國民ノ生活ト云フモノハ安  
定ヲ得ル、此ノ配給機構ノ整備ト云フモノ  
ハ、價格政策等ニ先行シナケレバナラス所  
ノ非常ニ重大ナル政策デアリマス、此ノ重  
要ナル政策ノ實施ガ、斯様ニ遅レルト云フ  
ヤウナコトモ甚ダ困ツタモノダト思フノデ  
アリマシテ、地方デハ非常ニ不平ヲ抱イテ  
居ルノデアリマス、此ノストッパレ令ノ根據  
ハ大體分リマシタガ、將來ノ指示ショウト  
スル其ノ内容ヲ承リタイト思フノデアリマ  
ス

更ニナル御積リデアリマスカ、若シ之ヲ變  
更スルト云フヤウナコトニナリマスルナラ  
バ、地方ハ斷然反對デアリマス、一體ノ  
配給機構ノ整備要綱云フモノハ、經濟部  
長會議ニ之ヲ付シテ、更ニ商工課長會議ヲ  
ヤツテ、事務的打合セテ致シマシテ、サウ  
シテアノ要綱ノ通り實施ニ着手シタノデア  
リマス、今ノ御答辯デハハツキリ分リマセ  
スガ、漏レ聞ク所ニ依リマスレバ、一度決  
定致シマシタ各府縣ノ改革案ヲ、根本カラ  
覆シヤウナ通牒ヲ出サレバヤウナ噂ヲ聞イ  
テ居ルノデアリマス、ストッパレ令ノ内容デ  
アリマスルガ、此ノストッパレ令ノ通牒ヲ見  
マスト、何分ノ指示ヲスルマデ此ノ改組ノ  
實施ヲ見合セルヤウニト云フヤウナ意味ノ  
發令デアリマス、然ルニ其ノ後既ニ一箇月  
ニナツテ居リマス、モウ指示サレル内容モ  
ハツキリトシタコトト思フノデアリマスガ  
其ノ内容ハ一縣毎ニ御決定ニナルノデアリ  
マスルカ、アノ指示サレタ要綱ヲ、一縣毎  
ニ商工省デ再調査ヲシテヤルト云フコトニ  
ナリマスナラバ、是ハ大變ナ問題ニナルト  
思ヒマス、生活必需品ガ圓滑ニ配給サレル  
コトニ依ツテ、國民ノ生活ト云フモノハ安  
定ヲ得ル、此ノ配給機構ノ整備ト云フモノ  
ハ、價格政策等ニ先行シナケレバナラス所  
ノ非常ニ重大ナル政策デアリマス、此ノ重  
要ナル政策ノ實施ガ、斯様ニ遅レルト云フ  
ヤウナコトモ甚ダ困ツタモノダト思フノデ  
アリマシテ、地方デハ非常ニ不平ヲ抱イテ  
居ルノデアリマス、此ノストッパレ令ノ根據  
ハ大體分リマシタガ、將來ノ指示ショウト  
スル其ノ内容ヲ承リタイト思フノデアリマ  
ス

○堀政府委員 商工省ト致シマシテハ、眞  
ニ關シマス

○伊東委員 只今次官ハ中央會ガ商業者重  
點主義デアルト云フ御答辯デアリマスケレ  
ドモ、ソレハ事實違ヒマス、其ノ證據ヲ申  
上ゲマスト、役員組織デアリマスガ、十六  
人ノ理事ノ中デ、小賣業者ヲ代表シテ者ハ  
僅カニ四名シカ居ラナイノデアリマス、其  
ノ他ハ殆ド大手筋バカリデアリマス、隨テ  
小賣業者ヲ代表シテ與レナイノデアリマス、  
又ソレガ人情ト考ヘテ居リマスガ、斯様  
ナ點ヲ改革セラレナケレバ、唯議會デ御答辯

ニナツテモ何ニモナラスト思ツテ居リマス、  
尙又府縣ノ支部長デアリマスルガ、是ハ全  
部經濟部長ニナツテ居ルヤウデアリマス、  
是ハサウ云フ御方針ヲ執ツテ御指示ニナツ  
タノデアリマスカ、以前ハ民間カラモ支部  
長ガ出テ居ツタヤウニ思フノデアリマス、  
斯様ナコトニ致シマスルカラ、結局地方マ  
デガ官僚式ニナツテ、困ルノハ業者達バカ  
リダト思フノデアリマスガ、如何デアリマ  
スカ

○小島政府委員 商業組合中央會ノ地方支  
部ノ組織ニ付テハ、決シテ之ヲ特定ノ地位  
ニアル者ニ限ル必要ハナイト思フノデアリ  
マス、要ハ支部長トシテ、十分其ノ地方ノ  
實情ニ即シテ、其ノ職責ヲ圓滑ニ行ヒ得ル  
ヤウナ適材ヲ得ルコトニアルト考ヘテ居リ  
マス

○伊東委員 中央會ノ使命ノ一ツトシテ商  
工省ト能ク協力スル、而モ常ニ民間ノ意  
見ヲシテ、所謂下情上通ノ任務ヲ果シ、サ  
ウシテ本省ノ若イ役人ノ獨善的工作ヲ掣肘  
スル、是ガ私ハ大切ナ任務ト思フノデア  
リマス、商業再編成ニ付テハ、丁度一年掛  
リテ漸ク生活必需品ノ配給機構整備要綱ト  
云フモノヲ、去年ノ十一月二十一日商工次  
官通牒デアリマシタ、地方デハ營  
營トシテ其ノ整備ヲ殆ド完成致シマシテ、  
將ニ實行ニ移ラウトシテ商業組合モ、地方  
ノ役人達モ非常ニ力ンデ居ツタ其ノ判那  
ニ於テ、其ノ矢先ニ丁度二月二十八日付ダ  
ト考ヘマスガ、之ニ對スル、ストッパレ令ヲ  
商工省ハ御出シシナリマシタ、此ノ無方針  
ニ驚イタノガ地方職ノ役人デアリ、商業組  
合デアリマス、一體此ノストッパレ令ヲ御  
出シニナツタ根據ハ何處ニアルノデアリマ  
スカ

○堀政府委員 昨年生活必需品ノ配給機構  
ニ關シマシテ、商工省デ通牒ヲ致シマシテ、  
其ノ時ニ各府縣ニ於キマシテ、ソレノ具  
體ノ計畫ヲ立テテ實行ニ移シテ貰ヒタイ、  
唯其ノ場合ニ於テハ具體的ニ實行スル前ニ、  
商工省ト打合ハセテ貰ヒタイト云フ意味ノ  
コトヲ申シテアツタノデアリマス

○堀政府委員 此ノ機會ニ此  
ノ前ノ答辯ヲ訂正致シマス、此ノ前伊東サ  
ンノ御質問ノ際ニ、イウ何日マデニ其ノ具  
體の方策ヲ回答シロト云フコトガ出テ居ツ  
タデハナイカト云フ御話ガアリマシタ時ニ、  
私ハ斯様ナ通牒ハアリマセスト申上ゲマシ  
タガ、是ハ私ノ考ヘテ違ヒデゴザイマシテ、  
サウ云フ通牒ガ移牒命デアテ居リマシタ、  
是ハ訂正致シテ置キマス、其ノ際ニ具體的  
ニ實行ニ移ス前ニ、十分商工省ト打合ハセ  
ルヤウニト云フ意味ノコトガ通牒デアテ居  
ツタノデアリマス、所ガ段々聞イテ見マス  
ト、地方職ニ依リマシテハ、其ノ通り商工  
省ニ打合ハセテ參ツテ居ルモノモアリマス  
ケレドモ、中ニハソレヲ打合ハセズニ、ドシ  
ドシ進メテ居ル向モアツタノデアリマス、  
斯様ナコトニナリマスト、方針ガ統一ニ  
ナリマシテ、種々故障ヲ生ズル虞ガアリマ  
スノデ、此ノ際無斷デ進メルコトハ待ツテ  
貰ヒタイト云フコトヲ、丁度曩ノ通牒ニ照  
シマシテ地方職ニ申シテアツタ譯デアリマ  
ス、サウシテ之ニ對シマシテ商工省ニ於キ  
マシテ一々検討シテ、其ノ結果ヲ地方職ニ  
回答スルヤウニ只今手管ヲ進メテ居リマ  
ス

○伊東委員 サウ致シマスルト、眞ニ商工  
次官名ヲ以テ御通牒ニナツタ生活必需品配  
給機構ノ整備要綱デアリマスガ、之ヲ御變

更ニナル御積リデアリマスカ、若シ之ヲ變  
更スルト云フヤウナコトニナリマスルナラ  
バ、地方ハ斷然反對デアリマス、一體ノ  
配給機構ノ整備要綱云フモノハ、經濟部  
長會議ニ之ヲ付シテ、更ニ商工課長會議ヲ  
ヤツテ、事務的打合セテ致シマシテ、サウ  
シテアノ要綱ノ通り實施ニ着手シタノデア  
リマス、今ノ御答辯デハハツキリ分リマセ  
スガ、漏レ聞ク所ニ依リマスレバ、一度決  
定致シマシタ各府縣ノ改革案ヲ、根本カラ  
覆シヤウナ通牒ヲ出サレバヤウナ噂ヲ聞イ  
テ居ルノデアリマス、ストッパレ令ノ内容デ  
アリマスルガ、此ノストッパレ令ノ通牒ヲ見  
マスト、何分ノ指示ヲスルマデ此ノ改組ノ  
實施ヲ見合セルヤウニト云フヤウナ意味ノ  
發令デアリマス、然ルニ其ノ後既ニ一箇月  
ニナツテ居リマス、モウ指示サレル内容モ  
ハツキリトシタコトト思フノデアリマスガ  
其ノ内容ハ一縣毎ニ御決定ニナルノデアリ  
マスルカ、アノ指示サレタ要綱ヲ、一縣毎  
ニ商工省デ再調査ヲシテヤルト云フコトニ  
ナリマスナラバ、是ハ大變ナ問題ニナルト  
思ヒマス、生活必需品ガ圓滑ニ配給サレル  
コトニ依ツテ、國民ノ生活ト云フモノハ安  
定ヲ得ル、此ノ配給機構ノ整備ト云フモノ  
ハ、價格政策等ニ先行シナケレバナラス所  
ノ非常ニ重大ナル政策デアリマス、此ノ重  
要ナル政策ノ實施ガ、斯様ニ遅レルト云フ  
ヤウナコトモ甚ダ困ツタモノダト思フノデ  
アリマシテ、地方デハ非常ニ不平ヲ抱イテ  
居ルノデアリマス、此ノストッパレ令ノ根據  
ハ大體分リマシタガ、將來ノ指示ショウト  
スル其ノ内容ヲ承リタイト思フノデアリマ  
ス

○堀政府委員 商工省ト致シマシテハ、眞  
ニ關シマス

○伊東委員 只今次官ハ中央會ガ商業者重  
點主義デアルト云フ御答辯デアリマスケレ  
ドモ、ソレハ事實違ヒマス、其ノ證據ヲ申  
上ゲマスト、役員組織デアリマスガ、十六  
人ノ理事ノ中デ、小賣業者ヲ代表シテ者ハ  
僅カニ四名シカ居ラナイノデアリマス、其  
ノ他ハ殆ド大手筋バカリデアリマス、隨テ  
小賣業者ヲ代表シテ與レナイノデアリマス、  
又ソレガ人情ト考ヘテ居リマスガ、斯様  
ナ點ヲ改革セラレナケレバ、唯議會デ御答辯  
ニナツテモ何ニモナラスト思ツテ居リマス、  
尙又府縣ノ支部長デアリマスルガ、是ハ全  
部經濟部長ニナツテ居ルヤウデアリマス、  
是ハサウ云フ御方針ヲ執ツテ御指示ニナツ  
タノデアリマスカ、以前ハ民間カラモ支部  
長ガ出テ居ツタヤウニ思フノデアリマス、  
斯様ナコトニ致シマスルカラ、結局地方マ  
デガ官僚式ニナツテ、困ルノハ業者達バカ  
リダト思フノデアリマスガ、如何デアリマ  
スカ

○小島政府委員 商業組合中央會ノ地方支  
部ノ組織ニ付テハ、決シテ之ヲ特定ノ地位  
ニアル者ニ限ル必要ハナイト思フノデアリ  
マス、要ハ支部長トシテ、十分其ノ地方ノ  
實情ニ即シテ、其ノ職責ヲ圓滑ニ行ヒ得ル  
ヤウナ適材ヲ得ルコトニアルト考ヘテ居リ  
マス

○伊東委員 中央會ノ使命ノ一ツトシテ商  
工省ト能ク協力スル、而モ常ニ民間ノ意  
見ヲシテ、所謂下情上通ノ任務ヲ果シ、サ  
ウシテ本省ノ若イ役人ノ獨善的工作ヲ掣肘  
スル、是ガ私ハ大切ナ任務ト思フノデア  
リマス、商業再編成ニ付テハ、丁度一年掛  
リテ漸ク生活必需品ノ配給機構整備要綱ト  
云フモノヲ、去年ノ十一月二十一日商工次  
官通牒デアリマシタ、地方デハ營  
營トシテ其ノ整備ヲ殆ド完成致シマシテ、  
將ニ實行ニ移ラウトシテ商業組合モ、地方  
ノ役人達モ非常ニ力ンデ居ツタ其ノ判那  
ニ於テ、其ノ矢先ニ丁度二月二十八日付ダ  
ト考ヘマスガ、之ニ對スル、ストッパレ令ヲ  
商工省ハ御出シシナリマシタ、此ノ無方針  
ニ驚イタノガ地方職ノ役人デアリ、商業組  
合デアリマス、一體此ノストッパレ令ヲ御  
出シニナツタ根據ハ何處ニアルノデアリマ  
スカ



ルノダ、斯ウ云フコトデアリマス、之ヲ商工省ノ方デモ其ノ通りダト御認メニナルデアリマス、モウ一ツハサウ云フ場合ニ於テ、今マデノ例ニ依リマス、唯興業銀行ナドカラ金ヲ借りルト云フ場合ニ於キマシテモ、三月四月モ掛ルデアリマスガ、更生金庫カラ本當ニ左様ナ死金ニ近イ金ヲ借りル場合ニ於テ、商工省ハ努力セラレテ早ク是ガ決定ヲシナケレバ、其ノ人ガ更ニ損失ヲ深クシテ行カナケレバナラナイデアリマス、是等ノ廢業ニ對シテ借入金ナドニ付テ商工省デハ相談ニ應ジラレセウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス。

○小島政府委員 轉廢業資金ノ融通ニ付キマシテハ、更生金庫ノ運用ヲ如何ニシテ滑カニスルカト云フコトニ付キマシテ、吾等ト致シマシテモ最重要ナル關心ヲ持ツテ居ルデアリマス、其ノ貸付ノ手續ノ速クナル措置ト云フコトノ如キハ、吾等モ非常ニ心配ヲ致シテ居ル事項ノ一ツデアリマス、自然設備ノ評價ト云フコトナ問題ガ其ノ重點ニナラウト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ各地方ニ關係ノ當業者ヲ以テ組織シマシテ委員會ト云フコトヲナシテ、其ノ出ルルコトニナツテ居リマス、ソレ等ノ官民ノ委員ヨリ成リマス委員會ガ、眞ニ此ノ轉廢業資金融通ノ國家ノ必要性ニ付テ認識ヲ持ツテ御協力ヲ願ヒマシテ、ソレ等ノ設備ノ評價等ニ付テモ速カニ判定ヲシテ戴ク、サウ云フコトニ相成リマスレバ更生金庫ノ貸付ノ手續ニ付テハ、商工省ト致シマシテハ十分注意ヲ致シマシテ、御指摘ニナリマシタヤウニ折角更生金庫ハ出來マシテモ、其ノ運用ノ實情ハ轉廢業資金融通ト云フ國策

ニ副ハスト云フ弊害ノナイヤウニ致シテ参リタイト考ヘテ居リマス。

○瀧澤委員 次ニ企業合同ニ關シテ非常ナ重大ナル事情ガ一ツアルノデゴザイマス、ソレハ請願委員會ノ方ニモ其ノ請願ハ出テ居ルデアリマス、然ルニ其ノ請願ガアルノデキマシテハ適正價格ヲ御決定ニナリマシタ、又ナリツツアルノデアリマス、而シテ一般ノ商品其ノ他ニ於テハ公定價格ヨリ下廻ルト云品物ハ一ツモナイデアリマス、公定價格ガ決マレバ間相場ト云フモノハ全部高イ價值デアリマス、安イ間相場ト云フモノハナソ、所ガ一ツは即カレナケレバアラカト云フコト、商工省カラ資料ノ發註商人ハ許可證ガ來ル、許可證ガ來レバ、之ニ材料ガ付イテ居ルガ、今業者ガ轉廢業シタハ廢業ヲセバナラヌト云フ工場ハ閉テアリマス、其處ニ持ツテ行ツテ、尙前ヘダケノ資料ヲヤルンダカラ幾ラダヤレ、例ヘバ十圓ダケレバナラヌモノヲ六圓ダケレ、七圓ダケレ、是ガ營業者ニナリマス當然税金カラ總テノ利益モ商工省御認メニナリマシテ、一割乃至一割五分ノ利益ハ加算シテアリマス、税金ヲ納メルノハ後デアリマス、借金ヲ拂フノモ後デアリマス、デアリカテ材料サヘアレバ凡ル利益、サウ云フモノヲ無視シテ、其ノ價值段之ヲ受ケナケレバナラヌ、若シ斯ウ云フ公定價格ガ定マレテアリ、勿論公定價格ハ最高價格デアリマシテ、最低價格デアリマセスケレドモ、多クノ物品ハ其ノ定マレテラ價值ガ維持セラレテ居リマス、其ノ經濟界ニ波瀾ガ起キマセスケレドモ、材料ヲ商工省カラ許可サレテ賣ツタモノデ註文

ヲスル者ハ、自ラハ其ノ高イ公定價格ノ價值ヲ請負ヲ致シマス、假ニ錫物屋トスルト、公定價格一トシテ三百五十圓トカ四百圓、五百圓トカ言ヘバ、見積ツタ機械ヲ受取ル者ハ其ノ價格ヲ以テ受取ラナケレバナラヌデアリマス、然ルニ其ノ註文權ガアルノヲ幸ヒニシテ之ヲ二百五十圓ダケレ、三百圓ダケレ、或ハ五百圓ノモノヲ三百五十圓ダケレト云フコトヲウツテ参リマス、折角苦ガ苦心慘澹ヲシテ、三ツノ工場ヲ一ツニシタガ、又ソレヲヤラレバ、又是ガ整理統合シナケレバナラヌ状態ニナツテ、究極スル所ハ全體ノ破産ニナルデアリマス、公定價格ノ維持ナドト云フコトハ、今日ニ於テハ不思議ノヤウデアリマス、此ノモノダケニ付テ左様ナコトガアリマス、此ノモノダケニ付テ左様ナコトガアリマス、ナドニ致シマシテモ、縣外移出ガ出來マセヌカラ、饅頭ノ産地デアアル三河ニ於テハ、饅頭ノ公定相場ダケハアノ處ハ下廻ツテ居リマス、サウ云フコトデアアルナラバ東京ノヤウニ吾等ガ饅頭ヲ食フニ困ツテ居ル所ヘ之ヲ出シテ賣ハナケレバナラナイ、斯ウ云フコトガアリマシテハ、公定價格下廻リト云フコトニ對シテハ、折角企業ノ合同ヲ致シマシテ、是ナラ宜イト思フテモ、亦更ニ潰レル工場ガ出來ルヤウナコトガアルト非常ニ困ルデアリマス、此ノ公定價格維持ト云フコトニ付テハ、其大ナル御考慮ヲ拂ツテ戴カレレバ、今日ノ場合整理統合ガ絕對ニ出來ナイ、ドウセ潰レルナラザラ潰レルト云フコトヲ考ヘテ持ツ場合ガアリマス、此ノ點ニ付テ御伺フ致シタイト思ヒマス。

○小島政府委員 物價政策ノ運用ハ、他ノ企業合同、配給統制ト云フモノト緊密ナル連繫ヲ持タシメナケレバナラヌト考ヘマス、企業合同等ヲ促進シテ参リマス上ニ於テ、物價政策ト云フコトニ付キマシテハ、其ノ公定價格ノ維持等ニ付テモ能ク實情ヲ考ヘマシテ、是ガ維持ニ最善ノ努力ヲ致スコトガ適當デアラウト考ヘテ居リマス。

○瀧澤委員 只今ノ實情ニ即シテ御答辯ノ御心持デ、此ノ件ニ對シテハ更ニ請願書モ出テ居リマス、ドウゾ御考慮ヲ戴キタイト思ヒマス。

次ニ私ガ申上ゲテ、尙ホ之ニ對シテハ本當ニ御研究ヲ戴キタイト云フ事情ハ、私共此ノ議會ニ出席スルヤウニナリマシテ四年デアリマス、最初ニ於キマシテ日本ノ鐵礦ヲ開發シナケレバ、非常ノ場合ニ即シテ困ル場合ガ起キテ來ルカラ、ドウカ此ノ日本ノ鐵礦ヲ開發シテ賣ヒタイト云フコトハ、其ノ當時此ノ議會ニ付テモ專見ヲ申上ゲタノデアリマス、然ルニ國策會社デアアル所ノ日本製鐵株式會社ニ於テハ、ドウシテモ此ノ日本國內ニアル鐵礦ヲ開發スルト云フコトニ付テノ努力ガ非常ニ足リナイデアリマス、ソレハ東亞共榮團ノ中ノ外國ノモノヲ持ツテ來サヘ安ク買ハマスカラソレフ、勿論良イモノガ安ク買ハマスカラソレフ、宜イデアリマセウケレドモ、ソレガ爲ニ犧牲ヲ拂ツテ國內ノ鐵礦ヲ開發スルト云フコトニ對シテノ努力ヲ殆ドシテ居ラナイト云フコトハ、ソレ以來年々ノ議會ニ於テ私ハ申上ゲテ、次官モ御諒解ノコトト存ジテ居リマス、ソコデ私共ハナゼ今日ノ場合ニ日本國內ニ於テ鐵礦ガ出ナイカ、ソレデハ無イカ、斯ウ申シマスト次官モ御承

知ノ通り日本ニハ相當ナル鐵礦量ガ埋藏サレテ居ル、唯之ヲ開發スルトニ盡力ヲシナイ爲ニソレガ現ハレテ來ナイデアリマス、但シ一箇所デ五十萬トシ、百萬トシ、モ出ルヤウナ釜石ノヤウナ鐵礦山ト云フモノハ今日マデハ見當ツテ居リマセケレドモ、或ハアルカモ知レマセヌ、ソコデ民間ニ於キマシテハ、是ハ御承知デアリマセウ、横濱ニ直接法ト云フノ海綿鐵、即チ「スポンヂ・アイアン」ヲ拵ヘテ居ル、横濱ニ東亞製鐵株式會社ト云フノガアリマス、工場ハ昨年設計シテ十箇月デ建テ今ツツテ居リマス、是ハ只今「スポンヂ・アイアン」ヲ二萬五千トシ、造ル設備ヲ持ツテ居ル、私之ヲ見マシタケレドモ實ニ驚クベキモノデアツテ、此ノ人ノ方法ニ依リマス日本全國ヲ三十六箇所位ニ分ケテ、其ノ地方々々ニ依ツテ五萬トシ、位ツツノ鐵石ガ集マル所、此ノ工場ヲ設ケテ、サウシテ年額百二十萬トシ、製鋼原料ヲ出ス、此ノ「スポンヂ・アイアン」ハ八十%カ九十%デアリマス、實ニ見事ナモノデ、之ヲ製鋼シテ居ルノハ大連ニアル、ソレカラ今ノ横濱ノ工場ガツツテ居リマセケレドモ、アノ日本製鐵會社ガ何ト云フテモナラナイデ居ル間ニ、アア云フ人ガ出テ参リマシテ、サウシテアア云フ事業ヲシテ、日本ノ小サイ鐵山ヲ開發スルヤウニナツタ、「アメリカ」カラ「ストラップ」ノ來ナイ今日ニ於キマシテハ、其ノ「ストラップ」以上ノ良イ原料ガ出ルヤウニナリマシタガ、アア云フ日本ノ小サイ鐵山ヲ開發スルト云フコトニ付テ度々申上ゲマシタケレドモ、産金ノ方ニハ随分多クノ金ヲ使ツテオイデニナリマシタケレドモ、製鐵山ノ開發ト云フコトニ於テハ、其ノ助成ガ實

ニ微々タルモノデアリマス、今日開發ガ尙ホ微々タルモノデアリマス、將來私共ハ此ノ製鋼原料デナクテ出來ル小サイ工場ヲ日本全國ニ散ラセシメテ造ルト云フコトハ事變下ニ於テ運賃ノ上カラ、勞働力ノ上カラ見テ非常ニ良イ方法ダト信ジテ居リマセ、ソレカラ「ストラップ」ノ代用品ヲ之ニ依ツテ百二十萬トシ、得ルト云フガ如キ案ヲ十分御検討ヲ戴キマシテ、其事柄ガ日本現下ノ鐵礦業ニ適スルモノデアルトシタナラバ、全力ヲ舉ゲテ産金獎勵ヲナサツタ如クニ製鐵獎勵ヲシテ戴キタイト云フコトヲ私ハ切ニ申上ゲルデアリマス、尙ホ斯ウ云フ場合ニ一ツ私ハ御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ人ハ、學者モ何モ知ラナイコトデアリマセケレドモ、砂鐵ヲ溜メテ置キマシテ、其處ヘ小サナ穴ヲ掘リマシテ、其處ヘ或ル藥劑ヲ入レテ熱シマスト、三千五百度カラ七千度ノ熱ガ出テ、熔鐵爐モ要ラナケレバ何ニモ要ラナイデ、製鋼原料ガ立派ニ出來テ居ル、日本ノ砂鐵ノ開發ナドト云フコトニ付テハ非常ナモノデアリマス、サウ云フモノヲ拵ヘテ居リマセケレドモ、之ヲ賣ル時ニハ今日ノ製鐵法カラ言ヘバ當然禁止サルベキモノデナケレバナラヌケレドモ、兎ニ角努力シテ立派ナ鐵礦ガ出テ居ル、是ガ當分ノ間市場ニ容易ニ販賣セラレナクテ、隠レテ賣ルト云フヤウナコトガナイヤウニ之ヲ獎勵シテ戴キタイ、一度次官行ツテ御覽ナサイ、驚クベキモノデス、殆ド考ヘラレナイ、私實ハ今朝行ツテ参リマシタガ、實ニ驚クベキモノデアリマス、總ニ於テ官設若シタハ官

ノ力ヲ得テ大會社ニ於テハ左様ナコトニ中努力ヲ致シマセヌカラ、商工省ニ於テハ是等ニ向ツテ十分ノ助成ヲシテ其ノ發展ヲ圖ラントシテ私ハ切ニ切望スル者デアリマス、日本ノ鐵礦山ハ二千六百位デアリマセウ、其ノ中御調べニナリマシテ長イ間鐵礦料試掘料ヲ拂ツテ何年モ持ツテ居ル人ハ必ズ其ノ山ハ良イト云フ自信ガアツテ、今ニ此ノ山ハ開發サルベキモノダト云フ考ヘ方デ五年モ十年モ只鐵礦料ヲ拂ツテ居ル、サウ云フ人ハ面白半分賣ル目的デ持ツテ居ルノデアリマセヌデ、必ズ其ノキツテ居ル人ハ自信ヲ持ツテ長ク持ツテ居ルノデアリマス、是ハ商工省ニ於テカレマシテハドウカ此ノ長ク鐵礦料ヲ拂ツテ居ル所ヲ特ニ御調査サレタナラバ、容易ニ立派ナル鐵礦山ヲ發見スルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、色々一緒ニ申上ゲマシテ御答辯ガシタイト思ヒマス、ソレドモ、時間ノ節約上ニ於テ申上ゲテ次第デアリマス。

○小島政府委員 國防資材ノ尤タル鐵礦ノ原料資源ヲ確保スルト云フコトハ、内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ特ニ緊切缺クベカラザルモノデアリマス、之ニ付キマシテハ東亞共榮團内ニ於テ是ガ補給ヲ圖ルト云フコトハ固ヨリ必要デアリマス、同時ニ國內ニアリマス資源ヲ開發シ、是ガ利用ヲ圖ルト云フコトハ最も適切ナルコトト考ヘテ居ルデアリマス、殊ニ層鐵輸入禁止ノ現狀ニ於キマシテハ我が國ニ豐富ニ埋藏サレテ居ル低品位鐵ニ依リマシテ適當ナル製鋼原料ヲ得ルノ企業ガ我が國ニ於テ確立サレルト云フコトデアリマス、是ハ極メテ有意義ナル重要ナ産業ト吾等ハ認メ

テ居ルノデアリマス、是ガ獎勵ニ付テモ出來ル限り方法ヲ講ジツツアルノデアリマスガ、今後は等ノ技術研究ノ進歩ト共ニ國內資源ノ開發利用ト云フ方面ニ付テハ政府トシテ十分國策の見地ニ立ツテ、是ガ施設ヲ擴充シテ參ル考ヘデアアルデアリマス、日鐵ニ於テモ從來海外資源ニ於テ容易ニ獲得出來マシタ事情モアリマシテ、努力ニ於テ尙ホ缺クル所ガアツタノデアリカト云フ御話デアリマス、日鐵ニ於キマシテモ資源會社ヲ子會社トシテ組織致シマシテ、資源ノ獲得又開發ト云フコトニ付テ最近非常ニ懸命ノ努力ヲ致シテ居リマス、今後ト雖モ政府ハ凡ル手段ヲ盡シ、施設ヲ致シマシテ鐵礦ノ原料ノ確保ト云フコトニ付キマシテハ遺憾ナキヤウニ施設スベキコトト考ヘルノデアリマス、御諒解ヲ願ヒマ

○瀧澤委員 最後ニ簡單ナコトヲ尙ホ御考慮ニ入レテ置キタイコトハ、只今小サナ鐵山ノハ、山カラ停車場マデノ輸送デアリマス、「ガソリン」ガ殆ドナイノデアリマス、ソレデ又新自動車ヲ買ハワト致シマシテモ、中々手續ガ困難デアリマス、鐵山用ノ鐵石運搬ノ爲メノ自動車ニ對シテハ商工省ハ是ハ適當ダト云フ見込ガ定ツタラ、直チニ其ノ自動車ノ買入レテ他油ナドニ付テモ出來ルダケノ御力添ヘテ戴カナケレバ、内地ノ鐵礦山ノ開發ハ殆ド不可能ノ狀態ニ陥リマス、此ノ點ニ付テ特ニ次官ノ御考ヘテ伺ツテ私ノ質問ハ打切りマス。

○小島政府委員 液體燃料ノ配給ニ付キマシテハ、生産擴充ノ上ニ於テ重要ナ地位ヲ占メテ居ル鐵山ノ開發トカ、其ノ經營ニ關



シマシテハ優先的ニ出來得ル限りノ配給ヲ致シテ居ルデアリマス、何分ニモ液體燃料ノ補給ハ困難ニナツテ居リマスノデ、自

行ツタノガアルサウデス、ケレドモソレガ全體ニ影響シテ賃金ヲ一割値上、而モソレハ統制令違反デアリマスヨ、斯ウ云フコトガ起キルノデスカラ、アノ看板ハ或ハ地

○瀧澤委員 私ノ質問ハ是デ終リマスガ、参考マデニ商工省ノ方ニ一寸一言申上テテ置キタイノデス、ソレハ斯ウ云フコトデス、

○西村委員長 是ニテ散會致シマス、明後二十日午前十時ヨリ開會致シマス 午後六時二十四分散會

昭和十六年三月二十日印刷

昭和十六年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

(第二類 第一號)

第七十六回帝國議會 院 決算委員會會議錄(速記)第二十回

會 議

昭和十六年三月二十二日(土曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 西村 茂生君
理事高見 之通君 理事高橋 義次君
理事齋川 正藏君 理事福田 關次郎君
理事田中 養達君

- 伊東 岩男君 今井 新造君
小山 亮君 江原 三郎君
大島 寅吉君 河合 義一君
木村 茂七君 清水 徳太郎君
田代 正治君 瀧澤 七郎君
津倉 龜作君 玉野 知義君
濱地 文平君 眞鍋 勝君
生田 和乎君 松浦 周太郎君
松本 治一郎君 淺沼 稻次郎君
山元 龜次郎君

- 出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 橋田 邦彦君
出席政府委員左ノ如シ
外務書記官 武内 時之助君
内務書記官 三好 重夫君
大藏次官 廣瀬 豊作君
大藏省主計局長 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏書記官 梅北 末初君
大藏書記官 日下部 滋君
大藏書記官 入江 昂君
警備府局長 阿南 惟幾君
陸軍次官 阿南 惟幾君
陸軍主計少將 栗橋 保正君

- 海軍少將 岡 敬純君
司法書記官 石田 壽君
文部省圖書局長 松尾 長造君
文部省事務局長 阿原 謙藏君
文部書記官 柴沼 直君
文部書記官 藤野 惠君
農林書記官 岡本 直人君
農林省振興部長 堀 義臣君
商工書記官 末永 衛君
商工書記官 山田 龍雄君
選信次官 山田 良秀君
選信省經理局長 平山 孝君
鐵道省經理局長 平山 孝君
拓務省管理局長 副島 勝君
拓務書記官 中野 勝次君
厚生書記官 生悅 住求馬君
保險院簡易保險局長 前田 穰君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

- 中山 福藏君 小谷 節夫君
板野 友造君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算
昭和十四年度國有財産増減總計算書
○西村委員長 是ヨリ開會致シマス——生田君

○生田委員 私ハ茲ニハ八紘一字ニ關スル間題ニ付テ政府ニ對シテ質問ヲ試ミントスルモノデアリマス、是ハ去ル二月十三日玆ニ二月二十二日ノ二回ニ互リ私ト西村茂生君トガ提出者トナリマシテ、山道襄一君外三

十一名ノ賛成ヲ得マシテ政府ニ對シテ提出致シタモノデアリマス、之ニ依ツテ去ル二月十八日玆ニ二月二十七日政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタガ、何レモ官報ニ掲載サレテ居リマスカラ、皆サシ御承知ノコトト存ジマス、其ノ答辯ノ要旨ハ固ヨリ私共ヲシテ満足セシムルコトガ出來ナイデアリマス、仍テ茲ニ再ビ政府ニ對シテ質問ヲスル必要ニ迫ツタノデアリマス、然ルニ本問題ハ其ノ影響スル所極メテ廣汎デアリマシテ、國政ノ根本ニ觸レル問題デアリマス、又外

○西村委員長 只今質問者タル生田和平君ヨリ秘密會ノ要求ガゴザイマシタ、此ノ八紘一字ノ問題ノ今日マデノ經過ニ付キマシテ、此ノ質疑應答ハ殊ニ時局柄社會ニ影響スル所、甚大ナルモノガアルコトヲ想像致シマス、是ヨリ秘密會ト致スコトト致シマス
(午前十時八分秘密會ニ入ル)
(午前十一時十三分秘密會ヲ終ル)



橋田文部大臣ノ御意見ト、他ノ閣僚ノ御意見トハ、殊ニ思想體系統一ニ付テハ、過般文部大臣ニ御伺ヒモ致シマス...

リテアル、之ヲ誤ツテハナラヌト云フ御言葉デアリマス、今ノ内閣各方面ヲ思ヒマ...

御言ト仰セラレル此ノ國民ヲ物質化スルト云フヤウナ考ヘガアリマシタナラバ、ソレ...

フコトヲ御尋ネシタ所ガ、ソレ等ノ如キハ斷乎處分スキモノダト云フ御話ガアリマ...

トハ、私共文部大臣ヲ糾弾スルノデモ何デモアリマセズ、アナタハ、天皇輔弼ノ重責ニ...

スガ、日本ノ建國ノ根本ヲ傷ツケル如キ團體ノ存在ヲ許スコトハ絕對ニ出来マセズ、...

中々困難デアル、或ハ物品ヲ御購入ニ相成リマスル、或ハ物ノ受人ヲ御サシマスル、...

ヒマス ○閣府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテハ、全ク御説ノ通りデアリマシテ、...







イト思フノデアリマス、ソレデアリマスカ  
ラ、ドウカ國民ニ日本ノ國體ハドウナルカ、  
憲法ハドウナルカト云フヤウナ疑ヲ此ノ非  
常時局ニ餘リ與ヘヌヤウニシテ宜イト思  
フ、サウデナケレバ結局對立ガ起ル、即チ  
憲法ヲ擁護シ國體ヲ擁護スル者ヲ現狀維  
持派ト言ハレルヤウナ思ルベキ傾向ニナル  
ノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ覽費會  
コトハ申上ゲタカラズト云フコトヲ陸軍  
ハ軍人ハ入ルベカラズト云フコトヲ陸軍  
最高幹部タル陸軍大臣ハ仰セニナツタ  
アリマスガ、在郷軍人ハ入レト云フコト  
ナルト、國民ハドナラニ聽イテ宜シイカ、  
其ノ點私共ハ餘程憂慮スベキモノデハナイ  
カト考ヘルノデアリマス、又總理大臣モ昨  
ノ伊勢大神宮及ヒ桃山御陵ニ御參拜ノ時、  
色々御言明ニナツテ居リマシテ、覽費會ハ  
共產黨ニアラズト云フコトヲ御言明ニナツ  
テ居リマス、併シナガラサウ云フコトヲ總  
理大臣ガ御言明ニナラナケレバナラナイ  
云フコト、ソレ自體ガ國民ガ疑フ所ガアル  
カラト云フコトヲ腦裡ニ御考ヘニナツテ居  
ツタ結果デハアリマセヌカ、然モ覽費會  
中ニハ日本ノ建國ノ歴史ヲ否認シテ居ル、  
二千六百年ノ建國ノ歴史ヲ否認シテ居ル、  
ハ耶蘇紀元ヨリ後アルト云フコトヲ世界  
ニマデ發表シテ居ルヤウナ人ガ、サウシテ  
皇室ヲ蔑如シテ居ルヤウナ方ガ堂々ト覽費會  
ノ中堅幹部ニナツテ得意然トシテ居ル、又  
中ニハ共產黨事件デ刑ヲ受ケタヤウナ者ガ  
相當重要視サレテ居ルヤウニ私共ハ承リマ  
ス、而モ國家ノ非常ニ緊要ナル所ノ國體、  
其ノ國家ノ豫備費マデ取ツテ議會ノ協賛モ  
經ズシテ覽費會ニ御出シニナツタト云フコ  
トニ付テノ議論モ出テ、然ラバドウ云フ所

ニ其ノ金ガ要リマシタカト云フツテ、覽費會  
デオ使ヒニナツテ居ル所ノ人々ノ氏名ナリ、  
給料ナリノ精算書ヲ御出シ下サイト云フツ  
テ之ヲ要求スルコトハ是ハ決算委員會トシテ  
如何ナル點ニ於テモ出來ルノデアリマス、  
機密費ニアラザル以上ハ之ヲ出サナケレバ  
ナラス義務ガアル、然レモ今日ニ至ルマデ覽  
費會ニ關スル限りノ參考資料ハ未ダニ御出  
シニナツテ居リマセヌ、是デハ國民ハ疑フ  
デアリマス、私共ハ眞ノ國體ニ立脚シマ  
シタ所ノ本當ノ愛國ノ志士ノ集マリデア  
覽費會ノ純正ナル發達ヲ希フモノデアリマ  
ス、サウシテ吾々モ全力ヲ傾注シテ、所謂  
萬民一體、億兆心ヲ一ニシテ盛ニ經營ガ  
行ハレルヤウニシテ、明治大帝ノ大御心ヲ  
奉體シテ行キタイト思フノデアリマス、ソ  
レニハ幾ラ努力シヨウト思フツテモ現狀ガ  
ツテ、國民ノ疑ヲ受ケテハ相成リマセヌ、  
斯ウ云フコトニ對シマシテ私共ハ非常ニ憂  
慮シテ居ルノデアリマシテ、先程カラ文部  
大臣ニモ之ヲ他ノ同僚カラモ問ヒ、私モ問  
ヒ、又過般モ問ウツノデアリマシテ、ドウ  
モ此ノ思想形態ト云フモノガ今日日謂ハレ  
所ノ現狀維持派ハ國體ヲ擁護シ、憲法ヲ擁  
護スル者ヲ現狀維持派ト謂フツテ之ヲ重要視  
ル者ヲ所謂革新分子ト謂フツテ之ヲ重要視  
ルコトヲ云フコトヲ聞ユルノデアリマス、又ソ  
レガ事實ノ上ニ於テ相當ニ幅ヲ利カセテ居  
リマス、是デ我ガ日本ノ此ノ非常時局ガ乘  
切レルデゴザイマセウカ、君民一體ノ國民  
組織ハ毅然トシテ動カザルコト泰山ノ如キ  
モノガアリマス、此ノ以外ニマダ是不足  
ダト仰セニナルノデアリマセウカ、併セ  
テ佐藤大佐ノ御言葉ニ對スル明快ナル御答

ヘヲ得マスナラバ、幸ヒト存ズルノデア  
リマス  
○阿南政府委員 先ツ軍人ノ覽費會ニ入  
ル、入ラナイト云フコトニ付テ佐藤軍務課  
長ガドウ云フコトヲ言ヒマシタカト云フコ  
トハ、此處デ申述ヘル必要ハナイノデア  
リマス、今ノ御質問ノ要旨ヲ聽イテ居リマ  
ス、サウ云フ言葉ナラバ軍ハ誤リガナイ、  
即チ大臣ノ意思ト全ク一致シテ居ル、ソレ  
ハ斯ウ云フ意味デアリマス、在郷軍人ハ個  
人トシテ覽費會ニ入ツテ之ニ協力スルト  
云フコトハ何モ差支ヘノナイコトデアリ  
マスガ、大臣ハ在郷軍人會トシテ之ニ入ツ  
ハナラヌ、又左様ナ作用ヲシテハナラナイ、  
斯ウハウキリ言ハレマシタ、又大臣ガ申シ  
マシタノハ、現役軍人ハ之ニ入ルコトヲ許  
サス、現役軍人ノ中デハ、大臣ノ政治關係  
ヲ許サレテ居ルバカリデアリマシテ、其ノ  
他ノ者ハ許サレテ居ナイ、斯ウハウキリ示  
サレテ居リマス、ソコデ若シ佐藤軍務課長  
ガ在郷軍人ノ個人トシテ之ヲ協力主トシテ  
言ツタモノデアリマスナラバ、是ハ大臣ノ  
意圖ト少シモ背馳シテ居ラナイモノデア  
リ、在郷軍人會ト云フ大キキ組織シタ所ノ  
力ト、ソレカラ其ノ會員ト云フモノトハ全  
ク別個ニ、在郷軍人ト云フモノトハ全  
別ニ取扱ハレテ居ルト云フコトヲ御考ヘ  
ナリマス、今ノ佐藤大佐ガ假ニサウ云フ  
コトヲ申シタモノトシテモ、是ハ大臣ト  
間ニ何等主義ニ於テモ、表現法ニ於テモ  
誤リハナイ、一致シテ居ルト思フノデア  
リマス  
第二ノ現狀維持ト云フコトニ付テハ、是  
ハ私全ク初メテ伺ツタノデ、サウ云フ風ニ

現狀維持ト云フコトニ色々定義付ケテ居  
トハ考ヘマセヌ、尙モ國體ヲ擁護シ、國家  
ヲ保護スルノハ我ガ日本國ノ忠良ナル臣民  
一人トシテ然ラザル者ハナイ、斯ウ吾々ハ  
信ジタイノデアリマス、吾々ハ假ニ國民ノ  
中ニ若シ變テ思想ヲ持ツテ居ル者ガアル  
シテモ、之ヲ 陛下ノ赤子デアルト云フコト  
ニ思ヒ及ンダ時ハ、決シテ之ヲ敵視スル  
云フヤウナ觀念ヲ持ツテハナラナイ、是ハ  
個人的ニナルカモ知レマセヌガ、私ハ殊  
外同胞愛ト云フモノヲ非常ニ高唱シテ居  
一人デアアル、即チ同胞ノ中ニ國體若シクハ  
國家ノ、我ガ建國ノ思想ト反スル者ガアル  
ナラバ、是ハ憎ミ、敵視シテハナラナイ、  
之ヲ憐レマナケレバナラナイ、憐レノミ指  
導シテ行クノガ吾々同胞ノ正義デアアル、斯  
ウ云フ觀念デ軍部モ進ミツツマス、私トシ  
テモ指導シテ行キタイト思ヒマス  
○福田(關)委員 只今御答ノ在郷軍人デア  
ルカラ入ルコトハ差支ナイ、個人トシテ入  
ルノハ是ハ然ルベキガ、ソレ陸軍大臣ノ  
言明ト相違スル所ハナイト云フコトデア  
リマス、然ラバ此ノ在郷軍人ノ中ニハ後備、  
豫備ト稱セラレル者ガ多イノデアリマス、  
然レモ今同ノ兵役法ノ改正ニ依リマシテ、  
後備、豫備ノ差別ヲ御撤廢ニ相成リマシタ  
ニ於テ、ヤハリ在郷軍人ト云フコトニハ今  
マデ通りトシテ少シモ差支ナイノデアリ  
スカドウカ、ソレカラ現役軍人デアル者ハ  
覽費會ニ參畫シ、又之ニ干與スルコトハ  
カスト云フコトヲ陸軍大臣ノ御言葉ガト云  
フコトデアリマスガ、サウシマシテ現在ノ  
司令官ト云フモノハ私ハ現役ノ方ダラウト  
思ヒマス、其ノ方ノ力ヲ以テ在郷軍人ノ者  
ニ入レト云フコトヲ御盡力ニナルト云フコ

トハ、是ハ大臣ノ御言葉トハ相違シナイノ  
デゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ  
○阿南政府委員 只今ノ豫備ノ區別撤廢  
ト在郷軍人ノ定義ト云フコトニ付テハ、  
撤廢ヲシマシテモ、在郷軍人ノ範圍、定義  
ニ付テハ從來ト變リハアリマセヌ、聯隊區  
司令官ガ在郷軍人トシテ覽費會ニコトニ協  
力サセルコトヲドウ云フ風ニ指導スルカ、  
此ノ指導スルコト其ノモノガ覽費會ノ事  
業ニ現役軍人ガ干與シテ居ルノデハナイカ、  
斯ウ云フ風ニ言ハレマスガ、ソレハ違フ  
デアツテ、全ク陸軍大臣ノ政治的ノ希望ヲ  
聯隊區司令官ニ若シ述ベルナラバ、是ハ何  
モ聯隊區司令官ノ行動方所謂陸軍大臣ノ覽  
費會ニ參畫シテハナラズト云フ言葉ニ背  
反シテ居ルモノデハナイ、現役軍人デア  
リマスガ、職務上在郷軍人ト云フモノヲ監督  
指導シテ居ルト云フ立場カラ、在郷軍人ノ  
行動ニ若干ノ準據ヲ與ヘテ行クト云フコト  
ハ何等覽費會ニ直接干與シテ居ルモノトハ  
認メラレナイ、斯ウ云フノデアリマス  
○福田(關)委員 次官ノ總括的ノ御答ハハ  
諒トスル所モゴザイマスガ、併シ司令官ハ  
其ノ管轄内ニ於キマスル軍務上ノ全體ニ關  
スルコトヲ御干與ニナルノデアリマス、而  
モ現役ノ方デゴザイマス、其ノ方ガ積極  
ニ、此ノ間ノ佐藤大佐ノ御要求カラ申シマ  
ス、優秀ナル在郷軍人ヲ入レルコトハ一  
ツ配慮シテ實ヒタイ、斯ウ云フコトハ大臣  
ノ意思ヲ御述ベニナツタト云フコトヨリ、大  
體積極的ニ入ルヤウニ轉旋ヲシロ、活動シ  
ト云フ一ツ、軍本部カラデアリマスカラ  
一種ノ命令ノヤウナ風ニモ取レルノデハナ  
イカ、斯ウ思フノデアリマス、斯ウ云フ點  
ヲモウ少シハウキリ致シテ置キタイト思ヒ

マス、ドウ考ヘマシテモ現役ノ者ニ向ツテ  
覽費會ニ入ルヤウニ盡力セヨト云フ一ツノ  
命令デアリマス、現役ノ方モ覽費會ニ  
關聯シテ御働キニナルト云フコトニナリマ  
スカラ、大臣ノ御言葉トハドウシテモ矛盾  
スルコトニナルノデアリマスカラ、此ノ點  
ヲモウ少シハウキリ御伺ヒシタイノデア  
リマス  
○阿南政府委員 今ノコトハ別ト致シマシ  
テモ、佐藤軍務課長ノ言ヒマシタ中ニドウ  
云フ風ニ言ツタカ存ジマセヌガ、聯隊區司  
令官ガ覽費會ニ直接御掛ケルト云フコトヲ  
懸念シテハ居ラナイ、在郷軍人ノ中デ覽費  
會ニ入ル者ガアルナラバ、其ノ人間ハ十分  
優秀ナル者ヲ入レナイトイケナイ、即チ此  
ノ大切ナル、吾々陸軍トシテハ健全ナル發  
達ヲ冀ツテ居ル所ノ覽費會ニ、諸君ナリ在  
郷軍人ヲ入レテ、サウシテ、變テ指導ヲシ  
テ貰ツテハ困ルノデアアルカラ、優秀ナル者  
ヲ入レル、斯ウ云フヤウナコトヲ要求スル  
トハ何等誤リハナイノデアリマシテ、又主  
義方針ト少シモ背馳シテ居ラナイ、サウ云  
フ意味ニ於テ佐藤軍務課長ハ言ツテ居ル、  
佐藤軍務課長ガドウ云フコトヲ言ツタカ  
云フ内容ハ此處ニ申上ゲタカナイノデア  
リマスガ、假ニ今申シマシタ如ク申シマシ  
ナラバ、是ハ何等差支ヘナイ、斯ウ云フ風  
ニ御諒承願ヒマス  
○福田(關)委員 大體了承致シマスガ、ド  
ウモマダ附ニ落チナイノデス、本部ノ要求  
デ入ルヤウニ力ヲ盡セト云フコトヲ仰セ  
ナツタノハ、積極的ニ御働キニナツテモ差  
支ナイト云フコトニナルノデアリマス、又  
セナケレバ軍本部ノ御意思ニ副フコトガ出  
來スト云フコトニナルノデアリマスカラ、

サウスルト結局現役軍人ノ方ガサウ云フ者  
ヲ入レルヤウニ御盡力ニナルト云フコトニ  
取ルヨリ外ニハ、斯ウシテ與レト云フコト  
ヲ仰シヤウタノデアリマスカラ、入レルコ  
トニセヨト云フコトヲ御命令ダト思フノ  
デアリマスガ、其ノ點ガドウモマダ國民モ  
吾々モハウキリ致シナイノデアリマス、ソ  
レハ唯サウ云フヤウナモノニ入ルナラバ優  
ナル者ガ入ルヤウニシタイモノダナト云  
フ一ツノ御參考ニ仰セニナツタノデアリ  
マス、カ、入ルヤウニ盡力セヨト云フ御命  
令ノコトト二ツニ依ツテ、司令官ノ唯意思  
ニ依ルノデアリマスカラ、御命令ダト入  
ルヤウニ積極的ニシナケレバナラヌ、ケレド  
モマア同ジ入ルナラバ優秀ナル者ヲ入レ  
トデアリマセウカ、其ノ邊ニ依ツテ今次官  
ノ御答ヘニ合致スルノトセザルノト二ツ  
分レルト思フノデアリマスカラ、洵ニ諄イ  
ヤウデアリマスカモウ一度其ノ邊ヲ御答  
願ヒマス  
○阿南政府委員 只今ノコトハ、私ノ言葉  
ノ表現法ガ下手デアリマスカラ、サウ云フ  
風ニ御聽取リニナツタカモ知レマセヌガ、  
佐藤軍務課長ガドウ云フ風ニ言ツタカ分  
マセヌガ、吾々ノ信ズルヤウニ宜イコトハ、  
在郷軍人ガ入ルナラバ其ノ入ル人ハ十分ニ  
銜衡シテ優秀ナル者ヲ入レル、參考デア  
リマセヌ、入レルヤウニ盡力スル、入レル  
ハ澤山入レル意味デハナイ、入ル人ハ優秀  
ニシテ社會カモ信用ノアルヤウナ人、斯  
ウ云フ人ヲ入レルヤウニシタイ、斯ウ云フ  
意味デアリマス、是ナラバ誤リハナク御心  
配モナイト思ヒマス  
○福田(關)委員 私ハ是レ以上申上ゲマセ

スガ、唯ドウカ現役軍人ノコトニ付キマシ  
テ國民ノ疑惑ガアリマセズシテ、陸軍大臣  
ノ御聲明ノ意味ガヤハリ一貫致シマスル  
ウニ、其ノ一貫ニ對スル疑惑ヲ生ズルト云  
フコトヲ私共ハ憂ヘルノデアリマシテ、他  
ニ何等ノ意味ハナイノデアリマス、此ノ點  
ヲドウカ機會アル毎ニモウ少シ明瞭ニセ  
レンコトヲ希望致シマシテ、陸軍次官ニ對  
スル質疑ハ一應終リマス  
○高橋(義)委員 一寸關聯シテ簡單ニ一點  
ダケ伺ツテ置キタイノデアリマスガ、今福田  
委員ガ御述ベニナラレ、又陸軍次官ノ仰セ  
ニナラレタ所謂佐藤大佐ノ要求カ要望カ御  
意見カ存ジマセヌガ表現セラレタ事柄ハ、  
是ハ軍務ノ範圍内ニ屬シテ居ルモノト御考  
ヘニナツテ居リマスカドウカ、此ノ點ヲ伺  
ツテ置キマス  
○阿南政府委員 軍務ノ範圍内デアリマス  
者トシマシテハ、在郷軍人ノ行動ヲ律スル  
コトハ、一ツノ軍ノ仕事デアリマス、ソコ  
デ覽費會ニ入ラウトモ、或ハ何處ヘ入ラウ  
トモ、其ノ人選ニ誤リナク在郷軍人トシテ  
優秀ナル人ヲ入レテ行クコトハ、何等差支  
ハナイモノデアツテ、軍ノ一ツノ立派ナ仕  
事デアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス  
○高橋(義)委員 只今次官ノ御答辯ニナラ



レタ其ノ範圍ト其ノ經過ニ照シテノ結論ハ、私認スベキモノト考ヘマス、唯是ガ軍務ニ屬スルカラ、街クモ軍部ノ何人デモ、左様ナ言動ヲ御執リニナルコトハ、差支ヘガナイト云フコトニ付テハ、先程福田委員カラ御述ベニナラレタ、國民ガ兎角軍務ト政治干渉トヲ明確ニ分岐スベキモノヲ、動モスレバ紛糾スルト云フヤウニ少クトモ考ヘラレバヤウナコトガアルコトハ、軍官民一致協力スベキ觀點カラ私共ガ見ル時ニ、自ラソコニ職分ノ格別ト云フモノヲ明確ニスルコトヲ前提トシナケレバナラス、軍部ハ軍部、官ハ官、民ハ民ト云フヤウニ、本當ニ眞劍ニ愛國ノ熱情ニ依ツテソコニ格別ノ基點ヲ置イテコソ、初メテ眞ニ軍官民ノ協力ガ出來得ルト云フ觀點カラ之ヲ見ル時ニ、私ハ時間ヲ取ルコトヲ止シマシテ直言致シマスナラバ、此ノ言動ハ陸軍大臣自身ガオヤリニナルナラバ、是ハ私ハ差支ヘガナイト思フ、唯陸軍大臣ノ抱懷シテ居ル其ノ方針ト矛盾シナイノダト云フコトニ依ツテ軍務課長ガ御述ベニナルト云フコトニ付テハ、自ラソコニ軍務ニ専念スベキ國務大臣ヲザル地位ニアラレル方ガ左様ナ言動ヲナサルト云フコトハ、何トシテモ甚ハ議論ノ餘地ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘサセラレマス、而モ次官ノ御言葉ヲ私ハ反擊致ス意思ハアリマセケレドモ、此ノ行爲ハ果シテ軍務ノ範圍ナリヤ否ヤト云フコトニ付テハ、私ハ多少解釋上再檢討ノ要ガアルノデハナイカト左様ニ考ヘラレマス、私ハ此ノ機會ニ軍部ニ對シテドウスウト云フヤウナ考ヘ方ハアリマセヌ、今ハ眞劍ニ軍官民一致協力シテ國防國家ノ鞏固ヲ建設ヲシナケレバナラス秋デアル、其ノ爲ニハ

各、其ノ職域ヲ本當ニ恪守スルコトニ依ツテノミ、初メテ之ヲ實現スルコトガ出來ルト云フ信念カラ申上ゲテ、デアリマスカラ、是以上私ハ發言致シマスガ、若シ此ノ點ニ對シテ次官ノ御意見ガアルナラバ承リマスシ、ナケレバ此ノ程度デ打切ツテ結構デアリマス

○阿南政府委員 御話ハ能ク分リマシタ、別ニ軍部ハ政治干渉ノ如キコトヲヤラウト思ツテ居リマセヌ、今ハ軍部ハ事變處理ニノミ邁進ヲシテ居ル、之ニ關聯スル事項ニ付テハ相當ノ發言ヲシテ居リマスガ、ソレヲ主體トシテ居リマス、而モ只今言ハレマシタ軍官民各、其ノ職域ヲ尊重シ、サウシテ互ヒニ精神ノ協力ヲシテ非常時局ヲ突破セント云フコトニ、専念努力シテ居リマス、其ノ點十分御諒承ヲ願ヒマス、又今ノ御話ハ私能クハッキリト了解致シマシタ

○西村委員 此ノ際皆皆御話ヲ致シマス、委員外デアル小谷君ノ發言ヲ許シニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○西村委員 ソレデハ小谷君ノ發言ヲ許スコトニ致シマス

○小谷節夫君 私人質問ハ今問題ニナツテ居リマス佐藤課長ノ話ニ關シテデアリマスガ、佐藤課長ハ曾テ議會デ默レト云フコトヲ言ハレタ惡イ印象ガ議會人ニハ非常ニ深イ、其ノ佐藤大佐ノ發言トシテ、現狀維持ヲ克服ト云フヤウナ新聞記事ガ出マスト、ドウシテモ議會人ノ頭ヲ刺戟スルノデアリマス、是ガ普段ノ場合ナラドナ國內相剋擦ガ起ツテモ構ヒマセヌガ、此ノ非常時ニ於テハ出來ルルケ國內ノ相剋擦ヲ戒メテ、議會デモ下ラヌ質問ハ止サウト云

フコトニナツテ居ル場合デアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ軍部デモ能ク御注意願ヒマシテ、徒ラ國內ニ刺戟摩擦ヲ起スヤウナコトハ氣ヲ付ケテ戴イタ方宜クハナイカト私ハ思フデアリマス

ソレカラモウ一ツ承リタイノハ、是ハ私自身ガ調ベレバ分ルノデアリマスガ、直接承ハツタ方ガ能ク分ルト思ツテ承ハルノデアリマス、新聞記事ハ出テ居リマスガ、佐藤大佐御自身ハ陸軍大臣ニ附イテ御旅行ナサツテ居ツテ、是ハ御自身ノ發言デアリト云フヤウナコトヲ一寸聽イタノデアリマスガ、サウ云フ事實ガアリマスカドウカ、其ノ二ツダケヲ承ハツテ置キマス

○阿南政府委員 今ノヤウナ國民ニ惡イ印象ヲ與ヘル言動ヲ出シタカ出サナイカ、是モ私ハ知ラナイノデアリマス、唯新聞ニサウ云フコトガアルト云フデケデゴザイマスガ、假ニサウ云フコトガアルトシマスナラバ、決シテサウ云フコトヲナイヤウニ言ハルトシテハ實行ハ十分ニ慎シムベキモノデアルト云フコトヲ御答ヘシテ置キマス、佐藤軍務課長ガ自分デサウ云フコトヲ話シタカ話サナイカト云フコトモ私ハ實ハ確メテハ居ラナイノデアリマス、ソコデハッキリト御答ヘスル譯ニハ行キマセヌ、今ノ御質問ハ自分ハ言ツタノデアリト云フ風ニ仰セラレタノデスカ

○小谷節夫君 御旅行中ダト承ツタノデスカ

○阿南政府委員 今ハ旅行中デゴザイマスガ、果シテドウデアツタカ、ソコノ所ハ私其ノ場ニ居リマセヌカラハッキリ承知致シテ居リマセヌ

○西村委員 午前ハ是ニテ休憩致シマス、午後一時半ニ開會致シマス

午後零時二十一分休憩

午後一時四十分開會

○西村委員 是ヨリ開會致シマス、逕信當局ガ見エマシタカラ鹽川君ニ發言ヲ許シマス

○鹽川委員 逕信所管ニ付キマシテ御伺ヒテ致シマスガ、丁度今逕信次官ハ會議中デアルト云フ御話ノ所ヲ無理ニオイデラ頼ツタノデアリマスカラ、極ク簡單ニ、二ノコトヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ昭和十四年度ノ會計檢査院ノ檢査報告ヲ見マシテモ、郵便局ノ官吏ノ犯罪ト云フモノガ相當數ニ上ツテ居リマス、結局斯ウ云フ風ニ官吏ノ犯罪ヲ郵便局ニ於テ出シマシテ、ソレニ依ツテ國庫ニ對シテ損害ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ事柄ガ年々歳々絶ヘナイト云フコトハ、洵ニ是ハ遺憾ナコトト思フノデアリマス、歸スル所ハ官吏ヲ統轄スル任ニ在ル所ノ上官ノ人ノ責任デアルト思フノデアリマス、隨テ郵便局ニ於テ局長ヲ選任スルト云フ場合ニ於テハ、餘程其ノ人選ニ對シテ注意ヲ拂ハナケレバナラス、殊ニ逕信ニ於テハ前ノ三等郵便局ト申シマスカ、今ノ特定局、是ガ全國ノ實際ノ郵便事務ヲ取扱ツテ居ルモノデアリマス、隨ヒマシテ斯ウ云フ特定局ノ局長ヲ選任スルト云フヤウナ場合ニハ特ニ慎重ニスベキデアルト考ヘルノデアリマス、今日逕信省ニ於テハ此ノ三等局長、只今ノ特定局長ヲ選任致シマスニ付テ、ドウ云フ風ノ標準ヲ御採用ニナリマスカ、御銜衛ニナリマスカ、先ヅ其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○山田(龍)政府委員 鹽川サンノ御質問ニ

對シテ御答ヘ致シマス、先ヅ御述ベニナリマシタ毎年郵便關係ニ於テ犯罪ガ絶エナイト申シマスコトハ當局ト致シマシテ全ク相濟マナイ遺憾ナコトデアルト存ジマシテ、此ノ點ハ此ノ機會ニ於キマシテモ皆樣ヲ通ジテ當局トシテ國民ニ對シテ御詫ヲ申上ゲナケレバラナイト思フノデアリマス、從來ノ三等局即チ特定局ニ於テ犯罪ガ多イ、就テハ特定郵便局長ノ選任ヲ重視シナケレバナラナイト云フ御説御尤モデアリマス、其ノ標準ハドウシテ居ルカト云フコトデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ相當ノ年齢、即チ法規的ニ申シマスレバ滿二十歳以上デナケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマス、尙ホ年齢ガ滿二十歳以上デアリマシテモ相當ノ學歷ヲ持チ、信用ヲ持チ、經歷ヲ持チ、又前歴カラ申シマシテ不適當ノコトガナイ、相當ノ信用ト人格ヲ持ツテ居ルモノト認メラレ、ソレカラ又昔カラ申シマスヤウニ恆産アル者ハ恆心アリト云フヤウナ點カラ申シマシテ資産的ニモ相當信用ノアル者ト云フヤウナコトカラ、諸般ノ事情ヲ考慮シマシテ選定スルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ地方ノ選信局ニ於キマシテ各般ノ實情ヲ調査シテ、實ハ斯ウ云フ問題ハ選信局長ニ其ノ選任ヲ任セタ方ガ或ハ行政ノ運用上圓滑カトモ存ジマスガ、只今鹽川サンノ御質問ノヤウニ非常ニ重要ナコトト考ヘマシテ、只今デハ本省ニ選信局長カラ内申サセテ、サウシテ本省デ又各般ノ配合ハセカテ調査ヲ致シマシテ決定致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、モウ一ツ申シテ置カナケレバナリマセヌハ、年齢ナリ或ハ資産的ノ信用ナリ或ハ經歷、學歷其ノ他ノ方面カラ見マシテ落度ハナイト云フ

者デアリマシテモ、實際當時其ノ局ニ於テ從事員ヲ監督シ、之ヲ率イテ仕事ヲ圓滑ニ進メテ行ク、又外部トノ連絡信用ヲ保持シテ行ク、サウ云フ能力ヲ持ツテ居ル人デナケレバナラナイト云フ考ヘカラ、其ノ銜衛ニモ注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマセヌ

○鹽川委員 只今選信次官ノ御答辯ニ依リマシテ、局長ノ人選ニ付テハ非常ニ慎重ニ考慮ガ拂ハレテ居ルト云フヤウナ御話デアリマシテ、其ノ點ニ付テハ洵ニ御苦心ヲ多トスル者デアリマス、今ノ御話ノ通り三等局長ハ從來ハ選信局長ニ於テ銜衛ヲセラレタノデアリマスガ、大分前ニ、多分安達選信大臣ノ時ト思ヒマスガ、其ノ時ニ選信省ノ大臣ノ決裁ヲ要スルト云フヤウナ事項ニナツタト思ヒマス、即チソレハ只今次官ノ申サレタヤウニ慎重ヲ期スルト云フ點ニ於テナサレタト思フノデアリマス、只今ノ御話ニ依ツテ、或ル一定ノ年限ハ勿論デアリマス、尙又一一定ノ資産ト云フモノモ必要デアルト云フヤウナ御話デ、是亦諒トスルノデアリマス、併シナガラ更ニ又私ハ考ヘテ見マスルノニ、例ハ他ノ官職ニ從事シテ居ル者、或ハ教職ニアル者ト云フヤウナモノヲ局長ニ任用スルト云フヤウナ、斯ウ云フ銜衛ヲ致シマシタ場合ニ、勿論教職ニアル人、或ハ官吏等ハ其ノ人物ニ於テ、或ハ其ノ資格ニ於テハ、缺タル所ナイト云フコトハ當然デアリマスガ、一面ニ於テハ現在ノ使ツテ居ル官公署ニ於テ、其ノ人ヲ取ラレテハ非常ニ不便ダ、斯ウ云フヤウナ選信當局トシテハ都合宜シイガ、其ノ他ノ官署トシテハ差支ガ生ズルト云フヤウナ場合モ往々ニシテアルト思フノデアリマス、一例ヲ舉

ゲテ見マスレバ、小學校ノ教員ヲシテ居ル人ガ、少壯有爲ノ人デアラガ、ソレガ局長ニハ適任デアラ、然ルニ今日小學校教員ト云フモノハ全國的ニ不足ヲシテ居ル、一人デモ小學校ノ先生ハ種々ト云フコトヲ皆希望スルノニ拘ラズ、却テ是ガ局長ニナルト云フヤウナ場合ニハ、選信省ノ方トシテハ都合ノ好イコトデアリマスケレドモ、文部省トシテハサウ云フモノヲ引拔カレテハ迷惑ヲスル、斯ウ云フヤウナ實例ガ往々ニシテ起ルト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニハ、選信省トシテハ何モ優良教員ヲ、文部省ガ惜シンデ居ルノニ拘ラズ、ソレヲ無理ニ引拔クト云フヤウナ必要モアルマイト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於テ、選信省ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスルカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○山田(龍)政府委員 只今ノ御質問デアリマスルガ、御説ノ通り現下ノ情勢カラ申シマシテ、物資動員計畫ト申シマスカ、物ノ方ノ適切ナル活用ト云フコトヲ考ヘルノハ勿論デアリマスガ、根本ハヤハリ人ノ問題デアリマス、人的資源ノ活用ト云フコトニ於テ、十分注意シナケレバナラナイト云フコトハ、私ハ同感デアリマス、デアリマスカラ、嘗ニ特定郵便局長ノ銜衛ダケデナクシテ、選信省ノ各般ノ人的動員ト申シマスカ、活用スル場合ニ於キマシテモ、各般ノ情勢、唯選信省ノみに立場デ以テ考ヘルモノデアリマセヌデ、現在ノ國政、行政總テノ方面カラ考ヘマシテ適當ナ銜衛ヲスル、活用ノ途ヲ執ルト云フコトニ注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、唯具體的ノ場合、或ル特定郵便局長ノ銜衛ニ付キマシテ、其ノ場合ニ應ジテ、只今申シマスヤウナ根本ノ考ヘ

カラ、遺憾ノナイヤウニ期シタイト考ヘテ居リマス

○鹽川委員 只今選信次官ノ御意見通り、私共全然同感デアリマス、ドウカ國務全般ノ上カラ考ヘマシテ、獨リ選信省ノ便宜ト云フ立場デナクシテ、行政萬般ノ上カラ考ヘマシテ、十分ニ御考慮下サイマシテ、優良ナル人ヲ御銜衛ニナルヤウニ希望致シマセヌデアリマス

ソレカラモウ一ツ御伺ヒマスガ、最近新聞ニ依リマス、四月一日カラ選信省ニ於テ郵便電信ノ取扱方法ヲ變更致シマシタ、從來電報電報ト云フノガアリマシタノヲ、ソレヲ當分中止スル、斯様ナコトガ出テ居リマスガ、尙ホ其ノ他ニ三、四箇所取扱方法變リヤウニ出テ居リマスガ、是ハ事實デアリマスカドウカ、御伺ヒシタイト思ヒマセヌ

○山田(龍)政府委員 事實デゴザイマス

○鹽川委員 略號ニ依ル電報電報、斯ウ云フヤウナ取扱方法ト云フモノハ、私ハ選信省ガ餘程御考ヘニナリマシテ、御苦心ノ結果斯ウ云フヤウナ方法ガ案出セラレタト思フノデアリマス、從來長キ電文ヲ使ツテ居ツタノガ、ソレガ略號ノ一トカ二トカ云フヤウナコトダケ使ヘバ、ソレデ受信局ニ於テハ電文ヲ通ズル、是ハ洵ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマスガ、之ヲ廢止ニナリマスノハドウ云フ譯デアリマスカ

○山田政府委員 慶弔電報ヲ廢止ト申シマスカ、此ノ現下ノヤウナ情勢、即チ物資、人的資源ナドノ窮乏ナ此ノ事變下ト申シマスカ、サウ云フ間ニ其ノ取扱ヲ中止スルト云フコトニスルト云フノハ、ソレハ御質問ノ通り事實デアリマス、其ノ理由トスル所



ハ、慶弔電報ト云フモノハ、簡便ノヤウデアリマスガ、之ヲ取扱フ側カラ申シマス...

コトニナリマスガ、實情ヲ申シマス、從來ハ慶弔電報ニハ赤イ棒ヲ付ケ、弔ヒノ電報ニハ黒イ棒ヲ付ケ...

地方ニ於キマシテハ戰死者ノアツタ場合ニ電報ヲ買フト云フコトヲ非常ニ感謝致シテ...

ナルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデハアリマセヌ、殊ニ只今例ニ御學ガニナリマ...

○鹽川委員 是ハ資源愛護ノ上カラ致シマシテモソレダケ節約ニナルコト思ヒマス...

○鹽川委員 是ハ資源愛護ノ上カラ致シマシテモソレダケ節約ニナルコト思ヒマス...

○山田(鶴)政府委員 只今、御希望の御質問デアリマスガ、私モ勿論慶弔電報ノ取...

○西村委員長 大藏當局方見エマシタカラ福田サンニ發言ヲ許シマス...

ノ徴收ニ對シマシテハ徴收不足又ハ徴收過ニ屬スルモノ、或ハ稅ノ徴收ニ付テ不當ナ...

其ノ莫大ナル補助金ヲ取リ、其ノ補助金ハ事實ニ於テ補助セントスル所ノ難民ノ爲ニ...

トナリ驚クベキ世界の經濟變革、變動ニ抗スルコト能ハナカッタノデアル、併シ當時ハ...

以テ財政方面ニ御向ヒニナラント致シマスル次官ヨリ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ...

ハ多ク迷リマスルシ、又元ノ第一歩カラ申上ゲナケレバナラヌト云フコトハ吾々ノ洵...

其ノ莫大ナル補助金ヲ取リ、其ノ補助金ハ事實ニ於テ補助セントスル所ノ難民ノ爲ニ...

トナリ驚クベキ世界の經濟變革、變動ニ抗スルコト能ハナカッタノデアル、併シ當時ハ...

以テ財政方面ニ御向ヒニナラント致シマスル次官ヨリ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ...

ニ氣苦シイ所デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ庶政一新、官廳ノ新體制ト云フコトヲ...

其ノ莫大ナル補助金ヲ取リ、其ノ補助金ハ事實ニ於テ補助セントスル所ノ難民ノ爲ニ...

トナリ驚クベキ世界の經濟變革、變動ニ抗スルコト能ハナカッタノデアル、併シ當時ハ...

以テ財政方面ニ御向ヒニナラント致シマスル次官ヨリ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ...

カ、大藏大臣ノ御趣意ハ百二十八億ノ豫算ヲ通過シタ以上ハ、一厘一毛ト雖モ之ヲ荷...

其ノ莫大ナル補助金ヲ取リ、其ノ補助金ハ事實ニ於テ補助セントスル所ノ難民ノ爲ニ...

トナリ驚クベキ世界の經濟變革、變動ニ抗スルコト能ハナカッタノデアル、併シ當時ハ...

以テ財政方面ニ御向ヒニナラント致シマスル次官ヨリ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ...

シマスルノニ、ヤハリ是亦當局ヲ誑カツテ...

其ノ莫大ナル補助金ヲ取リ、其ノ補助金ハ事實ニ於テ補助セントスル所ノ難民ノ爲ニ...

トナリ驚クベキ世界の經濟變革、變動ニ抗スルコト能ハナカッタノデアル、併シ當時ハ...

以テ財政方面ニ御向ヒニナラント致シマスル次官ヨリ御所見ヲ伺ツテ置キタイと思ヒ...



方面より長期間ニ互リ養成ヲ致スコトニシ  
 タイト思ヒマシテ、既ニ之ニ關スル豫算ノ御  
 協賛ヲ經テ居ル譯デアリマス、將來ニ於キマ  
 シテハ此ノ施設ヲ十分活用致シマシテ、今  
 後斯カル遺憾ナ事能ガ生ジナイヤウニ十分  
 努力シテ参リタイト云フ考ヘデアリマス

次ニ歳出方面ニ付キマシテ、是レ亦各省  
 ニ互ル批難事項ヲ生ジテ居リマスコトハ、  
 國稅徵收ノ問題ト同様ニ遺憾ニ存ジ、且ツ  
 恐縮ニ存ジテ居ル次第デアリマス、此ノ歳  
 出ニ關スル批難事項ノ起ラナイコトノ對策  
 ニ付キマシテハ、豫テヨリ財務當局ト致シ  
 マシテハ苦心ヲ致シテ居ル所デアリマシテ、  
 現在ニ於キマシテモ會計法上契約ノ締結  
 アリマス、或ハ經費ヲ支出スル際、或  
 ハ豫算ヲ流用致シマス際、又給與ヲ支給  
 ス際等ニ於キマシテモ、豫メ財務當局ト協  
 議ヲ致セル方法ヲ講ジテ居ル所デアリマ  
 ス、尙又別途ニ會計事務協議會ト云フモノ  
 ヲ大藏省ニ置キマシテ、各省ノ會計當局ニ御  
 集マリテ顧問ヒマシテ、常ニ連絡ヲ保チ協議  
 途テ居ル譯デアリマス、併シナガラ歳出方  
 面ニ於キマシテモ亦御存ジノヤウニ最近  
 於テハ豫算ノ急激ナル膨脹ニ依リマシテ、取  
 扱件數ガ非常ニ多クデアリマス、サウ云ツ  
 タヤウナ關係カラ致シマシテ、其ノ間遺憾  
 ナ事能ガ生ジマスコトハ洵ニ吾々ト致シテ  
 モ恐縮ニ存ジテ居ル所デアリマス、今日ノ所  
 在ノ制度其ノモノニ於テ缺陷ト申スベキ  
 モノハナイノデハナイカト云フ風ニ考ヘル  
 ノデアリマス、要ハ此ノ制度ヲ十分ニ遺憾  
 ナク運用致シテ行クコトガ最モ大切ナコト  
 アラウト考ヘテ居ル所デアリマス、尙又我  
 國ノ會計制度ハ、英國ノ如ク大藏省カラ

各省ニ對シテ歳出ノ事前ニ於テ検査官ヲ派  
 遣シテ、之ヲ検査スルト云ツタヤウナ意味  
 合ノモノハゴザイマセス、併シナガラ會計  
 検査ハ會計検査院ニ於テ事後ノ検査ヲ致シ  
 テ居ル所デアリマスガ、此ノ會計検査院ノ  
 人員ニ付キマシテハ、歳出ノ膨脹ニ伴ヒマ  
 シテソレムニ必要ノ方面ニ増員ヲ致シ、會  
 計検査ニ於テ遺憾ナキヲ期シテ居ル次第  
 デアリマス、此ノ會計検査ノアルコトニ依  
 リマシテ、政府ノ歳出ノ進行ニ於キマシテモ、  
 相當各省ノ支出官ヲシテ自肅セシムルト云  
 フ效果ハ十分發揮シ得ラレルモノト考ヘテ  
 居ル次第デアリマス

尙ホ最後ニ我が國ノ最近ニ於ケル財政狀  
 態ニ關聯致シマシテ、今後ニ於ケル財政ノ  
 運用ニ對スル考ヘヲ御尋ネデアツタノデア  
 リマス、只今福田委員ノ仰セニ依リマス、  
 國內ノ資源モ段々枯竭シテ來タデハナイ  
 カ、而シテ一方ニ於テハ國債ノ増發ガアリ、  
 國民ノ負擔ガ大ニ増加シツツアル、此ノ  
 儘テ行ツタナラバ將來憂慮スベキ事態デア  
 ルト云フコトデアリマス、併シナガラ他ノ  
 機會ニ於キマシテモ常院ニ於テ私ノ考ヘヲ  
 述べタコトモアルノデアリマスガ、今回ノ  
 支那事變就ニ滿洲事變ハ、一而ニ於テハ戰  
 争行為ヲ行ヒ、消耗戰ヲ行ツテ居ルノデア  
 リマスガ、ソレト同時ニ我が國ハ廣ク國外  
 ニ資源ノ開發ヲナサントスル目的ヲ以テ行  
 ハレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ事變  
 ノ進行ニ依リマシテ我が國ノ確保シ得ル所  
 ノ資源ハ今後益々増大スルコトヲ考ヘテ持  
 テ居ル次第デアリマス、第一次ノ歐洲戰  
 争當時ノ如ク、單ニ正貨ヲ得ルト云フコ  
 トハ今回ノ事變ニ於テハ期シ難イカモ知レ  
 マセヌ、併シナガラ事變後ニ於テハ我が國

確保シ得ル資源ト云フモノガ相當増大ス  
 ルモノト考ヘラレルノデアリマス、又軍需  
 ノ爲ニ今日擴張サレテ居リマスル設備其ノ  
 他軍需行動ガ止ツタ後ニ於キマシテハ、  
 ソレムニ適當ナル輸出生産等ニ振向ケ得ル  
 状態ニ今日専心努力シテ居ルノデアリマス、  
 隨ヒマシテ我が國ノ今後ニ於ケル前途ト申  
 シマスカ、ソレハ決シテ悲觀スベキモノデ  
 ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、其ノ點  
 私ノ考ヘテ居リマスコトヲ申シ添ヘテ置キ  
 マス

○福田委員 第一段ニ於キマシテ國家  
 ノ豫算膨脹ノ今日ニ於テ歳出入ノ上ニ於テ  
 ハ現狀ノ制度之ヲ運營スレバ宜シイト云  
 フコトデアリマス、先ツ私ハ徵稅等ニ關シ  
 マスルコトニ付テハ稅制其ノ他ノ變革ガ多  
 イカラソレニ依ツテ一時稅務官吏ハ少ナイシ  
 スルカラ多少ノ違法ハ免レルト云フコトハ  
 是ハ御尤モデアリマス、其ノ點ハ私ハ彼此  
 レ申シマセヌ、併シソレモアツテハナリマ  
 シマセウ、併シナガラ私ノ申上ケル點ハ人  
 リマセウ、併シナガラ私ノ申上ケル點ハ人  
 リマセウ、現在ニ於キマス官吏ノ方ガ收賄其ノ  
 他ニ依ツテ取ルベキモノヲ取ラズ取ルベカ  
 らザルモノヲ取ル、斯ウ云フコトヲ私ハ申  
 上ゲルノデアリマス、今全國ヲ通ジマシテ、  
 例ハ東京ニ於キマシテモ、京都ニ於キマ  
 シテモ、稅務官吏ノ檢舉ニ殆ド奔走シテ居  
 ル、舉ゲレバ限リガナイト云ハレル位ノ所  
 モアリマス、サウ云フコトヲ私ハ申上ゲル  
 ノデアリマス、此ノ官紀ノ頹廢ヲドウナ  
 サルカト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、  
 損雜ナル法令ノ改廢ニ依ツテ、一時的ニ多  
 少ノ手違或ハ違法ノ處置ガアツタト云フコ

トハ、次官ノ仰セノコトモアリマスルシ、  
 人間ノ爲スコトデアリマスカラ、是ハ已ム  
 ヲ得スト思ヒマス、併シソレモアツテハナ  
 リマセヌ、私ハソレニ依ラザル官界ノ綱紀  
 ノ頹廢ニ付テ遺憾ノ點ガアルト申上ゲルノ  
 デアリマス、又補助金ナカモ、國民ノ膏  
 血ニ成リマスル補助金ヲ取ルノニ、地方廳  
 或ハ地方ニ於ケル公共團體ガ、謂ハバ一  
 ノ許僞手段ヲ以テ、補助金ヲ取ル、是ガ全ク  
 競争ノ状態デアリ、ソレモ直接ノ所管ガ内務  
 省デアリ、或ハ商工省デアリ、外務省デア  
 ルト致シマシテモ、財政監督ノ中心ハヤハリ大  
 藏省ガ權威ヲ御持チニナラナケレバナラス、  
 他ノ省ガシタコトハ、大藏省ガ發言ヲセズ  
 シテ居ラレマスル點ハ、財政監督ノ中心機關  
 大藏省ノ權能ノ退化アルト思フ、歷代ノ内  
 閣殊ニ政黨内閣時代ニ一番重要視セラレタ  
 モノハ大藏大臣デアリマス、大藏大臣ハ各  
 省ノ色々ナ請求ガアリマセウトモ、自分ノ  
 所見ヲ以テ斷乎決心ヲ以テ之ニ臨マレ  
 タノデアリマス、例ハ高橋元大藏大臣ノ  
 如キ、全ク國家ノ財政權確保ノ爲ニハ死力  
 ヲ盡シテ自分ノ所信ニ向ハレタノデアリマ  
 ス、然ルニ近來ニ於ケル大藏大臣ハ或ル者  
 ニ壓セラレテ、唯々トシテ之ニ迎合サレル  
 ト云フヤウナ傾向ニアリマス、此ノ點ヲ私  
 ハ遺憾ニ思フノデアリマス、而シテ現在ノ  
 制度デ財政權確保及ビ財政行政ガ完全ニ  
 出來ルト云フ御話デアリマスガ、私ハ日本  
 ノ歳出入及ビ會計制度ハ世界デ一番善體制  
 ナモノデ、太政官時代ノ遺物デアリマス、  
 太政官時代ハドウカト云フト、官僚政治  
 アツテ、如何ナルコトヲシテモ、民意ニ依  
 ツテ執權ヲ受ケルコトガナカウタ、其ノ當  
 時ニ拵ヘラレタ所ノ今日ノ會計制度ナンド

アリマス、其ノモノニ向ツテ、變革ハサレ  
 テ居リマシテモ、殆ド一部ノ會計法規ナ  
 カノ御變更デアリマシテ、根本ハ少シモ變  
 ヲテ居ラナイ、變ツテ居リマセヌカラ、例  
 へバ國有財産ヲ奪ハウト致シマシテモ自由  
 ニ出來マス、歷代ノ官吏ガ不當ナ價格ヲ買  
 上ゲタコトハ、私ハ此ノ委員會ヲ通ジテド  
 レ位糾弾シテ居ルカ分ラナイ、是ガ爲ニ幾  
 億ノ損害ヲ國家ガ被ツタ事實ハ澤山アリマ  
 ス、軍事施設或ハ軍艦製造ニ於テモ金ハ幾  
 百萬圓ヲ望ムコトハ出來ル、國有財産ノ數  
 百萬圓ヲ只取ルコトモ出來テ居ル、其ノ  
 コトハ皆指摘シテ居リマス、一ツノモノヲ  
 買上ゲルノニ、普通ノ常識カラ見テ十ナル  
 モノニ對シテ之ヲ二十ナリ十五トシテモ、  
 之ヲ罰スルコトガ出來ナイ、賄賂ヲ取ツタ  
 リト云フ事實ガ現ハレルニアラザレバ、ソ  
 レヲ司法權ノ力デ以テ檢舉スルニアラザレ  
 バ、其ノ官吏ヲドウスルコトモ出來ナイ、  
 カラ日本ノ改革ヲナサルニハ、此ノ命令官  
 ト執行官ト相合セテ此ノ責任ヲ問ハナケ  
 レバ駄目デアリマス、現狀デモ運營如何ニ  
 依ツテハ宜シイト思ハレテ居ルガ、民間ニ  
 向ツテハ凡ル部門ニ向ツテ革新ノ政策或ハ  
 制度ノ革新、再編成ヲ御高調ニナリマスガ、  
 官界ノ制度ニ付テハ太政官時代ノ舊態依然  
 トシテ居ル、根本ニハ一ツモ改革ハアリマ  
 セヌ、會計法等ニ於テモ然リデアリマス  
 キマシテモ、會計ハ一年度限リノ會計デア  
 ル、然ルニ拘ラズ、現在ノ軍事費ノ如キ、  
 或ハ豫備金ノ支出、之ヲ認メテ居ラレモ、  
 議會ノ協賛ヲ得ナケレバ一厘一毛ヲトリモ  
 緊急勅令ニ依ルノ外出スト云フコトハ出來  
 ナイ、ソレヲ勝手次第ニ御出シニナツテ居

ル、是等ハ、シベリアノ出兵其ノ他ニ於テ認  
 ラレタリト雖モ、憲法ノ最後ノ條章ニハ、  
 憲法ノ趣意ニ矛盾スルモノハ違憲ノ限リニ  
 アラズトナツテ居ル、一時議會承認メテモ、  
 ソレガ憲法ノ趣意ニ矛盾致シタ時ニハ將來  
 ニ之ヲ違憲スベキモノトナシ、サウ云フ  
 方面ヲ根本的ニ御改革ニナラズシテ、現狀  
 デ以テ行カウトスル、ソレハ政府ニ便利  
 デス、サウ云フ惡イコトガ行ハレマシテモ、  
 政府ハ責任ヲ負ハスト云フコトニナルノ  
 スカラ、此ノ位現狀ヲ以テ行クニ樂ナコ  
 トハナイ、ソレデアリマスルカラ、私共ハ  
 新體制ト云フコトヲ高調ナサルナラバ、官  
 界自ラガ斯ウ云フ國民ノ膏血ヲ搾ル點ニ  
 於テ遺憾ナキヲ期セナケレバナラス、本當  
 カラ申シマスルト、十萬、二十萬、百萬ト  
 云フ金ガ全クドウモ意味ナイ所ニ相當使  
 ハレテ居ル、是ハ嚴肅ニ言ヒマス、本當  
 ノ善良ナル監理者ノ監督權ヲ行ハナイ結果  
 デゴザイマシテ、之ヲ改革スル程必要ナコ  
 トハナイト私ハ思フ、現在ノ會計検査院  
 ノヤウナ小規模デハ進モ出來ナイ、此  
 ノ會計検査院ハ日本ノ歳出ガ一億ニ足ラ  
 ス、九千九百萬圓ノ時ニ始マツタモノデ  
 アリマス、今日ノ地方自治體ノ少シ大キ  
 ナモノハソレ以上ノ財政ヲ消化シテ居リマ  
 ス、殊ニ會計法モサウデアリマス、一省ト雖  
 ソレ以上ノ龐大ナモノニナツテ居リマセウ、  
 ソレテ地方ノ自治體ヲ運營スルヤウナ機構  
 ト以テ此ノ龐大ナル國家機構ヲ運營シヨウ  
 ト云フコトニ矛盾擔着ナルコトハ當リ前  
 デアリマス、ソレデアリマスカラ豫算ガ龐大ニ  
 ナルニ連レテ不當不法ノ支出ガ増大スル、  
 斯ウ云フコトニナル、ソレヲ食止メルノニ  
 ハ現狀デハイカス、官界ノ新體制ト云フコ

トヲヤラズシテ、國民ガケニ其ノ大ナル義  
 務ヲ強ヒルト云フコトハ、官民一體ノ實ヲ  
 舉ゲル所以デハゴザイマセヌ、ダカラア  
 ナタ方官會議議時代遅レノモノガアルト  
 スルナラバ、本當ノ理想ヲ御作リニナツテ  
 之ヲ御出シニナル必要ガアルノデアリマシ  
 カ、官界ノ方ハ五十年、六十年ノ舊體制デ、  
 國民ニダケ凡ル方策ヲ押付ケテ、義務ダ  
 ケテ強制スルト云フコトデハ官民一體ト云  
 フコトノ事實ニハナリマセヌ、偏務的ニナツ  
 テ來ル、之ヲ私共ハ憂ヘルノデアリマシ  
 是等ニ對シテ只今ノヤウナ現狀デ以テ可ナ  
 リト云ハレルナラバ、然ラバ日本ノ現在ノ  
 機構ガ是デ宜シイト云フコトニナルガ、官  
 界ハ民間ノ總テノコトヨリ一番遅レテ居  
 リマス、今日ノ一省ト雖モ昔ノ一國ノ豫算ヨ  
 リモ大キイデセウ、明治二十三年ノ帝國議  
 會ニ提出サレタ豫算案ハ九千九百萬圓デゴ  
 ザイマス、ソレ等ヲ御スルノニハ議會ト雖  
 モ或ハ各省間ノ官吏ト雖モ其ノ監督ガ簡單  
 ナモノデス、併シナガラ今日ハ一省ト雖モ  
 ソレニ數倍シタ省ガアルデアリマセヌ  
 カ、ソレ等ノモノヲ此ノ小サイ現狀ノ機構  
 以テ總テテラレヨウト云フコトハ實  
 ニドウモ時代錯誤デアツテ、驚タベキ御言  
 葉ダト思フノデゴザイマス、是デハ進モイ  
 ケマセヌ、我が日本位會計監督ガ粗漏ニシ  
 テ寬大ナ國ハアリマセヌ、アメリカノ如  
 キハ一時政府ニ於テ二十萬圓ノ金ノ行先ガ  
 分ラナクナツタト云ツテ國民ガドン／＼乗  
 込シテ行ツテ遂ニ責任ノ大臣ヲ辭職セシメ  
 タ事實モアル、日本デハ此ノ金位ノコトハ  
 モウザラアリマス、今申上ゲマスルヤウ  
 ニ此ノ大義務ヲ現在ノ國民ガ負擔スルコト  
 能ハズ、後世ノ國民ニ殘スノデアリマス、

アナタノ今ノ樂觀論ニ於キマシテハ、生産  
 力擴充デ、又何カ資源モアルカラト云ハレ  
 ルガ、資源ガアル支那ハ支那デヨリ以上ノ  
 資源ヲ要シ、ヨリ以上ノ財政確立ヲ要スル、  
 アレダケノ民衆ヲドウシテ養フカト云フコ  
 トニ付テノ大ナル責任ガアル、是等カラ資  
 源ヲ持ツテ來テ、日本ヲ養フカ日本ヲ補  
 フトカ云フヤウナコトハ、餘程考ヘナケレ  
 バナラス、而モ日本ハ日清日露ノ戰爭トハ  
 違ツテ無領土、無賠償主義デゴザイマス、  
 ダカラソレカラ來ル結果ハ想像ニ難クアリ  
 マセヌ、併シ私ハ現時ノ時勢デアリマスガ、  
 之ヲ餘リ詳シクハ數字的ニ申上ゲマセヌガ、  
 モウ少シ進シテ頭ヲ以テ、現狀ダケニア  
 ラズシテ、將來トモ考慮サレテ、現狀ト相  
 對比シテ併行シテ行カケレバ國家百年ノ  
 安泰ト云フモノハ確保出來ナイト私ハ考  
 マス、私共考ヘマスルニ、會計法ノ根本ヲ  
 改メ、ソレカラ會計検査院ヲ擴大シテ、  
 各省ニ會計検査官ヲ平素ヨリ出張檢査セ  
 シメテ、サウシテ事前ト事後ノ承諾ヲ得  
 ルト云フコトニ改メラレル、支出ニ付テ  
 モ會計検査院ノ監督ヲ受ケ、其ノ上ニ於  
 テ各省ハ之ヲ支出スル、出シマシタコト  
 ニ付テハ勿論現在以上ニマダ一層ヤラ  
 ナケレバナリマセヌ、現在ノ會計検査院ノ  
 機構ハ小デアリマシテ、今日ハ滿洲或ハ支  
 那、アノ四百餘州ニ向ツテ行ハレマス、又  
 日本ハ段々擴張シテ外地ト云フモノガアリ  
 マス、ソレ等ニ行ハレマス所ノ會計検査ヲ  
 一々實地踏査致シマスニハ、増額サレタニ  
 シロ現在ノ豫算デハ手足モ出ヤシマセヌ、  
 其ノ手足ノ出ヌコトハ監督ヲ忽セニスルコ  
 トニナルノデアリマスカラ、イツマデモ政  
 府ニ不法不當ノコトガアリマシテモ、之ヲ







第二類第一號 決算委員會議錄 第二十回

昭和十六年三月二十二日

向ケテ裁キタイ、ソレデ政府モ會計監督、或ハ議會ノ監督ヲ御受ケニナルノ、枚シイ所ガカウツナラバ、ドンナ監査デモシテ與レト云フ風ニ御出ニナルナラバ、檢査院ヲ批難ヲ受ケ改革ナサル所ハナクナラ、斯ウ云フ風ニ申上ゲル、私共ガ議會デ改革案ト云フモノヲ出シマシテモ御同意ニナラナイナラ、政府自ラガ御出シニナルベキモノダト思フノデアリマス、又ソレニ對シマスル御意見ガアリマスナラバ、一ツ承ツテ置キマス。

其ノ次ハ是ハ事務的ニナリマスカラ後ニ御伺ヒ致シマスガ、モウ一ツ御伺ヒ致シタイノハ、近時下級官吏ニ對シマスル家族手当或ハ臨時手当云フモノガ發見サレマシテ、今期議會ニ於テ明言サレマシタコトハ下級官吏ノ爲ニ非常ニ喜ブベキコトデゴザイマス、今マデ實際ニ其ノ衝ニ當リマシテモ、氣ノ毒ニ堪ヘナクツテ所デアリマス、ソレニ對シマシテ政府ハ地方自治體ノ市町村吏員ニ對シテモ、是ガ手當ヲ御支給ニナルコトニナツタコトハ、是レ亦時勢ニ相應シ御政策デアリマシテ、吾等ノ最モ欣幸トスル所デゴザイマス、然ルニ六大都市ガ別派ニ御扱ヒニナルト云フコトハ、精神上ニ及ボス影響ガ非常ニ大キイノデアリマス、同ジ公吏デアリ、地方自治體トハ言ヒナガラ、殆ド今日ハ國ノ委任事務ハ非常ニ積エテ居リマス、ソレヲ扱フノ、六大都市ノ吏員ナルガ故ニ差別待遇ヲ受ケルト云フ感シテ居ルノ、非常ニ大キイノデアリマス、日本人ト云フモノハ固ヨリ物質モ必要デアリマスガ、結局ハ大義名分、體面ヲ重ニスル國民デゴザ

イマスカラ、是ガ及ボス影響ハ相當重大ナモノガアルト思フ、而モ御承知ノ通り、此ノ非常時下ニ於キマシテ、一朝事アル時ニハ敵方目標ト致シマス所ハ都市デアリマス、今マデ「ヨーロッパ」ノ戰争ノ現狀ニ見マシテモ、例ヘバ「ドイツ」ノイギリストノ襲撃ノ實證ヲ見マシテモ、結局ハ都市ヲ中心トシタ襲撃デアリ、何々村ガヤラレタコト云フコトハ殆ドナイ、工業地帯、軍需工業地帯ハ別デアリマスガ、國民ノ精神ヲ沮喪セシムルノハ、總テノ文化施設ヲ破壊スルコトガ、國民ノ精神ノ動搖ヲ來ス所ノ中心デアルカラト云フノ、悉ク都會ヲ中心トシタ襲撃デアリ、是ハ實際ニ於テ明カニ知ルコトガ出來ル、ベルリン、デアルトカ、ロンドン、デアアルトカ云フ外ハ、其ノ他ノ都市ガ襲撃ノ目標トナツタコトハナイ、然ルガ故ニ六大都市ノ如キハ萬一市ガアツタ場合ニ、一番先ニ目標ニナリマス、而モ其ノ地帯ニハ軍事其ノ他ノ政府ノ施設モゴザイマセウ、其ノ地帯ニ對スルニハドウスルカ、防空施設ト云フモノヲ一番先ニ考ヘナケレバナラス、防空施設ノ爲ニハドウシタラ宜イカ、其ノ金ヲ何處カラ求メマスカ、而モ今日ハ都市ハ財政力格ナリト云フ御言葉モ出マセウガ、中小商工業者ハ殆ド其ノ職ヲ失ヒ、是カラ來マス擔稅力ハ日ニ日ニ凋落シツツアルノデアリマス、而モ近來稅制改革ノ爲ニ地方ニ於ケル擔稅力ヲ失ツタノデゴザイマシテ、一ツノ事業ヲ致サウト思ヘバ、防空施設ヲシナケレバナラスガ、政府カラ金ガ拂ハレナイ、ソコデ數百萬圓ヲ掛ケテ、數千萬圓ヲ掛ケシナケレバナラスガ、其ノ金ハ何處カラ來マスカ、田舎ノ村落ニ於キマシテハ防空施設費トシ

テ數十萬圓、數百萬圓ノ金ヲ使フ所ハナイノデアリマス、都市ガケガ萬一ノ用意ノ爲ニシナケレバナリマセウ、政府ハソレヲ言ハナイケレドモ、又政府ガ許スカサカハ現ニ角トシテ、都市殊ニ六大都市ハ數百萬圓ノ金ヲソレニ投ズベク今年ノ豫算ニ計上シタ、是ハ後ニ支出スベキ財源モ何モアリマセウガ、萬一危急ノ場合ニハドウスルカト云フノデヤツテ居ル、殊ニ「ブラック」式ノ日本家屋デハ、是等ヲドウスルカ、或ハ防空壕或ハ防火施設、是等ニ對シマシテハ金ガ幾ラアツテモ足リマセウ、サウシテモ差支ヘナイノデアリマスガ故ニ、金ハ幾ラアツテモ足リナイ、又六大都市ハ財政力カデアアルト云フガ、數十萬ノ下級吏員、殊ニ職員等モ御考ヘ願ハナケレバナラス、物價ノ上リマスコトニ依ツテ、田舎ヨリモ都會ノ方ガ酷イ、田舎ナラバ學校ノ先生ガ、一寸生徒ノ家デモ安ク借リテ居リマス、野菜ニ致シマシテモ、一寸ト云フコトモ具デ貴ハ出來ナイノデアリマス、サウ云フ譯デ都實ニ慘憺タルモノデアリマスガ、マダ七テ居ル四十二歳ノ人デアリマス、マダ七十圓ニモナラヌノ、家内ガドウシテモ貴ヘナイノガ居ル、サウ云フ者ガ大變多イノデアリマス、今日ハ是ガ振興策ヲ圖ラナケレバナラス、生メヨ、殖セヨト云フ時代ニ於キマシテモ、是ハ人ノ方面カラ言ツテモ憂慮スベキコトデゴザイマス、例外ハアルカモ分リマセウガ、都市ニ於テハ軍事施設モ重工業モナイ所ハ、殊ニ中小工業ノ莫大ナ數ガ殆ド擔稅力ヲ失ツテ來タノデアリ

モ、此ノ條文ノ解釋ニ付キマシテハ、政府ハ從來六十九條ニ依ツテ豫備費ヲ設置シマシタ場合ニ於テ、其ノ豫備費ガ使ヒ切ツタト云フ後ニ於テ、若シ剩餘金ガアル場合ニハ、其ノ剩餘金ノ範圍内ニ於テ、之ヲ豫算ノ款項ニ超過シ、豫算ノ外ニ支出致スコトモ、六十四條ノ第二項ノ規定ノ中ニ豫想サレテ居ルモノデアアルト云フ風ニ解釋ヲ致シテ、從來モソレニ依ツテ議會ノ承諾ヲ求メル案ノ中ニハ、豫備金外支出ノモノニ付キマシテモ、御承諾ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ點ヲ申上ゲテ歸デアリマス、尙ホ最後ノ御尋ネノ市町村吏員ニ對スル臨時給與ノ問題ニ付キマシテハ、只今福田委員ノ仰セニナリマシタヤウナ點モ、御同感ノ點ガ少クナイノデアリマス、當局ト致シマシテモ將來十分其ノ點ヲ考慮致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、唯十六年度ノ豫算ニ於テハ政府ニ於キマシテモ、亦多數ノ下級官吏、職員等ヲ擁シテ居ルノデアリマスカラ、是等ニ對スル權衡ト云フコトモ考ヘマシテ、然ルベク善處致シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス。

○福田(關)委員 此ノ十六年度及十五年度ノ豫算ノ上ニ於キマシテハ、爲替相場ノ變動ニ基キマスル差損金ト云フモノガ、相當ニ上ツテ居ルノデアリマスガ、事變以來此ノ爲替ノ變動差損ト云フモノガ如何ナル實體ヲ現ハシテ居リマスルカ、一ツ御答ヘテ居リマスノ、是ハ毎年出ルモノデアリマセウガ、相當ノ金額ニ上ツテ居リマスノ、事變以來ノ實體一ツ聽キタイノデアリマス。

ソレカラ貴業兩院議員ノ専用廳舎建設デゴザイマスガ、是ハ昭和十五年以前ノ分

既ニ二十萬圓デアリマシテ、十六年度以降ガ二十四萬七千圓トナツテ居リマスガ、此ノ進捗ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リタイ。

ソレカラ昨年ノ豫算編成ノ時デゴザイマセウカ、衆議院ニモ豫算ヲ成ベク切詰メヨト云フ、大藏省ノ御言葉ガアツタシテ、速記士マデ減スル云フ風ニ言ウテ來ララウト思ヒマスガ、其ノ結果ト致シマシテ、速記士マデ減スル云フ風ニ言ウテ來ララウトガ足ラヌ爲ニ、此ノ委員會ガ出來ナイコトガアツタ、平素カラ申シマスルト、速記士ト云フモノハ相當餘裕ガアルヤウデアリマスガ、愈トナツタ時ニハ議會ハ委員會ヲ一面ニズツト開催致シマスルノ、速記士ヲ取ラレタ爲ニ此ノ委員會ガ出來マセウト云フコトニナリマス、審議ノ上ニ於キマシテモ、又今年ノヤウナ非常時局下ニ於テ速力ニ議了シヨウト云フ一ツノ考ヘモ行ハレナイヤウナ結果トナリマシテ、此ノ決算委員會ガ今日マデ延ビマスルト云フ點モ、此ノ點ニ相當原因ガアルノデゴザイマス、將來政府ハ議會ノ速記士ナカノ僅カナ給料ノ人ニマデ手ヲ御入レニナルヨリモ、他ニ相當マダ手ヲ御入レニナルヤウナ餘地ガアルノデハナイカ、併シハ大藏省ガドレコレヲヤレト云フテ來ララレトハナイトモ思ヒマスガ、其ノ邊ニ付テ大藏當局ノ御意思ヲ承ツテ、議會ノ審議ノ運営ノ上ニ於キマシテ、遺憾ノナイヤウニシテ行キタイト思ヒマスガ、是等ト併セテ御伺ヒ致シマシテ、私ノ大藏省ニ對スル質問ヲ終リマス。

○谷口政府委員 衆議院ノ速記關係ノコトヲ御答ヘ致シタイト思ヒマスガ、御承知ノ通りニ十三年、十四年、十五年ト、毎年實行豫算ヲ組ムヤウナ成行ニ相成リマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、ナハリ衆議院ノ事務局ニ對シマシテモ、他ノ省又ハ都府ノ事務局ニ對シマシテモ、人員ノ部局ト同様に率ヲ以テ人員ヲ節約スル云フコトヲ迫ツテ居ルト云フコトモナイノデアリマス、又只今御質問ノ如ク必ズシモ速記ノ關係者ヲ是非節約シテ吳レト云フヤウナコトヲ申サナカクヤウニ記憶致シテ居ルノデアリマス、御話ノ通りニ固ヨリ議會ノ議事ノ進行ト云フコトハ最も重要ト問題デアリマシテ、其ノ進行ヲ妨ゲルモノ云フヤウナ事態ヲ起サユウナ話ヲ持込ムト云フヤウナコトハ、出來ルダケ慎シムヤウニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ御話ノ點モアリマシテ、現在ノ狀況等ニ於キマシテハ勿論、又將來速記士ノ狀況等ニ付テハ十分注意ヲ拂フヤウニ致シタイト思フノデアリマス。

ソレカラ議員ノ専用廳舎ノ問題デアリマスガ、只今一寸手許ニ資料ヲ持ツテ伺ハナカウツノデアリマスガ、是ハ從來其ノ建テ方其ノ他ニ付キマシテ、色々意見モアル問題デアリマシテ、又近年ニ於キマシテハ一方建築關係ハ成ベクヤラナイコトニ大體ノ方針ヲ致シテ居リマス、只今ノ所ハ假ニ申シマスルト、餘リ進行致シテ居ラナイ、足踏ノ状態ニ大體相成ツテ居ルノデアリマス。

爲替相場ノ實體ト云フコトノ御質問デアリマスガ、御承知ノ通りニ爲替相場ノ變動、



ハ御出シガ出来ナイコトハナイト思フノデ  
アリマスガ、其ノ點ヲ御願ヒシタイノデ  
アリマス、出来マスナラバ、各月ニ變動致  
シマシコト、ソレニ依ツテ支拂致シマス  
ル所ノ在外使臣ナリ公債利子等ニ關シマス  
ルコトハ、分リマスレバ結構デアリマス、  
ソレカラハ申上テ忘レテ居リマシタ  
ガ、實費會ノ支出ニ關シマスルモノノ参考  
資料ノ提出方ヲ御願ヒ致シマシテ、過般モ  
大藏省ニ御話ヲ致シマシタガ、兎ニ角此ノ  
委員會ハ此ノ點ヲ結末ヲ付ケナケレバ、ド  
ウシテモ此ノ決算ノ最後ガ出来ナイノデ  
アリマス、苟且ニモ一度要求致シタモノハ、  
御提出ニ相成リマセスト、サウ云フ點ガ益  
國民ニ疑惑ヲ深カラシメテ居ルト思フノデ  
アリマス、實費會ダケニ政府或ハ内閣ト云  
フ美名ヲ以テ無用ナ費用ヲ御出シニナリ、  
不當ナ支出ヲシテ居ル、デアルカラ天下ニ  
公表ガ出来ヌノダト、斯ウ云フコトヲ國民  
ガ考ヘマスナラバ、吾々實費會ノ純正ナル  
發達ヲ希望スル者ト致シマシテハ遺憾ニ堪  
ヘナイデアリマス、ソレデアルカラ大藏  
省ト致シマシテモ、内閣ガドウダ斯ウダト  
云フコトヲ以テ、其ノ責任ヲ逃避サレ、  
サウ云フコトニ見エルト云フコトハ洵ニ遺  
憾デアリマスカラ、今期議會中ニ此處ハ出  
サウト思ヘバ御出シニナレト思ヒマスシ、  
又決算委員會ハ午前中ニモ話ヲシタノデ、  
リマスガ、場合ニ依レバ秘密會ヲ開イテ、  
或ハ上奏案ト云フヤウナ問題マデ起ルノデ  
ハナイカ、斯ウ云フヤウナ所マデ決算委員  
會ノ事進マシテ居ルノデアリマシテ、成  
ベク私ハサウ云フヤウナコトヲ避ケタイト  
云フ考ヘデアリマスガ、併シ政府ハ審議ヲ  
致シマスニ付テ其ノ資料ヲ御出シニナラ

ス、其ノ審議ヲ進メル上ニ於テ、マア悪ク  
言フナラバ妨害スルヤウナコトヲナサルト  
云フコトニナレバ、私共此處ニ立チマシテ  
其ノ方法ヲ考ヘナケレバナラヌト云フ事  
ニナルデアリマスカラ、速カニ是ハ御出  
シニナルベキモノデアリシ、又御出シニナ  
ルノガ當然デアリシ、之ヲ今日其ノ儘ニ在  
再日ヲ送ラレテ、會期ノ終ルノヲ御待チニ  
ナルト云フ傾向ハ洵ニ遺憾ニ思フノデアリ  
マス、ソレデアリマスカラ此ノ點ニ對シマ  
シテ政府ノ御決意ヲモウ一度承リタイノデ  
アリマス、ソレカラ次官ノ御話モゴザイマ  
シタガ、私ハ議論ヲ致スノデアリマセヌ  
ガ、豫備金外支出ト云フモノハ、豫備  
金ヲ設ケマシタ所ノ憲法ノ精神カラ絕對ニ  
許サレマセヌ、憲法ニハ豫備金支出ト  
云フモノハアリマスガ、豫備金外支出ト云  
フモノハナイノデアリマス、若シソレ  
ヲ許スナラバ、コト十億ノ剩餘金ヲ御出  
シニナツテソレヲ御使ヒニナルノモ差支ナ  
イト云フコトニナル、ソレデアリマシテハ  
天皇ノ勅裁ヲ經テ豫算ヲ協贊スルト云フ根  
精神ニ反シマスシ、議會ト云フモノノ審議  
權ト云フモノハ無視サレテシマフ、デア  
ルカラ、絕對ニ是ハ憲法上豫備金外支出ハ  
許サレナイ、何ノ爲ニ豫備金ト云フ制度ヲ  
設ケタカ、現在ノ豫算デハ或ハ萬一イケヌ  
コトガアルカモ知レヌカラ已ムヲ得ザルモ  
ノノ爲ニ豫備金制度ト云フモノヲ憲法ニ設  
ケラレタ、其ノ憲法ニ設ケラレタ豫備金制  
度ヲ乘越エテ、豫備金外支出スルト云フ  
コトハ、何ノ爲ニ憲法ガ豫備金制度ヲ設  
ケタカ、サウ云フコトハ今日ノ憲法學者ト雖  
モ許シテ居リマセヌ、ソレデアリマスカラ  
ソレハアナタ方ノ方面ニ大藏省ノ便利解

藏大臣ノ御精神デアリマスガ、現大藏當局  
ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ  
○廣瀬政府委員 只今ノ問題ハ大體御セ  
通リデアリマシテ、大體憲法ニ於テハ豫算  
外ニ必要ノ場合ニ於テハ、豫備費ヲ設置シ、  
其ノ豫備費ニ於テ支辨スベシト云フコトハ  
明示致シテ居ルノデアリマス、デアリマス  
カラ出来ルダケ豫備金ノ範圍内ニ於テ止メ  
ルコトハ最モ望マシイコトデアリマス、ソ  
レデアリマスカラ十六年度ニ於キマシテモ  
亦サウ云フヤウナ事考慮致シマシテ  
豫備金ヲ相當多額ニ計上致シタノデアリマ  
スガ、ソレト云フノモ出来ルダケサウ云フ  
豫算外剩餘金支出ト稱サルベキヤウナ事  
ノ起ラスコトヲ願ヒマシテ、アア云ツタ  
ウナ處置ヲ執ツタコトデアリマス、大體ハ  
御説ノ通りデアリマス、併シナガラ國政ハ  
一日モ之ヲ止メルコトガ出来ナイノデアリ  
マスカラ、萬已ムヲ得ザル場合ニ於キマシ  
テハ財源ノアリマシタ範圍ニ於テサウ云フ  
ヤウナコトヲ致スコトモ已ムヲ得ナイ場  
合モアルカモ知レヌト云フコトデアリマシ  
テ、是ハ決シテ望ンデヤルコトデアリマシ  
テ、國政ノ遲滞ヲナカラシムル必要上一  
種ノ何ト申シマスカ、緊急行爲ノ問題ト  
シテ政府トシテハ已ムヲ得ズ執ルベキ處置  
ト云フ風ニ考ヘテ居ルコトハ御承知ノ通り  
デアリマス  
○谷口政府委員 爲替相場ノ變動ニ伴フ所  
謂實體ノ調査デアリマスガ、月別ト云フ  
御話デアリマシタガ、サウ云フ御話文通リ  
ノモノハ出来ルカ得ナイカ一寸御引受ケ  
致シ給ヘルノデアリマス、出来ルダケ致シ  
タイト思ヒマス  
○西村委員長 福田君ノ大政實費會ノ資料

ニ對シテ委員長カラ全員ニ申上ゲマス、先  
刻内閣ヨリ委員課長ニ向ツテ取次ゲト云フ  
コトデアリマス、其ノ要旨ハ、決算委員會  
ヨリ實費會ニ對スル資料ハ實費會ノ只今就  
任サレテ居ル方々ノ前職ノ會計其ノ他ノモ  
ノ内内容ヲ調査スルコト、又聽キ合ハシテ  
モ正確ナルコトヲ得ルコトモ困難デアルニ  
依ツテ、遺憾ナガラ御希望ニ副ヒ兼ネルト  
云フコトデアリマス、此ノ件ニ對シマシテ  
ハ、過ダル此ノ委員會ニ於キマシテスノ如  
キ意味ノ大藏當局ヨリノ答辨ニ對シマシテ  
ハ小見山君ヨリ更ニ追究サレタル要求ガア  
リマシタ、委員長トシマシテハ只今ノ經過  
ダケヲ御報告ヲ致シテ置キマス  
○福田(關)委員 サウシマスルト内閣ハ出  
シ給ヘル、前職ノ會計其ノ他ノモノガ分ラ  
ストサレナラバ、現在ニ受テ居テ居レマ  
スル人々ノ給料等ガ分ラヌ管ハアリマセヌ  
シ、又且且ニ國費ヲ以テ賄フ所ノ實費會  
ノ役員ガ給料ヲ食ムニ至ツテ履歷書モ徵セ  
ズニ居ル管ハゴザイマセヌカラ、履歷書ニ  
現ハレタダケヲ明記シテ、サウシテ與ヘテ  
居ル所ノ金額等ヲ明記シタ所ノ參考資料ハ  
出セヌ管ハナイト思ヒマス、之ニ對シマシ  
テ大藏當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス  
○谷口政府委員 只今重ネテ福田君ノ仰  
セデアリマスガ、私共モ御要求ニナリマシ  
タ資料ヲ徵シマスニ付キマシテハ、一々  
内閣ノ方ヲ通シテ致シテ居ル關係デアリマ  
スノデ、只今仰セノ點ヲ一應内閣ノ方ニ事  
情ヲ聽キマシテ、然ル上デ其ノ御答ヘガ出  
來ルカドウカト云フコトヲ此ノ席デ御答ヘ  
スルト云フコトニ致シタイト思ヒマス  
○淺沼委員 極ク簡單デスガ、大藏次官ニ  
御伺ヒシタイト思ヒマス、今ノ福田君ノ質











吾ハ信じて居リマス ○西村委員長 高橋君、宜シウゴザイマス

○高橋委員 宜シウゴザイマス ○西村委員長 今井君

○今井(新)委員 事變處理ノコトニ付キマシテ、簡單ニ一ツツ御尋ネ致シタイと思ヒマス、先日西尾將軍ガ御歸還ニナリマシテ、事變處理ハモウ一押シテアル、今ガ一番大事ナ瀬戸際デアル、國民ハ宜シク一層結束シテ奮起シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ御話ヲ御發表ニナツタノデアリマスガ、非常ニ含蓄ノアル、アト一押シダト云フ御言葉ヲ承リマシテ、私共モ色々ノ意味合デ事變處理ニ付テ考ヘサセラレタノデアリマスガ、國民ノ方カラ自分達ノ考ヘノ忌憚ナイ所ヲ申シマス、事變以來國民ハシツカリシテ居ル、政府カラ要望サレナイデモ、國民ハ堅忍持久ノ精神ヲ以テ銚後ノ守リヲ固メテ居ル、寧ロ國民ノ方カラ言ハシムルナラバ、國民ニ要望スル政府ガモット腰ヲシツカリ定メテ、勇猛不退轉ノ決意デ事變處理ノ爲ニ邁進シテ貫ヒタイ、斯ウ云フヤウニ國民ノ方デハ寧ロ政府ニ要望シテ居ルノガ、僞ラザル國民ノ心デハナイカト私ハ考ヘマス、然ルニ事變ガ始マリマシテカラ今日マデ、歴代ノ内閣、平沼内閣、阿部内閣、米内内閣、此ノ三代ノ内閣ノナシ來ツタコトヲ、私共一々此ノ於テ批評ヲ致スコトハ差控ヘマスガ、事變ノ處理ガ、吾々ガ思ヒマシタヨリモ遲延致シタカノ如ク思ハレマス、重大ノ原因ハ色々アルケレドモ、歴代ノ政府ガ不決斷デアツタ、殊ニ外交ノ上ニ於テ、何處ノ國ガ敵デアルカ、何處ノ國ガ味方デアルカ分ラナイヤウナ混迷シタ外

交ラ續ケテ居ツタコトガ、重大ナル原因ノ一ツツアラウト私ハ信じて居リマス、吾々ガ平沼内閣、阿部内閣、米内内閣ノ倒閣ニ對シテ、戰時中出來ルダケ差控ヘナケレバナラス内閣ヲ倒サウト云フヤウナ運動ニ邁進シテ來タノモ、斯クノ如キ軟弱態度ノ外交ヲ續ケテ居ル内閣デハ、到底事變ハ解決出來ナイ、斯ウ云フヤウニ信ジタカラ、私共ハ倒閣運動ニ邁進致シテ參ツタノデアリマス、併シ是ハ既ニ過キ去ツタコトデ、吾々ハ既往ハ替メタクアリマセス、唯憤ムベキハ將來デアルト思ヒマスカラ責任ハ追究シマセスガ、昨年第二次近衛内閣ガ生レマシテ、水戸川吾々ガ主張シ、希望シタ三國同盟モ締結サレテ、初メテ日本ノ外交ト云フモノガ軌道ニ乘リマシタコトハ、私ハ國家ノ爲ニ實ニ欣快ニ堪ヘナイノデアリマス、而モ此ノ議會ニナリマシテ、近衛首相ヲ初メ、陸軍大臣、海軍大臣ハ其ノ責任ヲ痛感サレマシテ、一死奉公ヲ議會ヲ通ジテ國民ニ誓ハレマシタ、之ニ對シテ國民ハ非常ニ感激ヲ覺エマシテ、感奮興起致シマシタ、併シ今後事變ノ處理ヲ如何ニ致シテ行タカト云フコトニ付テハ非常ニ難問題デアツテ、是ハ獨リ軍ノミデナク、軍官モ民モ全ク一體トナツテ、舉國一致事變解決ニ邁進スベキモノデアラウト思ヒマスガ、首相ガドナニ御決意ヲ御披露ナサツテモ、軍部大臣ガドナニ御決意ヲ御披露ナサイマシテモ、單ナル是ガ言葉ノ上ノ決意デハ、私ハ事變有終ノ目的ヲ結ブコトハ出來ナイ、言ハベキ行フ、行ハベキ果ス、斯ウ云フ強イ信念ノ下ニ今後事變處理ニ邁進シテ戴カナケレバナラナイ、甚ダ覺悟デアリマスガ、私共此ノ機會ニ、從來ヨリモヨリ一層

ノ御決意ヲ以テ進んで戴キタイト云フコトヲ重ネテ希望致ス次第デアリマス、ソコデ西尾將軍ノ御話ノ中ニ、今尙未將介石ガ抗戰ヲ繼續スル所以ノモノハ、第三國ノ援助ニ非常ニ希望ヲ掛ケテ居ル爲デモアルベカク自體ガ體テハ事變處理ニ手ヲ焼クデアラウコトニ一樓ノ望ヲ掛ケテ居ル、斯様ニ御述ベニナツテ居リマスガ、歴代ノ内閣從來ノ外交ノ方針ナドヲ見マス、先程モ申シマシタ通り何處ノ國ガ日本ノ味方デアルノカ、何處ノ國ガ日本ノ敵デアルノカ見境ノナイヤウナ外交ヲヤツテ來タ、私ガ中上ゲルマデモナク、政戰共ニ戰ヒヨアル以上、何處ノ國ガ敵デアルノカ味方デアルカト云フ、サウ云フコトガ能ク分ラナイデ事變ノ解決ガ出來ヤウ管ガナイ、私共ハ事變ガ始マルト直ダ、目ニ見エル敵ハ蔣介石デアルケレドモ、彼蔣介石ヲ鼓舞激勵シ、鞭撻シ日本ト戰ハシテ居ルノハ正ニ英米デアアル、見様ニ依ツテハ、日本ノ本當ノ敵ハ英米デアアル、ガカラ之ニ對シテ儼タル態度ヲ臨マナケレバ、幾ヲ蔣介石ガテ討ツタ所ガ事變ハ解決出來ナイト云フコトヲ國民ニ懇ヘテ參ツテ來タ、爾來吾々ノ見ル所ハ少シモ違ハナイデ、英米一體トナツテ飽クマデモ日本ニ對シテ敵性ヲ發揮シ、日本ヲ收斂ニ導ク爲ニ、日本壓迫ノ手ヲ緩メナイデ今日ニ至ツタノデアリマス、サウシテ見ルト、例ヘバ日本ト戰ツテ居ル蔣介石ト云フモノハ不良、無賴漢英米ノ子分デアアル、親分ニ言ヒ付カツテ子分ガ日本ニ向ツテ腕力ヲ揮ツテ居ル、然ルニ其ノ命令シテ居ル親分ノ英米ニ對シ日本ガ僥タルコトヲ一ツツモシナイデ、其ノ命令ヲ受ケテ日本ト戰ツテ居ル蔣介石トダ

ケ組打シテ居ツタノデハ、此ノ事變ト云フモノハ何時マデ經ツテモ解決出來ナイ、蔣介石ガ參ツテ來テ、息ガ絶エサウニナツテ氣息奄々タル際ニ、其ノ將ニ死ナントスル蔣介石ニ「カンフル」注射シ、葡萄糖ヲ注射ヲ打ツノハ英米デアアル、從ツテ此ノ英米ノ斯ウ云フ注射ヲ斷テ切ル、授將行爲ノ一切ヲ絶滅シナケレバ、事變ハ斷テ解決出來ナイト思ヒマス、英米コソ日本ノ敵デアアル、サウ云フヤウニ吾々ガ考ヘテ居ル折柄、先般米國ノ大統領ハ吾々ニ對シテ許スベカラザル暴言ヲ吐イテ居ル、「アメリカハ侵略國ニ抵抗シ、且ツ侵略者ヲ「アメリカ」ノ岸ヲ遠ク隔テテ地域ニ於テ阻止シツツアル諸國ヲ引續キ援助スルデアラウ、斯ウ云フヤウナ暴言ヲ吐キ、結局蔣介石ガ勝ツマデハ、「アメリカ」ハ支那ヲ援助スルノダト云フコトヲハツキリ申シテ居ル、此ノ米國大統領ノ聲明ニ對シテハ、事變解決ニ當ル吾々日本國民トシテハ、更ニ覺悟ヲ新タニシテ臨マナケレバナルマイト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ陸軍當局ノ御所信ヲ承リタイト思ヒマス

○阿南政府委員 授將國家ハ如何ナル第三國デアラウトモ、又其ノ手段ガ如何ナル手段デアラウトモ、之ヲ斷テシテ排撃シテ行クト云フコトハ、既ニ既定ノ方針デアリマス、ソレハ又前同議、本議會ニ於テ繰返サレタ所ダト信じて居リマス、大統領ガ今何ト言ハウトモ、日本ハ侵略國ニアラズト云フ信念ノ下ニ、聖戰ト云フ旗幟ヲ擡ゲテ支那事變ヲ解決シツツアルノデアリマスカラ、彼等ノ恫喝大聲ニ一喜一憂スルガ如キ吾々デハナイノデアリマス、彼ガ何ト言ハウト、本當ノ遠吠エデアルトシカ吾々ハ聞イテ居

ラナイ、デアルカラ是等ニ對シテ一々日本國民ハ一喜一憂スル必要ハナイノデアリマシテ、堂々ト我が日東帝國ノ國ニ遂行シテ行ケバ以テ足リルト私ハ信じて居リマス ○今井(新)委員 只今陸軍次官カラ我ガ意ヲ得タト申スト失禮デアリマスガ、吾々國民ガ現在抱イテ居ル決意ヲ其ノ陸軍次官ガ代表セラレタル如キ非常ナル御決意ヲ承ルコトヲ得マシテ欣快ニ存ジマス

ソコデ更ニ御尋ネ致シタイコトハ、只今ノ御話ニ依リマス、如何ナル第三國ニ恐レナイト云フ御話デアリマスガ、西尾將軍ノ御話ニモアリマシタ通り、蔣介石ヲ擊滅スルニハ、第三國ノ支援頼ムニ足ラズト云フ觀念ヲ蔣介石ニ抱カセルコトガ重要ノ問題デアラウト思フ、サウセルニハドウシタラ宜イカ、ソコデ私ハ具體的ニ御尋ネテ致シタイノデアリマスガ、先頃モ此ノ點ノ外務大臣ニ御尋ネ致シマシタガ、ドウモ外務大臣ノ御答ヘタケデハ了承致シ難キデアリマスガ、ソレハ租界ノ問題デアリマス、支那ニ於ケル租界ノ存在ガ如何ニ聖戰目的ヲ妨害致シテ居ルカハ、私ガ論ズルヨリモ當局ニ於テ能ク御察スルコトト思ヒマスガ、三年前、事變ニ對スル近衛聲明ニハ、支那ノ新秩序ニ協力スル第三國ノ權益ハ認め、斯ウ云フコトガハツキリ言ハレテ居ル、サウデアルトスルナラバ、現在「アメリカ」ナリ英國ナリ「フランス」ナリハ新秩序ノ建設ニ協力セザルノミカ、終始日本ニ敵性ヲ發揮シテ妨害シテ居ルコトハ明白ナル事實デアアル、近衛聲明ヲ其ノ儘實行シテ、一度政府ガ聲明シタコトハ政府ハ必ズ實行スルノダト云フ事實ヲ示シテ、國民ノ政府ニ對ス

ル信賴ヲ繋グ爲ニモ、此ノ敵性租界ハ一日モ支那ニ存在セザレベキモノデアイト思ヒマス、昨年ノ議會デモ、租界問題ニ對シテハ、日本ガ率先シテ返スノダト軍務局長ガ聲明サレタ、然ラバ日本ハ返シタガ、第三國ガ租界ヲ返サスト云フ時ニハドウスルカト私ガ御尋ネ致シマシタ所、其ノ時ニハ又適當ニ考慮シテ返還セシメルヤウナ方策ヲ講ズルト云フ御答ヘデアツタノデアリマスガ、私ヲシテ言ハシメルナラバ、新秩序ノ建設ニ支那ト日本ガ一體ニナツテ血ミドロニナツテ戰ツテ居ルノデアリマスカラ、日本ガ租界ヲソナニ慌テ返ス必要モナシ、恐ラク支那政府デモ日本ノ返シテ呉レトハ言ハヌダラウト思フ、先決問題トシテ敵性ヲ發揮シテ事變解決ヲ妨害シテ居ル第三國ノ租界ハ眞ツ先ニ接收スベキモノデアラウト思ヒマス、現在南京政府ノ役人ナドモ租界接收ト云フ志ニ燃エテ居ルト云フコトハ私共聞イテ居リマス、西尾將軍蔣介石ハ敵性第三國、端的ニ言ヘバ米國ノ援助ヲ特ニテ居ル同時ニ、日本ノ國力ノ疲弊ヲ彼ハ期待シテ居ルコト云フヤウナコトヲ述ベラレテ居リマスガ、是レ程敵性ヲ發揮シ聖戰ノ遂行ヲ妨害シテ居ル第三國ノ租界ニ對シテ日本ガ之ヲ接收スルコトガ出來ナイ、私ハ當然接收シナケレバ、ナナイ租界スラ日本ガ接收シナイデ置タコトガ、却テ日本ノ國力ニ何等カノ弱點ガアルト云フヤウニ英米ヲシテ考ヘシメ、日本ヲ彼ガ壓迫シテ來ル原因ニナルノデハナイカト思フ、日本ノ飛行機ガ重慶ヲ爆撃シテモ其ノ半面ニ於テ目ト鼻ノ先ニ於テ日本ノ憲兵ガ米國ノ水兵ノ暴行復讐ヲ受ケタト云フヤウナコトヲ見セ付ケラレテ居リナガラ、而モ其ノ租界ニ

對シテ日本ガ手ヲ觸レ得ナイト云フコトデハ、日本ノ國民自身ガ日本ノ國力、日本ノ軍隊ノ力ニ何カ租界接收ヲ斷行出來ナイヤウナ弱ミガアルノデハナイカト云フヤウナ不安ヲ抱ケタラウト思フ、中國ノ國民モ此ノ事實ヲ見テ、日本ハ蔣介石ニ對シテハ勇敢ニ戰フケレドモ、英米ニ對シテハ殆ド一指モ染メルコトガ出來ヌデハナイカ、ヤハリ中國ノ國民ハ日本ニ頼ルヨリモ、英米ニ頼ル方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ、英米依存ノ觀念ヲ依然トシテ彼等ニ抱カシメルヤウナ結果ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ慎レルノデアリマス、同ジ租界ノ問題ニ付テ會テ天津ニ於テ、日本ノ軍隊ガ話ガ解ラナイナラ實力ヲ以テ天津租界ヲ奪ハルソト言ツタノ時ノ日本國民ノ燃エ上ルヤウナ氣持ハアナクモ御承知ダト思ヒマス、斷乎トシテ臨ムベシ、國民ハ愈々政府ニ對シテ米軍部ニ對シテ信賴ヲ捧ガ國民精神ハ燃エ上ツテ來ルダラウト思フ、凡ニル意味ニ於テ私ハ租界ハ一日モ速カニ之ヲ適當ニ御處置ニナルコトガ事變解決ノ早道デアラウト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイ

○阿南政府委員 主トシテ租界問題ニ付テ御話デゴザイマスガ、租界ガ授將ノ據點デアアルコトハ御説ノ通りデアリマス、ソコデ軍部トシマシテモ、又政府トシマシテモ、是ハ相當ノ決心ヲ要スル所デアリマス (連記中止)

○西村委員長 連記ヲ始めマス ○今井(新)委員 詳細ノ御話ヲ承リマシテ了承致シマシタ、アト一點ダテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、一體私ハ此ノ事變遂行ヲ妨害スルモノハ獨リ英米ダケデハナイ、精

神ニ見ルナラバ現在ハサウ云フ不届千萬ノ者ハ日本國內ニハアルマイト云フコトヲ私ハ信じて居リマス、從來ハ、敵ハ外ノミニアラズ、内ニモアルト思フ、城者ニシテ城ヲ破ルヤウナ者ガ從來不幸ニシテ日本ノ國民ノ中ニアツタ、先程カラ現狀維持デアルトカ、革新デアルトカ云フヤウナ御言葉ガ他ノ議員カラアツタノヲ承ツテ居リマスガ、所謂吾々ノ謂フ所ノ現狀維持、自由主義、利己主義、個人主義、民主主義、斯ウ云フ思想ヲ持ツタ政界財界等ノ者ガ、現狀維持ニ汲々トシテ、或ル場合ニハ利敵行爲ニ等シキ行動ヲ敢テシタコトハ、私ハ事實デアラウト考ヘテ居リマス、ソコデ先程モ申シマシタ通り、日本ノ敵ハ、眞ノ敵ハ蔣介石ヲ鼓舞シ、激動シテ居ル英米デアルト私共ハ信じて居ル、隨テ英米ニ對シテ媚態外交ナドヲ國防ノ調整ヲシヨウト云フヤウナ考ヘテ持ツ者ハ、此ノ際斷テ國內カラ擊滅シナケレバ、私ハ事變ノ解決ハ出來ナイト信じて居ル、然ルニ近來ニ至ツテモ、日本ハ「アメリカ」ヲ除キ則チ「英」ガ「アメリカ」ト戰爭シテハ日本ノ損ダ、日本ガ生キル爲ノ聖戰ヤ南方政策ハ損得デ以テ論ズベキ問題デアナイト思フニモ拘ラズ今日モ尙ホサウ云フコトヲ平氣デ演説ナドヲシテ歩イテ居ル馬鹿者ガアル、唯々私ハ驚カザルヲ得ナイノデアリマスガ、此ノ頃聞ク所ニ依ルト、關東ト關西ノ財閥ノ巨頭ガ大阪ニ會合シテ、所謂大阪會議ナルモノヲ開イタ結果、此ノ財閥ガ「アメリカ」ノ財閥ニ對シテ斯ウ云フコトヲ言ツテヤツテ居ル、一體ドウスレバ「アメリカ」ハ日本ニ好意ヲ持テ居ルダ、君達ノ吐ラ「ア」ツ知ラシテ呉レナイカト言ツテ、「アメリカ」ノ財閥ニ

○西村委員長 連記ヲ始めマス ○今井(新)委員 詳細ノ御話ヲ承リマシテ了承致シマシタ、アト一點ダテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、一體私ハ此ノ事變遂行ヲ妨害スルモノハ獨リ英米ダケデハナイ、精

神ニ見ルナラバ現在ハサウ云フ不届千萬ノ者ハ日本國內ニハアルマイト云フコトヲ私ハ信じて居リマス、從來ハ、敵ハ外ノミニアラズ、内ニモアルト思フ、城者ニシテ城ヲ破ルヤウナ者ガ從來不幸ニシテ日本ノ國民ノ中ニアツタ、先程カラ現狀維持デアルトカ、革新デアルトカ云フヤウナ御言葉ガ他ノ議員カラアツタノヲ承ツテ居リマスガ、所謂吾々ノ謂フ所ノ現狀維持、自由主義、利己主義、個人主義、民主主義、斯ウ云フ思想ヲ持ツタ政界財界等ノ者ガ、現狀維持ニ汲々トシテ、或ル場合ニハ利敵行爲ニ等シキ行動ヲ敢テシタコトハ、私ハ事實デアラウト考ヘテ居リマス、ソコデ先程モ申シマシタ通り、日本ノ敵ハ、眞ノ敵ハ蔣介石ヲ鼓舞シ、激動シテ居ル英米デアルト私共ハ信じて居ル、隨テ英米ニ對シテ媚態外交ナドヲ國防ノ調整ヲシヨウト云フヤウナ考ヘテ持ツ者ハ、此ノ際斷テ國內カラ擊滅シナケレバ、私ハ事變ノ解決ハ出來ナイト信じて居ル、然ルニ近來ニ至ツテモ、日本ハ「アメリカ」ヲ除キ則チ「英」ガ「アメリカ」ト戰爭シテハ日本ノ損ダ、日本ガ生キル爲ノ聖戰ヤ南方政策ハ損得デ以テ論ズベキ問題デアナイト思フニモ拘ラズ今日モ尙ホサウ云フコトヲ平氣デ演説ナドヲシテ歩イテ居ル馬鹿者ガアル、唯々私ハ驚カザルヲ得ナイノデアリマスガ、此ノ頃聞ク所ニ依ルト、關東ト關西ノ財閥ノ巨頭ガ大阪ニ會合シテ、所謂大阪會議ナルモノヲ開イタ結果、此ノ財閥ガ「アメリカ」ノ財閥ニ對シテ斯ウ云フコトヲ言ツテヤツテ居ル、一體ドウスレバ「アメリカ」ハ日本ニ好意ヲ持テ居ルダ、君達ノ吐ラ「ア」ツ知ラシテ呉レナイカト言ツテ、「アメリカ」ノ財閥ニ

○西村委員長 連記ヲ始めマス ○今井(新)委員 詳細ノ御話ヲ承リマシテ了承致シマシタ、アト一點ダテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、一體私ハ此ノ事變遂行ヲ妨害スルモノハ獨リ英米ダケデハナイ、精







メテ甚大ダト云ハレル、明カニ此ノ重大ナ  
ル交戦權ノ問題ニ付テ、外務當局ト軍部當局  
ノ御意見ガ違フテ居ルト私ハ思ヒマスガ、  
其ノ點ニ付テ諒承参リマスヤウニ御説明願  
ヒタイト思ヒマス

○岡政府委員 今私ガ申上ゲマシタノハ、  
交戦權ノ發動云々今日ドウスルカト云フ  
コトハ一ツモ御答ヘシテ居ラスノデアリマ  
ス、是ハ外務大臣ガ議ニ本議會ニ於テ答辯  
サレタ通りダト斯ウ申上ゲタノデアリマス、  
ソレト別個ニ交戦權ノ發動ニ對シマシテハ  
私ノ所見ト致シマシテ利害得失ガアルト云  
フコトヲ申上ゲタダデアリマス、別ニソ  
レニ對シテ政府ノ方針ヲ答辯シテモア  
リマセ

○今井(新)委員 左様致シマスト交戦權ハ  
現在發動致シテ居ラナイ、行使シテ居ラ  
ナイ、斯様ニ仰シタル譯デアリマス  
○岡政府委員 國際法上決メテ居リマスル  
交戦權ノ發動ト云フコトハ日本ト致シマシ  
テハ中外ニ宣明ヲシテ居ラスト思ヒマス  
○今井(新)委員 了承致シマシタ  
○西村委員 中山君アリマスカ——中山  
君ニ委員外ノ發言ヲ許スコトニ御異議アリ  
マセカ

○西村委員 中山君ニ許シマス  
○中山委員 一寸二點ダケ伺ヒタイト思  
ヒマス、陸軍ノ方ニ御伺ヒシタリ點ガアリ  
マシタケレドモ御歸リニナリマシタカラ申  
上ゲマセ、海軍ノ方ニモ關係ガアルト思  
ヒマスカラ御尋ネシテ置キマスガ、昨年十  
月十五日ノ「ベルリン」、「ローマ」、「東京」ト云  
フ「ドイツ」大使館發行ノ雜誌ガ吾々ノ手許  
ニ送ラレテ居ルノデアリマス、ソレニ載ツ

テ居ル寫眞ヲ見マス、第一ニ「ヒット  
ラー」ガ出テ居リマス、第二ニ「イタリヤ」ノ皇  
帝ガ出テ居リマス、其ノ次ニ「ムツソリー  
ニ」ノ寫眞ガ出テ居リマス、其ノ次ニ日本  
ノ天皇陛下ノ御寫眞ガ掲ゲラレテ居ル、  
是ハ私ハ斯様ナ日本ヲ侮辱シタ話ハナイト  
思フ、斯ウ云フモノヲ軍部ノ方ガ安閑トシ  
テ吾々ノ手許ニ送付サレテ來ルノヲ見テ居  
ラレト云フコトハ日本人トシテ堪ヘ得ナ  
イト云フコトヲ私ハ極感シテ居ル、而モ三  
人ノ主權者ヲ並べルノハ兎モ角、「ムツソ  
リー」ニ「ラ前」掲ゲテ日本ノ天皇陛下ガ四  
番目ニ掲ゲテアルト云フコトハ以テノ外ノ  
コトデアルト思ヒマス、是ハ國民ノ思想ノ  
上ニ非常ナ惡影響ヲ及ボスモノト私ハ考ヘ  
テ居リマス、斯ウ云フモノニ對シテハ「ド  
イツ」ガカラ、三國同盟國ガカラト言ツテ  
少シモ遠慮スル必要ハナイ、日本ニ於テ發  
行スルナラバ第一ニ日本ノ天皇陛下ノ御  
寫眞ヲ掲ゲルコトガ當然ト思ヒマスカラ、  
海軍當局ニ於テハ陸軍ト御相談ニナツテ沒  
收サレルヤウニ願ヒタイト思ヒマスガ如何  
デアリマセウカ、豫メ承ツテ置キタイト思  
ヒマス

○岡政府委員 不幸ニシテ其ノ雜誌ヲ拜  
見シテ居ラナカッタノデ、今始メテ承ハル  
譯デアリマスガ、御感ジハ能ク分リマス、  
尙ホ其ノ雜誌ヲ見テ見マス  
○中山委員 毛ウ一ツ伺フテ置キマスガ、  
近頃北海ノ狀態ヲ見テ居リマス「コマン  
ドルスキ」、「ロシヤ」ガ潛航艇ノ基地ヲ  
拵ヘテ居リマス、ソレカラ「フエアパンク  
ス」カラ「アンカリッチ」ノ間ニ「アメリカ」  
ガ陸軍ノ空軍ノ基地ヲ拵ヘテ居リマス、海  
軍ノ方デハ「シトカ」トカ或ハ「ダッチハー

パー」トカ或ハ「コチヤック」トカ云フヤウ  
ナ所ニ非常ナ大擴張ヲヤツテ、軍備ヲサ  
ササ息リナイノデアリマス、ノミナラス二  
千三百哩ノ「シヤール」カラ「フエアパンク  
ス」ニ至ル間ノ軍用道路ハ既ニ完成シツク  
アル、而モ其ノ千百里ト云フハ既設置路  
ヲ利用スルト云フコトヲ書カレテアルマス、  
尙ホ「パナマ」トカ「ノーム」トカ其ノ外百十  
數箇所ニ對シテ氣象觀測所ト云フモノヲ  
シドシ拵ヘテ居ル、私ハ太平洋ノ問題モ必  
要ダト思ヒマスルケレドモ、「アリネーシヤ  
ン」群島方面ニ付テノ準備ト云フモノヲ  
千島嶼ニ北海道ニ對シテ十分用意シテ置カ  
ヌト云フト、大變危險ダト云フ感ジテ國民  
ノ一員トシテ受ケルノデアリマスルガ、願  
ハクハ軍部當局トシテサウ云フコトガアツ  
テモ差支ヘナイト云フ、海軍ハ準備萬端整  
ツテ居ルト云フコトヲ議會ヲ通ジテ國民ニ  
知ラシメ安心サセテ置キタイト思フノデア  
リマスガ、其ノ點ニ對スル御意見ヲ承ツテ  
私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス

○岡政府委員 今日此ノ國際關係ガ世界的  
ニ非常ニ緊迫シ、殊ニ東洋ニ於キマシテハ  
支那事變、「タイ」佛印ノ國境紛争、英米ノ  
「シンガポール」ヲ中心ト致シマシタ南方ノ  
防備協定問題、色々ヤカマシイ問題ガアリ  
マシテ、之ニ從フテ各國ガ軍備ニ狂奔スル  
ト云フコトハ又一面アリ勝チナコトデ、事  
實各方面トモ色々軍備ヲヤツテ居リマス、  
之ニ對シマシテハ色々國民トシテ焦躁ノ氣  
分ニ驅ラレ御心配ニナツテ、吾々ノ所ニモ  
色々ノ御言葉ヲ賜ハル譯デアリマスルガ、  
海軍ト致シマシテハ是等全般ノ情勢ヲ十分  
ニ考慮致シマシテ國防ノ萬全ヲ期スルヤウ  
ニ一生懸命ニナツテ十分手當ヲ致シテ居

ル次第デアリマスカラ、一局部ニ捉ハレテ  
御心配ニナラスヤウニ御諒承願ヒタイノデ  
アリマス

○今井(新)委員 アト一點簡單ニ海軍當局  
ニ御伺ヒ致シマス、只今ノ御話ニ國防ノ全  
體ヲ配合ハセテ萬全ヲ期シテ居ルト云フコ  
トヲ承リマシテ非常ニ安心致シマシタ、此  
ノ御話ノ國防ト云フ意味ノ中ニハ大東亞ノ  
共榮國ト云フヤウナコトモ御含ミニナツテ  
居ルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ御答ヘ  
願ヒタイ

○岡政府委員 申今上ゲマシタ國防ト云フ  
ノハ日本ノ國策遂行上毫モ之ニ支障ヲ來サ  
ナイヤウニ十分ノ國防ヲ持ツテ行カナケレ  
バナラス、斯ウ云フ積リノ國防デアリマス  
○今井(新)委員 諒承致シマシタ  
○西村委員 文部當局ニ對スル質疑ヲ繼  
續致シマス、委員諸君ノ御發言ヲ敢テ制限  
スルノデハゴザイマセウカ、時間ニ色々都  
合ガアリマスカラ、成ベク要旨ヲ摘マシテ  
御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス——山元君

○山元委員 私人文部當局ニ向ツテ國字國  
語ノ整理ニ付テ一言申上ゲマス、文部大臣  
ハ國民ニ對スル科學知識ノ普及ニ努メルト  
會テ聲明サレテ居リマス、現在モ國語國字  
ヲ整理シマシテ兒童生徒ノ負擔力ヲ輕減  
シ、其ノ餘力ヲ科學知識ノ普及ニ注グ意思  
ハナイカト云フ點デアリマス、御承知ノ通  
リ日本ノ歴史ニ於テ其ノ發展ノ狀態ヲ見ル  
ト、所謂文字ノナイ時代ガアリ、或ハ漢字  
萬能ノ時代モアリ、其ノ後假名或ハ平假名  
ガ出來マシテ折衷サレタ時代モアル、ソレ  
カラ近代ニ於テ漢字ヲ制限サレルト云フヤ  
ウニマデ、文化ノ發展ニ依ツテ文字ト云フ  
モノガ常ニ變遷致シテ居リマス、併シ變ヘ

マシテモ何レモ輸入物デアリマシテ、本當  
ノ日本ノ文字ト云フナラバ假名文字デアリ  
マス、來ル四月カラ實施サレマス國民學校  
ノ教科書ニ於テ其ノ使用漢字ヲ五百字以下  
ニ制限スルカ、或ハ更ニ進んで全然漢字ヲ  
撤廢サレテサウシテ假名遣ヒヲ從來ノ煩  
ハシイ歴史ノ假名遣ヒヲ改メマシテ、徹  
底ノ發音式ノ假名遣ヒヲ採用スル考ヘハ  
ナイカ、既ニ文部省ニハ臨時國語調査會所  
定ノ發音式假名遣ヒガアリマシテ、是ハマ  
ダ未決定ノ歴史ノ假名遣ヒノ域ヲ脱シテハ  
居リマセウガ、ソレ等ハ此ノ際發音式ノ假  
名遣ヒニ改メテ、サウシテ國語、國字ノ困  
難ヲ防グ、現ニ「トルコ」ナドニ於テハ國字  
ト云フモノヲ根本的ニ「ローマ」字ニ改メテ  
居ル、最近内閣ノ發表サレルモノナドヲ見  
マスルト極メテ難解デ國民ニ徹底シマセ、  
所謂新體制デアリマスカラ、此ノ際國字ノ  
大整理ヲサレル必要ハナイカ、特ニ陸軍ナ  
ドニ於テハ兵器數ガ約二千モアリマシテ、  
一ツノ兵器ガ百カラ二千ノ部分品ノ名前ヲ  
覺エナケレバナラス、此ノ勘定カラ行キマ  
スト約二十万ノ部分品ノ名前ヲ覺エナクテ  
ヤサシイ兵器ノ取扱ガ出來ナイ、此ノ結果  
用兵作戰ノ上ニ於テモ非常ナ影響ヲ及ボシ  
テ來ル、隨ツテ軍部ニ於テモ此ノ際漢字ヲ  
九百五十九字ニ減少致シマシテ聞キ慣レタ  
ヤサシイ用語ニ變ヘルト云フコトデアリマ  
スガ、今日ノ壯丁ト云フモノハ小學校ノ三  
年、四年以下ノ能力シカナイノデアリマス  
カラ、斯ウ云フ點ナドハ更ニ減少サレル傾  
向ガアルト思ヒマス、海軍ニ於テモ無線電  
信電話ニ使用スル漢字ヲ出來ルダケ制限ス  
ルト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルト思ヒマ  
ス、文部省ハ此ノ國字國語ヲ整理致シマシ

テ一定ノ五百字以下ノ漢字トシ、假名遣ヒ  
ヲ之ニ折衷サシテ文化ノ基本デアル國字、  
國語ノ基本ヲ確立ナサルト云フ御考ヘハナ  
イノデアリマス、此ノ點ノ御所見ヲ伺ヒ  
タイノデアリマス  
○松尾政府委員 國語、國字ノ問題ニ付テ  
ノ御話デアリマスガ、國語國字問題ハ只今  
御話モアリマシタガ、非常ニ只今ノ現狀ガ  
複雑デアリマス、混沌トシテ居リマス、其  
ノ爲ニ國民ガ非常ニ「エネルギー」ノ浪費ヲ  
シテ居ルト云フヤウナ點ガ多クアルコトハ  
見逃セナイ事實デアリマス、隨ツテ教育ノ  
能率増進ト云フ點カラ行キマシテ國語國字  
問題ノ整理統一ヲスルノ必要ヲ文部省モ痛  
感致シマシタノデ、昨年、諮問機關デアリマ  
ス所ノ國語審議會ノ先實ヲ圖リマシテ、又  
圖書局ノ中ニ國語課ト云フ課ヲ一課設ケマ  
シテ、専念研究調査ニ當ラセテ居ル現狀デ  
アリマス、併シナガラズノ如クニシテ國語  
國字ヲ整理統一スルト云フコトハ、只今仰  
セニナリマシタ科學知識ノ方面ニ「エ  
ネルギー」ヲ費スルコトヲ「アラズシテ、全  
面的ニ教育ノ能率増進ヲ圖リタイト云フ意  
圖デアリマス、其ノ一部分トシテ科學  
知識ノ方面ニモ力ガ注ガレルトハ當然ノ  
コトデアラウト存ジマス、今回ノ國民學校  
ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ付テ十分配  
慮ヲ致シタノデアリマス、ケレドモ、御話ノ  
中ニアリマスル漢字ノ撤廢ト云フヤウナコ  
トニ付キマシテハ、マダソコマデハ行クツ  
居リマセウ、但シ今日ノ小學校ノ尋常科ノ  
漢字ノ使用數ヲ聞キマスト、約千三百字等  
當科ニ於テ用ヒラレテ居ルサウデアリマス  
ノデ、是等ハ相當數減ジ得ルノデハナイカ  
ト考ヘテ居リマスガ、マダ只今ノ所、昭和十

六年度ニ於キマシテハ、國民學校ノ新編纂  
教科書ハ、一學年、二學年ノ範圍ニ止マツテ  
居リマシテ、義務教育八年間ノ教科書完備  
ハ昭和二十年ヲ待タネバナナイ現狀デア  
リマス、ソレマデノ間ニ努力致シマシ  
テ、出來ル限リ漢字ハ減シテ行キタイト云  
フ私ハ所存デゴザイマス、次ニ假名遣ヒノ  
問題ハ、是亦一層困難ナ問題デアリマスガ、  
私ノ考ヘデハ、字音假名遣ヒニ付キマシテ  
ハ餘リ面倒ナコトヲ言ハナイデ、發音通り  
書カセラドシナモノデアラウカ、斯ウ考  
ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、何レニシ  
テモ、之ヲ決定致シマシタナラバ、社會ニ  
行ツテ實ハナケレバ、唯改正シタトカ、或  
ハ案ヲ決メタトカ云フノニ過ギナイノデ、  
兎ニ角實行性ヲ持ツテ實ハネバナナイ、  
ソレニハ一而ニ於テ學的ニ適正デアルコト  
ヲ必要ト致シマス、現下ノ社會事情ニ  
即應シテ妥當デアルト云フコトヲ必要トス  
ルノデアリマス、此ノ適正ト妥當ト云  
フ二點ニ付キマシテ、能ク本省ニ於キマシ  
テモ慎重研究調査ヲ致シ、又諮問機關タル  
國語審議會ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ニ  
付テ御研究ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、  
斯クノ如クニシテ決定セラレマシタモノハ、  
之ヲ總て閣議ニ付議シテ、閣議ノ御決定ヲ  
得テ關係各省悉ク之ヲ使用シ、民間ニ於テ  
モ御使用願ツテ、仍テ以テ國語國字ノ整理  
統一ニ邁進シタイ、斯ウ云フ考ヘテ居ルヤウ  
ナ次第デゴザイマス

○山元委員 宗教局長ニモウ一點御伺ヒ致  
シマス、實ハ數日以前ニ日蓮宗ガ團體ニ叛  
逆スルモノデアリト云フ建白書ガ配布サレ  
テ參ツルノデアリマスガ、是ハ何百萬ノ日  
蓮信者ガ日本ニ居リマス、隨テ果シテ日蓮  
宗ナルモノガ皇室及ビ國家ニ對シテ呪咀ノ  
宗教デアルカドウカ、此ノ判斷ニ付テハ何  
レデアルト云フコトヲ言明スルコトハ私ハ  
避ケタイノデアリマス、唯宗教ヲ取締  
ル文部當局ト致シマシテ、若シモ是ガ  
果シテ國家皇室ニ對シテ呪咀ノ宗教デアル  
ラバ、宗教全體ヲ中止スルカ、或ハ其ノ經  
典ヲ改正スルカ、若シ又ソレガサウデナイ  
ト云フナラバ、サウ云フコトヲ宣傳スル新  
聞雜誌及ビ言論ニ對シテハ嚴重ナル戒告ヲ  
加ヘルカ、何レカノ態度ヲ執ラナイト、此  
ノ戰時下ニ於テサウ云フコトヲ唯所謂在來  
ノ言論ノ自由ナリト云フ法則ノ下ニ放任シ  
テ置イタナラバ、結果ハ極メテ重大ナル  
コトヲ豫想シナケレバナラスト思ヒマス、  
此ノ建白書カラ見ルト、所謂皇道日報ナ  
ナルモノノ福田素劍ト云フ人カラ來テ、内  
大臣、宮内大臣、侍從長、侍從武官各位、  
總理大臣、內務大臣、文部大臣、陸軍大臣、  
海軍大臣、樞密院議長、樞密院副議長、樞  
密院顧問官、神祇院總裁、內務省警備局長、  
文部省宗教局長、貴族院議長、副議長、貴  
族院議員、衆議院議長、副議長、衆議院議  
員、大政翼贊會ト云フヤウナ、是等ニ對シ  
ル建白書デアルノミナラス、是ガ全國的ニ  
配布サレテ居ル、ソレハ日蓮大聖人御書新  
抄ノ中ニ不敬及ビ國家呪咀ノ色々ナ箇條書  
ガ此處ニ澤山並べラレテ居リマシテ、ソレ  
ハ一々私ハ此處ヲ讀ミ上ゲマセウ、唯右ノ  
本ガ赤坂區田町七丁目三日連聖人御書新  
抄刊行會ト云フモノカラ出サレテ居ル、簡  
單デスカラ其ノ建白書ヲ讀ミ上ゲマスガ、  
「團體ニ叛逆スル日蓮宗ヲ粉砕セヨ、佛教ノ  
團體ヲ買渡スルハ歴史ノ證スル所ナルガ、  
就中、日蓮宗(法華宗)程尊貴ニシテ擡進ナ







○阿原政府委員 私モサウ専門ニナリマス  
ト能ク存ジマセヌガ、大體天理教典ニ依  
ツテ居ルノデハナイカト思フテ居リマス

○今井(新)委員 天理教典ト云ヒマスル  
ト、ソレデハ御尋ネ致シマスルガ、私ハ文  
部省ガ御認メニナツテ居ル天理教典其ノ  
モノ自體ガ既ニ大不敬チヤナイカ、無論宗  
教ニ責任ノアル宗教局長デスカラ天理教ノ  
内容ヲ御検討ニナツテ居ルコト思ヒマス  
ガ、内容ヲ御検討ニナツテ上ノ御答辯デア  
リマスカ、御尋ネ致シマス

ハ表面天理教ノ教典アルケレドモ、是ハ  
本當ノ教義チヤナイノダ、本當ノ教義ハ泥  
海古記、御筆先、御神樂歌等ニアツテ、是  
ハ文部省ガ社會ニ對スル表面ノ道具ニ過ギ  
ナイト云フコトヲハツキリ言フテ居ル、此  
ノ人ガ言フテ本ニナツテ居ル、斯ウ云フコ  
トヲ考ヘマスルト私ノ申上ゲマスコトガ能  
クアナタニ御分リニナルデアラウト思ヒマ  
スガ、ソコデ文部省ハ唯一ノ教義教典ト仰  
シヤツテ居ル、其ノ教典ノ内容ニ付テ御尋  
ネ致シタイノハ、天理教ハ大體天地ヲ造ツ  
タノハ天理王尊デアアル、人間モ天理王尊ガ  
造ツタノダ、天孫降臨ノ事實モ否定シテ居  
ル、日本ノ國史、國體、古事記全部ヲ否定シ  
テ居ル、ソレカラ此ノ天理教ノ教典ノ中ニ、  
國體立尊、國體神聖、豐饒彥尊、大古邊尊、  
面足尊、慎根尊、伊弉諾尊、伊弉册尊、大  
日靈尊、月夜見尊、此ノ十人ノ神祇ガ一  
是ハ御承知ノ通り日本ノ宮中ノ奉齋神祇デ  
ハセラレル神祇デス、所ガ天理教典ニハ  
此ノ十柱ノ神ヲ總稱シタモノガ天理大神デ  
アルト明記イタシテアル、是ガ私ハ大不敬  
罪デアラウト云フノデアアル、日本ノ神祇ト  
云フモノハ實在ノ神祇デアアル、人格ノ神祇  
デアアル、御一人々々ガ實在ノ神祇デアアル、  
人格ノ神祇デアアル、天理大神ナンデモノ  
ハ日本ニハナイデモ、架空ノ神祇デアアル、  
空架、妄想、空想ノ神祇デアアル、妄想カラ  
現ハレテ天理大神ナドト云フモノガ此ノ國  
祖ト云フベキ十柱ノ神ヲ總稱シタモノデア  
ルト書イテアルコトソレ自體ガ大不敬ダト  
私ハ思フ、是ハ神位天位ヲ觀觀スルモノダ  
ト思フガ、其ノ點如何デゴザイマスカ

一寸簡單ニハ御答ヘ申上ゲラレナイコト  
デハナイカト思ヒマスノデ惡シカラズ一  
ツ...

○今井(新)委員 御答ヘガ出来ケレバ其  
ノ點ハ文部大臣ニ御尋ネ致シマス、最モ重  
大ナ問題デアリマス、私ハ從來モ申シマス  
シタガ、斯ウ云フヤウナ反國體ノ大不敬ノ  
宗教ヲ今日マデ其ノ儘置イタテ言ウテハ語  
弊ガアリマスガ、確ニ監督シナカウツト云  
フコトハ重大ナル文部當局ノ責任デアアル  
思フ、此ノ間モアナタニ申上ゲマシタケレ  
ドモ、私ハ總テニ於テモツト眞劍ニ國家ノ  
爲ヲ御考ヘニナツテ、其ノ局ニ當ル人ハ命  
懸ケテ仕事ニ當ツテ戴カケレバ、此ノ國  
ハ救ヒ得ナイト思フ、而モ天理教典ニ宮  
中奉齋ノ十柱ノ神ヲ總稱シタモノガ天理大  
神ガ、其ノ天理大神ガ人間トシテ生レテ來  
タノガ天理教典ノ中山ミキダ、サウシテ  
泥海古記ノ解釋ニ依ルト、其ノ中山ミキガ  
眞ノ神、實ノ神、其ノ外ノ日本ノ神ハ全  
部虚構、空想ト云フ、日本ニアリト凡  
ル神祇ヲ虚構、空想ト云フテ、眞ノ神、實  
ノ神ハ天理王命以外ニハナイト云フ、此ノ  
天理大神ガ人間ノ姿ヲ現ハレテ大和國山邊  
郡丹波市町三島ノ地コソ人類發祥ノ地ダト  
云フ、天孫降臨ノ事實ヲ否定シテ居リマス、  
サウ云フコトニナツテ居リマスカラ斷ジテ  
是ハ許スコトガ出来ナイト思フ、最後ニ私  
ハ申シテ置キマスガ、此ノ天理教ト云フモ  
ノハ文部省デドシナニ改善シロトカ、改良  
シロトカ言フテモ實質的ニ斷ジテ出来ナイ  
コトニナツテ居ル、斷ジテ出来マセス、調  
ベレバ調ベル程私ハ出来ナイト思フ、取潰  
スヨリ外ニ仕方ガナイ、私共ノ考ヘデハ現  
在六億七億ト云フ金モアルサウデアリマス

カラ、遊産沒收デハ政府ガ沒收シテ、サ  
ウシテ飛行機デモ潜水艇デモドンドン、造ル  
ガ宜イ、財産ヲ沒收サレテ二百万ノ窮民モ  
救ハネバナラス、天理教ヲ解散スレバ信徒  
ガ動搖ヲ起ス、サウナレバ困ルナドト云フ  
テ辯護スル者ガアルサウデアリマスガ、信徒  
ナント云フモノハ善良ノ愚民デスヨ、天理  
王様ヲ拜メバ病氣ガ癒ル、サウキアナタハ  
「日ノ寄進」御話ヲ仰シヤツタガ、私ガ私有  
財産沒收、共產主義ノ實行ダト云フノハソ  
コデス、天理教ニ入ツテ御覽ナサイ、昨夜モ  
一昨日モ私ノ所へ新聞ヲ見テ被害者ガヤツ  
テ來タ、報知新聞ノ大山君ノ叔父サンモ三  
十萬圓モ取ラレテ裸ニナツテシマツタトコ  
トデアアル、一クビ天理教ニ入ツテ御覽ナサ  
イ、「埃ノ理」理「理」ナドト云フテ實シヤカニ  
説教スル、今デモヤツテ居リマス、人間ガ  
病氣ニナツタリ困ツタリスルノハ埃ヲ取ラ  
ナイカラダ、塵ヲ取ラナイカラダ、其ノ埃  
トハ何ゾヤ、塵トハ何ゾヤト云フト、ソレ  
ハ財産ダト云フ、ダカラ「日ノ寄進」以テ其  
ノ財産ヲ天理王ニ納メレバ病氣ガ治ルト云  
フ、實際ニ私有財産否認ヲ徹底シヤツテ  
居ル、ダカラ「日ノ寄進」給ヘ、畑ヲ賣リ給ヘ、  
柿ノ木一本首吊リ給ヘ、天理王ノ命「ナド」世  
間デ言フ、コンナ馬鹿ノ宗教ハ日本ニ一日  
モ存在サスベカラザルモノデアアルカラ、能  
ク御研究ニナツテ、斷乎ナク處置ヲ此ノ天  
理教ニ對シテハ御執リニナルコトヲ私ハ國  
家ノ爲ニ、之ヲ力強クアナタニ申上ゲテ置  
キマス、是デ終リマス

○西村委員 板野君ニ委員外ノ發言ヲ許  
シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセスカ  
ニ(異議ナシ)ト呼ブ者アリ)

○西村委員 ソレデハ板野君

○今井(新)委員 實ハ十年前程前ニ昨日モ申  
述ベマシタヤウニ山中重太郎ト云フ御老人  
ガ天理教ヲ大不敬、詐欺、恐喝デ告訴シ  
タ、所ガ司法省ノ方デハマダ一回モ御取調  
ベガナイ、是ハ今日司法大臣ニオイデテ願  
ツテ私カラ御尋ネ申上ゲル管デアリマシタ  
ガ、オイデニナリマセスカラ何レ日ヲ改メ  
テ御尋ネスル考ヘデアリマスガ、今ノ文部  
省ガ御認メニナツテ居ル天理教典ト云フ  
モノハ本當ノ教典デハナイソト云フコト  
ヲ一 天理教ノ最モ實權ヲ握ツテ居ル松村  
吉太郎ト云フ人ガアリマス、御存ジダト思  
ヒマスガ、ドツチカト言ヒマス、管長ハ、ロ  
ボットノノデ、實權ハ此ノ松村吉太郎ガ持  
ツテ居ツテ號令シテ居ル、此ノ松村吉太郎  
ノ女辯アル人ガ天理教典要義ト云フモ  
ノヲ發行シテ居ル、其ノ要義ニ天理教典

會デ成立シタ宗教團體法、是ハ不埒ナ宗教  
ヲ叩キ潰スモノデアアルコトハ勿論デアリ  
マス、各教派ノ健全ナル發達ヲ圖リ、且  
ツ其ノ使命ヲ果サスト云フコトガ、此ノ法  
律制定ノ目的ノ一ツデアツタラウト思ヒマ  
ス、ソレダカラドウシテモ此ノ際規則ヲ立  
テ教典ヲ定メルニ當ツテ、宗教團體、各教  
宗派ヲ主トシテ、サウシテ今日實際ニ於テ  
現ハレテ居ル管長ト云フモノハ宗教ニ對シ  
テ從ノ立場ニ置カケレバナラス、各教宗  
派ガ主デアツテ、其ノ管長タルモノハ從  
ル一ツノ機關デアアル、斯ウ見ル、所ガ今日  
ノ實際ヲ見、又三月三十一日ニ切迫シタル  
今日ノ實際ノ有様ヲ見マス、文部省殊ニ  
宗教局長ノ所ヘドンドン、出掛ケテ來ルノハ、  
是ハ多ク私ハ管長運動ダト思フ、即チ管長  
ガ主ニナツテ居ルヤウニ感ズル、是デハ困  
ルデス、サウシテ其ノ管長ニ依ツテ、其ノ  
教典ノ何々教典ガ何々宗教ヲ食ヒ物ニサ  
レテハ堪ラズ、所ガ實際ノ規則ガアルデス、  
ソレダカラ茲デ文部省ガ此ノ規則ヲ認可  
シテ可ト決定サレレバ根本ノ方針ト云フモノ  
ガ、チヤント決マツテ居ナケレバナラス、  
私ハ宗教ノ名前ハ申シマセスガ、私ノ驚イ  
タノハ、此ノ規則、教典ニハ勿論管長ヲ決  
メル條項ヲ決定シナケレバナラスガ、此ノ  
教典ハ全國ノ教會、全國ノ信徒ヲ集メテ、  
教典審査會トカ云フヤウナモノヲ作ツテ、  
現ニ角新シイ規則ヲ拵ヘタ、是ハ一ツノ例  
デスガ、其ノ規則ニ於テハ管長ヲ決メル方  
ハ、選舉ニ依ルト決定シタ、ダカラ是ハ無  
論文部省ノ方ヘ參ツテ居リマス、此ノ選舉制  
度ヲ取ルト云フ理由ハ、全國幾萬幾百萬ノ  
信徒、教徒、是等ノ中カラ管長ヲ選ブトスレ  
バ、其ノ方法トシテハ公正ナル選舉ニ依ル外

ナイト云フコトデ、選舉ト云フコトニ決メ  
テシマツタノデアリマス、所ガ選舉ニ依ル  
ト甚ダ自分ノ不利ヲ感ズル管長サンナドガ  
アルラシイノデス、サウ云フ管長サンノ如  
キハ、選舉ハドウシテモ自分ハ當選ガ出  
來ナイ、他ノ者ガ當選スルカラト云フノデ、  
某派ノ某管長ハ自分ヲ擁護シテ、自分ガ管  
長ノ地位ニ當リ付ク爲ニ又案ヲ立テ來タ、  
全國ノ信徒ノ案ハ選舉デス、所ガ自分一人  
デ案ヲ立テテ、現管長ヲシテ此ノ儘管長  
ラシムル、而モ自分一人デハナイ、其ノ子  
孫ヲシテ世襲セシムルコトト云フ、實ニド  
ウモ蟲ノ好イ案ヲ立テ來タ、是デハ勿論  
現管長ハ其ノ儘自分ノ一生涯ヲ、安固トシ  
テ管長ノ地位ニ立ツノミナラズ其ノ子孫ガ  
ズツト管長デ、全然他ニ幾ラ適當ナ優良ナ  
ル管長候補者、管長適任者ガアツテモ、一  
切之ヲ排斥シテシマフ、サウ云フ排他主義  
ノ案ヲ立テ來タ、ソレカラ其教派ノ案ト  
シテ、全國信徒ノ希望スル選舉法案ト、某  
管長ノ獨占案トガ對立シテ居ル、島田君ノ  
案ト云フモノハ一本ニシテ與レト、文部省  
ハ言ハザルヲ得ナイコトニナル、私ガドウ  
モ此處デ本當ニ呆レタノハ、只今モ申シタ  
ヤウニ、此ノ各教派ガ目的デアリ、信徒ガ  
目的デアツテ、管長或ハ其ノ機關タル住  
職トガ管長トカ云フモノガ、其ノ地位ヲ獨  
占シ、一切他ヲ入レナイノミナラズ、之ヲ  
世襲ニセントスルガ如キ、全然ハ利己主  
義ト云フカ、我利主義ト云フカ排他的デア  
ツテ、許サベカラザル思想デス、又餘リ勝  
手過ギル、如何ナル者ガ居ツテモ如何ナル  
理由ガアツテモ、自分ガ永遠ニ死スルマデ

其ノ地位ヲ持つツノミナラズ、其ノ子孫ヲ  
シテ獨占セシムルト云フノデアリマス、  
私ハ文部省ハサウ云フ我利ガ出テ來テハ、  
御困リデアラウト思フ、而シテ斯ウ云フ時  
ニハ何時デモ、此ノ宗教家トカ、宗教團體  
トカ、有力者ガ文部省ニ運動ニ行ク、蓋シ  
文部省ニ今行ツテ居ルト思ヒマス、私ノ知  
ル所デハ某子爵トカ、某貴族院議員トカ云  
フコトデ行ツテ居ルト思ヒマス、是レ以上  
ハ申上ゲマセスガ、是デハ御困リデアラウ  
ト思フ、併シ理論ノ上カラ言ヘバ、現管長  
ガ世襲的ニズツト守ルト云フコトハ、一職  
シテシマヘバ宜イ、ケレドモドウモ情實運  
動ハ一職シキイモノダト思ヒマスカラ、  
事實ニ於テハ斯クノ如キ唾棄スベキ事實ガ  
アルト云フコトヲ、此處デ申述ベマシテ、  
少クとも管長ヲ選定スル規則ニ對スル認可  
方針ハ何ニ依ルカ、本當ニ適當シヤウナ  
適材ヲ、管長ニ擧ゲルト云フ方針デ行カ  
ソレトモ現管長ヲ其ノ儘採ルト云フ方針デ  
行カ、此ノ御説明ガ願ヒタイ、御尋ネス  
ルノハ唯是ダケデス、モウ少シ言ヘバ、是  
ハ今井サンノ御説モアリマシタガ、眞ニ恐  
ロシイモノデス、鬼ニ角各宗派ト云フモノ  
ガ、幾百萬ノ信者ヲ持つテ居ルノデスカ  
ラ、是ハ本當ニ尊イ神祇、佛様ダト云フノ  
デ言フ通りニナル、洵ニ恐ロシイモノデス、  
デスカラ此ノ指導ヲ誤リ監督ヲ誤ツタラ大  
變デス、管長決定ノ規定ニ依ツテ、誰ガ運  
動ニ來ヨウト、誰ガ頼ンデ來ヨウト、理窟  
ノナイコトハ斷然トシテ、之ヲハネルト云  
フコトニシテ貫ヒタイト思フ、之ニ付テ政  
府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ

○板野友造君 私モ今ノ質問ニ牽連シテ唯  
一ツダケ御伺ヒシタイ、是ハ昨年ノ四月一  
日カラ宗教團體法ガ實施サレ、其ノ附則所  
謂經過法ニ於テ、此ノ實施後一年以内ニ、  
即チ昨年ノ四月一日カラ一年以内ニ各教派、  
宗派ニ於テハ其ノ規則、神道ヲ言フナラバ  
何々教ノ規則、佛教ヲ言フナラバ何々宗ノ  
規則、此ノ規則則ヲ定メルト云フ規程ガ  
アル、ソコデ昨年ノ四月一日カラ丁度一年  
デスカラ、此ノ月ノ三十一日マデニ此ノ規  
則ヲ日本國中ノ神佛各教各宗派共皆拵ヘナ  
ケレバナラス、所ガ文部省ノ方デハ、其ノ  
規則ヲ定メルニ先立ツテ先ツ文部省ニ内閣  
ヲ乞ヘ、先ニ見セロ、斯ウ云フコトヲ各宗派  
ニ對シテ仰シヤツタ、ソコデ各宗派トモド  
ン其ノ所謂規則則ノ原案ヲ文部省ノ内  
閣ニ供シテ來テ居ル、ソコデ此ノ際ハ今  
今井サンノ御質問ノ通り、宗教ハ一面ニ於  
テ極メテ恐ルベキモノデアアルコトハ、是  
ハ申スマデモアリマセス、併シナガラ宗教ヲ  
健全ニ發達セセタナラバ、今日國民精神ノ  
作興ト申シマスカ、國民精神ノ健全ヲ圖ラ  
ナケレバナラス今日ニ於テ、此ノ宗教ヲ巧  
ク監督シテ、サウシテ眞ニ其ノ使命ヲ果サ  
セタナラバ、隨分效果ハ擧ガルノデアアル、  
併シ其ノ監督ヲ誤リ、或ハ取極ニ缺カスル所  
ガアツタナラバ、ソレハ恐ロシイ力ヲ持ツ  
テ居ルモノデアアルカラ、今今井サンノ仰シヤ  
ツタヤウナ結果ガ起キル、ソコデ此ノ規則  
宗則ヲ三月三十一日マデニ認可ヲナサル、  
其ノ認可ヲナサルニハ、一口ニ言ヘバ如何  
ナル方針ニ依ツテ認可シテ決定スルカ、  
即チ規則則ヲ立テ根本方針ナルモノヲ  
承リタイ、尙ホ此ノ言葉ダケデハ御分リニ  
ナリニタイト存ジマス、私共ハ一昨年ノ議

會デ成立シタ宗教團體法、是ハ不埒ナ宗教  
ヲ叩キ潰スモノデアアルコトハ勿論デアリ  
マス、各教派ノ健全ナル發達ヲ圖リ、且  
ツ其ノ使命ヲ果サスト云フコトガ、此ノ法  
律制定ノ目的ノ一ツデアツタラウト思ヒマ  
ス、ソレダカラドウシテモ此ノ際規則ヲ立  
テ教典ヲ定メルニ當ツテ、宗教團體、各教  
宗派ヲ主トシテ、サウシテ今日實際ニ於テ  
現ハレテ居ル管長ト云フモノハ宗教ニ對シ  
テ從ノ立場ニ置カケレバナラス、各教宗  
派ガ主デアツテ、其ノ管長タルモノハ從  
ル一ツノ機關デアアル、斯ウ見ル、所ガ今日  
ノ實際ヲ見、又三月三十一日ニ切迫シタル  
今日ノ實際ノ有様ヲ見マス、文部省殊ニ  
宗教局長ノ所ヘドンドン、出掛ケテ來ルノハ、  
是ハ多ク私ハ管長運動ダト思フ、即チ管長  
ガ主ニナツテ居ルヤウニ感ズル、是デハ困  
ルデス、サウシテ其ノ管長ニ依ツテ、其ノ  
教典ノ何々教典ガ何々宗教ヲ食ヒ物ニサ  
レテハ堪ラズ、所ガ實際ノ規則ガアルデス、  
ソレダカラ茲デ文部省ガ此ノ規則ヲ認可  
シテ可ト決定サレレバ根本ノ方針ト云フモノ  
ガ、チヤント決マツテ居ナケレバナラス、  
私ハ宗教ノ名前ハ申シマセスガ、私ノ驚イ  
タノハ、此ノ規則、教典ニハ勿論管長ヲ決  
メル條項ヲ決定シナケレバナラスガ、此ノ  
教典ハ全國ノ教會、全國ノ信徒ヲ集メテ、  
教典審査會トカ云フヤウナモノヲ作ツテ、  
現ニ角新シイ規則ヲ拵ヘタ、是ハ一ツノ例  
デスガ、其ノ規則ニ於テハ管長ヲ決メル方  
ハ、選舉ニ依ルト決定シタ、ダカラ是ハ無  
論文部省ノ方ヘ參ツテ居リマス、此ノ選舉制  
度ヲ取ルト云フ理由ハ、全國幾萬幾百萬ノ  
信徒、教徒、是等ノ中カラ管長ヲ選ブトスレ  
バ、其ノ方法トシテハ公正ナル選舉ニ依ル外

ナイト云フコトデ、選舉ト云フコトニ決メ  
テシマツタノデアリマス、所ガ選舉ニ依ル  
ト甚ダ自分ノ不利ヲ感ズル管長サンナドガ  
アルラシイノデス、サウ云フ管長サンノ如  
キハ、選舉ハドウシテモ自分ハ當選ガ出  
來ナイ、他ノ者ガ當選スルカラト云フノデ、  
某派ノ某管長ハ自分ヲ擁護シテ、自分ガ管  
長ノ地位ニ當リ付ク爲ニ又案ヲ立テ來タ、  
全國ノ信徒ノ案ハ選舉デス、所ガ自分一人  
デ案ヲ立テテ、現管長ヲシテ此ノ儘管長  
ラシムル、而モ自分一人デハナイ、其ノ子  
孫ヲシテ世襲セシムルコトト云フ、實ニド  
ウモ蟲ノ好イ案ヲ立テ來タ、是デハ勿論  
現管長ハ其ノ儘自分ノ一生涯ヲ、安固トシ  
テ管長ノ地位ニ立ツノミナラズ其ノ子孫ガ  
ズツト管長デ、全然他ニ幾ラ適當ナ優良ナ  
ル管長候補者、管長適任者ガアツテモ、一  
切之ヲ排斥シテシマフ、サウ云フ排他主義  
ノ案ヲ立テ來タ、ソレカラ其教派ノ案ト  
シテ、全國信徒ノ希望スル選舉法案ト、某  
管長ノ獨占案トガ對立シテ居ル、島田君ノ  
案ト云フモノハ一本ニシテ與レト、文部省  
ハ言ハザルヲ得ナイコトニナル、私ガドウ  
モ此處デ本當ニ呆レタノハ、只今モ申シタ  
ヤウニ、此ノ各教派ガ目的デアリ、信徒ガ  
目的デアツテ、管長或ハ其ノ機關タル住  
職トガ管長トカ云フモノガ、其ノ地位ヲ獨  
占シ、一切他ヲ入レナイノミナラズ、之ヲ  
世襲ニセントスルガ如キ、全然ハ利己主  
義ト云フカ、我利主義ト云フカ排他的デア  
ツテ、許サベカラザル思想デス、又餘リ勝  
手過ギル、如何ナル者ガ居ツテモ如何ナル  
理由ガアツテモ、自分ガ永遠ニ死スルマデ

其ノ地位ヲ持つツノミナラズ、其ノ子孫ヲ  
シテ獨占セシムルト云フノデアリマス、  
私ハ文部省ハサウ云フ我利ガ出テ來テハ、  
御困リデアラウト思フ、而シテ斯ウ云フ時  
ニハ何時デモ、此ノ宗教家トカ、宗教團體  
トカ、有力者ガ文部省ニ運動ニ行ク、蓋シ  
文部省ニ今行ツテ居ルト思ヒマス、私ノ知  
ル所デハ某子爵トカ、某貴族院議員トカ云  
フコトデ行ツテ居ルト思ヒマス、是レ以上  
ハ申上ゲマセスガ、是デハ御困リデアラウ  
ト思フ、併シ理論ノ上カラ言ヘバ、現管長  
ガ世襲的ニズツト守ルト云フコトハ、一職  
シテシマヘバ宜イ、ケレドモドウモ情實運  
動ハ一職シキイモノダト思ヒマスカラ、  
事實ニ於テハ斯クノ如キ唾棄スベキ事實ガ  
アルト云フコトヲ、此處デ申述ベマシテ、  
少クとも管長ヲ選定スル規則ニ對スル認可  
方針ハ何ニ依ルカ、本當ニ適當シヤウナ  
適材ヲ、管長ニ擧ゲルト云フ方針デ行カ  
ソレトモ現管長ヲ其ノ儘採ルト云フ方針デ  
行カ、此ノ御説明ガ願ヒタイ、御尋ネス  
ルノハ唯是ダケデス、モウ少シ言ヘバ、是  
ハ今井サンノ御説モアリマシタガ、眞ニ恐  
ロシイモノデス、鬼ニ角各宗派ト云フモノ  
ガ、幾百萬ノ信者ヲ持つテ居ルノデスカ  
ラ、是ハ本當ニ尊イ神祇、佛様ダト云フノ  
デ言フ通りニナル、洵ニ恐ロシイモノデス、  
デスカラ此ノ指導ヲ誤リ監督ヲ誤ツタラ大  
變デス、管長決定ノ規定ニ依ツテ、誰ガ運  
動ニ來ヨウト、誰ガ頼ンデ來ヨウト、理窟  
ノナイコトハ斷然トシテ、之ヲハネルト云  
フコトニシテ貫ヒタイト思フ、之ニ付テ政  
府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十四回 昭和十六年三月二十二日

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ

○阿原政府委員 現在ノ此ノ非常時局ニ於  
キマシテ、宗教ノ健全ナル發達ヲ圖リマシ



テ、宗教家ノ眞ノ報國ノ誠意ヲ致サシメルコトハ、洵ニ緊要ナコトデアラウト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ立場カラ、宗教行政上ニ於キマシテモ、從來指導モ致シ又監督モ致シテ來タノデアリマスガ、今後又サウ云ツテ意味ニ於キマシテ、十分ニ指導監督ヲ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、先程御話ガゴザイマシタヤウニ、現在教規宗制ノ認可ト云フ問題ニ絡ミマシテ、教派宗派ノ中ニ今日尙ホ認可ノ期限ガ迫ツテ居ルニ拘ラズ、内部ニ紛争ヲ見ツアリマスルモノノアリマスコトハ、私共洵ニ遺憾ニ考ヘル次第デアリマシテ、是等ニ付キマシテハ出來ルガテ努力致シマシテ、期限デアリマスル今月一パイマデニ、文部大臣ノ認可ノ得ラレマスヤウニ、現在努力シツアル次第デアリマス、殊ニ先程御話ノアリマシタ管長選任問題ニ絡ミマシテ、色々ノ問題ノ起ツテ居リマスコトハ、特ニ私共遺憾ニ思ヒ、又極メテ厭ヤナ感シヲ持ツテ居ルノデアリマス、サウシタ問題ニ付キマシテハ、大體私共ノ考ヘト致シマシテハ、宗教團體法ノ精神ニ則ルト云フコトハ、申スマデモアリマセウガ、同時ニソレレノ教派、宗派ニハ其ノ教祖、宗祖ノ教ヘト云フモノモゴザイマス、又長イ歴史、沿革、傳統ト云フモノモゴザイマスカラ、サウ云フモノヲ十分ニ尊重シナガラ、宗教團體法ノ精神ニ則ツテ行キタイト思ヒマス、殊ニ教派ノ現在ノ實情ニ付キマシテハ、私共内容ヲ十分精密ニ探リマシテ、其ノ實情ニ適應ルサウニ指導シテ行キタイト考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナ立場カラ管長專任問題モ取扱ツテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスコトヲ此ノ際申

上ゲテ置キマス  
○板野友造君 私が今申シマシタヤウニ、自薦運動ヲシテ、ドウカ私ノ一生涯ダケ管長ニシテ呉レ、今デハ拙者ノ子々孫々ガズツト管長ノ榮位ヲ占メタイトハ言ハヌニシテモ、ソレダケハ今デハ抛棄シタニシテモ、ドウカ自分ノ一生ヲトテ言フテ、其ノ人個人ノ都合、個人ノ榮位、個人ノ利益ノ爲ニハソレガ宜イデセウガ、ソレハ理窟ガナイ、現在衆議院デモ貴族院デモ、之ヲズツト一生涯議員ノ現職ニシテ、サウシテ其ノ子孫マデ議員ニスルト云フヤウナコトヲ言ヒ出ス者ガアツタラ、是ハ氣遣ヒト云フ外ハナイデセウ、ソナナコトヲサレテハ迷惑ニ感ズル議員モ多數アリマセウ、中ニハ其ノ方ガ便利ト云フ人モアリマセウガ、一生涯管長ヲ其ノ儘ニシロナドト言フノハ理窟ガナイ、自分ガ榮位ヲ得、自分ノ權益、自分ノ都合ノ爲ニナル、而シテ此ノ重要ナル各教派ノ管長ガソレヲヤルト云フコトハ、文部ノ上ニ寄ガアル、サウシテ自薦運動ノ目的ヲ達スルガ爲ニ、某子爵、某貴族、某議員、其ノ他有力者ヲドンノ客越ス、サウ云フ自薦運動ニ依ツテ、自分ガ榮譽ト利益ヲ獨占スルガ如キハ、事文教ニ關シ、普通ノ者ガヤツテモ宜クナイガ、況ヤ教派ノ管長タルモノガ左様ナコトヲヤルト云フコト自體ガ、管長トシテノ資格ガナイ、缺格者ト云フコトヲ現ハス、通格、缺格ハドウデモ宜イガ、事文教ニ寄ガアルト御考ヘニナリマセウカドウデスカ

○阿原政府委員 宗教團體法三月三十一日マデニ文部大臣ノ認可ヲ得ルコトニナツテ居リマシテ、認可ノ期限ガ切レマシタモノハ、宗團法ノ精神ニ依ツテ宗教結社ニナラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス  
○板野友造君 有難ウゴザイマシタ  
○阿原政府委員 宗團法三月三十一日マデニ文部大臣ノ認可ヲ得ルコトニナツテ居リマシテ、認可ノ期限ガ切レマシタモノハ、宗團法ノ精神ニ依ツテ宗教結社ニナラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス  
○西村委員長 今後ノ議事ノ進行ノコトニ付テ申上ゲマス、今日マデ政府當局出席ノ成績極メテ不良ノ爲メ、委員會ノ進行ガ延ビノナリ、殘餘ノ期日モ切迫シテ、委員長トシテ洵ニ遺憾ニ存ジマス、隨テ已ムヲ得ズ殘餘ノ總會ノ質裏ハ明後二十四日午後二時ノ總會ニ留保シ、次ハ分科ニ移シ、其ノ審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス、委員長ニ豫テ御一任ニナツテ居リマシタ分科ノ主任ヲ指名致シマス  
第一分科主任 福田關次郎君  
第二分科主任 鹽川 正藏君  
第三分科主任 高橋 義次君  
第四分科主任 高見 之通君  
以上ノ方々ニ御願ヒ致シマス  
次ニ大藏省國有財産小委員ヲ指名致シマス  
今井 新造君 伊東 岩男君  
河合 義一君 鹽川 正藏君  
高見 之通君 高橋 義次君  
瀧澤 七郎君 福田關次郎君  
松浦周太郎君 森下 國雄君

以上ノ十名ノ方々ニ御願ヒ致シマス、尙ホ分科會ハ明後二十四日午前十時、小委員會ハ午後一時ヨリ、總會ハ午後二時ヨリ開會致シタイト思ヒマス、分科會ノ室ハ第一、第二分科聯合會ハ本委員室、第三、第四分科聯合會ハ第十委員室ニ準備致シテアリマス、分科ノ各委員ノ制當ハ公報ヲ以テ通知致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス  
午後六時二十分散會  
(參照)  
分科ノ區分、主任ノ選定、分科所屬員ノ配置及小委員左ノ如シ  
第一分科(大藏省所管)  
主任 福田關次郎君  
淺井 茂猪君 石坂 繁君  
小笠原八十美君 木村 淺七君  
駒井 重次君 瀧澤 七郎君  
森下 國雄君 仲西 三良君  
濱地 文平君 生田 和平君  
第二分科(外務省、内務省、司法省、文部省及厚生省所管)  
主任 鹽川 正藏君  
小見山七十五郎君 伊東 岩男君  
岩瀨 亮君 大内竹之助君  
津倉 龜作君 河合 義一君  
信太儀右衛門君 松浦周太郎君  
松本治一郎君 山川頼三郎君  
第三分科(陸軍省、海軍省、農林省及商工省所管)  
主任 高橋 義次君  
池田七郎兵衛君 小山 亮君  
石井徳久次君 清水徳太郎君  
大島 宙吉君 田中 義達君  
豐田 豐吉君 眞鍋 勝君

紅露 昭君 山元龜次郎君  
第四分科(選信省、鐵道省及拓務省所管)  
主任 高見 之通君

- 江原 三郎君 今井 新造君
- 池本甚四郎君 會木 重貴君
- 大野 一造君 田代 正治君
- 玉野 知義君 中村 梅吉君
- 村瀨 武男君 淺沼稻次郎君
- 小委員左ノ如シ
- 今井 新造君 伊東 岩男君
- 河合 義一君 鹽川 正藏君
- 高見 之通君 高橋 義次君
- 瀧澤 七郎君 福田關次郎君
- 松浦周太郎君 森下 國雄君



昭和十六年三月二十二日印刷

昭和十六年三月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第一號

第七十六回帝國議會 院 決算委員會議錄(速記)第二十一回

(11711)

會 議  
昭和十六年三月二十四日(月曜日)午後二時  
四十七分開議  
出席委員左ノ如シ

- 委員長 西村 茂生君
- 理事 高見 之通君 理事 福田 關次郎君
- 理事 鹽川 正藏君 理事 高橋 義次君
- 伊東 岩男君 今井 新造君
- 小山 亮君 石坂 繁君
- 小笠原 八十美君 大島 寅吉君
- 河合 義一君 木村 淺七君
- 清水 徳太郎君 曾木 重貴君
- 田代 正治君 瀧澤 七郎君
- 玉野 知義君 濱地 文平君
- 眞鍋 勝君 生田 和平君
- 松浦 周太郎君 松本 治一郎君
- 山川 頼三郎君 淺沼 稻次郎君
- 山元 龜次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算、昭和十四年度十四年度國有財産増減總計算書  
○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、豫メ今日ノ議事ノ進行ノ豫定ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、只今カラ質疑ノ留保サレテ居ル方々ガアリマスカラ、其ノ質疑ヲ此ノ總會ヲ御許シテ致シマシテ、ソレガ濟ミマシテ、毎年ノ議會トハ大分様子ガ違ヒマスカラ、一寸休憩ヲ致シマシテ御懇談ヲシテ、ソレカラ此ノ決算委員會ノ決定ノ議事ニ移リタイト思ヒマス、生田和平君  
○生田委員 昨ハ近衛總理大臣ノ御出席ヲ願ヒタイノデアリマスガ、總理大臣ハ此ノ委員會ニハ御出席ニナラナイト云フコトデ、

ソコデ已ムヲ得ズ富田書記官長ノ御出席ヲ御願ヒシタノデアリマスガ、是モ亦差支ガアリマシテ、法制局長官、參事官、私ノ希望スル政府委員ノ方ハ何レモ御出席ガ出来ナイサウデアリマス、已ムヲ得ズ他ノ政府委員ニ御伺ヒスルノデアリマスガ、文部省ノ方ハイツツシヤイマス  
○西村委員長 直グ來ラレドセウ、一寸御待チ下サイ  
○生田委員 モウ一度繰返シテ申上ゲマス、私ハ近衛總理大臣ニ質疑ヲ致シタカウツノデアリマスガ、總理大臣ハ此ノ委員會ニハ御出席ガアリマセウ、已ムヲ得ズ富田書記官長ニ御出席ヲ求メタノデアリマスガ、書記官長モ、法制局長官モ、法制局參事官モ御差支ヘテ御出席ガナイ、此ノ委員會トシテハ甚ダ遺憾ナコトデアリマシテ、已ムヲ得ズ文部省政府委員ニ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、昨年八月二十八日新體制ニ對スル政府ノ御聲明ガアリマシタ其ノ中ニ「萬一懸賞ノ意思ニ於テ異ルモノアリトスレバソレコソ懸賞ニ仰ダベキデアリ、一度ビ聖斷ノ下サレタルトキハ凡テ臣僚ガ承認必シク大義ニ歸スルコトガ日本政治ノ眞カレテ居リマス、是ハ懸賞會ガ現ニ其ノ性質ト改組ノ問題ノ取上ゲラレテ居リマス現狀ニ於キマシテハ、一層重大性ヲ持ツモノト思フノデアリマス、ソコデ先ツ「萬一懸賞ノ意思ニ於テ異ルモノアリトスレバ」ト云フコトハ、ドウ云フコトヲ豫期セラレテ居ル

ノデアルカ、又ドウ云フコトヲ豫定セラレテ居ルノデアルカ「聖斷ニ仰ダベキ」場合ハドウ云フ場合ヲ豫期セラレテ居ルノデアルカ、今一ツハ「凡テノ臣僚ガ」ト云フ言葉ヲ御使ヒニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ臣僚ト云フノハドウ云フ範圍ヲ指サレルカ、特ニ「臣」ト云フ文字ニ對シテ其ノ意義ヲ承リタイト思ヒマス、若シ文部當局ニ於カレマシテ事頗ル重大デアリ、御答辯ガ出来ナイト云フコトデアリマスレバ、早速政府ニ此ノ質問ノ趣意ヲ御傳達下サイマシテ、本委員會ノ會期ノアル中ニ、責任ノアル御返事ヲ承リタイト思フノデアリマス  
○中野(善)政府委員 只今ノ御質問デゴザイマスガ、私能ク承知致シテ居リマセウノデアリマスガ、御答辯申上ゲルコトノ出来マセウノハ甚ダ遺憾デゴザイマス、只今ノ御趣意ニ依リマシテ、早速上司ノ方ニ報告致シテ置キタイト思ヒマス、左様御承知願ヒマス  
○生田委員 只今申シマシタ通り此ノ委員會ノ閉會期ハ迫ツテ居リマス、而モ會期モ明日デ終ルノデアリマスカラ、此ノ問題ヲ譯モナク御延シニナルト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス、其ノ點ハ政府委員ニ於カレマシテ手落ちノナイヤウニ、政府ノ方ハ御運ビテ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス  
○西村委員長 只今ノ生田君ノ御質問ハ非常ノ重大ナ問題ト思ヒマスガ、此ノ總會モ非常ニ時間モ切迫シテ來マシタガ、至急ニ文部當局カラ質疑者ノ要旨ヲ御傳ヘ願ヒマ



○今井(新)委員 文部省ノ方ニ一影響ヲ...

○中野(善)政府委員 能ク問題ニナルコト...

○今井(新)委員 私立學務部長ノ全部ガ...

○山川委員 斯ウ云フ俚イ御方ニ御同ヒ...

○今井(新)委員 宜シウゴザイマス...

○中野(善)政府委員 只今ノ點ニ御同感...

○今井(新)委員 宜シウゴザイマス...

○山川委員 斯ウ云フ俚イ御方ニ御同ヒ...

シテ、是非此ノ委員會ノ終了マデニ、都合...

ラヌ人ダナント云フコトハ申シテ居リマセ...

ラ罷メサセロト言フテ來タカラ群表ヲ出シ...

○中野(善)政府委員 只今ノ點ニ御同感...

○今井(新)委員 宜シウゴザイマス...

○山川委員 斯ウ云フ俚イ御方ニ御同ヒ...



カ、學務課長サントカ云フ人不足ヲ言ハ  
ンナラヌヤウナ御方ハ、初メカラ一人モ来  
テ戴イテ居リマセヌノデ、サウ云フコトハ  
大變満足シテ居リマス、唯私ガ此處申  
上ゲタイト思ヒマスノハ、今日マデ都會  
ハ都會ノ附近ノ大キナ學校ニハ、月給ノ高  
イ校長サンガ坐ル、斯ウ云フコトニナツ  
テ居ル、田舎ハ低イ月給ノ校長サンガ坐  
ル、是ハ其ノ村ガ六分トカ、或ハ六分五厘  
トカ、或ハ半分トカ村費ヲ補ハナケレバ  
ラスカラ、村ニ力ガナイデ致シ方ガナク、  
値打ガアツテモ、立派ナ校長サンデモ安  
月給居テ貰ツタノカモ知レヌケレド  
モ、長イ年月ノ間ニハ、ドウシテモ優秀ナ  
者ハ高イ所ノ俸給ヲ拂フ校長ニイッノ間ニ  
カ移リ變ルノデアリマス、ダカラ月給ノ高  
イ校長サンハ、高イダケノ校長サン、月給  
ノ安イ校長サンハ、マア安イダケノ校長サ  
ン、斯ウ云フコトニナツテ居ツタノデア  
アリマス、サウ致シマスルト、私ハ兵庫縣  
デアリマスルガ、神戸市内ト武庫郡、此ノ  
武庫郡ニハ一縣ニ匹敵スル程ノ大金持ガ寄  
ツテ居ル所デアリマスカラ、學校ノ先生モ  
良ケレバ、校長ノ月給位幾ラ出シタツテ、  
ソノナコトハ厭ハヌ所デアリマス、デアリ  
マスカラ校長サンハ皆月給ノ高イ校長サン  
ガ行ツテシマフ、出世スル人ハ皆ソコヘ入  
ル、今日マデハ村費出テ居ツタカラ、仕  
方ガナカツタカト思ヒマスガ、昨年ヨリ普  
通ノ教育費ト云フモノハ、國庫支辨ニナリ  
マシタカラ、モウ其ノ心配ハナイヤウニナ  
ツタノデゴザイマス、本年ヨリ校長ノ更迭、  
其ノ他學校ノ先生ノ交代ニ付キマシテハ、  
國ガヤラレルノデアリマスカラ、教育ハ田  
舎モ、都會モ大切ナコトハ同ジコトデアリ

マス、機會ハ均等デナケレバナラスト思フ  
ノデアリマスカラ、何處ノ田舎ノ端トレデ  
モ、立派ナ八九十圓、百五十圓、百八十圓  
ノ月給ノ先生デモヤハリ同ジヤウニ、二十  
五人居レバ二十五人、武庫郡バカリニ集メ  
テシマフ、神戸市バカリニ集メテシマフ  
云フノヲ、其ノ中カラ三分ノ一ハ取ツテ、  
ソレヲ他ノ地方ニモ、分布シテヤツタナラ  
バ、必ズソレハ全縣下ノ效果ガアツテ、  
ソレガ一つノ郡ノ見本トナツテ行クコトデ  
アラウト思ヒマス、俸給ハ貧弱ナル所ノ村  
ガ出スノデハナイ、又地方ノ貧弱ナル所ノ  
出スノデハナイ、力ノアル國ガ出スノデア  
ル、サウ云フコトガ伴ハナケレバ、唯地方  
ハ教育費ノ一部ヲ國ノ經濟ニ切替ヘテ貰  
テ、俸給ヲ支出スルニ於テ國ニ助けテ貰  
フト云フダケノ問題デハ、本當ノ意義ハナ  
サナイト思フ、私ハ市ヤ又サウ云フ有力  
ナ人ノ居ル所ニ粗末ナ校長ヲヤツテ呉レト  
云フ請求ヲスルノデハナイ、其ノ方ニモ良  
イ校長ヲ置イテ貰ハナケレバナラナイガ、  
田舎ノ方ニモ之ヲ置カト云フコトハ、非常  
ニ意義ガアルノデハナイカト思フノデアリ  
マス、此ノコトニ付キマシテ文部當局ノ御  
意見ヲ伺ツテ、今後部長會議デモ御催シニ  
ナリマス場合ニハ、斯ウ云フ方法ヲ執ルベ  
キデハナイカト云フヤウナコトヲ其申シテ  
戴キタイト思フノデアリマス、之ニ對スル  
當局ノ御意見ヲ御伺ヒ申上ゲタイ

○中野(善)政府委員 大體ニ於テ御尤モナ  
御意見ト思フノデアリマスガ、唯小學校  
是ハ今度國民學校トナリマスガ、教員ノ俸給  
ハ昭和十五年度カラ府縣ノ負擔ニナツタノ  
デアリマシテ、其ノ半額ヲ補助費ト致シマ  
シテ、國庫ガ負擔スルト云フコトニナツテ

居ルノデアリマス、金額ヲ國庫ガ負擔シテ  
居ルノデハナイト云フコトヲ御承知ト思ヒ  
マスガ、御參考マデニ申上ゲタイト思ヒマ  
ス、其ノ結果一つノ縣ノ單位ニ考ヘマス  
同一府縣内ニ於キマシテハ、其ノ俸給ノ豫  
算ガ一本ニナリマスノデ、只今御話ニ出  
マシテモ、市郡ト郡郡トノ間ニ於キマシテ  
シヤウナ兵庫縣、或ハ其ノ他ノ府縣ニ於キ  
マシテモ、市郡ト郡郡トノ間ニ於キマシテ  
教員俸給ニ著シイ差ガナイコトニナリマス、  
田舎ノ山ノ奥ニ居リマシテモ、其ノ教員ノ  
勤務成績、勤続年數ニ依リマシテハ、都會  
ニ居ル教員ヨリモ好イ待遇ヲスルコトガ出  
來ルト云フコトニナリマシタノデ、此ノ點  
ハ色々御議論モアリマシタガ、大變良イ制  
度ニナツタト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ  
全國的ニハ平均ハ致シテ居リマセヌガ、唯  
各府縣ノ範圍内ニ於キマシテ、田舎モ都會  
モ同一ニ俸給ヲ授ケテ居ルコトデアリ  
マスカラ、只今御希望ノヤウナ山ノ中、邊  
鄙ナ所ニモ優良ナ教員ヲ置イテ、長ク其ノ  
地位ニ安シメシメテ、俸給モ十分ニ引上  
ルト云フコトハ、是ハ可能ナ課デアリマス、  
各府縣トモサウ云フヤウニ努メテ居ルト考  
ヘテ居リマス、唯昨年モ議會デ問題ニナリ  
マシタガ、寧ロ市郡ノ側カラノ理由デアツ  
タヤウデアリマスガ、市郡ノ側デ多少不安  
ニ驅ラレタコトハ、優良ナ教員ヲド  
郡郡ノ方ニ引拔カレハシナイカト云フ御心  
配ガアツタヤウデアリマスガ、ソレハ必ズ  
シモサウ云フ風ニナリマセヌデ、田舎ノ方  
ニモ、都會ノ方ニモ、各教員ニハ都會向キ  
ノ教員モアリ、田舎向キノ教員モアルノデ  
アリマスカラ、適材適所ニ依ツテ、待遇ノ  
點ニ於キマシテハ何レニ勤務致シマシテモ、  
十分勤務出來ルヤウナ方法ヲ講ジテ居リマ

フコトガ原因ニナツテ居ルノデアリマスカ  
ラ、ソレヲモウ一ツ長ク引留メテ、働キ盛  
リノ校長ノ首ヲ離ル時間ヲ長クシテ、引張  
リサヘスレバ校長ハ長ク居ルノデアル、神  
戶市ノ者、武庫郡ノ者ヲ引拔カヌデモ、田  
舎ノ方ニモ三箇村、五箇村ニ一人位立派ナ  
校長ヲ連レテ來ルコトガ出來ル、必ズシモ  
都會ニ勤メテ居ル人ガ都會ニ適シタ人デモ  
ナイ、田舎ニ勤メテ居ル者デモ田舎ニ適シ  
タ人デアラカドウカ、サウ云フコトハ分ラ  
ヌ、自分ノ經驗デ半年カ一年シタラドツ  
ニ適スルカ分ル、ダカラ俸給ハ今日マデ百  
二十圓ノ校長サンノ所ニ、百六十圓ノ校長  
サンヲ持ツテ來テモ、百八十圓ノ校長サン  
ヲ持ツテ來テモ、私ハ只今ノ制度デアツタ  
ラ少シモ差支ナイト思フ、唯少シ金ニ關  
係スルト云フダケデ、金ノ關係デ上等ナ人  
ノ首ヲ離ツテシマフ、サウシテ其ノ首ヲ離  
ツタ結果ハドウカト云フト、段々空ニナツ  
テ行ク、段々粗末ナ校長サンガ田舎ニ集  
ルノデアル、上等ナ校長サンハ都會附近ニ  
集中サレテシマフ、斯ウ云フコトニナル、  
ドウゾ一ツ此ノ意味ニ於キマシテ首ヲ離  
ルノモウ二三年待ツテ戴キマシテ、サウシ  
テ俸給ガ上ツタラ、都會附近ノ飛拔ケテ高  
イ俸給ノ人デモ持ツテ來テ貰ハナケレバナ  
ラス、上等ノ首席ヲ置テ百二十圓、校長  
サンモ百二十圓デアル、サウ云フコトニナ  
ツテ來ル、サウスルト百二十圓ノ首席ノ居  
ル所ニハ、百五十圓ノ校長ヲ引張ツテ來ル、  
斯ウ云フヤウニ進シテ行クノヲ抑ヘズニ、  
進ム儘ニモウ三年バカリ延バシテ貰ヒマシ  
タナラバ、全體ノ教育ガ變ツテ來ル、況シ  
テ先程申シマシヤウニ、國民學校ニナツ  
タ以上ハ尙更サウデアル、斯ウ云フヤウニ

考ヘルノデ、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス  
○西村委員 皆サンニ御話ヲ致シマスガ、  
中山君ガ簡單ニ關聯質問ヲ申出シ  
居リマスノデ、委員外ノ質問ヲ許シテ宜シ  
ウゴザイマスカ

○西村委員 中山君  
中山君 只今文部省ノ方ガ御見ニ  
ナツテ居リマスカラ御尋ネシマス、元來是  
ハ内務省トノ關聯シタ事項デアリマス、今  
日本ノ社會ニ大流行シテ、半バ宗教的氣分  
ヲ持ツテ居ル「生長ノ家」ト云フノガアリ  
マス、是ハ其ノ「生長ノ家」デ出シマス本デア  
リマス、之ニハ陸軍少將ト、海軍中將ガ關係シ  
テ共著ニナツテ居リマス、「生長ノ家」ノ谷  
口雅春ト云フ人ト、海軍中將ノ松山茂ト云  
フ人ト、陸軍少將ノ高橋次郎ト云フ三人  
ノ共著ニナツテ居ル、此ノ書物ヲ見マス、  
瑞穂國ト云フノハ全世界ガ、瑞穂國ト云フ  
ノハ全世界デアツテ、サウシテ日本ノ皇道  
精神ノ發揮ハ世界中ノ國境ヲナクシテ、サ  
ウシテ日本ノ 天皇陛下ガ其ノ上ニ御坐リ  
ニナル、斯ウ云フコトガト書イテアル、是  
ガ指導理念ニナツテ居リマス、サウスルト  
文部省ノヤラレルコトト、根本カラ違ツテ  
來ル、又陸軍ノ仰シヤル聖戰ノ意義ハ根本  
カラ破損サレル、是ハ私ガ抽出シテ申上  
ゲルノデアリマセヌ、御參考ノ爲ニ其ノ一  
部ヲ讀ミマス、此ノ運動ニハ全世界ガ一國  
デナケレバナラヌト云フ古今ヲ通ジテ誤ラ  
ザル眞理ト、全世界ニハ中心ガ唯一ツダケ  
アルベキダト云フ天地一切ノ事物ニ通ズル  
眞理トガ完備シテ居ルノデアリマス、瑞穂ノ  
國ト申シマス、先刻一寸申シマシヤウニ、  
水火(ミツホ)ノ國、一(ミツホ)ノ國、

即チ時間空間ノ十字交叉ニ依ツテ出來上ツ  
テ居ル現實ノ國、世界全體ヲ云ツタモノデ  
アリマス、世界全體ハ大日本 天皇陛下ノ世  
々王(キミ)タルベキ地デアルト云フコトハ、  
天照大神ノ御神勅以來定マツテキマスノ  
デ、ソレガマダ實現シナイデキルノハ準備  
時代デアラカラデアリマス「斯ウ云フ風ニ出  
テ居ル」(ロシヤ)ノ「コミンテルン」ノ思想ト、  
日本ノ思想ガ何處ガ違フカト云フ說明ニハ  
日本ニハ 天皇陛下ガ居ラツシヤル「ロシ  
ヤ」ノ「コミンテルン」ノ國境取除ケノ運動ト  
云フモノニハ、 天皇陛下ガ居ラツシヤ  
ナイ、是ダケガ違フト書イテアル、是ハ昭和  
十一年ニ出來タ本デス、ソレガ百万ノ信徒  
ニバテ撒カレテ居ル、サウスルト日本ノ文  
部省ノヤラレル「千五百秋ノ瑞穂ノ國」ト云  
フコトガ、其ノ意味カラ言ヘバ信者ニハス  
ツカリ逆ニナツテシマフ、又皇軍ガ盛ンニ  
叫ンデ居ラレル聖戰ノ意義、即チ各國ヲシ  
テ各處ヲ得セシメルト云フコトハ、根本カ  
ラ違ナシニナツテシマフ、何故斯ウ云フモ  
ノヲ文部省ハ、内務省ト御協議ニナツテ取  
締ツタ上、チヤント自分ノ教育ノ根本方針  
ニ合致スルヤウ態度ヲ御決定ニナラヌカ、  
是ハ昭和十一年ニ出テ居ルカラ、六、七年放  
ツタラカシデアル、而モ是ハ軍部ノ方ガ二  
人モ入ツテ居ル、海軍中將ト、陸軍少將ガ  
名前ヲ出シテ居ル、之ニ付文部省トシテ  
ノ御意向ヲ承ツテ置キタイ、斯ウ云フ「ル  
ズ」ナコトヲシテ置イテ宜イモノカドウカ  
ト云フコトヲ承ツテ置キタイ

○中野(善)政府委員 只今ノ御質問ノ點デ  
アリマスガ、私全然見テ居リマセヌノデ、  
先程他ノ委員カラノ御質問ト同様ニ御答ヘ  
出來ナイノヲ洵ニ遺憾ニ存ジマスガ、是非

○中山君 御答申上ゲル必要ガアルト云フコト  
デアリマシタナラバ、尙ホ答申出來ル者ト  
連絡ヲ取リタイト思ヒマス

○中山君 斯ウ云フコトヲ申スノハ御  
氣ノ毒デスケレドモ、苟モ勅任ノ地位ニア  
ラレル文部省ノ局長トシテハ、概念的ニ總  
テノ教育問題ノ基本ト云フモノヲ中心ニ御會  
得ニナツテ居ラレナケレバナラヌ答ゲト思  
フ、其ノ御方ガ此ノ問題ニ付テ一應當局者  
ト御相談ヲナサラナケレバナラヌト云フコ  
トハ、局長トシテサウ云フ御答申ハ如何ナ  
モノデアリマセウカ、私ハ斯ウ云フ御答申  
ハ即座ニ出來ナケレバナラヌ問題デハナイ  
カト思フ、又軍部ノ方モ御二人御見ニナ  
ツテ居リマスカラ、軍部トシテノ御意見ヲ  
此ノ際承ツテ置キタイ、是ハ大變ナ問題デ  
ス、百万人ノ信者ガ居リマスヨ、ドウゾ一  
ツ仰シヤツテ下サイ——御答申ガナイノデ  
セウカ、是ハ重大ナ問題デスヨ、今更考ヘ  
ル必要ハナイ問題デス

○西村委員 中山君、色々御意見ガアリ  
マシタガ、今專門ノ政府委員ニ出テ戴キマ  
スカラ……

○中山君 軍部ノ方ノ御意見ハドウデ  
セウカ、是ハ聖戰ノ意義ニモ關係ガアリマ  
スカラ、承ツテ置キタイ、斯ウ云フ考ヘ  
持ツタ人ガ軍隊ニ居ツタラ、ヤリ方ガスツカ  
リ違ヒマスヨ

○武井政府委員 特ニ海軍ノ者カラ御答ヘ  
スルトモドウカト思ヒマスガ、折角ノ御  
質問デアリマスノデ、一應御答ヘ致シマス、  
御述ベノ通りデアリマスレバ、相當ニ研究  
シテ何等カノ措置ヲ執ラナケレバナラヌデ  
アラウト考ヘマス、唯私個人ノ考ヘト致シ  
マシテハ、恐ラク述ベマシタ心持ガ、物質



的ノ意味ヲナシニ、精神的ノ意味ヲアルト云フ風ニ實ハ御讀ミニナルヲ聴キナガラ感シタノデアリマス、是ハ私ノ私見デアリマシテ、何レソレハ文部省等ニ於テ取調ノ上適當ニ處置サレルコトト思ヒマス

○中山福藏君 軍部ニ於テモ、斯ウ云フ書物ガ澤山出テ居ルノデアリマスガ、是非非常ナ國家ノ根本思想ニ影響ヲ及ボス大問題デアリマスカラ、十分御研究ニナラレルヤウニ希望致シマス、色々ナ書物ヲ讀ンデ見マスト、途方モナイ書物ガチヨイノ飛ビ出シテ参リマス、而モ相當指導ノ地位ニアル書物ニ斯ウ云フモノガアリマスカラ、十分ニ御研究ヲ賜リタイ、後當該局長ガオイデニナルサウデスカラ、其ノ節マデ私ハ質問ヲ留保シテ置キマス

○眞鍋(勝)委員 商工省ノ方ガ此處ニオイデニナリマスガ、私此處デ御尋ネ致サントスルコトハ、度量衡法ノコトデアリマシテ、事柄ハ商工省ノ所管デアアル、併シ陸軍、海軍、文部省トモ密接ナ關係ガアリマスノミナラス、先般本議會ノ豫算第五分科會デゴザイマシタカ、此處ニオイデニナル商工省ノ度量衡局長カラ、北陸吉君ノ質問ニ對シテ御答ニナツタ一節ニ、斯ウ云フコトガアツタ、「殊ニ陸海軍ニ於テハ軍需資材ノア他殆ド、「メートル」法ヲ使用シテ居ルノデアリマシテ、國防上ニ於テモ非常ニ重要デアリ、殊ニ所謂高度國防國家ヲ完成スル上ニ於テハ、産業上カラ申シテモ、國防上カラ申シマシテモ、「メートル」法ノ普及ハハハリ必要デアアルト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、今申上ゲタヤウナ方針デ参リタイト思フノデアリマス、マダ長ク御答ヘガアリマシタガ、詰リ高度國防上ト

ウシテモ「メートル」法デナケレバナラスト云フノデアリマス、ソレカラ又小島商工次官ハ、同様北氏ノ質問ニ對シテ「併シナガラ社會文化、經濟ノ基準トナリマス度量衡制度ハ、既ニ相當慎重ニ官民ノ間ニ協議ヲ致シ、又文部、陸海軍、産業擔當官廳ノ各省ガ十分ニ研究ヲ致シマシテ、法令ノ改正ヲ致シマシテ、故ニ國論ガ纏マリ、ソレニ依ツテ此ノ度量衡制度ヲ運用シテ參ルコトニナリマシタ、隨ヒマシテ今度モヤハリ此ノ度量衡制度ハ「メートル」法、尺貫法兩方ヲ併用スルト云フヤウナコトデアリマシテ、何處マデモ基準ハ「メートル」法デ參ルト云フ風ナコトデアリタイト思フノデアリマス」ト云フヤウナ御答辯デアリマシタノデアリマス、敢テ私共ハ建議案ヲ出シタノデアリマスガ、是ハ局長ハ既ニ御承知デアリマスケレドモ、陸海軍ノ方ハ初メテコトデアリマセウカラ、一應時間ノ都合上、私共ノ提出致シマシタ建議案ヲ此處デ讀上ゲマシテ、御諒解ヲ得タ上デ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、度量衡改正ニ關スル建議案ハ、斯ウ云フノデアリマス

「法ハ假令惡法ト雖モ「法ナリ」トハ是レ古來歐洲ニ行ハルル法詭ナリ其ノ意蓋シ人民ニ法規ヲ嚴奉スヘキコトヲ訓ユルト共ニ反面ニ於テ立法ノ局ニ當ル者ハ惡法ヲ制定シテ生民ヲ苦シムヘカラサルコトヲ訓戒セルモノナリ我カ現行度量衡法ハ大正十年「メートル」法專用ノ制ニ改メラレタルモ我カ國ニハ遠ク一千年前ヨリ國民ノ習慣慣用シ來レル尺貫法ノ在アリテ國民ノ日常生活ト緊要不可分ノ關係ヲ有シ一般國民ハ到底之ヲ廢棄スルコトヲ得

ス當時國ヲ擧ケテ之ニ反對セルヲ以テ政府モ之カ急務ノ困難ナルヲ悟リ昭和八年十二月第一期豫算期間ヲ五箇年間延期スルノ已ムナキニ至レリ今日立憲政治ノ下議會ノ議決ヲ經サル法律ノ成立ヲ容ササルハ固ヨリナリト雖議會其ノ他ニ於テ審議ノ慎重ナラサル結果トシテ國風ニ反シ習俗ニ逆セサル法律カ絕對ニ成立セルコト無キヲ保シ難シ此ノ故ニ既ニ一旦御裁可ヲ經テ公布セラレタルモノト雖後ニ至リ其ノ不當ナル點ヲ發見スレハ之ヲ改廢セサルヘカラサルハ當然ノコトニ屬ス況キ本問題ノ如キ輿論ノ反對ハ遂ニ帝國議會ニ反映セルモノニ於テヤ即チ衆議院ハ昭和九年第六十五議會並同年六十七議會ニ於テ現行度量衡法改正法律案ヲ提出シテ兩度トモ大多數ヲ以テ通過シ又貴族院ハ昭和九年第六十五議會ニ於テ「メートル」法專用ノ不適當ナルコトヲ認メ調査會ヲ設ケテ我カ國情ニ即シタル度量衡法ヲ制定スヘシ」ト建議案ヲ滿場一致可決セリ仍テ其ノ結果度量衡制度調査會ノ設立ナリ前後四箇年ノ久シキニ互リテ審議ノ結果現行度量衡制度ハ「メートル」法ノ專用ヲ企圖シ居ルモ之カ實施ノ成績ニ鑑ミ連ニ同法ノ外ニ尺貫法ヲ併用スルコトニ改ムルヲ可ト認ムトノ答申ヲ爲シ特ニ祭祀ヲ初メ農地關係等ハ尺貫法ニ據ルノ要アル旨ヲ強調附記スル所アリタリサレハ政府ハ當然右調査會ノ答申ヲ尊重シ根本ノ現行度量衡法ヲ改正シ「メートル」法ヲ併用ノ改正法律案ヲ草シ議會ヲ協贊ヲ經テ法律ヲ改正シ以テ國民生活ノ基準タル度量衡法ヲ我カ國情ニ即セシムヘキニ拘ラス姑息偷安故ラ

御答ヘガアリマシタガ、詰リ高度國防上ト

ニ其ノ擧ニ出テス昭和十四年一月僅ニ勅令ヲ以テ一時ヲ糊塗スルニ止メタリ即チ「特別ノ由緒アル用途ニ供セラレ其ノ他特別ノ由緒アル建造物、寶物其ノ他ノ物件ニ關シテハ從前ノ慣例ニ從ヒ尺貫法ヲ用フルコトヲ得、土地建物ニ關シテハ當分ノ内、其ノ他ノモノニ關シテハ昭和十三年迄尺貫法ヲ用フルコトヲ得」ト爲シ結局神社、祭祀、宗教、美術、史實等國體上特別ノ由緒アルモノノ尺貫法ノ使用ヲ許容シ其ノ他ハ今後二十年ヲ期シテ一般ニ禁止シテ我カ國古來ノ尺貫法ヲ全廢滅セシムトスルモノノ如シ若シソレ斯ノ如クニシテ放置セムカ次代國民以降尺貫法ノ觀念ハ我カ國民ノ腦裡ヨリ永久ニ滅却シ去リ假令祭祀關係ノミハ除外例トシテ之ヲ存積スルモ國民ノ正シキ理解ハ困難ナルノミナラス延テ我カ國史ノ中斷トナリ傳統文化ヨリ遊離シ國體觀念ノ稀薄ヲ招來スルノミナラス現實ニ於テハ日常生活ノ不便トナリ取引上多大ノ混亂ニ陥ルヘキハ自明ノ理ナリ凡ソ傳統ノ破ラレタルコト風俗ノ紊ルルコト而シテ傳統ノ破ラレ風俗ノ紊ルルコト國家ノ健全ナル發達ハ得テ期シ難シ加之縱ヒ向フ二十年間尺貫法ノ使用ヲ猶豫セラルルニセヨ將來「メートル」法專用ヲ規定スル現行法ノ嚴存スル限リ學校ノ教科書ヲ初メ政府ノ公文書其ノ他ノ標準カ「メートル」法ニ依リ表示セラレヘキニ由リ國民ハ無理解ノ裡ニ默從スルノ外ナク之カ爲家庭及社會ノ混亂紛濁ハ免レ難ク且此ノ間ニ乘スル不正奸商ノ跋扈等今後永ク蒙ルヘキ不利不便、不條理不都合ハ

斯ウ云フ建議案ヲ出シタノデアリマスガ、其處ニオイデニナル度量衡局長ハ、依然トシテ「メートル」法ヲ主トシテヤウテ行カレルト云フノデアリマスケレドモ、陸軍ナリ、或ハ海軍ナリガ高度國防國家完成ニ、ドレダケガ必要デアアルノカ、ソレ等ノ點ニ付テ陸海軍當局カラモ伺ツテ、今後吾々ノ執ルベキ途ヲ知りタイト存スルノデアリマス

○武井政府委員 意見デナクシテ事實ヲ申上ゲマス、海軍ト致シマシテハ、只今御述ベニナリマシタヤウナ高度國防國家建設ノ爲ニ、度量衡ノ制度ヲドウスルト云フコトヲ今更考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、既ニ決定アリマシテ、ソレニ依ツテ着々實施中デアリマス、併シナガラ事實問題ト致シマシテハ、總テノモノヲ「メートル」法ニ改正致シマス爲ニハ、相當ノ暇モ要リ、又手數モ掛リ、又中ニハ實際上多少不便デアルト云フモノモアリマス、ソレ等ノモノハ若干尺貫其ノ他ノ單位ヲ採ツテ居ルモノモゴザイマスガ、實情ニ於キマシテ既ニ大半「メートル」法ニ移ツテ居シタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

學ケテ數フルヘカラサルニ至ルハ必セリ今十紀元二千六百年ヲ迎ヘ國民ハ從來ノ歐米尊榮ノ迷夢ヨリ覺醒スヘキノ秋ニシテ而モ一方東亞共榮圖確立ノ叫ハルル今日外國ノ文物制度ニ付テモ十分嚴重ナル再吟味ヲ行ヒ我カ傳統ノ國民精神、國民生活ニ適合セサル制度ハ之ヲ改善シ或ハ之ヲ排斥スル等所謂泰西心醉ノ露見ヨリ離脱シ東方文化ノ精神發揚ニ努メサルヘカラス支那事變後ニ五年我カ國現下ノ情勢ハ尺貫法ヲ重用スルノ必要愈々加ハリタル今日姑息ナル施行法令ノ改正ニ俟タル斷然法律ヲ根本的ニ改正シ少クトモ尺貫法ヲ「メートル」法ト共ニ法律ノ成文ニ規定シ以テ國風尊重ノ美風ヲ振起シ以テ尺貫法ヲ國民ノ日常生活ニ必要ニ使用セシム「メートル」法ノ如キハ特ニ必要トスル範圍ニ之ヲ用ヒシメサルヘカラス抑テ一國ノ文化ハ二十年ニシテ急激ニ變革シ得ヘカラサルハ明ナリ從テ度量衡ノ如キ國民ノ日常生活ニ關スル慣習カ一朝ニシテ急變シ得ルモノニ非サルハ歴史ニ徴シテ明ナリ況ヤ之ニ期限ヲ附シテ法律ヲ以テ斷絶セシムトスルカ如キハ斷シテ不可能ナリ故ニ國民教育上多大ノ考慮ヲ拂フ必要アリテ存スレハ今日ノ小學校ニ於ケル「メートル」法教育ノ如キハ眞ニ無益ノ勞ヲ課スルニ外ナラサルノミナラス之カ爲國家觀念モ亦散漫稀薄トナリ長上ヲ輕侮スルノ念ヲ助長セシムル等百害有リテ一利無シト謂ハサルヘカラス故ニ先ツ尺貫法ヲ教授シ以テ國情家庭ノ實情ニ順應セシメタル後徐々ニ上級ニ於テ「メートル」法ヲ教授スルヲ可トス是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

テ君國ニ忠ナレト教ヘル所以デアラウカ、矛盾ト評スルニハ餘リニモ長ク多ク制度デアリ、斯クシテ皇國精神ノ昂揚ヲ圖ルハ木ニ藤ヲ魚ヲ求ムルノ類デアリマシテ、昨年貴族院ノ絕對多數ニ依ツテ發セラレタル正式質問乃至ハ衆議院ノ建議案ハ、我カ國民ノ總意ヲ代表スルモノデアアルト存スルノデアリマス、然ルニ願ヒテ他ヲ言ヘル政府ノ答辯ハ、政治技術ヲ一歩モ踏出シタモノナク、果シテ一點憂國ノ至誠アリヤ、政府ノ答辯書ヲ讀過シテ啞然タルモノガアツタノデアリマス、先刻一部ヲ讀ミマシタガ、今年ノ豫算總會分科會ニ於ケル商工當局ノ答辯ヲ速記録デ讀ミ、一昨日建議委員會ニ於ケル機械局長ノ御答辯ヲ聽イデ、痛教禁ズル能ハザルモノガアリマシタノデ、此處デ敢テ陸軍ナリ海軍ノ御當局ノ尺貫法ニ對スル御高見ヲ承ハリ御示教ヲ願ヒタイノデアリマス

○栗橋政府委員 只今海軍ノ經理局長カラ御述ベニナリマシタヤウニ、陸軍ニ於キマシテモ度量衡改正ノ際ニ、其ノ點ニ付キマシテハ慎重ニ研究ヲ致シマシテ、總テ「メートル」法改正ニ同意シ、ソレカラ以後陸軍ニ於キマシテハ、各種ノ觀點ニ於テ總テ教育、ソレカラ需要品其ノ他ノ製造或ハ機械、ソレカラ其ノ外ノ設計任務ニ至ルマデ、總テ「メートル」法ニ依ツテ實施致シテ居ルノデアリマシテ、只今ノ御話ノヤウニソレヲ變ヘルト云フコトニナリマス、又非常ニ混亂ヲ來サヤウナコトニナルノデアリマシテ、現在ハ事實ノ上ニ於テ直チニ之ヲ變ヘルト云ツタヤウナ方向ニ向ケルコトハ、極メテ困難ナ實情ニアルト考ヘルノデアリマス

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア

○眞鍋(勝)委員 此ノ建議案ニアリマシタ如ク、變ヘルト云フノデハナイノデアリマス、併用セヨト云フノデハ、併用ト云フノハ兩方對等ノ地位ニ置ケト云フコトデス、今日ハ僅カニ勅令ニ依リ施行令ニ依ツテ居リマスガ、二十年後ニハ一般ニ禁止シテ根本デアアル所ノ伊勢神宮ヲ初メ神社宮祀等ニ於テハ依然トシテ許サレルガ、ソレ以外ノモノハ二十年後ニハ禁止スル、國民ガ千幾百年モノ長キニ慣レタ習慣ヲ變ヘサセルガ爲ニ、期限ヲ切リ萬一尺貫法ヲ用ヒタ者ニハ一箇年ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金刑ヲ以テ臨ムト云フ如キハ、我カ國ノ國情國體ヨリ致シマシテ、餘程考慮シナケレバナラス、ソレデ「メートル」法專用デナク、法律ヲ以テ尺貫法ヲモ使用スルト云フコトニシタラ宜カラウト云フノガ建議ノ趣旨デア



武器も常初佛蘭西カラ取ツテ關係ヨリシテ、敵ニ對スル距離測定ハ「メートル」ニ一定シテ居ル、ソレカラ兵法トカ、兵器ノ方モ從テ「メートル」法ニヨツテ居ル方、併シテテ居ル軍人ノ中モ百分ノ一位ノ方ガ知ツテ居ル軍人ノ他ニ用ハナイ問題デアリ、ソレ故軍人ガ「メートル」ニ拘泥シテ居ルトイフハ全ク局外者ノ想像カ誤開デアリ、若シ拘泥スル者ガ居ルトスレバ、ソレハ實情ニ通ジナイ者ノ論ニ過ギナイ、左様ナモノニ對シテハ正論ヲ以テ擊破スレバ何等ノ根據モ無イコトガ明白ニナル譯デ陸軍ガ尺貫法本位ノ痛デアルト云フ説ハ全ク何人カノ誤解ニ過ギスカラ、ソノ痛ハ是非トモ擊破シナケレバナラヌ、マタ海軍ハ英國法デヤツテ居ルカラ、陸海軍ト共ニ檢討スレバ痛ハ消滅スル事ト思フ、サウ云フ譯デ、陸軍ニ於テハ少シク心アル者ハ左様ナ「メートル」法ヲ固執スルモノハ無イ筈デアリ、ソレ故文部省デモ商工省デモ農林省デモ陸軍ニハ懸念ナク尺貫法存続ノ問題ヲ進メテ貰ヒタイ、次ニコレハ長ク多イコトデアリ、御參考マデニ「メートル」法ノ精神ニツイテ申シタイ、此ノ「メートル」法ガ若シ明治天皇ノ御代デアツタトシタナラ果シテ本問題ハ如何ニナツテ居ラウカ、ソレハ固ヨリ憶測シ奉ルベキ限リデアリ、明治天皇陛下ハ助骨ノ着イタ「ズボン」ノ軍服ヲ最後マデ御召ニナツテ居給ウツ、ソレ寺内陸相時代ニ御承知ノ風ニナツタケレドモ、陸軍ノ服裝規程ハ改正セラレテ居ナイ、陛下ガ御許シニナラナツタト洩レ承テ居ル、ソレ故將官ガ拜謁仰付ケラレル時ニハ、矢張り助骨ノ「ズボン」デ何候申シ上ガタ、ソレデ御禮ノ時ハ、兵ガ皆ナスウイフ

ハ軍一化シ、一ツノ種類ニスルト云フコトガ、國防ノ見地カラ或ハ産業上ノ見地カラ言ヒマシテモ、其ノ他各般ノ見地カラ言ヒマシテモ、宜イデアラウト思ツテ居リマス、所ガ其ノ一ツニスレバ何ガ宜イカト言ハバ、是ハヤハリ「メートル」法ト云フモノガ最モ正確デアリ、ソレカラ又度ト衡ト量ノ用ニ相關關係ガチヤント科學的ニ決マツテ居ルシ、最モ簡明デ正確デアリ、而モ學術上ノ問題等カラ言ヒマシテ、例ヘバ一分ノ「ミリ」程度ノ測定器ナドモ利用サレテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、サウ云フモノハ「メートル」法デナイトドウシテモ出來ナイノデアリマス、併シナガラ此ノ際、メートル」法一本デ行ク、或ハソレダケニ今日直ニヤルト云フコトニ付テハ、是ハ國民一般モマダ十分習熟シテ居ラマセヌシ、殊ニ祭祀其ノ他ノ方面ニ付テハ尺貫法ヲ採用スルコトガ適當デアリト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、昭和十四年ノ勅令ノ改正ガ行ハレタモノト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、大體御答ニ申上ゲテ置キマス

○眞鍋(應)委員 私ノ伺ウツタノハソソナコトデハナイ、ソソナコトハ此ノ間モ伺ウツタ、今日御答シタノハ、我が國ノ將來、我が國ノ國體、我が國ノ國家ト云フ見地カラ如何ニ考ヘルカト云フコトヲ御答シタノデアリマス、私ハ其陸軍ノ先輩カラ尺貫法ニ對シテ以下ノヤウナコトヲ聽イタ、即チ陸軍ハ「メートル」法ガ便利ダト云ツテ居ルトイフ説モアルガ、私ハ學校ヲ出テ陸軍デ生活シテ來タモノデアリガ、陸軍ハ決シテ左様ニ「メートル」法ノ御厄介ニハナツテ居ラヌ、唯陸軍ハ歩幅ガ佛蘭西デアリ、又ソノ

カラザルモノガアルト私ハ思フ、斯クノ如ク文學歴史ノ國民思想ニ及ボス影響ハ非常ニ大ナルモノガアルノデアリマス、商工當局ノ諸賢ハ、此ノ「メートル」專用法規ノ制定ニ際シ、思想的見地ヨリ考察サレタカ否カ、役人諸賢モ其ノ職ニ在リマス以上ハ、非常ニ勢力モアルシ、社會國家ニ及ボス所ノ影響亦大ナルモノガアリマス、隨テ其ノ責任モ重大ナルモノガアリマス、併シナガラ其ノ地位ヲ去リ、或ハ又百年ノ後ヲ考ヘラレルト云フト、如何ニ時メク大臣宰相ニシテモ忽チニシテ忘レラレル、即チ生命ハ短イケレドモ、國家ハ永久デアリ、己ヲ空シウシテ國家ノ將來ノコトヲ考ヘテ貴ヘナイモノデアラウカト、私ハ熟考ヘルノデアリマスガ、度量衡ノ如キ國民ノ日常生活ニ關スル慣習ガ、一朝ニシテ急變シ得ルモノニアラザルコトハ歴史ニ徴シテモ明カデアリ、況ナシ今中シマシテ如ク、期限ヲ付シ、法律ヲ以テ斷絶セシメントスルガ如キハ、斷ジテ私ハ不可デアルト思フ、斯ウ云フヤウニ私ハ我が國ノ國體ニ鑑ミマシテ、ドウシテモ一本ニ決メテシマツテ、法律ヲ以テ之ヲ絶滅スル期スルコトハ、幾ラ考ヘマシテモ私ノ斷ニ落チヌスノデアリマスガ、菱沼局長ハヤハリ先日ノ御意見ノ通りデアリマスカ、如何デアリマスカ

○菱沼政府委員 眞鍋君ノ御答ニ對シマシテハ、先般モ御答ヘ致シタノデアリマスガ、要スルニ度量衡ノ種類ガ色々區々デアルト云フコトハ、ヤハリ各般ノ方面カラ言ツテ、色々ナ都合ガ出テ來ルダラウト思フノデアリマス、一々換算ヲシマスニ付テモ、非常ニ其ノ爲ニ無駄ナ手数ト努力時間ヲ要スルノデアリマシテ、出來ルダケ

服ヲ着マスカラト御願ヒ申シ上ゲテ漸ク御召シ遊バサレタトイフコトハ長キ極ミデアツタト申サレバナラヌ、ソレカラ今一ツ申シ上ゲルナラバ拜謁ヲ仰付ケラレタ御方ハ御記憶デアラウガ、御學問所ノ絃瓦ガ殆ンド摺レテ居ルノデ、或ルトキ侍從ノ方カラ、之ヲ御取換ヘ申シタイト願ウツタトコトガ、陛下ハ最早ト役ニ立タナイカトノ御下問デアリ、ソレ待テハ長ク入ツテ取止メテシマツタ、ソレ以來、明治天皇ハ御崩レ遊バサレル迄アノ絃瓦ハ取換ヘヲ御許シニナラナカツタノデアリ、今日外國依存主義ノ表徴トモイフベキ「メートル」法ガ全國民ニ強制サレテ既ニソノ法律ガ定マツテ居ル、然ウシテ之ヲ祖國傳統ノ尺貫法本位ニ還元セントシテモ容易ニ實現シナイ實狀ヲ見テ今昔無量ノ感慨ニ打タレザラザル得ナイ、斯ウ云フ話ヲ承ツタノデアリマスガ、菱沼局長ハ現在ハ高度國防國家ノ上カドウシテモイカスト言ハレマスガ、私共ノ主張ハ、高度國防ニ關係ガアレバソレモ宜イ、海軍ハ英國法ニ依ルトスレバ英國法宜イ、陸軍ハ「フランス」ノ「メートル」法ニ依ルガ都合ガ好ケレバソレモ宜イ、ソソナコトヲ論ジテ居ルノデハナイ、私共ハ今日ノ社會ノ情勢カラ見テ、國體ハ一定シテ居ナイ、商工次官ハ先程讀上ゲマシタヤウニ申サレマシタガ、事實ハ國體ガ一定シテ居ツタノハ、昭和十年現行度量衡法會議ヲ通過シタ時デアツテ、今日ハ國體ハ寧ロ反對ニ一致シテ居ル、貴族院ニ於テモ今年ハ出サレナカウツカモ知レマセヌガ、モウ六七ノ開年歳々或ハ決議案、或ハ建議案ヲ出シ、又衆議院ニ於テモ改正法律案ナリ、建議案ヲ連續提出シテ居リマスノヲ見マシテモ、國

論ハ逆デアリ、社會ノ情勢モ同様デ、田舎デハ殆ド「メートル」法ハ使ツテ居ナイト云フ状態デアリマスカラ、ドウシテモ是ハ五十年ノ調査委員會ニ依リマシテ決議シタ「現行度量衡制度」ハ「メートル」法ノ専用ヲ企圖シ居ルモ之カ實施ノ成績ニ鑑ミ速ニ同法ノ外ニ尺貫法ヲ併用スルコトニ改ムルヲ可ト認ム」ト云フ位、御認メニナツタガ宜カラウト思フ、文部省關係ニ於テモ兒童ノ教育ニ於キマシテハ各校長ハ餘程困ツテ居ル、法律サハ改正ニナツタナラバ、一年或ハ二年生カラシテ最初ニ尺貫法ヲ教ヘ、而シテ五年六年ニナツテ「メートル」法ヲ教ヘテモ宜イ、兎ニ角今日ノ社會情勢ニ合致スルコトガ出來ルケレドモ、法律ガ現存シテ居ルハサウ云フコトハ出來ナイト云フコトデアリマス、モウ一ツ諄イヤウデアリマスガ申シマス、モウ一ツ諄イヤウデアリマスガ申シマス、今申上ゲマシタ商工省ノ考ヘ方ノ「メートル」法デナケレバ高度國防國家ノ維持ガ出來ヌト仰シタルノデアリマスガ、私ハ此ノ點疑ハシイノハ「フランス」ハ「メートル」法ノ本家本元デアリマス、併シナガラ同國ハ「メートル」法ダケデハ國防國家ノ維持完成ガ出來ナクテ、今日ノヤウナ現情ニナツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマスノデ、モウ一度其ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ハレ

○櫻橋政府委員 高度國防國家ノ建設ト云フコトハ、各種ノ點カラ見マシテ色々度量衡ニ付キマシテモ意見ガ違フラレトモ思フノデアリマス、眞鍋君ノ仰シタルヤウニ外國ノ模倣ハシナイ、日本獨自ノ見地デ、所謂傳統ノ歴史ニ立脚シテ、而シテ尺貫法ト云フモノヲ併用シテヤツテ行ケバ、ソレデ一向差支ナイデハナイカト云フヤウナ御意

見モ、洵ニ承ツテ居ルト吾々モ肯首シ得ル點ガ澤山アリマスガ、陸軍ト致シマシテハ極メテ能率的ニ總テテ處理シテ行クト云フコトガ刻下ノ急務デアリマシテ、「メートル」法ニ依ツテ統一サレタ軍需工業及ビ其ノ外ノ教育資料、ソレ等ハ「メートル」法ト云フ單一ナ度量衡ニ依ツテ、總テガ取扱ハレテ居ルノデアリマシテ、之ヲ複單位ニスルト云フコトニナリマス、少クトモ教育ノ上ニ於テ非能率的ナ開隙ヲ生ジテ來ルコトハ當然ノ歸結デアリマス、ソレデ高度國防國家ノ建設ヲ企圖スル以上ハ、總テガ能率的ニナツテ行カナイコトニハ效果ヲ舉ゲルコトハ出來ナイノデアリマシテ、只今ノ御意見ハ洵ニ傾聴致シマスガ、軍ト致シマシテ高度國防國家建設ノ上ニ於テ、複單位ニスル方ガ宜イノダト云フ結論ニハ、俄カニ到着シナイヤウニ考ヘルノデアリマ

○眞鍋(應)委員 海軍ノ御答辯ガアリマセヌガ、更ニ私ハ斯ウ云フ見地カラ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、今ノ陸軍政府委員ノ御答辯ハ御尤モデアリマスガ、私ハ實ハ政府ガ斯ウ云フヤウナ法律ヲ以テ強行スルト云フコトヨリモ、政府ハ大體保守的デナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ウ云フコトヲ申シマス、現狀維持派ガアルトカ、自由主義者デアルトカ言ハレマスケレドモ、決シテサウチヤナイ、社會ハ放ツテ置ケバ或ハ「ハイカラ」ニナツタリ、ドウシテモ行キ過ギルモノデアリマス、ゴロコト考ヘナケレバナラヌ、今度ノ事變バカリデナク、明治維新ノ當時、或ハ西南役ノ當時、日清日露ノ役、此ノ度ノ事變ヲ通ジマシテモ、所謂國防上ノ強兵ノ供給地ハ即チ農村デア

リマス、農村ノ現狀ヲ見ルト、殆ド「メートル」法ハ使ツテ居ナイ、畑ハ何反何畝何坪何合デアリシ、里程モ何里何町何十間、山ノ木モ何何何才ト云ヒマシテ、到ル處悉ク、建物ハ申スニ及バズ、土地、里程、ソソナ例ヲ言ハバ限リハ「メートル」法ト云フナ例ハ尺貫法デアリマス、其ノ農村ニ何ノ必要アツテ「メートル」法ヲ強制スル必要アルカ、農村ハドウシテモ國防上保護シテ置カナケレバナラヌ、御承知ノ如ク東京人口ハ七百一十萬アリマスガ、近クノ神奈川縣、埼玉縣、千葉縣ヲ入レマス、凡ソ一千萬アリマス、一千萬アルト日本人人口ノ七分ノ一アルノデアリマスガ、若シ一旦緩急アレバ、今日ノヤウニ積極的ニヤツテ裁イテ居ル時ハ宜イケレドモ、所ヲ換ヘテ、若シ受身ニナツタ時ヲ考ヘテ見ルト、「ロンドン」ノ如キハ餘程困ツタサウデス、兎ニ角一千萬ノ人口ヲ有シテ居ルト云フコトハ、國防上餘程考慮ヲ要スル所デアリマシテ、大都會ノ兵隊ガ甚ダ弱イト云フコトハ定論デアリ、都會ノ人間ハ、戰ニハ殆ド根氣力モナシ、力モナイノデアリマスカラ、私ハドウシテモ國防上農村ヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、農村ハ今申上ゲマス如ク保守的デアリマス、今日尙ホ太陰曆ヲ使ツテ居ルヤウナ現狀ニアリマスノミナラヌ、今日ノ社會ノ實情ハ逆轉ヲ致シマシテ、「メートル」法ヨリ尺貫法ノ方ニ殆ドナツテ居ルノデアリマス、此ノ現狀ニ即スル教育ヲセバナラヌ、此ノ教育ハ文部省モ困ツテ居ラレルト思ヒマス、何モ陸軍、海軍ノ方デ御使ヒニナツテ居ルナラバ、ソレハ御使ヒニナツテモ宜イガ、國民全體ノコト、我が國ノ國體ナリ將來ノコトヲ考ヘルト、ドウシテモ現狀デハイケ



ナイノデアリマス、商工當局タルモノモ、即ち自分官吏デアル、自分ガ機械局長デアルガ爲ニ、メートル法ハ精密ガカラ宜イト言フカモ知レナイガ、英國ノ如キハ我が國ノ尺貫法ヨリモ不完全ナモノデアツテ、先年ノ議會ニ於テ其ノ議ガ出タケレドモ、通過シナカッタヲ見マシテモ、是ハ世界的デハナイ、ヤハリ我ガ國ハ此ノ事變ニ依リマシテ、東亞ノ共榮國ノ確保ト云フコトヲ目指シテ行ツテ居ルガ、我ガ東洋ニ於キマシテハ言葉ノ上カラ申シマシテモ、ヤハリ尺貫法ヲ使フガ餘程便利デアル、而シテ將來ハソレデナケレバイケヌト思フ、即チ支那ニ於キマシテハ西洋文明ヲ打破シ、揚子江沿岸ニ於ケルアノ西洋流ノ文化ヲ打破シテ、東洋ノ文化ヲ植付ケナケレバナラヌト云ツテ居ルノニ、一方ニ於テハ、「フランス」ニ生レタ所ノ「メートル」法ヲ用ヒナケレバナラヌト云フ、用ヒテ居ルノハ結構デアルケレドモ、之ヲ一本ニシナケレバナラヌト云フ理窟ハ立タヌデアリマスカラ、此ノ點ドウカ陸軍ナリ海軍ナリ、今申シマシタ如ク國防上ノ見地ニ立ツテ、國家、國民ノ將來ヲ考ヘ、國家ヲ支ヘル所ノ重大ナル國民精神、國民ノ健全ナル思想、是等ノコトヲ能ク御考ヘニナリマシテ、一ツ商工省ヲ能ク設得致シマシテ、商工省ノ頑迷ナルモノヲ設イテ載キタイ、アナタモ機械局長ヲ一代ヤツテ居ル譯デモナシ、一平民ニナツテ國家ノ將來ヲ考ヘテ善處セラレルコトヲ望ミマス。

○西村委員長 今井君、アナタノ選信省ト司法省ノ御質問ハオヤリニナリマスカ  
○今井委員 御願ヒ致シマス——先ツ選信省ノ方ニ御伺ヒ致シマス、御尋ね申上ゲル

コトハ極メテ簡單デス、昨年三月頃ト記憶致シマスガ、米内内閣ノ當時、選信省、鐵道省ガ會議ヲ決定シテ事項デアリマスカ、當時鐵道大臣、選信大臣ノ名前デ、爾後二十歳以上五十歳以下ノ「ドイツ」人ハ日本ノ船ニ乗セナイ、斯ウ云フコトヲ官報ニ依ツテ告示ヲ致サレタコトガアリマス、其ノ當時私ハ決算委員會ニ於テ、何故ニサウ云フ亂暴ナ、條理ニ反シタコトヲ政府當局ガ致スノカ、日本ハ歐洲戰爭ニ介入デアルト云フコトヲ堂々宣言シテ居ルニ拘ラズ、ドイツ人ニ限ツテ日本ノ船ニ乗セナイト云フコトヲ政府ガ決定スルコトハ、其ノ精神ニ於テ、其ノ結果ニ於テ、明カニ日本ハ歐洲戰爭ニ介入シタモノデアルノミナラズ、其ノ介入ノ仕方ト云フモノハ、英國ニ非常ナ利益ヲ圖ツテ、「ドイツ」ニ不利益ヲ與ヘタ結果ニナル、何故ニ左様ナコトヲ致シタコト云フ質問ヲ鐵道大臣ニ致シマシタ所ガ、鐵道大臣ハ之ニ對シテ明確ナル御答辯ハ與ヘテ呉レナカッタ、ソレハソレデ過ギタコトデアリマスカラ、過去ノコトヲ追究致ス考ヘハナイガ、二十歳以上五十歳以下ノ「ドイツ」人ヲ、官報告示ノ通り日本ノ船ニ乗セナイデ居ルノカ、ソレトモ乗セルノカ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、其ノ點ヲ御尋ね致シマス。

○米田政府委員 當時告示ヲ致シタコトハ事實デアリマス、海運統制令ニ基キマシテ、當時ノ國際情勢カラ致シマシテ、一應サウ云フ告示ヲ致シタデアリマス。

○今井委員 今ノ御答辯デアリマス、其ノ後乗ツテ居ル「ドイツ」人モアリ、乗ラヌ「ドイツ」人モアル、斯ウ云フコトデスガ、サウ云フ馬鹿ナコトハ私ハナイダラウと思フ、

○米田政府委員 是モ速記ヲ止メテ載キタ

日本ノ政府デ以テ會議ヲ決定シテ「ドイツ」人ハ乗セナイト云フコトヲ官報發表シタニモ拘ラズ、ソレヲ實行セズシテ、乗セテ居ル「ドイツ」人モアリ、乗セヌ「ドイツ」人モアルト云フコトデハ、何ノ爲ニ官報發表サウ云フコトヲ堂々ト御發表ナサツタカ、無意義ニナルデハナイカ、其ガ無責任ナコトヲ政府ハ御發表ニナツタト思ヒマスガ、其ノ點如何デスカ。

○米田政府委員 一寸速記ヲ止メテ載キマス

○西村委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ

○西村委員長 (速記中止)

○今井(新)委員 サツパリ分リマセヌ、敵性ノアル者、ナイ者ト云フコトハ、其ノ御説明デハ如何ナル者ガ敵性ガアリ、如何ナル者ガ敵性ガナイカ、私ニハ了解致シ兼ねル、ソレヲ御説明ヒタイ

○米田政府委員 敵性ノアルト申シマスノハ、例ヘバアチラノ方ノ軍艦ニ在ル者、ソレカラ軍艦ニナクテモ、向フヘ参リマシテ軍艦ニ投シ得ルヤウナ資格ノアル者ト云フヤウナコトデアリマス。

○今井(新)委員 所謂アナタノ仰シタル敵性ト云フコトハ、英國ニ對スル敵性デスカ、對シテ敵性ノアル英國人ハ、ヤハリ日本ノ船ニ乗セナイト云フコトニナラナケレバ、嚴正中立ノ立場ガ持セナイト思ヒマスガ、其ノ點如何デスカ。

○米田政府委員 是モ速記ヲ止メテ載キタ

イト思ヒマス

○西村委員長 速記ヲ止メテ……

○西村委員長 (速記中止)

○今井(新)委員 昨年ノ議會ニ於テ當時私ノ意見ヲ申述ベタノデスガ、是ハ鐵道省ノ選信省ハ自發的ニサウ云フ告示ヲ致シタノデハナイダラウ、御承知ノ通り當時ハ吾々ヲシテ言ハシムレバ、軟弱極マル英米相繼追從外交ニ政府ガ終始シテ居ツタ、其ノ結果淺間丸ガ「イギリス」ノ軍艦ノ爲ニアア云フ屈辱ヲ受ケタノミナラズ、更ニソレ以上ノ屈辱的ノ解決ヲシテ、日本ノ船ニ「ドイツ」人ヲ乗セナイト云フコトヲ政府ガ發表シタノダ、斯ウ云フ風ニ私ハ斷定ヲ致シマシタ、今ノアナタノ御話ノヤウニ、日本ノ船ヲ讓ル爲ニ、官報デアア云フ發表ヲシタト仰シタルナラバ、左様ナ發表ヲ能クシナクテモ、日本ニハ 大元帥陛下ノ御名ニ依ツテ發布サレタ海戦法規ト云フ條々法規ガアル、其ノ海戦法規ノ精神ニ依レバ、現ニ「ドイツ」ノ軍隊ニ編入サレテアル「ドイツ」人ガ、日本ノ船ニ乗ツテ居ル場合ニハ、英國ノ軍艦ニ臨檢サレタ場合ニハ、ソレヲ引渡サナケレバナラヌガ、然ラザル時ニハ斷乎トシテ之ヲ拒ムベキデアルト云フコトガ海戦法規ノ精神ガラウト思ヒマス、サウスレバ日本ノ政府トシテハ、英國カラ壓迫サレテモ、現ニ「ドイツ」ノ軍隊ニ入ツテ居ラス「ドイツ」人ヲ引渡セト云フ言ハレクラ、斷ジテ引渡サス、武力デ臨ムナラヤツテ來イ、撃ツナラ撃テ、此ノ位ノ毅然タル態度デ帝國政府ガ臨マレバ、徒ラニ英米ノ侮辱ヲ受ケ、彼等ノ侮辱ヲ益買フノミダラウ、故ニ私ハ當時何故ニ斯様ナ屈辱的ノ亂暴極マル奇怪千萬ナ

コトヲ鐵道省、選信省デ御決メニナツテ、官報發表シタコト云フコトヲ追究致シタ次第デアリマス、段々御尋ね致シマス、アナタノ方モ實際ノ所ハ御答辯ガ苦シヤウデアリマス、當時トハ大分現在ハ狀態ガ變ツテ居リマスカラ、私ハ是レ以上申シマセヌ、申シマセヌガ、慎シムベキハ將來デアル、將來ハ斷ジテ斯様ナ屈辱的ノ國辱ヲ招クヤウナコトヲナラナイヤウニ、此ノ機會ニ私ハ政府ニ警告申シテ置キマス、選信當局ニ對スル質問ハ是デ宜シウゴザイマス

○次ニ司法當局ニ對シテ御伺ヒ致シマス、裁判所ノ審理ガ民事、刑事トモ非常ニ延ビ延ビニナツテ、人民ガ非常ニ迷惑ヲシテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、一昨年デアツタカ、議會ヘ、裁判審理ノ進行ヲ圖ル爲ニ、判例事ガ足リナイカラト云フコトデ、増員ノ豫算ヲ御出シニナリマシテ、御協賛申上ゲタコトガアルデアリマスガ、其ノ後依然トシテ私共民間カラ不平ヲ承リマス、是ハ何處カ裁判制度ニ缺陷ガアルノデハナイカト、素人考ヘデ私ハサウ云フヤウニ考ヘマス、ソコデ此ノ場合同ヒタイコトハ、一ツ譬ヘ話デ御伺ヒ致シマスガ、原告甲トシ、被告乙トシテ、原告ガ或ル地方裁判所ヘ乙ナル者ヲ訴ヘタ所ガ、地方裁判所デ檢事ガ取調ベノ結果、ソレヲ不起訴ニシタ、尙ホ承知出來ナイデ、今度ハ控訴院ニ持ツテ行ツタ所ガ、控訴院デモ不起訴ニナツタ、斯ウ云フ場合ニハ、原告ノ立場ト致シタナラバ、何處ヘ之ヲ持ツテ行ツタラ宜イモノデアリマセウカ、三審制度ト云フヤウナコトヲ承リマスガ、サウ云フ精神カラ言フト、斯ノ如キ場合ニハ、大審院ヘ當然持ツテ行クガ私ハ正當デアリ、常識デハナ

イカト考ヘマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○太田政府委員 御答、致シマス、只今ノ警ヘ話ノ御質問ハ恐ラク犯罪ノ告訴或ハ告訴ニ關スル問題ト拜承シタデアリマスガ、告訴發見ニ付キマシテハ、第一審トシマシテ、例ヘテ見レバ地方裁判所、或ハ區裁判所ノ檢事局ニ告訴發見出タト致シマス、其ノ地方裁判所乃至區裁判所ノ檢事局ニ於キマシテ、之ヲ不起訴ニ致シタト云フ場合ニ於キマシテ、其ノ告訴人ハ之ニ對シテ抗告ヲナシ得ルデアリマス、抗告致シマスト、ソレハ地方裁判所ノ檢事局ニ對シマシタ告訴ニ對スル抗告デゴザイマス、是ハ地方裁判所ノ檢事局ニ對シマシテ、ソレハ大審院檢事局ニ於キマシテ其ノ再抗告ヲ審理致シマス、ソレニ對シマシテ更ニ不服デゴザイマス、司法大臣ニ更ニ再抗告ガ出來ルコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ檢事局ノ處分ニ對シマスル抗告問題ハ、現在ノ裁判所ノ三審制度ハ違ヒマシテ、結局ニ於キマシテ司法大臣ノ決裁スル所ニナルノデゴザイマス、ソレデナラウト云フ置キマス。

○今井(新)委員 今ノ御話ニ依リマス、地方裁判所デ不起訴ニナツタノハ控訴院ニ持ツテ行ク、控訴院ニ持ツテ行ツテ不起訴ニナツタノハ、其ノ次ノ手段トシテ大審院ニ持ツテ行ク、斯様ニ解釋セラレルノデアリマスガ、控訴院デ不起訴ニナツタ場合ニ、

原告ガ自己ノ都合ニ依ツテ之ヲ大審院ニ上告セズシテ、下級ノ他ノ地方裁判所ニ持ツテ行ツテ訴ヘルト云フヤウナコトハ出來マセウカ

○太田政府委員 其ノ當該告訴事件ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタ順序デ抗告、再抗告ニ參ルノデゴザイマシテ、其ノ告訴人ノ都合ニ依リマシテ他ノ下級ノ裁判所ニ持ツテ行クコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス、但シ御承知ノヤウニ親告罪以外ノ告訴ノ場合ニ於キマシテハ、親告罪ノ場合ニハ其ノ告訴ガ檢事ガ適法ニ公訴ヲ提起致シマス訴訟條件ニナリマスガ、是ノ場合ハ多少違フノデゴザイマスガ、其ノ他ノ一般ノ告訴ノ場合ニ於キマシテハ、同ジ事ヲ何處告訴致シマシテモハ受理サレレル譯デゴザイマス、隨ヒマシテ、只今ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、改メテ別途ノ告訴ヲ御出シニナレバ、ソレハ受理シテ更ニ檢事ガ調ベルコトニナツテ居リマス

○今井(新)委員 御話デ能ク分リマシタ、モウ一度詳イヤウデスガ、控訴院デ檢事ガ調ベテ不起訴ニナツタモノヲ、其ノ儘ノ事件ヲ同一ノ人間ガ他ノ地方裁判所ニ持ツテ行キマシテモ、是ハ受付ケマセズセウナ、サウデスネ

○太田政府委員 受付ケマス

○今井(新)委員 ソコデ私ハ御尋ね致シタインデスガ、今アナタノ御答辯ト全ク同感ナラヌデ、ソレデナケレバナラナイ、若シサウ云フコトヲ許シ始めタナラバ、日本國中ニ控訴院ガ七ツアリ、地方裁判所ガ五十モアルノデ、コッチノ地方裁判所デ不起訴ニナツタノヲ、次ノ地方裁判所ニ持ツテ行タト云フヤウニ日本國中ノ控訴院、地方裁

判所ヲ持チ歩イタナラバ、何時ニナツテモ、判事、檢事ガ幾人アツテモ片ガ付カナイ、是ハ地方裁判所、控訴院、大審院ト一貫シテヤルベキガ、私ハ法ノ精神カラ申シマシテモ事務ノ進捗カラ申シマシテモ、私ハソレガ當然デアルト思フ、所デ伺ヒタイノハ今アナタノ御話ニ反シタヤウナ事實ガアル、地方裁判所ニ持ツテ行ツテ檢事ガ不起訴ニシタモノヲ、控訴院ニ持ツテ行ツテ又不起訴ニシタ、サウスルト同一ノ事件ヲ同一ノ人間ガ他ノ地方裁判所ニ持ツテ行ツテ訴ヘタ、所ガ控訴院ノ檢事ガ不起訴ニシタモノヲ、下級ノ地方裁判所ノ檢事ガ受理シテ起訴シタ、私モ之ヲ聞キマシテ驚イタノデスガ、今相當問題ニナツテ居ル、ドウ云フ理由デ上級ノ控訴院デ不起訴ニシタ同一ノ事件ヲ、下級ノ地方裁判所デ起訴シタカ、斯ウ云フコトヲ新聞記者諸君ガ檢事正ノ所ニ行ツテ聴イタ、所ガ其ノ檢事正ハ、ソレハ上ノ偉イ人カラ言ハレタノダカラ仕様ガナイヨト言ツタサウデアアルガ、コンナ馬鹿ナコトハアルマイト思フ、私ハ法ノ神聖獨立ヲ生命トスル司法官ノ方ノ立場カラ申シマシテモ、偉イ方ト云ヘバ、上御一人ヨリ外ナイ、司法大臣デモ檢事總長デモナイ、法ノ獨立神聖ト云フコトカラ考ヘレバ、偉イ人ト云フ意味ニハ當ラナイノデアル、誰ノコトデアルカ偉イ人ト檢事正ハ言ツタサウデスガ、ソレハ檢事總長カ司法大臣カ知リマセヌガ、ソナナ馬鹿ノコトハアルマイト思フ、私ハ今日司法大臣ガオ見エニナリマシタラ、天理教ノコトヲ御尋ね致サウト思ヒマシタガ、オ見エニナリマセヌ、刑事局長モオ見エニナリマセヌカラ、アナタニ伺フノデスガ、昨日申上ゲマシタ如ク、法ト云



フモノノ神聖尊嚴ハ何處マデモ司法官ハ一身ヲ犠牲ニシテモ之ヲ守ラナケレバナリマセス、今ノ私ノ申述ベク御話モヤハリ宗教絡ンデ居ル、宗教團體ノ背後ニハ實際權力ノアル者、上層ノ有力者ガ存在シテ非常ニ暗躍モスレバ、醜イ活動ヲヤツテ居ル、若シサウ云フヤウナ権力ノ爲ニ神聖ナル司法權ガ冒瀆サレバ、法ノ尊嚴ガ失ハレシム、延ト云フヤウナコトガ生ジマシタラバ、私ハ國家ノ大不祥事ダト思フ、御参考マデニ私ノ聞キ及ビマシタ事實ヲ簡單ニ申上ゲマシガ、之ハ信者ガ大阪ニ大部アルサウデスガ、金光教ガ前管長ノ正妻ノ子供ト妾腹ノ子供ト、今財産二千万圓程アルサウデスガ、之ヲ總ツテ裁判沙汰ニナツテ居ル、所ガ現在ノ管長ハ妾腹ノ子供サウデスガ、既ニ此ノ裁判ハ大審院決定ニナツタ、サウシテ正妻ノ子供ガ當然相続スベシト云フ大審院判決ガアツタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此ノ派生問題トシテ偽造罪ヲ以テ破レタ現管長ノ方カラ訴ヘガ出テ居ル、其ノ訴ヘヲ初メ岡山ノ地方裁判所ヘ昭和十三年五月ニ致シタ、所ガ不起訴ニナツタ、ソレカラ十四年ノ八月ニ廣島ノ控訴院ヘ持ツテ行ツタ、所ガ是モ不起訴ニナツタ、サウスルト同一ノ人間ガ同一ノ問題ヲ、タツタ一月シカ経タナイ十四年ノ九月大阪ノ地方裁判所ヘ持ツテ行ツタ、所ガ驚ク勿レ大阪ノ地方裁判所ヘ持ツテ行ツタ、而モ上級ノ廣島控訴院デ不起訴ニシタコトヲ下級ノ大阪地方裁判所デ起訴ニシタ、起訴ニシタ結果是ガ裁判ニナリマシテ、何レモ有罪ニナツタ、サウシテ目下被告ノ方ガ大阪控訴院

合デアリマシテ、是ハ適法ニ檢事ガ公訴ヲ提起致シマス要件ニナル告訴デアリマス、然ラザル告訴ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ法律上ノ效果カラ申シマス、犯罪ノ端緒タルニ過ギナイデアリマス、其ノ告訴ニ依リマシテ、檢事ノ手續ニ何等ノ支障ヲ生ジナイデアリマス、隨ヒマシテ其ノ告訴ガ出タカラ、捜査ヲ開始スルト云フダケノ意味ヲ持ツデアリマシテ、隨テ其ノ捜査ヲ開始スル爲メ端緒タルニ過ギナイ、一般ニ例ヘテ申シマスレバ、警察官ガ聞込シテ捜査ヲ開始シマスナラバ、此ノ聞込ミガ同一ノ程度ノ法律上ノ效果シカ持ツテ居ラナイデアリマス、隨ヒマシテ報告書以外ノ告訴デアリマスナラバ、一ツノ檢事局ニ提出シテ、ソレガ不起訴ニ付セラレタ、ソレト同ジ内容ノモノヲ他ノ檢事局ニ提出スルト云フコトハ、是ハ告訴人ノ自由デアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、檢事ハ犯罪ノ端緒トシテ之ヲ受理シナケレバナラナイデアリマス、受理シテ之ニ付テ捜査ヲ開始スルカ、或ハ其ノ儘不起訴ニスルカ、或ハ捜査ヲ開始シタ結果、之ヲ基本ニシテ更ニ控訴ヲ提起スルカ、ソレハ其ノ後ニ於ケル捜査ノ問題デアリマシテ、サウ云フヤウナコトハ法律上又檢事モ之ヲ自由ニナシ得ルモノデアリマス、只今ノ金光教ノ問題デアリマスガ、私實ニ金光教ノ偽造事件デ、大阪ノ檢事局デ公訴ヲ提起シ、豫審ニ於テ有罪決定ガアツタ、現在公判ニ於テ審理中デアロコトハ承知シテ居リマス、其ノ前ニ於キマシテ岡山、或ハ廣島ニ於テ同種ノ告訴ガ出タカドウカ、私ハ審問ニシテソレハ知らナカウタデアリマス、併シ廣島或ハ

岡山ニ於キマシテ同ジヤウナ告訴ガ出マシテ、ソレガ棄却ニナツタ、大阪ニ提出シタ所ガ大阪ニ於テソレニ基イテ捜査ヲ開始シテ、公訴ヲ提起スベキモノト認メテ、公訴ヲ提起シタト致シマシテモ、是ハ手續上ニ於テ何等過誤ガナイ所デアリマシテ、檢事ガ左様ニナスコトハ、通常デモゴザイマセスガ、時トシテアリ得ルコトデアリマス、ト申シマスノハ、其ノ告訴ト云フモノガ只今申上ゲタヤウニ、一ツノ犯罪ノ端緒ニ過ギナイデアリマス、恐ラク廣島、岡山ニソレガ出タト致シマスナラバ、廣島、岡山ニ於キマシテハ其ノ告訴狀ニ現ハレマシタ事實以外ニ、其ノ内容ハ眞實デアルカ否カ、ソレガ控訴ヲ提起スルニ足ル事情ノ下ニアル事實デアルカドウカト云フコトニ付テハ、恐ラクハ判然シナカウタノダラウト思ヒマス、大阪ニ於キマシテハ恐ラク其ノ他ノ捜査ト相俟チマシテ、其ノ告訴狀ノ内容ヲ検討シテ、兩者相俟チマシテ控訴ヲ提起スルニ足ルト云フ風ニ認メタノダラウト思フデアリマス、ソレハ檢事ハ勿論仰セノ如ク同一體デゴザイマスケレドモ、併シヤハリ其ノ土地々々ニ依リマシテ、其ノ檢事ノ一定ノ事項ニ對シテ持ツテ居リマス捜査ノ參考トナル所ノ準備事項ハ、土地々々ニ依ツテ非常ニ違フコトガアルデアリマス、ソコデ或ル檢事局ニ於キマシテハ、サウ云フ豫備知識ノ不十分カラ、ドウモ申上ゲ難イコト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、他ノ檢事局ニ於キマシテハ、十分ナル準備知識ヲ持ツテ居リマス、ソコデ更ニ一歩進ンダ捜査ガ開始サレルト云フコトガアルデアリマス、更ニ其ノ場合ニ於テ、檢事間ニ相俟チテ起ルコトハ

ナイカト云フ御話デアリマシタガ、恐ラクハ只今岡山、廣島ニ同種ノ告訴事件ガ出テ不起訴ニナツテ居ルト致シマスナラバ、大阪ノ檢事ハ其ノ事實ヲ知ツテ居ツタノダラウト思ヒマス、隨テ控訴ヲ提起スル、或ハ其ノ捜査ニ當リマシテ廣島或ハ岡山ノ檢事ノ捜査記録モ、之ヲ取寄セテ相當検討致シ、左様ナ控訴提起以前ニ行ハレマシタ各般ノ事情ヲ調査シテ、之ヲ綜合致シマシテ、控訴ヲ提起スル捜査ヲ完了シタモノデアラウト推察致スデアリマス、左様ナコトニナツテ居リマス

○今井(新)委員 今ノ御話カラ致シマス、初メ起訴ニ致シタ岡山ノ地方裁判所、廣島ノ控訴院ノ檢事ナドノ取調ガ、結論トシテ不十分デアル、土地ノ事情ナドニ依ツテ色證據ナドヲ集メルノ不十分デアツタト思ハレ、併シ金光教ト云フモノハ大阪ヘ持ツテ行クコトガ既ニ筋違ヒノコトデ、岡山地方裁判所ノ廣島ノ控訴院ヘ持ツテ行クコトガ、一番縁ノ深い關係ノアル土地デア、曾テ天理教ノ大逆不敬ノ告訴ヲ東京ヘ致シマシタ所ガ、是ハ被告訴人ガ奈良ノ方ダカラト云フノデ、東京ノ裁判所ノ方カラ奈良ノ裁判所ノ方ヘ廻シタコトガアル、一番縁ノ深い、一番證據ヲ調ベ易イ檢事局デ以テ、私ハ全力ヲ盡シテ檢事ガ御調ベニナツタト思フ、若シ宜イ加減ナコトデ、調ベヲ生々ニシテ不起訴ニシタコトデ、調ベナリマス、是ハ容易ナラス責任問題デア、荷タモ或ル者ガ或ル者ヲ罪ニシヨウトシテ訴ヘタ以上ハ、訴ヘル者モ眞劍デアラウト思フ、眞劍ニ訴ヘタ以上ハ、國法ニ從ツテ裁判官ハ眞劍ニ取調ベナケレバナラス責任ト義務ガアル、眞劍ニ取調ベタ結果、

控訴院マデ行ツテ不起訴ニナツタモノヲ、筋違ヒノ大阪ヘ行ツテ今度ハ之ヲ受理シテ起訴ニナツタト云フ、形式上ハサウ云フコトハ出来ルカモ知レシガ、甚ダシク不穩當ノコトデハナイカト吾々ハ思ヒマス、若シ今アナタノ仰シキヤウナ形式論カラ、何處ノ裁判所ヘモ持ツテ行ケルノダト云フコトニナリマス、私ガ初メ申シマシタヤウニ、若シ大阪デ駄目ニナツタラバ甲府ヘ持ツテ行ク、甲府デ駄目ニナツタラ長野ヘ持ツテ行ク、ダレノ二年モ三年モ廻ルツテ、幾年経ツテモ果シガ付カヌヤウニナルト思フ、隨テ裁判ハ進捗シナイ、心掛ノ善クナイ人間ナドガ、サウ云フ形式論ヲ擯ニ取ツテ、殊更裁判ノ判決ヲ延バス爲メ、日本中ノ地方裁判所ヲ控訴院ヲ持歩クト云フコトヲ考ヘナイトモ限ラナイ、サウ云フコトモ事情ニ依ツテハ出来ルト思フ、私ハサウキ大阪ノ檢事正ガ、上ノ方ノ偉イ人カラ言ハレシタガ、サウ云フヤウナコトハ非常ニ疑惑ヲ社會ニ投ゲルヤウナ態度デハナイカト思ヒマシタノデ、萬一左様ナコトガアツテハ斷ジテナナイ、斯ウ考ヘタノデ此ノ御質問ヲシタノデアル、ト同時ニ今アタノ仰シキヤウナ形式論ニ因ハレテ、裁判ノ審理ヲ進メルナラバ、今私ガ申シタヤウニ延バサウト思ヘバ、何時マデモ延バスコトノ出来ルヤウナコトニナツテ居ル、二ツモ三ツモ四ツモ、此處デ駄目ナラ次、次デ駄目ナラ次ト、無限ニ控訴院ト地方裁判所ノアル限リハ、持廻ハルコトガ出来ルヤウナコトニナルノデハナイカ、若シサウデアラナラバ、是ハ裁判制度ノ爲メ、斷乎トシテ改革シナケレバナラス、弊風制度デハナイカト考ヘ

テ居リマス、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○太田政府委員 只今ノ岡山或ハ廣島ニ同種ノ告訴事件ガ出来タカドウカト云フコトニ付テハ先程申シマシタ通り私存ジマセヌノデ、其ノ點ハ大阪ニ於テ相當ナル參考事項ガアツタノデ、大阪ニ於テ捜査ヲ開始シタト云フコトニナツタノダラウト云フ私ノ推測ヲ申上ゲタノデゴザイマシテ、現實ニハドウ云フ事情デアツタカ、ソレハ實ハ承知致サナイノデゴザイマス、唯其ノ捜査ニ於テハ、色々ナコトカラ或ル事項ニ關シマシテノ參考ニナルベキ色々ナ事情ヲ聽取スルコトニナリマスノデ、例ヘテ見マシレバ本人ノ住ンデ居ル所ノ檢事局ノ者ガ、一番其ノ本人或ハ其ノ事件ニ付キマシテ色々ナ事情ヲ知ツテ居ルト云フコトニ考ヘラレノデゴザイマスガ、併シ又別箇ノ事情カラ致シマシテ、或ル場合ニ於キマシテハ大阪ニアル或ル事件ガ、東京ニ於テ最モ能ク分ルヤウナ場合モ亦アルノデゴザイマス、ソレハ色々ナ事情ガ作用致シマス、左様ナ事情ガアリマスノデ、只今ノ場合ニ於キマシテモ、或ハ大阪デアル方ガ非常ニ工合ガ良カツタノカモ知レナイト思ヒマス、ソレハ現實ノ問題トシテ承知致サナイノデゴザイマスガ、左様ナコトニナツテ居リマス、ソレカラ一ツノ檢事局デ不起訴ニナツテ、更ニ他ノ檢事局ヘ持ツテ行ク、サウシテ又告訴ヲ提起スル、不起訴ニナツテ又餘所ヘ持ツテ行ク、ダレノ廻ツテ非常ニ困ルデナイカト云フ御話デゴザイマシテ、是ハ餘リ持廻ハルコトハ私共モ宜シクナイト思フコトデアルデアリマス、併シ今ノ訴訟法ノ建前ニ於テハ、サウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマシテ、ソレハ例ノ公訴ノ提起



ノ間ニ相剋摩擦ガアルヤニ私ハ耳ニ致シテ  
居リマス、司法省ニ取ツテハ是ハ相當重視  
シテ御臨ミニナラナケレバナラスコトダラ  
ウト思ヒマスノデ、現實ノ問題ニ付テ深ク  
政府委員ノ方ハ御承知ガナイサウデアリマ  
スガ、尙ホ此ノコトニ付テハ然ルベクアナ  
タノ上司ノ方トモ御相談ヲ願ヒマシテ、御  
研究ヲ願ヒ、御善慮ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ  
コトヲ申上ゲテ質問ヲ打切りマス

○太田政府委員 御話ノ如ク更ニ事情ヲ取  
調ベマシテ善慮致シタイト存ジマス、尙ホ  
只今大阪ノ檢事正方云々ト云フ御話デゴザ  
イマシタガ、此ノ點ニ付キマシテモ事情ヲ  
調ベテ見タイト思ヒマス、更ニ又法ノ神聖  
ヲ維持スル、ソレカラ訴訟ヲ迅速ナラシメ  
ルト云フコトニ付キマシテハ、御説ノ通り  
デゴザイマシテ、私共左様ナコトノ爲ニハ  
非常ニ努力シテ居ルノデゴザイマス

○西村委員長 今井君、農林資材部長ガ御  
見ニナリマシタガ、成ベク要領ダケヲ御  
願ヒ致シマス

○今井新委員 一點ダケ御尋ね致シマス、  
申上ゲルマデモナク農民ニ取リマシテ一  
頭ニオツカサツテ居ルノハ、肥料ノコト  
デアリマス、出来ルダケ澤山安イ肥料ヲ買  
ヒタイ、是ハ農民ヲ支配スル心理デアリマ  
スガ、現在ノヤウナ状態ハ中々思フヤウ  
ニ肥料ガ手ニ入りマセス、是モ諸種ノ事情  
デ已ムヲ得ナイガ、昨年私共農林省ハ肥料  
ノコトデ陳情ニ参リマシタ時ノコトデスガ、  
故郷カラ縣會議員ガ出テ参リマシタノデ、  
私モ話ヲ聴イテ居ツタノデスガ、其ノ時ニ  
農林省ノ肥料係ノ役人ノ話ヲ聴イテ居リマ  
シテ、私ハ實ニ驚イタコトガアル、儘力五  
月ダト記憶シテ居リマスガ、山梨縣ニ配給

スベキ肥料ノ半分モ、五月ノ末ニオツテモ  
参ツテ居ラナイ、ドウカ政府ガ五月ニ割當  
テタダケノ肥料ハ、急イテ戴キタイト陳情  
ヲ致シマシタ、サウスルト其ノ係ノ役人ガ  
仰シタルノニ、何トカ云フ課長デス、君  
達ハソコニ陳情ニ陳情シテモ、ソコナ簡  
單ナ陳情デハ肥料ハ行キマセヨ、要スル  
ニ肥料ヲ十分君達ガ買ヒタケレバ、モツト  
烈シク運動シナイト駄目ダ、要スルニ君達  
ノ腕次第ダ、斯ウ云フコトデス、是ハ私ハ  
實ニ容易ナラスコトダト思フ、昨年モ決算  
委員會議ニ於テ、商工省ノ役人ガ陳情ニ來ル  
者カラ賄賂ヲ取ルトカ何トカ言ハレタコト  
ガアルガ、私ハ統制ト云フコトハ、長野縣  
ナリ山梨縣ニ五月ナラ五月ニ、是ダケノ肥  
料ガ要ルノダト政府ガ御認メニナツテ、山  
梨縣ニ是ダケノ肥料ヲ渡サセシ御命令ニ  
ナツタナラバ、山梨カラ電報ヲ打タナクテ  
モ、電話ヲ掛ケナクテモ、況ニ急ガシ中  
ニ金ヲ使ツテ縣ノ役人ヤ縣會議員ナドガ陳  
情ニ來タケテモ、政府ガ御命令ニナツタモ  
ノハ、ソレダケ流シテ行クノガ本當ノ配給  
統制ナケレバナラヌト私共ハ考ヘル、然  
レニ黙ツテ居レバ半分ノ肥料モ來ナイ、ソ  
レデ上京シテ農林省ニ行ツテ見レバ、運動  
宜シキヲ得ナケレバ、山梨縣ニ行ク肥料ガ  
千葉縣ナリ、栃木縣ニ流レテ行ツテシマフ  
ダラウ、斯ウ云フコトヲ係ノ役人ガ言フニ  
至ツテハ、言辭道斷デアル、サウ云フ人ガ  
大切ノ係役人トシテ居タノデハ斷ジテ宜ク  
ナイト思フ、私モ話ヲ聴イテ驚イタシ、縣  
會議員モ驚イタノデアリマスガ、現在ハ肥  
料ノ配給ハドウ云フコトニナツテ居ルカ、  
其ノ點ニ付テ恐ラク今ハソコナコトハナイ  
ダラウト思ヒマスガ、其ノ時ノ事實ハサウ

云フ實情デアツタノデ、此ノ點ニ付テ心配  
ノ餘リ御尋ねスルノデアリマスガ、御説明  
願ヒタイ、ソレダケデアリマス

○重政政府委員 只今御質問ニナリマシタ  
ヤウナコトヲ係ノ方デ申シマシタスレバ、  
是ハ去年ノ肥料ノ生産ノ状況、供給ノ状況  
カラ見マシテ、御承知ノヤウニ殊ニ破産ニ  
付キマシテハ、内地ニ於テハ三十万、トンノ  
破産ナリ、而シテ吾々ト致シマシテハ外  
安ノ買付五万五千、トンノモヤル、更ニ硝  
石十萬、トンノモ買ヒ、一面ニ於テハ現有  
設備ヲ出来ルダケ動カシテ増産ヲヤルト云  
フノ電力調整令ノコトモアリ石炭ノ統制  
モアリマシタガ、極力努メテ結果、内地ニ  
於テモ十二、三万、トンノ増産ヲ致シタ、  
斯ウ云フ状況デ去年ハアツタノデアリマス  
ガ、併シ御承知ノ通りニ、電力調整令ノ施  
行ハ二月二十日以後デアリマス、外安ノ輸  
入及ビ硝石ノ輸入ニ致シマシテモ、海難ノ  
事件モアリマシタ、又、アメリカカラコチラ  
ヘ持つテ來マスノニモ、少クモ五十日ハ  
掛ルト云フヤウナコトデ、肥料ガ運レタノ  
デアリマス、其ノ爲ニ各府縣ニ於カレテハ  
府縣ノ係官ガ東京ニ皆出張致シマシテ、  
サウシテ統制會社並ニ各工場ニ出張ツテ、  
自分ノ方ヘ早ク取ルベク運動ヲ致シタ  
ノデアリマス、サウ云フコトヲ恐ラク言フ  
ノデアリマス、各製造工場ニ於キマシテ  
デアリマスルガ、各製造工場ニ於キマシテ  
モ、昨日作ツタ破産ガ、マダ湯氣ノ立ツテ  
居ルモノヲ吸ニ詰メテ、サウシテ出来ルダ  
ケ速カニ之ヲ輸送スルヤウナ手配ヲ致シタ  
ノデアリマス、ソレガ爲ニ中ニハ消費地ニ  
其ノ吸ガ行ツテ、吸ガ其ノ爲ニ傷ンデコト  
レームガ方々カラ出タト云フヤウナ、實

テ行タト云フヤウナコトハ、ソレハ町村財  
政ノ窮迫カラ來タモノデアリマセウ、併シ  
ナガラ町村財政ノ窮迫其ノモノノ根據ハ、  
是ハ稅制改革ニ伴フ稅源ノ彈力ヲ失ツタ町  
村ニ於テ起ツタ問題デアリマス、而モ稅制  
改革以前ニハ、此ノ伐採稅ト云フモノハ取  
ラナカッタ、取リマシテモ極小部分ノモ  
ノデアツタ、一、二ノ例外デアツタ、ソレ  
ガ一月十九日ニ發動セラレマシテ、全國ノ  
町村ニ對シテ發動セラレタト云フコトハ、  
成程稅金ノ百分ノ三百ノ附加稅ヲ超ユル町  
村ニ對シテト云フ所ノ但書ハアルノデアリ  
マスガ、稅源ノ彈力ヲ失ツタ町村ハ、何レ  
モ百分ノ三百ヲ超ユルニ至ルデアラウ、又  
斯ウ云フ財源ガ生マルレバ、新シイ計畫ヲ  
町村ニ於テ行フデアラウ、然ラバ千六百萬  
圓ト云フモノハ一年ニ森林ガ採取セラレル  
ト云フコトニナルノデアリマスガ、斯ウ云  
フ新シイ稅ノ發動セラレルコトガ分リマシ  
タ以上、此ノ計畫ニ依ツテ果シテ四百三十  
萬町歩ノ荒廢森林ヲ救フコトガ出来ルカド  
ウカ、其ノ確信アリヤ否ヤト云フコトニ對  
シマスル御答辯ヲ承ツテ置キタイト思ヒマ  
ス

○井出政府委員 只今御質問ノ最近地方ニ  
於キマシテ町村等デ立木ノ伐採稅ヲ取ツテ  
居ル、尙ホソレニ對シマシテ千分ノ二十デ  
スカマデハ場合ニ依ツテ取ツテ宜シト云  
フ方針ノ内務省方面デスカ、地方財政ヲ主  
管セラレル方デ大體御決メニナツタト云  
フコトハ、私モ間接デアリマスガ、極ク最近  
承ツテ居ル所デアリマス、隨ヒマシテ假ニ  
市町村ガ課税マシ立木伐採稅ガ、將來時  
局下ニ於テ一方木炭或ハ用材等ノ生産ヲナ  
サシメ、ソレガ爲ニ立木伐採稅セシメ、必要

ナ生産ヲ興サセ、而モ其ノ跡ニ對シマシテ  
ハ、將來ノ國土ノ保安、治水等ニモ憂ヒナ  
ク、又將來ノ森林資源ノ保護ニモ差支ナイ  
ヤウニト云フ意味デ造林ヲ致シマス、造林  
ヲ致シマス爲ニハ、大體御話ノゴザイマシ  
タヤウナ助成計畫等モ持つテ居ツタノデゴ  
ザイマスガ、ソレ等ノ計畫モ支障ナク行  
ルカドウカ、ソレトドウ云フ關係ニナルカ  
ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ伐採稅ノ  
問題ニ付キマシテハ極ク最近ニ起キタ問題  
デゴザイマスノデ、ソレ等ノ相關關係ニ付  
キマシテハ私共ニ於テモ慎重ニ檢討致シ、  
十分ニ關係方面ト御相談ヲシテ、只今申シ  
マシタ各種ノ森林ノ開發利用並ニ其ノ後ニ  
於キマスル跡地ノ造林ト云フ風ナコトニ遺  
憾ノナイヤウニ調整ヲ期シテ参リタイ、斯  
様ニ農林當局トシテハ考ヘテ居リマス

○西村委員長 次ニ鹽川君——成ベク簡潔  
ニ御願ヒ致シマス

○鹽川委員 山林局長ニ一ツ御伺ヒシテ置  
キマス、只今各府縣ニ於テ木炭ニ關スル縣  
令ヲ發布サレテ居リマスガ、サウ云フ府縣  
ニ於テ發布致シマシタ所ノ縣令ト云フモノ  
ハ、是ハ山林局ニ於テハ限リ御通シニナリ  
マスカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○井出政府委員 只今各府縣ニ於キマシテ  
木炭ノ生産配給ニ關シマスル取締ノ縣令ヲ  
出シテ居リマスガ、是ハ木炭ノ配給調整ニ  
關シマスル農林省令ニ基キマシタ其ノ府縣  
ノ施行細則デアリマシテ、其ノ施行細則ヲ  
府縣ニ於テ制定致シマス際ニハ、山林局ニ  
打合セテ了シマシテ、其ノ承認ヲ經テ制定  
セラレテ居リマス

○鹽川委員 其ノ府縣令ノコトニ付キマシ  
テ御伺ヒテ致シマスガ、例ヘバ或ル縣ニ於

肥料ヲ、他ノモノニ使ツテ困ルト云フ苦情  
ガ、先達ツテ二、三ノ方面カラ來タ位大體  
ニ於テ本年ハ計畫通りニ配給ヲ致シテ居リ  
マス、ソレガ爲ニ配給ノ線上ゲテヤツテ果  
レト云フヤウナ陳情ハ餘リナイヤウデアリ  
マス、是ハ尚ニ各方面ノ御協力ニ依ツテ、  
非常ニ改善セラレタコトト、吾々トシテモ  
喜ンデ居ル次第デアリマス

○今井新委員 詳細ノ御答辯ヲ得マシテ  
了承致シマシタ、先程申上ゲマシタヤウニ、  
肥料ノ割當ガ多イトカ少イトカト云フコト  
ヨリモ、私ノ申上ゲルノハ、運動情實ノ如  
何ニ依ツテ、肥料ガ買ヘルトカ買ヘストカ  
云フヤウナコトデハ相成ラス、運動中陳情  
ナシカシナクテモ、政府ガ必要ト認メテ割  
當テタケハ、必ズ割當テ所ヘハ流レテ  
行ツヤウナ制度ニ致スベキデアル、斯ウ云  
フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、  
此ノ程度デ宜シウゴザイマス

○重政政府委員 御承知ノ通りニ割當ニ付  
キマシテハ、一定ノ標準ニ依ツテ農林省ニ  
設ケテアリス委員會議ニ諮ツテ割當ヲ致シ  
テ居リマス、限月別ノ割當ヲシ、府縣ハ更  
ニ一定ノ標準ニ基イテ各町村ニ割當ヲ致シ  
テ居リマス、唯此ノ割當ハ荷物ヲ運バネバ  
ナラヌト云フコトニナツテ居リマス、其ノ  
荷物ヲ運ビマスニハ、成ベク早場地方ニ早  
ク割當運ブヤウニ致シテ居リマス、  
生産ノ事情其ノ他ニ依リマシテ、早場地方  
ニハ早ク持つテ行クト云フ風ニ致シテ居ル  
ノデアリマシテ、是ハ屢々私ハ申上ゲルノデ  
アリマスガ、御陳情ヲ幾ラセラレテモ、  
思ツタ通りシカ致サナイト云フコトニ致シ  
テ居リマスガ、其ノ點ハ御安心ヲ戴キタ  
イト思ヒマス

○松浦周委員 一寸簡單ニ御尋ね致シマ  
ス

○西村委員長 五時半ニハ新タナ質問ハ打  
切りタイト思ツテ居リマスガ、成ベク簡  
潔ニ願ヒタイト思ヒマス

○松浦周委員 承知致シマシタ、簡單ニ  
御尋ね致シマス、山林局ニ對シテ一寸御尋  
ね致シテ置キタイト思ヒマスガ、午前中ニ  
立木伐採稅法ノ發動ニ付キマシテ、内務省  
局ト色々質問應答ヲ致シタノデアリマスガ、  
結局法令ニ基イテナシタト云フコトニ結論  
ガナツタノデアリマス、デアリマスガ、農  
林省ハ昭和十六年度カラ十箇年計畫ヲ以テ、  
二百萬町歩ノ造林計畫ヲナス、五千三百萬  
圓、十箇年間ニ於ケル國庫ノ助成金ヲ出ス  
コトノ豫算ヲ提案セラレマシタ、隨ヒマシ  
テ十六年度ニハ三百九十六萬七千圓ノ助成  
費ヲ出スコトニナツテ居リマス、之ニ依ツ  
テ一箇年間ニ約四百三十萬町歩ノ荒廢森林  
ニ對シテ造林ヲ助成シ、森林ノ保護ヲ計畫サ  
レタノデアリマスガ、之ニ依ツテ私考ヘマ  
シタコトヲ推測致シマス、少クトモ薪炭  
ノ伐採ニ至ルマデ伐採稅ヲ取ルコトニナル  
ノデアリマスガ、立木ノ伐採稅デアリマ  
スカラ、一年ニ此ノ木代金ガ約八億圓ニ上  
ル、其ノ八億圓ニ上ルモノニ對シテ千分  
ノ二十デスカラ、千六百萬圓森林カラ採取サ  
レルノデアル、ソレニ對シテ三百九十九萬圓  
ノ助成ヲサレテ、果シテ此ノ豫定通りノ四  
百三十萬町歩ノ荒廢森林ニ對スル方法ガ付テ  
デアラウカ、是ハ一方ニ權兵衛ガ種ヲ蒔ク  
ヤウナモノデアツテ、一方ハ森林ニ對スル  
色々ナ計畫ヲ致シテ、一方ハソレヲ破壤シ



テハ地方長官ノ許可ヲ得レバ或ル數量ハ移出スルコトガ出來ル、實例ヲ申シマシレバ、地方カラ東京ニ送ルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、所ガ其ノ許可ヲ得テ地方カラ東京ニ送ツテ參リマスルト、東京府ニ於テハ各驛ニ東京府ノ木炭組合ノ役員ガ出テ居リマシテ、汽車カラ降リルト直ダニ之ヲ差押ラシテ、サウシテ公道價格ニ於テ買上ゲル、斯ウ云フヤウナコト、詰リ實質上ノ沒收ニ等シイコトヲヤウテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ事柄ヲ御認めニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒマス。

○井出政府委員 只今ノ御尋ネノ點ハ東京府ニ於テキマシテ大體左様ノ動キ方ヲ此ノ冬以來致シテ居ル事デアリマス、ト申シマスルノハ、御承知ノヤウニ昨年ノ秋以來此ノ冬ニ進ンデ參リマスニ付キマシテ、東京大阪ト云フ風ヲ木炭ノ主要消費府縣ニ於テマシテハ、非常ニ木炭ノ配給ニ窮屈ヲ感ジテ居リマシテ、所ガ一方東京等ニ對シマシテハ當時生産府縣カラ木炭ガ府内ニモ相當入ツテ參ツトデアリマスガ、相當荷物が偏在致シマシテ、一般ノ家庭ニ參リマス木炭ハ非常ニ手ニ入ラナカッタノデアリマス、ソコデ已ムヲ得ザル措置ト致シマシテ、東京府ト致シマシテハ東京府内ニ生産サセル木炭ト、ソレカラ東京府ニ入りマス總テノ移入木炭ト云フモノハ、極ク少量ノモノニ付キマシテ特別ノ許可ヲ與ヘマス場合ノ外ハ、全部之ヲ荷受統制組合ト云フモノヲ組織セシメマシテ、是ハ從來ノ薪炭ノ卸商業組合、東京府ノ産業組合聯合會、ソレカラ全販聯、此ノ三者ガ一體トナリマシテ、荷受統制組合ヲ作リマシテ、之ニ總テ強制

集荷スル、更ニ政府ガ其ノ頃カラ此ノ眞冬マデニ掛ケマシテ移出額ヨリドンノ炭ヲ殆ド一手ニ特別會計ニ於テ買入集荷シ、是亦東京府ニ持ツテ參リマシテ、此ノ荷受統制組合ニ總テ一元的ニ流シマシテ、更ニ其ノ總テノ數量ヲ基礎ニシテ毎月各種ノ需要ニ對シ、特ニ一般ノ家庭用ノ木炭ニ付キマシテハ、一依テ買入ヲト云フ家庭ガ非常ニ荷物ノ偏在ノ爲ニ一時ハ入ラナカッタノデアリマスカラ、ソレデ此ノ眞冬ニ於テキマシテ最少限度生活上必要ナル炭ダケハ確保スルト云フ爲ニ、左様ナ一定ノ荷受統制組合ニ依ツテ集荷シマシテ炭ヲ、一定ノ標準ニ依リマシテ各家庭、其ノ他ノ需用用途ニ毎月々々指定シテ配給致シマシテ、殊ニ一般家庭ニ付キマシテハ、御承知ノヤウナ切符制度ヲ以テ配給スルト云フ風ナコトヲ致シマシテ、漸ク一方ニ於テ昨年ノ八月乃至十月頃マデノ非常ナ荷物ノ偏在ヲ是正致シマシテ、兎ニ角一般ノ消費者ニ對シテ少イナガラモ入荷ヲ先ツ均等ニ配給スルト云フコトニ致シマシテ、其ノ基礎ト致シマシテ已ムヲ得ズ只今申シマシテヤウナ包括的ナ荷受統制制度ヲ作リ、是ハ東京府令ヲ以テ制定スルコトヲ農林省トシテ承認シ、又事實之ヲ指導致シタノデアリマス、隨ヒマシテ或ル府縣ニ於テキマシテ、東京府宛ノ移出許可ヲ與ヘマシテ付キマシテモ、ソレガ相當ノ數量ニ互リマスモノハ、ヤハリ荷受統制組合ニ於テ公道價格ヲ以テ買入レ、ソレヲ其ノ「プール」中デ再配分スルコトニナツタノデアリマス、極ク少數ノ自家用ノモノ等ニ付キマシテハ、其ノ時宜ニ依ツテ其ノ都度特別ニ個々ノモノニ入荷ノ承認モセテラマシタガ、原則トシテハ

御話ノヤウナコトニナツタノデアリマス、ヤハリ生産府縣カラノ縣外移出ニ付キマシテハ、是モ段々木炭ノ生産消費及ビ移出入ト云フヤウナ、需給ノ調整方順次正確ニ各地下トモ秩序立ツテ參リマスニ連レマシテ大體各府縣トモ原則トシテ移出セラレル木炭一瓦斯用木炭ハ別ニ致シマシテ、家庭用ノ木炭ダケハ原則トシテ縣外ニ移出ノ第一ニスル、ソレ以外移出セラレルモノハ、從來ノ自家用製炭者ガ自分ノ手山デ燒イタモノヲ持ツテ參ルト云フ風ナ場合等ニ限リ、從來比較的縣外移出ヲ許可シテ參リマシテ附費用ノ移出等ハ各縣トモ順次其ノ移出ノ制限ヲ嚴格ニ致シテ參ツテ居ル譯デアリマス、斯様ニ致シマシテモ一方ニ於テ御承知ノヤウニ、此ノ木炭ノ特別會計ニ於テキマシテ、兎ニ角生産地ニ於テキマシテ消費地ニ對シテ政府ガ一定ノ計畫買ヒマシテ、サウシテ消費地ニ向ツテ之ヲ流シテ、消費計畫ヲ立テサセテ、之ニ其ノ數量ヲ配給シテ參ルト云フ方法ヲ此ノ冬以來順次完備シテ參ツタノデアリマシテ、大體最近ノ全體ノ觀察ト致シマシテハ、極ク小部分ノ場合ハ別ト致シマシテ、全體的ニハ比較的需給ノ調節方調滑ニ參ツテ居ルノデヤナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○鹽川委員 ソレカラ其ノ移出額ニ於テ許可スル範圍ガ、或ハ其ノ幅ヲ狭クスルトカ、或ハ相當數量トカ云フヤウナコトヲ御話デアリマスガ、ソレハ具體的ニ申シマス、ドレ位ノ程度ヲ御指シニナツテ居ルノデアリマスカ。

○井出政府委員 極ク當座ノ常用程度ノ數量ヲ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ數量ヲ明カニ何儀以内ト云フ風ニ致シマスガ、ソコラノ點ハ只今ノ所マダ考究中デ決メテ居ラナイノデアリマス。

○鹽川委員 最後ニ一言致シマスガ、兎ニ角一方ノ知事ガ之ヲ適法ニ認メタモノヲ、他ノ府縣ニ於テ強制沒收スルニ等シイヤウナ行爲ト云フモノハ、是ハ斷じて認めルコトガ出來ナイ、洵ニ不合理ナ話ト思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハモツトハツキリシタ府縣合ナリヲ定メテ、サウシテ國民ガ迷ヒノナイヤウニシテ載キタイト云フコトヲ要望シテ置キマス。

云フ數量ノ下ニ許可スルト思フノデアリマス、ソレガ輸送サレテ東京府ニ入ルト、直チニ取上ゲラレテシマフ、斯ウ云フ事柄ハ丁度日本ノ國方徳川時代ニ還ツタヤウナモノデ、藩々ニ依ツテソレソレノ規則ガアツテ、サウシテ他ノ藩ハ入レバソレハ取上ゲラレテシマフ、斯ウ云フノ同ジ結果デアツテ、統一政府ノ下ニアル行政處分ト受取ルコトガ出來スト思フノデアリマス、只今ノ話デ相當量ハ東京府ニ入ルト云フコトヲ認メテ居ル、斯ウ云フ話デアリマスガ、其ノ相當量ト云フノハドレダケノ數量ヲ指シタノデアリマスルカ、其ノ相當量ト云フモノハ、寧ろソレハ移出ノ許可ヲ與ヘル所ノ縣ニ於テ決定スベキモノデアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、三依カ或ハ二依カト云フヤウナ、サウ云フ僅カナモノマデモ知事ガ許可ヲ與ヘテ居ルモノヲ、東京府ノ知事ガ之ヲ取上ゲルト云フヤウナコトハ、如何ニモ是ハ法治國ノ體面ト云フモノハナイト思フノデアリマス、殊ニ農林省ハ此ノ府縣ノ府縣令ヲ發布スル際ニハ、一々之ヲ檢閲シテ承認ヲ與ヘテ居ル、斯ウ云フノデアリマスルガ、一體サウ云フ風ニ一方デ知事ガ適法ニ許可ヲ與ヘタモノヲ、同ジ知事ガ、他ノ縣デアレバ之ヲ取上ゲルト云フヤウナ事柄ヲ御認めニナツテ居ルノデアリマスルカ、其ノ邊ヨリ伺ヒタイノデス。

○井出政府委員 移出額デ移出ノ許可ヲ致シマシテモ、ガ東京府等ノ消費ノ移入縣ニ於テキマシテ直接其ノ宛先ニ行カズニ、途中デ御話ノヤウニ荷受統制組合ニ強制的ニ賣渡シラセシメラレルト云フ風ニ移出額ガ移出シテ宜シイト云フ判斷ノ下ニ、又左様ナ餘地ノアル一定ノ縣令ノ下ニ致シマシタ點カラ考

ヘテ見マスレバ、洵ニ不一致ノ點ハ御話ノ通り御尤モ思フノデアリマス、是等ノ點ノ不一致ノナイヤウニ各縣ノ縣令ニ依リマシテ個個ニ移出セラレマス數量及ビソレヲ府縣知事ガ許可致シテ宜シイト云フヤウナ數量ニ付キマシテハ、只今順次原則トシテ私共トシテハ幅ヲ狭メテ參ツテ居ルノデアリマス、唯ズツト以前ニ府縣令ヲ制定致シマシタ所デハ、是ハ時間的ノ關係デ相當餘裕アル縣外移出許可、贈答品等ノ許可ヲシ得ルト云フ儘ノ規定ニナツテ居ル、其ノ後御承知ノヤウニ昨年以來消費地方面ノ木炭ノ需給ガ逼迫シタ爲ニ、ソレ等ノ事態トハ又別ニ東京府等ノ消費地ニ於テキマシテハ、相當強度ノ荷受機構ヲ作り、ソレソレソレニ對スル統制規則ヲ作ツタト云フヤウナ沿革カラ御話ノヤウニ生産縣、移出縣ト云フ移入致シマス消費縣トノ取扱ガ違フト云フヤウナ、洵ニ面白クナイ間際ノ結果ヲ多少來シタ點ハ洵ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ點ハ成ク早イ機會ニ關係縣ノ統制規則ヲソレソレニ調整致サセマシテ、左様ナコトノナイヤウニ致シタイ、即チ大體移出額カラ政府ノ手ヲ通ジテ移出セラレル以外ノ、自由ニ移出セラレル數量ナリ、幅ト云フモノハ今後ハ考ヘ方トシテハ極力狭メテ參リタイト思ヒマス、ソレヲ出來ルダケ政府ニ於テ買入レマシテ、移入縣ニ持ツテ參ツテ、之ヲ荷受統制組合ニ渡シテ行クト云フ風ナコトヲ講ジ、一方其ノ代リ例外的ニ移出額カラ移出ノ許可ガアリマシタモノハ、ソレハ其ノ儘消費地ニ於テキマシテ其ノ宛先ヘ届クト云フ風ナ工合ニ、各市縣ノ間ノ木炭ノ配給ニ關スル規則及ビソレノ運用ヲ全面的ニ調整致シタイ積リデ只今ソレ等

ノ點ニ付キマシテノ準備モ致シテ居リマスルノデ、成ク早イ機會ニ御話ノヤウナ點ノナイヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○鹽川委員 其ノ他府縣ヨリ輸送シタモノヲ東京府ニ於テ強制沒收スルト云フ、サウ云フ所有權ヲ剝奪スルヤウナ事柄ハ、ソレハヤハリ法ノ根據ノ上ニ認メラレテ居リマスルカ、其ノ點ヲ御伺ヒシテ置キマス。

○井出政府委員 只今動かシテ居リマスルノハ、臨時措置ニ基キマシテ、此ノ東京府内ニ入りマシタ左様ナ炭ハ、原則トシテ荷受統制組合ニ強制賣渡ラセネバ他ヘ賣ツテハナラナイト云フ趣旨ノ規定ヲ設ケテアリマス。

○鹽川委員 ソレカラ其ノ移出額ニ於テ許可スル範圍ガ、或ハ其ノ幅ヲ狭クスルトカ、或ハ相當數量トカ云フヤウナコトヲ御話デアリマスガ、ソレハ具體的ニ申シマス、ドレ位ノ程度ヲ御指シニナツテ居ルノデアリマスカ。

○井出政府委員 極ク當座ノ常用程度ノ數量ヲ考ヘテ居リマスルノデ、其ノ數量ヲ明カニ何儀以内ト云フ風ニ致シマスガ、ソコラノ點ハ只今ノ所マダ考究中デ決メテ居ラナイノデアリマス。

○福田委員 先程樺太ノ林木ニ付テ農林省ニ對シマシテ御問ヒシタノデスガ、政府ノ方デ私ノ質問ヲドナカラカラ御傳ヘ下サツタデセウカ。

○小河政府委員 間接ニ伺ヒマシタガ、間違ヒガアルトイカスト思ヒマスノデ、若シ出來得レバ簡單ニ概要ダケヲ仰シヤツテ戴ケバ仕合セデアリマス。

○福田委員 林木ノコトデアリマスガ、國有財産ニ樺太ガ編入セラレマシテ、此ノ處置ト管轄ハ、農林省ノ方ニ移ラナイデ、尙ホ樺太ノ自由裁量ニ任ジテアルト云フコトニナツテ居リマスカ。

○小河政府委員 左様デゴザイマス。

○福田委員 サウ致シマスルト、國有財産ニ編入サレタモノガ、營林局ノ方ノ管轄ニナラスト致シマスルト、現在樺太ニハ相當餘裕アル林木ガアルノデアリマスガ、現在内地ニ於テキマス林木ノ濫伐ノ結果、或ハ旱害、水害等ニ及ボス影響ガ非常ニ大キイノデアリマス、ダカラ年來議會ト致シマシテハ、樺太ノ餘裕林木ヲ充當シテ、而シテ内地ニ於ケル所ノ濫伐ノ弊ヲ除去スベシト云フコトノ聲ガ數年ニ互ツテ高イノデアリマスガ、樺太廳ニ於テハ一向ニ其ノ方面ノ輿論ヲ御聴キニナラナイ傾向ニアルノデハナイイカト思フノハ洵ニ遺憾デアリマス、ソレハナゼサウ云フコトヲナサレカト云フト、結局ハ王子製紙會社ト云フ一財團ヲ擁護スル爲ニ、無用ノ林木、所謂「バルブ」資材ト云フモノヲ推シテ、何處マデモ之ヲ擁護サレルト云フ、昔カラノ傳統的惡弊ニ陥ツタ結果デアナイイカト私ハ思フノデアリマス、例ヘテ見マス、現在樺太廳ガ林木ノ資材ノ積貯量ヲ御發表ニナツテ居リマスルガ、

殊ニ露領ヨリ流レテ居ル「ピレオ川沿線」アル所ノ林木ノ如キハマダ調査シテ居ラズ、是等ハ少クとも六億石ヲ包蔵シテ居ルト推定サレルトデアリマスガ、是等ノ今開發スルナラバ、内地ニ於ケル所ノ山林荒廢ラ來スヤウナコトハ、同ジ一政府デアツテ、此ノ非常時局ニサウ云フ危急ヲ救フベキ所ノ途ガアルニ拘ラズ、之ヲ其ノ儘ニ存置シテ置クノデアリマス、是ハ餘程私ハ大問題ダト思フノデアリマス、是ハ樺太廳ト農林省ト兩方ヨリ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス。

○小河政府委員 御承知ノヤウニ樺太ハ樺太特別會計ト云フ特別會計ヲ立テテ居リマシテ、是ガ國ノ豫算ヲ成シテ居ルノデゴザイマス、隨テ樺太ニ於ケル國有財産ハ、此ノ特別會計ノ所管ニ屬スルコト、又是レ當然ダト考ヘテ居リマス、併シナガラ山林ノ資源ハ之ヲ開發致シマスルノニ付キマシテハ、決シテ自分勝手ニヤルベキモノデナクシテ、日本全體ノ木材ノ需給ヲ考慮致シマシテ、他ノ機關ト打合セノ上デ是ガ發行ヲスベキコトハ、只今福田委員カラ御述べニナリマシタ通りデゴザイマス、樺太廳ト致シマシテモ、勿論左様ニ致シテ居ルモノデゴザイマス、而シテ樺太ニ於ケル木材ノ伐採數量ガ少イデアナイイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、此ノ點ハ所見ヲ異ニ致シテ居リマシテ、樺太廳ト致シマシテ今日伐採致シテ居リマス數量ハ大體〇〇〇〇〇〇石デゴザイマスルガ、之ヲ樺太ノ蓄積量ニ對シテ國有財産トシテ御報告申上ゲデアリマスル數量ハ、一應八億三千石トナツテ居リマスガ、此ノ中デ利用ノ出來ナイモノガ



ゴザイマシテ、大體利用シ得ル數量ハ〇億前後ト御諒解願ヘレバ宜イト思ヒマスガ、寒イ土地デゴザイマシテ伸長モ非常ニ長イカデアリマス、隨テ輪伐年限ノ非常ニ長イト御諒解願ヘレバ宜イト思ヒマス、今ハ〇〇石程度ノ年伐量ヲ以テ至當ト考ヘラレテ居ル次第デゴザイマス、此ノ〇〇〇〇石ト云フ年伐量ヲ定メマスルニ付キマシテハ、内地ノ新界ノ權威ノ方々ニ御研究ヲ願ヒマシテ、其ノ御研究ノ結果算出セラレマシタ數量デゴザイマス、隨テ今日樺太廳ト致シマシテ〇〇〇〇石ノ伐採ヲ致シテ居リマスト云フコトハ、非常ニ過伐ヲ致シテ居ルコトデゴザイマス、併シナガラ此ノ過伐ハ既存ノ契約ニ基キマシテ個人ノ權利ニ屬シテ居ルコトデゴザイマス、此ノ既得權ニ關ルコトハ面白クナイト云フコトデ、既得權ニ關ルコトハ面白クナイト云フコトデ、此ノ既得權ニ基キマス伐採量、ソレカラ御承知ノ如ク先程「バルブ」ノ問題ガ出マシタガ、「バルブ」ト致シマシテモ、今日日本全國デ非常ニ不足ヲ來シテ居リマス、政府ト致シマシテモ、「バルブ」デモ多ク「バルブ」ヲ製作セシムルコトガ、今日ノ帝國ノ國策上必要ナコトデゴザイマシテ、此ノ「バルブ」増産ノ爲メ資材ト、ソレカラ事變處理ニ當リマシテ今日大量ノ公用材ヲ擁シテ居リマス、是ハ戰爭遂行ノ目的ノ爲メ要スル資材デゴザイマス、平常時ノ施業案ヲ遵守スルコトヲ許サナイ、斯様ナル意味ヲ以チマシテ、此ノ施業案ヲ無視シテ今日ハ過伐ヲ致シテ居ルト云フヤウナ次第デゴザイマス、決シテ樺太ハ自分ノ財産ヲ大事ニシテ、小出シニシテ居ルト云フ譯デナクシテ、伐ルベキ數量ヨリモ殆ド倍ニ近

イ數量ヲ只今伐リツツアルト云フ實情デゴザイマス、御諒解願ヒタイト思ヒマス  
 ○福田(關)委員 只今御伺ヒシマシタ「バルブ」ノ沿線ノ六億石ト云フモノガ、樺太ハ昨年ハ之ヲ隱蔽サレテ居ルト私ハ申上ゲタ、其ノ調査ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ  
 ○小河政府委員 只今申上ゲマシタ、又茲ニ御報告申上ゲテアリマス立木竹八億三千九百九十四萬石ト云フモノノ中ニハ入ツテ居リマス、隱蔽ハ致シテゴザイマセヌ  
 ○福田(關)委員 今マデノ樺太廳ノ御發表ニナリマシタモノノ中ニ「バルブ」ノ沿線ノモノノ調査ハ入ツテ居ラスト云フヤウニ答辯サレテ居リマス  
 ○小河政府委員 以前ノ人ノ答辯ハ存ジマセヌガ、恐ラク邦領デナイ、露領ノ「バルブ」ノ沿線ノ材積ハナイカト思ヒマスガ、邦領ニ屬スル沿線ニ於キマシテハ、全部飛行機ニ依リ寫眞調査ヲ致シテ、正確ニ是ハ調査ヲ致シテアリマス、落チテ居ル氣遣ヒハナイト考ヘテ居リマス  
 ○福田(關)委員 此ノ調査、サウシテ權威ノアル委員ノ意見ヲ聽イテ言ヒマスガ、樺太ニ於テモ、アナタ方ハマダ能ク御分リニナツテ居ナイ、飛行機ヲ以テ森林ノ材積ヲ御調査ニナルト云フヤウナコトハ、全ク一ツノ机上ノ、紙面ノ材積豫算ニ過ギマセヌ、實情カラ言ヒマス、友人ノ考ヘテハ、此ノ「バルブ」川ノ邦領ニ屬スルモノノモ、非常ニ資材ノ存在ガアルノデアリマスカラ、ソレヲ唯飛行機ヲ見タト云フコトノ御報告ヲ以テ、莫大ナル資源ガアルノニ、之ヲ其ノ儘ニサレテ、其ノ位ノ調査デハ、此ノ廣イ沿線ニアリマス所ノ實際ノ材積ノ

計數ハ分ル譯ハアリマセヌ、サウシテ「バルブ」用ノ材木ハ、樺太ニ於テハ約三十年モ致シマス「バルブ」用材ニ供スルコトガ出來ル、然ラバ此ノ議會デモヤカマシク申シマシタヤウニ、ズツト以前ニ樺太ノ森林濫伐ヲ致シマシテ、其ノ拂下ゲタモノニ對シテハ一々後カラ樹木ヲ植エ、或ハ間伐ヲ致シマシテ、其ノ小サイモノノ存在ヲ保護シテ居ツタ管ナノデアリマス、ソレガモウ三十年スレバ——樺太ガ領有サレマシテ三十年ノ御祝ヒガ既ニ行ハレテ居ル、然ラバ元伐ツタ所ノソレ等ノ材積ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシテ御積算ニナツテ居リマスカ  
 ソレカラ同時ニ「バルブ」川ノ今ノ邦領ノ沿線ニ含有シテ居ル所ノ材木ノ材積ハ幾ラト御認めニナツテ居ルコトデゴザイマスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス  
 ○小河政府委員 飛行機寫眞ガ全ク正確ナモノデアルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデゴザイマスガ、ソレ廣イ範圍デゴザイマスカラ、毎木調査ヲ致スト云フコトハ、到底不可能ナコトニ屬シテ居リマス、最も可能ナ方法デアツテ、大量ノ觀察シテ、正確ナ方法ハ飛行機寫眞ニ依リ調査、是ハモウ疑ヒノナイ所デアリマシテ、學界ノ人々モ同時ニ支持シテ居リマス、之ニ依ツテ調べマシタ所ノ結果ノ資料デゴザイマス、隨テ此ノ數量ニハ多少ノ相違ハアルカモ知レマセヌガ、大量ノ相違ハナイト確信ヲ致シテ居リマス  
 其ノ次ノ御尋ネハ、既ニ今マデ長イ間伐採ヲシテ居ルノデアルカラ、其ノ後ノ天然更新ニ依ツテ相當材積ガ蓄積サレテ居ルラウト云フ御尋ネデアルト存ズルノデゴザイマス、此ノ點ノ御尋ネ洵ニ御尤

モデゴザイマスガ、洵ニ遺憾デアリマスカトハ、樺太ニ於ケル山火ノ被害ニ依リマシテ、折角生エマシタ稚樹ガ燒失ヲ致シシマヒマシテ、一旦山火ニ遭ヒマス、地味ハ獲セテ參リマス、稚樹ハナクナリマス、天然更新ト云フコトガ出來ナイ結果ニ相成ルノデゴザイマス、左様ナルコトニ依ツテ全部トハ申上ゲマセヌガ、不幸ニシテ伐採跡地ノ更新ト云フモノハ能ク行ツテ居ラナイノデアリマス、此ノ點甚ダ遺憾ニ屬シテ居リマス、ソレカラ「バルブ」川沿線ノ材積ノ問題デゴザイマスガ、只今私ハウキリ申上ゲルマデノ材料ヲ持ツテ居ラナイノデゴザイマス、茲ニ御報告致シテアリマス中ニゴザイマス、惠須取林務署、惠須取事業區トアリマス恐ラク第二ノ名好事業區ニ屬スル林木二億餘石ト云フモノガ、此ノ中ニ「バルブ」川沿線ノ林木トシテ入ツテ居ルモノト考ヘマス  
 ○福田(關)委員 今「バルブ」川沿線ノ蓄積量ニ付キマシテハ、サウ云フ少數ノモノデアリマス、樺太廳ハ萬難ヲ排サレマシテ、此ノ資材不足ノ時局ニ直面シテ居ル時デアリマスカラ、此ノ邊ヲ速クニ調査サレベキデアラウ、飛行機ニ依リ調査ト稱シテ、之ヲ二億餘石ニ御認めニナル、是ガ抑、私ハ面白カラザルコトダト思フ、事實ハソレ以上ニアル、ソレカラ二千餘萬石ノ年々ノ御拂下ノ申デ、王子製紙ニ幾ラ、其ノ他ノ會社及ビ一般ニ對スル割合ヲ示シテ載キタイノデアリマス  
 其ノ次ハ今同樺太開發會社ガ出來マシタガ、之ニハ森林地帯ハ入ラナイノデアリマス、併シ森林地帯ヲニ關聯セシムルト云

フ必要ガ生ジテ來ルカモ知レナイ、地下埋没及ビ或ハ田畑ノ開發ト云フコトダケデナクシテ、森林ニ關聯スルモノガ相當將來ナクテハ——今ノ目論見書ニハナイト致シマシテモ、將來ナクテハ本當ノ事業ノ遂行ガ出來ナイト思ヒマスガ、是等ト併セテ一ツ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス  
 ○小河政府委員 御尋ネノ點御答ヘ申上ゲマス、「バルブ」川沿線ノ材積ノ問題デゴザイマス、只今申上ゲマシタ二億餘萬石ト云フモノハ名好事業區ノ總蓄積量デゴザイマスガ、恐ラク「バルブ」川沿線ノ材積ハ其ノ半バデナイカト考ヘマス、併シナガラ此ノ推定ニハ大シク間違ヒハナイト考ヘテ居リマス、併シ樺太廳當局ト致シマシテハ此ノ「バルブ」川沿線ノ材積ノ利用ヲ致シタイト、折角只今計畫中デゴザイマス、併シナガラ此ノ區域ノ材積ヲ利用致シマシテモ、其ノ爲メ伐採量ガ殖エルト云フ結果ニハ相成ラヌノデアリマシテ、總蓄積量ハ八億餘石、其ノ中ノ利用量ガ〇〇〇〇〇石ト云フコトニキチント決マツテ居リマス、隨テ年伐量ヲ殖ヤスト云フ結果ニハ相成ラヌノデアリマシタガ、此ノ地方ノ老齡木ヲ利用スルト云フコトハ、最も結構ナコトダト思ヒマシテ、折角只今計畫中ニ屬シテ居リマス  
 其ノ次ハ今度新設セラレベキ樺太開發株式會社ノ事業ノ中ニハ關スルコトヲヤウツラドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、其ノ點全ク御尤モノ御意見デゴザイマシテ、同感ノ趣旨ヲ持ツテ居リマス、隨テ開發會社ノ計畫ノ中ニハ南名好ノ炭田ヲ開發致シマシテ、時局下最モ必要ナル所ノ石炭ノ増産ヲ圖リマス、共ニ、初年度ニ於キマシテ〇〇〇石、次年度以降〇〇〇石ノ立木ヲ伐採致シマシ

テ、是ガ増材ヲ致シ鑛業用材、公用材等ニ之ヲ供出致スト云フ事業ヲ目論ンデ居リマスカ、更ニ次年度以降十五箇年間に無立木地ニ六萬町歩ノ人工植材ヲ致シタイ、斯様ナ計畫モ目論ンデ居リマシテ、折角是ガ實現ヲ期シタイト考ヘテ居リマス  
 (委員長退席、鹽川委員長代理着席)  
 次ニ各會社別ニハ分リ兼ネマスカ、用途別ニ申上ゲマスカ、昭和十五年度ニ於キマシテ、島内ノ「バルブ」用資材ト致シマシテ〇〇〇〇〇石、島外用ノ「バルブ」資材ト致シテ〇〇〇〇〇石、是ハ個人ノ年取ヲ王子ガ買取致シタモノデアリマシテ、將來昭和十八年度以降ハナクナルモノデアリマスカ、ソレカラ増産用ノ原料ト致シマシテ〇〇〇〇〇石、島外一般用材ト致シマシテ〇〇〇〇〇石、島外公用材ト致シテ〇〇〇〇〇石、鑛業用材ト致シテ〇〇〇〇〇石、製材工場用ノ用材ト致シマシテ〇〇〇〇〇石、其ノ用途ニ充テマスルモノト致シマシテ〇〇〇〇〇石、合計致シマシテ〇〇〇〇〇〇〇石ト云フ計畫ニ相成ツテ居リマス  
 ○福田(關)委員 其ノ中ノ九百萬石ハ王子製紙用デアラウト思ヒマスガ、サウ考ヘテ差支ヘアリマセヌカ  
 ○小河政府委員 〇〇〇〇〇石、及ビ島外「バルブ」用材ノ〇〇〇〇〇石ノ大部分ハ王子製紙用デゴザイマス  
 ○福田(關)委員 今度ハ農林省ニ伺ヒマスガ、農林省ノ今年度御計畫ノ瓦斯及ビ木炭用ノ林木拂下ノ石數ノ御豫定ハ幾何デアリマスカ  
 (鹽川委員長代理退席、委員長着席)  
 ○井出政府委員 只今ノ御尋ネノ十五年度ニ於キマスル内地府縣方面ノ國有林ノ拂下

ゲマサル木材ノ中デ、正確ノ數字ヲ持合セテ居リマセヌガ、大體ノ數字ヲ申上ゲマスカ、薪炭材——其ノ大部分ハ製炭用デアリマスガ、ソレガ一千萬石、用材ニ屬スルモノガ二百萬石ト云フ大體數字ニナツテ居リマス  
 ○福田(關)委員 其ノ石數ハ薪炭トシテノ石數デアリマスカ、林木其ノ儘ノ石數デアリマスカ  
 ○井出政府委員 只今ノ石數ハ立木ノ石數デアリマスカ  
 ○福田(關)委員 次ニ一寸御伺ヒ致シマスガ、近時ノ木炭ノ配給ニ付テデアリマス、木炭ノ配給ニ付テハ今日中小工業ガ非常ナル時局ノ影響ヲ蒙リマシテ、凡ソル方面ノ者ガ餘炭ノ苦ヲ嘗メテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、其ノ中ニ木炭販賣業者ト申シマスル者モ全國ニハ多數ニ及ンデ居リマス、是ガ過般來カラ配給制度トナリマシテ、例ヘバ關西方面デハ今マデノ小賣業者デアリマシタ者ヲ統合致シマシテ、サウシテ或ル地域内ダケノ配給ヲ行ハシメテ居ル、是等ノ木炭ナンカラ取扱ツテ居リマシタ所ノ業者ト云フモノハ、全ク他ニ能力モアリマセヌシ、多クハ農村カラ出タ者ガ直接ニソレヲ取扱ツテ今日ニ至ツテ居ルト云フ情勢デアリマス、然レニ農林省ハ一依ニ付テ三十五錢ノ手數料ヲ御認めニナツテ居ルト云フコトデアリマスガ、果シテ其ノ一依トハ幾何ノ「キロ」ノモノヲ申スノデアリマスカ、三十五錢ノ手數料ヲ認メルト云フコトガ全國的ニ一定シテ居ルノデゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒマス  
 ○井出政府委員 只今ノ御尋ネハ、木炭ノ配給者ノ公定價格上ノ手數料ノ點ト考ヘマ

スカ、大體は東京、大阪等ノ主要ナル都市ニ於キマシテハ、卸賣ノ口錢ヲ九錢、小賣ノ手數料ヲ二十八錢、隨ヒマシテ三十七錢ノ範圍ニ於キマシテ消費地ノ着價價格ニ對シテ配給者ガ此ノ範圍ニ於テ手數料ヲ取り得ルト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ此ノ九錢或ハ二十八錢ト申シマス、ハ四貫匁ニ付キマシテノ手數料ニナツテ居リマス  
 ○福田(關)委員 ソレガ事實ニ於テ京都ノ如キハ一依ニ付テ五錢シカ取レマセヌカ、全ク是等ノ者ハ生活ノ基準ヲスツカリ失ツテ居ルノデアリマス、ナゼサウナルカト云フト、農林省ノ一依ニ對スル金額ハ私共適正ダト思ヒマス、併シ其ノ配分方法ガ今承ルト御賣九錢ダト云フコトデアリマスガ、是等卸賣業者ト云フモノハ相當業者カラ言ヒマスレバ大資本家ニ屬スル者デアリマス、ソレ等ノ者ガ聯合統制會社ノ株ヲ多ク持チマシテ、其ノ株ニ全部ヲ割當テマスカラ、結局大キナ卸賣業者ガ殆ドノ利益ヲ取りマシテ、現在ニ於ケル京都ノ事實ニ於キマシテハ、一依ニ付テ五錢シカ與ヘテ居リマセヌ、是ガ社會問題ヲ惹起シマシテ大變ナ問題ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ當局ノ方ニ申シマシテモ、陳情ヲ聞キマス、府ニ申上ゲマシテモ、取上ゲナイ、結局ハ卸賣業者デアツタ者中間業者ガ中心ニナツテ大財閥ヲ擁護シテ多數ノ小賣人ヲ塗炭ノ苦シニ陥レテ居ルノガ現在ノ實情デアリマスカ、農林當局ノ卸賣九錢、小賣ガ二十八錢ト云フ非常ニ御理想的ナ配分方法ニ付テ私共ハ多ト致シマスガ、是ハ事實ニ於テ逆轉致シテ居リマス、之ニ付テ農林省ハ是ガ救濟策トシテ速クニ何等カノ方法ヲ御講ジニ



ナル御意圖ハナイデセウカ、伺ヒマス

○井出政府委員 只今御尋ネノ京都府ニ付キマシテノ問題トシテ考ヘテ見マシテモ、詳細ニハ聞イテ居リマセウガ、大體京都府ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ御賣、小賣ト云フモノノ區別ヲ現在ハ業者ハ致シテ居ラナイノデアリマス、尤モ從來ハ或ハ卸の大大口ノ取扱ヲ致シテ居ツタ者、又ソレ等ノ者カラ更ニ荷ヲ分ケテ買ツテ消費者ニ配給スル、所謂小賣ト云フモノガ實體的ニ言ヘバアツタノカモ知レマセウガ、現在ニ於キマシテハ、政府ノ木炭ヲ一手ニ取扱ヒ、之ヲ府内ニ配給致シマス機關トシテハ、小賣、卸ト云フ區別ナシニ一本ニナリマシテ、商業組合ガゴザイマシテ是方取扱ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ小賣商業組合トシテ取扱ヒマスル手數料ハ三十七錢ヲ取ツテ居ル管デアリマス、唯ソレヲ中ノ組員ニ對シマシテ如何ナル割合分量デ其ノ取扱ノ手數料ヲ分ケテ居ルカト云フコトニ付キマシテ、或ハ何等カ小サイ從來ノ商人ノ利益ノ部分ガ比較的大キナ商人ノ人達ノ利益ノ爲ニ十分ニ見ラレテ居ナイト云フヤウナ實情ガアルト云フ意味ニ於ケル御尋ネカト存ジマスガ、ソコ等ノ點ハ能ク京都府ノ現在ノ荷受機構ノ動キ、ソレカラ致シマスル木炭ノ配給機關トシテノ實際ノ動キヲ十分ニ見マシテ、不合理ノ點ガアリマスルナラバ、極力之ヲ指導其ノ他ニ依ツテ是正ヲ致スヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○福田(關)委員 最後ニ一ツ伺ヒマス、大體御意圖ハ能ク分リマシタガ、是ハ京都府バカリデアアリマセウ、唯一例ヲ取ツタノデアリマスガ、他ニモサウ云フ例ガアリマス、農林省ガ既ニ小賣業者ト稱シタモノニ對スル二十八錢ノ手數料ヲ適正ナリト御認メニナツタモノガ、一ツノ團體ヲ作リマシテ、サウシテ資本ノアルニ任セテ無用ノ株ヲ買占メ、サウシテ其ノ株ニ配當致シマスル結果ガ、實ニ慘メナ、一依ニ付テ五錢ト云フヤウナ水毛飲メスト云フ情勢ニ置イテ居ルノデアリマス、是等ハ假令商業組合其ノ他ノ聯合會等ニ於テ如何ナル決議ヲ致シマセウトモ、下ノ多クノ者ハ今ヤ非常ナ動搖ヲ致シテ居リマスルシ、泣イテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトハ中心ハ農林省デゴザイマス、商工省ノ方面デモ相當御考慮ハナケレバナラヌガ、炭ノコトデアリマスカラ、農林省ガ主管トナツテ居リマス、ソレドソレ等ノコトニ付キマシテノ處置ガ一向埒ガ明キマセウ、現政府ハ中小商工業者ノ維持育成ト云フコトニ中心ヲ置カナケレバ相成ラスノデアリマス、此ノ非常時局ダカラト云ツテ、多クノ國民ヲ塗炭ノ苦シミニ陥レルト云フコトハ、イケナイ、今日皇軍第一線ノ百万ノ子弟ハソレ等ノ者ノ子弟ナノデアリマス、是方假令時局ダカラト云ヒマシテモ、出來ル限リ正義ニ立脚致シマシテ正シイ社會政策ニ何處マデモ持ツテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレデアリマスノニ現狀ニ於テ斯ル悲慘ナコトガ行ハレテ居ルノデアリマシテ、統制上ノ缺點ト云フモノハ、斯クノ如キ所マデ及ンデ居ルノデアリマスカラ、是等ハ私ノ考ヘデハ左様ナ統制ヲ脱却シナケレバナラヌ、サウシテ農林省ノ御認メニナツタ所ノ、各小賣業者ガ是ダケノ利益ヲ獲得スルノハ當然ト云フコトハ、農林省ガサウシテ居ルノデアリマスカラ、是ハ當ニ京都府バカリデアリマセウ、斯ウ云フヤウナ財

關、少シ多クノ割當株ヲ獨占シマシテ全クノ橫暴ヲ極メテ居ル者ガ全國ニ少クアリマセウカラ、農林省ハ速カニ此ノ點ハ活眼ヲ開カレマシテ、以テ之ニ善處シテ戴キタイト思フノデアリマス

ソレデ私共ノ考ヘデハ何處マデモ、例ヘバ今マデ問屋デアツタモノハ一依ニ付テ九錢ヲ取ルベキデ、商業組合ニシテモ何ニシテモ其ノ範圍ヲ取ルノガ適正ダト思ヒマス、サウシテ今マデノ小賣商人ハ一定ノ地域ヲ限ツテ、其ノ範圍内ニ居ル小賣商人ダケガ集マツテ組合ヲ作り、其ノ集マツタモノガ聯合會ヲ作ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ主人ガ配給ヲシテ居ルノデアリマス、中ニハ八貫依ノモノヲ四貫依ニシナケレバナラヌモノモアルノデアリマス、ソレモ地域ノ深山ニスレバ宜イノデアリマスガ、僅カナ地域ヲ限ラレテ一依五錢デハ水毛飲メナイノデアリマス、左様ナ情勢ガ社會ニ非常ナ惡影響ヲ及ボスノデアリマスカラ、農林省ハ速カニ九錢ト二十八錢トノ差ヲオ付ケニナツタ趣意ヲ徹底スルヤウニ、斯様ヲ御決意ヲ以テ一ツ善處サレルヤウナ御意思ガアリマセウカ、如何デアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○井出政府委員 木炭ノ配給統制ガ非常ニ強化サレテ參リマシテ、從來ノヤウニ小賣商、或ハ一部ノ卸賣商ニ付テモヤハリ同様デアリマスガ、ソレガ非常ニ取扱上ノ利潤ヲ多ク得ルト云フコトハ中々出來ナクナツテ、斯様ナ程度ノ充テガハレタ「マージン」ノ範圍ニ於テ仕事ヲシナケレバナラナイ、ト共ニ一方ニ於キマシテ、相當各種ノ機械的ノ配給區域ヲ決メマシテ、ソレニ依ツテ地域的ノ配給モ斯ウ云フ物資ノ性質上致サ

ナケレバナラナイト云フコトニナリマスル結果、殊ニ薪炭ノ小賣ニ從事シテ居ル多數ノ從來ノ商業者ト云フ人達ガ、此ノ統制機構ノ下ニ於キマシテ如何ニ立ツテ參リマスカト云フコトニ付キマシテノ指導ハ、相當今後——此ノ行政部門モ、最近農林商工ノ事務調整ノ結果農林省ニ參ツタノデアリマスガ——農林省トシマシテモ相當徹底的ニ漸次調整ヲ致シテ參リタイト云フ積リデ居リマス、殊ニドウ致シマシテモ斯様ナ統制機構ノ下ニ物資ノ配給ヲスト云フコトニナリマスレバ、從來ノヤウナ數ノ小賣業者ト云フモノハドウシテモ此ノ仕事ノ中ニ此ノ「マージン」ヲ以テハ包容出來ニクイト云フ實情ニアリマス、ソコデ是等ノ人々ヲ成ベク合理的ニ整理合同ヲシ、一面適當ナ方面ヘノ轉業等モ極力心配致シマシテ、此ノ統制機構ニ圓滿ニ移ツテ參リマスヤウニ努メテ參ル、一方ニ於テハ此ノ基礎ノ下ニ安定シテ參リマス小賣業者ト申シマスガ、配給業者ニ付キマシテハ、十分合理的ナ經濟基礎ノ下ニ此ノ配給機關トシテノ仕事ヲヤツテ參リマスヤウニ指導ヲ與ヘテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○福田(關)委員 只今ノヤウナ、丁度卸ト小賣ガ逆轉シタ結果ヲ現ハシテ居ルノデアリマスカラ、是デハ不合理デアアルコトハ當然デアリマス、サウシテ又小賣業者ト云フモノハ固ヨリ現在マデノヤウナ利益ヲ得ヨウト云フ者ハ斷ジテアリマセウデ、出來ルダケ總テノ犧牲ニハ甘ンジテ居ルノデアリマス、甘ンジテ居リマスカレドモ、餘リノ慘メサニ見ルニ忍ビザルモノガアリマスシ、政府當局ノ方針ヲ御立テニナツタモノトハ逆轉シタ結果ガ來テ居リマスカラ、是等

ノモノニ對シマシテハ私ハ農林省トシテハ速カニ是方適正ナル方法ニ還元スルヤウニ、是ハ相當ナ力ヲ添ヘテ貰ヒタイ、ソレデナケレバ地方ニ於キマシテハ非常ニ統制ヲスル上ニ於テ吏員ハ足ラヌ、殆ド是等ノモノハ全ク放任サレタ儘デ、陳情ヲシヨウガ、何ヲシヨウガ動カナイ、是方現在ニ於ケル日本全國ノ府縣ノ情勢デアリマス、ソレデアリマスカラ農林省ハサウ云フ缺陷ヲ御認メニナリマシタナラバ、速カニ積極的ニ一ツ御干涉ニナツテ、農林省ガ御決メニナリマシタ卸八九錢、小賣ニ屬スル手數料ハ二十八錢ト云フコトガ事實ニ於テ行ハレマスヤウニ、一ツ御配慮相成ルヤウニ尙ホ重ねテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、私ハ是デ終リマス

午後六時十分休憩

○西村委員長 大體ノ新タナ質問ハ是デ打切リタイト思ヒマス、留保サレテ居リマス政府ノ答辯、其ノ他資料ノ未提出ノモノ、ソレカラ又此ノ委員會ノ態度決定ニ付キマシテ、只今短時間協議會ヲ開キタイト思ヒマス、暫時休憩致シマス

午後六時十分休憩

午後六時四十八分開議

○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、委員田中養達君ガ辭任ニナリマシタカラ、後任ノ理事ヲ委員長ニ於テ指名スルコトニ御異議アリマセウカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○西村委員長 後任ハ大石大君ヲ指名致シマス、今日生田委員ヨリ質問サレマシタ事項ニ付キマシテハ、政府當局ニ於キマシテ今マデ待チマシタガ出席ニナリマセウ、此ノ取扱及ビ今マデ資料ノ要求シテアリマス

モノノ要覽會ニ關スル件、是等ノコトガ運ビマセウ爲ニ、今日此ノ決算委員會ヲ終了スル豫定デアリマシタガ、遺憾ナガラ終了スルコトガ出來マセウ、已ムヲ得ナイ次第ト思ヒマス、此ノ責任ハ此ノ委員會ニハナイト思ヒマス、隨テ甚ダ無理デアリマスカ、明日午前十時ニ開會致スコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時五十一分散會

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十一回 昭和十六年三月二十四日

三八五



昭和十六年三月二十五日印刷

昭和十六年三月二十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第一號

第七十六回帝國議會 院 決算委員會議錄(速記)第二十二回

二七六

會 議  
昭和十六年三月二十五日(火曜日)午前十時  
二十分開議  
出席委員左ノ如シ  
委員長 西村 茂生君  
理事高見 之通君 理事會木 重貴君  
理事小見山七十五郎君 理事大石 大君  
理事鹽川 正藏君 理事高橋 義次君  
理事福田開次郎君  
淺井 茂猪君 今井 新造君  
小山 亮君 石坂 繁君  
石井徳久次君 江原 三郎君  
小笠原八十美君 大島 寅吉君  
大野 一造君 河合 義一君  
木村 淺七君 清水徳太郎君  
田代 正治君 瀧澤 七郎君  
濱地 文平君 眞鍋 勝君  
生田 和平君 山川頼三郎君  
淺沼稻次郎君 山元亀次郎君  
出席國務大臣左ノ如シ  
大藏大臣 河田 烈君  
出席政府委員左ノ如シ  
内閣書記官長 富田 健治君  
法制局參事官 森山 銳一君  
外務書記官 武内時之助君  
内務書記官 三好 重夫君  
大藏省主計局長 谷口 恒二君  
大藏書記官 梅北 末初君  
大藏書記官 日下部 滋君  
大藏書記官 入江 昂君  
警備管財局理事 石田 壽君  
司法書記官 石田 壽君

文部書記官 柴沼 直君  
農林書記官 岡本 直人君  
商工書記官 末永 衛君  
逓信省經理局長 山田 良秀君  
鐵道省經理局長 平山 孝君  
拓務書記官 中野 勝次君  
厚生書記官 生悦住求馬君  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算  
昭和十四年度國有財産増減總計算書  
○西村委員長 是ヨリ開會致シマス、政府ヨリ翼贊會其ノ他資料ノ未提出ノモノガアリマス、委員長ハ再三督促致シマシタガ、只今マデ届キマセズ、然ルニ一方會期ハ切迫シテ來マシタノデ、已ムヲ得ズ是ヨリ會議ノ決定ノ順序ニ致シタイト思ヒマス、昨日生田和平君ノ質問ニ對シマシテ、政府ヨリ已ムヲ得ザルコトデソレムノ方ノ御出席ガ出來マセヌデシタガ、今日ハ書記官長ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、生田君ニ發言ヲ許シマスガ、成ベク要領ヲ摘メテ質問サレルナウニ御願ヒ致シマス  
○生田委員 昨日私ハ此ノ委員會ヲ通ジテ政府ニ質問ヲ爲シタノデアリマス、大體ハ御承知カ存ジマセヌガ、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲマス、昨年八月二十八日新體制ニ對シテ政府ノ聲明セラレタ文中ニ「萬一翼贊ノ意思ニ於テ異ルモノアリトスレバ、ソレコソ強斷ニ仰ダベキデアリ、一タビ強斷ノ下サレタル時ハ總テノ臣僚ガ承諾必領ノ大義ニ歸

一スルコトガ日本政治ノ眞ノ姿デナケレバナラス」斯ウ云フコトガアルノデアリマス、此ノ文ニ付テ三點御尋ネ致シマス、(一)萬一翼贊ノ意思ニ於テ異ナルモノ下云フノハドウ云フコトデアルカト云フコトト、「強斷ニ仰ダベキデアリ」ト云フノハドウ云フ場合ヲ豫想セラレテ居ルノデアアルカ、今一ツハ「總テノ臣僚」トアルガ、臣僚ト云フノハドウ云フ範圍ヲ申サレテ居ルノカ、現ニ翼贊會ノ性格問題トナリ、又最近其ノ改組ガ問題トナツテ居ル場合、特ニ此ノ三點ヲ確メテ置キタイト思ヒマス  
○富田政府委員 只今ノ御尋ネニ御答ヘ致シマス、只今三點御尋ネニナツタノデアリマスガ、此ノ文章ノ全體カラ一應申上ゲマス、是ハ生田委員モ十分御諒承下サツテ居ルコトト思フノデアリマスガ、近衛總理大臣ハ「國民組織、特ニ政府ニ依ツテナサルベキモノ」トナリ、政黨運動ノ形ヲ取ルベキモノトナリト上ツテ如クデアアルガ、サレバト云フテ所謂「一黨」ノ形ヲ取ルコトモ亦到底許サレヌ斯ウ云フコトヲ此ノ章全體ニ強調サレテ居ルノデアアルト私考ヘテ居リマス、ソコデサウ云フ章ノ趣旨ヲ承ケマシテ、只今御讀上ゲニナリマシタ文章ノ直前ニ「斯ウ云フ文句ガアルノデアリマス、一人若クハ一黨ガ權力ニ依ツテ翼贊ヲ獨占スルコトハ絕對ニ許サレヌ」我ガ日本ノ國ニ於テキマシテハ、一人若クハ一黨ガ權力ニ依ツテ翼贊ヲ獨占スルコトハ絕對ニ許サレヌ

リマス、隨ヒマシテ、今御尋ネニナリマシタモノニ御答ヘ致シマスモノト致シマシテハ、直接ノ文章言葉ヨリモ、只今申シマシタ趣旨並ニ其ノ前段ノ、日本ニ於テハ一人一黨ガ翼贊ヲ權力ニ依ツテ獨占スルコトハ絕對ニ許サレナイ、斯ウ云フ趣旨デアルト御答ヘ致スコトガ一番妥當デハナイカ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ豫想シテ居ルカト云フ御尋ネデアツタノデアリマスガ、私ハ斯様ニ考ヘテ御答ヘ致シタラ宜イカト思フノデアリマス、ソレハ萬一國論ノ一致ヲ見ナイ場合ニ於キマシテモ、日本ノ國ニ於キマシテハ一ニ御強斷ニ仰ダ、一ニ御上ノ思召ニ依ツテ決定サレルモノデアアル、斯ウ云フ御趣旨デ此ノ聲明ガ趣旨ハレタモノデアアルト私考ヘテ居リマス、尙ホ次ノ點トシマシテ「總テノ臣僚ガ」云々ト云フ文字ノ、其ノ臣僚ノ範圍如何ト云フ御尋ネノヤウニ承ツタノデアリマスガ、此ノ臣僚ノ範圍トシテハ日本臣民全體ヲ指シテ居ルモノダト私考ヘルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス  
○生田委員 只今書記官長ノ御答辯ガアリマシタガ、成程一人若クハ一黨ガ權力ニ依ツテ翼贊ヲ獨占スルコトハ絕對ニ許サレヌトアル、併シ一人ガ翼贊ヲ獨占スルコトハ絕對ニ許サレナイ、ドウシテ斯ウ云フコトヲ御尋ネニナツタモノカ、是ハ常識デ何人モアリ得ナイコトト思フ、ソレカラ其ノ次ニ「一タビ強斷ノ下サレタトキ」或ハ「強斷ニ



仰クベキデアリトアルガ、聖斷ニ仰クベキデアルト云フコトヲ初メカラ豫斷スルハ、私ハ不謹慎ト思フ、ソレカラ「總テノ臣僚」ト云フ點デアリマスガ、今ノ御答辯デハ、日本國民全體ト云フ御解釋ノヤウデアリマス、私考ヘマスノハ、臣僚ト云フハ政府ノ役人デナイカト思フテ居リマス、臣僚ト云フ言葉ハ、明治十四年十月十二日ノ國會開設ノ勅ニ在廷臣僚ト云フ御言葉ガアル、其ノ次ニハ、明治二十六年二月十日ニ在廷ノ臣僚ニ賜ハツタ御勅語ノ中ニ、臣僚ト云フ文字ガアル、此ノ臣僚ト云フ文字ハ、陛下ノ御セラレル外ニハ一般ニハ用ヒラレナイモノト私ハ思フ、サウ云フ御言葉ニアリコトデ、政府ガ此ノ中ニ總テノ臣僚ガ承認必スルヲ大義ニ歸スルコトガ日本政治ノ眞ノ姿ナケレバナラスト云ハレルトハ、大分違フ、今一ツ先程申シマシタ通り、日本ノ國體ノ根本ハ是ハ富田書記官長モ御承知ニナツテ居ル筈ト思フガ、本年ノ一月三十日ニ近衛首相ニ對スル質問ノ原稿ヲ御讀ミニナリマス爲ニ御送リシタ其ノ中ニモ御尋ネシデアリマス「議ンデ案ズルニ我ガ日本神國ノ指導原理ハ神ノ道ヲ踐ミ行フコトデアル、國ヲ治ムルノ道ハ君臣民ノ大義名分ニ基キ正邪善惡ノ理法ヲ明カニスルコトデアル」斯ウ云フコトヲ申上ゲデアリマス、或ハ御讀ミニナラナカツタカモ知レナイガ、是ハ今突如トシテ申上ゲルコトデアナイノデス、我ガ國體ハ君臣民、此ノ三ツカラ成立ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、隨テ臣僚ト云フ言葉ハ一般國民デハナイノデアリマス、國會開設ノ詔ニハ「今在廷臣僚ニ命シ假スニ時日ヲ以テシ」云々トアル、内閣組織改定ノ詔ニハ「諸臣」ト仰セラ

レテアル、教育ノ御勅語ニハ「朕カ臣民」ト仰セラレテアル、皇憲典範及ビ憲法制定ニ付テノ詔ノ御告文ニハ「臣民實業ノ道ヲ廣メ」ト仰セラレテ居ル、在廷ノ臣僚ニ告グ給ヘル勅ニハ「是ハ川崎君ガ憲法論カラ豫算委員會デモ御述ベニナツタノデアリマスガ「朕又議會ヲ開キ公議ヲ盡シ以テ大業ヲ翼贊セシメ」テ「閣内」ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ「其ノ中頃ニハ朕ハ在廷ノ臣僚ニ信任シテ其ノ大事ヲ終始セムコトヲ欲シ又人民ノ選良ニ倚精シテ朕カ日々ノ憂慮ヲ分ツコトヲ冀ハサルナリ」其ノ次ニハ「憲法第六十七條ニ掲ケタル費用ハ既ニ正文ノ保障スル所ニ屬シ今ニ於テ紛議ノ因タルヘカラス但シ朕ハ特ニ閣内ニ命シ」臣ノ字ヲ御勅語ニ御使ヒニナツテ居ル範圍ハ大體決マツテ居ル、政府ノ役人デアアルト私ハ解シテ居ル、ソコデ問題ガ起ルノハ臣道實踐デアル、近衛首相ガ昨年十一月三十日ニ大政翼贊會ノ發足ニ付テ御挨拶ノ中ニ「本運動ノ綱領ハ大政翼贊ノ臣道實踐ト云フコトニ盡キルト信セラレルノデアリマス、此ノコトヲ御誓ヒ申上ゲルモノデアリマス、是レ以外ニハ綱領モ宣言モナシト言ヒ得ルノデアリマス、若シ此ノ場合ニ於テ宣言綱領ヲ私ニ表明スベシト云ハレラナラバ、ソレハ大政翼贊ノ臣道實踐ト云フコトデアル、上御一人ニ對シ奉リ日夜ソレムノ立場ニ於テ奉公ノ誠ヲ效スコトデアル」斯ウ云フ御挨拶ヲサレテ居リマス、此ノ御挨拶ニ依ルト、日本全國國民ヲ御氣持グケハ指サレテ居ルノデアリマスガ、其ノ用語ハ決シテ日本全國國民デハナイト私ハ考ヘテ居リマス、ヤハリ此ノ臣道實踐ハオ役人ノ範圍ト解釋スベキカト考ヘラレルノデアリマス

私御質問申上ゲタイコトヲ成ベク簡潔ニ申上ゲルノデアリマスガ、此ノ問題ハ實會ノ性質ニ關係シテ居リ、或ハ國體ニ關係スル問題デアリマスカラ、必ズシモ今日ノ政府ノ御明答ヲ要求スルノハ或ハ無理デハナイカトモ考ヘマス、本日ハ既ニ會期モ最後ニ迫ツテ居リマス、斯ウ云フ重大ナル問題ヲ政府ニ迫ルコトモ考ヘネバナラヌコト實ハ考ヘテ居リマス、ソレデ若シ御答辯ガアリマスレバ御答辯ヲ承ツテ宜シシ、又能ク御考ヘニナリタイト云フコトデアラナラバ、政府ノ方デ十分御研究ヲ致サレルコトヲ希望致ス次第デアリマス

ヲ見マスルト、又表裏一體強化ト云フコトヲ書イテアル、政府ハ表裏一體ト云フコトニ付テ本議會デモ御述ベニナツタヤウデアリマスケレドモ、私ノ考ヘデハ、表裏一體ト云フノハ表ト裏ト同ジモノデアル、政府ハ國家機關デアリ、實業會ハ國家機關デモ何デモナイ、表裏一體ニナリ得ナイ、茲ニ間違ヒガ起リハセスカト思ヒマスカラ、是モ御答辯ハ要リマセスガ、一寸御注意申上ゲテ置キマス

○西村委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ各分科聯合會主査及ビ小委員長ノ報告ヲ求メマス——福田副委員長

○福田(關)委員 實ニ御委託ニナリマシタ第一、第二分科會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、當分科會ハ本委員會室ニ於テ之ヲ開催致シマシテ、各省政府委員ヨリ昭和十四年度ノ決算ニ對シマスソレムノ説明及ビ辯明ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ各委員ヨリ熱心ナル質疑應答ガアリマシテ、審議ニ慎重ヲ期シマシタ結果ハ總テテ決算委員會ノ總會ノ議決ニ讓ルコトトナツタノデアリマス、此ノ段御報告ヲ申上ゲマス

次ニ昭和十四年度國有財産増減總計算書ニ付キマシテノ小委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本小委員會モヤハリ昨日開催致シマシテ、此ノ増減ニ對シマシテハ、政府カラ詳細ナル御説明ガアツタノデアリマシテ、又各委員ヨリ國有財産ノ運營其ノ他ニ關シマス熱心ナル、種々ノ質疑應答ガアリマシタガ、慎重審議ヲ致シマシタ結果、國有財産ノ將來ニ對シマス善處方ヲ希望致シマシテ、政府ノ此ノ報告ヲ承認スベキモノト決定ヲ致シタ次第デアリマ

ス、此ノ段御報告ヲ申上ゲマス

○西村委員長 第三、第四聯合分科會ノ主査高橋君

○高橋(義)委員 只今カラ決算委員第三分科及ビ第四分科ノ聯合會ノ審議ノ狀況ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、本委員會ハ第十委員室ニ於テ開會致サレマシテ、各政府委員カラ順次ニ昭和十四年度歳入歳出總決算及ビ昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算中、各所管事項ニ付テノ説明及ビ辯明ガゴザイマシタ、次ニ政府委員ト委員トノ質疑應答ガ極メテ熱心ニ行ハレマシテ、第三分科及ビ第四分科聯合會ニ於テ議題トナツタ範圍ニ止メテ行ハレタノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ簡單ニ一括御報告申上ゲマス

○西村委員長 昨日缺席ノ方々モアリマスカラ御諒承ヲ得タイト思ヒマスガ、全員ノ協議會ヲ開キマシテ、政府ヨリ提出サレマシタ此ノ決算ニ付キマシテ附帶決議ヲ附シタイト思ヒマス、其ノコトハ協議會デ大體總マリマシタ、更ニ續イテ此ノ會計檢査院トノ照リ合ハセノ審査ニ付キマシテモ協議ヲ致シマシテ、大體協議會デ審議マシタ、是等ヲ進行致シタイト思ヒマスガ、其ノ附帶決議ガアリマスノデ、討論ハ大體省略致シタイト思フノデアリマスガ、此ノ附帶決議ヲ發表サレル意味合ヲ以テマシテ、福田君ヨリ成ベク簡單ニ討論ヲ述ベテ戴キタイト思フノデアリマス、御諒解ヲ得タイト思ヒマス——福田君

○福田(關)委員 昭和十四年度及ビ過年度ノ決算ノ歳出入ニ付テ審議ヲ致シマスルコト數日デアツタノデアリマス、其ノ間國務大臣ノ出席ノ十分ナラザル爲ニ相當遲延シタル點モアリマス、又應大ナル豫算トナツ

テ居リマスノニ、ヤハリ現在ノ總テノ各省會計機構等ガ五億、六億時代ノ機構ト略、同一ナル機構ヲ以テ現在ニ處セラレント致シマス結果ガ、非常ニ豫算執行ノ上ニ於キマシテモ不當不法ニ流レル點ガ少クナイノデゴザイマス、是等ハヤハリ時勢ノ進運ト豫算ノ屬大ニ付キマシテ、此ノ方面ノ改革ヲナサル必要ガ多クアルノデアリマス、而モ斯カル大ナル機構トナツテ居リマスル點ニ對シテ會計檢査院ヲ致シマスル會計檢査院ノ制度ニ致シマシテモ、ヤハリ舊態依然トシテ其ノ機構ノ擴大ヲ御圖リニナリマセシテ二人ノ檢査官ノ増員ヲナサレマシタケレドモ、斯カルコトデアラ底迫ツ付タコトデアリマセス、隨ヒマシテ政府ハ十分ニ此ノ點ヲ考慮シテ會計檢査院制度ノ根本改革等ヲ御出シナルベキモノガアルト思ヒマス、而モ今日ノ會計法ノ如キハ全ク太政官時代ノ遺物ヲ少シク修正サレタケレ止マリマシテ、或ハ年度ヲ變ヘテ出サレタト雖モヤハリ政府機關ニ流レル所ノ法律デアリマス、斯様ナコトデアラ國民ノ疑惑ハ幾年経チマシテモ一掃スルコトハ出来ナイノデアリマスカラ、政府モ亦是等ニ對シマシテハ十分考慮ヲ拂ツテ是ガ改革ノ途ヲ速カニナサツテ、新體制下ニ即應スルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ委員會議モ、是等ノ點カラ致シマシテ中ニ困難デアリマス、是ダケノ屬大ナル豫算トナツタモノヲ、今日ノ此ノ決算委員會ト云フモノノ少數デハ出来マセス、豫算委員會ニ於テモ然リデアリマス、是等ハヤハリ將來數分科ニ分ケテ、サウシテ之ヲ當置致シマシテ政府ノ歳出入ニ對シマスル所ノ審査ヲ續ケ

申上ゲマシタ通り分科ノ委員諸君ガ御持チニナツテ居ラレマスカラ、隨時御高覽ヲ賜ハレバ結構ト存ジマス、此ノ點ニ關シマシテモ小山君ヨリ質疑ガ行ハレマシタ、質疑ノ内容ノ大要ハ主トシテ糧秣ノ消耗ニ關スルモノデアリマシテ、當局ノ措置方ノ具體的ノ各場合ヲ豫想シテノ御質疑デアツタノデアリマス、更ニ農林書記官ニ對シマシテ中央金庫貸付金ノ件ニ付テ田代委員カラ、商工書記官ニ對シテ補助金ノ返納ノ件ニ付テ小山亮君カラ、ソレムノ質疑應答ガアリマシタ

最後ニ分科ノ決定ハ本總會ニ讓ルコトト致シマシテ散會ヲ致シマシタ、大要以上御報告申上ゲマス

○西村委員長 昨日缺席ノ方々モアリマスカラ御諒承ヲ得タイト思ヒマスガ、全員ノ協議會ヲ開キマシテ、政府ヨリ提出サレマシタ此ノ決算ニ付キマシテ附帶決議ヲ附シタイト思ヒマス、其ノコトハ協議會デ大體總マリマシタ、更ニ續イテ此ノ會計檢査院トノ照リ合ハセノ審査ニ付キマシテモ協議ヲ致シマシテ、大體協議會デ審議マシタ、是等ヲ進行致シタイト思ヒマスガ、其ノ附帶決議ガアリマスノデ、討論ハ大體省略致シタイト思フノデアリマスガ、此ノ附帶決議ヲ發表サレル意味合ヲ以テマシテ、福田君ヨリ成ベク簡單ニ討論ヲ述ベテ戴キタイト思フノデアリマス、御諒解ヲ得タイト思ヒマス——福田君

○福田(關)委員 昭和十四年度及ビ過年度ノ決算ノ歳出入ニ付テ審議ヲ致シマスルコト數日デアツタノデアリマス、其ノ間國務大臣ノ出席ノ十分ナラザル爲ニ相當遲延シタル點モアリマス、又應大ナル豫算トナツ

テ行クト云フコトガ、議會機構及ビ政府機構ノ改革ノ中心トナラナケレバナラヌト思フノデゴザイマス、サウシテ吾々ハ、政府ノ國民代表トガ全ク一致團結致シマシテ、其ノ間ニ何等ノ疑惑ナク、國民亦喜ンデ此ノ非常時局ニ對處スルヤウニ致シタイト思フノデアリマス

而シテ此ノ昭和十四年度ノ會計檢査院ノ批難事項ニ付テ審議ヲ致シマシタ結果ヲ此處ニ申シマスレバ、大體ニ於キマシテ會計檢査院ノ御報告ハ適當ニシテ政府ノ御辯明ハ之ヲ容易ニ認メ難イモノガ相當ニ多數アルノデアリマス、其ノ中昭和十四年度決算中ノ貿易局ノ支出ニ係リマスルモノニ付テハ警告ヲ附スルコトニ致シ、又神奈川稅務署外十四稅務署ノ徴收過及ビ不足ニ係ルモノ、及ビ海軍ノ支出ニ係ルモノハ二件ニ付キマシテハ注意ヲ促シ、他ハ全部不當トシテ詳細ハ速記録ニ於テ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、茲ニ朗讀ヲ省略致シマス、而シテ之ヲ承認致シマスルニ付テハ茲ニ附帶決議ヲ致シタイト思ヒマス、其ノ附帶決議ノ案ヲ朗讀致シマス

附帶決議

一、昭和十四年度ノ決算ヲ審査スルニ其ノ當ラ失スルモノ尠カラズ

政府ハ豫算ノ執行ニ就キ細心ノ注意ヲ爲シ特ニ物品ノ購入、事業ノ遂行、財産處分等ニ當リ苟モ失當ノ處置ナキ様萬全ノ方途ヲ講ズベシ

一、官紀ヲ振擻シ殊ニ出納官吏及徵稅官吏等ニ對スル監督ヲ嚴重ニシ以テ豫算溢費ノ幣ヲ除去スルト共ニ歳入ノ確實適正ヲ期スベシ

一、各省ノ機構ハ尙舊態依然タルモノア

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十二回 昭和十六年三月二十五日



仰グベキデアリトアルガ、聖斷ニ仰グベキデアリトアルガ、教育ノ御勸告ニハ「長カキ民ニ」

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十二回 昭和十六年三月二十五日

憲法附屬ノ大典アル議院法ノ第七十四條ニハ、各議院ヨリ審査ノ必要上文書ヲ政府ニ求メタル場合、報告ヲ求メタル場合ハ、秘密ニ互ラザル限リ、政府ハ其ノ求メニ應ズベシト云フ、斯カル明文ガ柄乎トシテ存スルノデアリマス、隨テ委員會ヨリ政府ニ要求致シマシタ以上、政府ハ秘密ニ互ラザル以上、之ヲ委員會ニ提出スル義務ガアルハ、是ハ托ゲルコトハ出来マセズ、然ルニ拘ラズ今日マデ要求致シタ資料ヲ政府ガ委員會ニ提出シナイト云フコトハ、政府自ラ憲法附屬ノ大典アル議院法ヲ無視シ蹂躪セル態度デハナイカト存ジマス、其ノ點ハ委員會トシテ斷ジテ遺憾スルコトハ出来ナイノデアリマス、ドウカ委員長御報告ノ時ニ此ノ點ニ對シテ嚴重ニ政府ニ御警告ヲ願ヒマシテ、重ネテ斯ク如キ態度ヲ繰返サザルヤウ將來ヲ戒メテ被キタイ、此ノ點ヲ希望トシテ申シテ置キマス

○福田委員 只今今井君ノ御報告ノモデアリマス、實ハ私ノ討論ニ皆入レタイ、管デアリマシタガ、簡單ニト云フコトデ、サウ云フコトヲ全部省キマシタノデアリマス、委員長ノ報告ノ時ニハ此ノ點ハ十分ニ言ツテ被キマシテ、苟クモ覽覽會ノ如キ資料ヲ御出シニナラヌト云フコトハ國民ノ疑惑ヲ益々增加スルコトハ覽覽會ノ發展ヲ阻礙スルモノデアリマス、若シ是ガ出セナイト云フ以上ハ、ソコニ何カ政府ノ發表シ得ザル所ノモノガ潜在シナケレバナラナイ、此ノ點ガ益々國民ノ疑惑ヲ増進スル所デアリマシテ、是ガ出セナイト云フコトハ、此ノ覽覽會ノ内部ニ何モノカ存在ヲ立證スルモノデアリマスカラ、是ハ議會ヲ通ジテ

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十二回 昭和十六年三月二十五日

委員長ヨリ十分ニ言ツテ被キマシテ、官報ニ掲載シテ天下萬民ノ批判ヲ願ヒタイト云フ考ヘテ持ツテ居リマスノデ、今井君ノ御意見ハ御尤モデアリマスガ、私ハ其ノ意圖ニ依リ申述ベナカッタノデアリマス

○今井(新)委員 只今福田君ヨリ覽覽會ノ資料ニ限リテ先刻申上ゲタノデアリマス、福田君ガ覽覽會ノ資料ヲドウ云フ御心境、ドウ云フ御精神カラ御求メニナウツカ、其ノ福田君ノ精神状態ニハ私關係致シマセズガ、如何ナル動機ニ依リテ御報告ニナラウトモ、委員ガ請ウツテモハ政府ハ秘密ニ互ラザル限リ、求シタモノハ政府ハ秘密ニ互ラザル限リ、是ハ當然ノ要求デアリマスカラ直チニ出スベキデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ私ハ議會ノ權威ヲ爲メ、議員ノ權威ヲ爲メ一言御許シテ願ヒクゴイマスガ、政府ノ態度モ勿論宜クナイ、要求シタ文書ヲ提出シナイコトハ、議員自ラ信念ナク良心ノナイヤウナコトヲ今日マデ繰返シタカラ政府ニ輕シゼラレルノデアリマス(發言スル者アリ)現ニ一昨年ノ此ノ決算委員會ニ於テ、商工省ノ賞與ノ問題ニ付テ直チニ政府ニ資料ヲ提出スベシト云フコトヲ決算委員全體ノ意向トシテ政府ニ要求シタ、商工省ガ證據書類ヲ提出セザル限リ審議ヲ進マナイ、進マセナイ出セザル限リ強硬ニ意見ヲ政府ニブツ付ケト云フヤウナ強硬ニ意見ヲ政府ニブツ付ケテ、委員長初メ全員ノ意向トシテ政府ニ之ヲ迫ツタ、所ガ政府ハ最後ニ至ルモ途ニ提出シナイ、提出シナイニモ拘ラズ、決算委員長ハ其ノ時ドウ云フ交渉ヲ政府トナサツタカ私ハ敢テサウ云フコトハ追究致シマセ

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

第二類第一號 決算委員會議錄 第二十二回 昭和十六年三月二十五日

以上ノ決議ヲ付シマシテ昭和十四年度ノ決算ヲ承認致シタイと思ヒマス、尙ホ昭和十四年度國有財産増減計算書モ委員長ノ報告通りノ承認スベキモノと思ヒマス、何卒御賛成ヲ御願ヒ致シタイ存ジマス、是ヲ討論ヲ終リマス

○今井委員 只今福田君ノ朗讀サレマシタ附帶決議ハ結構ト存ジマス、尙ホ此ノ機會ニ附加ヘテ卑見ヲ一述述べタイと思ヒマス、先刻委員長カラモ御話ノアリマシタ通り、當委員會ヨリ政府ニ先頃來要求致シテ居リマシタ資料ノ未提出ノモガマダ多クアルノデアリマス、此ノ點ニ付テ福田君ハ論及サレテ居リマセズガ、私ハ議會ノ權威、決算委員會ノ權威ヨリスルモ、此ノ點ニ付テハ政府ニ警告ノ要アリト考ヘルノデアリマス、申上ゲルマデモナク

委員長ヨリ十分ニ言ツテ被キマシテ、官報ニ掲載シテ天下萬民ノ批判ヲ願ヒタイト云フ考ヘテ持ツテ居リマスノデ、今井君ノ御意見ハ御尤モデアリマスガ、私ハ其ノ意圖ニ依リ申述ベナカッタノデアリマス

○今井(新)委員 只今福田君ヨリ覽覽會ノ資料ニ限リテ先刻申上ゲタノデアリマス、福田君ガ覽覽會ノ資料ヲドウ云フ御心境、ドウ云フ御精神カラ御求メニナウツカ、其ノ福田君ノ精神状態ニハ私關係致シマセズガ、如何ナル動機ニ依リテ御報告ニナラウトモ、委員ガ請ウツテモハ政府ハ秘密ニ互ラザル限リ、求シタモノハ政府ハ秘密ニ互ラザル限リ、是ハ當然ノ要求デアリマスカラ直チニ出スベキデアリマス、尙ホ此ノ機會ニ私ハ議會ノ權威ヲ爲メ、議員ノ權威ヲ爲メ一言御許シテ願ヒクゴイマスガ、政府ノ態度モ勿論宜クナイ、要求シタ文書ヲ提出シナイコトハ、議員自ラ信念ナク良心ノナイヤウナコトヲ今日マデ繰返シタカラ政府ニ輕シゼラレルノデアリマス(發言スル者アリ)現ニ一昨年ノ此ノ決算委員會ニ於テ、商工省ノ賞與ノ問題ニ付テ直チニ政府ニ資料ヲ提出スベシト云フコトヲ決算委員全體ノ意向トシテ政府ニ要求シタ、商工省ガ證據書類ヲ提出セザル限リ審議ヲ進マナイ、進マセナイ出セザル限リ強硬ニ意見ヲ政府ニブツ付ケト云フヤウナ強硬ニ意見ヲ政府ニブツ付ケテ、委員長初メ全員ノ意向トシテ政府ニ之ヲ迫ツタ、所ガ政府ハ最後ニ至ルモ途ニ提出シナイ、提出シナイニモ拘ラズ、決算委員長ハ其ノ時ドウ云フ交渉ヲ政府トナサツタカ私ハ敢テサウ云フコトハ追究致シマセ

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

○西村委員 起立議員、左様ニ決定致シマシタ。次ニ福田委員君提出ノ附帶決議ニ付キマシテ採決致シマス、賛成ノ諸君起立ヲ求メマス

仰グベキデアリトアルガ、聖斷ニ仰グベキデアリトアルガ、教育ノ御勸告ニハ「長カキ民ニ」

○西村委員 御異議ナシト認メマス、左様ニ決定致シマシタ。委員長ヨリ政府ニ申上ゲマス、只今各議員ヨリ資料ノ提出其ノ他ニ付キマシテ意見ガアリ、又本會期中ニモ各種ノ意見ガアリマシタ、此ノ點ハ政府諸公ニ於カレマシテモ、篤ト考慮ヲ拂ハレマシテ、今後適子ナカラサウニ御配慮ヲ願ヒタイと思ヒマス。是ニテ本委員會ハ終了致シマシタ、本會議ニハ本日緊急上程ノ上、報告致ス豫定デアリマス、又會議ニ掛ル報告ハ、追ツテ印刷ノ上御手許ニ配付致シマス、本委員會ハ二月四日ヨリ二十二回、分科會ニ同小委員會一回開會致シマシタ

此ノ際委員長ヨリ委員各位ニ對シテ御挨拶ヲ申上ゲタイと思ヒマス、各位ハ本決算委員會ノ度々ノ會議ニ連日御出席、御精勵下サイマシテ、洵ニ感謝ニ堪ヘマセズ、此ノ點委員長ト致シマシテ謹ンデ敬意ヲ表シマス(拍手)

○福田(副)委員 借越デアリマスガ、委員一同ヲ代表致シマシテ、委員長ニ一言御禮ヲ申上ゲタイと思ヒマス、長キ間委員長トシテ日夜御精勵下サレ、又各委員ヨリ随分勝手ナ御無理ヲ申上ゲタニモ拘ラズ、ヨク此ノ委員會トシテ今日ノ成果ヲ得ラレマシタノハ、全ク委員長ノ御徳ノ然ラシムル所ト思ヒマシテ、洵ニ吾々ハ感激ニ堪ヘナイノデアリマス、茲ニ一言御禮ヲ、御挨拶ヲ申上ゲマス(拍手)

○西村委員 是ニテ會議ハ終了致シマシタ

(拍手起ル)

午前十一時三分散會

(参照) 昭和十四年度決算中不當ナルモノノ左ノ如シ

一般會計

(會計検査院報告ノ三) 豊多摩外十四刑務所ノ徴収ニ係ルモノ

本件ハ委託作業資金ノ徴収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ四、五) 横濱區裁判所及和歌山地方裁判所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

右ハ孰レモ犯罪ニ基因シ租税外歳入ノ徴収ニ至ラサルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ六、七) 農林省及徳島縣ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

右ハ孰レモ補助金ノ交付ニ當リ調査監督其ノ宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

陸軍省所管

(會計検査院報告ノ一) 陸軍被服本廠及陸軍糧秣本廠ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

農林省所管

(會計検査院報告ノ一、二) 農林省ノ支出ニ係ルモノ

右ハ孰レモ補助金ノ交付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス不當ノ甚クシキモノニシテ本院ノ遺憾トスルコトコナリ

特別會計

大藏省所管造幣局

(會計検査院報告ノ一) 造幣局ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ調達ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

拓務省所管 朝鮮總督府

(會計検査院報告ノ二) 鐵道省ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ土地ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノトス

(會計検査院報告ノ二) 鐵道省ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ犯罪ニ基因シ缺損補填ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ一) 逓信省經理局ノ收入ニ係ルモノ

本件ハ必要以上ニ多額ノ公債ヲ發行シタルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ二) 貯金局ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ犯罪ニ基因シ缺損補填ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

文部省所管 官立大學

(會計検査院報告ノ一) 熊本醫科大學ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

陸軍省所管 陸軍造兵廠

(會計検査院報告ノ一) 陸軍造兵廠大阪工廠ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ計畫宜シキヲ得サリシ爲多額ノ運搬費ヲ負擔スルニ至リ國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノトス

文部省所管 官立大學

(會計検査院報告ノ一) 熊本醫科大學ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

逓信省所管 通信事業

(會計検査院報告ノ一) 逓信省經理局ノ收入ニ係ルモノ

本件ハ必要以上ニ多額ノ公債ヲ發行シタルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ二) 貯金局ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ犯罪ニ基因シ缺損補填ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

鐵道省所管 帝國鐵道

(會計検査院報告ノ一) 鐵道省ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ土地ノ買収ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノトス

(會計検査院報告ノ二) 鐵道省ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ調達ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

拓務省所管 朝鮮總督府

(會計検査院報告ノ二) 鐵道省ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ調達ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

文部省所管

(會計検査院報告ノ二) 京都帝國大學ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ二) 元山稅務署其ノ他ニ於テ徴収不足ニ屬スルモノ

右ハ孰レモ取扱ノ過誤ニ依リ徴収不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

(會計検査院報告ノ二) 朝鮮總督府內務局釜山土木出張所ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ボシタルモノトス

拓務省所管 臺灣總督府

(會計検査院報告ノ二) 臺北州ノ徴収ニ係ルモノ

本件ハ官有地ノ貸付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノトス

厚生省所管 簡易生命保險

(會計検査院報告ノ一) 簡易保險局ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ犯罪ニ基因シ缺損補填ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

既往年度

昭和十年度

一般會計

(會計検査院報告ノ一) 幸橋稅務署ノ徴収不足ニ屬スルモノ

本件ハ取扱ノ過誤ニ依リ徴収不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

昭和十一年度

特別會計

文部省所管

(會計検査院報告ノ二) 京都帝國大學ノ支出ニ係ルモノ

本件ハ虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス







次ニ雜收入ニ於キマシテハ其ノ決算額ハ六千三百八十三萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、四百十四萬餘圓ヲ減少シテ居ルノデアリマシテ、今其ノ内譯ノ大體ニ付テ説明致シマシテ、受託修繕收入ニ於キマシテ七十五萬餘圓、返納金ニ於キマシテ二十八萬餘圓、震災手形善後處理法貸付金償還金ニ於キマシテ二十四萬餘圓、臨時受託修繕收入ニ於キマシテ三十萬餘圓等ヲ増加致シテ居リ、中小商工業資金融通損失再補償收入ニ於テ十一萬餘圓、金貨金特別會計ヨリ繰入ニ於テ五百二十八萬餘圓、兌換銀行整理法納付金ニ於キマシテ二十三萬餘圓等ヲ減少致シテ居リマシテ、

次ニ公共團體工事費納付金ニ於キマシテハ其ノ決算額ハ七百餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、二十七萬餘圓ヲ減少致シテ居リマシテ、

次ニ公共團體工事費分擔金ニ於キマシテハ、其ノ決算額ハ九百七十三萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、六十八萬餘圓ヲ増加致シテ居ルノデアリマシテ、

次ニ特別會計ヨリ繰入ニ於キマシテハ、其ノ決算額ハ八百二十九萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、三十四萬餘圓ヲ増加致シテ居リマシテ、今其ノ内譯ノ大體ニ付テ申上ゲマシテ、國有財

次ニ入場税ニ於キマシテハ其ノ決算額ハ千二百三十萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、四百十八萬餘圓ヲ増加致シテ居リマシテ、

次ニ特別入場税ニ於キマシテハ其ノ決算額ハ六百餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、三萬餘圓ヲ減少致シテ居ルノデアリマシテ、

次ニ物品税ニ於キマシテハ其ノ決算額ハ一億二千五百八十五萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、二千六百餘圓ヲ増加致シテ居ルノデアリマシテ、

次ニ前年度剩餘金繰入ニ於キマシテハ、其ノ決算額ハ三億六千九百九十四萬餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額ニ比較致シマシテ、二億二千九百餘圓ヲ増加致シテ居ルノデアリマシテ、

マシテ、結局昭和十四年度歳入決算額ハ其ノ全體ヲ通ジマシテ、先程申上ゲマシタルガ如ク、其ノ豫算額ト比較致シマシテ、一億三千三百二十二萬餘圓ヲ増加ト相成ツテ居ル次第デアリマシテ、

昭和十四年度一般會計ニ於ケル歳入ノ實績ニ付キマシテハ、會計検査院ヨリ意見ノ報告ヲ致サレタルモノノ二十四件アリマシテ、此ノ外既往年度ニ屬スルモノノ二十二件、合計三十六件ト云フコトニナツテ居リマシテ、是等ノ内會計検査院ト其ノ所見ヲ異ニ致シマシタルモノノ一件デアリマシテ、是等ニ關シテハ、

昭和十四年度大藏省所管一般會計歳出豫算計上額ハ歳出經常部八億五千四百三十五萬三千七百五十三圓、歳出臨時部六億七千四百二十六萬六千六百六十九圓、合計十五億二千八百六十一萬四千四百二十二圓デアリマシテ、此ノ外前年度ヨリ繰越シマシタル金額ガ、歳出臨時部ニ於キマシテ一千三百八十六萬三千二百四十九圓餘、第一豫備金ヨリ補充致シマシタル金額ガ歳出經常部ニ於キマシテ七十九萬八千二百二十九圓、歳出臨時部ニ比較致シマシテ、二千四百七十六萬餘圓

次ニ昭十四年度大藏省所管一般會計歳出豫算計上額ハ歳出經常部八億五千四百三十五萬三千七百五十三圓、歳出臨時部六億七千四百二十六萬六千六百六十九圓、合計十五億二千八百六十一萬四千四百二十二圓デアリマシテ、此ノ外前年度ヨリ繰越シマシタル金額ガ、歳出臨時部ニ於キマシテ一千三百八十六萬三千二百四十九圓餘、第一豫備金ヨリ補充致シマシタル金額ガ歳出經常部ニ於キマシテ七十九萬八千二百二十九圓、歳出臨時部ニ比較致シマシテ、二千四百七十六萬餘圓

ニ於キマシテ十六萬五千三百八十一圓、合計九十五萬六千二百十圓、第二豫備金ヨリ支出致シマシタル金額ガ、歳出臨時部ニ於キマシテ百六十九萬四千二百十圓程アリマシテ、以上合計致シマシテ、昭和十四年度豫算總額ハ、歳出經常部八億五千五百四十四萬四千五百八十二圓、歳出臨時部六億八千九百九十八萬三千九百十六圓餘、合計十五億四千五百五十二萬八千四百九十八圓餘ト相成ルノデアリマシテ、

之ニ對シマシテ昭和十四年度ニ於テ支出致シマシタル金額ハ、歳出經常部ニ於キマシテ七億六千六百二十九萬六千二百四十四圓餘、歳出臨時部ニ於キマシテ六億六千五百六十六萬五千五百六十六圓餘、合計十四億二千二百八十圓餘、

○武内政府委員 昭和十四年度外務省所管經費決算ノ大要ヲ説明致シマシテ、先ツ一般會計ニ於キマシテハ、此ノ年度ノ豫算額ハ五千八百四十九萬八千八百九十七圓デアリマシテ、豫算現額ハ六千六百七十七萬七千七百七十四圓三十三錢ト相成リマシテ、豫算額ニ比シテ三百七十七萬八千七百七十七圓三十三錢ヲ増加致シテ居リマシテ、

○福田主査 次ニ外務省所管ノ御説明ヲ願ヒマシテ、

○三好政府委員 昭和十四年度内務省所管經費決算報告書ノ大體ヲ御説明致シマシテ、昭和十四年度内務省所管經費ノ豫算額ハ、歳出經常部ニ於キマシテ四千九百二十六萬四千八百餘圓、歳出臨時部ニ於キマシテ二億八千四百六十七萬九千九百餘圓、合計三億三千三百九十九萬五千七百餘圓、

○福田主査 次ニ内務省所管ノ御説明ヲ願ヒマシテ、

○昭十四年度大藏省所管一般會計

第二類第一號附屬ノ一 決算委員第一分科、第二分科聯合會會議錄 第一回 昭和十六年三月二十四日



ク不用ニ歸シタ金額アリマス  
以上ハ昭和十四年度内務省所管經費決算  
ノ大要デアリマス、何卒御審議ノ上御承認  
ヲ御願ヒ致シマス  
尚ホ當年度内務省ニ關シテハ、會  
計検査院ノ批難事項ハゴザイマセスコトヲ  
申シ加ヘテ置キマス

○松浦(周)委員 此ノ際簡便ニ質問ヲ御許  
シ願ヒタイト思ヒマスガ……  
○福田(至)委員 御許シ致シマス

○松浦(周)委員 此ノ機會ニ簡單ニ御伺ヒ  
シテ置キタイト思ヒマス、昨日三好政府  
委員ノ立木伐採稅ニ對スル問題ニ對シテ書  
類ヲ載イテ居ルノデアリマスガ、大藏省ノ  
認可ヲ得テ、サウシテ本稅ノ百分ノ三百以  
上ノ町村ニ賦課サセラルヘデアルト云フコ  
トデアリマス、サウスト此ノ内務省ノ御  
考ヘニ依ルト、此ノ百分ノ三百ノ額ヲ超エ  
テ居テ立木伐採稅ヲ徵收セントスル町村ノ  
數ハ幾ツアリマスカ、ソレカラ其ノ總稅額  
ハ幾ラ位徵收スル考ヘデアルカ、今後ノ見  
透シハ、百分ノ三百以上ヲ超エテ立木伐採  
稅ヲ課セ得ルコトノ出來ル町村及ビ其ノ總  
稅額ハドノ位ニナル御考ヘデアリマス、若シ此  
ノ今御伺ヒ致シマス點ニ付テ、此處デハツ  
キリ答辯出來マセズデシタラバ、書類ニ  
依ツテモ此ノ數字ヲ明カニサレタイト思  
ヒマス

更ニ二月十四日ノ第六回委員會ニ於キマ  
シテ、此ノ町村財政ノ窮迫ニ對スル私ノ質  
問ニ對シテ三好政府委員ノ御答辯ハ、稅  
制ガ改革サレマシテモ、町村財政ガ窮迫ス  
ルトハ考ヘテ居ナイ、僅カニ八十八箇町村  
ガ多少貧弱町村ト見ラレルモノガアルガ、

標準ノ三倍ヲ超エルモノ、或ハ本稅ノ百分  
ノ六十ト云フ程度ノモノハ、町村民トシテ  
ハ從來ヨリモ負擔ガ重クナイ、又今日ノ稅  
考ヘ方ハ、町村民稅トシテ、最高四圓マ  
デ平均取ルコトニナツテ居ルモノヲ、算盤  
ハ二圓乃至三圓ニ彈イテアルカラ十分ニ彈  
力性ガアル、ダカラ今後町村財政ト云フモ  
ノハ窮迫スルトハ考ヘナイ、斯様ニ仰セラ  
レテ居ルノデアリマス、然ラバ今立木伐採  
稅ヲ御許シニナルト云フ考ヘハ、其ノ町村  
財政ガ窮迫シタカラ御許シニナツタノデハ  
ナクテ、他ニ御許シニナラナケレバナラヌ  
理由ガアツタノデアリマスガ

ソレカラ今一ツハ、此ノ町村ノ財政窮迫  
ニ對スルコトハ、今私ガ茲ニ申述ベルマデ  
モナク、豫メ申上ゲテ居ルノデアリマス  
ガ、此ノ町村財政ノ窮迫ニ付テ一番問題ニ  
ナツテ居ルノハ、稅ノ改革カラ來テ居ルコ  
トハ言フマデモナイ、過日私ガ此處デ申上  
ゲタ通りデアリマス、デアリマスカ、此  
ノ彈力性ヲ失ツタ町村ガ、財政ノ窮迫  
スルコトハ當然ノコトデアリマス、ソレヲ  
立木伐採稅ニ依ツテ補ハルル當局ハ、  
前ノ答辯ニ於テハ財政ガ窮迫シナイト云ヒ  
ナガラ、此ノ間ノ質問ニ對シテハ、町村財  
政ノ窮迫カラ來テ居ルト云フ結果ニナル、  
サウスト前ノ答辯ト先日ノ答辯トノ間ニ  
食違ヒガアル、ト云フノハ結局町村財政ガ  
窮迫シテ居ルカラデアル、此ノ窮迫シタ町  
村財政ヲ救フノニ、單ニ立木ノ伐採稅ノミ  
ヲ以テ補強工作ヲスルト云フ考ヘハ、少  
考ヘガ違ヒハシナイカ、私ハ今日程森林ニ  
對スル重要性ノアル時ハナイト思フ、前ノ歐  
洲大戰ノ時ニドイツイノ人々ハ「ドイツイ  
内ノ森林ヲ守リ、他ノ方面カラ其ノ資材ヲ仰

出テ來ルコトト思フノデアリマスガ、現在  
市町村ノ方デ工夫シテ持ツテ參リマシタモ  
ノハ立木伐採稅、或ハ轉道稅、漁業稅ト云  
ツタ風ナモノガ比較的多イノデアリマス

○松浦(周)委員 只今ノ御説デアリマスガ、  
立木ノ伐採稅ヲ先ニシタト云フコトニ對シ  
テ、農林省或ハ物價方面ノ商工省ノ諒解ヲ  
得ル必要ハナイ、斯ウ云フコトデアリマス  
ガ、只今私ガ申上ゲマシタヤウニ、森林ノ  
重要性カラ出發シテ居ルノデアリマスガ、  
サウ云フ場合ニ農林省ガ折角森林ノ保護、  
造林ノ助長ヲ目標ニシテ助成金ヲ出シテ居  
リマス、又商工省ハ低物價ヲ何處マデモ堅  
持シヨウト努力シテ居ル場合ニ、其ノ國策  
ニ合ハスヤウナコトニナツテモ、内務省ハ、  
唯自今ノ方ノ建前サヘ宜ケレバ、ソレデ構  
ハス、斯ウ云フ考ヘ方デ、一體國家ガ官民  
協力トカ、或ハ國策ヲ樹立スルトカ云フヤ  
ウナコトガ出來マセウカ、私ハ其ノ觀念ヲ  
御聽キシテ置キタイ

○三好政府委員 大體地方稅ニ付キマシテ  
ハ、例ヘバ營業稅附加稅ノ如キモ同ジ問題  
デゴザイマスガ、各省關係ノ監督下ニア  
リマス營業稅種々アリマスガ、此ノ附加稅  
ヲ四百取ルニ致シマシテ五百取ルニ致シ  
マシテモ一々協議ハ致サナイコトニ致シテ  
居ルノデアリマス、此ノ限度ニ於キマシテ  
國策ニ反スルト、左様ニハ考ヘテ居ラナイ  
ノデアリマス

○松浦(周)委員 國策ニ反スルト考ヘテ居  
ラナクテモ、アナクハサウ御考ヘニナル  
デアリマセウガ、一方ニ於テ森林ノ保護ヲ  
シヨウ、愛林思想ヲ高メヨウトスル際ニ、  
森林ヲ持ツガ故ニ其ノ稅ヲ拂ハナケレバ  
ラスト云フコトニナルコトハ宜シクナイ、

地デアル、此ノ和歌山縣ノ森林地ニ於テ此  
ノ十年計畫ノ造林ニ對スル民有林ノ助成費  
ハ一年二十萬圓デアリマス、今二百五十萬  
石ヲ出シテ居ル此ノ和歌山縣ハ、其ノ立木  
代ニ對シテ十分ノ二十ノ税金ヲ拂フコトニ  
ナルト云フト、五十萬圓ノ税金ヲ拂フコト  
レバナリマセウ、同ジ政府ノ中ニ於テ内務  
省ト農林省ガ、一ハ森林ヲ助長シヨウト考  
ヘ、一ハ森林ヲ荒廢セシメヨウト考ヘル、  
サウ云フ行キ方デドウシテ國家ノ一丸ヲ求  
メテ此ノ時局ヲ乘切ルコトガ出來ルカ  
私ハ更ニモウ一點申上ゲマシタラバ、斯ウ  
云フ計畫ヲナサル時、主務當局ガ勿論法律  
ノ定メテアル所ノ大藏省ノ承認ハ得ラレタ  
デアラウト思フ、併シ其ノ財源ヲ保シツツ  
アル農林省ニ對スル諒解ヲ得ラレテ、之ヲ  
ヤラレタカドウカ更ニモウ一點ハ、今年ハ  
既ニ立木ノ所有權ハ大體ニ於テ伐採者ノ手  
ニ渡ツテ居リマス、デアリマスカ、今年ノ  
立木伐採稅ト云フモノハ、木ヲ伐ツテ出ス  
所ノ材木屋ノ負擔ニナルノデアリマス、是  
ガ低物價政策ニ依ツテ價值ハ決マラレテ居  
ル、其ノ公正ナル利潤ノ下ニ働カウトシテ  
居ル者ニ、一千六百萬圓ノ此ノ稅ヲ負擔サ  
セルコトガ、果シテ生産擴充ノ國策ニ合フ  
カドウカ、更ニ來年度ハドウナルカ、來年  
度ハ公定相場ノ利潤カラ見ルナラバ、逆算  
ニ依ツテ立木代ヲ決メルコトニナル、然ラ  
バ來年度以降ハ森林所有者ガ全部ノ拂ツ  
テ、森林ヲ荒廢セシメナケレバナラヌ、斯  
様ナ結果ニナルノデアリマス、然ラバ此ノ  
伐採稅ヲ課セル其ノモノハ千分ノ二十ト云  
フコトニナルト、立木ノ材木屋ニシテ場合ニ  
於テ其ノ五〇%ノ歩留リシカアリマセウ、然  
ラバ出來上ツタ材木ハ四分ノ税金ヲ拂ハナ

今日國家ノ重要ナ時ヲカラ稅ヲ拂フコトハ  
當然ナコトデアル、併シ政府ノ政策ト反ス  
ルヤウナ稅ヲ課セルコトハ一體ドウ云フモ  
ノデアリマスカ、之ヲ課セルコトニ依ツテ、  
折角助成金ヲ大藏省カラ出サレテモ何ニモ  
ナラヌ、今アナク方ハ錯誤ニ陥ツテ居ル、  
稅サヘ取レバ宜イト云フ御考ヘナラバ、ソ  
レデハイカス、一體官有林ノ收入ハ大藏省  
ニ入ル、サウシテ森林ノ助成費ハ大藏省  
省カラ出ル、流水ノ伐採稅ハ、民間ニ賣  
拂ツテ民間ガ伐採稅分ハ民間ガ拂フデ  
セウ、併シ其ノ金ハ官有林ノ林木ヲ評價  
スル場合ニ、是ハ逆算ノ方式ニ依リマス  
カラ、結局森林收入ガ減ルコトニナル、  
稅ヲ取ツテモダレノ趣リナラバ、民有  
林ハドウナル、民有林ハ所有者ノ林木ノ價  
値ガ安クナル、其ノ結果森林熱ガ冷マテ來  
ル、今日ノ山林所有者數ハ四百八十五萬  
リマス、サウシテ其ノ殆ドヲ農村ノ人ガ占  
メテ居ル、此ノ狀況ノ下ニ於テ今役人ト  
カ教員トカ町村吏員トカノ俸給ヲ上ゲテ、  
下級ノ人ノ生活ヲ安定セシメヨウト政府ガ  
考ヘテ居ル今日、獨リ農村ハ食糧政策ノ犧  
牲ニナツテ居ル、農村ノ生産品ノ價格ヲ上  
ゲルコトモ出來ズ苦シデ居ル者ニ更ニ税金  
ヲ課スルト云フ、是ガ今日ノ國家ノ要求ス  
ルコトデアラウカ、アナク方ハサウ思ツテ  
居ルダラウガ、國民ハ要求シテ居ラス、私  
ハ是ニ思ヒテ致サレタイト思フ、四百八十  
五萬ノ森林所有ノ農家ノ苦シミニ更ニ拍車  
ヲ掛ケルヤウナモノデハナイカ、農民ハ低  
物價政策食糧政策ノ犧牲ニナツテ居ル、オ  
役人ニハ給料ヲ増スト云フ一手ガアルガ、  
農家ノ米ノ値段ヲ上ゲルコトガ出來マセウ  
カ、ソレモシナイデ置イテ、空イテ居ル所

ケレバナラヌ、今度統制經濟ニ依ツテ地方  
會社ガ出來、中央會社ガ出來ル、之ニ三分  
ヅツ取ラレト六分ニナル、サウスト合  
計一割拂ハナケレバナラヌ、商工省ハ利潤  
ヲ幾ラ見テアルカト云フト、一割二分ノ利  
潤ガ見テアル、サウスト營業者ハ二分ノ利  
生活シナケレバナラヌ、其ノ二分デ生活ス  
ルコトモ國家ノ爲ナラヤリマセウ、併シ來  
年度カラ斯様ニ損失スル事業ニハ手ヲ出サ  
スト云フ結果ニナツタラバ、國ノ必要ト  
スル一億二千萬石ノ此ノ時局ノ要求スル材  
料ハドウシテ供出スルコトガ出來ルカ、之  
ニ對シテ商工省ノ御諒解ヲ得ラレタカドウ  
カ、以上ノ諸點ニ付テ、先ツ御伺ヒシテ置  
キマス

○三好政府委員 立木伐採稅ヲ賦課スル町  
村數ノ見込、或ハ稅額ノ見込デアリマスガ、  
是ハ今ノ所マダ分リマセウ、但シ通牒ニ示シ  
テアリマスヤウニ、百分ノ三百ヲ超エル町  
村課稅ケルト云フコトニナリマス、町村  
數ハドノ位ニナルカト云フ見當ハ付クノデ  
アリマスガ、此ノ百分ノ三百ヲ超シテ居リ  
マス町村ノ數ハ約千六百程アルノデアリマ  
スガ、此ノ千六百ガ全部山村トハ限リマセ  
ウ、百分ノ三百ヲ超シテ居ル町村ニ限  
ツテ認メルト云フ原則ガ實ケマシタラバ、  
ソレ以下ノ町村數デ済ムコトニナルト云フ  
コトハ明瞭デアラウト思フノデアリマス  
ガ、尤モ是ハ百分ノ三百ヲ超エル町村ニ限  
ルト云フノハ一應ノ原則デアリマス、事情  
ニ依リマシテハ必ズシモ百分ノ三百ヲ超サ  
ズデモ認メル場合ガアルコトヲ御諒承願ヒ  
タイト思フノデアリマス

ソレカラ立木伐採稅ヲ認メルノハ、結局  
町村財政ガ稅制改正ニ依ツテ苦シクナツタ  
第二類第一號附屬ノ一 決算委員第一分科、第二分科聯合會議録 第一回 昭和十六年三月二十四日



ハ何處カラデモ税金ヲ取レバ宜イト云フ考  
ヘ方ヲスルノハ開運ツテ居ル、サウ云フ考  
ヘ方デ行政ヲナサレバ、今後ハ官民一體  
コロデハナイ、益々官民ノ離反ニ拍車ヲ掛  
ルヤウナコトニナリハシナイカ、之ニ對ス  
ルアナタノ御意見ヲ聽イテ置キマス

○三好政府委員 御議論ヲ承ツテ居リマス  
ト、結局例ハバ田畑ニ對スル地租附加税ニ  
付テモ同問題ガアルノデアリマシテ、食  
糧増産ト云フコトヲ獎勵金ヲ出シテ居ル、  
ソレニ地租附加税ヲ取ルノハイカンデハナ  
イカト云フ御議論ニナルノト同ジダト思フ  
ノデアリマス、結局サウ云フモノニ對シテ  
稅ヲ取りマス程度ガ問題ニナルノデアラウ  
ト思フノデアリマスガ、私共ハ此ノ限度デ  
アルナラバ、御非難ニナリマスヤウナ事態  
ニハ陥ラナイ、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマ  
ス

○松浦(周)委員 意見ノ相違デアリマスカ  
ラ是デ止メマス

○福田主査 次ニ司法省所管ノ御説明ヲ願  
ヒマス

○石田政府委員 昭和十四年度ノ決算ヲ御  
説明申上ゲマス

昭和十四年度司法省所管經費ノ豫算額、  
經常部、臨時部ヲ合計致シマシテ五千三百  
二十七万六千七百九十五圓デアリマシテ、  
豫算現額ハ經常部、臨時部合計五千三百九  
十一万一千九百八十八圓餘デアリマス、即チ豫算  
現額ハ當初豫算額ニ比較致シマシテ六十二  
万五千二百二十三圓餘ノ増加ト相成ツテ居  
リマス、此ノ増加額ハ前年度カラ繰越シマシ  
タ金額二千七百二十七圓餘ト第一豫備  
金及第二豫備金ヨリ支出致シマシタ金額  
六十万二千三百九十六圓トデアリマス、右

豫備金支出ヲ致シマシタ金額ハ、法律費、  
收買費ニ於キマシテ、矯正院收容少年ノ被  
服及食料費等支出増加ノ爲メ一万三千六百  
六十三圓、諸支出金ニ於キマシテ死亡賜金  
等支出増加ノ爲メ一万二千四百一十四圓二  
千八百七十四圓ト第一豫備金カラ支出補充  
致シマシタト、刑務所ニ於ケル收容者ヲ  
臨時構外作業ニ就業セシメマスル爲メ是等  
戒護等ニ要スル經費トシテ三十四万九千九  
十六圓、又近時激増致シマシタ經濟事犯ニ對  
シ適正且ツ迅速ナル措置ヲ講ズル爲メ之ニ  
必要ナル經費トシテ七万二千四百一十四圓、  
昭和十四年五月秋田縣下ニ於ケル地震ノ爲  
メ秋田地方裁判所其ノ他所管建造物ニ損害  
ヲ被リマシタノデ、其ノ復舊費トシテ一万  
七千三百圓、昭和十三年十二月ヨリ同十四  
年三月ニ互ル風雪害ノ爲メ札幌控訴院、樺  
太刑務所、其ノ他所管建造物ニ損害ヲ被リ  
マシタノデ、其ノ復舊及新營費トシテ九万  
九千七百六十一圓、昭和十四年五月札幌刑  
務所工場其ノ他ガ火災ノ爲メ燒失致シマシ  
タノデ、其ノ復舊費トシテ一万九千九十三  
圓、昭和十四年十月沖繩地方ニ於ケル風水  
害ノ爲メ那覇地方裁判所、沖繩刑務所其ノ  
他所管建造物ニ損害ヲ被リマシタノデ、其  
ノ復舊費トシテ二万五千圓、借地法、借家  
法及借地借家調停法ノ施行地區擴張ニ  
伴フ經費トシテ四千二百七十一圓、合計  
五十七万八千五百三十二圓ト第二豫備金カ  
ラ支出致シマシタトデアリマス、昭和十  
四年年度ノ支出額ハ經常部、臨時部ヲ合計  
致シマシテ五千三百三十三万五千七百七圓餘  
デアリマシテ、之ヲ豫算現額五千三百九十九  
万一千九百八十八圓餘ニ比較致シマシテ、八  
十六万六千二百一十一圓餘ヲ減少致シテ居リマ

ス、此ノ減少致シマシタ金額ハ會計法第二  
十七條及第二十八條ノ規定ニ依リ、繰越  
費等ヲ翌年度ニ繰越シマシタ分十二万八千  
八百五十一圓餘ト不用ニ歸シマシタ七十  
七千三百五十九圓餘トデアリマス、而シ  
テ右ノ不用額ノ中四十七万一千三百五十八圓  
約ノ爲メ年度中途ニ於テ經費ノ節減及ビ事  
業繰延ヲナシタル結果生ジタモノデアリマ  
スカラ、豫算實行上自然ニ生ジマシタ不用  
額ハ其ノ差額二十六万六千五百四十四圓ト相  
成ル次第デアリマス

以上ハ決算ニ付テノ極ク大要ヲ御説明申  
上ゲタノデアリマスガ、御審議ノ上御承認  
アラシコトヲ御願ヒ致シマス

○福田主査 次ハ文部省所管ノ御説明ヲ願  
ヒマス

○柴沼政府委員 昭和十四年度文部省所管  
一般會計經費ノ決算ニ付キマシテ其ノ概要  
ヲ申上ゲマス

昭和十四年度文部省所管經費ノ豫算額ハ  
經常部一億四千三百三十七万三千三百餘圓、  
臨時部二千二百三十三万九千四百四十餘圓、  
合計一億六千五百七十一万二千七百八十餘  
圓デアリマシテ、豫算現額經常部一億四千  
三百三十七万九千五百四十餘圓、臨時部二千  
三百三十八万九千二百餘圓、合計一億六千  
六百五十六万八千七百五十餘圓デアリマス  
テ、豫算現額ノ豫算額ニ比較シテ増加スル  
金額八百二十五万六千二百七十圓デアリマ  
ス、此ノ増加額ハ前年度ヨリ繰越シマシタ  
金額六十二万八百九十餘圓ト、第一豫備金  
ヲ以テ補充シ若シクハ第二豫備金ヲ以テ支  
拂致シマシタ金額六十三万五千三百七十餘  
圓トデアリマス、而シテ昭和十四年度文部

省所管經費ノ支出額ハ經常部一億四千二  
百五十四万四千九百二十餘圓、臨時部千八  
百七十八万四千七百七十餘圓、合計一億六千  
三百三十二万六千四百餘圓デアリマシテ、之  
ヲ豫算現額ニ比較致シマシテ、五百二十四  
万二千三百五十九圓ヲ減少シテ居リマス、右  
ノ内三百七十三万二千五百二十餘圓ハ會計  
法第二十七條第二十八條及ビ明治四十四年  
法律第二號ニ依リ翌年度ニ繰越致シマシタ所  
ノ金額デアリマシテ、百五十万九千八百二  
十餘圓ハ全ク不用トナリマシタ金額デアリ  
マス、尙ホ此ノ繰越致シマシタ費目、金額  
及ビ前ニ申上ゲマシタ第一豫備金ヲ以テ補  
充シ、若クハ第二豫備金ヲ以テ支拂致シマ  
シタ費目、金額等ハ決算報告書ニ詳細記述  
シテアリマスカラ、ソレニ依ツテ御承認ヲ  
願ヒタイト存ジマス

次ニ帝國大學特別會計ノ決算ニ付キマシ  
テ其ノ概要ヲ申上ゲマス、昭和十四年度帝  
國大學特別會計ノ歳入ノ收入額合計ハ三  
千七百七十六万三千三百四十餘圓デアリマ  
シテ、之ヲ歳出ノ支出額合計三千五百十  
一万八千八百三十餘圓ニ比較致シマシテ、  
收入額ノ支出額ニ超過スル金額ハ二百  
六十四万四千五百十餘圓デアリマス、右ノ  
内會計法第二十八條大學特別會計規則第二  
十一條及ビ第二十二條ニ依リ翌年度ニ繰越  
致シマシタ所ノ歳出ノ財源ニ充當スル爲メ  
之ニ相當スル金額四十一万三千二百餘圓ヲ  
翌年度歳入ニ繰入レマシテ、全ク繰越ノ金  
額二百二十三万三千三百餘圓ハ大學特別會計  
規則第二十七條ニ依リ、維持資金ニ組入  
レマシテ此ノ年度ノ決算ヲ了結致シマシタ  
次ニ官立大學特別會計ノ決算ニ付キマシ  
テ其ノ概要ヲ申上ゲマス、昭和十四年度官

立大學特別會計ノ歳入ノ收入額合計ハ千  
三百五十三万三千七百四十餘圓デアリマシ  
テ、之ヲ歳出ノ支出額合計千二百五十三  
万四千七百十餘圓ニ比較致シマシテ、收入  
額ノ支出額ニ超過スル金額ハ九十九万  
九千二百餘圓デアリマス、右ノ内會計法第  
二十八條大學特別會計規則第二十一條及ビ  
第二十二條ニ依リ翌年度ニ繰越致シマシタ  
所ノ歳出ノ財源ニ充當スル爲メ之ニ相當ス  
ル金額五十五万四千餘圓ヲ翌年度ノ歳入  
ニ繰入レマシテ、全ク繰越ノ金額四十九万  
七千八百八十餘圓ハ大學特別會計規則第二  
十七條ニ依リ維持資金ニ組入レマシテ此ノ  
年度ノ決算ヲ了結致シマシタ

次ニ學校及圖書館特別會計ノ決算ニ付キ  
マシテ其ノ概要ヲ申上ゲマス、昭和十四年  
度學校及圖書館特別會計ノ歳入ノ收入額  
合計ハ二千七百七十七万二千二百五十餘圓  
デアリマシテ、之ヲ歳出ノ支出額合計二千  
八十二万八千四百餘圓ニ比較致シマシテ、  
收入額ノ支出額ニ超過スル金額ハ九十九  
萬四千二百十餘圓デアリマス、右ハ全ク繰  
越ノ金額デアリマシテ、學校及圖書館特別  
會計規則第二十二條ニ依リ維持資金ニ組入  
レマシテ此ノ年度ノ決算ヲ了結致シマシタ、  
何卒宜シク御審議ノ上御承認ヲ願ヒマス

次ニ昭和十四年度ノ決算ニ關シテ會計検査  
院ノ批准事項ノ二件ニ付キマシテ申上ゲマ  
ス、其ノ一ハ昭和十四年度熊本醫科大學ノ  
支出ニ係リマス校費二万二千餘圓デアリマ  
シテ、批准ノ要點ハ昭和十五年三月中熊本  
醫科大學ニ於テ附屬醫院附用トシテ購入致  
シマシタ玄米ニ關スルモノデアリマシテ、乘  
追加豫算ノ成立ニ伴ヒ豫算ノ豊裕ナリニ乘  
ジ、年度末ニ於テ特ニ多量ノ玄米ヲ購入シ

タルハ其ノ措置宜シキヲ得ザルモノナリト  
云フノデアリマス、本件ニ關シマシテハ詳  
細調査致シマシタ所、昭和十四年度ハ我が  
國關西以西地方未嘗有ラズ旱魃ニ禍セラレ、  
同大學所在地方ニ於キマシテモ同年八月九  
日以降米穀ノ出廻リハ著シク不良トナリ大  
學當局ハ凡ニ努力ヲ致シマシタガ、僅少  
ノ玄米ヲ入手スルコトヲ得ズ漸ク少量ツ  
ツノ白米ヲ買集メ辛ウジテ一時ノ用ヲ辨ジ  
タルガ如キ苦難ヲ嘗メタ實情デゴザイ  
マシタ、仍ツテ今後再ビ米穀ノ需給ノ均衡  
ヲ失シマシテ、一時的ニセヨ米穀ノ入手不  
能ニ陥ルヤウナコトガアリマシテハ果テ多  
數ノ入院患者ニ及ボスベキコトヲ慮慮致シ  
マシテ、又一方昭和十五年年度以降患者増加  
等ノ爲メ所要米ノ増加ヲ見込ミマシテ、  
新穀出廻期ニ相當量ノ購入ヲシナケレバ今  
後再ビ前同ノ如キ苦難ニ立至ランコトヲ惧  
レマシテ、當業者ニ對シ數次ニ互リ附屬病  
院ノ責務及ビ窮狀ヲ懇々説き玄米ノ確保ニ  
努メマシタ次第デアリマシテ、本件購入計  
畫ヲ立テマシタ當時ハ年度末ニ於ケル追加  
豫算ノ有無ハ勿論是ガ金額モ全ク豫想モシ  
テ居ラナカウツヤウナ實情デアリマス

之ヲ要スルニ本件ハ米穀需給關係ノ不安  
ナリシ當時ノ實情ニ鑑ミマシテ多數ノ入院  
患者ヲ收容スル大學當局者トシテ萬全ノ策  
ヲ講ズル爲メ例年ヨリモ幾分餘額購入ヲ爲  
シマシタ次第デアリマス

其ノ二ハ昭和十一年度京都帝國大學ノ支  
出ニ係リマス校費二万五千餘圓、新營費二百  
餘圓、計二万五千二百餘圓デアリマシテ、批准  
ノ要點ハ元京帝國大學書記荒木某外四名  
ガ同大學會計事務擔任中昭和六年五月頃ヨ  
リ十二年六月頃ニ至ル間單獨又ハ共謀シテ關

係書類ヲ作爲シ騙取致シマシタ十萬七千餘  
圓、及ビ元同大學會計課長事務官岸田某外  
三名ガ昭和六年十二月頃ヨリ十二年五月頃  
マデノ間ニ同様手段ニ依リ國費ヲ以テ支辨スベ  
カラザル經費ヲ不當ニ支出セシメマシタ四  
千餘圓、合計十一万八千餘圓ノ一部デアリマ  
シテ、此ノ支出ハ不當ナルト云フノデアリマ  
ス、本件ハ會計検査院ノ報告ノ通りデアリマ  
シテ、其ノ遺留額ナコトデアリマス、是ガ監督  
ニ關シ將來一層注意致シタイト存ジマス、尙  
ホ被害ノ内九千六百四十四圓五十錢ハ昭和十  
三年年度ニ歸スル、殘額ニ付キマシテハ十  
四年二月公訴附帶ノ私訴ヲ提起致シマシタ  
所審理ニ多大ノ時日ヲ要スルノ故ヲ以テ私  
訴却下ト決定ストノ言渡ガアリマシタガ、  
荒木某ノ外ハ公訴判決確定ト共ニ被害金額  
モ明瞭トナリマシタノデ、目下民事訴訟提  
起手續準備中デアリマス、又病氣中ノ荒木  
某ヲ除ク其ノ他ノ被告ハ昭和十五年五月マ  
デニソレレ、判決確定シ處刑セラレマシタ、  
尙ホ詳細ハ審判書ニ記述シテ置キマシタ通  
リデアリマスカラ、ソレニ依ツテ御承認ヲ  
願ヒ致シタイト存ジマス

○福田主査 次ハ厚生省所管ノ御説明ヲ願  
ヒマス

○生悅住政府委員 昭和十四年度厚生省所  
管決算報告書ノ大體ヲ御説明申上ゲマス、  
昭和十四年度厚生省所管經費ノ豫算額ハ  
歳出經常部ニ於キマシテ八千九百七十八万  
五千餘圓、歳出臨時部ニ於キマシテ五千六  
百八十八万八千餘圓、合計一億四千六百  
六十七万三千三百餘圓デアリマシテ、豫算現  
額ハ、歳出經常部ニ於キマシテ一億一千三  
百五十二万二千六百餘圓、歳出臨時部ニ於キマ

シテ七千五百二十七万四千二百餘圓、合計  
一億八千八百三十二万六千九百餘圓デアリ  
マス、而シテ此ノ豫算現額ノ前ノ豫算額ニ  
比較致シマシテト四千六百六十五万三千七  
百餘圓ヲ増加致シテ居リマス、此ノ増加額  
中、一千二百九十七万七千三百餘圓ハ前年  
度ヨリ繰越シ致シマシタ金額デアリマシテ、  
二千八百六十七万六千四百餘圓ハ豫備金ヨ  
リ支出致シマシタ金額デアリマス、豫備金  
支出ノ中、第一豫備金ヨリ支出致シマシタ  
モノハ、歳出經常部軍事扶助費外二款ハ二  
千二百九十七万圓、歳出臨時部衛生事業諸  
費外二款ハ三十一万七千八百餘圓トデアリ  
マシテ、第二豫備金ヨリ支出致シマシタモ  
ノハ、歳出臨時部補助費外九款ハ五百三十  
八万八千五百餘圓デアリマス

次ニ本年度ノ支出額ハ、歳出經常部ニ  
於キマシテ一億二千二百一十二万五千餘圓、歳出  
臨時部ニ於キマシテ六千三百三十二万五千八百  
餘圓、合計一億八千五百四十四万七千餘圓デ  
アリマシテ、之ヲ豫算現額ニ比較致シマシ  
ルト、二千三百二十九万九千七百餘圓ノ減  
少トナツテ居リマス、此ノ減少額ノ中、三  
百二十五万五千餘圓ハ、會計法第二十七條、同  
第二十八條及ビ明治四十四年法律第二號ニ  
依リ翌年度ニ繰越シ致シマシタ金額デアリ  
マシテ、殘餘ノ二千二百七十七万四千七百餘圓  
ハ全ク不用トナリマシタ金額デアリマス

次ニ昭和十四年度厚生省所管各特別會計  
ノ決算概要ヲ申上ゲマス、先ツ健康保險  
ノ收入額合計ハ五千七百二十万六千二  
百餘圓デアリマシテ、之ヲ其ノ豫算額合計  
五千四百七十二万二千二百餘圓ニ比較致シマ  
スルト、二百四十八万六千餘圓ノ増加トナツ  
テ居リマス、又歳出ノ支出額合計ハ四千



第一類第一號附屬ノ一 決算委員第一分科、第二分科聯合會議錄 第一回 昭和十六年三月二十四日

入ニ繰入レマシテ、殘餘ノ二百七十萬八千餘圓ハ勞働者災害扶助責任保險特別會計法第三條第一項ニ依リ積立金ニ組入レ、此ノ年度ハ決算ヲ結了致シタノデアリ...

入ニ繰入レマシテ、殘餘ノ二百七十萬八千餘圓ハ勞働者災害扶助責任保險特別會計法第三條第一項ニ依リ積立金ニ組入レ、此ノ年度ハ決算ヲ結了致シタノデアリ...

入ニ繰入レマシテ、殘餘ノ二百七十萬八千餘圓ハ勞働者災害扶助責任保險特別會計法第三條第一項ニ依リ積立金ニ組入レ、此ノ年度ハ決算ヲ結了致シタノデアリ...

入ニ繰入レマシテ、殘餘ノ二百七十萬八千餘圓ハ勞働者災害扶助責任保險特別會計法第三條第一項ニ依リ積立金ニ組入レ、此ノ年度ハ決算ヲ結了致シタノデアリ...

トヲ申上テマスト、實ハ彼處ニ海軍省ノ裏ニ建物ガ出來マシテ、アレガ鐵筋ノ建物デアリマス、アレガ出來マスト、大體其ノ頃...

幸ヒデアウツノデアリマス、晝落チマスト餘程問題ダツタラウト思ヒマスガ、夜落チマシテ、中ニ職員テ多少怪我ヲシタヤウナ者モ...

云フヤウナ點ニ付テ十分調査シテ居ツタラバ、アア云フコトハナカウツノグラウト思ヒマスガ、併シソレモ先程申シマシタ...

司法省ニハ專門ノ建築技師モオイデアアツテ、全國ノ司法省關係ノ裁判所デアルトカ、刑務所デアルトカ云フヤウナモノヲ順次建...







カ—然ラバ當分科會ノ審議ハ是デ終リマス、隨テ分科會ニ於キマスル決定ハ總會ニ讓リタイト存ジマスガ、御異議ハアリマセヌカ  
(異議ナシト呼ブ者アリ)  
○福田主査 御異議ナシト認メマス、然ラバ午後一時カラ八國有財産ノ小委員會ヲ開キマス、二時カラ總會ヲ開キマシテ此ノ決定ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス、是ニテ分科會ハ散會致シマス  
午後零時二十六分散會

昭和十六年三月二十四日印刷

昭和十六年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第一號附屬ノ二

第七十六回帝國議會 院 決算委員第三分科(陸軍省、海軍省、農、林、省及商工省所管) 第四分科(逓信省、鐵道省) 聯合會會議錄(速記)第一回

(二七四)

會 議  
昭和十六年三月二十四日(月曜日)午前十時  
二十五分開議  
出席委員左ノ如シ  
主査 高橋 義次君

第三分科所屬員  
小山 亮君 清水徳太郎君  
大島 寅吉君 眞鍋 勝君  
山元龜次郎君

第四分科所屬員  
今井 新造君 大野 一造君  
田代 正治君 玉野 知義君  
淺沼稻次郎君

兼務  
石坂 繁君 小笠原八十美君  
木村 淺七君 瀧澤 七郎君  
生田 和平君 鹽川 正藏君  
伊東 岩男 河合 義一君  
松浦周太郎君 松本治一郎君  
山川頼三郎君

三月二十二日第三分科所屬員田中養達君委員辭任ニ付キ其ノ補闕トシテ同月二十四日大石大君當選シ第三分科所屬ト爲リタリ  
出席政府委員左ノ如シ  
陸軍少將 武藤 章君  
陸軍主計少將 栗橋 保正君  
陸軍主計中佐 遠藤 武勝君  
海軍主計中將 武井 大助君  
海軍主計大佐 爲本 博篤君  
農林書記官 岡本 直人君

商工書記官 末永 術君  
逓信省經理局長 山田 良秀君  
鐵道省經理局長 平山 孝君  
拓務書記官 中野 勝次君  
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君  
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君  
樺太廳長官 小川 正儀君  
南洋廳長官 近藤 駿介君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ  
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
昭和十四年度歳入歳出總決算、昭和十四年度各特別會計歳入歳出決算中陸軍省、海軍省、農林省、商工省、逓信省、鐵道省及拓務省所管  
○高橋主査 是ヨリ決算委員會ノ第三分科、第四分科ノ聯合會ヲ開會致シマス  
先ツ最初ニ海軍省所管事項ヲ議題ト致シマス、歳出經常部第二款軍費第五項造船、造兵及修理費ヲ議題ト致シマス—海軍次官

○豊田政府委員 昭和十四年度海軍省所管經費決算ニ付キマシテハ、詳細ハ御手許ニ差上ゲテゴザイマス書類ヲ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、私カラ概要ヲ御説明申上ゲマス  
昭和十四年度海軍省所管經費決算ニ付キマシテ先ツ御説明申上ゲマス、昭和十四年度海軍省所管一般會計ノ歳出豫算額ハ、合計八億二千六百七十五万二千四百三十二圓デアリマシテ、之ニ前年度カラノ繰越額千

五百九十九万三千二百六十圓餘及ビ豫備金支出額四百一十九万八千八百六圓ヲ加ヘマスレバ、豫算現額八億四千五百九十六万五千四百九十八圓餘トナルノデアリマス、而シテ同年度ノ支出總額ハ八億三千五百五十三万四千七百三十四圓餘デアリマシテ、之ヲ只今申上ゲマシテ豫算現額八億四千五百九十六万五千四百九十八圓餘ニ比較致シマスルト、四千二百四十三万七千七百三十三圓餘ノ減少ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、只今申シマシタ此ノ減少額中、四千三百三十六万四千七百三十三圓餘ハ會計法第二十七條及ビ同二十八條ニ依リマスル昭和十五年度ニ繰越シマシタ金額デアリマス、殘リノ百六万六千四百四圓餘ハ不用額トナツタ金額デアリマス、此ノ不用額中ニハ經費削減ノ結果ニ因リマスル四十九万九千三百三十六圓、支拂停止額デアリマスル二万三千八百五十八圓、合計五十二万二千七百九十四圓ヲ包含スルノデアリマシテ、純粹ノ不用額ハ五十四万二千八百四十六圓餘デアリマス、只今申シマシタ通り昭和十四年度一般豫算ハ大差ナク實行サレテ居ルノデアリマス

次ニ特別會計ニ付キマシテ申上ゲマス、特別會計ハ三ツゴザイマス、其ノ第一ハ海軍工廠資金特別會計ノ決算デゴザイマス、昭和十四年度海軍省所管海軍工廠資金會計ノ收入總計ハ三億九千八百二十五万三千七百九十八圓餘デアリマシテ、支出總計ハ三億九千五百五十一万二千二百八十八圓餘デアリマシテ、而シテ收入ト支出ト差引計算ノ結果ハ二百七十四万五千五百九圓餘デアリマシテ、此ノ益金ヲ生ジマシタノデ、是ハ同年度一般會計ノ歳入ニ編入致シマシタ、特別會計ノ第二ハ海軍火藥廠作業會計ノ決算デアリマス、昭和十四年度海軍省所管海軍火藥廠作業會計ノ收入總計ハ三千八百二十二万四千二百八十一圓餘デアリマシテ、支出總計ハ三千七百九十七万四千二百八十一圓餘デアリマス、其ノ差二十五万圓ハ益金デアリマシテ、此ノ益金ハ同年度一般會計ノ歳入ニ編入致シマシタ  
特別會計ノ第三ハ海軍燃料廠作業會計ノ決算デアリマス、昭和十四年度海軍省所管海軍燃料廠作業會計ノ收入總計ハ六千六百二十四万五千六十一圓餘デアリマシテ、支出總計ハ六千五百九十九万九千五百四十四圓餘デアリマス、故ニ差引二万四千五百五十七圓餘ノ益金ヲ生ジタノデアリマシテ、此ノ益金ハ同年度一般會計ノ歳入ニ編入致シテ居リマス  
以上昭和十四年度海軍省所管經費決算ニ付キマシテ御説明申上ゲタノデアリマスガ、是等ノ決算ニ對シマシテ會計検査院ノ検査ノ結果批難サレマシタモノガ二件ゴザイマス、即チ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得スト云フノデアリマシテ、是ハ一般會計ト工廠資金特別會計トニ各一件アルノデアリマスガ、是等ハ全ク同一事項デアリマシテ、唯會計ヲ異ニ致シマスル爲ニ二件トナツタモノデアリマス、併シナガラ此ノ會計検査院ノ批難ニ對シマシテハ會計











昭和十四年度ニ於キマシテハ、年度當初豫定シテ部隊ノ復員作戦上ノ必要ニ依リマシテ、豫定ノ如ク實施セラレカウツカ、ソレカラ準備充實ノ過程ニ依リマシテ關係上、年度途中ニ於テ部隊ノ改編等ニ依リマシテ豫定以外ニ軍事費ノ補助額ヲ減少シタノデアリマシケレドモ、是ガ時期等ハ色色ナ關係ガアリマシテ豫定ガ非常ニ困難デアリ、豫定ハ一應シマシテケレドモ、豫定通りヲ實施セラレカウツカト云フコトニ依リマシテ、實際上ノ補助額ト云フモノヲ判定スル、サウシテ年度補助ノ實績ニ應ズルヤウニ被服品ノ整備ト云フモノヲ増加シタリ、減少シタリシテ豫算ノ使用ヲ調整スルト云フコトガ出來カウツカトデアリマシマシテ、ソレカラ昭和十四年度ニ於キマシテ軍事費ヲ以テ調達シマシテ被服品ノ中前送ノ事情ニ依リマシテ、當該年度ニ補助スルコトガ出來ナイモノハ結局其ノ殘品ハ翌年度ニ繰越ス外ハナイノデアリマシマシガ、被服品ノヤウニ調達ニ相當ノ期日ヲ要スルモノニ依リマシテハ、年度當初ニ於ケル補助ニ支障ノナイヤウニスル爲メ前年度内ニ於テ調達シタモノヲ次ノ年度當初ニ補助スル爲メ現品ヲ繰越シテ持ツテ居ルト云フコトハ從來トモアルノデアリマシマシガ、殊ニ事變下ニ於キマシテ、補助數量ハ非常ニ殖エ、且ツ狀況ノ急度ニ應ズル爲メハ、結局前年度ニ於テ次年度ノ當初補助スル爲メ必要ナル現品ヲ持ツテ置クコト云フコトハ已ム得ナイニ必要措置ト考ヘテ居ルノデアリマシマシ

モウツ會計検査院ハ臨時軍事費ヲ以テ購入シタ物品ノ中四百五十万五千餘圓ヲ年度經過後ニ至ツテ軍事費ニ替ヘテ現品ハ依然臨時軍事費所屬トシテ整理シテアルト認メテ

居ルノデアリマシマシガ、是ハ現品ハ昭和十四年度内ニ軍事費支辨費ノ所屬ノモノニ組替ヘ、豫算科目ノ更正ハ同十四年度整理期間タル十五年四月實施シタモノデアリマシマシテ、現品ヲ兩度更ニ臨時軍事費所屬ニ移シタ、斯ウ會計検査院ガ認メテ居リマシマシハ、被服廠ニ於ケル倉庫ノ状態カラ、保管ノ實情ニ應ズルヤウニ一括保管シタモノデアリマシマシテ、唯臨時軍事費所屬ノモノト一緒ニ保管シテ居ツタト云フニ外ナラナイノデアリマシマシテ、別ニ軍事費豫算ノ剩餘ヲ臨時軍事費ニ移シ使ツタト云フコトハナイノデアリマシマシ

次ニ糧秣本廠デゴザイマシマシガ、昭和十四年度陸軍糧秣本廠ニ於ケル軍事費精米及ビ精麥並ニ馬糧ノ支出額ガ昭和十三年度支費額ニ比シテ増加シタノハ、物價騰貴、補給人員ノ増加並ニ復員部隊所屬見込ヲ調達シタノニ依リマシマシテ、又軍事費ヲ以テ調達シタ米米ヲ戰地追送用ニ充當シタノハ、作戦上ノ關係ニ依リ追送ガ急ヲ要シ、且ツ國內米穀供給逼迫ノ實情ニ鑑ミマシマシテ、現有品ヲ一時流用シタモノデアリマシマシテ、作戦途上ニ於ケル補助並ニ米穀供給逼迫ノ實情カラ已ム得ナカウツカトデアリマシマシ、検査院ハ本豫算ハ平時部隊ニ對シテ其ノ人員數ニ應ジ定量ノ給與ヲ目途トシテ積算シタモノデアリマシマシガ、是ガ使用ハ自ラ限界ガアルニ拘ラズ、本費支出額ガ著シク増加シタノハ、豫算ノ使用ガ當ヲ得ズ、殊ニ此ノ經費ノ支辨ヲ以テ購入シタ米米ヲ戰地追送品ニ組替シタノハ、之ヲ臨時軍事費ニ更正セズ、又當初臨時軍事費ヲ以テ購入シタ米米ハ戰地追送品ナルニ本費支辨トシタノハ、本項豫算ノ剩餘ガアルカラ之ヲ臨時軍事費ニ移シテ使用シタモノト認メル、大斯ウ言ツテ居ルノデアリマシマシケレドモ、大體ノ辨明ハ今申上ゲテ通りデアリマシマシ、更ニ此ノ内容ヲ少シ細カク具體的ニ申上ゲマシマシガ、昭和十四年度軍事費精米及ビ精麥並ニ馬糧ノ支出額ガ昭和十四年度ハ十三年度ニ比シテ増加シタ居ル、斯ウ會計検査院ハ言ツテ居ルノデアリマシマシガ、十四年度ノ精米及ビ精麥ノ調辦價格ハ十三年度ノ調辦價格ニ比シテ約一二%ノ騰貴デアリマシマシテ、支出額ニ於テ約二十万圓ヲ増加シテ居ルノデアリマシマシ、又昭和十四年度軍事費關係ノ補助人員ハ十三年度ニ比シテ約四〇%ノ増加ヲ示シテ居ルノデアリマシマシテ、支出金額ニ於キマシマシテ約八十万圓ヲ増加シテ居ルノデアリマシマシ、此ノ金額ハ會計検査院ノ指摘シマシタ兵隊給及ハ軍隊用品費ノ增加割合ニ概ネ一致シテ居ルノデアリマシマシ、其ノ外ニ昭和十四年度ニ於キマシマシマシ、復員豫想部隊所屬見込トシテ調達シタ米米代金約二百三十万圓ニ達シテ居ルノデアリマシマシテ、以上増加支出ノ合計金額ハ約三百三十万圓デアリマシマシテ、會計検査院ノ指摘シタ前年度支出額ノ約一九〇%ニ相當スルノデアリマシマシ、ソレカラ昭和十四年度馬糧費ニ依リマシマシテハ馬糧調辦價格ノ騰貴ガ約一〇%デアリマシマシ、之ニ伴フ支出金額ノ増加ハ約八万圓デアリマシマシテ、官衙學校ノ改編ニ伴フ馬糧ノ増加ガ十三年度ニ比シマシマシテ約四%デアリマシマシテ、支出金額約四十七万圓、ソレカラモウツ會計検査院ノ馬糧費所屬トシテ調達シタ置イタ馬糧代金ガ約八万圓デアリマシマシテ、其ノ合計増加支出額ハ約百三十五万圓トナルノデアリマシマシテ、検査院ノ指摘シマシタ前年度支出額ノ約一二〇%ニ相當スルノデアリマシマシ

アリマシマシ、ソレカラモウツ會計検査院ガ批難シテ居リマシマシ軍事費支辨米米七万五千圓、價格百二十三万九千餘圓ヲ戰地追送品ニ組替ヘタノニ臨時軍事費支辨ニ經費ヲ更正シナカウツカノハ如何ト云フノデアリマシマシガ、前述ノヤウニ事變ノ推移ニ依リマシマシテ、昭和十四年度内ニハ相當ノ復員部隊ガアルモノト豫定シマシマシテ調辦シタモノデアリマシマシテ、狀況ノ變化ニ依ツテ復員セザルコトガ確定スルマデハ確實ニ持ツテ居ルト云フ必要ガアツカトデアリマシマシガ、當時臨時軍事費支辨ノ追送用糧秣ノ調達ハ御承知ノヤウニ内地ノ米穀供給逼迫ノ事情カラ自由ニ調達スルコトガ困難ヲ感ジタモノデアリマシマシカ、軍トシマシマシテ全面的ニ米穀問題ノ解決ノ爲メ、米穀追送ニ拍子ヲ掛ケルヤウナコトハ成ベク差控ヘルト云フ趣旨ヲ以テマシマシテ戰地カラ歸ツテ來ル部隊ニ引當テテ豫想ノ下ニ持ツテ居リマシマシ七万五千圓ト云フモノヲ戰地追送用ニ利用致シマシマシ、暫ク別途調達スルコトハ差控ヘテ居ツタノデアリマシマシ、併シ此ノ米米ハ性質上軍事費所屬ノモノデアリマシマシ、復員部隊ハ内地部隊ノ所要ノ準備品デアリマシマシ、歸ツタ際ニハ、是ガ現品ヲ一時戰地追送用ニ替ヘマシマシガ、之ヲ又入戻シテ費フコト云フ必要ガアリマシマシ、殊ニ作戦ノ必要上ノ時期ハ何時ニナルカ分ラズト云フ事情モアリマシマシタノデアリマシマシ、又臨時軍事費ヲ以テ購入シマシタ米米七万圓、價格百七万五千餘圓ヲ戰地追送用ニ使用シタノニ昭和十五年四月ニナツテ軍事費ノ一般會計ノ方ニ替ヘタノハ、復員部隊其ノ他所要見込トシテ軍

軍事費支辨ノ帳簿ニ受入整理——詰リ臨時軍事費支辨トシテ購入シテ置イタモノヲ復員部隊其ノ他ノ所要見込トシテ軍事費支辨ノ帳簿ニ受入レ整理シマシタノデアリマシマシ、科目更正ノ必要ガアリマシマシタノデアリマシマシ、併シ此ノ現品ハ戰地追送品ノ需要ヲ生ジ、而モ國內ノ米穀供給逼迫ニ依リマシマシテ別途更ニ臨時軍事費ヲ以テ調達スルノ困難トシテ關係上、更ニ追送品ニ組替ヘ流用シタモノデアリマシマシ、其ノ支出科目ノ整理ガ遲延シテ居ツタモノデアリマシマシカ、昭和十四年度整理期間タル昭和十五年四月ニ於テ更正整理シタモノデアリマシマシ、隨ヒマシマシテ現品處理ニ付キマシマシテハ將來軍事費支辨品ノ所要ヲ生ジ、又國內米穀事情ガ之ヲ許スニ至ツタ時期ニ於テ、臨時軍事費支辨品ヲ以テ戻入整理ラズルモノデアリマシマシ、即チ昭和十四年度軍事費、糧秣費ガ特ニ増加シマシタノハ、支那事變ノ情勢上相當多クノ人馬ガ歸還スルモノトシマシテ、所要ノ糧秣ヲ準備シタルニ依リマシマシテ、狀況ノ變化ニ依ツテ復員部隊ガ少ク、差向キ使用ノ見込ナキニ至リタル一方、又追送用トシテ新タニ取得スルコトハ國內ノ米穀事情カラ困難トシタノデアリマシマシテ、一時戰地追送用ニ流用シタモノデアリマシマシ、豫算ノ剩餘ガアツタカラ之ヲ使ツテ臨時軍事費ニ移シタノデアリマシマシト云フ検査院ノ批難ハ當ラナイノデアリマシマシ

次ニ材料運搬ニ關スル件、是ハ陸軍造兵廠大阪工廠ノ出來事デアリマシマシテ、大阪工廠ニ於キマシマシ日本通運株式會社ニ請負セマシマシ昭和十四年二月カラ昭和十五年二月ノ間ニ於テ、大阪工廠カラ或ル製造所ニ

材料ヲ運搬セシメタ料金二十万五千五百八圓ニ關スルモノデアリマシマシ、此ノ材料ハ甲會社カラ契約書ニ書イテアル各持込場所ヲ通ジ同一ノ單價ヲ以テ購入シタモノデアリマシマシテ、或ル製造所亦右持込場所ガ一ツデアリマシマシ、購入當時直接同所ニ納入セシムルニ於テハ本件運搬費ハ支出ノ要ガナカウツカト認メラレマシマシ、ソレナニ一旦大阪工廠ハ入レテ保管轉換ニ依ツテ之ヲ某地製造所ニ運搬セシメタルハ當ヲ得ナイ、斯ウ云フノデアリマシマシ、即チ此ノ材料ノ購入ハ各工廠等所要品統一調辦ノ爲メ年度初メ造兵廠ニ於テ或ル會社ト契約シタモノデアリマシマシテ、此ノ契約ニ依レバ持込場所ヲ成ベク書イテ、各持込場所ヲ通ジ同一ノ單價トシテ所要ニ從ヒ品目數量、納期、持込場所ヲ指示スルコトトシタノデアリマシマシテ、或ル製造所亦持込場所ガ一ツニ屬スルモノデアリマシマシ、此ノ材料ハ當初カラ同製造所使用ノモノナルコト明カデアウツカ、同製造所ニ持込ムコトノ有リ且ツ適切ナルハ固ヨリ論ヲ俟ザル所デアリマシマシガ、之ヲ總テ一遍大阪工廠ニ持込シタト云フ如キ措置ガ當ヲ得ナイモノト認メラレ、當局ハ淀川河岸赤川町ノ揚陸場ノ未成自動貨車運搬力拂底等ノ事情ニ依ツテ所望期間内ニ某地ニ納入セシムルコトハ不可能デアウツカト云フケレドモ、揚陸場ハ赤川町ニ限ルモノト認メラレ難キノミナラズ、自動貨車運搬力ノ點ニ關シテハ現ニ工廠ニ於テ日本通運株式會社ヲシテ所要數量ノ全部ニ付テ自動貨車ニ依ツテ運搬ヲサシメタルニ鑑ミ、工廠ノ持込アルニ於テハ甲會社カラ所要期間内ニ於テ直接

某地ニ納入セシメ得ナカウツカトハ認メルコトガ出來カウツカ、要スルニ本件ハ計畫宜シキヲ得ザリシ爲メ多額ノ運搬費ヲ負擔スルニ至ツテ困難ニ不利ヲ及ボシタモノデアリマシマシ、斯ウ云フ批難ガアルノデアリマシマシ、之ニ對シマシマシ陸軍ノ辨明ノ要旨ヲ申上ゲマシマシ、此ノ批難ハ某地製造所ニ於ケル所要材料ヲ大阪工廠ニ納入セシメタルニ更ニ同製造所ニ運搬シタモノト云フノデアリマシマシガ、某地製造所ニ於ケル所要材料ハ當初同所ニ直納セシメタル如ク計畫ヲ實施シタモノデアリマシマシ、然ルニ同製造所ノ作業量ハ作戦上ノ必要ニ基テ兵器ノ増加並ニ整備命令ニ依ツテ著シク増加シタノデアリマシマシ、隨テ是ガ所要材料亦増加シタノデアリマシマシ、當時ニ於ケル輸送力ノ實情ニ鑑ミ甲會社ヨリ直納セシメ得ザリシ關係上、大阪工廠在庫品ヲ保管轉換シ、兵器整備上遺憾ナカラシメテ來タノデアリマシマシ、検査院ハ此ノ材料ハ初メカラ其ノ製造所使用ノモノデアリマシマシトガ明瞭デアウツカトアルカラ、直接同製造所ニ持込シタルノガ有利且ツ適切ナルハ固ヨリ論ヲ俟ナイ所デアリマシマシ、ソレノニ於テ大阪工廠ニ總テ持込シマシマシテ多額ノ運搬費ヲ使ツテ、更ニ某地ニ轉送シタルガ如キ措置ハ妥當デナイ、又輸送力ニ關シテハ當局者ハ淀川河岸赤川町揚陸場ノ未成、自動貨車運搬力ノ拂底等ニ依ツテ所望期間ニ於ケル納入ガ困難デアウツカト云フケレドモ、揚陸場ハ赤川町ニ限ルモノト認メ難キ、且ツ自動貨車ノ拂底ハ現ニ工廠ニ於テモ、日本通運株式會社ヲシテ所要數量ノ全部ニ付テ運搬ヲサシメタルニ鑑ミ、工廠ノ持込アルナラバ、所要期間内ニ納入スルコトガ出來タデアラウ、要

スルニ計畫宜シキヲ得ナカウツカ、斯ウ云フ批難ヲシテ居ルノデアリマシマシガ、之ヲ詳細申上ゲマシマシ此ノ材料ハ甲會社ト契約シマシタノハ昭和十四年四月一日デアリマシマシ、其ノ契約ニ依リマシマシテ或ル製造所ニ對スル直納數量ガ比較的少カウツカトデアリマシマシ、昭和十四年三月一日或ル製造所ノ災害ニ依リマシマシテ諸施設ガ非常ニ大キイ損害ヲ被リマシタノデアリマシマシ、初メ豫想スルコトノ出來マシタ作業力ヲ基礎ト致シマシマシ十四年度ノ作業計畫ヲ立案シテ所要量ヲ決定シタモノデアリマシマシ、然ルニ其ノ後緊迫シマシタ作戦上ノ要求ニ依リマシマシテ、彈藥整備量ヲ増加セヨト云フ指示達ヲ工廠トシテハ受ケマシマシ初ハサウ多クナク使用スルト云フ計畫ヲシテ居リマシマシ、材料ノ所要數量モ亦非常ニ増加シタノデアリマシマシ、來タノデアリマシマシガ後ニ述ベマシマシヤウニ直接甲會社カラ其ノ製造所マデ直納ラシマシマシ輸送力ガ不足デアルト云フ實情ニ鑑ミマシマシ、其ノ運搬力ノ關係カラ直納數量ノ増加ヲ期待スルコトガ出來カウツカト云フ、急遽整備ニ遺憾ナカラシムルヤウニ、大阪工廠ノ在庫品ヲ保管轉換ラシマシ、取敢ズ某製造所ニ送ツタノデアリマシマシ、此ノ材料ヲ或ル製造所ニ直接納メマシマシ、大抵ニ於ケル揚陸場ヲ赤川町ニ限定シマシマシ、當時同所ニ於ケル揚陸場未成ノ爲メ所望ノ輸送ヲ爲シ得ザルモノト判斷シマシタノハ、大阪カラ某地方ニ對スル此ノ種輸送ハ、新淀川ハ水深淺ク水路輸送ニ利用ノ價值ナキ爲メ、大阪港ヨリ安治川木津川ヲ通航シ、毛馬開門ヲ經テ、淀川本流ニ出テ上流ニ廻ルヲ經路トスルモ、毛馬開門以上ノ上流ハ水深ガ淺ク、三十「トン」乃至四十「トン」以下ノ小型船ノ



ミノ運送ヲ許シテ居ル狀況デアリマス、然ルニ大阪港ニ於テハ波浪及ビ水流ノ關係上此ノ種小艇ノ積替スルコトガ出来ナク...

上ノ要求ニ應ズルガ爲ニ已ムヲ得ナカッタ處置デアルト考ヘマス 次ニ前渡資金ニ關スル件デアリマシテ、一ツハ關東軍ノ陸軍經理部新案提出...

江支庫ニ於ケル人夫賃トシテ證明シタモノデアリマス、其ノ實ハ同支庫附陸軍主計曹長堀内某ガ出納官トシテ勤務中、昭和十二年四月ヨリ同年十月ニ至ル間...

リマシタ場合ニハ、其ノ貸目ハドウ云フ風ニ繰込マレコトニナツテ居リマス、○遠藤政府委員 損害ノ補填ハ其ノ品物ノ...

實方起リマシタ場合ニハ、戰時ニ關スル限リ次ノ臨時軍事費ノ豫算ヲ以チマシテ、其ノ補給ニ支障ノナイヤウニ致シテ居リマス...

出シテ取戻シラヌルト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、軍自身ノ負擔デナイヤウナ方法ニ於テ處理スルコトモアリマス...

尙ホ監督ニ於キマシテモ検査ヲ種々ヤウツテ居ルデアリマス、部隊ガ非常ニ増加シテ居ルコトノ爲ニ、經理部長等ノ行方検査...

○高橋主査 ソレデハ是ヨリ農林省所管ニ入リマス、此ノ際政府委員ニ申上ゲテ置キマスガ、採決ハ總計總會ニ於テ行ヒマス...



ス、此ノ増加ヲ致シマシタノハ前年度ヨリ繰越シタル金額二百五十九千餘圓、又豫備金及ビ豫備金外ニ於テ第一豫備金支出五十一万五千餘圓、第二豫備金支出二千三百五十二万二千餘圓、計二千四百四十三万九千五百一十四圓、別ニ豫備金外臨時支出トシテ、國庫剩餘金支出五百五十四万四千餘圓、此ノ兩者合計二千九百五十八万四千四百四十二圓ガアリマシタ、之ヲ先程申上ゲマシタ豫算現額繰出經常部四百六十八万九千九百餘圓、繰出臨時部一億九千五百四十一万二千餘圓、合計二億四千七百一十二万二千餘圓ニ比較致シマシタ、繰出經常部百二十八万七千餘圓、繰出臨時部千四百六十八万八千九百餘圓、合計千五百九十六万八千九百八十九圓二十五錢四厘ト減少致シテ居リマシタ、此ノ減少額ノ内翌年度ニ繰越シマシタル金額ハ會計法第二十七條ニ依リマシテ經常部七十四万五千餘圓、臨時部六百七十二万餘圓、計七百四十六万五千餘圓、又同ジク會計法第二十八條ニ依リマシテ臨時部二十八万八千餘圓、又明治四十四年法律第二號ニ依リマシテ臨時部二十三万餘圓、合計七百九十八万四千九百二十九圓七錢デアリマシタ、全ク不用トナリマシタ金額ハ七百九十八万四千六百四十八圓四厘デアリマシタ

以上デ一般會計ノ説明ヲ終リマシテ、次ニ昭和十四年度農林省所管ノ六ツノ特別會計ノ繰入繰出決定計算書ニ付テデアリマシタ、之ニ掲ゲテ居リマシタ所ノ繰入ノ收入濟額合計ハ四百二十三万七千餘圓デアリマシタ、繰出ノ支出濟額合計ハ四百九十九万八千餘圓デアリマシタ、故ニ繰入ノ不足額ハ四百六十六萬九千餘圓ニ生ジテ居リマシタ、此ノ不足額ハ、翌年度歳入ニ繰入スベキ所ノ未経過再保險料ニ相當スル所ノ七万一千八百七十二圓、支拂備金ニ相當スル金額一萬五千三百十三圓、此ノ合計八万六千九百八十八圓餘ノ不足ヲ生ジテ居リマシタ、此ノ不足額ハ、本年度法律第六號農業再保險特別會計法第三條第二項ノ規定ニ依リ所ノ

計ノ繰入繰出決定計算書ニ付テデアリマシタ、之ニ掲出スル所ノ繰入ノ收入濟額合計ハ、三億三千九百九十二万二千餘圓デアリマシタ、繰出ノ支出濟額合計ハ二億二千七百七十七千餘圓デアリマシタ、故ニ繰入繰出差引一億一千九百一十八万五千餘圓ノ剩餘ヲ生ジマシタ、此ノ剩餘金ハ、大正十年法律第三十七號米穀需給調節特別會計法第八條ニ依リマシテ、翌年度歳入ニ繰入レテ本年度ノ決算ヲ了致シタノデアリマシタ

二番目ニ、繰入繰出決定計算書ニ付テデアリマシタ、之ニ掲ゲテ居リマシタ所ノ繰入ノ收入濟額合計ハ三千六百五十二万二千餘圓デアリマシタ、繰出ノ支出濟額合計ハ五百三十三万一千餘圓デアリマシタ、故ニ繰入繰出差引三千九百九十九万一千餘圓ノ剩餘ヲ生ジマシタ、此ノ剩餘金ハ昭和十二年法律第十七號積立金法ニ依リマシテ、本年度歳入ニ繰入レマシタ、三番目ニ、農業再保險繰入繰出決定計算書ニ付テデアリマシタ、之ニ掲ゲテ居リマシタ所ノ繰入ノ收入濟額合計ハ四百二十三万七千餘圓デアリマシタ、繰出ノ支出濟額合計ハ四百九十九万八千餘圓デアリマシタ、故ニ繰入ノ不足額ハ四百六十六萬九千餘圓ニ生ジテ居リマシタ、此ノ不足額ハ、翌年度歳入ニ繰入スベキ所ノ未経過再保險料ニ相當スル所ノ七万一千八百七十二圓、支拂備金ニ相當スル金額一萬五千三百十三圓、此ノ合計八万六千九百八十八圓餘ノ不足ヲ生ジテ居リマシタ、此ノ不足額ハ、本年度法律第六號農業再保險特別會計法第三條第二項ノ規定ニ依リ所ノ

補正スベキ積立金ガアリマシタ、其ノ儘本年度ノ決算ヲ了致シタノデアリマシタ、四番目ニ、森林火災保險繰入繰出決定計算書ニ付テデアリマシタ、之ニ掲出スル所ノ繰入ノ收入濟額合計ハ、三十八万餘圓デアリマシタ、繰出ノ支出濟額合計ハ、二十二万九千餘圓デアリマシタ、故ニ繰入ノ繰出ニ超過スル額ハ、十五萬餘圓デアリマシタ、此ノ超過額ハ、翌年度歳入ニ繰入スル所ノ、未経過再保險料ニ相當スル所ノ金額四万二千餘圓、支拂備金ニ相當スル所ノ金額一萬八千餘圓、此ノ合計六万餘圓ヲ繰越シマシタ、結局八万九千九百五十七圓餘ノ剩餘ヲ生ズルノデアリマシタ、此ノ剩餘金ハ森林火災保險特別會計法、第三條第一項ニ依リテ、積立金ニ組入レ、本年度ノ決算ヲ了致シタノデアリマシタ

ハ、農林省トシテ何か今マデ監督ノ方法ヲ講ゼラレタヤウナコトガアリマシタセウカ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマシタ

○岡本政府委員 只今御尋ネノ點ハ、中央金庫ヨリ北海道漁業ニ對シテ資金ノ融通ヲシタ、ソレニ關聯シテ漁業側ノ今後ノ返還ヲ確保スル意味ニ於テ、何か監督ヲシテ居ルカト云フ趣旨ノ御尋ネダト思ヒマシタ、是ハ北海道漁業ニ限リマセヌダト思ヒマシタ、漁業組合及ビ同聯合會ノ正常ナル發達ヲ圖ルト云フ趣旨ニ於キマシタ、中央ニ於キマシテハ、農林省ニ漁業組合指導監督ニ關スル事務費ト云フノガゴザイマシタ、ソレハ單ニ漁業法關係ノミニ關セズ、團體トシテノ經理ノコトカラモ指導監督ヲシテ居ル次第デアリマシタ、別ニ地方トシテハ道府縣ニ其ノ擔當ノ職員ガアリマシタ、殊ニ最近漁業組合系統ノ經濟行為ノ膨脹ニ伴ヒマシテ、正常ナル發達ヲ圖ルヤウ各般ノ注意ヲ致シテ居ル次第デゴザイマシタ、何事業ノ進展ニ對シテハマダ指導監督ノ手不足ト云フ點ハ免レヌト云フ趣旨ニ於テ居ル次第デアリマシタ、是ハ今後ノ施設ニ俟タナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマシタ

○田代委員 其共ガ考ヘルノハ、組合ナルモノノ經營ノ目的ハ利潤ノ追求デハアリマセヌデ、アナタノ仰シタルヤウニ極メテ正當ナル目的デアラウト思ヒマシタ、之ヲ概括的ニ私等ノ見テ居ルコトカラ言ヒマシタ、大變ニ其ノ目的ニ違反シテ居ルト思ハレル筋ガ多クアルノデアリマシタ、併シサウ一般的ニ概括的ニ之ヲ抗議シタ所デ、實質的、本質的ニハ其ノ精神ヲ感シナイト云フコトニ相成ルノデアリマシタ、ドウカ其ノ點金錢ノ出納、其ノ用途ト云フコトニ重キ

○岡本政府委員 全漁聯ニ對スル補助金ニ付テハ、生鮮魚介類物價統制ニ付キマシタ、約二十万圓程度アルコトハ分ツテ居リマシタ、其ノ他共同施設ノモノニ付テハ、年度ニ依ツテ異ナルト思ヒマシタ、最近各種ノモノヲ合計シテ、皆幾テアルカト云フコトニ付テハ、今直チニ御説明申上ゲルコトハ出来マセヌ

是ハ檢査報告書ノ方ハ十二頁、辯明書ノ方ハ五頁ニ記載シテゴザイマシタ、本件ハ貿易發展所經營費補助トシテ貿易組合中央會ニ交付シマシタ補助金ニ關スル件デゴザイマシタ、會計檢査院批難ノ要旨ハ、昭和十四年度ニ於テ貿易組合中央會ヲ新設シテ、是ガ經營費ノ全額ヲ補助スルコトトシ、二十一万三千五百十五圓ヲ交付シタルモノナルモ、年度内設置ヲ認可シタルハ、マドラスノ外ニ箇所ニ過ギズシテ、其ノ他ハ外務省トノ協定ヲ見ザル爲メ、設置認可ニ至ラザルモノナルニ、補助金ヲ支給シタルハ、安當ナラズト云フ點デゴザイマシタ、貿易發展所ノ開設地ニ付キマシタハ、豫メ外務當局ニ協議ノ上、略、意見ノ一致ヲ見マシタルノミナラズ、從來開設地ノ當該國政府ニ於テ異論ヲ唱ヘマシタ實例ナク、此ノ種海外施設ニハ相當ノ準備期間ト、之ニ伴ヒマシテ相當ノ經費ヲ要シマシタ、豫定計畫ニ基キマシテ補助金ヲ交付シマシタ所、歐洲戰爭ニ依リ其ノ後ノ國際情勢變化ノ爲メ、年度内ニ當該國政府ノ同意ヲ得ルコトガ困難ナル所相當多數ニ上リマシタ、交付シマシタ補助金ニ剩餘ヲ生ズルニ至リマシタ、此ノ剩餘金ハ既ニ十六年一月十三日之ヲ返納セシメマシタ次第デゴザイマシタ、尙ホ本件ニ付キマシテ御質疑ガゴザイマシタレバ、詳細御説明申上ゲルコトト致シタイト存ジマシタ

○田代委員 北海道漁業組合聯合會ガ、中央金庫カラ約一千万圓ノ金ヲ借りテ居ルヤウニ、私數字ハ一寸ハツキリ致シマセヌガ、サウ云フ風ニ聞イテ居リマシタ、無論北海道ノ漁業組合聯合會ハ、北海道廳ノ直接ノ監督ヲ受ケマシタ、併シ延イテハ農林省ノ監督モ受ケテ居ルノデアリマシタ、中央金庫カラ借りマシタ、金ノ用途ニ付キマシタ

○小山(亮)委員 返納シマシタ金額ハ、十五万八千四百十六圓九十八錢デアリマシタ











ヒクイト存ジマス  
 ○小山(亮)委員 ソレハ半島人デアリマス  
 カ、内地人デアリマス  
 ○水田政府委員 内地人デアリマス  
 ○高橋主査 鐵道省所管事項ニ付テ説明員トシテ山本會計課長ガ發言ヲ求メラレテ居リマスガ、御許シスルニ御異議ゴザイマセヌカ

○高橋主査 御異議ナシト呼ブ者アリ  
 ○山本說明員 鐵道省所管帝國鐵道特別會計ノ歲入歳出ハ御承知ノ通り資本、用品及收益ノ三勘定ニ區分サレテ居リマス、今之ガ各勘定別決算ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、先づ資本勘定ニ於キマシテハ、歳入ノ收入歳入額合計ハ三億一千三百九十九萬五千四百二十三圓餘、歳出ノ支出歳入額合計ハ二億八千三百五十一萬七千七百六十九圓餘デアリマスカラ、差引歳入ノ歳出ニ超過スルコト三十三萬八千八百八十二圓餘デアリマスガ、前年度カラノ繰越資金ガ四千六百三十六萬一千七百七十七圓餘アリマスカラ、結局七千六百七十四萬九千四百三十一圓餘ノ資金ヲ生ジテ計算デアリマス、此ノ資金ハ帝國鐵道會計法第十一條第一項ニ依リ翌年度ニ繰越致シマシタ

○高橋主査 山本經理局長ガ御見エニナツテ會計課長ニ代ラレマス  
 ○平山政府委員 次ニ用品勘定ニ於キマシテハ歳入ノ收入歳入額ガ三億六千二百四十萬六千四百二十六圓餘デアリマス、又本年度ニ於キマスル歳入未済額ハ三萬四千八百五十五圓餘未済ニ係ル歳入未済額ガ九十五萬九千八百七十七圓餘、前年度カラ繰越シマシタ支

出未済額中、本年度ニ於キマシテ支出歳出トナリマシタ金額ハ二十萬七千七百七十四圓餘、本年度ニ於キマシテ支出未済トナリマシタ金額ハ十九萬四千八百四十七圓餘デアリマス、又翌年度ニ繰越シマシタ物品ノ價額ハ四十三萬三千六百九十七圓餘デアリマス、以上合計致シマスルト、收入ノ合計ハ四億四百十三萬九千三百四十四圓餘トナルノデアリマス

次ニ歳出ニ付テ申上ベマス、歳出ノ支出歳出額ハ三億五千六百六十一萬八千六百七十四圓餘デアリマシテ、之ニ本年度支出未済額百十五萬四千七百九十二圓餘、前年度カラ繰越シマシタ歳入未済額中ニ本年度ニ於キマシテ、收入歳出トナリマシタ金額ハ、百六十七萬七千九百三十四圓餘、本年度ニ於キマシテ歳入未済トナリマシタ金額ガ一萬一千八百七十三圓餘、尙ホ本年度ニ於キマシテ不納賦捐ニ對シマシタ金額ハ一千三百九十九圓餘デアリマシテ、之ニ前年度カラ繰越シマシタ物品ノ價額四千二百七十三萬七千六百六十六圓餘ヲ加算致シマスレバ、歳出ノ合計ハ四億二千九百九十二萬二千二百九十九圓餘トナリマスカラ、收入歳出ノ差引ニ於キマシテ百九十四萬七千二百四十四圓餘ノ過剩ヲ生ジマシタ、仍テ此ノ過剩額ハ帝國鐵道會計法第六條第二項ニ依リ之ヲ資本勘定ニ繰入レタ次第デアリマス

道會計法第九條ニ依リ資本勘定ニ繰入レマシテ本年度ノ決算ヲ終了致シタ譯デアリマス

以上ノ大體計數上ノ説明ヲ申上ゲマシタ次第デアリマスガ、尙ホ是ガ詳細ハ各勘定ノ歳入歳出決定計算書ニ付テ御詳承ヲ願ヒタイト存スルノデアリマス

以上ノ決算ニ付キマシテ會計檢査院カラ檢査ノ結果批難ヲ受ケマシタ事項ハ歳出ニ於キマシテ二件、内一件ハ國有財産デアリマスカラ、是ハ小委員會ノ方デ御説明ヲ致シマスガ、其ノ外ニ過年度ノモノニ付キマシテ歳出ニ於キマシテ二件アリマス、今申上ゲマシタ通り一件ハ國有財産ノコトデアリマス、小委員會デ御説明ヲ致スコトニ致シマシテ、其ノ他ノ問題ニ關シテ申上ゲタイ、斯ク存スルノデアリマス第一ノ問題ハ石川島造船所外五會社ニ製作ヲ請負ハセマシタ各種橋樑ノ製造ニ關シマシテ計檢査院ノ批難ハ昭和十二年六月ヨリ十四年三月マデノ間ニ石川島造船所外五會社ニ製作ヲ請負ハセマシタ各種橋樑百十二連三千四百二十二トシ、餘ノ製作費十八萬五千八百餘圓ハ建設工事中ニ屬シマス越美線外五線ニ架設スル目的デアリ、十三年度五月以降十五年一月マデニ逐次納入致シマシテ、各所要商所ニ送付致シタモノデアリマス、是等各線ノ既年度別ノ後年度ニ繰延ベマシテ、越美、三江、今福、三新、本郷ノ各線ハ十二年十月既ニ工事ニ着手シタ工ノミヲ繼續施行シ、軌道引伸其ノ他ノ開業關係ノ工事ハ着手セザルコトニ決定シ、又只見線ハ十二年十二月一部區間ノ開業ヲ中止スルコトトシ、既ニ土工工事ニ着手シタ他ノ

區間ハ工事請負人ニ損害補償金二萬二千餘圓ヲ支拂ヒ解約シタ程何レモ近イ將來ニハ工事施行ノ見込ガナイニ橋樑ノ急イ製作サセ、爾來現在マテ總テ未使用ノ儘放置シテ居ルノハ失當デアルト云フノデアリマス、之ニ對シマスル鐵道省ノ辯明ハ、事變ノ發展擴大ガ經濟的各般ノ實情ニ變革影響ヲ及ボシ、爲ニ本件鐵道建設工事モ繰延決定ノ已ムナキニ至リマシタガ、事變以來逐次鐵道ノ入手困難ヲ來シマスルト共ニ、努力拂底ニ伴ヒマシテ、橋樑類ノ製作不能トナリ又ハ遲延スルコトニ依リマシテ、既定計畫工事ノ遂行ニ甚ダシク支障ヲ招來シテ居リマス實情ニ鑑ミマシテ、假令暫定的ニ經常節約其ノ他ノ理由ニ依リマシテ、既定年度別額ヲ繰延ベ工ノ施行ヲ一時中止致シマシテモ、既ニ土工工事等ガ完成シテ居ルモノハ勿論、完成致シマセヌモノデモ、是等ノ建設工事ノ施行ヲ全然打切ツタモノデアリマス、早晩再著手スルコトニナルデアラウト考ヘマス、又他方資料モ豫算モ此ノ計畫ヲ進メル上ニ支障ガアリマセヌデシタノデ、是ガ準備要求ノ取消ヲセズ其ノ儘ニ製作サセタモノデアリマシテ、結果カラ見マスルト多少實情ニ副ハナカツタ點モアリマスガ、以上申上ゲタ理由カラ見マシテ、事情洵ニ已ムヲ得ナイモノト思フノデアリマス

次ハ既往年度ノ分即チ十三年度ノ決算ニ對シマスルモノデアリマス、其ノ第一ハ東京鐵道局ニ於キマシテ車輛ニ使用致シマス黃銅板即チ眞鍮板ヲ紀長伸銅所以外一會社カラ購入致シマシタ價值ガ高過ギルト云フ批難ヲデアリマス、會計檢査院ノ言フ所ハ昭和十三年五月及ビ六月紀長伸銅所以外

一會社カラ購入致シマシタ黃銅板四萬八千八百餘トシ、代價十三萬六千餘圓トシ、當リ單價二圓六十錢乃至三圓八錢ハ、之ヲ同年五月同鐵道局ガ購入致シマシタ同品ノ單價一圓九十一錢乃至一圓九十四錢、又同年六月大阪鐵道局ガ購入致シマシタモノハ一圓七十八錢デ、是等ニ比ベマシテ高價デアリバカリデナク、當時本品ノ主材料デアアル電氣銅ニ關シテハ、日本鋼統制組合ノ建値百、キログラム、當リ五月分百圓五十錢、六月分百圓五十錢ト發表セラレ

一部ノ配給スル覺東ナイ實情ニアリマシタノデ、上述ノ各種工用資材ヲ確保スル必要上、一般市場價格ヲ購入シナケレバ入手不可能ノ狀態デアツタノデアリマス、仍テ右價格ヲ基準トシテ合資會社三崎本店、紀長伸銅所、住友本社、古河電氣工業、神戸製鋼所ノ各業者ノ見積リノ提出ヲ求メマシタガ、住友外二社ハ右市場價格ヲ以テシテモ尙且ツ原料入手困難ノ理由トシテ、此ノ見積リヲ辭退シテ參ツタノデアリマシテ、已ムヲ得ズ爾餘ノ合資會社三崎本店及紀長伸銅所ニ對シマシテ當時ノ市場價格三百圓乃至四百圓ヲ參酌シテ單價ヲ査定シ、之ガ購入契約ヲ締結スルコトガ出來マシタ、斯クノ如ク此ノ單價ヲ統制組合ノ建値ニ依ルコトガ出來マセズ、市場價格ヲ基礎トシタコトハ過渡的處置トシテ洵ニ事情已ムヲ得ナカツタモノデアリマス、又購入數量ニ付キマシテモ、本品ノ如キ重要工業品タル鋼製品ニアリマシテハ、品不足ノ爲ニ鋼統制組合ニ於テモ配給ガ圓滑ニ參リマセズ、之方輸送ノ重要ナル車輛ノ製修工事ニ支障ヲ來スガ如キ遺憾ノナイコトヲ期シ、目的達成ニ必要ナル本件資材ヲ一時ニ購入シ、之ガ確保ニ努メタ次第デ、是亦現下時局ノ對策トシテ妥當ノ處置デアルト思フノデアリマス

第二ハ車輛用薄肉電線管ヲ日本、パイプ製造株式會社外一名カラ購入スルニ當ツテ、其ノ價格ガ高價ニ失シタト云フ件デアリマス、會計檢査院ハ本件車輛用薄肉電線管各種、此ノ代價十萬六千餘圓ノ購入單價ハ一般市場及ビ名古屋鐵道局購入品ノ單價ニ比ベテ二〇%乃至二〇%高ク、本購入

品ト他品トノ主ナル規格上ノ差異ハネチ山數ニ於テ一、インチ、ニ付キ市販品ノ十六山ナル對シ、十八山ナル點ニ存スルモノデアツテ、其ノ他角度、山ノ高さ、形狀等ノ差異ヲ加味スルモ、此ノ價格ニ著シク影響ヲ及ボスモノト思ハレヌノミナラズ、大井、大宮兩工場ニ於キマスル本件ネチ切作業ヲ見ルニ、之ガ工作費ハ一、メートルル當リ一、二錢ヲ要スルニ過ギナイカラ、本品單價市販品ニ比シテ斯クノ如ク高價ニ購入シタノハ事由ガナイト云フノデアリマス、鐵道省ノ之ニ對シマスル辯明ハ、鐵道本來ノ使命達成上、各種資材ニ於キマシテ往々一般市販品ヲ採用スルコトノ出來ナイ場合ガアリ、此ノ場合は等特種品ガ市販品ニ比ベテ若干値開キアリトスルモ蓋シ已ムヲ得ナイ、即チ本件車輛用薄肉電線管モ近頃高速運轉ノ關係上各種複雜振動ヲ考慮シテ、此ノネチ山數ガ二山多ク、且其ノ角度、山ノ高さ、形狀等モ相違シテ居リ、使用目的ニ鑑ミテ檢査院重價アル爲メ管素材モ一般市販品ノ使用材料中カラ特ニ優良品ヲ選別使用スルバカリデナク、十八山ニ、ネチ切シタモノノ廢却品ハ一般市場規格品トシテ檢査院ケルコトガ不可能デ、強イテ之ヲ採用スル爲ニハ其ノ兩端ノ、ネチ部ヲ切棄テ、短尺モノトシテ市場價格ニ比シ格安ノ價值處分セザルベカラザルコトナリ、又他方鐵道省デ採用シテ居リマスル、ネチハ五十五度ト六十度ノ二種デアリマシテ、若シ一般市販品ノ八十度ノ、ネチヲ使用スルコトニナリマス、更ニ在來設備ノ外ニ八十度ノ、ネチニ適スル諸道具ガ必要トナリ、之ヲ全國各地ニ散在スル工場、機關及ビ檢査區等ニ増備ヲ要スル

○小山(亮)委員 今檢査院ノ批難ニナツテ居リマスノハ、薄肉電線管ト申シマシタ車輛ノ下ニ使フモノデアリマス、是ハ振動ガ非常ニ激シイモノデアリマスカラ、隨テ市場デ使ツテ居リマスモノヨリハ相當規格ノ嚴重モノヲ使ツテ居ル譯ナノデアリマス、列車ノ運轉等ニ當リマスル極小サナ所ノ缺點ガ非常ニ大キナ事故ヲ起ス虞レガアリマスカラ、ソコデ規格ニ付テハ特ニ嚴重ニ檢査ヲ致シテ居ルノデアリマス

○小山(亮)委員 鐵道省以外ノ車輛ニ使ツテモヤハリ若シ小サナ故障デモ起キタラ重大ノコトデアリマスカラ、ヤハリ規格檢査ハ嚴重ダラウト思ヒマス、是ハ私ハ理由ニナラナイノデアナイカト思フノデアリマス、官廳デ總テ物ヲ御買上ニナルニ付テハ規格ガ嚴重デアルト云フコトハ、納入者ガ心得テ居ラナケレバナラヌ話デ、特ニ鐵道省ガ規格ガ嚴重ダ、ダカラ物品ノ價值ガ高クテモ仕方ガナイノダト云フコトハ、理由ニナラナイノデアナイカト思フノデアリマス、

○平山政府委員 只今檢査院ノ批難ニナツテ居リマスノハ、薄肉電線管ト申シマシタ車輛ノ下ニ使フモノデアリマス、是ハ振動ガ非常ニ激シイモノデアリマスカラ、隨テ市場デ使ツテ居リマスモノヨリハ相當規格ノ嚴重モノヲ使ツテ居ル譯ナノデアリマス、列車ノ運轉等ニ當リマスル極小サナ所ノ缺點ガ非常ニ大キナ事故ヲ起ス虞レガアリマスカラ、ソコデ規格ニ付テハ特ニ嚴重ニ檢査ヲ致シテ居ルノデアリマス

○小山(亮)委員 鐵道省以外ノ車輛ニ使ツテモヤハリ若シ小サナ故障デモ起キタラ重大ノコトデアリマスカラ、ヤハリ規格檢査ハ嚴重ダラウト思ヒマス、是ハ私ハ理由ニナラナイノデアナイカト思フノデアリマス、官廳デ總テ物ヲ御買上ニナルニ付テハ規格ガ嚴重デアルト云フコトハ、納入者ガ心得テ居ラナケレバナラヌ話デ、特ニ鐵道省ガ規格ガ嚴重ダ、ダカラ物品ノ價值ガ高クテモ仕方ガナイノダト云フコトハ、理由ニナラナイノデアナイカト思フノデアリマス、



モウ一應御伺ヒ致シマス

○平山政府委員 只今申上ゲタノハ薄肉電線管デゴザイマスガ、是ハ只今小山サンノ仰シヤイマシタ通り、一般ノ會社其ノ他デ使ヒマスモノモ、ヤハリ規格ハ相當嚴重ニヤツテ居ルト思フノデアリマスガ、鐵道省デ使ツテ居リマスモノハ、特ニ高速度ノ非常ニ「スピード」ノ速イ所デ使フ電線管ナノデアリシテ、隨ヒマシテ一般ノモノノ規格ガ嚴重デアルト云フコトノ外ニ、其ノ使用所ガ遠ツテ居ル譯デアリマス、詰リネチノ數ガ普通ノ所デ使ツテ居リマスノハ十六ナノデアリマスガ、鐵道省デ使ツテ居リマスノハ、非常ニ速イ運轉デアリマスト地ムト云フ虞ガアルト云フノデ、ソレヲ十八ニシテ居ルノデアリマス、隨テソレガ若シ廢却ニデモナリマシタ時ニハ、一般ノ市場デハ使ヘナイヤウナモノデアリマス、ソコデ値段ガ高クナツテ參ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス

○高橋主査 以上ヲ以テ分科聯合會ノ分擔ニ屬スル部分ヲ終了致シマシタガ、此ノ採決ハ總テ總會ニ讓ルコトト致シマシテ、此ノ程度デ分科聯合會ヲ閉ヂタイト存ジマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○高橋主査 ソレデハ御異議ナキモノト認メマシテ、之ヲ以テ本會ヲ閉ヂルコトニ致シマス、各位ノ御精勵ヲ感謝致シマス

午後一時三十三分散會

昭和十六年三月二十四日印刷

昭和十六年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第一號附屬ノ三

第七十六回帝國議會 院 決算小委員會會議錄(速記)第一回

(二七五)

委員會成立

本委員ハ昭和十六年三月二十二日(土曜日)委員長ハ昭以テ左ノ通選定セラレタリ

今井 新造君	伊東 岩男君
河合 義一君	鹽川 正藏君
高橋 義次君	高橋 義次君
高見 之通君	高橋 義次君
瀧澤 七郎君	福田關次郎君
松浦周太郎君	森下 國雄君

同月二十四日(月曜日)午後一時三十分委員長互選ノ爲委員參集ス

其ノ氏名左ノ如シ

三十三分開議

出席委員左ノ如シ

小委員長 福田關次郎君	伊東 岩男君
今井 新造君	鹽川 正藏君
河合 義一君	高橋 義次君
高橋 義次君	瀧澤 七郎君
高見 之通君	福田關次郎君
瀧澤 七郎君	松浦周太郎君

出席政府委員左ノ如シ

營業管理財局理事 入江 昂君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度國有財産増減總計算書

○福田委員長 ソレデハ是ヨリ國有財産審議ノ小委員會ヲ開會致シマス。大蔵省政府委員ノ説明ヲ願ヒマス

○入江(昂)政府委員 昭和十四年度國有財産増減總計算書ニ付キマシテハ、過日決算總會ニ於キマシテ次官ヨリ一通リノ御説明ヲ申上ゲタノデゴザイマスルガ、尙ホ此ノ機會ニ於キマシテ、私ヨリモ少シク詳細ニ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

マシテ四億六千九百三十七萬餘圓、特別會計ニ於キマシテ十二億一千三百九十一萬餘圓、合計十六億八千三百二十八萬餘圓ノ增加トナリマス、之ヲ昭和十三年度末現在ニ於ケル國有財産ノ總額百二十六億二千七百二十三萬餘圓ニ加算ヲ致シマスル時ハ、百四十三億一千五百一十一萬餘圓トナリマス、是ガ即チ昭和十四年度末現在ニ於キマスル國有財産ノ總額格デアリマス

只今申上ゲマシタ增加額十六億八千三百二十八萬餘圓ニ付キ、其ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、立木竹七億二千四百六十一萬餘圓、器具機械二億四千六百七十五萬餘圓、工作物二億一千八百五十五萬餘圓、建物一億七千九百八十四萬餘圓、株式及ビ持分一億一千九百六十三萬餘圓、船舶一億一千五百六十四萬餘圓、土地七千八百六十六萬餘圓デアリマス

而シテ右增加ノ結果ニ依リマシテ、昭和十四年度末現在ノ國有財産ノ總額ハ、前ニ申上ゲマシタヤウニ百四十三億一千五百一十一萬餘圓トナリマスルガ、其ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、工作物三十八億二千七百九十五萬餘圓、土地二十二億七千七百三十九萬餘圓、立木竹二十二億四千六百三十二萬餘圓、船舶十七億七千七百七十七萬餘圓、器具機械十五億七千四百三十五萬餘圓、株式及ビ持分八億九千七百七十四萬餘圓デアリマス、尙ホ念ノ爲メ附加ヘテ置キマスガ、此ノ國有財産増減總計算書ニハ道路、港灣、河川、堤塘

等即チ公共用財産ニ付キマシテハ、國有財産法第二十八條ノ規定ニ依リマシテ、當分ノ内増減總計算書ノ中ニ加ヘナイコトニ相成ツテ居リマス、又寺院佛堂供用地、公共團體ノ公共用地位ニ神社用地ニ付キマシテハ、國有財産法施行規則第二條ノ規定ニ依リマシテ、其ノ面積ノミヲ掲ゲマシテ、價格ハ計上シテゴザイマセヌ、故ニ右ノ公共用財産並ニ是等ノ價格ヲモ合算致シマスナラバ、國有財産ノ總額ハ先ニ申述ベマシタ額ニ比ベマシテ、更ニ多額ニ上ルモノト考ヘラレマス

而シテ此ノ國有財産増減總計算書ハ、國有財産法第二十六條ノ規定ニ依リマシテ、會計検査院ノ検査ヲ經マシタノデアリマスガ、會計検査院ハ其ノ員額ヲ正當ト認メラレマシテ、其ノ検査報告ガ提出サレテアリマス、但シ國有財産ノ管理ニ關シマシテ不當ト認メラレマシタ事項ガ、昭和十四年度歲入歳出決算検査報告ニ掲載セラレテアリマス、其ノ件數ヲ申上ゲマス、帝國鐵道會計一件、臺灣總督府特別會計一件、合計二件デアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、辯明書ヲ以テ所見ヲ陳述致シテ置キマシタノデアリマス、何卒御審議ノ上御承認アラシコトヲ御願ヒ致シマス

○瀧澤委員 一寸御伺ヒ致シマス、此ノ二億バカリノ立木竹デアリマスガ、昨年六億バカリ殖ヘタト云フノハ自然ニ太ツテ殖ヘタノデスカ

○入江(昂)政府委員 洵ニ御尤モナ御尋ネ

○瀧澤委員 委員長ノ選舉ニ付キマシテハ、投票ノ煩ヲ避ケマシテ指名推選ニ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指名ハ、福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員 委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔福田關次郎君委員長席ニ着ク〕

○瀧澤委員 只今ノ鹽川委員ヨリノ御發議デ、投票ヲ用ヒズ福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致スコトニ、御異議ナイモノト認メテ左様決定致シマス

○瀧澤委員 只今ノ鹽川委員ヨリノ御發議デ、投票ヲ用ヒズ福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致スコトニ、御異議ナイモノト認メテ左様決定致シマス

○瀧澤委員 只今ノ鹽川委員ヨリノ御發議デ、投票ヲ用ヒズ福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致スコトニ、御異議ナイモノト認メテ左様決定致シマス

○瀧澤委員 委員長ノ選舉ニ付キマシテハ、投票ノ煩ヲ避ケマシテ指名推選ニ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指名ハ、福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員 委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔福田關次郎君委員長席ニ着ク〕

○瀧澤委員 委員長ノ選舉ニ付キマシテハ、投票ノ煩ヲ避ケマシテ指名推選ニ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指名ハ、福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員 委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔福田關次郎君委員長席ニ着ク〕

○瀧澤委員 委員長ノ選舉ニ付キマシテハ、投票ノ煩ヲ避ケマシテ指名推選ニ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指名ハ、福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員 委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔福田關次郎君委員長席ニ着ク〕

○瀧澤委員 委員長ノ選舉ニ付キマシテハ、投票ノ煩ヲ避ケマシテ指名推選ニ願ヒタイト思ヒマス、而シテ其ノ指名ハ、福田關次郎君ヲ委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○瀧澤委員 委員長ニ御推薦致シタイト思ヒマス

〔福田關次郎君委員長席ニ着ク〕

昭和十六年三月二十四日(月曜日)午後一時

第一類第一號附屬ノ三 決算小委員會會議錄 第一回(小委員長席) 昭和十六年三月二十四日

昭和十六年三月二十四日(月曜日)午後一時

第一類第一號附屬ノ三 決算小委員會會議錄 第一回(小委員長席) 昭和十六年三月二十四日

昭和十六年三月二十四日(月曜日)午後一時

第一類第一號附屬ノ三 決算小委員會會議錄 第一回(小委員長席) 昭和十六年三月二十四日

昭和十六年三月二十四日(月曜日)午後一時

第一類第一號附屬ノ三 決算小委員會會議錄 第一回(小委員長席) 昭和十六年三月二十四日



ダト存シマス、是ハ實ハ特別ノ原因ガゴザ  
イマスノデ、此ノ種エマシタ主ナ原因ハ、  
實ハ此ノ種ニ於キマシテ、其ノ所管ニ  
於キマス立木ガ殖エタコトニナツテ居  
ノデゴザイマスガ、是ハ昭和十二年カ  
國有財産法ヲ外地ノ方ニ施行スルコトニ相  
成リマシタコトモゴザイマシテ、當時現  
角經過ノコトモゴザイマシテ、帳帳ニ  
關スル國有財産法關係ノ規定、或ハ増減  
報告計算書等ニ關スル規定ニ付キマシテ  
ハ、當分ノ内地ノ國有財産關係ノ法規  
ノ適用ヲ除外致シマシテ、ソレデ帳帳ノ  
コトニ付キマシテハ、先ヅ向フデ以テ  
調査ガ完了致シマシタラバ、其ノ調査ノ  
完了シ次第ノ帳帳ニ計上シテ行クト云  
フ特別ノ扱ヒヲ實ハ當時致シタノデアリ  
マス、ソレデ御承知ノ通り樺太ニハ非常ニ  
澤山ノ立木ガアリマスガ、國有財産法施行  
當時カラ昭和十三年マデハ、實ハ立木ノ調  
査ガ完全ニ參ツテ居リマセヌ爲メ、アノ立  
木ガ全然國有財産ノ總額ノ中ニ載ツテ居  
ナカッタノデアリマス、ソレガ調査ガ出来  
テ參リマシタノデ、昭和十四年度末ノ増減  
計算書カラ、此ノ樺太ニ於ケル立木並ニ其  
ノ立木ノ生エテ居リマス土地デアリマスガ  
之ヲ計上スルコトニナリマシタ、其ノ關係  
デ——何ト申シマスカ、毎年ノ増加ニ比ベマ  
シテ、非常ニ多クノ増加ト云フモノガソコ  
ニ現ハレテ參リマシタヤウナ次第デアリマ  
シテ、別ニソレガ立木ガ殖エタコトデアリ  
イコトヲ、御承知置キテ願ヒタイト存シマ  
ス

○入江(島)政府委員 立木ニ付キマシテハ、  
御承知ノヤウニ、農林省ニ於キマシテ全體  
ノ商所ヲ——多分三百幾ツカト思ヒマス  
ガ、——商所ニ分ケマシテ施業ヲ立テマシテ、  
ソレノノ代價計畫ヲ立テテ伐採ヲ致シテ  
居ル譯デアリマスガ、其ノ伐採致シマシタ  
數量ト云フモノハ、毎年増加致シマス立木  
ノ石數ノ限度ヲ以テ、伐採スルコトヲ建前  
ニ致シテ居リマスノデ、實際問題ト致シマ  
シテ、御話ノヤウナ帳帳ニ載リマス形ニ於  
キマシテハ、増加ト云フコトニ相成ツテ居  
ラス譯デアリマス、唯何ト申シマスカ、例  
ヘバ新シク山林ノ國有ニ編入致シマストカ  
云フコトニナリマス、是ハ全然新シイ増  
加ニナリマセケレドモ、唯自然ニ立木ノ育  
ツテ參リマス關係ニ於キマシテハ、増ニ現  
ハシテ居ルマデ次第デアリマス、其ノ點ダケ  
御含ミ置キテ願ヒタイト思ヒマス

○入江(島)政府委員 尙ホモウ一ツ御伺ヒ致シタイ  
コトハ、昨年度ハ材木ノ値段ハ——炭デア  
ルトカ其ノ他ノ特別地下ノ方法ヲ執ツテ居  
ラレタヤウデアリマスガ、一昨年ノモノト  
比ベマシテ、昨年ノ値下リハドシナヤウナ  
風ニナツテ居リマシタデアリマセウカ

○入江(島)政府委員 只今御尋ネノ點ハ、實  
ハ農林省ノ所管ニナツテ居リマスノデ、其ノ  
方ニ尋ネマシタ上デ御答ヘ致シタイト思ヒ  
マスカラ、一寸御待チテ戴キタイト思ヒマス

○入江(島)政府委員 尙ホモウ一ツ御伺ヒ致シタイ  
コトハ、大藏省ガサウ云フ風デアリマス  
モウ一ツハ、大藏省ガサウ云フ風デアリマス  
カラ、各官署デ持ツテ居リマス土地ヲ買入レ

モウ一ツ御伺ヒ致シタイコトハ、國有財  
産ノ中デ處分サレル時ニ、土地ナドニ付テ  
ハ、大藏省デ持下ラレル場合ニハ、吾々  
民間デ取引賣買スルヨリモ尙ホ駈引ガヒ  
ドイ、随分高ク言ツテ安ク賣ツテ見タリシ  
テ、ドウモ吾々ガ知ツテ居ル「ブローカー」  
ノヤリヨリモ、マダ甚ダシイ例ガアリマス  
ガ、アレハ何トカ御考慮シテ戴キタイト、本當  
ニ正當ノ價格ヲ以テヤウテ戴キタイト思ヒ  
マス、例ヘバ東京市ノ復興事業ナドデ持下  
ラレルモノニシマシテモ、土地ノ狀況ニ依  
テハ、市中ノ値段ト違ツテ非常ニ高イ値段  
ヲ言ツテ、何時マデモ賣レナイデ、其ノ内  
ニ安ク賣ツテシマハナケレバナラヌト云フ  
ヤウナ譯デ、何デモ役人ガ商賣ヲヤラレル  
ト、ドウモ其ノ調子ガ巧ク行カヌノデアリ  
マスガ、アレハ國ニ於テハ本當ニ是ガ正當  
ノ價格ガト云フヤウナ所デアラレテ、商賣人  
デモヤラヌヤウナ、餘リ收入バカリ殖ヤスヤ  
ウナコトハ御止メ下サレヤウニ、少シ御考ヘ  
下サレマシテ參リマセウカ、此ノ點ハ本當ニ民  
間デハ大藏省モイナチキ商ヒシテ居ルナト  
斯ウ申シテ居リマス、ソレガカラ大藏省カラ土  
地ヲ買入レル時ニハ皆氣ヲ付ケテ掛ツテ居  
レ、大藏省ノ方カラハ、ドウモ負ケサセラ  
レルノダカラ高ク吹ツテ掛ケテヤレ、コチヲ  
ノ方デハドウモ負ケルノダカラ安ク言ツテ  
ヤレト云フコトデ、兩方デ駈引ノシツコ  
ヤウテ居ルノガ、土地ノ賣却ニ付テノ實情  
デアリマス、アレハ何トカシテ改メテ戴キ  
タイト思フ、國ハ正當ナル價格ヲ以テ賣却  
サルベキデアリマスカラ、アノ點ニ付テハ  
是非御考慮シテ戴キタイト思ヒマス

モウ一ツハ、大藏省ガサウ云フ風デアリマス  
カラ、各官署デ持ツテ居リマス土地ヲ買入レ

タリ、建物ヲ移轉スル場合ニ、ソレハ實ニ公共  
ト云フ考ヘヲ持ツテヤウテ居ラレナイヤウ  
ニ見エル、例ヘバ中學校、女學校ガ東京デハ  
非常ニ不足ヲシテ居ル、全國デモ不足ヲシ  
テ居ル、ソコデ他ニ代ルベキ土地ヲ提供シ  
テ、ドウカ此ノ土地ヲ地方ノ爲ニ賣ツテ買  
ヒタイト云フ時ニ於テモ、到底買入レルコ  
トガ出来ナイヤウナ非常ニ高イ値段ヲ以テ  
當ラレル、國全體ノ上カラ申シマスレバ、  
教育事業ハ非常ニ大切ナコトデアアルニモ拘  
ラス、唯之ヲ良イ値段ニ賣ツテ、サウシテ  
之ヲ利用シテ、他ノ豫算ヲモツテ何ト  
カ……ト云フヤウナコトヲ考ヘラレテ居ツテ、  
國ノ政治ト云フコトニハ、本當ニ無關心デ  
ヤウテ居ラレル場合ガ多ク見受ケラレマス  
ガ、此ノ國有財産或ハ各官署デ持ツテ居  
ル土地ナドノ拂下ニ對シテハ、ドウカ大  
藏省ニ於テ範ヲ垂レテ戴キマシテ、全ク公  
共用ニ供スル土地ナドニ付テハ、特ニ御考  
慮ヲシテ戴キナケレバ、今日ノヤウナ教育  
事業ヲ盛シナラシメナケレバナラヌト云フ  
場合ニ、非常ニ阻礙セラレルコトガアリマ  
スカラ、此ノ點ハ何卒特ニ御留意ヲ戴キタ  
イト思ヒマス

序ニモウ一ツ申上ゲマス、近來山林ノ拂  
下ナドニ付キマシテモ、特定ノ人ニ特定ニ  
拂下ラレル件數ガ非常ニ多イヤウニ思ハ  
レマス、ソレガ特定ノ建築ヲ引受ケテ、特  
定ノ材木ヲ買ヒマシテ、餘ル材木ガ非常ニ  
多イモノデスカラ、之ヲ高く賣ツテ不當ノ  
利益ヲ取ルヤウナコトヲ、往々耳ニ致シテ  
居リマスガ、御當局デハ左様ナコトヲ御耳  
ニシタコトガアリマセウカ、ソレ等ニ  
對スル御考ヘヲ伺フテ見タイト思フノデア  
リマス

○入江(島)政府委員 只今ノ御質疑ノ先ヅ  
最初ノ問題デアリマスガ、大藏省ガ土地ノ拂  
下ヲ致ス場合ニ於キマシテ、「ブローカー」的  
ノ吹ツ掛ケケタ値段ヲ以テスルコトガ、相當  
アルデハナイカト云フ意味ノ御質問ガゴザ  
イマシタガ、實ハ國有財産、殊ニ土地ノ拂  
下ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ通り評  
價ノ關係ニ於キマシテ、其ノ基礎トナルベ  
キ、例ヘバ相續稅ノ課稅ニ用ヒマス色々ノ  
基準デアリマストカ、或ハ又貸賃價格ノ基  
礎ニナツテ居リマス所ノ價格デゴザイマス  
トカ云フヤウナ、全國的ノ價格ノ基準ニナ  
ルモノモゴザイマシテ、大藏省ト致シマシ  
テハソレ等ノモノヲ基準ニ致シマスルト共  
ニ、又ソレノ「精通者」ノ意見等ヲモ參酌致  
シマシテ、尙ホ其ノ上ニ省内ニ評價委員會  
ト云フモノヲ、實ハ設ケテ居ルノデゴザイ  
マス、ソレデ十分調査致シマシタ結果ヲ、  
其ノ評價委員會ニ掛ケマシテ、公正妥當ナ  
リト認メマシタ所ノ價格ヲ以テ拂下ラシ、  
又政府ガ買入レル場合モ同ジデゴザイマス  
ガ、サウシテ買入レルト云フヤウナ慎重ナ  
手續ヲ實ハ致シテ居ルノデゴザイマス、ソ  
レデゴザイマスノデ、只今仰セニナリマシ  
タヤウナ事實ハ、實ハ何ト云ヒマスカ吾々  
ノ氣持ニ於キマシテハナイ積リデゴザイマ  
スガ、唯實際何ト申シマスカ、第一線ニ於  
テ働イテ居リマス所ノ係ノ者ト致シマシテ  
ハ、國家ニ少シデモ損失ヲ掛ケナイヤウ  
ニ、出来ルダケ利益ニナルヤウニト云フ積  
リカラ、或ハ其ノ交渉ノ際ニ於キマシテ、  
偶々只今御指摘ニナリマシタヤウナコトガ  
或ハ間々アツタノデハナイカト想像サレル  
ノデゴザイマスガ、其ノ本心ニ於キマシテ  
ハナハリ國家ノ爲ニ少シデモ損ニナラナイ

ヤウニト云フ氣持ガ手傳ツテ、左様ナコトガ  
或ハ事例トシテアツタノデハナカラウカト、  
斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、吾々ノ氣  
持トシテハ飽タマデ國ガ實却スル以上ハ、ヤ  
ハリ公正妥當ナル値段ヲ以テ賣却スベキモノ  
デアルト云フ積リデ、此ノ評價ノ「精通者」  
居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ點御含  
ミ置キテ願ヒタイト思フノデゴザイマス、  
尙ホ其ノ問題ニ關聯致シマシテ、教育其ノ  
他公共的ノ施設ノ爲メ、公共團體等ガ土地  
ヲ欲シト云フ場合ニ、國有地ノ拂下ヲ受  
ケルヤウナ場合ニ、餘リ高イ値段ヲ出サレ  
テハ困ルト云フヤウナ點ノ御注意モゴザイ  
マシタノデアリマスガ、是モ公共團體タル  
ガ故ニ非常ニ何ト云ヒマスカ、特別ノ安イ  
値段ヲ出スト云フ譯ニモ參ラスコトガゴザ  
イマス、兎ニ角公正ナル値段ヲ以テ拂下ラ  
ルト云フ點ニ於キマシテハ、變リガナイ積  
リデゴザイマス、其ノ點モ御承知置キテ願  
ヒタイト思フノデゴザイマス、尙ホ最後ノ  
山林拂下ノ問題ニ付キマシテ、或ル特定ノ  
者ダケニ限定ヲシテ拂下ラシ、ソレ等ノ者  
ガ更ニ立木ノ伐採等ニ付テ、間ニ入ツテ相  
當ナル利益ヲ收メテ居ルト云フ點ニ付テ聞キ  
及ビハナイカト云フ御話デゴザイマシタ  
ガ、是ハ私共ノ方トシテハ直接關係致シテ  
居リマセヌノデ、是モ亦後刻農林省ノ政府  
委員ノ方カラ答辨スルヤウニ致シタイト存  
ジマス、御諒承テ願ヒマス

○入江(島)政府委員 只今ノ御答辨デ能ク分リマシ  
タガ、併シ全ク御買上ニナル時モ、相當民  
間デハイデメラレルヤウナ感ジヲ持ツ居テ  
リマス、ソレカラ又公共團體ガカテ安  
ク賣ルト云フコトハシナイ、是ハ勿論デア  
リマス、其ノ點ハソレモ諒トシナケレバナ

リマセウカレドモ、實際私共民間ノ者ガ考  
ヘテ、此ノ位ニシテ與レテモ宜ササウデハ  
ナイカ、不當ニ安クナイデヤナイカト、四  
圍ノ事情カラ考ヘテ見タ場合ニ、中々ソレ  
ニ應ジテ與レラレナイデ、ソレガ爲メ非常ニ  
困ツテ居ル事例ガアリマス、別ニ今日其  
ノ點ヲ擧ゲテ申シマセウカレドモ、ソレガ  
爲メ非常ニ困リマシテ、其ノ代地ヲ他ニ求  
メテ、漸ク女學校ヲ建設シタヤウナコトニ  
ナツテ居リマシテ、實ハ洵ニ當局ヲ恨シデ  
居ルノデアリマス、別ニ不當ニ安ク買ヒタイ  
ト云フ譯デアリマセウカ、ソレナヤウナ  
事實モアリマスカラ、此ノ點ニ付キマシテ  
ハ、特ニ御考慮ヲ戴キテ置キタイト云フ  
トヲ申上ゲテデアリマス

(委員長退席、鹽川委員長代理着席)

○入江(島)政府委員 只今ノ國有財産ノ問題デ  
アリマスガ、毎年御出シニナリマス見積ノ  
時期標準ハドウ云フ風ニシテオイデナリ  
マスカ

○入江(島)政府委員 國有財産ノ増減總計  
算書ニ現ハレテ參リマス所ノ國有財産ノ價  
格ヲ、ドウ云フ風ニ計算スルカ、其ノ價格ヲ  
見ル時ノ時期等ハ、ドシナ風ニナツテ居ル  
カ、コンナ御質疑ト存ジマスガ、御承知ノヤ  
ウニ國有財産ニ掲ゲマス所ノ價格ノ問題ニ  
付キマシテハ、當初價格ヲ掲上致シマス場  
合ト、ソレカラ一遍掲上致シマシタ價格ヲ、  
後日ニ之ヲ改訂致シマス場合ト、二ツノ場  
合ガゴザイマス、先ヅ最初ニ國有財産ヲ  
掲上致シマス場合ニ於キマシテハ、買入レ  
マシタモノニ付キマシテハ購入價格、ソレ  
カラ交換等ニ依ツテ入りマシタモノハ交換  
價格、或ハ收用等ニ依ツテ入りマシタモノ  
ハ、其ノ補償價格ト云フヤウナモノヲ、其

ノ國有財産ノ價格ニ先ヅ掲上致シマス、  
ソレ以外ノモノニ付キマシテハ、土地等ニ  
付キマシテハ、類地ノ比準價格ヲ求メマシ  
テソレヲ價格ト致シマス、又立木等ニ付キ  
マシテハ、其ノ時ノ市場價格ヲ基礎ニシテ  
計上致シマシタ所ノモノヲ掲上致シマス、  
ソレカラ又建物等ニ付キマシテハ、建物ノ  
建築費トカ云フヤウナモノヲ基準ニシテ  
掲上致ス次第デアリマス、ソレカラ株式  
デアルトカ、出資デアルトカ云フモノニ付  
キマシテハ、其ノ出資額、或ハ拂込金額ト  
云フヤウナモノヲ基準ニシテ、掲上致ス譯  
デアリマス

以上申上ゲマシタノハ、當初此ノ國有財  
産ヲ掲上致シマス場合ニ於キマス價格ノ  
掲上方法デゴザイマスガ、一タビ掲上致シ  
マシタ所ノ價格ヲ改訂致シマス場合ニ於キ  
マシテ、ドウ云フヤウナ方法ヲ採ツテ居ル  
カト申シマス、是ハ改訂ニ付キマシテ、  
多少趣キヲ異ニシテ居リマスガ、先ヅ土地  
ニ付キマシテハ、五年毎ニ價格ノ改訂ヲ致  
シテ居リマス、立木ニ付キマシテモヤハリ  
五年毎ニ其ノ價格ノ改訂ヲ先ズ致スノデア  
リマス、價格ノ改訂ヲ致シマス場合ニ於キ  
マシテハ、土地ニ付キマシテハ、先程モ申  
上ゲマシタヤウニ、類地ノ比準價格ヲ求メ  
テ、ソレヲ改訂致シマス、又立木ニ付キマ  
シテモヤハリ先程申上ゲマシタヤウナ時價  
ヲ基準ト致シマシテ、其ノ改訂ヲ致シマシ  
アリマス、所ガ此ノ改訂ニ付キマシテハ、  
大體今申上ゲタヤウニシテ改訂ヲ致スノデ  
アリマスガ、帝國鐵道並ニ通信事業ノ特別  
會計、此ノ二ツノ會計ニ付キマシテハ、實  
ハ改訂ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、是  
ハ當初掲上致シマシタ所ノ價格ヲ其ノ儘掲











昭和十六年二月二十四日印刷

昭和十六年二月二十五日發行

事務局

印刷者 内閣印刷局

(第二類 第二號)

第七十六回帝國議會 院ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件 委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年二月二十五日(火曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 山本 厚三君
- 理事 池本甚四郎君 理事 窪井 義道君
- 理事 田村 秀吉君 理事 野口 喜一君
- 理事 淺沼稻次郎君 理事 井上 知治君
- 伊藤 五郎君 石井 德久次君
- 石坂 繁君 菊池 良一君
- 小泉 純也君 塚本 三君
- 豐田 收君 永山 忠則君
- 匹田 鏡吉君 増永 元也君

出席政府委員左ノ如シ

- 内務省警保局長 橋本 清吉君
- 大藏省主計局長 谷口 恒二君
- 大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
- 大藏書記官 梅北 末初君
- 大藏書記官 秋元 順朝君
- 農林次官 井野 碩哉君
- 農林省總務局長 周東 英雄君
- 農林書記官 岡本 直人君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十四年度第一豫備金支出ノ件

第一豫備金支出ノ件  
昭和十四年度特別會計  
豫備費支出ノ件  
昭和十五年第一豫備金支出ノ件  
昭和十五年特別會計  
第二豫備金支出ノ件  
昭和十五年特別會計  
豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス、政府ノ御説明ヲ願ヒマス  
○谷口政府委員 只今議題ニ供セラレマシタ昭和十四年度第一豫備金支出ノ件外五件ニ關シマシテハ、既ニ本會議ニ於キマシテ大體ノ御説明ヲ致シテアルノデアリマスガ、當委員會ニ付託相成リマシタニ付キマシテ、此ノ際全體ニ互リマスル數字ニ付キマシテ、一應ノ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス  
昭和十四年度ニ於キマシテハ、一般會計第一豫備金ヨリ一千九百九十七萬餘圓、特別會計第一豫備金ヨリ千八百四十三萬餘圓、同豫備費ヨリ四千三十七萬餘圓、合計八千八百七十八萬餘圓ヲ支出致シマシタノデアリマス

次ニ昭和十五年度ニ於キマシテハ、一般會計ノ第二豫備金ヨリ七千九百九十九萬餘圓、特別會計第二豫備金カラ千二百二十一萬圓、合計九千二百二十萬餘圓ヲ支出致シマシタノデアリマス、右ハ何レモ豫備金又ハ豫備費ノ豫算ノ範圍内ノ支出デアリマス  
次ニ昭和十五年度特別會計豫備金外ニ於キマシテ、其ノ歳入金ヲ以テ豫算超過ノ支出ヲ致シマシタモノガ、二千二百八十三萬餘圓アリマス、又同國庫剩餘金ヲ以テマシテ豫算外支出ヲ致シマシタモノガ、千二百二十三萬餘圓アルノデアリマシテ、豫備金外支出ノ合計ハ、三千四百七十七萬餘圓デアリマス、各事項ニ付キマシテハ、各省所管ニ互リマシテ、各提出シテアリマスル支出計算書、及ビ支出調書ニ説明ガ致シテアルノデアリマスルガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ、御説明申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、以上大體ノ御説明ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス

○山本委員長 是ヨリ質疑ニ入リマス——池本君  
○池本委員 殆ド全部關聯的ナ質問デアリマスガ、先ヅ第一ニ御同ヒ致シタイトイノハ、大藏當局ニ對シテ、十五年度豫算ノ執行狀態ニ付キマシテ、大體ノコトヲ承リタイト思フノデアリマス、前議會ニ於キマシテ成立

致シマシタ十五年度ノ一般會計豫算ハ六十億九千七百萬圓デアリマシタガ、其ノ後實行豫算ヲ編成致サレマシタノデアリマス、只今ソレヲ同ヒマスルコトハ、甚ダ愚デアルカモ分リマセヌガ、議會後ノ實行豫算ノ御編成デアリマシタノデ、一體其ノ實行豫算ヲ編成セラレマシタ理由トデモ申シマスルモノヲ、一應茲デ承リタイト思フノデアリマス、即チ一般緊縮方針ニ依リマスル節約繰延ベデアリマシタカ、或ハ物動計畫ト配合セテ、餘儀ナク物件ノ數量ヲ減ジラレマシタノカ、或ハ不要物資ガ出來テ、其ノ見込カラ單價ハ据置キマシテ、其ノ數量ヲ減セラレタカ何トカ、サウ云フヤウナ原因ガアツタラウト思フノデアリマスガ、只今カラ伺フノモトウカト思ヒマスルガ、一應質問ノ順序トシテ、御同ヒ致シタイト思ヒマス

○谷口政府委員 昭和十五年度ノ豫算ノ實行ニ付キマシテハ、十四年度ニ於キマスルガ如ク、又十三年度ニ於キマスルガ如ク、實行上ノ節約ヲ致シタノデアリマス、其ノ理由ト致シマスル所ハ、只今御話ノ中ニアリマシタ此ノ一般ノ節約ヲスト云フ考ヘモアツタノデアリマスルガ、物資動員計畫ノ推移ノ狀況ヲ見マシテ、ソレニ合致セシ

付託議案  
昭和十四年度第一豫備金支出ノ件  
昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件  
昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件  
昭和十五年第一豫備金支出ノ件  
昭和十五年特別會計第一豫備金支出ノ件  
昭和十五年特別會計第二豫備金支出ノ件  
昭和十五年特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

(二五二)

第二類第二號 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件委員會議錄

第二回 昭和十六年二月二十五日



ムルガ如クニ、其ノ物資方面ノ節約ヲ圖ル  
ト云フ其ノ趣旨ヲ加味致シマシテ、節約ヲ  
實行致シタルノデアリマス、當時は八月頃  
ト憶エテ居ルノデアリマスガ、物資供給ノ  
不足ノ爲ニ、餘儀ナクサウ云フ事態ニ立至ツ  
タト申シマスヨリモ、事件ノ推移ヲ致シ方  
致シマシテハ、物資動員計畫ノ見透シニ依  
リマシテ、豫メ豫算ヲ節約シ、隨テ物資ノ  
節約ヲ計畫シタルト云フガ、當ツテ居ル  
思フノデアリマス、サウ致シマシテ實際ノ  
狀況ト致シマシテハ、數量ノ方面ニ於テ豫  
算ト致シテ居リマスヨリハ、製肘ヲ受ケ  
テ豫算致シテ居リマスヨリハ、製肘ヲ受ケ  
マシテ、規模等ニ於テモ小規模ナモノガ出  
來上ルト云フヤウナ結果ニ相成ツタノデア  
リマス、之ヲ要シマスルニ、大體十四年度  
ニ於キマスルガ如ク、又十三年度ニ於キマ  
スルガ如ク、物資動員計畫ノ推移ノ狀況ヲ  
見マシテ、節約ヲ行ハルノガ適當ナルト云  
フ者ヘノ下ニ、節約ヲ實行致シマシテ次第  
デアリマス

○池本委員 是モ愚ナ御尋ネカモ知レマセ  
スガ、實行豫算ハ政府内部ニ於ケル實行ノ  
目安デアリマシテ、外部ニ對シテハ必ズシ  
モ責任ヲ帶ビラレルモノデアリナト思フ  
デアリマスガ、ソレモドウデアリマスカ、  
ソレトモ一旦編成セラレマシタル以上ハ、  
政府内部ニ於キマシテ、各款項ニ付キマシ  
テ其ノ範圍ヲ履行セラレテ居ルノデアリマ  
スカ、ドウデゴザイマスカ、一寸伺ツテ置  
キタイ

○谷口政府委員 洵ニ御尤モナ御質問デア  
リマス、此ノ十五年度ニヤリマシテ節約ニ  
付キマシテハ、實ハ實行豫算ト云フ言葉モ  
使ハナイヤウナヤリ方、考ヘ方ヲ致シテ居  
ルノデアリマス、ト申シマスノハ、只今仰

セニ相成リマシク如ク、其ノ節約ト云フモ  
ノガ外部的ニドウデアリカ、或ハ政府内部  
ダケノモノデアリカト云フ點ニ付キマシテ、  
實行豫算ト云フヤウナ言葉ヲ使ヒ、別ノ豫  
算デアリガ如クニ申シマスコト、言葉ヲ換  
ヘテ申シマス、所謂外部的ニモ何等カ放  
力アルカノ如クニ取ラレルヤウナ言ヒ方  
スルコトハ、不適當デアリト考ヘテ居ル  
デアリマス、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマス、  
内部的ニ實行上節約ヲ行フテ行クト云フ  
ガ實際デアリマシテ、其ノ考ヘ方カ實行  
豫算ト云フ言葉ヲ使ヒマセズ、節約實行ト  
カ、實行節約ト云フヤウナ言葉ヲ致シマ  
シテ、内部的ニ、自肅的ニ節約ヲ實行シテ  
行クト云フ氣持ヲ現ハシ、實行豫算ト云フ  
ヤウナ言葉ハ公ニ、或ハ多少公的ニ發表  
致シマスモノニハ、使ツテ來テ居ラナイノ  
デアリマス、更ニ進ミマシテ、款項別ニ詳  
細ニ限定シテ行フテ居ルカト云フ話デアリ  
マスガ、是ハ只今私申上セマシク言葉ノ  
中カラ、御推察ヲ得ラレルカト思フノデア  
リマスガ、サウ云フ風ニ各款項ノ金額ヲ決  
定致シマシテ、ソレニ依ツテ別ノ豫算ヲ組  
ンデ居ルヤウナヤリ方ヲ致シテ居ラナイ  
ノデアリマス、一部分ハ款項ノ決マツタモ  
ノデアリマス、ガ、大體ニ於キマシテ大體  
ノ標準ヲ決メマシテ、其ノ款項ノ中デ自肅  
的ノ節約ヲ行フテ行ク、昨年八月ニ節約ヲ  
實行致シマシタル際ニハ、中ニハ斯ウ云フモ  
ノデアリマス、ソレハ此ノ際或  
ル一定ノ金額ハ節約シヨウ、併シ他ノ部  
分ニ於テ、一定ノ金額ハ將來繰延ベニスル  
カ、或ハ翌年度繰越シニスルカ、サウ云フ  
扱ヒ方ヲ十六年度豫算編成ノ際マデ留保シ  
テ置カウ、即チ昨年十一月頃マデ留保シテ

リニナルト云フヤリ方ヲ聽イテ居リマス、  
豫算單價ノ見積リガ不完全デアツタト云フ  
點ト、ソレカラ一面ニハ豫算ノ基礎トナル  
所要數量ノ計上額ニ、諸般ガアルカモ知レ  
マセマスガ、尙ホニトリノアル、或ル意味ニ  
於キマシテハ、間隙アル計上ラサレテ居  
タト云フ風ニモ、言ヘルダラウト思フ  
デアリマス、併シソレハ是レ以上此ノ場合  
彼此レ申シマセマスガ、唯承リタイノハ、第  
三國方面カラノ物資ノ輸入難ガアツタ一面  
ニ於キマシテ、政府ハ其ノ間國內ノ生産力擴  
充ニ、非常ナ努力ヲ拂ツテオイデニナル、  
一面ニ於キマシテハ例ノ日滿支、特ニ滿洲  
方面カラノ一圓「プロット」カラノ補充輸  
入トデモ申シマスガ、サウ云フモノ、第三國  
方面カラノ輸入物資ノ總不足ノ中カラ、國  
内生産擴充、或ハ圓「プロット」アタリカラ  
ノ補充輸入トデモ申シマスベキモノニ依ツテ幾  
許程ガ補ヒ得マシタカ、御分リデゴザイマ  
セウカ、是モ一寸難カシイ御尋ネカモ分リ  
マセマスガ、若シ大體ガ御分リデアラバ  
大體ノコトデモ承リタイト思ヒマス

○谷口政府委員 前段ニ於キマシテ、單價、  
數量ノ點ニ付テ御話ガアリマシタノデアリ  
マスガ、結果ト致シマシテ、只今仰セノヤ  
ウナ御感想モ或ハ起キルカト思フノデアリ  
マスガ、御承知ノ通りニ檢算單價ナルモノ  
ハ、是ハ前議會ニ於テモ度々御指摘ガアリ  
マシタノデアリマスガ、個々ノ商品ノ單價  
ト申シマスヨリハ、寧ろソレノ複合或ハサレ  
タヤウナモノニナツテ居リマスノガ、豫算  
單價ノ常デアリマス、例ヘバ豫算單價ト申  
シマシテモ、鐵「ト」ン、セメント「一袋」  
ト云フコトデナシニ、建物ニ付キマシテ、  
坪當リ幾ラト云フヤウナ、一平方「メートル」

置カウト云フノデ、留保金額ト云フヤウナ  
整理ヲ致シマシタヤウナコトモアルノデア  
リマス、要シマスニ實行豫算ト云フヤウナ  
コトヲ申シマシテ、各款項ノ金額ヲ減額致  
スト云フヤウナコトヲ致サナイデ、内部的  
ノ形ト致シマシテハ、自肅的ニ節約ヲ實行シ  
テ行ク、所謂實行節約ト云フ考ヘ方デ、今  
マデヤツテ參ツタヤウナ次第デアリマス

○池本委員 ソレ最モ本年モト一箇  
月デ終ル譯デアリマスカラ、經理上ノ大勢  
ハ既ニ分明シテ居ル管デアリト思ヒマス、  
サウシテ其ノ間ノ一般ノ情勢ヲ考ヘテ見マ  
スト、豫算不足ノ原因ト思ハレルモノハ、  
例ノ其ノ後ノ物價ノ騰貴デアリマス、ソレ  
カラ又餘儀ナク豫算ガ減ラサレラデアラウ  
ト思ハレル事情ト致シマシテハ、昨年ノ九  
月以來例ノ三國同盟ガ締結サレマシタ、其  
ノ後ニ第三國、特ニ依存ノ甚ダシクツタ英  
米方面カラノ物資ノ輸入難ガアツタ、斯ウ  
云フ風ナ色々ナ兩様ノ事情ガ考ヘラレルノ  
デアリマシテ、現在ノ此ノ豫算執行ノ狀況  
ニ付キマシテ、大體ドウ云フ風デアリカ承  
リタイノデアリマス

○谷口政府委員 十五年度ノ豫算ノ執行ニ  
付キマシテハ、只今仰セノヤウニ昨年、殊  
ニ後半期ニ至リマシテ、種々ノ豫期セザル  
事情ガ發生致シマシテ、物資ノ取得ニ付  
キマシテハ、中々容易デナイト云フヤウ  
ナ事態ガ現ハレテ來タノデアリマス、  
之ニ伴ヒマシテ、或ハ建築物、又ハ建築ノ  
内ニ入レルベキ設備ノ如キモノニ付テ、  
豫定ノ如ク進行シ難イモノモ、相當出來テ  
居ルノデアリマス、十五年度ノ推移ト  
致シマシテハ、是ハ既ニ十四年度カラ其ノ  
兆候ガ若干現ハレテ居ルノデアリマス

ガ、ヤハリ相當翌年度ニ繰越シスベキ額モ、  
出テ來ルコトト推定サレルノデアリマス、  
十五年度ノ豫算ノ實行ノ大體ノ見込ト致シ  
マシテハ、既ニ御承知ノ通りニ、十五年度  
ノ豫算ニ於キマシテハ、閣議ノ決定ト致シ  
マシテハ、三億二千二百萬圓ノ節約ノ閣議決  
定サレタノデアリマス、之ニ依ツテ歳出  
減少ヲ決定致シマスルト同時ニ、其ノ歳出  
ヲ致シマセマスガ爲ニ、若干歳入ノ方面ニモ  
減少ヲ生ズルト云フヤウナ結果ヲ生ジマス  
キマシテ、餘儀ナキ事情ニ依リマシテ節約  
ヲ復活スルト云フヤウナコトモ若干致シマ  
シタ、當初ノ三億二千二百萬圓若シ其ノ儘  
節約致シマスレバ、歳出ノ方面ニ於テ五十  
七億程度ニ止ツタノデアリマスガ、ソレ等  
ノ事情等モアリマシテ、實行上ノ豫算額ト  
シテハ、五十七億ニハ止ルコトガ出來ナカ  
ツタノデアリマスガ、尙ホ當初三億二千二  
百萬圓ノ閣議決定ヲ致シマシタモノノ大體ハ、  
持續維持セラレマシテ、此ノ方面ニ於テ歳  
出ノ節約ヲ、相當實行シ得ル結果ニ落着ク  
ト思フノデアリマス、要シマスルニ十五年  
度ノ實行ノ見込ト致シマシテハ、ドウシテ  
モ物資努力ノ方面カラ若干製肘ヲ受ケマシ  
テ、實行ノ節約ガサウ云フ外的事情カラ、  
餘儀ナクセシメラレルト云フヤウナ事情ヲ  
生ジテ來テ居ルノデアリマス、但シ一面代  
用品デアルトカ、或ハ資材ノ素質ヲ低下ス  
ルト云フヤウナ方面デ、一方努力ガ相當拂  
ハレテ居ルノデアリマシテ、此ノ方面ノ努  
力ヲ考ヘマス、豫算ノ實行上ニ付キマシ  
テハ、サウ大シテ不便モナク、豫算ガ實行  
サレテ居ルヤウナ結果ニ相成ルト考ヘテ居  
ルノデアリマス

ル「幾ラト云フヤウニ、複合シマシタヤウナ  
形ニナツテ居リマスノガ、所謂豫算單價ト  
云フモノノ大勢デアリマス、隨ヒマシテ、  
其ノ間ソレノ物價ノ騰貴ト云フコトガアリ  
マス場合ニ於キマシテ、其ノ複合シテ居リ  
マス豫算單價ノ範圍内ニ於キマシテ、一  
部分數量ヲ少クシ、規格ヲ下ゲル等、多少  
ノニュトリガアルノデアリマシテ、個々ノ商  
品ノ單價ト云フヨリハ、更ニニュトリガアル  
モノデアルト云フコトハ申上ゲラレルト思  
フノデアリマス、單價ノ見積リ、又數量ノ  
見積リニ付キマシテ、事後ニ於テ御批判  
ハ、只今仰セノ通り洵ニ御尤モナ點デアリ  
マスガ、只今御話致シマシタヤウニ、複合  
シテ居ツテ、個々ノ商品ノ單價デアリヤウナ  
事情モアリマスノデ、ニュトリガ多少付タ  
云フ點モ御諒承願ヒタイト思フノデアリマ  
ス、後段ノ第三國輸入關係、ソレカラソレ  
ノ不足ヲ日、滿、支カラノ輸入ニ依ツテ補  
ヒ得タル數量如何ト云フ問題デアリマスガ、  
是ハ御指摘ノ通りニ洵ニ難カシイ問題デア  
リマシテ、ソレ等ノ專門當局トモ打合せシ  
テ聽カナケレバナラスト思フノデアリマス  
ガ、是ハ其ノ當局ニ於キマシテモ中々困難  
ナ問題デアリナト思フノデアリマス、尙  
ホ能ク調査致シタイト思ヒマス

○池本委員 是ハ或ハ機密事項ニ互ルカモ  
知レマセマスガ、出來マスナラバ何カノ方法  
ニ依リマシテ、適當ノ時期ニ御發表ガ願ヘ  
ルモノナラバ御發表ガ願ヒタイト思ヒマス  
ソレ十五年度ノ歲計剩餘金ノ見込額デア  
リマスガ、是ハ大凡御分リデアラウト思ヒ  
マスガ、ドウ位デゴザイマセウカ

○池本委員 只今仰セニナリマシタ物資ノ  
獲得難、或ハ努力不足ト云フ方面カラハ、  
豫算ガ減ツテ參ツテ居リマスガ、一面ニ於  
テ物價騰貴ノ影響ガアル、ソレ「プラス」  
「マイナス」サレタモノガ、總結果トシテ出  
テ來ル譯デアリマスガ、其ノ物資ノ獲得難、  
或ハ努力不足等ニ依ル所ノ豫算實行ノ減少  
ヲ別ニシマシテ、物價騰貴カラノ影響、途  
中ニ仰セニナリマシタ節約ノ復活ト、其ノ  
物價騰貴カラ餘儀ナク參リマシタ節約ノ復  
活ト、凡ソノ金額ナドハ御分リニナリマセ  
スデセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○谷口政府委員 節約ノ復活ヲ致シマシタ  
中デ、物價關係デ幾何アリマシタカト云フ  
計算ハ、一寸立ち兼ネルノデアリマス、併  
シ大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、物價關係  
デ節約ヲ引戻スト云フコトニハ、成ベク致  
サナイ方針デアリマシタ、是ハ聊カ無理ナ  
コトデアルト云フ風ニ、御聽取リニナルカ  
モ知レスト思フノデアリマスガ、政府内部  
ト致シマシテハ、物價騰貴ニ對スル對策ト  
致シマシテハ、豫算ノ目的ヲ亂サナイ限リ  
ニ於キマシテ、數量ノ減少デアルトカ、  
規模ノ縮小デアルトカ、其ノ他員數ノ減少  
デアルトカ、數量ノ縮小ニ依ツテ對策ヲ  
講ジテ行クト云フノデ、成ベク物價關係デ  
節約ヲ戻シテ行クト云フコトハ、大體ニ於  
テ致サナカツタノデアリマス、只今申上ゲ  
マシタヤウニ、節約復活ト云フモノノ中デ、  
幾何減少スルカト云フ計算ハ一寸立ち兼ネ  
ルノデアリマスガ、大體ノ處理ノ致シ方ト  
致シマシテハ、サウ云フモノハ多クハナカ  
ツタト云フ風ニ、御答ヘ致シタイト思ヒマ  
ス

○池本委員 物價騰貴ヲ數量ヲ減ジテオヤ  
坪當リ幾ラト云フヤウナ、一平方「メートル」

○谷口政府委員 前段ニ於キマシテ、單價、  
數量ノ點ニ付テ御話ガアリマシタノデアリ  
マスガ、結果ト致シマシテ、只今仰セノヤ  
ウナ御感想モ或ハ起キルカト思フノデアリ  
マスガ、御承知ノ通りニ檢算單價ナルモノ  
ハ、是ハ前議會ニ於テモ度々御指摘ガアリ  
マシタノデアリマスガ、個々ノ商品ノ單價  
ト申シマスヨリハ、寧ろソレノ複合或ハサレ  
タヤウナモノニナツテ居リマスノガ、豫算  
單價ノ常デアリマス、例ヘバ豫算單價ト申  
シマシテモ、鐵「ト」ン、セメント「一袋」  
ト云フコトデナシニ、建物ニ付キマシテ、  
坪當リ幾ラト云フヤウナ、一平方「メートル」

○池本委員 是ハ或ハ機密事項ニ互ルカモ  
知レマセマスガ、出來マスナラバ何カノ方法  
ニ依リマシテ、適當ノ時期ニ御發表ガ願ヘ  
ルモノナラバ御發表ガ願ヒタイト思ヒマス  
ソレ十五年度ノ歲計剩餘金ノ見込額デア  
リマスガ、是ハ大凡御分リデアラウト思ヒ  
マスガ、ドウ位デゴザイマセウカ

○谷口政府委員 十五年度ノ剩餘金ノ見込  
額ノコトデアリマスガ、是ハ剩餘金ノコ

トニ付キマシテハ、既ニ萬々御承知デアリ  
マシテ、聊カ諄イト思フノデアリマスガ、  
申上ゲマスルト、年度末ニ當リマシテ、歲  
計ヲ締メマスニ付キマシテハ、今日所謂赤  
字公債ヲ發行シテ居リマスル時期ニ於キマ  
シテハ、年度末ニ當リマシテ、赤字公債ヲ  
幾ラ發行スルカト云フ問題ニ非常ニ要點ガ  
集中サレラデアリマス、ソレデレ位赤  
字公債ヲ發行シタナラバ、年度末ヲヤツテ  
行ケルダラウカ、辻接ガ合フダラウカト云  
フコトヲ決メマスニ付キマシテハ、三月ニ  
入りマシテ、數次計畫ヲ立テマシテ、適正  
ヲ期スルト云フ努力ヲ致スノデアリマスル  
ガ、歳出ノ方面ヨリモ、更ニ歳入ノ方面ニ  
付キマシテハ、全國カラ調査ガ集マツテ參  
リマスノガ、中々手間ガ取レルノデアリマ  
シテ、大體今月ノ調査ガ來々月位デナイト  
全部ガ集マツテ來ナイヤウナ狀況ニアルノ  
デアリマス、歳出ハドウ位出ルデアラウ、歳  
入ハドウ位入ルデアラウ、ソレドウ云フ  
辻接ニナルデアラウカト云フコトヲ見透シ  
立テマスノニ付キマシテ、年度末ニ至リマ  
シテモ、極ク「最近」ノ資料ヲ得ルト云フコ  
トガ中々困難デアラデアリマス、實際ノ狀  
況ト致シマシテハ、年度末ニ於キマシテ、收  
入ニ付キマシテハ、大體一月ノ狀況ガ略、  
見當ガ付クト云フヤウナガ實情デアリマ  
ス、斯ク致シマシテ、年度末ノ締切計畫ヲ  
立テラデアリマスガ、是モ歳出ノ方ハ  
マア此ノ位ハ使ヘルデアラウト云フヤウナ  
所デ、是モ結果ニ於キマシテハ、不用額、  
繰越額ナドガ豫想ヨリハ多イコトニナルノ  
ガ間々アリ騰デアリマス、歳入ノ方面ニ於  
キマシテハ、更ニ收入ガ、豫想ヲ立テマス時  
ヨリモ多イト云フコトガタアリ騰デアリ

○池本委員 是ハ或ハ機密事項ニ互ルカモ  
知レマセマスガ、出來マスナラバ何カノ方法  
ニ依リマシテ、適當ノ時期ニ御發表ガ願ヘ  
ルモノナラバ御發表ガ願ヒタイト思ヒマス  
ソレ十五年度ノ歲計剩餘金ノ見込額デア  
リマスガ、是ハ大凡御分リデアラウト思ヒ  
マスガ、ドウ位デゴザイマセウカ

○谷口政府委員 十五年度ノ剩餘金ノ見込  
額ノコトデアリマスガ、是ハ剩餘金ノコ



マシテ、初メハ手堅ク収入ヲ考ヘテ居ルノガ、結果ニ於キマシテハ何時モソレガ多額ニ現ハレテ來ルト云フヤウナノガ極ク普通デアリマス、ソレデ今日サウ云フヤウナ狀況カラ、成ベク適正ナ收支ノ見込ヲ立テルコトヲ考ヘルノデアリマシテ、先程申シマシタヤウナ今日ノ赤字公債時代ニ於キマシテハ、不要ナル赤字公債ハ成ベク發行シナイ、適正ナ見込ガ立チマス時ニハ、成ベク見込ヲ立テルノデアリマスガ、中々其ノ見込ガ立チ難イノデアリマス、ソレデ御質問ノ要點ハ、今ニ於テ、モウ大抵年度末ノ剩餘金ノ見込ガ立ツテ居ルデアラウガト云フ御話デアルノデアリマスガ、只今ノ所デハ、今モウ少シ先ニナツテ、三月下旬ニ入りマシテ見込ヲ立テマシテ、年度末ノ赤字公債ノ發行額ヲ決メルノデアリマシテ、其ノ決メ方ノ適正如何ニ依リマシテ、ソコニ豫想以上ノ剩餘金ガ出ル場合モアルノデアリマスガ、只今ノ所デハマダ見込ガ立ツテ居ラナイト云フコトニ歸着スゾデアリマス

○池本委員 三月末ニナルト凡ソ分ルト仰シヤルト、結局一箇月ニナルデアリマスガ、只今資料ガマダ全國カラ集ラナイト言ハレルトモ、是モ御尤モデアルト思ヒマス、ソコデ是位ナ點ハ分リマセテ思ヒマカ、前年度即チ十四年度ノ剩餘金ハ四億七千六百萬圓デアツタ、ソレカラ繰越使用財源ニ充テラレマシタモノヲ差引キマシテ純剩餘金ガ一億六千六百萬圓デアツタ、ソレ等トノ比較上、過不足ニ付キマシテノ御見込位ハ大マカニ分リマセテ思ヒマカ

ウナ剩餘金デアリマシテ、十四年度ニ生ジマシタ純剩餘金ハ結局約八千四百萬圓ニ歸着シタデアリマスガ、十三年度ニ於テハ、隨カ九千六百萬圓ニナツタデアリマス、是ハ今日歳入補填公債ヲ發行シテ、收支ノ均衡ヲ取ツテ居リマス時代ニ於キマシテハ、其ノ剩餘金ノ問題ニ付キマシテハ、赤字公債ノ發行額ヲ削減シテ、發行シナイデ済ムト云フ議論モ別ニ立ツノデアリマス、ソレデ吾々其ノ關係ノ者ト致シマシテハ、成ベク不要ナル公債發行額ハ止メタイト云フ方針デ以テ、收支ノ見込ヲ年度末ニ立テテ行クノデアリマスガ、赤字公債ト云フ分テ子ノカウツタ時代ニ於キマシテハ、今マデノ進行狀況ニ依ツテドノ位ノ恰好ニ落着クダラウカト云フ一應ノ見込ガ立テ得ラレカト思ヒマス、併シ今日ニ於キマシテハ成ベク赤字公債ヲ發行シナイデ済マサウト云フ考ヘモソコニ入ツテ來ルノデアリマス、今日ニ於キマシテモモウヤウウ、極端ナコトヲ申シマスルト八千九百萬圓ナリ、九千九百萬圓ナリノ純剩餘金ガ出來ルヤウナ公債發行ノ仕方ヲ計畫スルコトモ或ハ不可能デハナイノデアリマシテ、今日ノ如キ赤字公債デ以テ歳入歳出ノ均衡ヲ取ツテ居リマス時代ニ於キマシテハ、元ノ時代ト違ヒマシテ中々其ノ見込ヲ立テルコトハ困難デアリマス、只今ノ所剩餘金ハ大體一億何千萬圓ト云フコトハ申上ゲ兼セル次第デアリマス

○池本委員 ソレデハ其ノコトニ付キマシテハ是レ以上御伺ヒ致シマセテ、次ニモウ一ツ此ノ預備金支出ノ性質デアリマスガ、政府ニ於カレマシテハ過般議員全體ノ要望ニ基キマシテ、食糧増産ニ約三千万圓支出ヲ決意セラレタ、是ハ農林大臣、大藏大臣カラ既ニ公式ト思ハレル席上ニ於キマシテ御質問ガアツタノデアリマスカラ、其ノ通り聞達ヒナイト思ヒマス、此ノ金額ハ私共カラ申シマスレバ尙ホ要望ニハ副ハナイ、併シ此ノ種ノ支出ヲ決意セラレマシタルコトハ、政府ノ一ツノ御英斷トシマシテ、是ハ感謝スル所デアアルノデアリマス、デアリマスカラ、是ヲ出シテ裁キマシタルコトニ付キマシテハ御禮コソ申セ、決シテ不足ヲ申スノデハゴザイマセテ、併シ其形式論ニナルカモ分リマセテ、一應ハ何ツテ見タイト思フノデアリマス、是ガ第二預備金カラ支出セラレレル、斯ウ云フノデアリマスガ、是ハ申スマデモナク憲法ヤ、會計法カラ申シマシテ、第二預備金ノ性質ハ此處ニ私ガ彼レ申スマデモナク、是ハ普通ニハ豫算外ニ生ジタル必要ノ經費ニ充テラレモ、普通ニ豫算外ニ生ジタル經費ノ支出ニ充テラレモト思ヒマス、而シテ此ノ點カラ考ヘマシト議會ノ開會中デアアル、ソレカラ豫算外ノ經費ニナツテ居ルノデアリマスカラ、申サベキニ支出ノ形式ニ於キマシテ、多少ノ問題ガアルノデアリマシテ、多少ノ下サツタ問題ハナカウツカ譯デアリマスガ、ソレヲ敢テ第二預備金ニセラレマシタルハ何カ特殊ナル考ヘガアルノデアリマスガ、一應ハ何ツテ置キタイト思ヒマス

○谷口政府委員 今ノ御話ハ洵ニ機微ナ點ニ觸レテ御尤モデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテハ何ト申シマスガ、政治ノ大所高所ニ立ツテ、サウ云フ風ニ色々ナ問答ガ行ハレテ來タト云フヤウナコトデアアルト思フノデアリマシテ、私共此ノ預備金ニ關シマシテ御質問ヲ受ケマシタルコトニ付キマシテハ、過般ノ食糧増産ノ問題ニ付キマシテハ、豫算ヲ編成スル際ニ於キマシテハサウ云フコトヲ豫定シ得ル狀態デナカウツカデアリマシテ、隨ヒマシテ追加豫算ニ計上スルコトヲ致サナカウツカデアリマスガ、食糧増産ノ必要性及ビ將來ノ見込ニ依リマシテ、將來若シ其ノ必要ヲ生ジタル場合ニ於テハ、第二預備金ヲ以テ支出スルコト云フ御話合乃至ハ問答ガアツタモノト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○池本委員 洵ニ巧妙ナ御答辯デアリマス、サウ解釋スレバソレデ宜イ、天氣豫報ガ出マシテモ、ソレヲ信ズルカ信ゼナイカノ問題デドウ斯ウナリマセウ、併シ是ハ本當ヲ言ヘバ議員側ノ要望デアリマスカラ大體問題ナシニ通りマシマスガ、外ノ問題デアリマスレバ、是ハ相當ノ問題デアラウト思ヒマス、現ニ同性質デアリマス教員ノ臨時俸給費ニ付キマシテハ追加豫算ヲ御出シナツタ、併シ是ハ是レ以上申上ゲマセテ、ソコデスウ云フ事情ノ下ニ於テスウ云フ支出ヲサレマシタル前例ガ今日マデゴザイマスカドウカ、一寸承ツテ置キタイト思ヒマス

○谷口政府委員 只今ノ御質問ノ點ハ、先程御話ノ三千万圓ノヤウナ前例ガアルカドウカト云フ御質問ゴザイマセウカ

○池本委員 議會開會中デアアル、サウシテ何ト申シマシテモ豫算シ得ル所ノ經費ノ支出デアアル、此ノ二條件ノ下ニ於キマシテ、尙且ツ斯ウ云フ風ナ第二預備金ヲ支出スルコト云フヤウナ豫約ナカト云フ行ハレマシタル前例ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデス

○谷口政府委員 斯ウ云フコトハ申上ゲラ

レルト思フノデアリマス、豫算及ビ追加豫算ヲ精切リマシテ後ニ問題ガ起ツテ參リマシテ、其ノ時ニ將來必要ガアツタ場合ニ於テドウ處置スルカト云フ點ニ於キマシテ、若シ必要ガ生ジタ場合ニ於テハ豫備金ノ方法ガアルト云フ、サウ云フ問答ノ行ハレタコトハ或ハ前例ガアルカト思フノデアリマスガ、只今御示シナリマシタヤウナ問題ニ付キマシテハ、是ハ大體ノ性質ト致シマシテ記録ニ殘ツタリ、或ハ前例トシテ殘ルヤウナ性質ノ問題デアラウカト云フ、ヤハリ今日ノ如キ情勢ニ伴ヒマシテ生ジマシタル特別ノ事件カト思フノデアリマシテ、斯クノ如キ前例ト申上ゲルモノニ付キマシテハ私甚ダ不東デアリマスガ、存ジテハ居ラナイノデアリマス

○池本委員 局長ノ仰セラレマスルヤウニ若シ將來必要ガ生ジタラバ、其ノ場合ニ出スルコト云フヤウナ弱イ意味ノ約束デアリマシタラ、今日議會側ガ之ヲ承認スルハアリマセテ、併シ一應サウ云フ御答辯ナラバ、形式ヲ整ヘル意味ニ於キマシテ此處デハ見逃シテ置キマス、デアリマスカラ之ヲ將來ノ前例ニセラレカドウカト云フヤウナ點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、左様ナコトハモウ此處デ申上ゲナイ方宜カラウト思ヒマスカラ、是ハ敢テ申上ゲマセテ、是ダケデ此ノ問題ニ付テハ打切ツテ置キマス

次ニ主税局長ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、十五年度ノ稅收入ノ狀態ニ付キマシテ一寸伺ツテ置キタイ、租稅ハ何ト申シマシテモ歳入ノ大宗デアリマス、ソコデ此ノ十五年度ノ豫算ニ依リマシテ、經常部臨時部ノ稅ト付クモノヲ合計致シマス、申スマデ

モナク三十一億六千三百万圓ニ相成ツテ居リマス、所ガ此處デ私ガ斯ウ云フ質問ヲ致シマスノハ、此ノ稅收見込ヲセラレマシタル後ニ於キマシテ、非常ニ事情ガ變ツテ參ツテ居ル、即チ昨年ノ下半年ニ於キマシテ例ノ七・七禁止令ガ出サレタ、又サウデナクテ一般ノ見込シテモ、統制強化其ノ他ニ依リマシテ、兎角業界ハ不安ノ狀態ヲ免レナイノデアリマス、所ガ政府ニ於キマシテハ、可ナリ稅收ニ付キマシテ樂觀ヲシテオイデニナルヤウニ思ハレル、大矢前主税局長ノマダ御在官中ノ御話ヲ承ツタ場合ニモ、眼前ノ此ノ納稅成績ガ良イト云フノデ、樂觀ノ御言葉ヲ洩ラシテ居ラレタヤウナコトガアリマシテ、稅見込シテハ相當悲觀ヲ見マシマシテ、稅見込シテハ相當悲觀的ナ御見積リヲシテオイデニナルヤウデス、成程十五年度ノ下半年ニ於キマシテ、唯表面カラ見テミマス、稅ヲ納メテ居ルヤウデスガ、一ニ納稅者ノ實情ヲ聞イテ見マシタ、斯ウ云フ時局デアラカ、滯納ナドハ出來ナイト云フノデ、引合ハナイ製造ヤヤリマシテ、損シテ賣ツテデモ稅金ヲ調達スル、或ハ無理ナ借財ナドヲ致シマシテモ、納稅ヲシテ居ルト云フ事實ガアリマシテ、實際上カラハ大分ニ苦シンデ居ル狀況ヲ、私共ハ承知致シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラソレ等ノ點カラ見マシテ、一體十五年度ノ稅收ハドウ云フ風ニ現在ナツテ居リマセウカ、又左様ニ樂觀的ナ態度ヲ持タレテ宜イモノデアラウカドウカト云フコトヲ安スルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ一應ノ御見透シヲ伺ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 十五年度ノ租稅收入ノ豫算額ガ三十一億六千四百萬圓デアリマス

コトハ、御示シノ通りデアリマス、ソレニ對シテ十五年度ノ決算見込ガ幾ラニナルカト云フコトデゴザイマセテ、之ニ付キマシテハ、大藏大臣ノ財政演說ニ、十五年度ノ決算見込額ト致シマシテ、三十五億五千餘萬圓ト云フコトヲ御述ベニナツテ居リマス、隨ヒマシテ十五年度ノ租稅收入ヲ、豫算ト決算見込トヲ對比致シマス、三億八千七百万圓程ノ自然増收ガアル、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス、尤モ只今申上ゲマスル所ノ決算見込額ト云フモノハ、前年末ニ於テ豫想致シタモノデアリマシテ、的確ナル十五年度ノ收入額ト云フモノハ、先程モ主計局長カラ御話ガアリマシタヤウニ、三月末ニ至ラナケレバ確定致サナイノデアリマシテ、今日ハ推定程度デアリマスルケレドモ、只今申上ゲタ程度ノ自然増收ハ之ヲ期待シ得ルト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ歲入ノ狀況カラ申シマスレバ、豫算ニ對比シテ相當ノ増收ヲ得ルコト云フコトデアリマスカラ、左様悲觀ヲ要シナイ狀況ニゴザイマス

ソレカラ徵收歩合ニ付テ申上ゲマシテ、所得稅ニ付キマシテハ、分類所得稅綜合所得稅共ニ前年中ニ於キマスル定期納期ノアリマス分ニ付テハ、九割九分五厘ト云フ成績ヲ示シテ居リマス、十四年度ノ第一種所得稅ハ九割九分八厘デアリマスカラ、之ニ比ベバ三厘ホド納稅成績ガ低下致シテ居リマスガ、十一年度ノ第三種所得稅ハ九割九分、十二年度ハ九割九分五厘ト云ツタヤウナ成績デアリマスカラ、是等ノ成績ト比ベバマシラ大體同程度又ハソレ以上ノ成績デアリマス、十四年度ハ特ニ徵收歩合ガ好カウツカ爲ニ、是ト比較スル時ニハ

十五年ハ幾分落ちテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ個人ノ臨時利得稅ニ付キマシテハ、十五年中ノ徵收成績ハ九割八分五厘デアリマシテ、十四年度ハ非常ニ成績ガ好クテ九割九分四厘ニナツテ居リマスノデ、是ハ九厘方低下シテ居リマスガ、之ニ付キマシテモ、十一年度ハ九割七分七厘、十二年度ハ九割八分五厘ト云ツタヤウナ成績デアリマスカラ、是等ニ比ベバマシテ、成績ガ向上シタハ同程度デアアルト云フヤウナ譯デアリマシテ、徵收成績ノ方カラ申シマシテモ、幾分低下シタモノハアルケレドモ、尙ホ近年ノ平均ニ比ベレバ、十五年中ノ成績ガ非常ニ惡化シテ居ルト云フコトハ感ゼラレナイノデアリマス、但シ只今御述ベニナリマシタヤウニ、徵收成績ガ好イト言フケレドモソレハ表面ヲ見テノコトダケデアツテ、内實ハ納稅者ハ非常ニ苦シンデ居ル、損シテモ、若シハ金ガナクテモ借リテ來テ納メルト云フヤウナ窮境ニアルノデアアルト云フコトデアリマスガ、内情ノ詳シイコトニ付テハ個々ノ場合ニソレソレノ事情モアルコトト存ズルノデアリマスガ、大體只今申上ゲタヤウナ徵收狀況ニナツテ居リマスノデ、十五年度ノ租稅收入ハ先ツ先程申上ゲタヤウナ成績ヲ以テ年度ヲ終リ得ラウト見込シテ居リマス、十六年度豫算ニ付キマシテハ、御述ベニナリマシタヤウナ事情ガアリマシテ、一方ニ成績ノ向上スルモノモアリマスケレドモ、七・七禁止令デアルトカ、或ハ日獨伊三國同盟條約締結ニ依リ所ノ經濟界ノ變動等ニ原因致シマシテ、業況ノ惡化スルモノモアリマスノデ、是ガ影響ヲ豫算ニ見積リマスコトハ中々困難デアリマスガ、出來ルダケ見積リ當時ニ於ケル的確ナ



ル資料ニ依リマシテ、豫算ノ見積リノ正確ヲ期シテ大體アリマスガ、大體十五年度ノ決算見込額程度ニ於テハ、見込額ノ増減ハ、十六年度豫算ノ十五年度ノ豫算ニ比較シテ、租税及ビ印紙収入ノ合計ニ於テハ、五億六千餘万円増シテ居リマス。此ノ中ニハ、前年度税制改正ニ因リマス當然増加ガ九千餘万円アリマス、ソレカラ臨時租税増徴等ニ因リマス増加額ガ三億餘万円ゴザイマス、隨ヒマシテ自然増収ハ四億六千餘万円程度見込コトニナツテ居リマス、十五年度ニ對シテ十六年度ニ四億六千餘万円ノ自然増収ヲ見込シテ居リマス、來年ノ租税收入ノ非常ニ樂觀的ニ見テ居リハシナイカト、斯ウ云フ御批判ハアルカト思ヒマスガ、ソレハ十五年度ノ豫算ト十六年度ノ豫算ヲ比較シテ、四億六千餘万円ノ程度ノ自然増収ガ一應出テ來ルノデアリマシテ、先程申上ゲマシタル如ク、租税及ビ印紙収入ノ決算見込額ニ對シテ、此ノ自然増収ハ大體十五年度ニ於テ、決算ニ現ハレテ參ツタ程度以上ニハ出テ居ラナイデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ租税收入ノ方カラ申シマス、大體十五年度ノ決算見込ト十六年度ノ同程度ノ歳入狀況ニナルモノト見込シテ居リマシテ居リマス。

○池本委員 遊興飲食税、入場税ト云フヤウナモノノ割合ハ、ドウゴザイマセウカ付キマシテハ、年度ノ中途デアリマスルカラ、全年度ノ見込ヲ立テルコトハ困難デアリマスガ、十二月末マデノ歳入デ、豫算ニ對比シマシテ、遊興飲食税ハ七割八分七厘ノ徴收ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ昨

年ノ秋以來收入ハ幾分低下シテ居リマスルケレドモ、十二月末マデニ此ノ程度ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト致シマスレバ、豫算程度ニハ收入ガアルノデアリカト思フテ居リマス、ソレカラ入場税ニ付キマシテハ、十二月末マデニ豫算ニ對シテ、八割六分一厘ト云フ成績ヲ以テ收入増デアリマス、隨ヒマシテ此ノ方ニ於テハ、年度末マデニハ、豫算通りノ收入ガアリ得ルモノト見込シテ居リマス、尙ホ十六年度豫算ニ付キマシテハ、遊興飲食税ハ昭和十五年十月以前一箇年ノ料金額ヲ基礎ト致シマシテ、花代モ花代以外モ、共ニ三割減ルモノト見込シテ居リマス、入場税ニ付キマシテハ、是モ同ジク昭和十五年十月マデニ於キマスル新税法ニ依ル收入金額ヲ、年額ニ換算シテモ、基礎ト致シマシテ、第一種ノ演劇場ハ一割減、其ノ他ハ五分減、第二種演劇場ハ一割減、其ノ他ハ五分減ト云フコトニシテ豫算ヲ見積ツテ居リマス。

○池本委員 ソレデハモウ一點、是ハ私ノ見テ居リマスル點デスガ、今度ノ所謂經濟新體制、ソレカラ一般ノ統制強化ノ方向ヲ見テミマスルト、業種別カラ言ヒマスレバ、申スマデモナク所謂平和産業ト云フモノガ打擊ヲ蒙ル、規模ノ大小カラ申シマスレバ、大キナモノガ重點主義、或ハ能率主義ト云フヤウナコトデ利益ヲ得テ、サウシテ一般ノ中小階級ガ不利ヲ蒙ル、サウ見マスルト、大體此ノ日本ノ經濟組織ノ特色デアリマスル所謂中小商工業、或ハ中産階級ト云フモノ宜シイデスガ、ソレガ普通デアラナラバ、此ノ經濟新體制ニ於テドウシテモ不利ヲ免レナイ、極端ニ言ヒマスルナラバ、大キナモノノ利益、小サイモノノ犧牲ノミニニ於

テ、此ノ經濟新體制ガ進行スルヤウナコトガアツテハナラナイト、私ハ案ズル位ナンデス、所ガソコデ租税ノ収メ工合ヲ見タノデアリマスガ、十四年度デアリマシテ、其ノ後税法ガ申スマデモナク改正ニナツタ、併シ此ノ中産階級ノ存在、或ハソレノ納税上ニ於ケル地位ト云フモノハ、舊三種所得税デモ分ルト思フ、ソレニ依リマス十四年度ノ大藏省主税局ノ御調べデアリマスガ、第三種所得税ニ付テ見マス、納税人員ガ百八十八万人ダ、二百萬圓以上マデアル、ソレヲ假ニ二萬圓以下ヲ切ツテ見マス、百八十八萬人ノ總數ノ中カラ百八十四萬人アル、二萬圓以上ノ者ガ既ニ四萬人シカナイト云フノデ、殆ド全部ト云フモノガ二萬圓以下ノ者ニナツテ居ル、所得金額ヲ見テミマス以下ノ者ノ所得ガ、三十四億八千三百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ二百萬圓以上ノ者ハ二十五人ダ、サウシテ所得額ハ税額カラ見マス、總額ガ四億四千五百圓ノ中二十五人、一人々々ノ納税額ハ二千萬圓、ヤハリ五分シカナイ、サウスルト中小階級ニ納税ノ重點ガアル、是ハ法人資本税ニ付キマシテモ、假ニ會社ノ資本別ニシテ見マス、ヤハリ十萬圓以下ノ者ガ殆ド全部ダ、ソレカラ個人營業收益税デアリマスガ、之ニ就イテ見マシテモ同ジ傾向ガ見エル、サウスルト利益ガアル上ノ者(幾ラアリマシテモ、結局税額カラ言ヘバ知レテ居ル、納税上ニ於ケル主要地位ヲ占メル者ガ、獨リ不利ヲ蒙ルノデアラカラ、ソコデ大體見マス、納税全體ノ成績ハサウ樂觀ヲ許サナイモノデアルト、私ハ考

ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ一應ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス。

○松隈政府委員 只今御述べニナリマシタ通り、我が國ニ於キマス所得税、法人税等ノ階級別分類表ニ依ツテ分ケマス、大所得者ガ極メテ少ク、中小ノ所得者ガ多イト云フコトハ事實デアリマス、ヨク「ピラミッド」型ト申シマシテ、大所得者ガ少ク中小所得者ニ至ツテ順次増シテ參ルト云フコトハ、各國同一ノ歩調デアリマス。ケレドモ、我が國ニ於キマシテハ「ピラミッド」型ト云フヨリモ、寧ロ非常ニ先ノ尖ガツタ上ノ方ハ五重塔ノ頭ノヤウニ細クナツテ居ルト云フ狀況ニアリマス。コトハ、我が國ノ所得ノ分布狀況ガ金持ノ數ガ極メテ少クテ、中産階級以下ノ者ガ非常ニ多イト云フコトカラ來テ居ルト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於キマシテ、納税上ノ苦痛ニ付テハ所得ノ大キイ者ハ、成程税金ノ金額ガ多イケレドモ比較的納税ガ樂デアル、所得ノ小サイ者ハ納税金額ハ少イケレドモ、所得ノ大キイ者以上ニ納税ガ苦シイト云フコトハ、大體察セラレルノデアリマス、今此處ニ此ノ階級別ノ納税成績表ヲ持ツテ居リマセウカ、的確ニソレガ數字ニ如何ニ現ハレテ居ラト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、先程申シマシタノハ、全體ノ通ジマシテノ成績上カラ申シマスルト、今日ハ一方ニ於テ、時局下デアツテ國民ガ緊張シ、納税率公ノ誠ヲ效サント勵ムデ居ルコトモアルト思ハレラデアリマスガ、納税成績ハ左程惡化シテ居ナイ、寧ロ近年ノ平均程度、或ハソレ以上ニ出テ居ルト云フコトダケハ先程申上ゲタ通りデアリマス。

○池本委員 此ノ點ニ付キマシテハ、是以

上申上ゲマセウガ、アナタ方中央ニオイデニナリマス、税金ハ支障ナク納ツテ居ルト思ハレデアリマセウガ、所ガ其ノ納マルノ色々ニ違ヒガアルノデアリマシテ、税率ハ上ゲラレタテモ、査定率ガ上ゲラレ、一種ノ苛斂請求デアリマスガ、ソレガ動モスレバ行ハレル傾向ガアリマス、其ノ點ハ唯徒ラニ數字ノ成績ノ良イモノガ集マツテ參ツタカラト云フコトノミヲ以テ、御樂觀ニナリマセウニ、希望ヲ致シテ置クデアリマス。

最後ニ一點、事變モ當初カラハ段々々々ト斯ウ云フコトニナツテシマシマシタガ、非常的増税、是ハ色々議論ガアルダラウト思ヒマスガ、財政緩和或ハインフレーション防止ト云フヤウナ爲カラ、例ヘテ言フナラハ、議論ガアリマセウガ、財産税ト云フヤウナモノ、サウ云フ非常的増税ヲ、近キ將來ニ行フト云フヤウナ御意思ガアリマセウカドウカ、是ハアナタニ伺フノハ御無理カモ分リマセウガ、大臣ニ代ツタ積リデ一ツ御答ヘ下サイ。

○松隈政府委員 十六年度ニ於テハ増税ノナカツタコトハ、モウ御承知ノ通りデアリマス、十七年度以降ニ付テ増税ヲ行フカドウカト云フコトハ、大藏大臣ガ狀況ノ變化ニ依ツテ、考慮スルト云フテ居ラレド、ソレニ依ツテ御承知ノ通りデアリマシテ、十七年度直グト云フコトニ具體的ニナルト、今何トモ申上ゲ兼ネマスガ、ココ數年ノ内ニ於テ我ガ國ノ現狀カラ推察致シマシテ、増税ト云フコトガ全クナシテ済ムト云フコトハ、何人モ考ヘテラナイノデアリカ、斯様ニ存ジマス、如何ナル方法ニ依リ、如何ナル財源ヲ求メテ増税スルカト云フコトハ、先ノコトデアリマス、ソレ

今御答ヘハ差控ヘタイト思ヒマス、具體的ニ御示シニナリマシタ財産税ノ設ケルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是モ將來ノ問題トシテ研究サルベキモノダト思フデアリマスガ、財産税ニ付テモ元本ヲ侵蝕シナイ程度ノ低イ税率ヲ以テ、財産税ヲ起スカ、或ハ只今御述べニナツタ趣旨ガ、ソコニ觸レテ居ルカドウカハ存ジマセウカレドモ、一部元本ニ食込シテモ、斯ウ云フ非常時局デアラカラ、稅ヲ納メサセルト云フヤウナ意味ニ於テ、相當税率ノ引上ゲラレタ財産税ヲ起スカドウカト云フコトデ、財產税ニ對スル考ヘ方ト云フモノモ、餘程遠ツテ參ルカト存ジマス、後ノ意味ノ財產税ヲ起スト云フヤウナコトハ、是ハ最後ノ切札トシテ考ヘラレベキモノデアツテ、財政ノ大體ノ見透シガ付キ、公債發行ノ限度ガ、凡ソ豫定サレラヤウナ場合デナケレバ、最後ノ切札ノヤウナモノハ使フベキモノデナイ、是ハ私個人的ノ考ヘヲ申シテ居ルノデアリマスガ、左様ニ考ヘラレル次第ゴザイマス。

○池本委員 大藏省方面ニ付キマシテノ質問ハ是デ終ツテ置キマス、農林次官ガ御面問ニナツテ居ルサウデアリマスカラ、御面問ニナツテ居ルサウデアリマス、地方ニ於キマスル所謂中小地主ノ取扱方ニ付テ、御伺ヒタイト思フノデアリマス、從來農業者或ハ土地政策ノコトガ論ジラレマス場合ニ、大體ニ於キマシテ地主ト小作ト、斯ウ二ツニ分別シテ扱ハレテ來タヤウニ思フノデアリマス、其ノ中ニ自作農ト云フモノヲ加ヘマス、三ツニナル譯デアリマスガ、是ハ唯物的トデモ申シマスガ、物ノ立場カラ考ヘマス、小作ト自作農ト云フモノハ分

レテ參リマス、併シ之ヲ社會的ニ考ヘテ見、或ハソレヲ救済的ニ考ヘテ見マス、此ノ小作ト自作農ト云フモノハ大體同ジモノナンデス、自作農ハ先ツ村長ヲヤリマセウ、府縣會議員ヲヤリマセウ、産業組合長ニモ先ツナラナイ、サウ云フ立場カラ見マス、要スル所地主トソレカラ小作ト云フ、自作農ト云フヤウナ社會的階級別ニ大體ナル譯デス、ソコデ御伺ヒ致シマス、其ノ地主ト小作ト云フ見マス、勿論下ノ程度カラ中小地主ト云フコトハ、是ハ見方ニ依リマセウガ、大體ニ於キマシテ三町、五町、多クテモ十町以下ノ者ダ、サウスルト是ハ申上ゲラレマデモナク、統計ニ依リマスルト全國ノ農家戸數ノ五百萬戸ノ中、大體三十萬戸位ニナルダラウト思フノデアリマス、ソコデ此ノ扱ヒヲ一體ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノカ、先ツ其ノ豫備的ノ御伺ヒト致シマシテ、私ノ申シマスル程度ヲ中小地主トシテ、此ノ階級ガ被弊シテ居ル事實ハ、當局ハ御認めニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ、一寸簡單ニ先ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○井野政府委員 只今池本委員ノ御質問ニナリマシタ中小地主ガ、現在被弊シテ居ルカドウカト云フ御尋ねデアリマスガ、是モ色々見方ガアルト思ヒマス、昭和八、九年ノ時代カラ見マスレバ、現在ニ於テハヤハリ中小地主モ、經濟的ニハ多少改善サレテ來テ居ル、現ニ地租ノ如キモ從來カラ見ルト、餘程良クナツテ參ツテ居リマス、又米價モ其ノ時代カラ見マスルト安定シテ居リマス、他ノ者ト比ベドドウカト云フコトニナルト、色々考ヘ方アリマスガ、時

代的ニ見マスレバ、最近ニ於テハ決シテ非常ナ不遇ノ地位ニ在ルトハ、私共ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス。

○池本委員 然ラバ小作、自作或ハ地主ト比較致シマシテ、ドウ云フ地位ニ居ルト御考ヘニナツテ居リマス。

○井野政府委員 是モ地方的ニハ色々違ヒガアリマシテ、小作條件ノ非常ニ有利ナ所デアリマスレバ、小作人ノ方ガ中小地主ヨリハ有利ナ所デアリマス、併シ小作人ノ小作條件ノ惡イ所デハ、是ハモウ中小地主ノ方ガ餘程有利デアル、斯ウ云フヤウナ立場ニアルト思ヒマス、大地主ニ比ベテ見マシテモ、是モ地方々々ニ依ツテ色々見方ガアリマスカラ、一概ニドウト云フコトヲ申上ゲ兼ネルノデアリカト考ヘマス。

○池本委員 ソレデハ御伺ヒ致シマスガ、假ニ其ノ盛衰ハ見方ニ依リ、斯ウ致シマシテ、然ラバ當局ニ於キマシテ一體之ニ對スル取扱、對策ト云フヤウナモノヲ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、假ニ衰微シテ居ルモノナラバ、之ヲ自然ノ衰微ニ任セテ置イテ宜イト思ハレルノカ、維持育成スベキモノト思フテ居ラレルノカ、是ハ事實チヤアリマセウガ、御考ヘヨ伺ヒタイト思ヒマス。

○井野政府委員 地主ト耕作者トノ關係ニ付キマシテハ、農林當局ト致シマシテハ出來ルダケ自作農創設ヲ中心ニシテ參リタイト考ヘテ居リマス、中小地主ノ中デモ相當ニ經營上困難ナ者モ無論アリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ、自ラソレガ自作スルコトガ事情ガ許シマセンケレバ、出來ルダケ他ニ其ノ土地ヲ讓リマシテ、サウシテ小作人ヲシテ自作ヲ行ハシムルコトニ進マテ







方ニ配付致シマシテ、空閑地ニ蕎麥ヲ植エサセテ、ソレガ爲メノ種子ノ購入費ヲ助成致シタノデアリマス

○逋沼委員 本年度ノ補助金ハ總額二十万円デスカ

○周東政府委員 左様デゴザイマス

○逋沼委員 農業報國會ト云フモノガ出來テ參リ、産業報國會ガ出來テ參リ、或ハ商業報國會ガ出來テ參リマスナラバ、是等ノ團體ト云フモノハ、大體ニ於テ其ノ組織シテ居リマス要素ハ違フニ致シマシテモ、ソレノレ勤勞ヲ中心トシテ職域奉公ノ誠ヲ盡サウト云フ點ニ於テハ、變リガナイト思フ

○逋沼委員 厚生省ニハ産業報國會、更ニ農林省ニ於テハ農業報國會、又ハ逋沼省ニ於テハ海運報國會、更ニ商工省ニ於テハ商業報國會、斯ウ云フモノニ各省分散シテ居ルコトハ、ドウカト思フノデアリマス、是等ハ何等カノ形式ニ於テ、一ツノモノニ綜合統一サレルヤウナコトニナラナケレバナラズト思フノデアリマスガ、農林省ニ於テハマダ是カラ改組シテ行カレルト云フヤウナ御話デアリマス、私希望デアリマスケレドモ、一日モ早ク之ヲ改組サレマシテ、是等ノ團體間ニ一ツノ連絡統一ガ行ハレルヤウニシテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○山本委員 此ノ際警保局長ガ見エマシタカラ、池本サンドンゾ……

○池本委員 警保局長ニ御伺ヒ致シタイコトハ二ツアリマス、第一ハ非合法的政治運動取締ノ件、ソレカラモウ一ツハ所謂右傾團體ノ動向、ソレニ對シマスル當局ノ取締狀況ヲ承リタイト思フノデアリマス、先ツ第一ノ非合法的政治運動取締ノ件ヲ伺ヒマ

ス、御承知ノ如ク昨年来政黨ガ大體解消致シマシタ、所ガ此ノ小形ノモノガチヨイチヨイ殘ツテ居リマス、其ノ小形ノモノガ現實ノ問題ニナル譯デアリマス、是等ハ文化或ハ思想團體トシテ改組シタ、斯ウ言ツテ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、所ガ何人ガ見マシテモ、實質的ニハ政治運動ト認メラレルコトヲ、是等ノ小形ノモノニシテ何等警察當局ガ取締ヲシテオイデニナラズト私ハ思フノデアリマス、其ノ實例ハ到ル處ニアリマス、是ハ現ニ當局ニ於カレマシテモ、御聽キデアラウト思フノデアリマスガ、私ノ所ノ例ヲ一ツ申上ゲマセウ、是ハ或ル川合ニ排英演說會ヲ持込シテ、善良ノ百姓ニ排英演說ヲヤツタノガ善イカ悪イカハ別デスカ、兎ニ角ソレハ合法的ニ演說會ヲ開イタノガサウデスカ、所ガ其ノ途中デ何々會支部カ分會カノ發會式ニ變入會者ト認メマス、斯ウヤツテシマツタ、之ニハ警官ガドウモ果レタト、私ニ言ツテ居リマシタ、成程排英演說會ハ文化思想運動カモ知レマセカ、併シハ常識カラ見テ政治運動デアル、況ヤウ云フ聽キニ行ツタ者ニ、ベテニヤウニ網ヲ下シテサウシテ入會者ト認メマス、左様ナコトヲサウシテ居ルト云フコトハ私ハ甚ダヒドイト思フ、ソコデ日本ハ何モ一黨デハナイノダカラ、ナサルナラ堂々ト政治運動ヲナサルノガ宜イト思フ、ソレナラ政事結社ヲセラレタラ宜イ、ダカラソレガイカナイト言フノデアリマセカ、私共カラ見ルナラバ、政事結社ヲシテ、サウシテ左様ナ常識的ニ見テ、政治運動ト認メラレルコトヲヤツテ居

ルノナラバ、非合法的ノ政治運動ノヤウニ考ヘラレマス、是ハ地元ノ確實ナ人ガ言ツテ居ツタ、ソレデアリマスカラ、縣廳ノ用紙ヲ使ツタカ使ハナイカ細カイトコトト仰シヤイマスガ、使ツタコトトガソレガヤハリ問題ノ提ヘ所ニナル、ダカラ此ノ事柄ニ付テハ何モ小サイトコトチヤナイ、デアリマスカラ、一應ソレハ御伺ヒニナリマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ所謂私ノ謂フ非合法的政治運動ノ取締ハ——是ハ、實際全國的ニ目ニ餘ツテ居リマス、私ハ法律ヲ知ラヌカラ常識カラ申シマスガ、常識ツテ法律ダツテサウ距離ノアルモノチヤナイ、デアリマスカラ、能ク是ハ、何者ノ威武ニ屈セズ、富貴ニモ淫セズ、國家ノ爲ニ、アナタガ折角重要ノ地位ニオイデニナルノデスカラ、十分ニ力ヲ善用セラレマスルヤウニ、是ハ希望シテ置キマス、ソコデ又右傾團體ノ動向ナンデスカ、當局ノ取締ノ狀況ニ付テ承リタイトデアリマスガ……

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

常ニ難カシイト思ヒマス、ソコガ又問題ニ乗セラレ易イ所デアリマス、驚ヲ鳥ト云ヒ括メ得ルト云フ譯デアリマスカラ、其ノ點ハ結局法律モ私ハ道德ノ成文化ト思フ、ダカラ是ハ形式論ヨリモ結局精神ノ問題デアリマス、ソコハ幸ヒ明智ナアナタガ取締ノ元締ヲサレテ居ルノデ、適當ナ點デ一ツ切ツテヤツテ貫ヒタイ、殊ニ奇怪ナコトハ翼贊會ノ中樞部ニ居ル人ガ首領ニナツテ居ル團體ニ限ツテ、ソレヲヤツテ居ル、私ハ其ノ點ニ付キマシテ、今日翼贊會ニ對スル批判ハ、絕對建設的ナモノデナケレバナラズト云フコトハ能ク存ジテ居リマス、是ハ如何ナルコトガアリマシテモ、イカヌ點ハ直シテ、育成發展ヲ圖ラシケレバナラズト思ヒマスガ、其ノ可愛イ翼贊會ガ一體ドウデセウカ、此ノ發足ノ時ニ、法制局長官ハ、ハツキリ日本ハ一黨デハナイカラ、一黨ヲ拵ヘテモ宜シイ、併シナガラ其ノ團體ノ加入ハ認メナイ、又其ノ「メンバ」ノ個人トシテモ入會ハサセナイ、斯ウ言ツテ居ラシテモ拘ラズ、私共カラ見ルナラバハツキリシテ居ル、二人デスカ、ソナコトヲシレバ國家ノ威信ニモ係ハリ、翼贊會ノ鼎カラ翼贊會ガ問題ニナルノデスカ、其ノ點ハアナタニコンナコトヲ申上ゲルノデアリナイガ、翼贊會ヲ可愛イト云フ點カラ御考ヘニナツテモ、打テレテモ親ノ鞭デスカラ、一ツ親ノ鞭ヲシツカリ御當テニナルヤウニ御願ヒラ申上ゲテ置キマス、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ聞イタ、是ハ翼贊會ニ關係ガアルノデスカ、石川縣下ノ實例ト致シマシテ、翼贊會ノ地方支部役員ノ銜衛ニ關シマシテ、縣廳ノ用紙ヲ以チマシテ、先ニ言ヒマシタ

見ルナラバ、非合法的ノ政治運動ノヤウニ考ヘラレマス、是ハ地元ノ確實ナ人ガ言ツテ居ツタ、ソレデアリマスカラ、縣廳ノ用紙ヲ使ツタカ使ハナイカ細カイトコトト仰シヤイマスガ、使ツタコトトガソレガヤハリ問題ノ提ヘ所ニナル、ダカラ此ノ事柄ニ付テハ何モ小サイトコトチヤナイ、デアリマスカラ、一應ソレハ御伺ヒニナリマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ所謂私ノ謂フ非合法的政治運動ノ取締ハ——是ハ、實際全國的ニ目ニ餘ツテ居リマス、私ハ法律ヲ知ラヌカラ常識カラ申シマスガ、常識ツテ法律ダツテサウ距離ノアルモノチヤナイ、デアリマスカラ、能ク是ハ、何者ノ威武ニ屈セズ、富貴ニモ淫セズ、國家ノ爲ニ、アナタガ折角重要ノ地位ニオイデニナルノデスカラ、十分ニ力ヲ善用セラレマスルヤウニ、是ハ希望シテ置キマス、ソコデ又右傾團體ノ動向ナンデスカ、當局ノ取締ノ狀況ニ付テ承リタイトデアリマスガ……

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云

○山本委員 午前ヨリ引續キ會議ヲ開キマス、マダ政府委員ノ見エラレヌ方ガアリマスガ、オイデニナル方ダケデ一ツ御質問ヲ願ヒマス、池本サナンノ番デスカ、御都合上田村サナン御願ヒシマス

○田村委員 主計局長ニ、二御尋ネテ致

シタイノデアリマスガ、大政翼贊會ニ對スル補助費トシテ第二豫備金カラ昭和十五年度九十三萬圓ヲ支出セラレテ居ル、此ノ九十三萬圓ノ中、一、二月分ガ約五十五萬圓カリアルヤウニ、頂戴シタ資料カラ推算出來ルノデスカ、大體議會ガ開カレバ、一月、二月ハ追加豫算ヲ斯ウ云フモノハ計上出來ル筈ナノデアリマス、ソレヲ二月マデ豫備金支出ヲシテ居ル、斯ウ云フコトハ從來ノ事例ハドウナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 此ノ豫備金ニ關シマシテハ田村サナン仰セニナリマス通りニ、凡ソ議會ガ始マリマシテ協賛ノ機會ガアリマシタナラバ、之ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ經ルノガ正道デアルコトハ仰セテ通りデアルノデアリマス、從來第二豫備金支出ハ大體ニ於テ一月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分マデヲ支出シテ居リマシタモノト、二月分ガアルノデアリマス、申シマスノハ、議會ガ開カレマシテモ、豫算ヲ提出致シマシテモ御協賛ヲ得マスト云フコトニ付キマシテハ、一月分ニ付テハ大體ニ於テ間ニ合ハスト云フノハ、是ハ普通ノ時ノ關係デアルト思フノデアリマス、ソレデ年内ニ第二豫備金ヲ出シマス時ニハ、月割ニシテ分チ得ルモノニ付テハ一月マデノ分ヲ豫備金デ出シマシテ、二月、三月分ヲソレノ引繼ギトシテ追加豫算トシテ出スト云フヤリ方ガ行ハレテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ二月分マデモ計上致シマシテ豫備金ヲ出シマシタコトモ例トシテ隨分多數ニアルノデアリマス、是ハヤハリ追加豫算ヲ提出シテ御協賛ヲ願ヒマシテ、サウシテソレガ公布ニナリマスト云フコトニ付キマシテハ、ドウシテモヤハリ二月一パイ掛ルト云



○田村委員 サウシマスト大政覽覽會ノ九十三萬圓ハ、御説明ニ依ツテ一月分マデモハ私ハ諒承シ得ルノデス、二月分マデモ豫備金支出シテ事後承諾ニスルト云フコトハ、議會ノ權限問題ニ關レテ來テ、茲ニ豫備金支出ガ憲法違反デアルトカガ、サウシマシ議論ガ起ツテ來ル譯デアリ、サウシマスト斯ウ云フ一月分宜イノガ、一月分モ本當ヲ言ヘバ私ハ追加豫算ニ出スベキダト思フ、ケレドモソレハ實際問題トシテ一月二十一日ニ再開シテ居ルカラソレハ無理トシテ、少クトモ二月分ハ國庫支出ニ政情ヲ考慮ニ入レテ斯ウ云フコトヲヤルノダト、斯ウ言葉ノ中カラ判斷出來ルノデス、ソコデサウナルト問題ガ喧シクナツテ來ル譯デアリ、昭和十三年度マデハ大體一月マデデアツタガ、十四年度カラサウ云フモノガボツ、出テ來タト云フノハ、議會輕視ト云フ空氣ガ見エテ來ル、是ハアツタニ尋ネルノハ少シコソチノ註文トシテ無理ナ御註文カモ知レマセシガ、議會輕視ニ見エルト云フコトガ問題ダト思フノデス、サウ云フ風ナ政治的ノ議會ニ出シテモ中々協賛スルカシナイカ分ラナイ、ソコデ二月マデ先ニ取ツテシマヘト云フ風ニ、サウ云フ政治的ノ考慮ガアツテ斯ウ云フ風ニナツタノデアリマスカ、十三年度マデハサウデナカツタガ十四年度カラ二月マデモ取ルヤウニナツタト云フノハ事變ダカラト云フ理窟デハナイト思フノデスガ、其ノ點谷口サシ如何デスカ

○谷口政府委員 洵ニ御尤モデアリマスカ、此ノ第二豫備金ニ付キマシテハ、政治的

ノデアリマスカ、從來一月マデノ分ヲ豫備金出シテ置キマシテ、二月分ハ追加豫算トシテ引續キ提出シ、御協賛ヲ得ルト云フヤリ方デハ、則ニ合ハナカツタ例方度々起ツテ來タノデアリマスカ、ソレヲ又間ニ合ハス爲ニハ、追加豫算等ノ編成事務ニ付キマシテ、非常ニ混雜多忙ナ狀況ガ起ツテ來タノデアリマスカ、ソレヲシモ事變ノ影響デアルト云フコトヲ申シマシレバ、ヤハリ處置ノ仕方ニ事變ノ影響ガ加ハツテ來ルカモ知レナイノデアリマスカ、ソレモ勿論政治的ト云フ考ヘ方デナシ、已ムヲ得ザル事務的ト處置トシテ、出テ來タモノデアルト申上ゲテ然ルベキモノト思フノデアリマスカ、要スルニ二月マデ豫備金支出シテ置キマセト、追加豫算ノ要求、又場合ニ依リマシテハ、ソレガ三月ニ入りマシテ公布セラレト云フヤウナ事情、則ニ合ハスト云フデアリマスカ、最近ニ於キマシテハ、此ノ豫備金支出ノ御承諾ヲ得ル議案ニ對シマシテ、御指摘ガナカツタノデアリマスカ、洵ニ只今ノ御指摘ハ御尤モチ點デアリマシテ、豫備金ノ支出ニ付キマシテ、議會ノ協賛權トノ關係ニ付テ、反省スルトコトヲ怠ルコトノナイヤウニスベキコトニ付キマシテハ、洵ニ御同感デアリマスカ、此ノ點ニ付キマシテハ、今後トモ能ク注意ヲ致シタイト思フノデアリマスカ

○田村委員 御明確ナ最後ノ御答辯デ私ハ満足致シマスカ、ソコデ諒イヤウデアリマスカ、近時議會ノ協賛權ヲ輕視スルト云フ風潮ノ見エマスカ、最近ニ於キマシテハ、特ニ私ハ之ヲ御注意申上ゲテ置キ、大藏當局ノ豫算、殊ニ豫備金支出ニ付テ御苦勞ナサツテ

今ノ問題ハ敢テソレ以上御答ヘラ求メマセヌ次ニ補助金、是ハ此ノ問題ノミデナク、一般ノモノニ關聯シテデスガ、補助金ト云フモノハ豫算デハ一本ノ補助金トシテ出テ來ルノデスガ、此ノ補助金支出ノ方法ノ實際ガ、殊ニ現前ノ問題トシテハ、大政覽覽會ノ補助金ト云フノガアルノデスガ、昭和十三年度ハ八百萬圓ト計上セラレテ居リマスカ、其ノ支出方法ノ實際ハ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、其ノ一般ヲ承ツテ、アト大政覽覽會ノ支出方法ヲ承リタイト思ヒマスカ

○谷口政府委員 補助金支出ノ實際ト云フ御質問デアリマスカ、是ハ補助金ヲ出シマシニ付キマシテハ、其ノ補助金ガドウ云フ風ニ使ハレルカト云フコトニ付キマシテ、例ヘテ申シマシレバ、大日本産業報國會ニ補助ヲ出スニ付キマシテ、大日本産業報國會ニ於キマシテ、如何ナル仕事スルノニ付テ補助ヲヤラナケレバナラスカ、ソレガ金額必要デアリカ、或ル一部分デアリカ、大政覽覽會ニ付テモ大體同様デアリマスカ、其出來ルダケ其ノ内容ヲ詳細ニ調査シテ、其ノ金額ヲ決定スルノデアリマスカ、ソレデ實際支拂ノ方法ハドウデアリカト云フコト、若シ具體的ノ其ノ方法ノ御話デアリマスカナラバ、最近ニ於キマシテハ此ノ補助金ヲ出シマシメ、一時ニ之ヲ渡スト云フコトハ致シマセヌ、大體四期ニ分ケマシテ、之ヲ支出スルトニ致シテ居リマスカ、是ハ豫備金出シテ問題デアリカ、補助金ノ出シ方ト云フ點ニ付テ申シマシテ、例ヘバ百萬圓ノ補助金ヲ出スニ付キマシテ、四月一日ニ百萬圓放リ出スト云フコトヲ致シマセズニ、四月、七月、十月、一月ト云フヤウニ四年期

ニ分ケマシテ、小出シニ致スト云フ實際ノ支出ノ仕方ヲシテ居リマスカ

○田村委員 覽覽會デハ豫算ノ明細書ト云フモノヲ作ツテ、是ガ政府カラ補助金ヲ在定セラレル所ノ基礎ニナツテ居ルト思ヒマスカ、是ハ國家豫算ト同ジヤウニ款項ヲ設ケテ、之ヲ基準トシテ大體補助金ト云フモノヲ決定セラレルト思ヒマスカ、實際ハ四期ニ分ツテ、補助金トシテ百萬圓ト二十五萬圓トツツ渡シ、其ノ二十五萬圓ト在定ノ基準ハ、ソコカラ出シテ明細書ニ依リテ在定ガ、支出シテ後ニ於テ款項ト云フモノハ、國家豫算ト違ツテ、目ハ別デモ、款項ニ依ツテ此ノ間ノ流用ヲシテモ、政府トシテドウニモナラヌノデアリカト思ヒマスカ、ソレハ實際ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○谷口政府委員 大政覽覽會ノ監督ノ關係デアリマスカ、是ハ昭和十五年十二月二十日、勅令第九百二十一號デアツタト思ヒマスカ、公布セラレマシテ、内閣所屬ノ部局及ビ職員設置令中改正ノ勅令デアリマスカ、之ニ依リマシテ、内閣總務課ニ於テ、大政覽覽會ノ監督ヲスルト云フコトニ規定セラレテ居ルノデアリマスカ、此ノ監督權ニ基キマシテ、内閣ニ於キマシテハ、此ノ補助金ヲ交付スルニ付テ、極メテ嚴格ナル指令ヲ出シマシテ、只今田村サシノ御心配ニナツテ居ルヤウナ點、即チ大政覽覽會ノ經理上ノ監督ト云フ問題ニ付テ指令ヲ出シテ居ルノデアリマスカ、補助金ヲ出スニ付キマシテ指令ヲ出シテ居ルノデアリマスカ、大政覽覽會ニ對スル補助金ニ比ベマシテ、相當多額デアリマスカ、此ノ監督モ隨ヒマシテ一般ノ補助團體、助成團體ニ對スル監督ヨリモ、相當嚴重ニ考ヘルベキデアルト云フ點ニ着限致シマシテ、此ノ大政覽覽會ニ對スル補助ノ指令ヲ出シテ居ルノデアリマスカ、是ハ昭和十三年度ノ補助金ノ豫算額ヲ支出スルニ付キマシテ、必ズシモ同ジ方法ヲ執ルカドウカ、マダ決マツテ居リマセヌ、恐ラクハ只今申上ゲルモノヨリモ、更ニ嚴密ナルモノヲ出スルカト思フノデアリマスカ、只今御審議ヲ願フテ居リマスカ、豫備金ト云フコトニ付キマシテ、出シマシテ指令ノ内容ニ付テ、御參考マデニ、三申上ゲマシテ、其ノ補助金ハ、其ノ會ノ目的ニ反シタル使途ニ使ツテハイケナイ、ソレカラ事業計畫ヲ提出シテ、内閣總理大臣ニ届ケナケレバナラヌ、豫算ニ定メタ項目ノ金額ハ、彼此レ流用スルトコトヲ得ナイ、又内閣總理大臣ノ承認ヲ受ケベキ事項トシテ舉ゲラレテ居ルモノト致シマシテハ、豫算ノ更正及ビ豫算ニ定メタル各項ノ金額ノ流用、ソレカラ放棄其ノ他合計ニ關スル規則制定、豫算外義務ノ負擔、權利ノ讓渡又ハ拋棄、借入金、寄附金品ノ受理、其ノ他會計上重要ナル事項ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、豫算監督者タル主務大臣ノ承認ヲ受ケナケレバナラヌ、又其ノ收入支出ニ付テハ、總テ之ヲ關係帳簿ニ記録シ、其ノ出納ノ明カニスベキモノデアリカ、物品ノ受拂及ビ保管ニ付テモ亦同様デアリカ、而シテ是等ノ只今申シマシテヤウナ命令、更ニ其ノ命令ニ基キテ發スル色々ノ指圖ニ違反スルヤウナ場合ハ、補助金ノ全部又ハ一部ヲ返還サセルコトガアルカモ知レナイト云フヤウナ監督ノ條項ヲ決メテ居ルノデアリマシテ、田村サシノ只今御指摘ニナリマシタ

一旦出シテシマツタモノニ付テハ、先ガドウナルデアラウカト云フ御心配ノ點ニ付キマシテハ、此ノ監督ノ權限ニ基キマシテ、補助ノ際ニ指令ヲ與ヘテ置キ、爾後其ノ指令ニ基キマシテ、其ノ使途ノ適正デアリベキコトヲ、監督スルト云フ關係ニ相成ツテ居ルノデアリマスカ、ソレデ先程申シマシタヤウニ、年額ノ問題ト致シマシテモ、一度ニ出スト云フコトヲシナイデ、大體三月份、四分ノ一ツツ逐次ニ出シテ行クト云フコトニ致シマスカ、此ノ監督ヲヤツテ行キマスカ、是ハ此ノ補助金ト云フモノニ付キマシテ、ヤハリ多少援助ニモナルコトデアリカト思フノデアリマスカ、要シマスカ、是ハ此ノ支出ニ付キマシテハ、監督ニ基キテ補助金ヲ交付スル際ニ指令ヲ與ヘテ、爾後又引續イテ監督ヲ致シマシテ、其ノ使用ノ適正ナルコトヲ期シテ行ク、サウ云フ考ヘテ居ルノデアリマスカ

○田村委員 大體了承致シマシテ、サウスルト今ノハ大政覽覽會ニ對スル經理指令デアリマスカ

○谷口政府委員 左様デアリマスカ

○田村委員 今ノ御説明ガ分リマシタガ、サウシマスト款項ノ流用ハ之ヲ許サナイ、經費ハ四分ノ一トスルト二百萬圓ツツ、之ヲ四期ニ分ツテ渡スト云フコトガ、明瞭ニナツタノデアリマスカ、ソコデ問題ハ、八百萬圓ノ豫算ヲ衆議院承認スルニ付キマシテハ、内閣ヲ代表スル内務大臣ガ、全責任ヲ帯ビル意味ニ於テ、答辯説明ヲシタ中ニ、改組ノ斷行シテ經費ハ節約スル、或ル意味ニ於テ實行豫算ヲ作ルノダ、實行豫算ト云フ言葉ハ使ツテ居リマセヌガ、經費ヲ節約シテ、サウシテ不用額アルニ付テハ補助金ヲ交付シナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ル











則トシテ指致シテ居リマス

○淺沼委員 サウ致シマス、此ノ豫備金支出ノ中ニ出テ參ツテ居リマス所ノ資金統制令、或ハ會社統制令ニ基キ經理ノ支

出ト云フモノニハ、自然此ノ中ニ職員ノ俸給ノコトガ含まレテ居ルト思フノデアリマシ

テ、當然十月十八日ニハ改正ガ行ハレルト云フコトニナツテ、其ノ法律ガソコデ全然

廢止サレルト云フコトハ豫想出來ナイト思フノデアリマス、隨テ當然豫算トシテハ次

年度一年分ヲ取ラレテ置クコトガ相當ト私ハ考ヘルノデアリマスガ...

○梅北政府委員 只今御質問ノ點ニ關シマシテハ、例ヘバ法令ノ施行期間ガ一年ナラ

一年ト云フ風ニナツテ居ルモノニ付キマシテハ、ナハリ一應ハ其ノ法律ノ施行期間ト

云フモノニ即應シテ豫算ノ取り方ヲスルト云フコトガ當リ前ダト存ジマス、サウシテ

其ノ上デ一年デ廢止スルコトガ出來ナイト云フ情勢ガマダ繼續致ス場合ニ於キマシテ

ハ豫算上ノ關係ト致シマシテハ、其ノ後ノ情勢ニ應ジマシテ、ナハリ豫算上ノ調整ヲ

スルト云フコトハ行ハレ得ルト思ヒマス、例ヘバ此ノ會社統制令ナドノ關係ニ於

キマシテハ、一應ハ豫算ガ切レマスガ、ソレト共ニ別個ニ、又其ノ機構ノ整備ト云フ

問題ヲ併セテ考ヘラレタ譯デアリマス、其ノ意味カラ致シマシテ、茲デ豫備金ノ支出

ヲ御願ヒシタト云フ次第ニナツテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 法律ノ年限限リニ於テ豫算ヲ組ムト云フコトハ當然ダト思フノデアリマ

改正ト云フモノガ豫想サレテ、廢止ニナルト云フコトハ豫想ガ付カナイ譯デアリマス、

隨テ是ハ見解ノ相違ニモナルデアリマスガ、私ハサウ云フ點ニ付テハ、何かノ考慮

ヲ拂フベキデハナイイカト云フ考ヘヲ持ツ者デアリマス

次ニ私ハ國土計畫ノコトニ付テ御同ヒシタイノデアリマスガ、此ノ豫備金支出ノ中

ニモ國土計畫設定ノ諸費トシテ、少額デハアリマスガ、豫備金支出ヲヤツテ居ラレ

テアリマス、之ニ基キマシテ、政府ニ於テハ國土計畫ノ要綱ヲ發表サレテ居リマス、

更ニ國土計畫ニ付キマシテハ、本議會ヲ通ジマシテモ、色々ノ觀點ヨリ論議ガ行ハ

レテ居ルノデアリマス、殊ニ私共ガ非常ニ注目ヲ惹キマシタノハ、國土計畫ニ基キ日本

ノ人口構成ノ上ニ於テ、農業人口ノ幾ラニスルカト云フコトニ付テ、大體ハ農林次官

或ハ企業院總裁カラソレムノ委員會議ニ於テ御答ヘニナツタヤウデアリマスガ、企業

院總裁ハ多分貴族院ノ委員會ダラウト私記憶シテ居ルノデアリマスガ、全人口ノ四割

位ガ大體農業人口トシテ至當デアルト云フコトヲ答辯サレテ居ルノデアリマス、農業

人口ガ四割デアルト云フコトハ、大體私共モ考ヘラレルノデアリマスガ、ソレナラバ

工業人口、商業人口、殊ニ商業人口ノ割合ヲ如何程ニ考ヘテ居ラレルノカ、是ガ若シ

聽クコトガ出來レバ幸ヒダト思ヒマスガ、農業ノ方面ハ四割ナラ四割ト大體心構ヘテ

決メテ居ル、併シ他ノ商業及ビ工業ニ付テハ決ツテ居ラスモノデセウカ、決ツテ居レ

スルノハ、實ハ大體ノ見當デゴザイマシ

テ、是ハ色々ト兵力ノ關係、或ハ國民精神ノ維持ノ關係ト云フヤウナコトカラ、ソレ

位ガ付テ居ルノデゴザイマスガ、マダ國土計畫自體ガ、最近サウ云フ國土計畫ヲ立

テナケレバイカナイト云フコトノ關係決定ヲ致シマシタヤウナ狀態デゴザイマス、是

ハ非常ニ重大ナ問題デアリ、國家百年ノ大計デゴザイマスノデ、一寸一朝一夕ニ本當

ノ計畫ハ出來ナイ、ソコデ大體二年位掛リマシテ、其ノ間ニ二十年後位ノ國土ノ計畫

ガドウ云フ狀態デアルト云フコトノ概略ノ算定ヲ行カウト云フヤウナ考ヘ方

デ、今實ハ國土計畫ヲ設定スル準備ヲ致シテ居ルニナリマシタヤウナ商業人口ハド

ウ云フヤウニスルカ、或ハ工場ハドウ云フ風ニ分散スルカ、或ハ又都市ハドウ云フ風

ニ分ルカ、或ハ又都市ハドウ云フ風ニシテハ、サウ云フヤウナコトハ考ヘナケレ

バナラスト云フコトハ思フテ居リマスガ、ソレドウ云フ風ニ内容ヲ定メルカト云フ

コトハ、今後ノ研究問題トシテ目下準備ヲ進メテ居ル譯デゴザイマス、ソレデ御質問

ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、マダ具體的ニ内容ヲ申上ゲル程度ニハナツテ

居リマセ

○淺沼委員 農業人口ノコトニ付テ、大體全人口ノ四割ト云フコトガ發表サレタ以

上、私ハ工業ノコトハ自ラ是ハ別ニ考ヘマシテモ、生産力擴充ノ途上デアルシ、更ニ考ヘラレル餘地モアルト思フノデアリマス

ガ考ヘラレル以前ニ考ヘラレテ然ルベキ

アルト云フヤウナ氣ガ私ニハスルノデアリマス、ナゼサウ申スカト云フト、今生産力

擴充ノ觀點ヨリ立ツテ考ヘテ見マスルナラバ、一番人手ノ足りナイノハ、何ト云ツテ

モ工業部面デアリマスカラ、自然工業部面デ足ラザル人間ヲ何處デ補フカト云フト、

農村ト商業部面ニ求ムル以外ニナイト思フノデアリマス、隨テ現在ノ商業ノ關係ヲ考

ヘテ見マスルナラバ、日本ノ國ニ於テハ、割合商業人口ガ多イト云フコトガ言ハレ

テデアリマス、隨テ其ノ多キ商業人口ノ中カラ、工業人口ニ人ヲ廻ハスト云フコトヲ

考ヘラレルトハ當然ダト思フノデアリマス、更ニ加ヘテ直ダ問題コナツテ參リマ

スルコトハ、中小工業ニ關スル問題デアリマスガ、中小工業者ノ點ニ付キマシテ

ハ、委員會其ノ他ニ於テ大體誠意ノアルコトモ私共ハ察知ガ出來ルノデアリマス、併

シ小商業者ノ問題ニ付キマシテハ、ドウモ私共ハ納得ノイカナイヤウナ點ガアルノ

デアリマシテ、此ノ點ニ付テモ併セテ御同ヒシテ見タイト思フノデアリマス、先ツ農

村人口ハ決マツタ、商業人口ヲドウスルカ、商業人口ノ大體ノ概數如何程ニ豫定シ

テ居ルカ決ツテ參リマスナラバ、小商業ニ對シテハ之ヲ維持育成スルノカ、或ハ整理統

合スルノカト云フ問題ガ必然的ニ私ハ生レテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フヤウ

ナ觀點ヨリ考ヘテ見マスナラバ、政府ハ經濟新體制要綱ノ中ニ於キマシテ、所謂中小

ト云フモノハ、私ハナハリ企業院ナラ企業

院ヲ中心トシテ行ハレハレコトガ、一番宜イト思フノデアリマシテ、今假リ企業院ガ中

心デアツテ各省又調査費用ヲ持ツテヤルト云フコトニナリマス、自然各省ト企業

院ノ間、或ハ各省間ノ關係ニ於テ旨ク行カナイヤウナ結果ヲ招來シヤシナイイカト云フ

コトモ考ヘラレルノデアリマスガ、各省デ調査ヲ致シマシタモノヲ企業院ニ於テハド

ウ云フ風ニ綜合統一サレルノカ私ハ御同ヒシタイト思フノデアリマス、ソレニ關聯

ヲ致シマシテ企業院ニ於テハ、國土計畫ニ基ク一ツノ設定委員會ト申上ゲマセウカ、

國土計畫中央委員會ヲ設ケラレマスヤウニ、國土計畫要綱ノ中ニハ現ハレテ居ルノデア

リマスガ、其ノ組織、内容、ヤルベキ仕事ト云ツタヤウナコトニ付テ御説明ケレバ

幸ヒダト考ヘテ居リマス

○小畑政府委員 國土計畫ニ於キマシテハ、只今企業院ノ第一ニ於キマシテ相當豫算

モ頂戴致シマシテ、マダ充實ト云フ程デモゴザイマセウガ、人員モ揃ヘマシテ、其ノ

方ノ中央ノ經度ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、御承知ノ通り、企業院ハ直接ニ行政

事務ニ携ツテ居リマセウノデ、各地方々々ノ各産業部面ニ付キマシテノコトハ各省ニ

依賴シテヤツテ載カネバナラヌノデアリマスルカラ、各省ニ分レテ豫算ヲ頂戴シテ居

ルヤウナコトモアルノデアリマス、唯國土計畫委員會ト云フモノハ既ニ出來テ居リマシテ、ソシテ各省ノ間ノ連絡ヲ能クヤツテ

ト云フヤウナコトガ考ヘラレテ居ルコトモ

私共同ツテ居ルノデアリマシテ、果シテ何レガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ議論

ノ餘地モ多量ニアラウト思フノデアリマスガ、私ハ現在ノ中小工業者ノ立場ヲ考ヘ

テ參リマスナラバ、工業方面ニ於テ重點主

義ヲ採用サレテ、能率ノ優秀ナル工場ニ於

テヨリ良キ品物ヲ造リ、更ニ少シノ材料ヲ

以テ多クノ生産ヲ擧ゲテ行クト云フコトニ

ナリマスナラバ、當然大工場ガ中心トナツ

テ參リマシテ、其ノ下ニハ中小工業ハ自然

置去リテ食ツテ行クヤウナ形式ニナラウト

思フノデアリマス、併シ此ノコトハ大工場

ノ下請工場トシテ抱合ハシテ行クト云フヤ

ウナコトガ言ハレテ居ルノデアリマシテ、

是ハ一應納得致シマス、所ガ商業ノ部面ニ

付テ考ヘテ見マスナラバ、製造ノ價格ガ決

マリ、卸賣ノ價格ガ決マリ、更ニ小賣ノ價

當然ダト思フノデアリマシテ、サウ云フヤ

ウナ方向ヲ商人ニ教ヘナガラ商人ノ行クベ

キ道ヲ教ヘタルト云フ風ニソレヲ處

然デハナカラウカト思フノデアリマスガ、

之ニ付テノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○小畑政府委員 洵ニ示唆ニ當リ御意見ヲ

拜聽致シマシテ有難ク感謝致シマスルガ、

本當ノ所ヲ申シマス、只今マデノ日本ノ

小商人ト云フモノハ、或ル場合ニ於テハ一

種ノ失業者ノ「ブル」ノヤウナ形ヲ成シテ

居ツタ點ガアルノデアリマス、是ハ淺沼

君ナドハ能ク御存ジダラウト思フノデ

ス、小サナ駄菓子屋ヲ出シマストカ、或ハ

小サナ八百屋ヲ出シカカフコトデ、失業

シタ人ガ何モスルコトガナイカラヤルト云

フヤウナコトモアリマシテ、普通ノ機構ニ

マシテ、サウ云フ轉變ノ難カシイモノヲ

時ニ出スト云フコトハ固ヨリヤツテハイケ

ナイコトデ、ソコデドウ云フ風ニソレヲ處

理シテ行カト云フコトニ付キマシテハ、

他ノ工業、農業其ノ他ノ將來仕事ノ分量ノ

殖ニル仕事ト、斯ウ云フ商人ノ體力、精神

力ト云フモノト能ク配合セマシテ、サウシ

テ適當ナル處理ヲ講ジテ行カナケレバナ

ラスト思ヒマス、又物資ノ供給關係カラ、

其ノ整理統合ト云フモノハドノ程度ニ行ハ

ナケレバナラヌカト云フコトモ、只今ノ狀

態ニ於キマシテハ、色々萬事ガ進行中デア

リマスノデ、最後ノ見透シト云フモノガ實

ハ付イテ居ラナイト云フヤウナ狀態デア

リマス、ソコデサウ云フ點ヲ互ヒニ配ミ合セ

マシテ、社會的ニ不安ヲ生ジナイヤウニ、

又其ノ仕事ニ從事シテ居ル人が成ベク犧牲

ヲ少ク出來ルヤウニト云フヤウナ方針デ

テ、此ノ小商業者ニハ對シテ行カナケレ

バナラナイト云フヤウニ考ヘテ居ルノデハ

アリマスルガ、只今仰セ下サイマシタヤウ

ナ經濟界ノ進ミ方ト云フモノハ是ハ否定ス

ベカラザル傾向デアリマス、サウ云フ點ニ

付キマシテハ政府ノ方デ十分ニソレヲ認

識致シマシテ、適當ナル措置ヲ講ジナケレ

バナラヌト思フテ居リマスガ、只今ノ所

ウ云フ風ナ人口ノ割合ニ商人ヲ維持シテ置

クノガ適當デアルカト云フコトニ付キマシ

テハ、マダ具體的ノ「パーセンテージ」ヲ申

上ゲルト云フ所マデ達シテ居リマセ

○淺沼委員 能ク諒承致シマシテ、次ニ國

土計畫ニ關スル費用ト云フモノガ本年度ノ



ニ此ノ日本帝國ノ國土計畫ヲ樹立スル、殊ニ日滿支ヲ通シ或ハ東亞共榮圈ヲ通シテ國土計畫ヲ考ヘルト云フヤウナ段階ニ達シテ居リマセムノデアリマスカラ、追々ト整備致シマシタナラバモウ少シ強クナ、モウ少シ外観ノ整ツタモノニナルト云フコトヲ豫想シナガラ實ハヤウテ居リマスルノデアリマス、所マダ満足スベキ形ヲ整ヘテ居ラナイト思フテ居リマス。

○淺沼委員 私ノ御尋ね致シマシタノハ、企業院ノ内部ニアリマスル所ノ國土計畫ノ委員、或ハ各省ヲ貫キマスル連絡委員會ト云ツタヤウナモノデハナイノデアリマシテ、此ノ國土計畫ノ要綱ニ基キマスト云フト、其ノ第五ニ「事務ノ機構並ニ其ノ運用」ト云フ規定ガアリマスルガ、其ノ中ニ「國土計畫ハ内閣總理大臣ノ主管トシ、其ノ事務ハ企業院ヲシテ掌ラシム」ソレカラ「内閣ニ官制ニ依ル國土計畫委員會ヲ設置シ、國土計畫ノ策定並ニ運用ニ關スル諸機關ヲシテシムルコト」此ノコトヲ伺ツタノデアリマス、内閣官制ニ基キ國土計畫委員會ト云フモノヲ此ノ規定通り作ラレバ其ノ構成並ニ組織ウカ、作ラレトスレバ其ノ構成並ニ組織ト云ツタヤウナモノニ付テ御伺ヒ出來レバ非常ニ宜イト思フノデアリマス。

○小畑政府委員 マダ其ノ官制ハ出來テ居ラナイノデアリマス、國土計畫委員會ヲ企業院決定ニ基キマシテ格ヘルト云フ官制ハ出來テ居リマセム、唯企業院内デ連絡シテヤウテ居ルト云フコトダケデアリマス。

○淺沼委員 私人出來テ居ラナイコトハ能ク分ツテ居ルノデアリマス、將來作ルトスレバ、其ノ内容機構ト云ツタヤウナモノニ付テ若シ何レバ結構ダト云フコトヲ言ツ

テ居ルノデアリマス。

○小畑政府委員 マダ具體的ニ此處申上ゲルト云フ所マデハ達シテ居リマセムノデアリマスガ、企業院ノ第一ノ方デ實ハ最近國土計畫ノ主任者ノ任命ヲ見マシタウナ状態ニナツテ居リマシテ、漸ク追加像算ヲ得マシテ、サウシテ主任者ガ決マリマシテ、目下其ノ仕事ヲスル書記官、事務官ヲ充實シツツアルヤウナ状態デアリマシテ、其ダ遲レテ居リマシテ申上ナイノデアリマスガ、ヤウテ人ガ決マツタト云フ程度デアリマス。

○淺沼委員 ソコデ今度ハ其ノ地方計畫ニ付テ伺ヒタイノデアリマスルガ、國土計畫ニ基キ地方計畫ト云フモノガ當然ナサレテ行カナケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、更ニ地方計畫ニ付キマシテハ本議會ニ地方計畫法案ガ出ルト云フコトニナツテ居リマシテ、出ナクナツタヤウデアリマスルガ、自然ソレダケ地方計畫ガ遅レルト云ツタヤウナ氣持ヲ私抱クノデアリマス、今マダ地方計畫ト云ツテモ都市計畫ニ基キモノガ多イノデアリマシテ、大體都市計畫ニ基キ地方計畫ノ傾向ヲ見テ居リマスルト、人口ガ集マツタ、都市ガ膨脹シタ、ソレニ伴フ都市計畫ヲ立テテ行ク、ソレニ伴フ色色ナ計畫ヲ立テテ行クト云フコトガ考ヘラレ、又サウサレテ來タト思フノデアリマスガ、ソレデハイカニ思フノデアリマシテ、ヤハリ國土計畫全體ノ建前ニ立ツテ地方計畫ト云フモノガ行ハレテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、ソコデ直私共ノ考ヘラレルトハ、假ニ地方計畫法案ト云フモノガ出ナイト云フコトニナリマシテモ、現在都市計畫法ニ基キテ所謂都市計畫東京

地方委員會、或ハ大阪地方委員會ト云ツタヤウナ委員會ガアレバ、其ノデアリマスガ、所持ツテ居リマスル内容ヲ此ノ際モウ少シ變革致シマシテ、單ナル都市計畫ト云フコトヨリカモ地方計畫ノ意味ヲ多量ニ含シテ地方計畫委員會ト云フヤウナモノヲ作ラレテ御考ヘナイデアリマセウカ、此ノ際何ツテ置キタイト思フノデアリマス。

○小畑政府委員 都市計畫ヲ地方計畫委員會ニ名前ヲ變ヘルカドウカト云フコトハ別問題デアリマスガ、唯先程申上ゲマシタヤウニ、國土計畫ト云フモノハ策定ニ非常ニ時間ヲ要シマス、又其ノ實行ニモ相當ニ時間ヲ要スルノデアリマスルガ、地方計畫ハモウ工場ガ立チマスルカ或ハ農地ヲ利用スルカカ云フコトデ一刻モ猶豫出來ナイ場合モゴザイマス、ソコデ地方計畫自體ハ、サウニ國土計畫ノ策定ヲ俟ツコトガ出來ナイデ進ンテ行カナケレバナラスト云フコトハ仰セノ通りデアリマス、ソコデ内務省ニ於キマシテ地方計畫ヲ掌ツテ居ルノデアリマスルガ、既ニ連絡ヲ執リナガラ地方計畫ト云フモノハ進メテ行キ、サウシテ法規ノ許ス範圍内ニ於テ、現在アリマスル色々ナ協議機關ト云フモノヲ利用出來ルダケ利用致シマシテ、サウシテ地方計畫ノ實行ハ必要ニ應ジテヤウテ行クト云フ風ニ進ンテ居ル次第デアリマス。

○淺沼委員 私人前ノコトヲ申上ゲタノデアリマス、都市計畫ニ基キ東京地方委員會ト云ツタヤウナ都市計畫ダケノコトヲヤナイデ、ヤハリ全般ニ互ツテ地方計畫ニ關スル色々ナコトヲ考ヘラレテヤウニシタラドウカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、ソレニ伴フ私共ガ議會ニ出テ參リマスル法律案ノ中デ、物ニ對スル規制等ノ法律ヲ見マス、例ヘバ木材統制法ニ關シマシテ全國ヲハツ「ブロック」ニ分ケテ會社ヲ作ルト云フコトガ言ハレテ居リマス、更ニ配電統制ニ付キマシテモ大體サウ云フヤウナ方向ノコトガ言ハレテ居ルノデアリマス、サウシマスルト將來國土計畫ニ基キ地方計畫ヲ作ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、今現ハレテ居ルヤウナ「ブロック」「ブロック」ト云フモノヲ作ツテヤラレルト云フコトヲ思フノデアリマスガ、大體「ブロック」ノ設定ノ如キモノハ出來テ居ラレバデアリマセウカ。

○小畑政府委員 國土計畫策定案ト致シマシテハマダ出來テ居ラナイノデアリマス、唯國土計畫ヲ策定致シマスル時ニ、事實ハ現在アルモノヲ材料ニシナケレバナラスト云フノハ當然デアリマス、電力ノ「ブロック」デアリマス、木材ノ「ブロック」デアリマス、ト云フモノガ、全體ノ日本ノ國土計畫ト云フモノカラ見テ一見餘リナイケナイト云フヤウナモノデアリマス、サウ云フモノガ、國土計畫ノ策定ノ材料ニナルノデアリマス、或ハ東京市ガアリ大阪市ガアリト同ジヤウニ考ヘラレテ、國土計畫ト云フモノハ策定サルベキモノダト考ヘテ居リマス。

○淺沼委員 サウナリマス、自然國土計畫ノ進行ニ伴フ行政機構ノ改革ト云フコトガ行ハレテ來ルト私ハ思フノデアリマシテ、是ハ中央ニ於ケル行政機構モ勿論デアラウト思フノデアリマス、例ヘバ通信交通ニ關スル事務ガ考ヘテ見マシテモ、此ノ點ハ内務省ニハ港灣ガアリ道路ガアリ、更ニ

選信省ニハ航空並ニ海運通信ガアル、唯鐵道省ニハ鐵道自動車ガアル、斯ウ云フ工合ニ分レテ居ルモノモ、自然國土計畫ノ設定ニ伴ツテ斯ウ云ツタヤウガ交通運輸ニ關スルモノヲ一ツニ纏メテ行カナケレバナラスト云フコトガ、中央ニ於テモ私ハ出來テ來ルト思フノデアリマシテ、更ニ地方計畫ニ伴フテ考ヘテ見マスルナラバ、今一ツノ基礎ニナラレ、例ヘバ木材統制其ノ他配電統制ニ於テ「ブロック」制ガ採用セラレルト云フコトガ一ツノ地方計畫ノ基礎ニナルト云フコトニナリマスナラバ、今ノ中央行政機構ト地方府縣トノ間ニ、當然東北廳トカ、關東廳トカ、中部廳ト云ツタヤウナモノガ豫想セラレノデアリマスガ、大體サウ云フ方向デアリマセウカ。

○小畑政府委員 只今ノ所其ノ點ニ付キマシテ、具體的ノ研究ハ出來テ居リマセム、ドウ云フ風ニ進ミマスルカ、其ノ國土計畫ノ策定ニ伴ヒマスル官廳機構ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ、マダ申上ゲル程ノ案ガ出來テ居ラナイノデアリマス。

○淺沼委員 ソコデ最後ニ一ツ御伺ヒシタイノハ、今各省ノ間ニ含マレテ居リマスル事業ヲ見マスルト、國土計畫ノ性質ヲ持ツタモノガ多量ニアルト思フノデアリマス、例ヲ二三點舉ゲテ見マスルナラバ、内務省ニ於キマスル所ノ都市計畫、或ハ地方計畫、更ニ農林省ニ於キマスル所ノ農村經濟更生計畫、或ハ開墾計畫、或ハ灌漑用水ノ統制ニ關スルモノ、更ニ厚生省ニ付テハ勞働ノ配分計畫、或ハ國民厚生計畫ト云ツタヤウナモノ、更ニ商工省ニ付テハ工場地方分散計畫、或ハ工場用水ノ統制ニ關スル計畫、更ニ拓務省ニハ開拓民ノ計畫、或ハ移民ノ

計畫、更ニ鐵道省ニハ交通統制計畫、又選信省ニハ電力統制、或ハ海運統制計畫、水利統制ニ關スル計畫、所管ノ關係上當然河川統制ニ關シマシテ内務省所管デアリハレナケレバ、本當ノ國土計畫ノ意味ハナサスト思フノデアリマシテ、是等ノ計畫ニ付テハヤハリ國土計畫ノ關係ト下ニナサレツツアルト解釋シテ宜イノデアリマシテ、○小畑政府委員 當然サレナケレバナナイ管デアリマスルガ、先程申上ゲマシタヤウニ、國土計畫ノ中心ト云フモノガ、實ハ昨今出來上ツタト云フ状態デアリマスルガ、今現マデハ遺憾ナガラ十分ナ連絡ガ執レテ居ルトハ思ハレナイノデアリマス、今更ハ御意見ノ通り、出來ルダケ緊密ナル連絡ヲ執ツテ、サウシテ將來ノ國土計畫策定ニ障礙ヲ來サナイヤウニシタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス。

○淺沼委員 能ク諒承致シマシタ、私ハ各省ニアリマスル所ノ國土計畫ノ性質ヲ持ツテ居ルモノガ、ヤハリ綜合一體トナツテ行カナケレバナラスト思フノデアリマシテ、是ハ小サナ問題デアリマスルガ、現ニ東京市デ經驗シテ居リマスルモノヲ一ツダケ申上ゲマスルナラバ、東京市デハ人口ノ増大ニ伴ヒマスル所ノ水道計畫、水ノ足りナイコトデ始終悩ムテ居ルノデアリマス、而シテ昭和十九年度ノ完成デ小河内ノ貯水池ノ計畫ヲヤツテ居リマス、是ガ完成ヲシナイ中ニ、更ニ奥利根カラ利根川ノ水ヲ東京マデ引ク計畫ヲ今ヤリツツアルノデアリマス、所ガ其ノ半面ニ於キマシテハ、内務省ニ利根川川統制計畫ヲカ、斯ウ云フモノガ

アリマシテ、ソレトハ連絡ヲ持ツテ居ルヤウデアリマスルガ、併シ關東地方一圓ヲ見テ、一體ドウ云フ工合ニ人口ノ構成ヲ計テ、産業ノ配置ヲドウヤツテ、更ニ此ノ計畫ヲドウスルカト云フ觀點カラ之ヲ考ヘラレテ居ラナイノデアリマス、サウ云フ點ハ十五年モ先ノコトヲ今カラス、サウシテ十五年來ト云フコトヲ今カラス、サウシテ十五年ノ間ニハ非常ニ變化ガ世ノ中ニ來ルト云フコトニナリマスカラ、一旦ヤリ掛ケタ仕事ヲ又變ヘナケレバナラサレバ別デアリマスガ、ヤハリ其處ニ人ガ集ツテ來テカテカ何カ施設ヲシテ行クト云フコトニナリマス、小サナ問題デアリマス、非常ニ矛盾ガ現ハレテ來ルコトヲ吾々ハ看取スルノデアリマシテ、殊ニ現在ニ於キマシテハ鐵道省デハ八時間東京カラ下關マデ行ケル丸列車ノ計畫等モヤツテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナコトマデ突詰メテ考ヘテ見マスルナラバ、本當ニ綜合サレテ、統一シテ計畫ヲ持ツ必要ガアラウト思フノデアリマス、一日モ早ク私ハサウ云フ傾向ニ進ムヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマシテ、國防國家建設ノ爲ニハ、國土計畫ガ何ト云ツテモ私ハ必要ダト思フノデアリマス、ソレハ唯單ニ日本ダケノ問題デアリマシテ、日滿支ヲ貫キ、更ニ南洋マデモ含メテ計畫ヲ立テナケレバナラスト云フノデアリマス、サウ云フヤウナ觀點ニ立ツテ、生産力擴充、國土防衛ト云フ立場カラ考ヘテ見マスルナラバ、現在生産力ハドウ云フ地點ニ集中シテ居ルカト云フヤウナコト工場ノ都市集中ノ傾向、人口ノ都市集中ノ傾向ト生産力擴充ノ關係等ヲ考ヘラレマシテ、是等ノ問題ニ付キマシテハ一日モ

早ク何等カノ方策ヲ講ジナケレバナラスト思フノデアリマス、折角調査ノ豫算ガ取ラレテヤラレト云フコトヲ伺ヒマシテ、大イニ私ハ意ヲ強クスルノデアリマスガ、企業院ニ於ケル強クシテハ、總テノ計畫ヲ統制シテ一セラレヤウニ最大ノ努力ヲ拂ツテ戴キタイト云フコトヲ要望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス。

○野口委員代理 池本君

○池本委員 法政局長官ノ御越シテ願ツテ居リマス、昨日留保致シマシタ質問ヲ致シタイト思ヒマス、私ノ質問ハ唯一點デアリマス、大政覽覽會ノ役員ノ身分ニ付テコトデアリマス、今日デハ最早後ノツツカリノヤウナ御尋ねデアリマセウカ、其ノ役員ノ身分ハ公務員デナイ、サウ云フコトガ過日ノ豫算總會ノ席上ニ於テ明カニサレマシタ、ソコデ伺ヒマスガ、法律上カラハ左様デアルトハ明カデアリマス、レドモ、之ヲ今日ノ社會的認識カラ見マシテ、第一ニ翼贊會ト云フモノハ總理大臣ガ其ノ總裁ニナツテ居ラレ、又常ニ政府ト表裏一體ヲナスモノデアルト云ハレテ居ル、更ニ廣く政府當局ノ説明ニ依リマシテ、高度ノ政治性ヲ持ツモノデアルト云フコトヲ高調サレテ居ルノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘマシテ、只今申シマスル如ク之ヲ實際上社會通念或ハ社會的一般認識カラ見マシテ、ソレ等ノ人々ノ地位ガ公務員デアラ、事口公務員以上デアルト社會カラハ認識セラレルノデアリマスガ、サウ云フ認識ガ無理デアリマセウカ、是ハ少シ御尋ねノ仕方ガ悪イカ分リマセウカ、諸君實上ハ公務員タルノ性質、對外的認識ヲ受ケルモノデアルト私ハ見ルノデアリマス、ガ、其ノ點







ト、一ツハ排他獨善ノ傾向ヲ持ツテ居ル、已レノミガ天下ノ選民デアラガ如キ而構ヘヲシテ、自分以外ノ者ハ全部惡者デアラ、間違ツテ居ル者デアラト云フ風ニ思フテ居ル、斯ウ云フ者ガ出来タナラバ、一是ハ政治問題ニナリマスガ、日本ハ此ノ事變ヲニ於テ舉國一致ハ出来マセズ、舉國一致ヲ感服シ、皆職分奉公ニ於テ臣道實踐ヲナサントスル、一億國民ノ心ヲ感服シテ其ノ行動ヲ誤ルヤウニ導イテ行クノガ大政翼賛會デアラ、從來ノ大政翼賛會ノ考ヘ方、行動ト云フモノハ全國到ル處ニ相剋摩擦、獨善排他ノ思想、サウシテ其ノ裏ニハ赤ガ閃イテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ疑ヒヲ持ツテ居ル、ソコガ改組ヲ要望スル全天下ノ動キデアラト私ハ思フ、其ノ點ヲハツキリ頭ニ入レラレテ、議會ニ於テ言明セラレ説明セラレ、約束セラレタコトハ寸毫ト雖モ是ハ疎カニシテハナラヌノデアリマス、私ハ議會ノ爲ニ言フノデハナクシテ天下ノ爲ニ事變解決ノ爲ニ私共ハ申スノデ、感情論デアナイ、私共ハ翼賛會ガシテバシタ所デア、ソナモノニ依ツテドウサレルトモ思フテハ居リマセズ、感情論デアナイ、併シヤリ方方天下ノ爲ニ惡イトスレバ吾々ハ天下ノ爲ニ起ツテ政府ヲ支持鞭撻シナケレバナラヌ、一應政府ノ言明ヲ信賴シ、政府ヲ吾々ハ支持シテ居ル、吾々ガ反對スル多年ノ同志ト決別ツテマデモ政府ヲ絕對ニ支持シテヤツテ行カントスルノハ、一ニ時局ヲ憂ヒ、一ニ政府ノ言動ヲ信賴シテ、其ノ改組ノ實行性ヲ期待スルガ故デアラ、ソレガ實行出来ナカウタラ大變デアラ、議會ガ濟ンダラモウ議會ハ發言權ガナイト考ヘタラ、ソレハ素町人ノ根性ニナル、田夫野人ノ心

ニナルノデアリマシテ、苟モ天下ノ廣居ニ立ツテ居ル者ハ、サウ云フ考ヘ方ハ持テルモノデアラナイ、是ハ餘計ナ話デアリマシテ、前提トシテ諒ヲシテハアリマシタガ、私ハ申上ゲテ、ソコデ二三承リタイ

○村瀨政府委員 只今前段ト致シマシテ、政府トシテ言明致シタコトニ對シテ御意見ガアツタノデゴザイマスガ、私共ノ承知致シテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、翼賛會當局トシテモ、勿論政府ノ言明ヲ無視スルト云フヤウナコトハナカルベキコトヲ確信致シテ居リマスシ、況ヤ政府ト致シマシテハ、議會ニ於ケル言明ヲ十分ニ尊重致シマスコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト無難監督ハ、補助金ヲ與ヘ、政府ト表裏一體ト云フ、特ニ大キナモノデスカラ、監督セラレ、サウ云フ抽象的ナコトハ是ハ承ルマデモナイコトデアリマス、サウナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ事例ニ關シテハ、實ハ一總裁デアリ、表裏一體ナラナイコトハアリ人ガ二ツヲ兼テ居ル、ソコデ總理大臣ガ總裁ヲ監督スルト云フコトハ、自分ガ自分ヲ監督スルト云フコトニナルノデスカ、實際ハ大政翼賛會ノ監督ハソコニ權限ノ紛着ガアルヤウニ見エルト、世間ニ疑義ヲ挾マシメル所以ガアルト思フノデアリマス、大政翼賛會ノ今後ノ行動取極ト云フコトヲ今仰セラレマシタガ、其ノ取極ノコトニ付テハ後デ私ハ承リマスガ翼賛會ノ實際ノ監督ノ局ニ當ル者ハ、何局ノ何人ガ之ヲヤルノデアラカ、是ガハツキリ致シマセズト、吾々ガ大政翼賛會ガ間違ツテ居ル時、間違ツテ行動ヲ今後セントスル時、此ノ監督權ノ實際ノ局ニ當ツテ居ル者ガ分ツテ居マセズト、ソレヲ鞭撻シ、交渉スルコトガ明確ニナリマセズ、ソコデ實際今後政府ガ先ニ立ツテ改組サレルデセウガ、改組シタ後ノ行動ニ付テノ監督ノ局ニ當ツテ行クノハ政府ノ所ト、ドウ云フ人ガ當ツテ行クノデアリマスガ

○田村委員 只今前段ト致シマシテ、政府トシテ言明致シタコトニ對シテ御意見ガアツタノデゴザイマスガ、私共ノ承知致シテ居リマスル範圍ニ於キマシテハ、翼賛會當局トシテモ、勿論政府ノ言明ヲ無視スルト云フヤウナコトハナカルベキコトヲ確信致シテ居リマスシ、況ヤ政府ト致シマシテハ、議會ニ於ケル言明ヲ十分ニ尊重致シマスコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

免セシメル強力ナル監督權ヲ用ヒ得ルト判斷シテモ宜シウゴザイマスガ

○村瀨政府委員 勿論用ヒ得ルト考ヘテ居リマス

○田村委員 サウ致シマスト、今マデノ大政翼賛會ノ職員ノ動キト云フモノハ、實ニバラ／＼デ、先程法制局長官ノ話ニ、生マレテマダ間モナイカラ色々ナ間違ヒモアルシト言ハレタ、私ハソレハ諒承致シマスガ、今後ハサウ云フコトガアツテハ罷リナラヌノデアリマス、ソコデ此ノ大政翼賛會ノ特色ナ人々ガ地方ニ行ツテ講演ヲシタリ、色々ナコトヲヤツテ居ル、ソレガ實ニ區々デアリ勝手氣儘ナコトヲヤツテ居ル、議會デ問題ニナツタ佐々木某、私ハアンナ者ハ飛バツチリダト思フガ、アア云フ者ガ勝手ナコトヲヤツテ居ル、アレハ實ニ行ツタノデ、自分ガ呼バレタノデアリ、アア云フ者ガ勝手モアツテ、自分ハ大政翼賛會ノ方カラ來タノダカラ、才前等ノ人ヲ集メテ聽ケト言ツテ、其ノ間ニ一貫性統一性ガナイ、而モ赤ノ手先ミタヤウナコトヲ言ツタリ、私多クノコトヲ承知シテ居リマスガ秘密會デアリマセスカラ遠慮シテ置キマシテ、今ハ實行セントスル政府ニ敬意ヲ表シテ其ノ内容ハ申上ゲマセズガ、所謂佐々木某ノ如キハ飛バツチリデアアル、サウ云フ言動ガアツテハナラヌカラ、後ニ取極ルノハ後ノ問題デアツテ、其ノ前ニ政府ノ補助機關デアリ、政府ト一體タルモノノ行動ニ付キマシテハ、儼トシテ方針ヲ授ケナケレバナラヌ、言動ニ對シテ、今人事ノコトハ明確ナル御答辯ニ依ツテ了承致シマシタ、思想言動等ノ上ニ付テハ、豫メ政府ガ監督ヲシテ統制ヲスル前ニスル、ヤツタ後ニ取極ルノハ後ノ

問題デアアル、ソレハヤラナケレバナラヌケレドモ第二ノ問題デアアル、第一義的ニハ事變下ニ於テ政府ト表裏一體ノ補助機關トシテ、所謂舉國國民運動展開ノ急先鋒トシテ、ルモノ、後ニナツテ間違ツタカラソレヲ取極ルコト云フコトデア、政府ハ無責任ト言ハナケレバナラヌ、其ノ以前ニ之ヲ統一シテ、言論ノ方針ヲ授ケルトカ、其ノ行動ニ對シテ一定ノ職務規律ト云フコトデアハナク、モツト強イ意味ニ於テヤラナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フ御方針ヲ持ツテ居ラレルカドウカ

○田村委員 今委員長カラ御質シマシタ居ル點デアリマスガ、監督ノ問題、人事ノ問題、言動ノ問題ニ對スル點ハ、承ツテ大體諒承致シマシタ、其ノ通り實行シテ戴カナケレバナラヌト思フテ居リマス、問題ハ實行ダケデス、其ノ次ニ第二段ノ問題ハ、豫算總會ニ於テ、政府ハ言明シテ居ラレ、所ガ取極ノ内容ハハツキリシテ居リマセズ、取極ニモ色々アル、マア其ノ程度デ君餘リヒドイコトヲ言フノモ取極デアラ、シタラ承認シナイト言フノモ取極デアラ、ソコデ取極ノ制約ヲ加ヘル權限ガ幾ニ付テ參リマセズト、監督權ノ實行性ガ疑ハレルノデアリマス、其ノ取極 是ハ公事結社デアツテ、政治活動、政治行動ハ取極ル、若シ役員ノ中ニ政治行動ヲナス者アリタル場合ハ、其ノ取極ハドウ云フ程度ニシラレルノデアリマスガ、ハツキリ御説明ヲ願ヒタイ

○村瀨政府委員 度々申上ゲマシタウニ、表裏一體ノ關係ハ、左様ナ關係ヲ十分ニ確保スルト云フ意味ニ外ナラナイノデアリマス、是ハ政府ト翼賛會トノ關係デアリマスガ、其ノ次ニ翼賛會ノ内部ニ於テ、色々個人ノ人ガ出テ參リマスル場合ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、只今佐々木某ノ話ガ出マシタノデ、其ノ關係ニ於テ一言附加ヘタイト思ヒマス、翼賛會ニ於キマシテハ、職員ヲ各方面ニ派シマスル場合ニ於テ、只今仰セニナラレマシタウニ、大體ノ方針ヲ決メテ置キマシテ、ドウ云フ事項ヲドウ云フ風ニ話スルカト云フヤウナコトヲ、打合セテ出テ出テ參ルノデアリマス、佐々木某ハサウ云フ正式ノ派遣デナカウツヤウニ聞イテ居リマスルガ、翼賛會ハ翼賛會トシテ出テ參リマスル場合ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ、十分ニ慎重ヲ考慮ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ是等ノ點ニ付キマシテハ、今後尙ホ一層周到ナル注意ヲ加ヘルヤウニ、政府ト致シマシテモ、考慮致シタイト、斯様ニ考ヘマス

○山本委員長 一寸關係シテ委員長カラ長

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

○山本委員長 參ラナケレバナラヌコトハ分ツテ居リマスガ、此ノ頃ハドウカ知りマセズガ、サウ以前デナイ最近ニ、此ノ二人ノ人ハ暴言ヲ吐イテ歩イテ居ル、アナタハ極々眞面目ニサウ御考ヘニナツテ居リマスガ、之ヲ有馬サナリ、近衛サナカラ呼ンデ、内輪ニドウモ常任總務ガ會ノ惡口ヲ言ツタリ、邪魔ニナルコトヲ言ツテ困ルト云フヤウナコトヲ、近頃ハヤラヌヤウデスカ、ドンナノデスカ、アナタハサウ仰ツシヤツテモ、實行ハサレテ居ラヌト思マデスカ、ドウ云フモノデスカ

○田村委員 委員長ハ先刻謙讓ノ美徳ヲ現サレマシテ、名前ヲ申サレマスガ、私ハ申上ゲル大政翼賛會ノ上ノ方ノ所謂常任總務、是ハ大政翼賛會行動ヲ決スル中心人物デス、

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

○田村委員 只今前段ト致シマシタガ、是ハ内閣書記官長ノ系統ニ相成ルノデアリマス、人事ノ關係ニ付キマシテハ、十分ニ監督ヲ致シテ參ルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス

○田村委員 サウシマスト、間違ツテ行動、思想ヲ持ツ者ガ、大政翼賛會ノ職員ニナル共ノ職員ハ大體大政翼賛會ノ事務總長ガ居リ、ソレハ、其ノ局長モ、ドウ改組サレルカ知りマセズガ、其ノ中心ガ、ソレニ對シテ免權ヲ持ツ課デアリマスガ、ソレニ對シテ監督權ヲ其ノ上ニ政府ガ持ツテ居ル、サウスト書記官長ハ色々ナ判斷ヲ監督者トシテシナケレバナラヌ、其ノ判斷ニ基イテ任

○田村委員 委員長ハ先刻謙讓ノ美徳ヲ現サレマシテ、名前ヲ申サレマスガ、私ハ申上ゲル大政翼賛會ノ上ノ方ノ所謂常任總務、是ハ大政翼賛會行動ヲ決スル中心人物デス、



其ノ常任職務ニシテ世間ヲ胡麻化スヤウナ  
コトヲシテ居ル、政黨のナ行動ハイカス、  
斯ウ云フ、之ヲ思想團體トシテ中野正剛君  
ハ東方會ヲ振興社ト改メ、橋本欣五郎君ハ  
大日本青年黨ヲ大日本赤誠會ト改メ、此  
ノ振興社、大日本赤誠會兩方トモダト思ヒ  
マスガ、總裁ト云フヤウナ名前ニナツテ居  
リマス、而シテ其ノ行動ハナト云フコト  
ヲ先程法制局長官ハ御話デアリマスガ、事  
實ハ全國的ニアル、私ノ存シテ居リマス所  
デハ、振興社並ニ大日本赤誠會ノ運動ハ、  
明カニ各地方ニ於テ政治行動ヲ執ツテ居リ  
マス、或ハ既成政黨關係ヲト云フノデ、之  
ヲ排撃シテ見たり、自分ノ一派ガ政治的ニ  
進出スル行動ヲ露骨ニ執ツテ見たり、大政  
翼會常任職務ノ名ニ於テ、地方長官ヲキ  
メ付ケテ、或ハ之ヲ指導シテヤツテ居ル  
云フヤウナ事例ハ枚擧ニ追アリマセス、必  
要デアリマスナラバ幾ラデモ私ハ事實ヲ書  
イテ差上ゲテモ宜シ、斯ウ云フコトヲヤ  
ツタ場合ニ、其ノ役員ノ下ノ動キガドウデ  
アルカ存シマセガ、役員ノ指導ニ當ツテ  
居ル而モ常任職務ハ、準備委員會以來問題  
ニナツテ居ル、ニモ拘ラズ取締、戒防ト云  
フコトヲヤツテ居ラナイ、一ツヲ取締ラ  
ケレバ他ヲ取締ル譯ニ行カナイ、儼トシテ  
一ツヲ律スレバ自ラ天下ヲ風靡セシムル  
思フ、ソコニ政府ガ確固タル方針、儼タル  
態度ガナケレバナラズガ、サウ云フコトヲ  
ヤツテ居ナイ、大政翼會ノ方針ニ反スル  
行動ヲ執ツタ場合ニ、最高ノ首腦部ト雖モ、  
衆議院裁ノ權限ヲ持ツタ總裁ハ直チニ之ヲ  
戒防シテ、改メサレバ之ニ制裁ヲ加ヘナケレ  
バナラズト思フガ、今後改組ニ付テハ御方  
針ハ、斯ウ云フ時ニドウナサルノデスカ

○村瀨政府委員 將來ノ問題ト致シマシテ、  
若シモ役員ニ只今申サレマスルヤウナ不  
當ナ行爲ガアリト致シマスナラバ、勿論十  
分之ヲ是正シテ參ラナケレバナラズト思ヒ  
マスガ、現實ノ問題トシテハ私ハ詳細承知  
ノ致シテ居リマセヌノデ、現實ノ問題トシテ  
ノ御答ヘハ致シ難ネト思ヒマス

○田村委員 是カラ改組ハ天下ノ大問題デ  
アリマスカラ、改組並ニ今後ノ大政翼會  
ノ行動、事實ノ問題ハ大體監督權ノ中心モ  
分リマシタカラ、吾々天下ノ憂ヒヲ共ニス  
ル者ハ、事實ガアリマスレバ之ヲ明カニシ  
テ、政府ハ進言スルナリ御取次ギシマスカ  
ラ、政府ハソレニ基イテ開達ヒノナイヤウ  
ニヤツテ裁カナケレバナラズト思フノデア  
リマス

アトハ二、三デアリマスガ、昭和十六年二  
月二十五日東京ノ各一流新聞其ノ他全國ノ  
新聞ニモ出テ居ルノデスカ、二十五日附  
ノ夕刊ニ大政翼會ノ有馬事務總長ガ、大政  
費會改組ニ關シテ云々ト云フ記事ガアツテ、  
此ノ中ニ政府側ノ答辯ニハ頓着ナイ、ソ  
ノコトニ依ツテ翼會ノ本質ハ變ラナイ、  
議會ニ於ケル質疑ナント云フモノニハ頓着  
ナイ、斯ウ云フコトガ體々シタ新聞ニ出テ  
居リマスガ、此ノ問題ヲ無論法制局長官モ  
職責上御覽ニナツタト思フ、事實ヲ實サレ  
タカドウカ、此ノ事實ノ有無ハ如何デアリ  
マスカ

○村瀨政府委員 先程申上ゲマシタ通り、  
議會ノミニ限リマセスガ、議會ニ於ケル政  
府トシテノ言明ニ對シテ、政府ハ十分ニ責  
任ヲ重シルコトハ申サマデモナイノデア  
リマシテ、此ノ點ニ付テハ先程モ特ニ申上

ゲマシタヤウニ、翼會ノ當局者ト致シマ  
シテモ、異ツク考ヘヲ持ツテ居ラナイト  
云フコトハ、私ノ確信ヲ致シマス所デゴザ  
イマス、政府ト致シマシテモ、其ノ言明ニ  
對シテ十分ノ責任ヲ持チマスコトハ、是亦  
申サマデモナイコトデアリマス

○田村委員 ソレハ能ク分ツテ居ルノデス  
ガ、斯ウ云フ新聞記事ガ出タノハ、大政翼  
會カラ出テ居ル、突詰メテ申シマスナラ  
バ、事務總長ノ新聞記者トノ「インター  
ヴュー」ニ於テ、斯ウ云フモノガ出タノダ  
ウト思ヒマス、「インターヴュー」トハ書イ  
テ居リマセスガ、斯ウ云フ事實、斯ウ云フ  
不都合ナコトヲ、大政翼會ノ意向トシテ  
新聞ガ傳ヘテ居ル、而モソレガ一、二ノ新  
聞デハナイ、東京、大阪一流ノ新聞ガ三  
段、五段抜デ書イテ居ル、此ノ事實ハ是ハ  
政府ノ今ノ法制局長官ノ仰セラレタ考ヘ方  
ト逆ヲ行ツテ居ル、斯ウ云フ逆ヲ行ツテ居  
ルコトハ、今日ノ而モ議會デ翼會ノ八百  
萬圓ノ豫算ガ通過シタ直後ニ、不謹慎極  
大ナル責任アル政府トシテ、斯ウ云フ新聞  
ニ流布セラレタ事柄ノ真相ヲ、御調査ニナ  
ラケレバナラズガ、此ノ新聞ニ出テ居リマ  
ス大政翼會ノ意向トシテ傳ツテ居ル事實  
ヲ調査セラレマシタカ、此ノ事實ヲ聽タノ  
デアリマス

○村瀨政府委員 私ノ承知シテ居リマスル  
範圍ニ於キマシテハ、翼會當局ニ於キマ  
シテハ、全然議會ニ於ケル答辯ハ、ドウデ  
モ宜イト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居ナイト  
云フコトヲ、確信ヲ致シテ居リマス

○田村委員 確信セラレテ居ルコトハ御尤  
モ、確信セラレナケレバ大變ナコトダト思

大政翼會ニハ持タシメルト云フコトハ、  
矛盾スルヤウニ私共ハ思フノデスカ、此ノ  
機會ニ出來マスナラバ、公事結社ト大政  
翼會ノ行動ニ政治性ヲ附與スルト云フコ  
ト、世間ハ大體サウ思フテ居ルノデスカ、  
ソコガ矛盾著スルヤウニ思フノデスカ、  
明確ニ其ノ點ヲ承ツテ置テ方ガ御都合デア  
ルト思フノデスカ

○村瀨政府委員 翼會ガ公事結社デア  
ルカドウカト云フコトハ、度々論議セラレ  
タル問題デゴザイマス、政府ト致シマシテ  
返シテ申シテ居リマスルノデ、其ノ理由ハ  
大政翼會ト云フモノハ色々ノ仕事ヲ致ス、  
即チ一口ニ申シマスナラバ大政翼會運動ノ  
推進機關トシテノ活動ヲ致シマスルノデ、  
其ノ活動ヲ致シマスル場合ニ、政府ト關  
係ニ於キマシテハ、上意下達ヲスル、又ハ  
下情上通ヲスルコトモアリ得ル、併シナガ  
ラ下情上通ト云フヤウナ場合ニ於キマシテ  
モ、獨自ノ政治的ノ見解ヲ主張スルト云フ  
ヤウナ意味ヲ以テ活動スルモノデハナイノ  
デアリマス、隨テ其ノ意味ニ於テ政事結社ニ  
該當シナイト云フコトヲ、繰返シテ申シタ  
シテハ、廣ク公事結社ト非公事結社ト云フ  
觀念ガアリマシテ、公事結社ト公事結社ニ  
該當シナイ公事ニ關スル公事結社ト包含ナ  
ラシテ居リマスノデ、大政翼會モ其ノ公  
事結社ニ當然ニ該當スルモノデアラバ考ヘ  
テ居ル者デアリマス、問題ハ此ノ大政翼會  
會、或ハ廣ク翼會運動ト云フモノノ性質デ  
アリマスガ、此ノ大政翼會會或ハ翼會運動  
ニ付テ、高度ノ政治性ヲ有スルト云フコト  
ガ屬言ハレテ居ルノデアリマス、此ノ高度

ノ政治性ト云フ言葉ハ、法律上ノ用語ノヤ  
ウナ嚴格ナ意味ノモノデハナイノデアリマ  
ス、其ノ意味スル所ハ、所謂狭イ意味ノ精  
神運動デナイト云フコトト、他面ニ於テ政  
黨派ガ從來行ツテ居リマシタヤウナ政治  
運動ヲナスモノデナイ、斯ウ云フ意味デア  
ルノデアリマス、モウ少シ繰返シテ申シマ  
スレバ、此ノ大政翼會會或ハ大政翼會運動  
ト申シマスノハ、萬民翼會、臣道實踐ノ體  
制ヲ確立シヨウトスル超黨派の、舉國的、  
即チ全體の運動デアリマシテ、其ノ使命  
達成ノ爲ニ上意下達、下情上通ノ機能ヲ行  
フモノデアル、隨テ其ノ意味シマス所ハ決  
シテ一内閣、一黨派、一個人ノ要請ニ基ク  
モノデハナクテ、國家的ノ要請ニ基クモノ  
デアル、更ニ言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、  
特定ノ政策ヲ貫徹スルト云フヤウナ、特定  
ノ政策ノ爲ニ必要トセラレル所ノ一時的ノ  
要請ニ基クモノデハナクテ、如何ナル政策  
ニ對シテモ、強力ニ進行シ得ル爲メ、所謂恒  
常的ノ要請ニ基イテ居ルモノデアリマシテ、  
即チ恒常的ニ如何ナル政策ニ對シテモ、強  
力ニ之ヲ實踐シ得ルヤウナ所謂萬民翼會、  
臣道實踐ノ體制ヲ確立スルト云フコトガ、  
其ノ目的デアルノデアリマス、只今申シマ  
シタヤウナ意味ニ於キマシテ、之ヲ廣イ意  
味ノ政治ニ關スルモノト云フコトハ言ヒ得  
ルト思ヒマスガ、從來ノ普通ノ政治ト云フ  
モノトハ全然其ノ趣異ニ致シテ居ル、換  
言スレバ從來ノ一般ノ政治活動トカ、政治  
カ申シテ居リマスモノヨリモ、一段高イ意  
味ニ於ケル政治ト云フモノガ、其ノ意味セ  
ラレテ居ル所ノモノ、斯様ニ考ヘテ居ルノ  
デアリマス、高度ノ政治性ト申シテ居リマ  
スノハ、其ノ意味デアリマス、要スルニ其

○伊藤(五)委員 一寸ソレニ關聯シテ御許  
シ願ヒマス、唯一點ダケ御尋ネ致シタイ  
ト思ヒマス、ソレハ大政翼會ガ公事結社デ  
アルカ、或ハ公事結社デアルカト云フコト  
ノ最高解釋ハ政府ニ於テナルベキモノデア  
ルカ、或ハ裁判所ニ於テナルベキモノデア  
ルカ、是ハ私ハ研究シナケレバナラズ問題  
デハナイカト思ヒマスガ、法制局長官ノ御  
答辯ヲ願ヒマス

○村瀨政府委員 行政法規運用ノ上ニ於キ  
マシテ、解釋ヲ決メテ法律ノ適用ヲ致サ  
ナケレバナリマセヌノデ、其ノ意味ニ於テ  
解釋ハ、政府ニ於テ之ヲ決定スルコトト存  
ジマス、尤モ獨リ此ノ問題ニ限ラズ、色々ノ問  
題ガ裁判上ノ問題ニナリマス場合ニ於テ、  
政府ノ解釋ヲ以テ裁判所ヲ拘束スルコトハ  
不可能デアリマス、隨テ其ノ裁判上ノ問題  
ニナリマス場合ニ於テハ、裁判所ガ解釋ヲ  
スルト云フコトニ相成ルト存ジマス

○伊藤(五)委員 サウスルト政府ガ大政翼  
會ヲ公事結社デアルト云フ解釋ヲ致シマ  
シテモ、裁判所ニ於テ是ハ公事結社デア  
ラナイト云フヤウナ解釋ヲシナイトモ限  
ラズト思フノデアリマス、サウ云フコトガ  
アリ得ルト云フコトヲ吾々ガ認メテモ差支  
ナイノデスカ

○村瀨政府委員 實際上ノ問題ト致シマシ  
テハ、行政上ノ問題ニ關スル限リニ於キマ  
シテハ、行政内ノ解釋ガ十分ニ尊重セラ  
レルコトト存ジマス、併シナガラ法律上ノ  
問題ト致シマシテ、行政上ノ解釋ガ裁判所

ツテ居ル、斯ウ云フ新聞記事ハ御注意ニナ  
ツテ御覽ニナリマシタカ、實際ニ御調べニ  
ナリマシタカ、簡單テ結構ニスカラ御答ヘ  
ヲ願ヒマス

○村瀨政府委員 是ハ繰返シテ申シマスル  
ヤウニ、翼會ノ當局ト致シマシテハ、政  
府ノ意向ヲ無視スルコトハナイコトヲ確信  
シテ居リマス、唯具體的ノ個々ノ記事ニ對  
シテハ、私トシテハ一々取調ベテ致シテハ  
居リマセス

○田村委員 斯ウ云フコトガ若シアレバ、  
要スルニ監督スルト云フ所デ、其ノ行動  
ヲ嚴密ニ調ベナケレバ監督ハ出來マセス、  
ソコデ斯ウ云フ言行ガアル場合ニハ、直チ  
ニ發動シテ之ヲ調査シテ、苟モ政府ノ補助  
機關ガ政府ニ反抗スルガ如キ獨立性ヲ持ツ  
テ居ルコトハ儼トシテ戒防シ取締ツテ、或ハ  
其ノ職ヲ退カセルナリシテ貫ハナケレバナ  
ラス、天下ニ聲明シテ翼會ノ改組ノ實行  
性ヲ國民ガ疑ツタノデハ、時局克服ガ出來  
ナクナル、大問題ニナルト云フコトヲ重  
ネテ私ハ御注意申上ゲテ置キマス、後ハ水  
掛論ニナリマスカラ申シマセス、ソコデ重  
ネテ此ノ際伺ヒタイノハ、是ハ法制局長官  
モ豫算總會其ノ他ニ於テ、色々質問ニ答  
ヘテ居ル、内務大臣等モ御答辯ニナツテ  
居ルコトデスカ、マダ一寸ハツキリシテ居  
ナイ、公事結社デアルト云フコトハ明確ニ  
ナツテ居ル、所ガ此ノ公事結社ニ付テハ、色  
色質問應答ノ點ヲ實ハ私見マス、速記録モ  
讀ンデ見タノデスカ、公事結社ニハ政治性  
ハ附與スル、政治行動ハ儼トシテ、取締ル、  
ヤラセナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ル、  
此ノ公事結社デアルガ故ニ政治行動ハサセ  
ナイト云フコトト、政治性ヲ公事結社タル



ヲ編東スルト云フコトハナイ、斯様ニ考ヘ  
ルノデアリマス  
○伊藤(五)委員 サウスルト裁判所ノ解釋  
ニ付テハ、行政府トシテハ之ヲ拘束スルガ  
如キコトハ全然考ヘテナイ、斯ウ解釋シテ  
差支ヘナイデスカ

○村瀨政府委員 裁判所ノ行政官廳ノ解釋  
ガ拘束ヲスルト云フコトハ、理論上考ヘ得  
ラレナイ、斯様ニ考ヘマス

○田村委員 公事結社ト高度ノ政治性ト云  
フコトヲ、種々法制局長官ヨリ御説明ガア  
リマシタガ、是非非常ナ難シイ問題デ、尙  
ホ研究シナケレバ能ク分リマセスガ、大體  
ハ了承致シマシタ、恒常的ノ國家の高イ要  
請ニ基イテ、公事結社トシテ政府ノ補助的  
活動ヲナス場合ニハ、政治性アルモ亦已ム  
ヲ得ナイト云フ風ナ意味ニ、私ハ解釋スル  
ノデアリマスガ、是非申スマデモナイガ、  
念ノ爲ニ言明ヲ得テ置キタイト思フノハ、  
サウ云フ點カラ解釋シマシテ、結局大政  
覽會ハ政府ト表裏一體デアリ、政府ノ補  
助機關デアル、是ハ明瞭ニナツテ居ル、而シ  
テ政府カラ補助金ヲ貰ツテ居ル、而シテ  
スル、其ノ監督權ハ儼トシテ存在シテ居ル、  
斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、殊ニ今ノ公事  
結社、政治性ニ付テハ法制局長官ノ御説明  
等カラ押詰メテ参リマシテモ、大政覽會  
ニハ斷ジテ自主獨立性ハアリ得ナイ、政府  
ノ補助機關トシテノ上意下達以外ニハナ  
イ、自主獨立性ハ斷ジテナイ、斯ウ私ハ解  
釋シマスガ、政府モ無論サウ御考ヘニナツ  
テ居ルト思フノデスカ、自主獨立性ハ斷ジ  
テナイト云フコトヲ、御言明ヲ願ヒタイト  
思ヒマス

○村瀨政府委員 此ノ覽會ノ性格問題ニ  
付キマシテハ、只今マデモ繰返シ御説明ヲ  
申上ゲテ居リマス所デ盡キテ居ル、斯様ニ  
考ヘテ居リマス  
○田村委員 能ク分ツテ居リマスガ、是ハ  
色々改組ニ關聯シテ來マスノデ、性格ノ  
問題ヲ伺ツテ居ルノデアリ、補助機關  
アルカラ自主獨立性ハナイ、自主獨立性ガ  
アルト云フコトニナルト、問題ガ起ルノデ  
アリマスカラ、自主獨立性ガナイト云フコ  
トヲ、此ノ際御言明ヲ願ヒタイ

○村瀨政府委員 自主獨立性ト云フコトハ、  
法律的ノ用語デゴザイマセヌノデ、非常ニ  
曖昧ノ言葉デアリマスガ、只今ノハ恐ラ  
クハ獨立ノ政治上ノ意見ヲ立テテ活動スル  
ノデアリ、斯ウ云フ意味ニ於テ自主獨立性  
ガナイ、政府ノ政策ヲ隔々マデ浸透セシメテ  
臣道實踐體制ヲ作ルト、斯ウ云フ意味ニ於  
テ自主獨立性ガナイト云フ御意デゴザイ  
マスナラバ、正シク其ノ通りデアリマス  
○田村委員 最後ニ御伺ヒ致シマスガ、サ  
ウ政シマス、改組ハ無論政府ノ立案ニ依  
ラナケレバナラヌノデアリ、大政覽會  
ガ勝手ニ改組ヲ自分決定シテ、ソレヲ堅  
持スルト云フヤウナコトガアリ得ル答ガナ  
イ、今ノ御言葉カラ類推シテ、是ハハツキ  
リシテ居ルノデスカ、改組ハ斷ジテ政府ノ  
思フ存分ノ立案ニ基クモノデアツテ、参考  
ニハ無論色々モノヲサレルデセウガ、大  
政覽會ノ自主的改組ナドト云フコトハ、  
斷ジテ有り得ル答ガナイ、斯ウ解釋シテ進  
マナケレバナラヌト思ヒマスガ、如何デス  
カ

○村瀨政府委員 此ノ改組問題ニ付キマシ  
テモ、政府ハ勿論十分ノ責任ヲ以テ之ヲ行  
フ積リデゴザイマス  
○田村委員 此ノ改組問題ニ付キマシテ、一  
億一心トナツテ臣道實踐ヲスルト云フヤウ  
ナ學國的ノ態勢ヲ作ルト云フコトガ、絕對  
ニ必要ナモノデアルト考ヘテ居リマスコト  
ハ仰セノ通りデアリマス、此ノ點ニ付テハ  
昨今以來其ノ考ヘニ於テ、十分ノ相違ハゴザ  
イマセヌデアリマス、唯問題ハ、斯ノ如  
キ大政覽會ニ對シマシテ、法律ヲ以テ批  
判ヲスルコトガ適當デアルカドウカト云フ  
問題デアリマスガ、是ハ將來或ハ色々ノ  
必要ガ生ジテ來ルカトモ存ジマスノデアリ  
マスガ、現在ノ状態ニ於キマシテハ、要ス  
ルニ自發的奉公ノ實踐運動ト云フノガ、其  
ノ本體デゴザイマセヌカラ、自由ニハ發展  
セシメルコトガ必要デアルト思フ、勿論色  
色其ノ取極ムル必要モゴザイマセウケレ  
ドモ、本體ハ自發的奉公ノ實踐運動ト云フ  
ノデゴザイマセヌカラ、現在ニ於テ色々ノ  
ヲ拵ヘ、之ヲ取締リ或ハ法的ノ制度ヲ設ケ  
ルト云フコトハ、稍其ノ實體ト只今ノ所ニ  
於テハソコトハナイノデアリ、随テ  
於今ノ所トシテハ法的ヲ設ケマシテ、覽會  
運動特有ノ法規ヲ作ツテ規制ヲスルコトハ  
考ヘテ居リマセヌノデ、尙ホ是ハ將來十分  
ニ考究致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス  
○淺沼委員 大政覽會ニ對シマスル性格  
論ニ付テ、政治論ト法理論ト食ヒ違ヒト云  
フモノハ、議會ノ投票ノ途ニ分裂セシメタ  
ノデアリマス、私ハ議會人ガソレノ信念  
ニ依ツテ行動スルコトニ付キマシテハ、是  
ハ當然デアリマシテ、兎トスウ言フベキ筋  
合デアリナイト思フノデアリマスガ、斯ウ云  
フ工合ニナツテ参リマスコトモ、謂ハバ覽會  
運動ヲ提唱サレ、或ハ覽會運動ヲ推進サレ  
テ参リマスル方面ニ於キマシテ、ヤハリ性格ヲ

ハツキリセシメナカウツト云フ所ニ、私ハ  
非常ニ重大ナル問題ガ存シテ居ルト云フコ  
トヲ感ズルノデアリマシテ、今直ク作ルト云  
フコトハ、私ト致シマシテモ困難トハ思ヒ  
マスガ、是ハ發展ノ過程デアリマスルカラ  
一ツノ規範ニ入レテ發展セシムルト云フコ  
トハ、大イニ考ヘナケレバナラヌト思フ  
デアリマス、大體ノ方向ガ定ツテ來タ場合  
ニ於キマシテハ、當然私ハ一ツノ規範ヲ設  
ケテ然ルベキダト考ヘルノデアリマシテ、  
是非トモ全體ノ運動トシテ、之ヲ規範スル  
ト云フコトハ困難トナリマシテモ、國民組  
織法ト云ツタヤウニ國民組織ノ部ニ於テ  
ハ、確カニ私ハ出來ル管ダト考ヘルノデア  
リマス、大政覽會運動全體ヲ規範スル、  
其ノ目標ハ何デアルカト云フコトニナリマ  
スルナラバ、臣道ノ實踐デアリマシテ、  
日本ノ國民ガ日本ノ國民トシテノ與ヘラレ  
タル部署ニ於テ、職域奉公ノ誠ヲ盡スト云  
フコトニ對シテ一ツノ規範ヲ與ヘラレト云  
フコトハ、是モ今日大イニ考ヘナケレバナ  
ラヌト思フノデアリマスガ、大政覽會運  
動ノ基礎トモナルベキ國民組織ニ付テハ、  
當然一ツノ規範ガ與ヘラレテ然ルベキダト  
私ハ考ヘルノデアリマシテ、一ツサウ云フ  
方向ニ進メテ載キタイト云フコトヲ、希望  
申上ゲテ置ク次第デゴザイマス

○村瀨政府委員 國民組織ノ點ニ付キマシ  
テハ、御話ノ通り、是非トモ其ノ法律ヲ作  
ラナケレバ出來ナイモノデゴザイマス、或  
ハ法律デナクテ事實上ノ組織ニ依ツテ賄ヒ  
得ル部分モゴザイマセウ、是等ノ點ニ付テ  
ハ現在既ニ或ハ法制ノアリマスルモノモア  
リマスシ、ナイモノモゴザイマス、ナイモ  
ノデ必要ナモノニ付テハ之ヲ完備スル必要

○山本委員 午後一時四十七分開議  
○田村委員 午前二引續キ會議ヲ開キマ  
ス—田村君  
○山本委員 午後一時半カラ内務大臣ガ  
出席スルサウデアリマスカラ、ソレマデ休  
憩致シマス  
午後零時四十一分休憩  
午後一時四十七分開議

○山本委員 午前二引續キ會議ヲ開キマ  
ス—田村君  
○田村委員 午前二引續キ會議ヲ開キマ  
ス—田村君  
○山本委員 午後一時半カラ内務大臣ガ  
出席スルサウデアリマスカラ、ソレマデ休  
憩致シマス  
午後零時四十一分休憩  
午後一時四十七分開議

サウシテ大政覽會ヲ組織スルニ當ツテ言  
明サレタ點ハ、主トシテ私ハ政治論ニ基イ  
テ居ルト思フノデアリマス、十月十二日ノ  
發會式ニ近衛サンガ演説ヲサレマシタ、ソ  
レニハ歴史ハ今ヤ我ガ國ニ對シ重大ナル時  
期ノ到來ヲ告ゲツウアリマス、大政覽會運  
動ノ將來ハ眞ニ我ガ國家ノ運命ヲ決スルモ  
ノデアリマス、斯ウ云フ工合ニ大政覽會運  
動ノ重要ナル點ヲ指摘シテ居ルノデアリマ  
ス、又何レノ委員會デアツタカ志レタノデ  
アリマスガ、軍務局長ガ、高度國防國家完  
成ノ爲ニハ、大政覽會運動ガ絕對ニ必要デ  
アルト云フコトヲ、言明セラレテ居ルノデ  
アリマス、私ハ大政覽會運動ガ、ソレガ必  
要トシテ生レテ参リマシタコトハ、何レニ  
シテモ日本ノ國ニ於キマス所ノ政治的の要請  
トシテ生レテ來タト思フノデアリマス、日  
本ノ國ハソレノ生ラサケテ居リマスル吾  
吾國民ガ、新クニ臣道ノ實踐ヲ高調シ、ソ  
レヲシナケレバナラヌト云フ所ニハ、何處  
カニ缺ケテ居ル點ガアツタト私ハ思フノデ  
アリマシテ、ソレヲ反省シ本當ニソレノ  
ノ職域ニ於テ、實踐ヲシナケレバナラヌト  
云フコトガ高調サレテ、茲ニ私ハ政治的  
の要請トナツテ、大政覽會運動ガ生レテ來  
タト思フノデアリマスガ、ソレノ件ヒマ  
シテ、議會ノ内部ニ於キマスル色々ノ論  
議ヲ承ツテ居リマス、ソレハ主トシテ  
法理論ニ基ク點ガ多イコトデアリマス、  
即チ大政覽會運動ハ憲法違反ノ疑ヒアリ、  
或ハ憲法違反ナリト斷ジマシテ、ソレニ  
伴ヒマス取締法規カラ申上ゲマスナラバ、  
治安警察法ノ對象トシテノ公事結社デア  
ルカ、或ハサウデナク公事結社デア  
ルカ、論議ガ進メラレテ來タト思フノデ

ガアリ、現在アルモノモ改善ヲ要スル部  
分ニ付キマシテハ、法律ノ改正其ノ他ノ措  
置ヲ講ジマシテ、只今ノ御意旨ニ付キマシ  
テハ、尙ホ將來十分ニ考慮致シテ参リタイ、  
斯様ニ考ヘテ居リマス  
○山本委員 午後一時半カラ内務大臣ガ  
出席スルサウデアリマスカラ、ソレマデ休  
憩致シマス  
午後零時四十一分休憩  
午後一時四十七分開議

○山本委員 午前二引續キ會議ヲ開キマ  
ス—田村君  
○田村委員 午前二引續キ會議ヲ開キマ  
ス—田村君  
○山本委員 午後一時半カラ内務大臣ガ  
出席スルサウデアリマスカラ、ソレマデ休  
憩致シマス  
午後零時四十一分休憩  
午後一時四十七分開議



サウシテ吾々ノ要望ニ基イテ適正ノ國民運動展開ノ機關トシテアレバ動カシテ行カウ、此ノ政府ノ言明ニ一應信賴スルト云フ意味ニ於テ、吾々ハ政府ヲ支持シテ、同僚多年ノ同志トシテ問題ニ限リテ決テ分チマシテ多數決ヲ以テ押切ツク、斯ウ云フ一ニ事變下ニ於ケル所ノ國策遂行ニ萬遺憾ナカラシメントスル吾々ノ考ヘニ出デテ居ルノデアリマス、管々シク申上ゲルマデモナイ、併シナガラ反對者ガアツクニ拘ラズ多數ヲ以テ押切ツクト云フコトハ、政府ヲ信賴シテ居ル吾々議員トシテハ、又其ノ職責ノ一層重大ナルモノヲ加ヘタモノデアリト思フデアリマス、政府ニ於ケレバモ、全會一致ヨリモ多數決ヲ以テ之ヲ押切ツク、サウシテ政府ヲ多數ガ支持シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、政治上ノ責任ガ過重シテ居ル、隨テ政府ガ議會ニ於ケル大政翼賛會ニ關スル言明ヲ實行スル責任ガ全會一致デモ無論アリマスガ、多數決ニ依ツテ、反對者ガアルニ拘ラズ、之ヲ押切ツクト云フノハ眞ニ一層責任ヲ過重スルモノガアルト私共ハ思フデアリマス、先ヅ此ノ點ニ對スル内務大臣ノ御所感ヲ承リタイト思フデアリマス

○平沼國務大臣 只今御述ベニナリマシタコトハ諒承致シテ居リマスガ、政府ト致シマシテハ議會デ言明致シタルコトハ、必ズ責任ヲ以テ之ヲ實行スル心底デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ政府トシテ翼賛會ヲシテ其ノ性格並ニ目的ニ適合スル改組ヲサシムルト云フコトニ付テハ責任ヲ以テ御答ヘ致シマス

○田村委員 私ハ内務大臣ノ今ノ御言明ニ満足スル者デアリマスガ、要スルニ大政翼賛會問題ニ付テハ吾々ハ協力セントシテ居ル、然レニ動モスルト斯ウ云フコトヲ傳ヘテ居ルノデアリマス、議會デ幾ラ疑イダ所ガナイ、隨テ大政翼賛會ノ改組問題ニ付テモ口ヲ拭ツテ知ラヌヲ望ム、別ノ行動ヲ執ルノデハナイカ、斯ウ云フコトガ世間ニ疑ハレテ居ル、現内閣ニ限リテサウ云フコトハ萬々ナキコトヲ私共ハ信ジテ居ル、又サウアツテ天下ノ大問題ニナリマス、併シナガラサウ云フ疑ヒヨ世間ガ持つテ居ルト致シマスレバ、此ノ疑ヒヨナカラムル爲ニハ僥トシテ之ヲ實行ニ移サナケレバナラス、問題ハ實行ト云フコトノミニ終結シテ居ルノデアリマスガ、其ノ他ノ私共トシテノ疑義ヲ挿シテ居ル點ハ午前中法制局長官カラ御答辯ヲ戴キマシタノデ、重ネテ其ノ點ハ私ハ申上ゲマセス、唯政府モ議會モ而シテ國民モ一體トナツテ、此ノ國民運動展開、事變下ノ國民ノ舉國一體ノ運動ヲ展開セントスル新シキ開途ヒノナイ、今マデ大政翼賛會ノヤリ方ハ開途ツテ居ル、其ノ開途ヒヲ是正セントスルニハオ互ヒ虚心坦懷白紙ニ還元シテサウテ行カウ、斯ウ考ヘテ居ルニモ拘ラズ、若シ大政翼賛會ノ方デ、自分ハ自分デヤルノダ、自主獨立デヤルノダト云フヤウナ考ヘ方ヲ以テ有馬事務總長ガ政府ノ補助機關デアルト云フコトヲ忘レテ、自分獨自ニ存在デアルト云フコトヲ動ヲナスサウナコトガアリマスレバ平地ニ波瀾ヲ卷起スモノハ現在ノ大政翼賛會ノ機構内ニ於ケル或ル者ガアルモノデアルト云フコトヲ莫書スルコトニナツテ居ル、偶去ル二月二十五日夕刊デアリマスガ、是ハ東京新聞、大阪新聞ニハ朝刊ニ出テ居リマ

スガ、其ノ中ニ偶私ガ今申上ゲタコトヲ裏書スル記事ガ出テ居ルノデアリマス、新聞記事デアリマスカラ事實ノ如何ハ私共ニハ能ク分リマセスガ、新聞記事、而モ天下第一流ノ新聞ガ悉ク筆ヲ擡ヘテ、或ハ三段拔或ハ五段拔ニ斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、大政翼賛會事務總長有馬伯ハ二十四日午前十一時五分執筆ノ私邸ニ近衛首相ヲ訪問、翼賛會ノ改組問題ニ關シ翼賛會側ノ自主的改組案ヲ詳細説明シ云々、其ノ會談ノ結果ノ觀測トシテハ新聞記者ニ有馬伯ガ會談ノ結果新聞記者ガ得タ所ノ觀測デアラウト思フ、其ノ觀測デアルト致シマスレバ、事務總長タル有馬伯ノ意圖ガ茲ニ現ハレテ居ルト思フ、ソレガ偶議會ガ濟メバ大政翼賛會ガドウナルカ、議會人ノ知ツクコトデアナカラウト云フコトヲ裏書キスルヤウナ記事ガ天下ニ流布サテ居ル、過日モ議會ノ議員總會ニ於テ是ガ大問題ニナツテ、サウ云フ點ヲ觀測シテ是ガ誤リトスレバ、政府ノ全責任ヲ帶ビテ豫算總會ニ於キマシテ大政翼賛會ノ改組問題ヲ言明サレタ内務大臣カラ、特ニ此ノ際國民ニ明確ナル所ヲ示シテ戴キタイト思フデアリマス、其ノ内容トシテ新聞ニ傳ヘラレテ居ル所ニ依リマス、「翼賛會ノ性格ハ議會ニ依リ毫モ變質サルベキモノデナク、翼賛會結成當初ヨリノ高度ノ政治性ヲ依然トシテ確保シツク」云々斯ウ云フコトヲ言フテ居ルデアリマス、隨テ政府ガ言明シヨウガ聲明シヨウガ、答辯シヨウガ、其ノ政府ノ說明答辯ナント云フコトニ付テハ頓着ナイ、又議會ノ質疑云々ト云フコトニ付テハ何等拘泥ハル所デハナイ、自分ガ獨自ノ見地ニ

於テ翼賛會ノ行動ヲ律シテ行クノダ、斯ウ云フコトヲ新聞ニ麗々シク掲ゲラレテ居ル、恰モ此ノ新聞記事ハ、議會ガ濟メバ大政翼賛會ニ付テノ議會ノ約束ナドハ反古ニナツテシマフト云フコトヲ裏書キスル新聞記事ダト思フノデス、事實ハ私共ニハ分リマセス、併シ新聞紙ニ付キマシテハ僥ニ内務大臣取縮リノ任ニ當ツテ居ラレ、斯ウ云フ記事ガ偶議會ノ重大問題、天下ノ重大政治問題トナツテ居ル場合ニ、全天下ノ新聞ニ現ハレト云フコトニ付テハ、内務大臣トシテハ適當ナ處置ヲ御執リニナラナケレバナラスト思フデアリマスガ、此ノ事實ニ對シテ、又斯ウ云フ考ヘ方ニ對シテ、内務大臣ハ如何ナル御考ヘヲ以テ居ルカラ此ノ際私ハ大體内務大臣ヲ信賴シテ居ル、アナタヲ前ニ置イテサウ云フコトヲ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、實ハ世間デハ斯ウ思ツテ居ル、色々大政翼賛會ノコトハ言フケレドモ、平沼サンガ此ノ内閣ニ居ル限リハ、平沼サンガ言明シテ居ル以上ハ斷ジテ實行スル、斯ウ識者ノ一部ハ斷言シテ居ル、此ノ立場ニ立ツテ、内務大臣ハ斯ウ云フ宜イ加減ナ説ガ流布サレ、天下ノ疑惑ヲ一掃シテ、天下ノ過チニ陥ラントスル形勢ヲ矯メ直ス爲ニ僥然タル御言明ヲ此ノ際得タイト思フデアリマス

○平沼國務大臣 政府ハ議會ニ於テ言明致シマシタコトハ責任ヲ以テ之ヲ實行致シマス、之ニ抵觸スルガ如キ事柄ハ政府ノ認ムル所デハゴザイマセス、左様御承知ヲ願ヒマス

○田村委員 モウ一ツ此ノ新聞記事デアリマスガ、私ハ誤解ヲ一掃スル爲ニ申上ゲテ置ク、私共ハ政府ガ人事ヲ刷新スル、改組

ハ根本的ニ之ヲ斷行スルト、斯ウ云フ言明ヲ其ノ儘ニ信賴シテ、翼賛會ノ問題ヲ議會ニ於テ解決シタノデアリマス、其ノ人事刷新ノ表裏ノ諒解トシテ、私共ノ承ツテ居ルコトダケヲ私ハ申上ゲテ置クノデス、ソレハ根本的改組ト云フコトニナレバ白紙ニ還元スルコトデアアル、白紙還元ト云フコトハ政府モ豫算總會ニ於テ言明サレテ居ル、根本改組ハ職制ノ廢止デアアル、所ガ職制ノ廢止ト云フコトハ別トシテ、少クトモ白紙還元ト云フモノハ現在ノ人事ヲ刷新ニ關聯シテ役職員全部ノ一部ト云フコトモ下ツ端ノ方ハ別デセウガ、役職員全部ノ辭表ヲ一應預ルコトニ依ツテ人事ヲ刷新ノ根本的ニ出來得ル、大體斯ウ云フ諒解ガ裏面ニ付イタノデ、根本的改組ヲ斷行スル、人事ハ刷新スル、斯ウ云フ言明ニ基イテ私共ハ之ヲ信賴スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然レニ此ノ新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、一部議員側ノ希望スルガ如キ全幹部ノ辭表提出ノ如キハ全然之ヲ考慮セズ、唯若干ノ不適任者ヲ自發的ニ退陣セシムルニ止メ、之ニ代ツテ云々、斯ウ云フコトヲ觀ツテ居ルノデアリマス、是ハ明カニ政府ノ言明ノ内容ト反對ノコトヲ殊ニ聲明シテ居ル、聲明チヤアリマセスガ新聞ニ傳ヘラレテ居ル、是モ只今内務大臣ニ御言明願ヘレバ、政府ハ答辯シタ通り實行スルト云フ以上ノ御言葉ハ戴キナイカモ知レマセスガ、天下ノ疑惑ガ起ツテ居ル、而モ此ノ記事ハ由ツテ來ル所ガアルノデアリマシテ、是ハ新聞デアリマスガ、其ノ前ニ

二月十九日大政翼賛會會報ニ有馬事務總長ガ麗々シク斯ウ云フコトヲ書イテ居ル、吾ハ翼賛會ノ政治性トカ精勵化ト云フ問題ニハ囚ハレコトナク、一路吾々ノ使命達成ニ邁進セントスル者デアアル、翼賛會ハソレ等一切ノ問題ヲ超越云々、是ハ抽象的文句デ、此ノモノハ直チニ問題ニ抵觸スルトハ思ヒマセスガ、此ノ思想的考ヘ方カラ推測シテ二月二十五日、新聞記事ヲ見マスト、世間デハ翼賛會ノ方面デハ議會ガ諒解シテ居ルガ如キ改組ハ斷行ニ行ヒ得ナイデアラウト云フコトヲ推測スルニ難クナイデアリマス、ソコデ此ノ翼賛會ハ既ニ政府ガ監督シテ居ル政府ノ補助機關デアリマス、今朝法制局長官ノ御説明ヲ願ツテ私共ガ諒解致シマシタノハ、補助機關デアリ、其ノ性格ハ既ニ豫算總會ニ於テ明カニナツテ居リマス、斯ウ云フ大政翼賛會ハ獨立性ハナイ、隨テ其ノ改組モ政府ノ思フ存分ノ立案ニ依ツテ決定セラレルノデアリマシテ、大政翼賛會共ノモノガ自願的ニ改組スルトカ、獨立的ニ行動スルコトハ斷ジテ許サレナイ、然ラバ斯ウ云フ記事ニ對シマシテハ監督權ヲ持つテ居ル所ノ政府並ニ新聞記事ニ對シテ取締權ヲ持つテ居ラレル所ノ内務大臣トシテ、此ノ記事ハ全然誤リデアルト云フコトヲ此ノ際御言明願ヘマセナラバ、サウ云フ世間ノ疑ヒヨ一掃スルコトガ出來ルト思フデアリマスガ故ニ、重ネテ此ノ點ノ御言明ヲ戴クコトヲ希望スル次第デアリマス

○平沼國務大臣 翼賛會ノ改組ニ付キマシテハ、其ノ性格、目的ニ副フヤウニ、議會ニ於ケル質問應答ノ際ニ、各議員ヨリ述べラレタコトヲ參酌致シテ、改組ヲスルト云フコトハ申シマシタ、併シ具體的ノ事柄、又順序、手續等ノコトハ述べテ居リマセス、是ハ今後ナスベキコトデアリマシテ、今御述ベニナリマシタ通り政府ニ於テ決シマシタル所ヲ行ハシムル、斯ウ云フコトニナルコトハ開途ヒナイデアリマス、政府ノ言明ニ反スルガ如キ結果ハ、決シテ生ジナイコトヲ考ヘルノデアリマス、隨テ只今御述ベニナリマシタルコト、ソレハ具體的ニドウスウト云フコトハ申サレマセスガ、只今私ノ申シ述ベマシタコト抵觸致シマスル如キコトハ、總テ開途ヒデアアル、斯ウ申上ゲテ置キマス

○田村委員 大體了承致シマシタ、最後ニ内務大臣ハ豫算總會ニ於テ公事結社デアツテ、其ノ大政翼賛會ノ政治活動ハ僥トシテ之ヲ取締ル、斯ウ云フコトヲ言明シテ居ラレマス、ソコデ諒イヤウデアリマスガ、此ノ取締監督ヲセラレテ、而シテ若シ其ノ監督ニ服セズ過チヲ犯スモノアリテ致シマスレバ、監督權ノ發動ハ必然的ニ或ハ役職員辭職、或ハ其ノ行動ノ制限、或ハ之ヲ嚴罰ニ處スル、斯ウ云フ制裁ガ取締ノ内容トシテ伴ツテ來ナケレバ效果ヲ舉ゲルコトハ出來ナイト思フデアリマス、偶、昨年以來今日ニモ及ンデ居リマスガ、大政翼賛會ノ常任總務デアリマス、是ハ一ツノ例デアリマスガ、其ノ常任總務デアル所ノ中野正剛君ハ東方會ヲ解散シ、振興社ト云フ思想團體ニシテ居ル、又同ジク常任總務ノ橋本欣五郎君ハ、大日本青年黨ヲ解散シテ、大日本赤誠會トナシテ居ル、何レモ其ノ總裁トナツテ自分ノ指導シテ居ルモノヲ統率シ、其ノ行動ヲ指導致シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ行動ハ明カニ政治活動デアアル、政治

活動デアツテ、既ニ議會前カラモ、政府ハ斯ウ云フ常任總務ノ行動ハ取締ルト云フコトヲ度々言明セラレタルニ拘ラズ、目ニ餘ル行動ヲ全國到處ニ於テ、勝手氣儘ニヤツテ居ル、而モ自らハ大政翼賛會ノ常任總務デアリナガラ、大政翼賛會ノモノ、並ニ政府ノ補助機關デアルニ拘ラズ、政府ノ行動ヲモ時ニ非難攻撃シテ止マナイ、又徒々摩擦相剋ヲ起シ、獨善的立場ニ立ツテ、自分ノ反對的ニ見エルモノハ飽クマデモ之ヲ排撃シテ止マナイト云フ事變下ニ於ケル相剋摩擦ヲ起サウナコトヲ、到ル處ニ起シマシテ、所謂平地ニ波瀾ヲ卷キ起シツツアル、過去ノコトハ申シテモ致シ方ガナイデアリマスガ、今マデ取締ルノコトハ實際ニ於テ取締ツテ居ナイ、私ハ若シ今後改組後ノ大政翼賛會ノ役員其ノ他ガ斯ノ如キ勝手行動ヲナシテ、政府ノ監督外ノ行為ニ出デタル場合ニハ僥トシテ之ヲ取締ル、即チ制裁ヲ加ヘテ解職スルトカ、或ハ其ノ行動ヲ嚴禁スルト云フコトヲシナケレバナラント云フ言明セラレマス、隨テ嚴重ニ取締ルト云フ意味ヲ持つテ居ルト云フコトヲ此ノ際言明シテ戴キタイト思フデアリマス

○平沼國務大臣 翼賛會自身ハ翼賛會ヲ組成シテ居ル人々ノ行動、是ガ法律ニ違反致シマス、又翼賛會ノ組織員ニシテ翼賛會ノ行動ト抵觸シ、相容レナイコトガアリマスレバ、翼賛會ヲシテ相當ノ處置ハ執ラシムル方針デゴザイマス



○田村委員

大體了承致シマシタ、最後ニ要スルニ此ノ大政翼賛會ニ對スル天下ノ疑惑ハ今マデ大政翼賛會ニ入ツテ居ル者ガ自己獨善ノ思想ニ陥ツテ排他的ナル、事變下ニ於テ國民ハ職域奉公、舉國一體ニナラナケレバナラスニ拘ラズ、相剋摩擦ヲ起ス本家本元ガ大政翼賛會ノ行動ニアル、斯ウ云フコトガ世間ノ疑惑トナリ、此ノ議會ノ喧シイ問題トナリ大イデ改組ト云フ所ニ來ツテ居ルノデアリマス、隨テ排他的行動ノ裏面ニ赤ト云フ疑ヒガ國民カラ持テ居ル、内務大臣ハ全責任ヲ持テ居ル之ヲ根本的ニ改組シテ眞ニ舉國一體ノ實ヲ舉ゲル所ノ役目ヲ新シク改組セラレタ大政翼賛會ニ持ツシメ、斯ウ云フ御方針デアリコトヲ私共ハ承リ又其ノ御言明ヲ確信シテ疑ハナク、願ハクハ獨善排他ニ陥ラズ、相剋摩擦ヲ惹起スガ如キコトナキヤウニ、改組ト共ニ其ノ行動ニ關シテハ嚴重ナル指導ヲセラレントコトヲ切望致シマシテ、私ノ質疑ハ是デ終了致シマス

○山本委員

他ニ御質問ハデアリマセカ  
○淺沼委員 大政翼賛會ノ性格ノ問題ニ付キマシテ、先程私ハ法制局長官カラ伺ツタデアリマス、大體了承シテ居ルノデアリマシテ重複ヲ避ケタイト思フノデアリマスガ、唯一言内務大臣ニ御聴キシ、更ニ私ノ考ヘテ居ルコトヲ申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、議會ト政府トノ間ニ於テ、此ノ性格ニ關スル質疑應答ガ行ハレタノデアリマス、此ノ質疑應答ガ行ハレ、ソレニ依ツテ議會ノ態度モ決シテ居ルノデアリマシテ、私ハ議會ヲ通シテ行ハレマシタ質疑應答以外ニハ、何等政府ト議會ト一部トノ間ニモ話合ヒハナイト思フノデアリマスガ、左様

○平沼國務大臣

議會ノ議事ニ現ハレテ居リマスル以外ニ、何等政府ト議會トノ間ニ話合ヒハゴザイマセカ  
○淺沼委員 私ハ左様ダト考ヘルノデアリマス、隨テ改組ノ問題ガ非常ニ問題ニナルノデアリマスガ、改組ノ問題ニ付キマシテハ、問題ハ改組スルト云フコトノ言明ガアル限リデアリマシテ、内務大臣ニ付キマシテハ、唯議會側ニ於テ質疑應答ニ現ハレタ意見ヲ參考ニスルト云フ程度ノモノデアラウト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ御意見ヲ承リタイノデアリマス  
○平沼國務大臣 御述ベノ通りデアリマス  
○淺沼委員 ソコデ私ハ改組ノ問題ニ付テ一言御伺ヒシテ置キタイト思ヒマスルコトハ、言フマデモナク大政翼賛會ガ生レテ參リマシタコトヲ考ヘテ見マスルナラバ、ハ國防國家建設ノ爲ニ必要ナル要請トシテ、私ハ生レテ來テ居ルト思フノデアリマス、要スルニ近衛シヤガ新體制ヲ提唱シテ、更ニ大政翼賛運動ヲ指導スル爲ニ翼賛會ガ必要デアアル、サウ云フ工合ニ作ラレタノハ日本ノ内外ノ非常時局ノ要請トシテ、國家的要請トシテ私ハ生レテ來テ居ルト思フノデアリマス、即チ内外ノ國際情勢ニ應ズル爲ニ國防國家建設シナケレバナラナイ、國防國家建設スル爲ニハ必然的ニ大政翼賛運

○平沼國務大臣

革新ト云フコトハ、今日ノ時勢ニ於テハ是ハ當然ノコトデアリマシテ、徒ラニ舊態ニ拘泥ムト云フコトハ今日ノ時勢ハ許シマセヌ、即チ此ノ革新ト云フコトニ付キマシテハ、色々人ニ依ツテ其ノ内容ニ付テ考ヘハ違ヒマセウガ、革新ト云フ大體ノ方針ハ是ハ勳カスノデアリマス、隨テ今度ノ改組ニ付キマシテモ、人ノ選定ニ付キマシテモ、是ガドウシテモ必要ナ分子ニナルト思ヒマス、併シナガラ唯々革新ト云ウテ、古來ノコトヲ全ク無視スルトカ云フコトハ、斷ジテ許サベキモノデアリナイト考ヘテ居リマス  
○淺沼委員 ソコデモウ一點伺ツテ置キタ

○平沼國務大臣

革新ト云フコトハ、今日ノ時勢ニ於テハ是ハ當然ノコトデアリマシテ、徒ラニ舊態ニ拘泥ムト云フコトハ今日ノ時勢ハ許シマセヌ、即チ此ノ革新ト云フコトニ付キマシテハ、色々人ニ依ツテ其ノ内容ニ付テ考ヘハ違ヒマセウガ、革新ト云フ大體ノ方針ハ是ハ勳カスノデアリマス、隨テ今度ノ改組ニ付キマシテモ、人ノ選定ニ付キマシテモ、是ガドウシテモ必要ナ分子ニナルト思ヒマス、併シナガラ唯々革新ト云ウテ、古來ノコトヲ全ク無視スルトカ云フコトハ、斷ジテ許サベキモノデアリナイト考ヘテ居リマス  
○淺沼委員 ソコデモウ一點伺ツテ置キタ

ソレハ中々重大ナ問題ト思フノデアリマスガ、將來サウ云フモノヲ作ル意思ヲ持ツテ居ラレカドウカ、其ノ點ニ付テ内務大臣ヨリ御言明ヲ得ラレバ非常ニ結構デアルト考ヘルノデアリマス  
○平沼國務大臣 只今其ノ基本ニナリマス法規ヲ制定スルト云フ考ヘハ持ツテ居リマセカ  
○淺沼委員 只今ハモウ議會モ大體一切ノ議事ガ済ンデ居ルノデアリマシテ、アト殘ツテ居ルモノハ、決算、請願ト、此ノ委員會議ノ審議ノ外、二ノ委員會議ノ審議ガ殘ツテ居ルノデアリマシテ、大體翼賛議會ノ體制ヨリ、本年ハ早ク審議ヲ終了シテ、大イニ政務ノ能率ヲ上ゲルコトニ協力シテ居ルノデアリマスカラ、只今ノ場合直チニヤレト私ハ考ヘナイノデアリマス、要スルニ大政翼賛會ノ性格ヲ論議スルニ當リマシテ、少クトモ二ツノ方面カラ論議ガ行ハレテ居ル、一ツハ政府ノ言明ヲ聴キ、或ハ近衛シヤノ態度カノ聲明ヲ讀ンデ見マスナラバ、國防國家建設ノ爲ニ内外ノ情勢ニ對シテ爲ニハ、絕對ニ必要デアアル、更ニ軍部ニ於テモ同意ノ意思ヲ洩ラシテ居ルノデアリマシテ、サウナツテ參リマスナラバ、ドウシテモ政治的ニハ必要デアアル、併シ政治的ニ必要ナモノデアツテモ、實際ニヤツテ行カウト致シマス、ソコニ矛盾ガ起ル、而モ日本ノ國ニ於テハ憲法ノ下ニ政治ガ行ハレルノデアリマスカラ、憲法ノ條章ニ格別シナケレバナリマセカ、法規ノ範疇ニ於テヤハリ人間ハ行動ヲ律セテ行カナケレバナラスノデアリマシテ、サウ云フコトハ私ハ當然ダト思フノデアリマス、隨テサウ云フヤウナ議論ノ出テ參リマスコトモ、無下ニ私共

ハ論議ガナイト云フ譯ニハ參ラスノデアリマシテ、唯政治的要求ガ必要デアルカラスウシロト云ツテモ、ソレニ伴フ一ツノ規範ト云フモノハアツテ然ルベキダト云フ議論ガ出テ來ルノデアリマシテ、現在ハ別ノ問題トシテ、將來サウ云フヤウナ方向ニ御考ヘニナルカト云フ大體ノ見透シヲ私ハ伺ツテ居ルノデアリマス  
○平沼國務大臣 翼賛會ノ内部ノ規則ハ、是ハ無論出來ナケレバ行動ノ標準ガナイノデアリマスカラ、併シ國家ノ法規ト致シマシテ、基本法規ノ必要ハナイト考ヘテ居リマス  
○淺沼委員 サウナリマストソコデ問題ニナリマス、ハ、現ニ國民組織ニ關シマシテハソレノ法律ガアルノデアリマス、而モ翼賛會ハ國民組織ヲ基礎トシテソレノ職域ヲ職域奉公ヲ盡サウト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、新々ニ國民組織ニ關スル法規ト云ツタヤウナモノハ考ヘラレレ餘地ガ十分アラウト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ内務大臣ハ如何御考ヘデアリマセウカ  
○平沼國務大臣 國民組織ヲ完成致シマスル爲ニハ、或ハ個々ノ團體トカ云フヤウナモノハ、是ハ必要ニナツテ參リマセウ、是等ニ付テハ法規ヲ必要トスル場合ガ多イト思ヒマス、併シ是ハ翼賛會ノ基本法規ト云フコトトハ全ク別ノ問題ニナリマス  
○淺沼委員 私ハ内務大臣ニ極メテ簡單ニ、只今淺沼君ノ申シマシタコトニ關聯致シマシテ、御伺ヒシテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ大政翼賛會ニ付テ新ナル何等カノ立法ノ御意思ガアルカナイカト云フ點デアツタノデアリマスガ、先般臨時中央

協力會議ガ開カレタノデアリマスガ、其ノ際私ハ法の根據ニ付テ御尋ネシタノデアリマス、併シ其ノ時ハ是ハ政府ノ責任ノアル御答辯デハナクテ、大政翼賛會ノ一局ノ方ニ答辯デアツタノデアリマス、ソレハ此ノヤウナ大キナル國民運動ト申シマスルカ、恐ラテ劃期的ナ運動ハ日本始マツテ以來ナイノデ、所謂政府ト民間ト協力致シマシテ、一ツノ大キナ政治運動ヲ起スト云フコトハナイノダガ、サウ云フ場合ニ此ノ大政翼賛會ノ性格ハドウ云フモノデアルノカ、此ノ法の根據ヲ明カニシテ置キタイトハ、何カニ付テ非常ニ仕合セザルノミナラズ、ソレヲ明カニシテ置カセド、將來此ノ運動ノ上ニ大キナ支障ヲ來スノダト云フ意味ニ於テ質問ヲ申上ゲタノデアリマス、其ノ時ノ答辯ハ、團體デアアルカラ結社デアアルカ、サウナルバソレハ如何ナル結社デアアルカ、政事結社デアアルカ、政事結社デアアルカ、屈出ヲスベキモノト思フノダガ、ドウナルノダ、又政事結社デアアツテ屈出ヲシナイトナルトドウナルノダト云フヤウナ點デアツタノデアリマスガ、其ノ時ノ御答辯ハ政事結社デアアルケレドモ、所謂治安警察法ノ取締ハ受ケナイノダ、ナゼ受ケナイカト云フト、治安警察法ヲ作ツ當時ノ日本ノ國情、及ビ其ノ治安警察法ノ取締ノ對象ト致シテアツタ當時ノ政黨ナリ秘密結社、其ノ他今度問題ニナツタ第三條ノ公事ニ關スル結社ニシテ、ソレヲ逸脱シタ色々ナ場合ガ出來タ時ニ取締ルト云フ國情トハ自ラ違ツテ、又此ノ大政翼賛會ソレ自身ガ違ツタ性格ヲ持ツテ居ツテ、所謂治安警察法ヨリ更ニ超越シタル大キナ運動デアアルノダ、隨テ是ハ現在ノ治安警察法ノ適用ハ受ケナイノデア

イト思ヒマス、先程私ガ申シマシタ通り大政翼賛會ノ性格ヲ批判ト云ヒマスカ、之ヲ論議スルニ當リマシテ、二ツノ方面カラ論議サレテ居ルト思フノデアリマス、其一ツハ政治的要求カラ來ル議論デアリマシテ、二ツハ法律的要求カラ來ル議論デアリマシテ、大體ニ於テ高度ノ政治性ヲ持ツ公事結社デアアルト云フコトノ御見解ノヤウデアリマス、併シ一面ニ於テハ、國民ノ一部ノ中ニハ高度デアラウト、低度デアラウト、一ツノ政治性ヲ持ツタモノノ中ニ政事結社デアリナイモノガアルカト云フコトガ、大體一ツノ考ヘトシテ殘ツテ居ルノデアリナイカト思フノデアリマス、此ノコトガ憲法上ノ疑義トナリ、或ハ治安警察法ノ取締上ノ疑義トナツテ、法理論ガ行ハレテ居ルト思フノデアリマス、一面ニ於テ政治的ノ論カラ申シマスレバ、國防國家完成ノ爲ニハ、ドウシテモ是ガナケレバナラスノデアアル、併シ法理論ニ之ヲ考ヘテ見タ場合ニ於テハ、ドウモ何トナクソコニハウキリセヌ點ガアルト云フヤウナ氣持デ、議會ニ於テハ政府ノ言明ヲ信ジ、更ニ多數決ヲ以テ翼賛會ノ豫算ハ通過シテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ何トナク何處カ食ヒ足ラヌト云フヤウナ氣持ニ、皆打ラレテ居ル現狀デアリナイカト思フノデアリマス、ソコデ政府ニ於カレマシテハ、イツソノコト大政翼賛會ヲ稱讃スベキ一ツノ基準法ト申シマセウカ、サウ云フモノヲ今直チニ作ルト云フテモ、







フコトハ、是ハ私今明カニシテ居リマセスケレドモ、サウ云フ場合ニハ之ニ對シテ政府ノ執ルベキ處置ハ、是ハ無論アルノデアリマスカラ、之ヲ敢テ否定シタノデアアリマセヌ、唯私ガ最初ノ御尋ネニ對シテ御答ヘシタノハ、政府ノ今後ナスベキコトハ、他ノ言論ニ依ツテ變ルモノデナイト云フコトヲ申上ゲタノデ、彼ト是トハ別ナ問題デアリマス。

○山本委員長 諸君、分リマシタナ—ソレデハ本委員會ノ御質疑ハ是デ終了シタヤウデアリマスルガ、質疑打切りト看做シテ宜シウゴザイマス。

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本委員長 ソレデハ質疑ハ是デ打切りニナリマシタ、本日ハ議員俱樂部ノ政務調査會ノ手續ノ承認ガ済ンデ居リマセスカラ、質疑打切デ此ノ儘散會ヲ致シマス、明日午前中ニ政務調査會ノ手續ヲスルコトニ打合セテアリマスカラ、ソレヲ了シマシテ、午後一時ニ採決決定ヲ致シタイト存ジマス、何レ公報ヲ御知ラセシマスカラ、ドウゾ御出席ヲ願ヒマス、本日ハ是デ散會致シマス。午後二時五十分散會。

昭和十六年二月二十六日印刷

昭和十六年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第二類 第二號

第七十六回帝國議會 院ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件 委員會會議錄速記第四回

會 議

昭和十六年二月二十七日(木曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 山本 厚三君
  - 理事池本甚四郎君 理事窪井 義道君
  - 理事田村 秀吉君 理事野口 喜一君
  - 淺沼稻次郎君 井上 知治君
  - 伊藤 五郎君 石坂 繁君
  - 菊池 良一君 小泉 純也君
  - 塚本 三君 豐田 收君
  - 永山 忠則君 増永 元也君
- 二月二十七日委員菊池良一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ長野高一君ヲ議長ニ於テ選定セリ
- 出席政府委員左ノ如シ
- 大藏次官 廣瀬 豊作君
  - 大藏書記官 梅北 末初君
  - 大藏書記官 河野 一之君
- 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
- 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件
  - 昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件
  - 昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十五年第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和十五年特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十五年特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

○山本委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、本委員會ニ付託セラレマシタ昭和十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件ニ對スル質問ハ終了致シマシタ、是ヨリ討論及ビ採擇ニ入りマス。

○田村委員 既ニ本委員會ニ於テハ論議ヲ相當盡シテ居リマスカラ、此ノ際討論ヲ省略シテ、直チニ採擇ニ入ラレンコトヲ望ミマス。

○山本委員長 只今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、各件ニ付キ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

(議員起立)

○山本委員長 起立議員(拍手)滿場一致承諾ヲ與フルモノト決定致シマシタ、是ニテ

本委員會ハ散會ヲ致シマス、御苦勞様デシタ

午後一時三十三分散會

付託議案

昭和十四年度第一豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十五年第二豫備金支出ノ件

昭和十五年特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十五年特別會計豫備費支出ノ件

昭和十五年特別會計豫備金外豫算超過及豫算外支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)



第一類第二號 昭和十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外五件委員會議錄 第四回 昭和十六年二月二十七日

昭和十六年二月二十七日印刷

昭和十六年二月二十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局



第三類 第一號

第七十六回帝國議會 請願委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ昭和十五年十二月二十七日(金曜日)各部選舉ニ依リ左ノ通選定セラレタリ

- |         |         |
|---------|---------|
| 土田 莊助君  | 鶴 惣市君   |
| 永田 良吉君  | 長野 長廣君  |
| 南雲 正朝君  | 野口 喜一君  |
| 野中 徹也君  | 林 平馬君   |
| 坂東幸太郎君  | 樋口善右衛門君 |
| 福井 甚三君  | 福田 悌夫君  |
| 松浦 伊平君  | 松尾 三藏君  |
| 丸山辨三郎君  | 最上 政三君  |
| 森 幸太郎君  | 米窪 滿亮君  |
| 渡邊 健君   | 渡邊玉三郎君  |
| 阿部 茂夫君  | 飯田 助夫君  |
| 卯尾田毅太郎君 | 小高長三郎君  |
| 小山田義孝君  | 大橋清太郎君  |
| 加藤 知正君  | 加藤 鐵造君  |
| 金澤 正雄君  | 川崎巳之太郎君 |
| 川副 隆君   | 木村 武雄君  |
| 北浦圭太郎君  | 北原阿智之助君 |
| 熊谷五右衛門君 | 小林 絹治君  |
| 小林房之助君  | 坂下仙一郎君  |
| 坂田 道男君  | 庄司 一郎君  |
| 鈴木 正吾君  | 田中 源君   |
| 田中 耕君   | 玉野 知義君  |
| 高橋 泰雄君  |         |

- |         |         |
|---------|---------|
| 野口 喜一君  | 林 平馬君   |
| 坂東幸太郎君  | 樋口善右衛門君 |
| 福井 甚三君  | 福田 悌夫君  |
| 松浦 伊平君  | 松尾 三藏君  |
| 丸山辨三郎君  | 最上 政三君  |
| 森 幸太郎君  | 渡邊 健君   |
| 渡邊玉三郎君  | 阿部 茂夫君  |
| 卯尾田毅太郎君 | 小高長三郎君  |
| 小山田義孝君  | 大橋清太郎君  |
| 加藤 知正君  | 加藤 鐵造君  |
| 金澤 正雄君  | 川崎巳之太郎君 |
| 川副 隆君   | 木村 武雄君  |
| 北浦圭太郎君  | 北原阿智之助君 |
| 熊谷五右衛門君 | 小林 絹治君  |
| 小林房之助君  | 坂下仙一郎君  |
| 庄司 一郎君  | 鈴木 正吾君  |
| 田中 源君   | 田中 耕君   |
| 高橋 泰雄君  |         |

(拍手起ル)

〔加藤知正君委員長席ニ著ク〕

○加藤委員長 一寸御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、只今ハ御推薦ヲ戴キマシテ、洵ニ光榮ノ至リニ存スル次第デゴザイマス、元來淺學短才ノ身デゴザイマシテ、皆様方ノ深甚ナル御同情ト絶大ナル御援助ニ依リマシテ、此ノ大任ヲ果シタイト存スル次第デアリマス、何分宜シク御願ヒ致シマス、是ヨリ引續キ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○坂東委員長 理事ハ其ノ數ヲ九名トシ委員長ニ於テ御推薦アランコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○加藤委員長 只今ノ坂東君ノ御意見ニ御異議ナイト認メマス、ソレデハ是ヨリ委員長ニ於テ理事ヲ指名致シマス

大橋清太郎君	川崎巳之太郎君
北浦圭太郎君	庄司 一郎君
鈴木 正吾君	永田 良吉君
坂東幸太郎君	福田 悌夫君
森 幸太郎君	

以上九名ノ方ニ御願ヒラ致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス(拍手)

午後零時四十三分散會

第三類第一號 請願委員會會議錄 第一回(速記) 昭和十五年十二月二十七日



昭和十五年十二月二十七日印刷  
昭和十五年十二月二十八日發行  
衆議院事務局  
印刷者 内閣印刷局

(第三類 第一號)

第七十六回帝國議會 請願委員會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年一月二十九日(水曜日)午前十時三十分開議  
出席委員左ノ如シ  
委員長 加藤 知正君  
理事大橋清太郎君 理事北浦圭太郎君  
理事庄司 一郎君 理事坂東幸太郎君  
理事福田 悌夫君 理事森 幸太郎君  
鶴 惣市君 長野 長廣君  
野口 喜一君 林 平馬君  
福井 甚三君 松浦 伊平君  
松尾 三藏君 丸山辨三郎君  
最上 政三君 渡邊 健君  
渡邊玉三郎君 阿部 茂夫君  
卯尾田毅太郎君 小高長三郎君  
小山田義孝君 加藤 鐵造君  
金澤 正雄君 川副 隆君  
北原阿智之助君 熊谷五右衛門君  
崎山 嗣朝君 小野 寅吉君  
坂下仙一郎君 坂田 道男君  
田中 耕君

同月二十八日委員小林相治君及小林房之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同月二十九日崎山嗣朝君及小野寅吉君當選セリ  
○加藤委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、委員諸君ノ席次ハ只今御着席ノ通りニ決定致シタイト存ジマス、御諒承ヲ御願ヒ致シマス  
是ヨリ分科ノ設定、主査ノ選定及ビ審査方針ニ關シテ御協議申上ゲマス、先ヅ分科ノ設定ニ關シマシテハ、衆議院規則第六十二條ニ「請願委員ハ其ノ事務ヲ捷速ナラシム

ル爲分テ數科ト爲スコトヲ得」ト規定セラレテ居リマス、又先例モ分科ヲ設ケテ居リマスノデ、今回モヤハリ先例ニ從ヒ分科ヲ設ケルコトニ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ分科ヲ設ケルコトニ決定致シマス  
次ニ分科ノ數デアリマスガ、其ノ數ハ先例ニ依リマスルト四分科ニナツテ居リマス、先例通り決定致シテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ四分科ヲ設ケルコトニ決定致シマス  
次ニ其ノ所管デアリマスガ、是モ先例ニ依リマス  
第一分科ニハ内閣、大藏省所管及ビ他ノ分科ニ屬セザル事項  
第二分科ニハ外務省、内務省、厚生省、農林省及ビ商工省所管  
第三分科ニハ陸軍省、海軍省、選信省及ビ拓務省所管  
第四分科ニハ司法省、文部省及ビ鐵道省所管  
以上ノ如クニナツテ居リマスガ、其ノ通り決定致シテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ左様決定致シマス  
次ニ分科ノ所屬員ノ配置デアリマスガ、先例ニ依リマス、若様ノ御希望ニ依ツテ之ヲ定メルコトニナツテ居リマス、但シ分

科ノ所屬員數ニ過不足ヲ生ジマシタ場合ニハ、其ノ所屬方ハ委員長ニ御任セテ願フヤウニナツテ居リマスガ、是モ先例通りニ致シテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 ソレデハ其ノヤウニ決定致シマス  
尚ホ分科員ハ他ノ分科ニ兼務出來ルコトニナツテ居リマスガ、是モ左様決定致シテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ其ノヤウニ決定致シマス、就キマシテハ各位ノ御希望ノ分科ヲ散會後書記マデ御申出ヲ願ヒタイト存ジマス  
次ニ主査ノ選定デアリマスガ是モ先例ニ依リマシテ、主査ハ各分科ノ本務員中ヨリ之ヲ選定シ、其ノ選定ハ委員長指名ト云フコトニナツテ居リマスガ、左様致シマシテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ私ヨリ指名致シマス  
小高長三郎君 福井 甚三君  
北原阿智之助君 樋口善右衛門君  
以上四君ニ主査ヲ御願ヒ致シマス  
尚ホ主査ノ配置デアリマスガ、是モ委員長ニ御任セテ願ヒタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 ソレデハ  
第一分科主査 小高長三郎君

第二分科主査 福井 甚三君  
第三分科主査 北原阿智之助君  
第四分科主査 樋口善右衛門君  
ニ御願ヒ致シマス  
次ニ總會及ビ分科會ノ開會日時ニ付キマシテ御諮リ致シマス、先例ハ會議ノ日時ヲ豫定スルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、第一分科ヲ月曜日ノ午前十時ヨリ、第二分科ヲ同日ノ午後一時ヨリ、第三分科ヲ水曜日ノ午前十時ヨリ、第四分科ヲ同日ノ午後一時ヨリ開會シ、總會ハ金曜日ノ午前十時ヨリ開クコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、ソレカラ豫定日ヲ變更スル必要ガゴザイマシタ場合ハ、分科會ニ於キマシテハ其ノ主査、總會ニ於キマシテハ委員長ニ御任セテ願フコトニ相成ツテ居リマスガ、左様決定致シテ御異議ゴザイマセスカ  
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ  
○加藤委員長 御異議ガナケレバ左様決定致シマス  
次ニ請願ノ審査方針ニ付テ御諮リ致シマス、先例ニ依リマス、分科會ニ於テ既ニ審査ヲ終リマシテ委員會ニ報告シマシタ請願ト同一趣旨ノ請願ハ、直チニ總會ニ於テ審査ヲ致シ、其ノ審査ノ際ニハ紹介議員ノ出席説明ヲ省キマス、又既ニ總會ニ於テ審査ヲ終リマシタ請願ト同一趣旨ノ請願ガ出マシタ場合ニ於キマシテハ、爾後總會ノ審査ヲ省略致シマシテ、委員長ニ於テ直チニ議院ニ報告致スコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、此ノ點モ先例通り決定シテ御異議ゴザイマセスカ

第三類第一號 請願委員會議錄 第二回 昭和十六年一月二十九日



○加藤委員長 御異議ガナケレバ左様決定致シマス  
其ノ他請願ノ取扱ヒハ總テ先例ニ依ルコトニ致シタゴザイマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

○加藤委員長 御異議ガナケレバ左様決定致シマス  
向ホ今期議會ハ新體制下ノ初メノ議會デアリマシテ、相當多數ノ請願ガ呈出セラレテアラウト存ズルデアリマス、委員諸君ノ切ナル御援助ヲ戴キマシテ、圓滿無疵ニ諸事實行致シタイト存ズル次第デアリマス、何分宜シク御指導ヲ戴キタイト存ジマス、是ニテ本日ノ會議ハ全部終了致シマシタ

○林(平)委員 議事進行ニ付テ發言致シマス、近來國民ノ聲ヲ取上ゲルコトガ不十分デアルカノヤウニ見テ居ル人々ノ間ニ於テ、其ノ體制ヲ整ヘル爲ニ下部組織ヲ作り、所謂協力會議ノ下部組織ヲ以テ部落カラ町村協力會議、郡協力會議、更ニ縣協力會議ト云フヤウニ、國民ノ最下部ノ希望ト云フモノヲ段々ト上層部ニ取上ゲテ來テ、ソレヲ政府ノ參考ニスルト云フヤウナコトガ最モ宜イカノヤウニ言ハレテ、其ノ通りニ今進ミツツアルノハ皆御承知ノコトト思ヒマス、而シテ議會人ト云フモノト、國民トハ洵ニ縁ノ遠イモノデアツテ、四年ニ一遍位シカ接觸シナイデアルカラ、本當ノ國民ノ聲ハ分ラナイナドト不認識モ甚シイコトヲハツキリ當局ノ責任者ガ言ウテ居ルコトモ御承知ノコトト思ヒマス、併シナガラ私共ノ考ヘル所ニ依リマス、國民ノ率直ナルア

リノ儘ノ心持ヲ、階級的ニ段々ト上層部ニ運ビテ來ルコトハ、却ツテ途中デ色々色ガ變ツテ來ルコトハ明白ナコトト思ヒマス、ソノミナラズ村ノ氣ニ入ラナイヤウナ聲ハ村デ取次ガナイ、郡デ氣ニ入ラヌヤウナハ郡デ取次ガナイ、縣當局ガ氣ニ入ラヌヤウナハ縣ガ取次ガナイ、故ニ本當ノ民ノ聲ヲ中央部ニ運ビテ來ル爲ニハ、サウ云フ新體制組織デハ不可能デアラウトハ考ヘテ居ルデアリマス、サウ云フ見地カラ見マス、議會コソ本當ニ直接ニ國民ノ聲ヲ率直其ノ儘ニ少シモ歪曲サレズニ運ビ込マレテ來ル場所デアル、又此ノ請願委員會ハソレヲ取扱フ場所デアルト信ジテ居リマス、斯ウ云フ良イ組織機關デアルニモ拘ラズ、此ノ請願委員會ニ存在ヲ打忘ラレテハ居ラスデセウカ、政府當局モ國民全體モ、實ニ是ハ國民ノ聲ヲ取上ゲル唯一ノ有力ナル機關デアルニ拘ラズ、何ダカ殆ド働キノナイ官廳ノ存在デモアルカノヤウニ考ヘテ居ルト云フコトハ眞ニ遺憾ニ思フ、隨テサウ云フ誤解ヲ解ク方法トシテモ、又實際的ニ機能ヲ發動サセテ全能力ヲ發揮サセル上ニ於テモ、委員長ノ只今仰セヨウニ、新體制ノ最初ノ議會デモアリマスルカラシテ、特ニ此ノ議會ニ於テハ此ノ委員會ノ活動ヲ旺盛ナラシメテ戴キタイト思ヒマス、其ノ方法トシテハ色々アルカト思ヒマスガ、例ヘバ委員ノ出席ノ如キモ、例年ノ例ヲ見マシテモ、今日現在デモ定員四十五名ノ中缺席者ガ多ク皆此ノ名札ガバタ／＼ト寝テ居ルコトヲ光景デハ重キヲ成サナイ感ジラヘルト思フ、デアリマスカラシテ、先ツ第一ニ委員ガドウシテモ出席出來ナイヤウナ方々ハ早速送ヘテ貰フ、出席ノ義務ヲ痛感シテ

ドウシテモ出ラレナイ場合ニハ送ヘテ貰フト云フヤウナコトデモシテ、成ベク缺席ノ少イヤウニ御督促ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、是ハ形ノ上デゴザイマスガ、外ニ向ツテモ非常ニ重大ナル威力ヲ示スコトニナルト思フ、ソレカラ政府委員モ、請願委員會コソ、本當ニ國民ノ聲ヲ聽クコトガ出來ルノダト云フ觀念ノ下ニ、喜ンデ出席シテ戴キタイ、徒ラニ大臣ヲ呼ンデハイケナイナドト云フ聲ガチラ／＼聞エマスガ、請願委員會ニ大臣ガ出席シテ直接ニ民ノ聲ヲ聽カレルコトコソ政治ニ忠實ナル態度ト云ハネバナリマセン、政府委員カラ取次ガナドト云フコトハ、ソコニ幾ラカデモ歪曲ノ處ガアルト思フノデゴザイマスカラ、成ベク大臣モ勉強シテ御出席ヲ願フヤウニ御取計ヒテ願ヒタイ、紹介議員トシテモ、オヒヒニ餘リ迷惑ヲ掛ケルヤウナ聲々シイコトハ慎マナケレバナラヌコトハ申サマデモゴザイマセヌカレドモ、ドウカ一ツ請願委員會ト云フモノノ、非常ニ權威ノアル有效ナル機關デアルコトヲ此ノ機會ニ大ニ發揮シテ戴カレントラ、委員長ニ特ニ御願ヒシテ置ク次第デゴザイマス、此ノコトニ付テハ理事ノ方々、或ハ主在ノ方々ト委員長ト篤ト御相談ノ上ニ、是非トモ權威ヲアシメラレンコトヲ切ニ御願ヒスル次第デゴザイマス(拍手)

○長野(長)委員 只今ノ林君ノ御意見ニハ至極贊成スルモノデゴザイマス、私ハ今朝刻ニ參リマシタケレドモ、委員長初メ殆ド大部分御集會ガナイデアリマス、二回參リマシタガ、二回トモ居ラレナイデアリマス、先ツ是カラ請願委員會ハ時間ヲ尊重シテ居ルト云フコトヲ如實ニ示スコトガ、總テ只

今ノヤウナ要求ヲスル上ニ於テノ力強イ表現デアルト私ハ思フデアリマス、是ハ甚ダ明ラサマニ申上ゲテ恐縮デハゴザイマスケレドモ、先ツ時間ヲ尊重スル點カラ一歩ヲ進メテ戴キタイ、ソレカラ今一ツハ、大臣ハ適當ノ機會ニ是非トモ御出席ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマスケレドモ、他ノ關係モアリマスカラ、是ハ特ニ大臣ノ御出席ヲ要望スルコトノ必要ナモノヲ、何カ適當ノ方法デ整理ヲシテ備ヘテ置キマシテ、或ル日ニ特ニ大臣ニ御出席ヲ願フコトハ、シタナラバ、實際上ソレガ實現スルデハナイカト思ヒマス、ソレカラ第三ニハ、議員ノ各位カラ院外ノ會合等ニ於テ相當要望サレタヤウデアリマスガ、請願委員會等ニ於テ政府ノ表明セラレタ所ノモノガ、實現シテ行クコトハ是ハ勿論必要ナコトデ、是ガナクテハナラヌコトデアリマス、所ガ遺憾ナガラ只今モ大分申サレタヤウニ、事實開流シニ終ツタカノ如キ結果ヲ見ルコトガ多イデアリマス、ソコデ私ハ昨年或ハ其ノ前年位、適當ノ期間ニ廻リマシテ、政府ガ此處デ表明セラレタ種類ノモノハ之ヲ成ベク實現シテ貰フ、過去ノモノニ付テモ相當考慮シテ戴ク、將來ニ於テハ勿論ノコトデアリマス、是ガ非常ニ必要デナイカト思フノデアリマス、是ガ實現シテ行キマスレバ、自ラ請願委員會ト云フモノノ權威ガ高マツテ行キ、請願委員會ト云フモノノ下意上達ノ實績ガ示サレルコトニナリマスカラ、自ラ他ノ委員會ニ優ルトモ劣ラナイダケノ、眞ノ請願委員會ノ價值ヲ發揮シテ行クコトガ出來ルデハナイカト思ヒマス、ドウカ一ツ委員長ハ其ノ點ニ付テモ御高配ヲ戴キマシテ、全委員一同ガ力ヲ揃ヘテ、此ノ委員

會コソ所謂新體制、劃期的ノ眞價アル委員トシテノ業績ヲ擧ゲンコトヲ切望シテ已マヌ次第デアリマス  
○加藤委員長 只今林、長野ノ御兩君カラ御希望ノゴザイマシタコトハ、洵ニ御尤モ至極ト存ジマス、一體此ノ請願委員會ト云フモノハ實ハ從來餘リ重キヲ成シテ居ラスカノヤウニ思ハレテ居ツタノデアリマスガ、何故ニ左様ニ考ヘラレテ居タカト云フコトニ付テハ其ノ由ツテ來ル原因ニ色々アルコトト思ヒマスガ、只今御指摘ニナリマシタコトニハ私御同感デアリマスカラ、成ベク大臣等ノ出席セラルヤウニ努力シテ見タイト存ジマス、又政府委員ノ説明等モ、從來動モスレバオ座ナリノ説明、或ハ答辯ガアツタカノヤウニ思ハレノデアリマス、又此委員會ニ於テ採擇ニハナツタガ、ツイソレガ具體化セナイモノガ頗ル多イデアリマシテ、斯様ナコトナドガ此ノ委員會ガ自然重キヲ成サナイ有力ナ原因ニナツテ居ルノデアリマスマイカ、兎ニ角此ノ委員會ニ於テ採擇セラレタルモノハ是非ソレガ實現スルヤウニ御互ヒニ努力致シタイト存ジマス、又時間ノ點ニ於キマシテ、只今委員長ガ遅レテ來タデハナイカト御指摘ヲ戴イテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ、實ハ今朝友人ノ所ニ告別式ガアリマシテ、其處ハ參リマシタ爲メ、急イデハ居リマシタガ、ツイ十分間ノ遅刻ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、元來私ハ最モ時間ヲ尊重致シタイト考ヘテ居ル一人デゴザイマスカラ、今後ハ左様ナコトノナイヤウニ致シタイト存ジマスガ、委員諸君ニ於カレマシテモ、ドウカ時間ノ點ハ十分御尊重下サイマシテ、御努メ下サルヤウニ御願ヒ致シタイト存ジマス、

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會

分科ノ區分、主在ノ選定及分科所屬員ノ配置左ノ如シ  
第一分科(内閣、大藏省所管及他ノ分科ニ屬セサル事項)  
主在 小高長三郎君  
阿部 茂夫君 飯田 助夫君  
阿部 嗣朝君 鶴 惣市君  
南雲 正朝君 野中 徹也君  
坂東幸太郎君 松浦 伊平君  
丸山辨三郎君 最上 政三君

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會

尚ホ委員長ハ事務其ノ他萬事ニ付テ不慣レノ點ガ多クゴザイマスカラ、宜シク御指導下サイマシテ、此ノ委員會ガ立派ニ有終ノ美ヲ收メテ無事ニ終了スルヤウニ御願ヒ致シマス、之ヲ以テ散會致シマス  
次回ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス  
午前十一時散會



昭和十六年一月二十九日印刷

昭和十六年一月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

第三類 第一號

(一〇七)

第七十六回帝國議會 衆議院 請願委員會議錄(速記)第三回

會議

昭和十六年二月七日(金曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤知正君

理事川崎巳之太郎君 理事北浦圭太郎君

理事庄司 一郎君 理事坂東幸太郎君

理事福田 悌夫君 理事森 幸太郎君

鶴 惣市君 長野 長廣君

野口 喜一君 林 平馬君

樋口善右衛門君 福井 甚三君

松浦 伊平君 松尾 三藏君

丸山辨三郎君 渡邊 健君

渡邊玉三郎君 小高長三郎君

加藤 敏造君 北原阿智之助君

熊谷五右衛門君 坂下仙一郎君

田中 源君 中野 寅吉君

二月四日委員玉野知義君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ同月五日中野寅吉君當選セリ

同月三日第二分科所屬員森幸太郎君及高橋

泰雄君第三分科所屬員北原阿智之助君第四

分科所屬員小野寅吉君及玉野知義君ハ孰レ

モ第一分科兼務ト爲リタリ

同月三日第三分科所屬員福田悌夫君、金澤

正雄君、渡邊健君及渡邊玉三郎君ハ孰レモ

第二分科兼務ト爲リタリ

同月四日第四分科所屬員玉野知義君委員辭

任ニ付其ノ補闕トシテ同月五日中野寅吉君

當選シ同分科所屬ト爲リタリ

出席政府委員左ノ如シ

神祇院副總裁 飯沼 一省君

陸軍次官 阿南 惟幾君

司法省行刑局長 金澤 次郎君

司法書記官 石田 壽君

商工省鐵道局長 梶原 茂嘉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 杉山元治郎君

同 山川頼三郎君

陸軍少佐 本間六三郎君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

第一分科(内閣、大藏省所管及他ノ分科ニ

屬セサル事項)ニ屬スルモノ

一 金鷲勸業年金令改正ニ關スル請願(第

六號)

二 國旗記念日制定ニ關スル請願(第二

〇號)

三 朝拜ノ時間設定ニ關スル請願(第二

九號)

四 古事記正解ノ研究機關設置ニ關スル

請願(第五號)

五 國號統一其ノ他ニ關スル請願(第二

五號)

第二分科(外務省、内務省、厚生省、農林

省及商工省所管)ニ屬スルモノ

一 南極地域ノ領土權ニ關スル請願(第

一三號)

二 質屋利子引下ニ關スル請願(第一〇

號)

三 岐阜、大垣兩縣木之本陣間府縣道ヲ

指定府縣道ニ編入ノ請願(第一號)

四 郷社御裳神社昇格ニ關スル請願(第

二八號)

五 天鹽河口修築ノ請願(第三〇號)

六 聲聞、更喜苦内兩川治水工事促進ノ

請願(第四四號)

七 稚内港改修ニ關スル請願(第四二號)

八 稚内町字拔海ニ船入潤築設ノ請願

(第四三號)

九 苦前港修築ノ請願(第四五號)

一〇 助産師法制定ニ關スル請願(第四

號)

一一 不具者ノ指導機關設置施設設置

ニ關スル請願(第一二號)

一二 稻作五十嵐式正條植ニ關スル請願

(第八號)

一三 利根郡内國有林野開放開放開墾ニ關

スル請願(第九號)

一四 大畑港修築ニ關スル請願(第一九

號)

一五 稚内町ニ國有種馬所設置ノ請願

(第四七號)

一六 稚内港ヲ家畜檢疫港ニ指定ノ請願

(第四六號)

一七 織物製造業者ノ企業合同ニ關スル

請願(第一七號)

一八 青年禁酒法制定ニ關スル請願(第

二號、第二二號乃至第二四號、第五五

號、第五六號)

一九 青年禁酒法制定反對ノ請願(第五

七號)

第三分科(陸軍省、海軍省、逓信省及拓務

省所管)ニ屬スルモノ

一 陸中野郵便局ニ集配事務開始ノ請

願(第五二號)

二 御明神郵便局ニ電信電話事務開始ノ

請願(第三號)

三 天寶、燒尻兩島苦前港間ニ命令航路

開設ノ請願(第四一號)

四 大洋ニ於ケル霧中船舶衝突豫防ニ關

スル請願(第四九號)

五 鳴門海峡並平戸瀬戸ノ海難防止施設

ニ關スル請願(第五〇號)

六 下關海峡ノ海難防止施設ニ關スル請

願(第五一號)

七 稚内町ニ飛行場設置ノ請願(第三八

號)

八 苦前村ニ航路標識施設ノ請願(第四

〇號)

第四分科(司法省、文部省及鐵道省所管)ニ

屬スルモノ

一 稚内區裁判所ニ旭川地方裁判所甲號

支部設置ノ請願(第三九號)

二 岩内區裁判所應令改築ノ請願(第一

四號)

三 神宮寺町ニ區裁判所出張所設置ノ請

願(第一六號)

四 苦前村ニ區裁判所出張所設置ノ請願

(第四八號)

五 「中德富驛」ヲ「新十津川驛」ト改稱ス

ルノ請願(第三六號)

六 沼宮内、平館間省營「バス」運輸開始

ノ請願(第一七號)

七 潮棚、岩内間鐵道敷設ノ請願(第一

五號)

八 小郡、萩間並大田、於福間鐵道速成